古書虚字集釋

民

或

叢

書

第五編 · 46·

語言・ 文字類

裴學海著

上届吉店

古、書

「虚 字 集 釋

乞而 學研 義訂 雖拙 能 王懷祖廣雅疏證讀書襍志, 聽, 裴 補 饒有匡鼎解頤之概爲之傾倒而不忘者累數十日何感人之深也先是 君會川宿儒也時以不聆其教爲城癸酉春因舊雨吳君傑民紹介昭會川於津埠館次談經年日, 究社发聘會川爲厥 於詞 其闕正其誤此書一出, 讀之知其引證詳博解釋正, 解 尚書: 翰然以略知書中意旨亦不敢以 成語之研究諸書皆 社講師資以誘導後進**會**川治經 洵爲解經之津梁讀書之矩矱也某日會川以書將付梓囑綴數言以弁於首玉 王伯申經傳釋詞經義述聞俞蔭甫摹經平議諸子平議古書疑義舉例 確凡於對文變文古音今音通假轉變莫不極深研幾期於毫無疑義, 已刊行於世嘉惠士林近著古書虛字集釋一 固 有素又爲音韵專家 發以 後不翼而飛必為海內諸儒所膾炙焉, 玉提倡國學, 部計十卷都爲廿 著有孟子正義 奥 諸經 補 學 **上家組設國** 餘 正 萬 諸書多 渡 學 且於 言,玉 流可 庸 是為 疑

以國二十二年癸酉冬至後五日津門李廷玉志。

序。

古書虛字集釋 序文

麦君 乞而 王懷 義訂 聽**饒**有] 雖 能 學研究社爱聘會川為厥社講師, 拙 補 祖 解 於詞 讀之知其引證詳博解釋正 其 會川宿儒也時以不聆其教爲城癸酉春因舊雨吳君傑民紹介嗎會 闕, 廣 佝 | 匡鼎解頤之概爲之傾倒而不忘者累數十日何威人之深也先是 Œ 雅 曹成語之研究諸書皆巳刊行於世嘉惠士林近著古書虛字集釋一 翰然以略知書中意旨亦不敢以固陋辭竊意刊發以後不翼而飛必爲海內諸儒所膾炙焉是爲, 其誤, 疏證 讀書禅志式 此書 出洵 王伯 爲 止確凡於對立 解經之津 資以誘導後進會川 申 經 傳釋 詞、 梁讀書之矩矱也某日會川 文變文古音令音通假轉變莫不極深研幾期於毫無疑, 經義述聞命 光經有素又爲音韵專家著有孟子正義補正 俞陰 甫摹經平 以事將付梓, 議諸子平議古書疑義 川彪津埠館夾談經 玉提倡國學與諸經學 部計十卷都爲廿餘 囑綴數 言以 年日涟涟可 舉 4家組設國 弁於 例 學 萬 義, 諸 言,王 首、玉 審多 且於

日津門李廷玉志。

民國

二十二年癸酉冬至

後五

序。

古香盛字集釋 序 文

不则 而與 訓行 言之; 且 因其 或誤 虚 凉庶 · 「其」 臨路 「甚」 · 践爲一是一・是也・ 爲 字 「奥」と 樾 書 「侯」爲「公侯」之「侯」・而訓「侯」爲「何」 是也・《人田侯田・處侯宅・食侯食・服侯服』・楊氏詞詮 之用 夫而 解 羣 疑 ||言不知「爲」當訓「乎」・「吾不惴乎」是反語・而謂「不」字爲語助・是也・||,例如3千公孫丑篇・『自反而不縮・雖褐寬博・吾不惴塢』・王氏經傳釋詞・ 均多 經 對 爲氏 義 文, 與言 法, 平 躯 以」・謂下「以」、古書疑義果例・ア 、訓「非」・「伊」訓「是」爲對文・而謂「例如詩以山篇・『不可畏也・伊可懷 精 議, 與 例 今不 確之發 諸子 甘泉建章之 敘 曰: 或誤謂有 챮 45 _ 崩 同 護, 夫 堪 耳其不 古 周 一字爲衍文・是也・不知「與」當訓「有」・ 爲 書 Þ. 秦 省交, 定讞 麗 疑 兩 杰 義 也。 漢 不知「焉」訓「言」・指社風書・而謂「焉」字上・省去「社風」二字・是也・例如晏子春秋問篇・「夫國亦有焉・人主左右是也」・楊氏高等國文法・ 者。 舉 同 至 ــــــ 之處, 題哉 然于 例 於今遠矣執 楊 不」「伊」二字皆語助・是也」・兪氏な終乎議・不 慮一 樹 在 言 或誤謂 乎! 或 達 劉 失, 智 誤 詞 洪 以有 詮, 周 **今人尋行數墨之文法而** 助 形 字辨略王 者 秦 高 譌, 意義 等 不 兩 不知「是」與「其」同義・而謂「擇是」當從管于小匡結例如國語齊語・「桓公擇是寡功者而適之」・王氏經義 免故 國 漢之書所以不可以今人之文法讀之者, 之字 文 知不 劉 法 念 古書 爲 王 孫讀書娘志王 俞 語聲助字辨略·不知上「爲」字當訓「謂,例如論語爲政篇·『奚其爲爲政』· 或 楊 疑 誤 義 四 謂 或誤以實字 家之 舉 字行, 以 讀 例 書雖 引之經 續 周 足例 以如 秦兩 補 為語詞 有易 皆 諸 明也・跛能の股象傳・「 漢之書 書 傅 大 釋詞 中 醇 皆 篇・『法無限 而 『眇能視・不り 經 譬 或誤以反 不 已 義 要 無 猶 詳 小 作述 山 無限・ 泚 執 乎 足・以不 疵; 其 其 Ш

古书 虛字集釋 自 飲

古書虛字集釋 自 敘

學 一 是 所 解 為 也語 或誤據彼書以 |改此書氏經義述開・不知「其」與「而」同義・而據荀子及家語攺「其」爲「而、,例如大戴禮哀公問五義篇『躬行忠信其心不置・仁義在己而不害不 是也・王 或誤 摟 以意

改字, 詁, 深於文法 所 引 失真 而 之類 彴 有 此諸誤; 書, 以 訂 其 正 (他碌碌) 不誤之原書各誤・以此爲最・本書之作・亦以此爲主因・不誤之原書各誤・以此爲最・本書之作・亦以此爲主因・按上列 更何待言然則古書之虛字固份, 有 研幾之必要矣學 夫以茲 一海素服饰 四家之 膺 精 於 高 郵 訓

王氏父子喜研 聲音訓詁之學自丁卯歲就學淸華研究院得受業於梁(任公)陳(寅恪) 林 宰 华

趈(元任)諸師之門昭若發矇益多隅反爰不揣檮昧刺 虚字集釋十卷凡二百九十字前修 及時賢之未及者補之誤解者正之是而未盡者, 取周秦兩漢之書採用劉王俞楊之 申證之雖 說分字編次, 不

無 以爲古書 跡 近 好 奇流於武斷之處要皆由實事求是心知其意而然儻所說有一 二幸中者或亦於綴學之士不無

小補也。

民國二十一年九月一日,

操縣裴學海敘。

本書共分十卷卷一二三二母·四二母·三時一回二母·三 娘」九母•卷七日 母・八「心」「邪」五母・九「審」「禪」五母・「日」,「精」「清」「從」,「照」「字」「牀」 皆喉音字卷五牙音字「疑」四母·卷六舌音字「泥」「來」「短」」 皆颇音字卷十唇音字「數」「奉」「微」八母· 編次法

同經傳釋詞。

本 書 雖 | 酌探 經 傳釋詞助字辨略古書疑義舉例詞詮高等國文法新方言經傳釋詞 補諸書, 麟著・經傳釋新方書・章炳

經世著·而以經傳釋詞為主放於其所收之字及所有之訓皆完全採入惟鄙意以為非語詞之字則未收調補·孫 |説見本書所附之經傳釋詞正誤・)故本書未收「祈」字・「不允當之|訓則未録||訓・未爲允當・故本書未錄・而將其例例如釋詞卷五之「祈」字・本作「祁」・當訓「大」・不當訓「是」

及句 「如猶當也」三①· ·入之於「如猶或也」 二訓之意義相同者則併而爲一若也」・二訓・共意義相同・本書則併爲一節・一訓之意義相同多則併而爲一若也」・二訓・共意義相同・本書則併爲一節・ 節中之

訓 |不同義者則析而爲二屬混含·[豈][何][a]義有別·故本書則析爲二節·||不同義者則析而爲二屬混含·[豈][何][a]表有別·故本書則析爲二節·實

四本書所引之例 三本書所採之例 句, 句以 周秦兩 皆 務存 其舊水其具故於各書皆以其板本之較古者爲主本・戰國策據姚氏本・韓非子以,。例如論語號何要本・國語號明 漢之書爲主體閒有涉及後代之書者則或由其 可爲附證及或爲疑義之故。

古書席字集釋 凡 例

之屬・是也・乾道木及道蔵本

五本書以解古書之疑義爲要旨故雖名虛字集釋亦閒有越出範圍而涉及實義者。

六凡虛字不見於周秦兩漢之書者及雖見而其義已為前修及時賢所畢宣者則本書均未之及故本書所,

收之字較助字新略詞詮皆爲少。

七凡所採前修及時賢之說其出自何人或何書皆見於注語中惟普通之義爲人所習知者則閒未之及蓋、

以無掠美之嫌故也。

八本書所用之韻皆係章炳麟之古韻二十三部。

九本書於前修及時賢爲從質故概稱其名。

十本書於所釋之字為醒目計概以「 。 」標其右側、

古書處字集釋 目 錄	猾由 饿 攸 迪 欲七二	由繇猶攸逌迪欲猷六七	攸 由 繇 迪六四	欲······	於 于四九	于 汙四一	已以三七	目以已似矣一三	奥 舉 預 予	卷 一
	為	為平	焉九六	安 案 按九三	用 庸九〇	庸 用 容八七	容 用 庸八四	允八二	因北九	卷二

	唯維雖誰一八四 一 猗:	易一七一 一 俞…	三	有 惑一六五 邪 8	一六一也…	又 友 佑 宥 或	一四五 夷:	越 闩——————————————————————————————————	聿聿日通逃越 一三八 台鈴	越一三三 — 一十	一二八
鳥 於 啞 吁			與二四四	俗作耶		1110		緊二一八		壹 一一二	意 噫 懿

古書 虚字 集 7 月 6 6	胡 故 固 賈二六六	奚一六五	何 可二六一	卷四	委二六〇	余二五九	猥二五八	尤二五七	異二五七	唉 鳥來	噫 意 懿 抑	於烏烏鳴惡二五四
	况兄皇行邉二九二	行二九〇	乎二七七	迄 訖二七六	向 嚮 鄕二七五	許二七四	洪二七四	盏 蓋 闔二七二	號 豪	侯二七一	曷 害 朅	

舉三〇七	卷五	蝸 夥 	南	吁 于 呼三〇一	會一一一	合	飛 音	僕	畜 卦六	汔 趦二九八	兮二九五	
教三四一	公容訟誦三三九	果三三九	旣三三五	竟二二二二二二	假 暇三三二	敢三三〇	各三二九	姑 固 顧三二八	顧 固 故三二六	固故顧姑三二二	故 固 顧 姑 三〇七	<u>pro</u>

古書處字集釋 目 錄	幾 韓平三六一	厥 掘 闕三五八	函财为 極 三五七	荷三五六	忌 近 韶三五五	其 居 期三五四	居三五二	見三五一	共降三五〇	皋三五〇	今 三四四	蓋····· 三四一
.	豊 幾四一七	其 期 綦 己 記三七三	肯三七二	克三七一	函齿声極	羌 慶 三七○	孔三六九	可 何三六五	蹇 九 鞏 署 三 六 四	階 … 三六三	皆二上八三	閒二二八二

等四五五	危四四〇
當 倘 嘗 常四四九	宜 儀四三九
都四四八	業四三八
得四四七	遇四三八
卷六	言四三二
語 吾四四五	及四三〇
吾四四四	僅 断 謹 廑 勸 勸四二八
我四四三	競四二八
雅四四三	泰 期 其 碁四二六
偶四四二	曁 旣 幾四二五
俄 峨 峨 四四一	逡 詎四二四
愁魚觀四四一	距音號 距 鉅 臣 渠 递·····四二一
六	古者虚字集釋 目 錄

古書 虚字集 釋目 錄	鼫四七二	脱四七二	第 弟四七〇	但 嗄 單四六九	特 待 持 恃四六六	道 導 首四六四	殆 辭四六三	徒如六二	獨四五八	儻 黨 四五七	單 坦 戰四五六	鼎四五六
-tz	展五一一	致五一一	知 ······ 五 一〇	那 難五〇九	耐 能五〇八	奈······五○七	寧五○四	能 耐 而四九六	乃,迺四七六	逮 遝四七五	迪 道四七四	迭 軼四七三

卷七	類五二〇	略五二〇	虚 閻五一九		歷五一七	來五一五			五一	直	遙 道利五一一	古書處字集釋 日 錄
粉六〇九	即六〇四	則五八九	卷入	爾五八〇	仍五八〇	耳五七七	然五六八	若五元五	如五四六	汝 女 五四六	而 能	λ

古書處字集釋 目 錄	嗞菇 茲 子六五四 一	警 嗟 瑳六五二	且天餘六五一	縦 從	後 浸 侵	尊 遐	載 战 在	足	會 音增于五三九	作六三八	哉	兹 讼 子六二八
九	從 松六八六	祖······六八五	會看	知 切 取 最 以最為說·	在 載 哉六八二	請小八八二	將 兄弟	取 冣	此六七四	脊 惨 慘 懵 嘈六七三	且 徂六五五	呰 膏 訾六五四

徐七二五	須胥七一五	胥 須七一三	相七一一	些 先 謂七一一	肆七一〇	思七〇八	斯 鮮七〇二	雖唯惟維誰六九七	自六九〇	才纔裁財在哉 :六八八	就六八八
止七七八	只 旨 咫 軹 指七七五	新草移 秖 禔 是 多······七七四	職七七三	正 政七七〇	終 衆	諸 者七六四	者 諸 堵 都七五四	之 時七一九	卷九	遂七一六	似以七一六

古書 虚字集 釋目 经条件	式 代七九九	適七九六	使北上九四	始北上九三	審七九二	所七八六	弑 ·······七八五	事七八三	旃七八三	識 職 東 七八二	屬音七八一	至北八〇
n-si	黻 戍 情 請八三○	孰八二九	誰 雖八二八	時 恃	是 氏 寔 實八〇七	含八〇七	矧,八〇五	率八〇三	膀八○三	廉······八〇二	爽八〇二	香咖智 翅 適八〇一

別	倂 幷	畢 必	必八四五	彼八四三	卷十	逝 噬	尚 上 常 當八三八	受	管向倘當常賞八三三	常 嘗 當 掌八三二	辰八三一
末八六二	魔八六二	蔑八六一	每八六〇	薄八五九	比八五七	被八五六	傍 徬 旁 並八五六	並八五三	頗八五二	叵 頗八五一	溥 普八五一

古書虛字集釋 目 錄	凡八九六	敷八九五	市八九五	方 放 訪 昉 旁八八九	夫八八〇	弗 費八七九	匪 棐八七七	非 棐八七五	否 不八七三	不 否 不八六六 一	編 偏	莫
		類書引古書多以意改說一	本書說解述要	經傳釋詞正誤	附	未九一五	罔九一四	曼 侵九一三	微九一二	勿九〇九	無 无 亡 毋 妄 忠八九八	便 八九七

古書虛字集釋卷

[與 予 預 舉]

與」「及」也弓篇與注

晏子春秋問篇『正行則民遺曲行則道廢正行而遺民乎與持民而遺遊乎訓[也]‧說詳,乎」字條‧

此二者之於行何如」文例與此同、經傳釋詞訓「與」爲「如」、失之、此二者之於行何如」文例與此同、經傳釋詞訓「與」爲「如」、失之、

字或作「舉」

左傳昭二年『豊唯寡君舉羣臣質受其贶為一句其自唐叔以下實寵嘉之』述聞・左傳昭二:

與一猶「而」也「與」,互見「而」字條,

尸子勸學篇『無舒與貴不 職與尊也』之襲也·荀子儒效篇·『君子無虧而貴·無祿而富』·文義與此同尸子勸學篇『無舒與貴不 職與尊也』之襲也·荀子儒效篇·『君子無虧而貴·無祿而富』·文義與此同是·非·

古書虛字集科 卷一 與 予 預 舉

脱苑襍言篇『是以君子擇人與交農人擇田而 田。

春秋繁露深察名號篇『名之爲言鳴與命也而命者爲名』·是其義也· 號之爲言語而效也』

此上二例「與」與「而」爲瓦文。

字或作「予」

詩河廣篇『跂子望之』而望之』·句例同此詩河廣篇『跂子望之』而望之』·句例同此

與し 一

が

し

む

説

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

公羊傳莊十三年『桓公之與夷狄驅之爾』聞引:公羊傳莊十三年『桓公之與夷狄驅之爾』聞引:

史記賈生傳『縱驅委命不私與己』 。

越世家『吳有越腹心之疾齊則吳疥瘲也』癖之病也』・可證「與」與「於」同義・越世家『吳有越腹心之疾齊則吳疥瘲也』爲氏春秋知化篇・作『夫齊之於吳、疥

吳越春秋闔閭傳了 要離與慶忌之吳即「吳」・渡江中江要離力微坐與上風」

此 上三例並見詞詮引。

楚辭涉江篇『與前世而皆然兮又何怨乎今之人』

史記淮陰侯傳『信乃謀與家臣,

曹相國 世家! 惠帝讓參曰「與留何治乎乃者我使諫君也」

漢書貨殖傳了 諸遐廣少有餘財爭與東求近處。 | 詢註訓「與」為

汽序禅事篇五『故忠臣也者能**改善與君而不能與陷於難』町及,說衡定賢篇作『故忠臣能** 淮南子說林篇『聖人之於道獨葵之與日也』「與」亦「於」

蓝善於君不能與陷於難!

與」循「爲」也即見經傳粹調・

爲「被」字之義

戰國策西周策『秦與天下罷則令不橫行於周矣。

一段經傳

爲「作」字之義 說苑政理篇『不齊所治者大其與堯舜繼矣』

公羊傅襄二十七年『夫負顯繫執斧鑽從君東西南北則是臣僕庶孼之事也若夫約言爲信則非公羊傅襄二十七年。

古書虛字集釋 卷 與 ÷ 預 果

古靑虛字集釋 卷一 爽 予 搯 夓

臣僕庶擘之所敢與也』

「與」猶「爲」也凱見經傳釋調・ 戰國策秦策『或與中期說秦王曰

孟子 雕婁篇「所欲與之聚之」

此上二例並見經傳釋詞引。

史記淮陰侯傳「足下爲漢則漢勝與楚則楚勝」

與一猶「謂」也轉轉 山・互交耳・

韓詩外傳二『子路與巫馬期曰:

大戴禮夏小正寫『獺獸祭魚其必與之獸何也

月 程 詞 明 傳

與」「如」也雅度

爲「如似」之義

墨子兼愛篇『若大國之攻小國也大家之亂小家也强之劫弱衆之暴寡詐之謀愚貴之敖賤此天

Z

下之害也又與爲人君者之不惠也臣者之不忠也父者之不慈也子者之不孝也此又天下之害下之害,。

也又與今之賤人執其兵刃毒藥水火以交相虧賊此又天下之害也;,。

爲「何如」之「如」

戰國策秦策『今日韓魏孰與始强』也,何

爲「如或」之義

禮記槓弓篇『喪禮與其哀不足而體有餘也不若禮不足而哀有餘也』[與其]是複語:

左傳襄二十六年引夏書『與其殺不辜寧失不經』

國語晉語『與余以狂疾賞也不如亡』

此上各例並見經傳釋詞引按經傳釋詞謂檀弓左傳晉語之「與」字皆訓「如」其說甚韙。

魯語 若從君而走患則不如遠君以避難」管子侈靡篇『如以予人財者不如! 無 奪時, 如以

予人食者不如毋奪其事 』字訓其: 其文法並與檀弓晉語之文同可證「 與一與「 如

及「若」皆同義同義・

古書席字集科 卷一典 子 預學

韓詩外傳七『回與執政則由 赐焉施其能哉」

「與」猶「以」也釋詞·

易繋辭傳『是故可與酬酢可與祐神矣』

禮記檀弓篇『殷人殯於兩楹之問 則與賓主夾之也」

此上二例並見經傳釋 詞。

史記酷定傳『始湯爲小吏時與錢通』『以利交』

荀子榮辱篇『短粳不可以汲深井之泉知不幾者不可與及聖人之言」也,互文耳荀子榮辱篇『短粳不可以汲深井之泉知不幾者不可與及聖人之言」也,互文耳以

與」「用」也。

詩采苓篇『荷亦無與』 無用也」・『無奥

與一猶一比」也「與訓」比一強

左. 傳文十八年『職日與別其父』 而 弗 能病 者, 何 如?

襄二十一年『 人間 叔向日「子離於罪其爲不知乎」叔向曰「與其死亡若何」

大

莊二十二年『八世之後莫之與京』「强」也・
並一十二年。八世之後莫之則京』「强」也・
立一十二年。

漢書馮奉世傳『故少發師而曠 Н, 與。 舉而疾決利害相萬也。

墨子耕柱篇『鬼神之明世於聖人也猾聰耳』 明日之與整百也」皆即此」。

淮南子道 應篇: 『吾比夫子猾黃鵠與壤 溢也。 ___

泰族篇: 放不 學之與學也循行 **聾之比於人** 也。

太平御覽七十八引尸子『堯曰一朕之比神農猶旦與昏也」」

此 上三例皆「與」與「比」爲互文。

字或作「預」

史記日者傳『宋忠見賈誼於殿門外乃相 引屏語相謂自歎曰……「我與若奚足預彼哉?

與一猶「去」 一部・故一與」可訓「去」

非 4. 徳充符篇| 們常季日「台 彼 兀者也而王先生其與庸亦遠矣』「其去俗亦遠矣」·文例同此· 「庸」謂「常人」·晏子在秋樂篇

達生篇『夫相收之與相樂 《亦遠矣》

古冉虚字集釋

卷一

爽

予

Ħ

괖

韓 非子內儲說上七術篇「今夫袴豈特嚬笑哉袴之與嚬笑遠矣」

與」猶「有」也學之博」

韓非子

過

篇作了夬處之有號如車之有輔。

史記・商君 傳『秦之與魏譬若人之有腹心疾』 之有腹心之疾也』・此記伍于胥傳・『今吳之有越・猶人之史記・商君傳『秦之與魏譬若人之有腹心疾』 (東」亦「有」也・互文耳・韓非子存韓篇・『秦之有韓・若人

與此同‧是其證也‧ 有腹心疾也』· 文例皆

春 秋 繁露天地之行篇『一國之君其猶一 體之心也隱居深宮若心之藏於胸至貴無與敵若心之

神 無 ※與雙也 ・

暖燠孰多篇: 写 知 心而不省薫與凓孰多者凱及一用之必與天戾與天戾雖勞不成一

論 顏 淵篇: 『百姓足君孰與不足百姓不足君孰與足』也· 「孰」·「何」

管子 山至 數篇『民富君無與貧民貧, (君無 與富。

非 F 內儲說下篇「王使人問濟陽君曰「誰與恨」「歟」・對曰「無敢 與恨一」則「有」・

韓

八

漢皆元后傳「太后驚泣曰一此漢家宗廟皆有神靈與何治而壞之 」

易履象傅『眇能視不足以有明也跛能履不足以奥行也』「以」字為亦文・跏「爽」為「以」・失之・易履象傅『眇能視不足以有明也跛能履不足以奥行也』「爽」亦「有」也・互文耳・掌種平磯明下

與」猶「是」也。

韓非子外儲說左篇下「名與多與之其實少」少也・極侮釋闆叫上「與」字爲「爲」・「爲」亦「是」也・韓非子外儲說左篇下「名與多與之其實少」少也・極侮釋闆叫上「其」・「而」也・曾名是多與之而實

孟子滕文篇「不山其道而往者與讚穴隙之類也」此·程傳釋即謂與為語助·失之·
。 梁惠王篇·『是折枝云類也』·句例同

論語里仁篇了君子之於天下也無適也無莫也也·「英」・「定」也·義之與比」則「則」·「比」則「從」論語里仁篇了君子之於天下也無適也無莫也也·「英」・「定」也・義之與比」則「則」·「比」則「從」

「與」猶「使」也「與」即使」・強以即使」

智康誥篇「惟用茲不于我政人得罪ITT I L 是也· 天惟與我民鄉大混亂」

墨子尚賢篇中『古者舜耕歷山陶河濱漁雷澤堯得之服澤之陽舉以爲天子與接天下之政治天墨子尚賢篇中』古者舜耕歷山陶河濱漁雷澤堯得之服澤之陽舉以爲天子與接天下之政治天

下之民……伊勢有莘氏女之私臣親為庖人湯得之舉以為己相與接天下之政治天下之民…

…何說被褐帶紫庸築乎仰巖武丁得之舉以爲三公與接天下之政治天下之民」 尚賢篇下,

與」皆作「使」

古有成字集釋 松一 奥 予預學

淮南子氾論篇『制法之民限於法之民也・一不可與遠舉拘禮之人不可使應變[與]亦[使]也

與一猶「當」也。

一爲「敵當」之義

左傳襄二十五年『大國之人不可與也』述聞·

爲「當値」之義

大戴 慰四代篇『事必與食食必與位無相越踰」

爲「任當」之義「描篇」之

韓詩外傳二『詩曰「彼己之子碩大且篤」非良爲修行之君子其孰能與之哉」字,茲以意則,韓詩外傳二『詩曰「彼己之子碩大且篤」非良爲修行之君子其孰能與之哉」字「修」下舊有「身」

韓詩外傳八『黃帝曰「於戲允哉朕何敢與焉」」

易繋解に『非天下之至精其孰能與於此」也・「於」・「乎」

又『其孰能與於此哉古之聰明睿知神武而不殺者夫』也· :

爲「應當」之義

0

詩角弓篇『君子有徽猷小人與屬』也:

史記孝文紀今乃幸以天年得復供養於高廟朕之不明。與嘉之。下東民、於朕之死、當樂之也、史記孝文紀,乃乃奉以天年得復供養於高廟朕之不明。與嘉之。[嘉]:[樂]也、書朕旣不明、則天

其

奚悲哀之有 』為發聲·失之·

與 淮南子地形篇「蛤蟹珠龜與月盛衰』「與‧隨也」• 國語齊語『桓公知天下諸侯多與己也』『與·從也』 猶「從」也「隨」 一 也。

與一一學一也書舉作與是其證)·故「與」可訓「舉」·

楚解七諫篇『與世皆然分』「與・舉也

漢書高帝紀『兵不得休八年萬民與苦甚』 志謂「與」為發擎、失之・

字或作一

詩雞鳴篇『會且歸矣無庶子子憎』釋文云『定本「子」作「與」』也・(舉與皆同義)「子憎」即詩雞鳴篇『會且歸矣無庶子子憎』釋文云『定本「子」作「與」』也・(舉與皆同義)「子憎」即

我與『卽不與我・是其例也・「憎子 ・詩中多此文 」、如『不

古書虛字集釋 卷 . _ _ 爽 予 鎖 皋

與」猶「何」

莊子 則陽篇「已乎已乎且無所逃此則所謂然 與然乎」上讀:非是:則陽篇「已乎已乎且無所逃此則所謂然 與然乎」上讀以「與」字屬

左傳閔元年猶有令名與其及也 』於爲」・

閔二年『與其危身以速罪也』於內也」·「況」亦「何」也·

經 傳 料 詞訓左傳之二「與」字爲「如」失之。

定十年了 駟 赤謂侯犯曰「衆言異矣子不如易於齊則其死也何其不易而取死乎・?!言不如以歸易於齊· **猶是邱也而得紆**

焉何必此。]青以此郈易於齊·即得解死禍·何必守此郈哉· ? 「猹」同「由」・「以」也・「焉」・「之」也・指上「死」字書・

「與」 語助也聲聞·

左 傳 襄二十九年『 是盟也 其 與o 殺何?

國 S語 育 語 一 亡人何國之與有 。?

此上二例並見經傳釋詞引按釋詞謂越語「如寡人者安與知恥」之「與」字爲語助則未 允[與]當讀去擊作[參與]解與禮記檀弓篇了 非刀匕是共叉敢與知防』之「與」字同義。

「以」「用」

漢書西南夷傳『今以長沙豫章往水道多絕難行』「以」 「由」 也向傳注:

左傳傳十五年『以此不和』「以」 「因」 也。

昭十六年『侈故之以』

字或作「已」

古書虛字集釋

卷一

目

以 已 似 矣

漢書馮唐傳『唐對曰「 齊尙不如廉頗李收之爲將也」上曰「何巳」」史記「巳」作「以」

Ξ

以一猶「爲」也觀奏

「以」猶「爲」也聲學・

墨子尙同篇中『方今之時之以正長則本與古者異矣譬之若有苗之以五行然』

莊子大宗師篇『浸假而化予之左臂以爲雞予因以求 時夜浸假而化予之右臂以爲彈予因以求莊子大宗師第:

荀子宥坐篇『則何以爲而無孝之名也』爲衍文·失之, 鴉炙浸假而化予之尻以爲輪以神爲馬予因以乘之豈更程哉』

淮南子本經篇: 了是以稱堯舜以爲聖**」**

墨子非樂篇上『非以大鐘鳴鼓琴瑟竽笙之聲以爲不樂也非以刻鏤文章之色以爲不美也非以墨子非樂篇:

쏆豢煎炙之味以爲不甘也非以髙臺厚榭邃野之居以爲不安也』「孚」・・・・

韓非子難二篇『伊尹自以爲宰干湯百里奚自以爲虜干穆公』 史記淮陰侯傳『足以爲寒心』無「以」字・蓋以意闡史記淮陰侯傳『足以爲寒心』無「以」字・蓋以意闡

此 上七 例凡連言「以爲」者皆是複語「以」 亦「爲」也。

以」猶「以爲」 也。

說苑正諫篇『太宰嚭旣與子胥有隙因讒曰: ……自以先王謀臣今不用常快快」」史記伍子

骨傳作 自以爲先王之謀臣。

建 本篇『 **曾子自以無罪**,

禮記檀弓篇: **—**] 昔者 吾有斯子 也吾以 將爲賢人也。 **『爲「謂」・失之・** 程傳釋調訓「以」

漢 書 傷不 疑傳: <u>—</u>] 在 位 者 皆 自 以。 不及 也。

丙 吉 傳: 于定國 執 憲群平天**下自**以 不宽。

墨子非儒篇: 景公日一 以孔 邱語寡人者衆矣俱以賢人也] 」「以為」解・

以上循 調調 世。 釋詞· 標

古書席字集釋 卷一 日 IJ 已 似 矣

Ł

戰 國策齊策『皆以美於徐公」詞引・ 释

燕策『是以委肉當餓虎之蹊禍必不振矣』也・ 史記刺客傳「以」作「…… 。 「摄」・「救」

謂。

韓 非子解老篇『夫謂嗇也・ 是以蚤服』老子作『夫惟嗇是謂早 服。

「以」「與_

機禮鄉射禮『各以其親進』 」「與」也雅· 文以爲與」・「今

左傳襄二十九年『樂氏其以宋升降乎』

此上二例並見經傳釋詞引。

韓詩外傳四「齊桓公獨以管仲謀伐莒。

「以」「及」也朝廷・

易秦初九『拔茅茹以其**彙**』 割引・ 発揮体験

國語魯語『自上以下睢敢淫心舍力』

周語引湯誓『予一人有罪無以萬夫』呂氏春秋順民篇「以」作「及」

大

以」猶「於」也調整

左傳桓二年『其弟以千畝之戰生命之日成師』 明見詞詮

孟子滕文篇『以母則不食以妻則食之以兄之室則弗居以於陵則居之。

離婁篇『君子深造之以道也・ 欲其自得之也』「道」字記・

大戴禮衞 明篇: 將軍文子篇『克篤恭以天下』 : 神之聽之「聽」・「從」也・式穀以女」訓「以」為「與」・神之聽之「神」・「信」也・式穀以女」訓「以」為「與」・

失之・超傳羅副

詩小

雄詩: |外傳十||辱我以人中死罪一也||

文子上義篇「不義之兵至於伏屍流血相交以前」

儀禮鄉飲酒禮記「主人之俎以東」鄭君釋「以」爲「於」也· (文) 如 () 鄭注曰:「藏於東方」· 是

荀子修身篇『宜於時通‰處也』・ 利以處窮」

春秋繁露天 地之行篇「 凡天地之物乘以其泰而生厭於其勝而死』

此上二例皆「 以 一 與「於」爲互文。

古書處字集釋

卷一

目

以 E 似 矣

似 矣

一个一一也傳釋詞

禮記聘義篇『溫潤而澤仁也鎭密以栗知也』耳・見經傳釋詞引・禮記聘義篇:

以」猶「且」也。

一爲「又且」之義:

晏子春秋外篇『穿池沼則欲其深以廣也爲臺榭則欲其高且大也』爲五文• [以]吳[且]

詩鹿鳴篇『嘉賓式燕以敖』「式燕且宴」·句例同此·詩鹿鳴篇『嘉賓式燕以敖』「敖」·「樂」也·車聚篇:

南有嘉魚篇『嘉賓式燕以樂……嘉賓式燕以衎』樂也・南有嘉魚篇『嘉賓式燕以樂……嘉賓式燕以衎』・「衎」・

園有桃序『而儉以嗇不能用其民』

管子小匡篇 【民富而以親則可以使之乎 L 凯L J字

國語晉語『狐偃其舅也而惠以有謀。

楚辭九歌篇: 「誠旣勇兮又以武。

九章篇「虚惑誤又以欺」

字或作「似」

老子二十章『而我獨旗似鄙』文雖非而義則是 。 関本「似」作「且」

一爲「尙且」之義

論語先進篇『如其禮樂以俟君子』

莊子知北遊篇『是用之者假不用者也也. 以長得其用而況乎無不用者乎物孰不資焉?

齊物論篇『故自无適有以至於三也· 而況自有適有乎」

法言學行篇『習乎習以習非之勝是況習是之勝非乎』:

呂氏春秋順民 篇『齊莊子請攻越問於和子和子曰「先君有遺令曰無攻越越猛虎也」莊子曰: 雖 猛 虎也而今已死矣」和子以告鴞子鴞子曰「 已死矣以爲生.」『如』也・言尚如生也・

以一循一乃」也「乃」亦訓「以」,互見「乃」字條,

淮南子俶填篇『其用之也以不用其不用也而後能用之其知也乃不知其不知也而後能知之』

為互文· 文子微明篇作『其用之也乃不用』 「以」與「乃」

古書處字集釋 卷一 目 以 已 似 矣

矣

禮記月令篇「是月也以立春」。

左傳襄九年「會于沙隨之歲寡君以生」乃生」・句例同此・意記月代第一長月也以立者」

「以」猶「則」也「以」,五見「則」字條・

國語 吳語『今大夫老而又不自安恬逸而處以念惡出則罪吾衆』 吳國J·是拿氏釋[以]為[則]也·國語吳語:。 章注曰:[a·居也·居即念為惡於

禮記郊特性篇『咼氏之璧同·夏后之璜揖讓而進之以合歡夜以投人則爲怨訓[而]·時與禮記郊特性篇『咼氏之璧同·夏后之璜揖讓而進之以合歡夜以投人則爲怨訓[而]·時與

不時也」

戰國策齊策『韓魏戰而勝秦則兵宇折四境不守戰而不勝以亡隨其後』

文子上義篇『故有道以御人無道則制于人』。

此上四例皆「以」與「則」爲互文。

禮記 分特性篇『 帝牛不吉以為稷牛」三年云・『帝性不吉・則抜稷性而卜之』是其義也・。 「爲」・「用」也・言帝牛不吉則用稷牛也・公羊傳宣

史記楚世家『見鳥六雙以王何取】 ?

漢書東方朔傳『太公伊尹以如此龍逢比干獨如彼也・ ・ 豈不哀哉」

莊子德充符篇『自狀其過以不當亡者衆不狀其過以不當存者寡』

呂氏春秋高義篇『故當功以受賞當罪以受罰。

博志篇『故所欲以必得所惡以必除』

韓詩 |外傳九||是以固以邱爲欲當之者也||(戰見[獨]字條)首是則固以邱爲可當之也。 |「耶]·謂孔子·上[以]字訓[則]·[欲]·[可]也。

荀子 王制篇「含是而天下以衰矣」

孟子萬章篇 以是爲不恭故弗卻也」

又『無常職而賜於上者賜」也,以爲不恭也」;

此上二例說詳拙著孟子正義補正第二卷第二號,此上二例說詳拙著孟子正義補正第二卷第二號

「以」猶「故」也申事之詞也「以」,互見「故」字條,

墨子尚賢篇中『是以民皆勸其賞畏其罰相率而爲賢者以賢者衆而不肖者寡此謂進賢』 闔廬惟能用其民以敗我於柏

左傳哀元年『

給 衡物勢篇『且夫婦不故生子之「故意」・以知天地不故生人也』 古書虛字集釋 日 以已 似 矣

B 以 巳 似 矣

左傳文五年「佘懼不獲其利而離其難是以去之」國語晉語「以」作「故」。

國語香語『范文子不欲曰「若以吾志諸侯皆叛」」吾願・諸侯皆叛」・「遇願」即「如志」之意・「以吾志」即「如音志」・左傳成十六年作『若遇「以」」、猶「如」」也。此「如」字與列子力命篇『四人相與游於世・胥如

「以」猶「若」也

一爲「及」字之義:

戰國策齊策『公孫弘謂孟嘗君曰「君不以使人先觀秦王」』呂氏春秋不侵篇「以」作「若」。:

爲「若或」之義

戰國策楚策「五國約以伐秦昭陽謂楚王曰「五國以破秦必南圖楚」」則[若]・戰國策楚:

孟子告子篇「陶以寡且不可以爲國況無君子乎」则[若]:

史記主父偃傳「今郡守之權非特六卿之重也地幾千里非特閻巷之資也甲兵器械非特棘矜之史記主父偃傳

用 ·也以遭萬世之變則不可稱諱也」;; 。

韓非子難二篇「人主雖使人必以度量準之以形名參之以事遇於法則行不遇於法則止字訓[者]。未一[以]

外儲說 左篇『以管仲能乘公之勢以治齊國得無危乎』即著J·

戰國策秦策『以非此時也成君之功除君之害秦卒有他事而從齊齊秦合其譬君必深矣。

韓詩外傳八『齊莊公出獵有螳螂舉足將搏其輪問其御曰「此何蟲也」御曰「此是螳螂也其韓詩外傳八『齊莊公出獵有螳螂舉足將搏其輪問其御曰「此何蟲也」御曰「此是螳螂也其 為蟲知進不知退不量力而輕就敵」莊公曰「以爲人必爲天下勇士矣」」

字或作「已」

呂氏春秋本生篇『今有聲於此耳聽之必慊已聽之則使人聾必弗聽。

又『已視之則使人盲·····已食之則使::。 人瘖。

新序襍事篇二『君已有齊奚以薛爲君若無齊城薛猶且無益也』爲至文:

書堯典篇『克諧』以孝烝烝』謂孝德之美盛也· 「以」猶「能」也「以」可訓「能」・ 從概義逃聞断句・「烝森」・

詩烝民篇: 『旣明且哲以保其身』漢書司馬遷傳贊引「以」作「能」

呂氏 春 秋愼勢篇「 以大使小以重使輕以衆使寡此王者之所以家以完也』凱[能]:

古書虛字集釋 奙 目 以 E 似 矣

孟子萬章篇『一介不以與人一介不以取諸人』 矣

禮記表記篇『民非后蚝配胥以寧后非民無以辟四方』「能」・「辟」・「君」也・禮記表記篇『民非后蚝配胥以寧后非民無以辟四方』「能」・「辟」・「君」也・

★「以」與「能」古通用如老子十四章「能知古始是謂道紀」宋河上本「能」作「以」七

潭本「以」作「能」皆其例也。 十八章『其無以易之』景福本「以」作「能」**賈子恩遠篇『此天下之所以長久也」如是・**

「以」循「可」也「以」訓可」。

孟子滕文篇『今一見之大則以王小則以霸』

論語雅也篇「原思爲之宰與之栗九百辭子曰毋以與**爾鄰里鄉黨乎」**同義·

詩猗嗟篇「以禦亂兮」

一个有「使」也「使」亦即「以」·五見「使」字條·

戰國策秦策『冷向謂秦王曰「向欲以齊事王猶使也」・ 使攻宋也 」』也・戰國策秦策:

詩谷風篇「涇以渭濁,

書君與篇『我不以後人迷』

召誥篇『 其 惟王勿以小民淫用非彝」

多方篇『乃惟以爾多方之義民不克永於多享』篇:「萬邦黎獻」,今文作「萬邦黎儀」,「黎儀」即「黎民」也多方篇『乃惟以爾多方之義民,克永於多享』篇:「義民」獨言「黎儀」,謂「黎民」也,(義儀古字通)曹皋陶謨

炳厳散・

孟子公孫丑篇「管仲以其君霸晏子以其君顯。

管子水地篇『可以取魚鼈』「以」作「使」·是以意吹·管子水地篇』可以取魚鼈』「以」作「使」·是以意吹·

「以」猶「有」也唐韻正)故「以」可則「有」・(既見

央越春秋王僚使公子光傳了季札使還至吳闔閭以位讓季札曰「苟前君無廢社稷以奉君也吾 與越春秋王僚使公子光傳了季札使還至吳闔閭以位讓季札曰「苟前君無廢社稷以奉君也吾

怨乎」」史記吳世家作『社稷有奉。

漢書 莫敬傳『呂后泣曰「妾惟以一太子一女與膂元公主」、義與此同・ 奈何棄之匈奴 -

韓 非子內 儲說 上篇「立以間「立有間」・是以意改 無以詔之。訓「有」・不

古哥虛字集釋 卷一 B 以 E 似 矣

管子治國篇『今也倉廩 虚而 比 無積農夫以鬻子者上無術以均之也」则[有]・

楚辭九辯篇『君之門以九重』

莊子達生篇『不厭其天不忽於人民幾乎以其眞』

孟子公孫丑篇『思以一毫挫於人若撻之於市朝』

戦國策楚策 一个楚國 雖小絕長 續短猶以數千里豈特百里哉」

國語魯語『無日以怠』

史記周勃世家『處奪位以寵』

春秋繁露同類相動篇『軍之所處以棘楚』

相生篇 『司寇尚 禮君臣有法 位長幼有序朝廷有虧鄉黨以齒』爲五文・

風俗通義過譽篇『貢士恩義經傳無以也』

五行

買子修政 以政而與之以義然後能以勝也凡有攻心者必結之以約而論之以信然後能以得也凡有守心子修政語篇『故諸侯凡有治心者必修之以道而與之以敬然後能以成也凡有戰心者必修之 語篇 心者必修之以道而與之以敬然後能以成 也; 戰心者

者, 必固之以和 而諭之以愛然後能有成也」能有」也,互文耳,

字或作「已」

管子大匡篇『鮑 叔謂 2管仲日二 國死者衆矣無乃害乎」 管仲日「安得已然」」

史記魏其武安侯傅『已然諾』然諸也· 曾灌大有

書君與篇『君已日時我』之「時」同義· 謂視察也·

以一循「其」也「其」亦」訓「以」,互見「其」字條

史記項羽紀『項伯乃夜馳之沛公軍私見張良具告以事:: 漢書高帝紀作「 夜馳見張良具告其

實』意略同・

禮記 Ŧ 再不朝則削其地」・句例同此・孟子告子篇・『一不朝則貶其爵・ 制篇「山川 神 **祇有不舉者爲不敬不敬者君削以地宗廟有不順者爲不孝不**, 說苑修文篇作『 山川 神祇, 有不舉者爲不敬不敬者君黜以 孝 者 君黜其

宗廟有不順者為不孝不孝者君削其地 』為五文・

『不得與於祭者有讓削以地得與於祭者有慶益以地』說苑修文篇「 以」皆作「其」

古書虛字集釋卷一 日以已似矣

「大夫君子凡以庶士」 厥庶氏」也· ,獨書洪範言「凡

叉:

衡逢遇篇『才高行潔不可保以必尊貴能薄操濁不可保以必卑賤』

文例同此・可信其必負践」・

十十三章『放貴以身為天下若可寄天下愛以身為天下若可託天下』「乃」也::

管子·侈靡篇『如以予人財者不如無奪時如以予人食者不如毋奪其事。

墨子尚賢篇下「是以使百姓皆攸心解體同悠·忽也」·沮以爲善」顺「其」·

春秋繁露精華篇『以所任賢謂之主尊國安所任非其人謂之主卑國危。

呂氏春秋本生篇『非夸以名也爲其實也』互文耳.

楚辭遠遊篇『騎膠萬以襍亂兮」—作其J·

思美人篇佩繽紛以繚繞兮』「時線紛其變易兮」,句例同此,思美人篇佩繽紛以繚繞兮』「時線紛其變易兮」,句例同此,

以」循「之」也「以」で」の関い、五見「之」字條・

一同口語之「的」

必保其必富貴・智事徳郡命禄篇・『是故才高行厚

未未

楚辭離騷爲『依前斣以節中兮』文選作『依前舉之節中兮』

墾子尙賢篇中『今王公大人亦欲效人以尙賢使能爲政高予之虧而祿不從也」。

戦國策趙策「騰桑以謀計必出於是」「應」也・

管子 地員 篇『 不 若 三 土 以 十 分 之 二 』」・按尹氏以「不若三土」為句・「以十分之二」為句・非是・當以「不若管子 地員 篇『 不 若 三 土 以 十 分 之 二 』) 即注日・『三土・謂五粟・五沃・五位・言於三土十分・巳 不如其二分 ·「以」亦「之」也是五五五年·

孟子告子篇『今亦九尺四寸以長』

韓非子解老篇『衆人之爲禮也以尊他人也故時勸時衰君子以爲禮禮」也,互文耳,以爲其身故韓非子解老篇『衆人之爲禮也以尊他以尊他人也故時勸時衰君子以爲禮』亦「之爲以爲之爲,以爲禮」亦「之爲

身之爲上禮」

爲指事之詞:

漢書酷吏傳『以刀筆吏和遷至御史事張湯湯素稱以為廉武張湯素稱尹齊為廉武也· 使督盜賊』

茲從讀書標志校删・ 「億」上舊符「帝」字・

古書處字集釋卷一 目以已似

矣

晏子春秋襍篇: 『龍以百萬以富其家』說苑臣術篇「龍以」作「龍之」之」・按「以」典「之」同義・『龍以百萬以富其家』說苑臣術篇「龍以」作「龍之」。 親青標志哨「龍以」當作「龍

攺 ·

墨子非命篇中『於其本之也考之天鬼之志聖王之事於其原之也徵以先王之書』也·何

史記秦本紀『是以君子爲國訓「之」・ 觀之上古驗之當世參以人事』賈子過秦篇下作『參之史記秦本紀『是以君子爲國訓「之」・ 觀之上古驗之當世參以人事』賈子過秦篇下作『參之

人 事。 一

此上二例皆「以」與「之」爲互文

「以」循「所」也也「以」做」聲之轉・

淮南子說林篇「足以蹇者淺矣」文子上傷篇作「足所踐者淺」同義:

賈子等齊篇『近習乎形貌然後能識則疏遠無所放衆庶無以期則下惡能不疑其上』 晏子春秋問篇『不阿以私不誣所能次也』[以]與[所]為互文·不必改· 。 讀書雜志謂[以]當作[所]·按

此上二例皆一以」與「所」爲互文。

管子法法篇**『**故刻奪祿థ無以不受也勢利官大無以不從也以此事君不訓所』·此所謂 評能篡

c

利之臣也」

字或作「已」

書立政篇『予旦已受人之徽言咸告孺子王矣』

「以」猶「惟」也「以」が正見「惟」字條・

太平御覽三百八十三引新序『啓期曰「吾有三樂天生萬物以人爲貴……」」列子天瑞篇作太平御覽三百八十三引新序『啓期曰「吾有三樂天生萬物以人爲貴……」」列子天瑞篇作

『唯人爲貴』「惟」同・

戰國策齊策『君家所寡有者以義耳』

史記自序『不流世俗不爭勢利上下無所凝滯人莫之害以道之用』言惟道是用也・

韓世家『彼韓急則將變而他從以未急故復來爾』:

以一猶「是」也是是於一

論衡非韓篇『太公殺無辜韓子是之以韓子之術殺無辜也·····太公之術致刧殺之法也韓子善論衡非韓篇『太公殺無辜韓子是之以韓子之術殺無辜也·····太公之術致刧殺之法也韓子善

之是韓子之術亦危亡也』爲五文・

古書虛字集釋 卷一 目以已似矣

新序義勇篇『王子問日「吾聞辭天下者非輕其利也以明其傷也不爲諸侯非惡其位也以潔其

行也。

淮南子主術篇「無爲者非謂其疑滯而不動也以言其莫從己出也」茲從讀書襟志說乙轉:

春秋繁露堯舜不擅移楊武不專殺篇「且天之生民非爲王也而天立王以爲民也。

君書賞刑篇『非求傷民也以禁姦止過也』

此 上四 例皆「以」與「非」爲對文可證「以」與「是」同義。

史記鑑策傳『元王見而怪之問衞平曰「龜見寡人延頸而前以何望也縮頸而復是何當也」」

淮南子地形篇『凡八極之雲是雨天下八門之風是節寒暑八紘八澤之雲以雨九州而和中土」

此上二例皆「以」與「是」爲互文。

「以」猶「自」也「以」,正見」自」字條,

猶夫論遏利篇『自古于今「及」也·上以天子下至庶人蔑有好利而不亡者好錢而不彰者也。

以一循「何」也點

詩采愍篇『于以采蘩于沼于沚于以用之**公侯之事』** 用之乎・於公侯之宮・祭事・夫人當薦之也」・是孔氏以「往何處」三字解經文之「于以」二字・惟「于」當訓「於」・孔實製於孔氏正義・(孔氏正義云・「言夫人往何處采此繁菜乎・於沼池於渚沚之傍采之也・既采之爲难・夫人往何處 (戦見[台]字條)故「以」亦訓何・其說甚韙・然其意見詞詮引・按楊君謂「以」與「台」通・「台」訓「何」・

「在」・失之)・氏從箋說訓

字或作「矣」「矣」前「何」・亦「台」を借音字

列子仲尼篇『此道不行一國與當年其如天下與來世矣**』**

「以」猶「又」也成以可訓又一

淮南子人間篇『冬間無事以伐林而積之』是以aby·

左傳成十六年『舊不必良以犯天忌』

晏子春秋諫篇『君之魂魄亡矣以誰與圖霸哉』

字或作「已」

世說「吾時月不見黃叔度則鄙客之心已復生矣」

又『嵇阮山劉在竹林酣飲王戎後往步兵曰「俗物已復來敗人意」」:

古者,虚字集平符卷一 目以。似日,矣

E 矣

此上二例說並見助字辨略。

「以」循「亦」也「亦」亦即「以」,互見「亦」字條・

孟子滕文篇『不以泰乎』論衡刺孟篇引「以」作「亦」。

管子四稱篇『仲父不當 滋語我昔者有道之臣乎吾以鑒焉』「吾亦豐爲」·是其義也·管子四稱篇『仲父不當 滋語我昔者有道之臣乎吾以鑒焉』「以」·「亦」也·下文凡四言

史記孝文紀『丞相平等皆曰「臣伏計之大王奉高帝宗廟最宜称雖天下諸侯萬民以爲宜」。

相推承・(說詳「雖」字條)爲文法中之常例・此文則用「以」爲「亦」耳・「爲」・「謂」也・言雖天下諸侯萬民亦謂宜也・上下文以「雖」「亦」二字

韓非子難二篇『 荆燕世家贊『故劉賈雖屬疎然以策爲王』也・「而」 管仲非周公旦以明矣』亦明矣」·文例同此·

墨子天志篇下『「天亦縱棄紂而不葆」太智師・,此句是引 察天以縱樂紂而不葆者反天之意也」「亦」為

字或作「已」

左傳宣十一年『牽牛以踐者信有罪矣而奪之牛罰已重矣』淮南子人間篇作「罰亦重矣」

漢書司馬相如傳贊『不已戲乎』乎哉」・(見顏注引)

韓 非子問田篇『楚不用吳起而削亂秦行商君而當强二子之言已當矣」

難二篇『桓公不知臣欺主與不欺主已明矣』:

墨子尙賢篇中『故雖昔者三代暴王桀紂幽厲之所以失損其國家茲從讀書雜志校覧・墨子尙賢篇中『故雖昔者三代暴王桀紂幽厲之所以失損其國家茲從讀書雜志校覧・ 法言孝至篇『或曰「食如螘衣如華朱輪駟馬金朱煌煌無已泰乎」』「不」也::

傾覆其社稷

者已此故也』猶此也」・文例與此同・經傳釋詞謂「雖」爲語助・失之・,。

晏子春秋諫篇『狗馬保妾不已厚乎民氓百姓不亦薄乎』爲五叉:。。?

以以 孟子告子篇『「旣醉以酒旣飽以德」言飽乎仁義也』『以』爲『乎』也・」猶「乎」也「夫」 也句中之助詞也

荀子王霸篇『及以燕趙起而攻之若振槁然』

論衡案書篇『墨家薄葬右鬼道乖相反違其實宜以難從也』「宜乎」:

晏子春秋問篇『詩曰「芃芃棫樸薪之槱之濟濟辟王左右趨之」此言古者聖王明君之使以養。

古書虛字集釋卷一 日以 巳 似 矣

三五

三六

也」「使夫」・

荀子堯問篇『君子好以道德故其民歸道』

管子兵法篇了五教各習而士負以勇矣』下例同· 。「頁」「任荷」也·

法禁篇「廢上之法禁者必負以恥」

淮南子人間篇「故師之所處生以荆棘」

秦族篇『窮谷之**汗生以青苔**』

按「以」爲語助之「夫」故離騷『厥首用夫頗隕」王注曰「夫一作以」

「以」語助也。

莊子在宥篇「故貴以身於爲天下則可以託天下愛以身於爲天下·「爲」·「治」也·女子上仁篤作「貴莊子在宥篇「故貴以身於爲天下則」。

·所以託天下』・此「爲」當訓「治」之版・則可以寄天下」二「於」字皆訓「爲」・失之・以身治天下・可以寄天下・愛以身治天下。 ◎ 經傳釋調謂二「爲」字皆衍文・ 老子十三章作『

若可寄天下……若可託天下」凡言「可以」者做此。

列子說符篇「此懸水四十仞園流九十里魚鼈不敢過黿蟲不敢居意者難可以濟乎」說苑**襟**言

「已」「旣」也。

字或作「以」 戰國策秦策一了此固已無伯王之道一矣」韓非子初見秦篇作『此固以失霸王之道一矣」

『田元禽』・无・失也・曹田獵不得禽也・「無」與「失」同義・字亦作「无」・易恆九四・

「已」「太」也。

孟子雕婁扁『仲尼不爲已甚者』

字或作「以」

左傳文五年『嬴曰「以剛」

古書虚字集釋 卷一 巴以

一段調・機関・

ヨセ

已一「此」也雅

史記夏本紀『近可遠在已」書皋陶謨篇作『邇可遠在茲』也·說見詞詮·史記夏本紀『近可遠在已』書皋陶謨篇作『邇可遠在茲』也·說見詞詮·

論語陽貨篇「不有博奕者乎爲之猶賢乎已』指上文『饱食終日無所用心』而言論語陽貨篇「不有博奕者乎爲之猶賢乎已』指上文『饱食終日無所用心』而言

字或作一

論語憲問篇『以告者過也』詞詮

淮南子俶填篇『故詩云「采采卷耳不盈頃箧嗟我懷人寘彼周行」以言慕遠世也』篇:「詩日淮南子俶真:

上明而下化也」、文例與此同・「明明在下、赫赫在上」、此言

荀子堯問篇『周公曰「嗚呼以人惡爲美德乎」』爲·有也· "思·如此,」。

「已」猶「也」也是是情也」

戰國策秦策『此亦淖齒李兌之類已』史記范睢傳「已」作「也」。

史記越世家『若初欲分吳國半予我我不受已』伍子胥傳作『我顧不敢望也』「則」也 「嘅」・

列子說符篇『故至言去言至爲無功夫淺知之所爭者末矣白公不得已遂死於浴室」淮南子道,

應篇作「白公不得也故死於浴室」

孟子梁惠王篇『國君進賢如不得已將使卑踰尊疏踰戚可不慎與』「將」・「則」也・

莊子齊物論篇了因是已····亦因是也」為至文·

荀子正論篇「此五綦者亦以人之情爲不欲乎曰人之情欲是已」。

呂氏春秋執一篇『是吾所以加於子之上已』。

「已」猶「矣」也言·與「矣」同

史記魏世家『夫韓亡之後兵出之日非魏無攻巳』戰國策魏策「已」作「矣」。。。

漢書張良傳『後十年與十三年孺子見我濟北穀城下黃石卽我已』史記留侯世家「已」作「漢書張良傳『後十年與十三年孺子見我濟北穀城下黃石卽我已』史記留侯世家「已」作「

老子二章『天下皆知美之爲美斯惡已皆知善之爲善斯不善已』文子微明篇作『斯不善矣』 :

墨子尙賢篇『旣可得而知已』非攻篇中『旣可得而知矣』 古書虛字集釋 卷一 巳 以

U

論語學而篇「始可與言詩已矣」言之則曰「已矣」・

字或作「以」

史記禮書『步驟馳騁厲騖不外是以』從讀書襟志校改· 荀子禮論篇作『不外是矣』史記禮書『步驟馳騁厲騖不外是以』從讀書襟志校改· 荀子禮論篇作『不外是矣』

戰國策楚策「夫蜻蛉其小者也黃雀因是以」前謂作「已」者是,按「以」「已」古字通,「以」「已」皆訓「矣」,戰國策楚策「夫蜻蛉其小者也黃雀因是已」,經傳釋

者為舊・王武未允。國策用字多僻・當以作「以」

「已」猶「乎」也^{顯而之}

莊子列御寇篇「若是則汝何爲鶩已」

徐无鬼篇『閩不亦問是已「何」也・奚惑然爲』並若是小丈夫然散」)・亦猶云「乎哉」・徐无鬼篇『閩不亦問是已「何」也・奚惑然爲』並若是小丈夫然散」・(孟子公孫並篤・『予

「己」猶「夫」也^{驗數之}

史記孔子世家「今又遇難於此命也已」 ?~

一英一門・七其既甚雄・「唉」從「矣」聲・古青本興「已」同也大一門・也」訓見經傳釋調・調詮謂古言「已」與今言「唉」同

曹大誥篇『已予惟小子」詞引・

四〇

「已」命令之詞助也。 戰國策楚策四「春申君日「先生置之勿復言已」」

「已」「然」也歌奏之

莊子知北遊篇『寥已吾志』 虚寂者吾之志」· 在子知北遊篇『寥日吾志』 虚寂者吾之志』·

迁

詩崧高篇『謝于誠歸』歸子谢也·既見鄭邁·「于」「於」也。

公羊傳昭十七年**「其**言于大辰何在大辰也」「子」字·釋

古書處字集釋 卷一 于开

「于」循「爲」也訓見經傳釋詞・

詩定之方中篇『作于楚宮』詞引·

詩七月篇『三之日于耜』

「于」猶「爲」也則見經傳釋詞・ 一助 也。

孟子萬章篇『惟茲臣庶女其于予治』詞引・

「于」猶「與」也 問題 傳

書 康 語 篇 「 告 女 德 之 設 于 罰 之 行 。

多方篇『不克敬于和』

此上二例並見經傳釋詞引。

呂刑篇『罔中于信』也・說並見華經平議・四川等ののでは、「中」讀爲「忠」・「子」・「與」

詩板篇『不實于夏』「誠」也・

鳧鷲篇『鳧鷲在涼公尸來燕來宗旣燕子宗福祿攸降』「熊」·討文·「俫·樂也」·

四二

漢書章賢傳「築室于牆」

于一猶「如」也翻記經傳

一爲「如似」之義:

易繫辭傳『易曰「介于石不終日貞吉」介如石焉寧用終日斷可識矣」、既見經傳釋詞、白虎通

諫諍篇引「介于石」作「介如石」

書程展 篇 『乃不 畏 戎 毒 「于遠 通 惰 農 自 安 』 「于 」者・「若」「于 」 音 则「如 」 同義・變文以 論復 耳・奮以 「乃不書 程序 第二 , 」 按此 與 上文 『若農服田力 簡』・皆 取譬之語・或言 「若」 或言

農自安」為句・失之・畏戎毐于遠邇」の句・「惰

一爲「如或」之義

洪龍篇『于其無好茲從經義述聞說酬·女雖錫之福其作女用咎』也「用」「以」也・

于一循「有」也學之物一

爲「有無」之「有」 書康誥篇『惟命不于常』詞從褚少孫說訓「子」爲「爲」・失之・書康誥篇『惟命不于常』詞從褚少孫說訓「子」爲「爲」・文意同此・程傳釋

管子輕重下篇『管仲問於桓公敢問齊方于幾何里**」**

詩載見篇了俾緝熙于純假」也·時言「純嘏」皆同此· [編]·「大」也·「嘏」·「福」

儀禮士冠禮『爱字孔嘉髦士攸宜宜之于假也·(說見經義述聞)書宜於有福也·永受保之」。。

逸周書皇門篇「譬若衆畋常扶予險乃而予于濟」「能」・

史記孝文紀『朕旣不敏常畏過行以羞先帝之遺德惟年之永長懼于不終』「於」亦有」也・史記孝文紀『朕旣不敏常畏過行以羞先帝之遺德惟年之永長懼于不終』「於」亦有」也・

爲「語助詞」之「有」

墨子非命篇上引書仲虺之告「我聞于夏」非命篇下作「我聞有夏」為語助詞:

逸周書度邑篇『惟天不享于殷……天不享于殷』史記周本紀「殷」上皆無「于」字。

書康誥篇『殺越人于貨』独取也」・「于」、猶「取」也「有・取也」)・「于」「有」古字通用・(廣雅

詩七月篇『畫爾于茅「而」也・……一之日于貉」書房部篇『発起ノニ貨』發取せ」・

「于」

循「以」

也辨略・

四四四

左傳宣十二年『楚自克庸以來其君無日不討國人而訓之于民生之不易禍至之無日戒懼之不

可以怠在軍無日不討軍實而申儆之于勝之不可保紂之百克而卒無後訓之以若敖蚡冒篳蜂可以怠,

藍縷以啓山林』略引・舞

歷告爾·白姓于朕志……予告女子難……今我旣羞告爾于朕志」引·

大誥篇『予惟以爾庶邦于伐殷逋播臣』「與」也·

逸周書呈門篇『 維其開告子子嘉德之說」茲從讀書模志說致·

詩谷風篇『比予于毒』「及」也・

燕燕篇「遠于將之」

左傳襄三十年『於是游吉如晉還開難不人復命于介』命也・

襄四年『恩弄其民而虞羿于田』「殲」也・「田」・

儀 |禮特性體食禮『盛兩敦陳于西堂訓『於』·籍于崔』『古文用爲于』·故知古文作「藉于崔」· |神特性體食禮『盛兩敦陳于西堂訓『於』·籍于崔』『古文用爲于』·故知古文作「藉于崔」·

于一个一是一也調見經傳

古書席字集釋 卷一 于 汙

古書處字集釋

詩出車篇: 『猴狁于襄……猴狁于夷』詞引・

雲漢篇『先祖于推』原也・敗

東門之粉篇『穀日子差……穀日子逝」搓魚」之「篋」・言舞不止也

酒夫論遏利篇『自古子今上以天子下至庶人「自」也· 蔑有好利而不亡者好義而不彰者也」「于 」 猶 「 及 」 也 「 至 」 也

詩東山篇『自我不見于今三年**』**

「于」猶「比」也。

孟子滕文篇『殺伐用張于湯有光』

「于」猶「而」也「子」,正見「而」字條, 墨子節用篇上「聖人既沒于民次也」讀爲恋」:

詩泮水篇『無小無大從公于邁』也· 問注·行

小旻篇『如彼築室于道謀,

四水

史記殷本紀『常祀毋豐于棄道」

文子道原篇『原人之性無邪穢久湛于物卽易易而忘其本卽合于若性』嗎而]•文子道原篇『原人之性無邪穢久湛于物卽易易而忘其本卽合于若性』嗎[而]•

字或作「汗」成與「子」同・

孟子公孫丑篇『宰我子貢有若智足以知聖人汙不至阿其所好』

也。

詩江漢篇『于疆于理』文義同此· 「于」猶「乃」也

漢書韋玄成 「傅『嗟我小子于貮其尤**」**

于一獨「其」 一山。訓児助学

曹金縢篇『于後公乃為詩以貽王』略引·

潛夫論五德志篇: 『浞行媚于內施賂于外愚弄于民虞羿于田』左傅襄四年作「愚弄其民」

孟子滕、篇了 則取于殘」 |而巳矣」

文子符言篇『中心其恬不累于德』為五文・

古書虛字集釋 卷一 于行

于符

管子立政篇『五卿之關途于鄉官致于鄉屬及于游宗皆受憲」剛於」·

于一个一之一也是到这一

詩 真 章 篇 『 黃鳥 于 飛 』之飛」·文例同此·

無衣篇『王子與師』

六月篇『王于出征』

此上三例經傳釋詞皆訓「于」爲「聿」未允。

桃 夭 篇 『 之 子 于 歸 』 篤言「之子歸」・無「子」字・墨子明鬼篇曰・「當是之時」・又曰・「當是時」・此省去「之」字桃 夭 篇 『 之 子 于 歸 』 篤言「之子茂遠」・句例同此・按「子」訓「之」・奥口語「的」字同義・可省去・故江有犯

也之・例

君子于役篇「君子于役」

車攻篇『之子于征』

易明夷『君子于行』

逸周書度邑篇「日夜勞來定我于西土」

四入

「于」猶「焉」也「母」亦訓子」,互見「母」字條。

荀子富國篇『使天下生民之屬皆知己之所願欲之舉在是于也放其賞行皆知己之所畏之舉在::

是于也故其罰威

「于」「乎」也。

呂氏春秋審應篇『然則先生聖于』見經台釋詞引・

「于」語助也。

呂氏春秋愼大篇『今趙氏之德行無所于積』淮南子道應篇作『無所積』

逸周書世俘篇『王乃步自于周征伐商王約』自周』,義與此同,

曹大語篇『子曷其極ト「亟」・壓也・敢弗于從』字・無之者・古人語愈省去也・曹大語篇『子曷其極ト「極」讀為 〇? 曹「敢弗近乎」,從下本當有「乎」

於于

古書虛字集釋 卷一 於 于

于

於」「于」也。

左傳昭十九年『諺所謂室於怒市於色者楚之謂矣』 市也・按王武甚遇・韓策云・『怒於塞者色於市』・極傳釋詞謂「於」字是在句中倒用・謂怒於塞而色於

字則順用・「於」

於」「在」也期賢篇注:

說苑立節篇『義者軒冕在前非義弗乘斧鉞於後義死不避』爲五文:

於」猶「爲」 世に調見極傳

大戴禮會子本孝篇『如此而成於孝子也』 制料の

老子十三章『衣養萬物而不爲主同・「愛」也・ 常無欲可名於小萬物歸爲而不爲主可名爲大」

為互文・

韓詩外傳十『君子溫儉以求於仁恭讓以求於禮』後禮』・鄭注曰・『役之言爲也』・文義與此同・韓詩外傳:『君子溫儉以求於仁恭讓以求於禮』後禮』・鄭注曰・『役之言爲也』・文義與此同・韓謀以求

孟 子告子篇『此又與於不仁之甚者也』「助」也

淮南子氾論篇『故炎帝於火死而爲竈』火」・「作」亦「爲」也・

五〇

「於」猶「以」也能見

韓非子解老篇『慈於戰則勝』老子「於」作「以」

戰國策燕策『薊邱之植植於汝皇』同・

此上二例並見詞詮引。

漢書禮樂志『況於聖主廣被之資』與「以」同義,非字之誤,

列女傳仁智傳『仁而有智敬於事上』

逸周曹祭公解篇「付俾於四方」「畀」·

商君菁壹言篇『今世主皆欲治民而助之於亂』本・

淮南子修務為『聖人見是非若白黑之於目辨淸濁之於耳聽』

國語越語『而齊厲之於義』。。

漢書疏廣傳『太子國儲副君師友必於天下英俊』

易弊辭傳「於稽其類」

古書 處字集釋卷一 於于

莊子秋水篇『井魚不可以語於海者拘於虛也**夏蟲**不可以語於冰者篤於時也曲士不可語於道莊子秋水篇『井魚不可以語於海者拘於虛也**夏蟲**不可以語於冰者篤於時也曲士不可語於道

者東於教也』「語於」曾即

孝經三才章『是故先之以博愛而民莫遺其親陳之於道義而民與行先之以敬讓而民不爭導之:

以禮樂而民和睦示之以好惡而民知禁」

禮記禮運篇『爲義而不講之以學猶種而弗耨也講之於學而不合之以仁猶耨而弗穫也』:

莊子天運篇「吾又次之以怠怠故遁卒之於惑惑故患。 。

淮南子齊俗篇『治欲者不以欲以性治性者不於性以德治德者不以德以道』文子上德篇「於」

作一以。

此上三例皆「於」與「以」爲互文。

於一猶「如」也訓見經傳

爲「如似」

左傳昭三年『今嬖寵之喪不敢擇位而數於守適』同:「適」與「嫜」

戰國策燕策『且非獨於此也』

此上二例並見經傳釋詞引。

春秋繁露楚莊王篇『昭公雖逢此時苟不取问姓距至於是雖取问姓能用孔子自輔亦不至如是]。

說苑正諫篇『必若所欲爲危如重卵難於上天**變所欲爲易於反掌安於泰山』**。。;

此上二例皆「於」與「如」爲互文。

禮記檀弓篇『使西河之民疑女於夫子』也:「女」:謂子夏:此」:「佟皆一方」 身一女」為正文

新序襍事篇『桓公所以九合諸侯一匡天下者遇士於是也。

善謀篇『臣聞高皇帝嘗園於平城匈奴至而投鞍高於城者數所』漢書韓長孺傳「於」作「如」善。

爲「如何」之「如」「風寒「奈」

孟子萬章篇『父母之不我愛於我何哉』何哉」文例同此・孟子萬章篇『父母之不我愛於我何哉』何哉」、文惠王篇・『君如彼

於」猶「與」也既「於」字條・

禮記檀弓篇『其變而之吉祭也比至於耐必於是日也接』與卒哭之日相接也・禮記檀弓篇『其變而之吉祭也比至於耐必於是日也接』與卒哭之日相接也・言必

古書處字集釋卷一 於于

五四

孟子滕文篇「 御者且羞於射者比」

漢書杜欽傳「 況將軍之於主上主上之與將軍哉』五文耳:

此上三例並見經義述聞通說引.

左傳昭二十年『不爲利疚於回』也:「邪」

國語楚語上『莊公既以夏氏之室賜申公巫臣則又畀之子反卒於襄老。

「於」猶「 而

韓詩外傳四『汝淮以爲險江漢以爲池緣之以方城限之以鄧林然秦師至於鄢郢舉若振稿然。 •

荀子議兵篇作『然而秦師至而鄢郢舉者振槁然』

戰國策燕策『且世有薄於故厚施行有失而故惠用』非是·按[於]與[而]爲五文·戰國策燕策『且世有薄於故厚施行有失而故惠用』非是·數本如是·鮑本吹[於]爲[而]

淮南子 人間篇 — 人能由昭昭於冥冥則幾於道矣」

荀子王霸篇「桀紂即厚於有天下之勢索爲匹夫不可得也」奮爲作「序」,茲從讀書機志說改,荀子王霸篇「桀紂即厚於有天下之勢索爲匹夫不可得也」奮爲作「序」,故此[即]字條,「厚」

列女傳仁智傳『魏哀王使使者爲太子納妃而美王將自納曲沃負謂其子如耳曰「王飢於無別**,**

汝胡不匡之一

呂氏春秋謹聽篇「若此則幸於得之矣」

白虎通災變為『日食大水則鼓於用性於社』即「一」・

「於」循「則」 也。

韓非子八說篇『法明則內無變亂之患計得於外無死廣之禍』今本改「於」爲「則」韓非子八說篇『法明則內無變亂之患計得於外無死廣之禍。「於」與「則」爲互文 失之・

「於」猶「即」 也。

戰國策秦策五『趙王曰「卿不遠趙而悉敎以國事願於因計」

過程型はして因

曹堯典篇『協和萬邦黎民於變時雅』「而」也

「於」猶「其」也指事之詞也「於」,互見其字條,

淮南子原道篇『已雕 已琢還反於璞』韓非子外儲說左篇作『 既雕既琢還反其璞。

自參 孝其親天下願以爲子子胥忠於君天下願以爲臣。 』秦策一『昔者子胥忠

古書處字集釋 卷一 於 于

戰

國策秦策五

其 君天下皆欲以爲臣』爲互文·

漢背 「酷吏傳了」 言道德者溺於職矣』史記酷史傳「於」作「其」

呂氏春秋疑似篇『丈人智惑於似其子者而殺於眞子』 作「殺其眞子」・是以意改・下「於」字訓「其」・文選注引

戰國 策趙策「 成歧不足以易於位重利不足以**變**其 心。

說苑反質篇「是謂伐其根素流於枝葉。

韓 非子飾邪篇了 故恃鬼 神者 慢於法特諸侯者危其。, 図。

賈子修政語篇「治國之道上忠於主·字即作「其」· 而 中敬其士而下愛其民」

奉書 治要引尸子明堂篇『不出於戶而知天下不下其堂而治四方。

此 上六例「於」皆與「其」 爲互文。

韓 非子五蠹篇 故民稱於勇而 吏不 能 勝 也。

儲 說 左篇: 况武子之生也不 利於家死不託於孤』惟本・

驒 國策楚策『攻大者易危而民獘者怨於上』

說苑換言篇『崇侯虎順紂之心欲以合於意』

荀子哀公篇『行中規矩而不傷於本言足法於天下而不傷於身』訓[于]・***

史記周本紀『布合陳辭而又不至則增修於德無勤民於遠』訓[共]·史記周本紀『布合陳辭而又不至則增修於德無勤民於遠』訓[共]字

淮南子氾論篇『及其為天子三公而立為諸侯賢相乃始信於異衆也』奚伊尹太公寓戚書・淮南子氾論篇『及其為天子三公而立為諸侯賢相乃始信於異衆也』奚伊尹太公寓戚書・指百里

左傳昭十一年『唯蔡於威』訓「於」為「之」・失之・一於」猶「是」也「予」訓[是」也・獨與「險」同・程專釋調「於」猶「是」也「於」訓[是」・猶

孟子雕婁篇『寇至則先去以爲民望寇退則反殆於不可」

管子形勢篇『常以言翹明 其與人也其愛人也其有德於人也以此爲友則不親以此爲交則不結,

以此有德於 人則不報故曰「 見與之友幾於不親見愛之交幾於不結見施之德幾於不報」

訓「則」・武二「蔑」字條・「蔑於」皆即「則是」・「淺」

於一猶「有」也。「於」訓「有」獨「子」

非子解老篇『無功則生於德』非是·王先愼從今本作「有」·失之· 。。 藏本乾道本張本·曾如是·今本改「於」爲「有」·

古青虛字集釋 於 于

五 4

五八

古書虛字集釋 卷一 於

史記五帝紀『普施利物不於其身』

秦本紀「夫獎夏之主貴爲天子親處窮苦之實以徇百姓尙何於法」

「於」循「比」也「於」則比」也

墨子耕柱篇『鬼神之明智於聖人猶聰耳明目之與聾瞽也」「比」也

左傳昭二十年『梁邱據與裔款言於公曰「吾事鬼神豐、於先君有加矣」」即「此」・

史記周本紀『為王計者周於秦因善之不於秦亦言善之』略引:「於」猶「從」也「從」、猶「與」訓「從」也・

墨子非儒篇『孔子爲魯司寇舍公家而於季孫』爲「奉」、失之、

「於」「居」也觀

荀子儒效篇『隱於窮閻附室』韓詩外傳「於」作「居」

字或作「于」

詩小弁篇『我獨于罹』交篇:『我獨居堂」・文義同此・詩小弁篇』 我獨于罹』 突蓋云・『罹・憂也』・按十月之

於一猶一當

孟于萬章篇『孔子曰一於斯時也天下殆哉岌岌乎」』韓非子忠孝篇引作『當是時也』。:

漢皆楊雄傳贊『於時人皆智之』「恕」同

字或作「于」

史記季布欒市傳『于今制夷未瘳』

「於」猶「謂」也「與訓頭」也

穀梁傳莊二十八年『「大無麥禾」大者有顧之辭也於無禾及無麥也」

墨子貴義篇「爭一言以相殺是貴義於其身也』身」、是以意改、「於」「大」也」「于與「於」同。「甚」也之好樂甚」、趙注曰、「甚、大也」、「大」與「甚」同義、故孟子粲惠王篇、「王

耕柱寫了巫馬子謂子墨子曰「我與子異 讓本· 我鄉人於魯人愛我家人於鄉人愛我親於家人愛我身於吾親以爲近我也」」 我不能兼愛我愛鄒人於越人愛魯人於鄒人愛

於 -猶「之」 世訓見經傳

古書虚字集釋 於 于

左傳昭四年『亡於不暇又何能濟 __

韓非子安危篇『三日利人之所害; 四日樂人之所禍五 日危人於所安』 本據 ・乾道

六反篇『親以厚愛關子於安利而不聽君以無愛求民之死力而令行。

此上二例皆「於」與「之」爲互文。

潛夫論賢難篇『齊侯之所以奪國魯公之所以放逐皆敗績壓覆於不暇而用及治乎』,「何」也:

於」猶「乎」也「於」,正是子字條·

淮南子原道篇「馳騁於天下之至堅」「於獨乎也」・

法言問道篇『聖人之言似於水火』

韓詩外傳二『吾望見吾子似於君子』君子』,文例同此,韓詩外傳二『吾望見吾子似於君子』君子』,文例同此,

論語先進篇『人不間於其父母昆弟之言』

孟子梁惠王篇『 王無異於百姓之以王爲愛也」或乎王之不智也」,文例同此,「無或乎」亦即「毋怪乎」,王無異於「即「毋怪乎」,(趙注曰「異,怪也」),告子に「無

怪也」)・「政

告子篇『日』異於、白馬之白也無以異於白人之白也』即「異乎」・独写「怪哉」・下「異於」之「異」為同告子篇『日』異於」(中国學問,如《中国》)

訓「乎」為語末助詞・故「於」亦訓「乎」為語末助詞・「子」、「学」之[異]・「於」訓「子」・又按「於」與「于」古字词・「子」

按「於」「乎」二字音近義同故古書多通用亦多互用孟子梁惠王篇『及陷於罪』滕文篇「於」

作「乎」公孫丑篇『老羸轉於溝壑』梁惠王篇作『老弱轉乎溝壑。 二盡心 篇 **—**7 同 乎流俗合

乎汙世』論衡引「乎」皆作「於」離婁篇「居下位而不獲於上」一節之「於」字禮記中, 庸篇皆作「乎」呂氏春秋孝行篇『五行不遂災及乎親』禮記祭義篇「乎」作「於」禮記

中庸篇『見乎蓍龜』釋文云『乎本作於』詩靜女篇『俟我於城隅』韓詩外傳引「於」作: 乎」易繫辭傳「言出乎身加乎民」說苑君道篇引「乎」皆作「於」莊子田子方篇:

乎禮義而陋於知人心……明乎禮義而陋乎知人心』 禮器篇『設祭於堂為祊乎外』韓非子主道篇: 此皆 **通用者也孟子公孫 江淮**

出於其

二明

下」荀子禮論 類拔乎其萃』 篇: 禮記 使欲必不窮乎物物必不屈於欲』論衡說日篇『日月星辰麗乎天百果草 _ 君無爲於上摹 臣悚懼乎

木麗於土』此皆互用者心。

古書虛字集釋 卷一 於 于

於」語助也^{訓見經傳}

一爲發聲助詞:

左傳定四年『於越入吳』等學』·

曹堯典篇『於予擊石拊石』

此上二例並見經傳釋詞引。

一爲句中助詞:

呂氏 春秋忠廉篇『衞懿公有臣曰弘演有所於使』

商君曹墾令篇「則辟淫游惰之民無所於食」。。

又「則姦謀無所於伏」:

莊子刻意篇『無所於忤虛之至也**』**

又『熊所於逆粹之至也』

於是一承上之詞也。

左傳傳二十五年『晉於是始啓南陽』

「於是」亦承上之詞猶言「 當是時

左傳隱四年『於是陳蔡方睦於衞』詞引·

昭三年『於片景公繁於刑有鬻踊者』 晏子春秋襍篇作『 當是時也公繁於刑有關踊者」

一一一

一欲」循「将」也所引之例・未及經傳・

史記陳丞相世家『且陛下卽問長安中 盗 |賊數君欲彊對邪

衞世家『而宜公見所欲爲太子婦者好說而自取之』

循東傳『欲令農士工女安所鸞其貨乎』同· 曾]與「魯」與「魯」與「魯」與「魯」與「魯」與「魯」

漢書東方朔傳『朱儒飽欲死臣朔飢欲死』。。

古 常 虛字 集釋卷 一 一 飲

欲」猶「有」也既有二

孟子梁惠王篇「天下之欲疾其君者。

說苑說叢篇「蠋欲類鯊輝欲類蛇」也·

潛夫為忠實篇『周公東征後世追思召公甘棠人不忍伐見愛如是豈欲私害之者哉」?

攸 迦 曲

了攸, 一「所」也雅

易解『无所往其來復吉「而」・也有攸往夙吉』五文耳・

書盤庚篇『女不憂朕心之攸困」語助嗣·失之· 。 《經傳釋詞謂「攸」為

大誥篇『予曷敢不于前寧人攸受休畢』敢不以前寧人所受之休美以終乎・

無逸篇『乃非民攸訓順』也・非天攸若』「順」也・魏石經「攸」皆作「所。。 「者」・

六四

此上二例經傳釋詞並訓「攸一爲「用」失之。

字或作「迪」之迪」·馬本「迪」作「攸」·

書召誥篇『天迪從子保也·「子」讀為「慈」······天迪格保』同·「所」也·此孫星衍說·書召誥篇『天迪從子保也·「從」讀為「縱」·「極」

字叉或作「繇」或作「由」

國語周語『我周之東遷晉鄭是依子頹之亂又鄭之繇定』史記作『又鄭之由定』 國語周語『我周之東遷晉鄭是依子頹之亂又鄭之繇定』史記作『又鄭之由定』

「攸」 一个 一是 一也(說群所字條)故「攸」亦訓「是」· 「他」與「所」同義·「所」訓[是]·

詩麥|蕭篇|『萬|編攸同 』・是也・訓見經傳釋詞・永與建同・聚也・戰見經義述聞)長發篇言『百祿是道』也・(道詩·麥蘭::

毛傳)・聚也・見

斯干篇『風雨攸除鳥鼠攸去君子攸芋也· 觀詳經義述與斯干篇『風雨攸除鳥鼠攸去君子攸芋也· 觀詳經義述與 君子攸躋……君子攸寧」君子所履

が[是]也・「所]

棫樸篇『髦士攸宜』

靈臺篇『塵鹿攸伏』

古書處字集釋 卷一 攸 迪 綵 由

綵 由

既醉篇『朋友攸

解篇: 戏醜

鳧緊篇『福記

楚炎篇『萬福攸酢』「報」也・

曹多土篇「亦惟爾多士攸服奔走臣我多遜」

大誥篇『予曷其不于前寧人圖功攸終』云:「圖功・大功也」

此上十例經傳釋詞 皆訓「攸」爲「用」失之。

洪範篇『予攸好德…… 四 曰攸好德」為語助·未允· 《標傳釋詞訓[攸]

逸周書芮良夫篇『治亂信乎其行惟王. 暨爾執政小子 攸聞。

字 或作「由

書呂刑篇『今爾罔不由慰日勤」

字叉或作「迪」

大大

書康誥篇『今惟民不靜未戾厥心迪屢未同』

多方篇『爾乃迪屢不靜』

酒誥篇『在背殷先哲王迪畏天顯小民』顯令德」・禮能中庸篇引作『態態令德』)酒誥篇:在背殷先哲王迪畏天顯小民』顯奇德」・禮能中庸篇引作『態態令德』・『顯

「攸」猶「所以」也^{釋詞・}

書洪範篇『我不知其彝倫攸叙』 ○ 。

大誥篇『予惟往求朕攸濟』

此上二例並見經傳釋詞引。

洪範篇『天乃錫禹洪範九疇彝倫攸叙』

又『彝倫攸數』

由 繇 猶 猷 攸 逌 迪

古書 魔字集釋卷一 由 綵 猶 猷 攸 适 迪 欲

山山, 一 以 也。

禮記襍記篇『由文矣哉』

字或作「猶

左傳定十年『猶是邸也而得紓焉』] 與猛何也節・

字叉或作「猷」

曹盤庚篇『予告汝訓汝見摹經平議· 戲點乃心』五字為句·訓「哟」為語助·皆失之·曹盤庚篇『予告汝訓 ,此五字為句·說◎ 。 「乃」·「汝」也·禮傳釋詞以『汝母觀乃心』

字叉或作「欲」 韓非子說林篇『今荆將欲汝釁鼓』作「以」·是以意改· 又或作 「欲」。恐失有罪』·讀書读志謂「猶」「由」皆與「欲」同·「餘」皆與「兼」同·是其例又或作 「欲」「欲」與「由」古字通用·墨子內鬼篇·『齊君由錄殺之·恐不辜·猶據釋之

由」「用」也雅廣

禮記禮運篇「故謀用是作而兵由此起」

字或作「猹

曹盤庚篇『茲猶不常寧』:

字叉或作「攸」 詩洋水篇『淮夷攸服』

此上三例說並 見經 傳釋詞。

由一「從」也。

孟子公孫丑篇『由湯至於武丁』

字或作「逌」

新序模事篇了 國非士無道安强。

字叉或作「迪」 潛夫論五德志篇『迪斯用來』「以」也 史記屈原傳「迪」作「由」・楚辭九章篇・『易初本迪兮』・

字或作「繇」 新雅日:「解

古書處字集釋 卷一 由 綵 猃

猷 攸 逌 迪 欲

大九

逌 迪 釱

漢書卜式傳『今天下不幸有事郡縣諸侯未有奮繇直道者也』則:

詩皇矣篇『攸馘安安』為語助·失之·字又或作「攸」

「由」 「在」 也下由路西」· 孔疏·

左傳莊八年『罪我之由』 ©。

論語顏淵篇「爲仁由己而由人乎哉」「豈」也· 。, 。

「由」「爲」也。

墨子非命篇中『凡出言談由文學之爲道也』 此孫治護散・「海」也・ 非命篇下作『今天下之君子之爲

文學出言談也。

詩君子 陽陽篇 『左執簧右招我山房』傳釋詢日·「「右招我田房」疑亦謂招我於房也」·按王君凱「由」爲「於」詩君子 陽陽 1. 「左執簧右招我 0 , 「由」· 「爲」也· 書爲房中之樂也· (毛傳云・「國君有房中之樂」)· 經

允・ ・未

又『左執翻右招我由敖』樂也·說詳華經平議· : 一放]讀爲[篇]·謂驚夏之

青立政篇「式敬爾由獄」與「治」同義・

大語篇『爽邦由哲』為哲人也· 言彰明邦國者

字或作「迪」「作·為也」·是「迪」亦「為」也·

無逸篇『茲四人迪哲』釋詞訓「迪」爲「用」・失之・無逸篇『茲四人迪哲』釋詞訓「迪為「人」」

字叉或作「猷」

曹盤庚篇「聽予一人之作飲」

字叉或作「猶」

左傳昭十四年『穀親益榮猶義也夫』

字叉或作「欲」

詩巷伯篇『謀欲譖人·····謀欲譖言』

古書處字集釋

卷一

由

部 猫 歕

攸道迪欽

吳越春秋句踐伐吳外傳『 吾今修寬刑 不辭·遂改爲「今修」矣·吳語作『吾修令寬刑』·可證此文之誤·吾今修寬刑,按「今」本作「令」·在修字下·以「令」講作「今」·讀者以「修今」為 欲◎

迪

民所欲去民所惡』「施民所欲」、「施」亦「爲」也・

荀子君道篇『以天下之民莫欲之也然而于是獨為之』,五文耳, 韓詩外傳作『莫爲之』前子君道篇『以天下之民莫欲之也然而于是獨爲之』,欲[於]亦[爲]也

猶 由 猷 攸 迪 欲

%」「似」也。

孟子告子篇「性猶杞柳也」

字或作「由」

公孫丑篇『以齊王由反手也』

「猶」「尙」也。

左傳傳四年『十年尚猶有臭』

字或作「猷」

字叉或作 君奭篇『武王惟茲四人尚迪有祿』 迪:

釋詞訓「迪」爲「用」・失之・按「尙迪」與「尙狁」同・經傳

猶, 」 「若」 也能 著或

禮記內則篇『子弟猶歸器衣服裘衾車馬則 必獻其上而後敢用其次也。 鄭注曰・『独

左傳襄十年 『猶有鬼神於彼加之』

此 上二例並見經 傳 釋 訶 引。

昭十二年『珍成 可筮猾有闕· 也筮雖吉未也。 引見・詞

宣四年『鬼猶求食若敖氏之鬼不其餒而

韓詩外傳八『孔子曰「猶以周公爲天下賞則以同族爲衆而異族爲寡也」」

字 ,或作一 由:

大 | 戴禮小間篇| · 公曰: 我聞子之言始蒙矣」子曰由君居之成於純也: 胡爲其蒙也?

古書處字集釋 卷一 獝 由 鮲 攸 迪 欲

七四

字作或「欲」

史記秦本紀『寡人欲容車通三川窺周室死不恨矣』

左傳隱元年『欲與太叔臣請事之若弗與則請除之』,至文耳,左傳隱元年。《《如本》,

論語堯曰篇『猶之與人也』人也·既見經傳釋嗣· 猶』 猶 「均 」 也 「同 」 也『寅命不同』・「殆」亦「同」也・故訓[猶]為「同」・「同」與「均」義亦無異・猶」 猶 「均 」 也 「同 」 也「領」訓[均」・見經傳釋詞・按詩小星篇首章云『寅命不治』・次章云・

論衡嗣虛篇『天地所罰小大猶發鬼神所報遠近猶至』訓尚]

韓詩外傳十『傳曰「公子目夷以辭得國」今要雕以辭得身言不可不文猶若此乎」均也:「獨」:「

字或作「猷」

書盤庚篇『汝萬民乃不生生暨予一人飲同心』「歌」亦「同」也書盤庚篇

梓材篇『合由以容』同也』,曾同以寬容之也字叉或作「由」

字叉或作「迪」

盤庚篇『不其或稽』熹平石經作『不 ·其或迪』亦訓「同」·故與「稽」述用· 廣雅曰『稽·同也』·按「迪」

管子小匡篇『公曰「然則夷吾受乎」鮑叔曰「不受也夷吾事君無二心」公曰「其於寡 人猶@

若此乎 」 』「曾」亦「則」也・(尹注曰・『曾・則也』)・

小稱篇『管仲對曰「微君之命臣也臣故且謁之臣」・茲從讀書從志說で轉・小稱篇『管仲對曰「微君之命臣也臣故且謁之臣」・「故」同「固」・「臣故」蔣誤倒作 故 雖然君猶不能行

也。

呂氏春秋 不侵篇『今孟嘗君之地方百里而因欲以難寡人・「尚」也・ 猶. 罚乎?

墨子公孟篇『此四君者其服不同其行猶一也』

「循」「可」也見詩陸時

戰 國策燕策『此其君之欲得也其民力竭也安猶取哉』『惡足以乎』「惡足」亦「何可」也・四、一〇一?」「安猶」・「何可」也・史記蘇秦傳作

趙策『樓緩日: 「處卿能盡 知秦力之所至乎誠知秦力之不至此彈丸之地「則」也·猶不予也」

左傳 昭三 年: 子 大 /叔告· 入 曰: ___ 張耀有知「智」· 其猶在君子之後乎!

古声赋字集釋卷一 循由 猷 攸 迪 欲

七五

或作 ¬ 欲: ∟

書梓材篇了惟曰欲 、至於萬年時 惟王子子孫孫永保民」

呂氏春秋禁寒篇『雖欲幸而勝禍且始長。

順民篇『文王非惡千里之地以爲民請炮烙之刑去學: 必欲得民心也』

韓詩外傳九『是以固以邱爲欲當之者也』邱謂仲尼・
韓詩外傳九『是以固以邱爲欲當之者也』邱謂仲尼・

史記伯夷傳『夫學者載籍極博猶取信於六藝』 猶」猶「應」也「宜」也「獨與」與「容與」為一語·是其例也·(獨與亦作獨集),例 國 語晉語『我欲擊楚齊秦不欲』訓『可』·左傳僖二十八年作『語晉語『我欲擊楚齊秦不欲』訓『可』·左傳僖二十八年作『 我欲戰矣齊秦未可上

左傳襄二十年『猶將十世宥之以勸能者今壹不免其身以棄社稷不亦甚乎』「乃」也左傳襄二十年『猶將十世宥之以勸能者今壹不免其身以棄社稷不亦甚乎』「殪」・

哀十六年『猶將旌 君以徇於國「麦」也,而又掩面以絕民望不亦甚乎」「乃」也 是複語。

「猶」「已」也「難」與「強」同・ 此 上二例「 猾 將 皆即一應當」「當」也・

七大

爲「太」字之義

墨子節葬篇下『若以此三者觀之則亦猶薄矣若中國之君子觀之則亦猶厚矣』機志・豐子節葬篇:

爲「旣」字之義

左傅昭十六年『平子曰「子服回之言猶信子服氏有子哉」

昭十七年『天子失官學在四夷猶信。

字或作「欲」

莊子養生主篇『官知止而神欲行』

字叉或作「攸」

書禹貢篇『彭蠡既豬陽鳥攸居是地名·

……漆沮旣從灃水攸同……九州攸同四隩旣宅』亦[旣]

詩文王有聲篇『四方攸同王后維翰。

·甫田篇『攸介攸止』既處既止也·「攸介攸止」是複語·猶言『爰居爰處』耳:□□□□、生民篇同·箋云·「介·舍也』·按「舍」當作「處止」解 官

古書虚字集釋 卷一 猧 由 猫 攸 迪 欲



因

因」「以」也。 左傳僖二十八年『因其兇也而攻之』

「因」「由」也。

書禹貢篇一西傾因桓是來」釋詢·

尸子廣澤篇『因井中視星所視不過數星自邱上以視則見其始出又見其入』

漢書匡衡傳『以賢難得之故因曰事不待賢以食難得之故而曰飽不待食惑之甚者也』因」循「而」也訓而」:「因」亦訓「而」・,。 因」循「而」。「四」與「以」一聲之轉:故「以」

古書虛字集釋 卷二

因

七九

八〇

管子任法篇『夫 非主命而行有功利因賞之是敎妄舉也遵主命而行之有傷敗而罰之是使民獻

利害而離法也」

此上二例皆「因」與「而」爲互文。

公羊傳莊二十七年『坐而視之則親因不忍見也』

戰國策魏策三『今君劫於羣臣而許秦因曰不可革何用智之不若梟也』

因」猶「則」也四則則一強

戰國策齊策『客趨而進曰「海大魚」因反走』淮南子人間篇作『「海大魚」則反走』

淮南子兵略篇『越王選卒三千人禽之干隧因制其虛也』

商君書立本篇【此三者特一因其兵可禽也』

史記范雎傳了 墨子三辨篇『食之利也以知饑而食之者智也』 **若韓聽而霸事** 因可慮也」也· (也)猶[矣] |字・義同「邪」・ 因爲無智矣』作問」・失之・「鯔」同「飢」・下「也」の 孫治護曰・「因當

呂氏春秋審己篇『柳下惠以爲是請因受之』

棟謂篇『所欲勝因勝所欲罪因罪。。

在解篇『今秦欲攻魏而趙因欲救之此非約也』此非約也』、「獨」亦「則」也、在解篇:

漢書賈誼傳『至於流俗失世壞敗「泆」· 因恬而不知怪』「因」作「固」・「固」亦「則」也漢書賈誼傳『至於流俗失世壞敗「泆」 。 因恬而不知怪』「因」作「齒」・「齒」亦「則」也

因」猶「若」 也。作「若或」解・「因」則「若」・

賈子數與篇 『 戰國策齊策 『 今蘇秦天下之辯士也世與少有「而」也· 以陛上之明通因使少知治體者得佐下風致此治非有難也。 君因不善蘇秦則是圍塞天下士而不利說

途也。

韓 非子外儲說左篇『君因先自斷其纓而出國中皆不服長纓』

因」猶「循」 一也。傳釋詞

爲「猶似」

戰國策楚策『夫蜻蜓其小者也黃雀因是以』見經傳釋詞引

「以]與[已]同

爲 「稱尙」之義:

古書虛字集釋 卷二 因

古書虛字渠釋 卷二 尤

呂氏春秋不侵篇『今孟嘗君之地方百里而因欲以難寡人猶可乎』「則」也

因」猶「其」也「四」訓其」也

管子輕重戊篇『公因分齊載金錢而往···君其令人貴買衡之械器而賣之』為至文· 「因」與「其」

「因」「用」也「使」也

楚辭九章篇『介薜荔以爲理兮憚舉趾而緣木因芙蓉而爲媒兮[以]也·憚蹇裳而濡足』[因]作

用・

因」猶「已」也阿斯巴:

韓非子外儲說左上篇『蔡安爲桓公妻桓公與之乘舟夫人蕩舟桓公大懼禁之不止怒而出之乃

且復召之「將」也・因復更嫁之」

允

「允」「誠」也猶云「如果」也關於

法言問道篇『允治天下不待禮文與五敎則吾以堯舜爲疣贅』:

論 |語堯日篇『允執厥中四海因窮天祿永終』四海・則天縣長久也・不曰「困窮四海」||語堯日篇『允執厥中四海因為天祿永終』四海・則天縣長久也・「永終」・「長久」也 而日「四海困窮」者言城執其中極至於

協能耳・・倒其文以

書堯典篇『允釐百工庶績咸熙』

此上二例經傳釋詞並訓「允」爲「用」失之

· 允」猶「以」也釋詞·

一為語助詞:

墨子明鬼篇引商書『百獸貞蟲尤及飛鳥莫不比方』篇:『自天子以至於庶人』:「以」字亦語助詞:

一爲「因」字之義:

释秋繁露郊祭篇引詩『允懷多福』作「車」·「車」亦「以」也· 「懷」·「來」也·詩大明篇「九」

曹皋陶謨篇『庶尹允諧』

古書虛字集釋 卷二 九

廚

大誥篇『嗚呼允蠢』 鰥寡哀哉 』言以茲凱動而鰥寡哀也・

詩公劉篇『豳居允完』

此上三例經傳釋詞並訓「以」爲「用」「用」亦「以」也

詩時邁篇『允王維后』一爲發聲助詞:

武篇『允文文王』

此上二例並見經傳釋詞引。

爲句中助詞:

容 用 庸

八四

水經注『遺文逸句容或可尋』、「公」、「答與「與「獨與」為「語、是其體也、「一份」、也」、一卷新九章篇、「然答與而孤疑」、「答與」與「獨與」為「語、是其體也、「一份」」也

字或作「用」

書堯典篇『九載續用弗成』

微于篇「今殷民乃攘稱神祇之**犧**怪怪也· 用 以容將食無災』攘竊犧牲、猶見寬容而食之無災也。 「容」・「寬容」也・「將」・「而」也・

容」猶「或」也論見詞

後漢書楊原傳『諸王子在京容有非常』則·問

容」猶「可」也。

左傳昭元年』五降之後不容彈矣』也』、「猶」與「容」通用、故「猶」訓「可」、「容」亦訓「可」・「確」明子解略云、『容・可也』、改詩陟岵篇毛傳曰、『猶・可

售子 『齊衛之間 不容數 日之行 』爲一語·(書康誥篇·『應保股民』·易臨茅傳·『容保民無疆』·應保·客保·主: 。 助字辨略云·『不容猶云不應』·按[容]與[應]一聲之轉·故[容保]與[應保]

古書虛字集釋 卷二 容 用 廯

字或作「庸」 左傳昭五年「今此行也其庸有報志」或作「庸」 紹大明篇:作『庸成氏』: 或作「庸」 紹大明篇:作『庸成氏』: 大

楚辭抽思篇『豈至今其庸亡』

字叉或作「 用: | 故亦與「容」通

春召誥篇『用顧畏于民碞』

透初六『勿用有攸往』宜」·下例同· 易謙初六『謙謙君子用渉大川吉。

夏六三「勿用取女」

孟子離冀篇『罪不容於死』於死也· 「容」猶「已」也。(爾雅·[獨·巴也])· 「止」也。

風俗通義過譽篇「罪已不容於誅矣。

入大

易升彖辩『升元亨用見大人』 。 時通・利以盧窮」・(以亦於也・時亦處也)・「宜」與「利」爲五文・是其體也・釋文云・『用見本或作利見』。按「用」訓「宜」。與「利」同意・荀子修身簿・『宜於

庸用容

「庸」「用」:也。

左傳隱元年『無庸將自及』

字或作「容」

老子『兵無所容其鋒』至議:

庸」循一 左傳昭元年『庸何傷』「庸」亦「何」也・ 「何」

荀子宥坐篇『女庸安知吾不得之桑落之下』安」皆訓「何」,故只言「庸」與連言「庸安」同義,

莊子膏物論篇『庸詎知吾所謂知之非不知邪』則「何」· 『奮』皆

大葉禮曾子制言篇『則雖汝親庸孰能親汝乎』劉何J·

入七

左 一傳信· 十五 年: 子其 庸◎ न 冀 乎?

+ · 吗 年; **~** 40 知 ANT. 乎?

此 上六例並見經傳釋 詞 引。

昭十年『其徒日: 助陳鮑乎 | 日「何善焉」也・

助樂高乎」曰「庸愈乎」」

爲互文・「庸」與「何」

昭十二年『其庸可棄乎』或言「庸可」・或言「庸詎可」・其義」也・明十二年。 東京人間世篇・『其庸詎可乎』・文例同此

晏子春秋問篇: _ 雖有賢能吾庸知乎」同・「庸知」與「焉知」同義・皆即「何知」也・雖有賢能吾庸知乎」同・「庸知」與「焉知賢才而舉之」・意義與此

字 或作「用」

潛夫論賢難篇『齊侯之所以奪國魯公之所以放逐皆敗續壓覆於不暇「之」也:而用及治乎」:

庸 個 一量 世訓見助字 「庸非貮乎

哀十二年『 庸為直。 乎?

左

一傳莊

+ 四

年:

人人

晏子春秋問篇『賢而隱庸為賢乎

字或作「容:

後漢書楊秉 傳『以此觀之容可近乎. 一辨略・

庸」猶「乃」 青皋陶謨篇『帝庸作歌』」獨「乃」也[原]訓乃」也 -猃

左傳襄二十五年『庸以元女大姬配胡公而封諸陳以備三恪』

字或作「用」「用」訓乃」也的

詩江漢篇『肇敏戎公用錫爾: 祉。 ・敏也・

禮記內則篇『勿庸疾怨姑教之』 書酒語篇『勿庸殺之姑惟教之』 「庸」猶「卽」也

左傳昭十二年: 一子大. 叔使其除徒執用以立「具」也·而無庸毀」也·勿

古書處字集釋 卷二 庸 用 容

八九

漢書王式傳『主人歌客毋庸歸』

此上三例經傳釋詞補訓「庸」爲「遼」亦通。

字或作「用」

書康誥篇『乃非徳川义』悉」之「悉」・「义」讀爲「秦」(一)」

「庸」「常」也雅

莊子則陽篇『雌雄片合於是庸有』

庸

用

「用」「以」也。

易謙上六『可用行師」孟子萬章篇『用下敬上』

九〇

井九三『可用汲』

字或作「庸」

漢書武五子傳『死不得取代庸身自逝』雜志:

用, 一「爲」

詩雄雉篇『何用不滅』詞引· | 一為 | 也經詞:

用一循「于一也「於」也用在了與注目,『古文用為子』),故「用」可訓「於」

爲介詞:

易蒙上九象傳漸九三象傳並曰『利用禦寇』訓「於」爲介罰・可有亦可無也・孟子滕文篇・『在於王所者・易蒙上九象傳漸九三象傳並曰。 利用禦寇」前,按經文書『利禦寇』・(蒙漸二卦同)・傳書「利用禦寇」者・「用」

困九五『利用祭祀』貞』、「利用」即「利于」也、

觀六四『 利用賓于王。 _

凡易中言「利用」者皆做此。

古書虛字集釋 卷二 用 廟

曹淞庚篇『視民利用遷』

洛浩篇『彼裕我民無遠用戾』「眷」也·曹夫教道我民·勿遠於善也·洛浩篇『彼裕我民無遠用戾』「後」·「夫」也·「裕」·「道」也·「戾」·

一爲「在」字之義:

晏子春秋諫篇『公愀然而嘆曰「用後嗣世世有此也. 豈不可哉」

用一个一與一也「用」,五見「與」字條・

韓非子人主篇『賢用能之士進』

孟子公孫丑篇『王猾足用爲善』

用一个一則一也一以訓則也

曹微子篇『我祖底途陳于上[陳]・[道]也·我用沈酗于酒用飢敗厥德于下』则以]・曹微子篇『我祖底途陳于上[陳]・[遠]也·我用沈酗于酒用飢敗厥德于下』則以]・

盤庚篇『今我民用蕩析離居罔有定極』也· [極]強[止]

立政篇『其在商邑用協于厥邑其在四方用丕式與德」:

輪衡定賢篇『如命窮鑄盡方用無驗也』療病之方· ■ ○ 「方」·謂醫者

九二

呂氏春秋遇合篇『七十人者萬乘之主得一人用可爲師』一人,則可爲天下之長也,

文選七發篇『太子曰「善然用濤何氣哉一」

「用」猶「而」也「思則而」也

墨子節用篇『死者既葬生者毋久喪用哀』者必無久喪而疾」・文例同此・墨子節用篇『死者既葬生者毋久喪用哀』者必無久喪而疾」・文例問以葬矣・生

詩公劉篇『思輯用光』也:「輯」・「和」也・「乃」

小弁篇『維髮用老』也·「以」

【安案拨】

左傅宣十二年『安能保大』「安」「何」也。

「安」「焉」也。

古書處字集釋 卷二 安 案 按

九三

荀子榮辱篇『俄則屈安窮矣』釋詞:

「安」猶「是」也問是」、「安」亦則「是」、

管子内業篇『凡道無所善心安愛』「愛」與「哀」通・「哀」與「依」通・故得假「愛」爲「依」・・「字」稱「是」也・說見讀書稱志、按「愛」讀爲「依」・(古字

大戴禮用兵篇了古之戎兵何世安起』「於」・失之・

「安」猶「則」 也釋詞· 應傳

管子地員篇『其陰則生之楂棃其陽安樹之五麻』為五文:

字或作「案」

荀子正論篇『今子宋子案不然』

此上二例並見經傳釋詞引。

老子『往而不害安平太』詞引・「安」 猶「乃」 也釋詞・

荀子勸學篇『安特將學襍志順詩書而已耳』「職」字·茲從讀書簿

九四

字 或作

富國篇『凡攻人考非以爲名則案以爲利 也。

臣道篇了凡人非賢則案不肖也。

大略篇5 至成康則案無誅已』也·經傳釋詞訓[安]為「於是」·說猶稍疏· 可以康則等無誅矣」·「安」亦「乃」

字叉或作「按

荀子富國篇『人皆喪失之我按辽而治之』

安」猶一 「於是」 世調見經傳

荀子正論篇『於是焉桀紂羣居「乎」也

而盜賊擊奪以危上矣安禽獸行虎狼貪故脯巨人而

完矣』是」同義・見經傳釋詞引· ・ 上「而」字訓「故」・「安」與「於

孟子梁惠王篇『寡人願安承教』

、案」猶「以」 也「舞」訓「以」也・

荀子禮論篇『然則三年 何也日: 加隆焉案使倍之故再期也由九月以下何也? 日案使弗及也 記禮

古書盧字集釋 卷二 安 案 按

「爲」亦「以」也・

震

ヿ 焉, 一語已之詞也為三

論語先進篇「有民人焉」 ••

「焉, 曹秦智篇『其心休休焉』釋嗣: 一狀事之詞也。

焉, 一比事之詞也 韓國·

左傳昭十三年『衆怒如水火焉』則睽・「如有客」之「如」・當訓「能」・不當訓「似」・一年傳昭十三年『衆怒如水火焉』則睽・「如有容」之「如」・當訓「能」・不當訓「似」・

焉」猶「之」也難以非事之詞也。

左傳襄二十一年『若大盜禮焉以君之姑姊與其大邑』見助字辨略引左傳襄二十一年『若大盜禮焉以君之姑姊與其大邑』見助字辨略引

九大

僖二十五年『子女玉帛則君有之羽毛齒革則君地生焉**」**

史記循吏傳『太守甚任之吏民愛敬焉』。。

此上二例並見高等國文法引「焉」與「之」皆爲五文。

左傳昭十三年『康王跨之靈王肘加焉子干子晳皆遠之』史記楚世家「焉」作「之」

史記 伯夷傳『於是伯夷叔齊聞西伯昌善養老盍往歸焉』周本紀「焉」作「之」

淮南子道應篇『巫馬期問焉曰「凡子所爲魚者欲得也今得而釋之何也」||呂氏 春秋 具備 篇,

「焉」作「之」

論語衞靈篇『衆惡之必察焉衆好之必察焉』風俗通義正失篇引作『衆善焉必察之衆惡焉必論語衞靈篇』

察之。

戰國策秦策一『王召公子池而問焉』韓非子內儲說下篇作『王召公子汜而告之』 莊子達生篇『孔子從而問焉曰「吾以子爲鬼察子則人也」]列子黃帝篇「焉」作「之」 主

穀梁傳成五年『 伯尊由忠問焉』「惠」同·韓詩外傳八作『伯宗私問之』尊·伯尊由忠問焉。「思」與·韓詩外傳八作『伯宗私問之』尊·

古書虚字集釋 卷二 爲

九七

九八

左傳襄二十五年 『崔子曰「嫠也何害先夫當之矣」遂取之莊公通焉』韓非子姦刼弑臣篇作

「莊公通之」

此上八例皆「焉」與「之」通用可證「焉」與「之」同義。

襄元年『小國朝之大國聘焉』

僖二十四年『公使讓之且辭焉曰』

國語晉語四「公子居則下之動則諮焉」

周禮考工記匠人『內有九室九嬪居之外有九室九卿朝焉』。

說苑指賞篇『武王將伐紂召太公望而問之曰……乃召周公而問焉曰』

敬愼篇『是以兩軍相加而柔者克之兩仇爭利而弱者得焉』。

孟子萬章篇『堯之於舜也使其子九男專之二女女焉』

韓非子外儲說左篇『西伯昌賢百姓悅之諸侯附焉』。

呂氏春秋重己篇『論其貴賤虧爲天子不足以比焉論其輕重富有天下不可以易之』

當染篇『王公大人從而顯之有愛子弟者隨而學焉』

莊子列御寇篇『故君子遠使之而觀其忠近使之而觀其敬煩使之而觀其能卒然問焉而觀其知』 。

荀子儒效篇『彼學者行之曰士也也· 敦慕焉君子也知之聖人也』「馍」同·亦「勉」也·[墓]與

富國篇『上以法取焉而下以禮節用之』

墨子天志篇上『何以知其兼而有之以其兼而食焉』

天志篇中『以此知兼而食之也苟兼而食焉必兼而愛之』

列子天瑞篇『一人失家一世非之天下失家莫知非焉』

說苑貴德篇『是以百王尊之志士法焉』。。

賈子大政篇 7 問之然後知其言謀焉然後知其極任之以事然後知其信。 は一様が局

穀梁傅襄十年『中國有善事則幷焉無善事則異之存之也。

管子白心篇『小取焉則得小福大取焉則得大福盡行之而天下服殊無取焉則民反其身不免於::

財。 「而」亦「則」也

古書虚字集釋 卷二 焉

爲

公羊傳僖十年: _ 奚齊卓子者驪姬之子也荀息傅焉…… 申生者里克傅之

三年傳: 昔白起爲秦將東破韓魏南拔郢 都應侯譖之賜死杜郵 吳起爲魏守西河而秦韓不

敢犯讒人閒焉斥逐奔楚』

金日磾傳『左右惲之唯上亦難焉』亦惲」也:第一章が謝ノ毘黙万寇勇奏』

馮參傳『五侯皆敬憚之丞相翟方進亦甚重焉』。。

翼奉傳『是以王者忌子卯也禮經避之春秋諱焉』。。

翟方進傳『朝廷由是憚之丞相宜甚器重焉…… 天子甚器重之』

禮記檀弓篇「先王之制禮也過之者俯而就之不至焉者跂而及之」

此上二十八例皆「焉」與「之」爲互文

論語憲問篇 言·(韓非子飾邪篇·『實心以忠愛之』)·非「忠」「愛」二字之罰性不同也·馬氏文通訓此文之「焉」爲「於是」·而曰『則必忠之以言』·是也)·「忠」與「愛」義相近·故「忠」或訓「愛」·(呂氏春秋至忠篇注云·『忠猶愛也』)·亦或以「忠愛」連 愛之能勿勞乎忠焉能勿誨乎」 「忠君」・(古書有以「忠之」連文者・如莊子人閒世篇・『遠按「爲」亦「之」也,互文耳・「愛之」謂「愛子」・「忠之」謂

字,上云雯之,则下旬常云忠於是矣』。 失之,忠爲者,忠於君也,忠爲丙動字,不者愛爲外動

晏子春秋 問為『夫國亦有焉人主左右是也』右是也』·與此同義·高等國文法謂『夫國亦有爲』·本當云晏子春秋問為。 [爲]訓『之』·指社風書·武苑政理解作『夫國亦有社島·人主左

去「礼鼠」二字』・失之・「夫『亦有社鼠母」・承上省

左傳僖二十四年『公解焉以沐』

春秋繁露五行相勝篇「太公封於齊問焉以治國之要謂問於第也・ 營蕩對日「在仁義而已」

論語雍也篇『回也其心三月不遠仁其餘則日月至焉而巳矣』

韓 ·非子外儲說右下篇『居期年民知殺生之命制於子罕也故一國歸焉』臣畏之· 糊民蹄之』 · 可監

「歸爲」即是「歸之」・

一焉」猶「矣」也「聲」專「矣」

禮記三年問寫『天地則已易矣四時則已變矣其在天地之中者莫不更始焉」荀子禮論寫「焉」

作「矣」

樂記篇『天高地下萬物散殊而禮制與矣流而不息和同而化而樂與焉』。

古書虚字集釋 卷二

焉

墨子公孟篇『爲上者行之必不聽治焉爲下者行之必不從事矣』

國語晉語『君以爲易其難也將至矣君以爲難其易也將至焉』

文子道原篇『智與物接而好憎生焉好憎成形而智出於外不能反己而天理滅矣』

此上四例皆「焉」與「矣」爲互文。

焉」猶「也」

禮記檀弓篇『子張曰「先王制禮不敢不至焉」釋詞引禮。

冠義篇『責成人禮焉者將責爲人弟爲人臣爲人少者之禮行焉』訓[也]・

韓詩外傳十『寡人有四子猶有四肢也而得代焉不可患焉』则[也]:

班子齊物論篇『如是皆有為臣妾乎其臣妾不足以相治也其遞相爲君臣乎其有眞君存焉』下班子齊物論篇:

韓語詞也・二「其」字並訓「然」・

說苑善說篇『今大王幸賜臣田不租然則倉廩將虛也賜臣無徭役然則官府無使焉』

焉」猶「耳」也。

左 傳昭十三年『王曰「大福不再祇取辱焉」」史記楚世家「焉」作「耳」。:

昭二十六年『祇取誣焉』

定四年『祇取勤焉』

哀十四年『祇取死焉』

焉」猶「乎」也轉詞:梅

孟子公孫丑篇『自反而不縮雖褐寬博吾不惴焉』為「語助」·則是誤以「爲」為語已罰也·皆失之·孟子公孫丑篇『自反而不縮雖褐寬博吾不惴焉』為「不棩爲」即「弗憐乎」·經傳釋罰謂「不憹」之「不」

禮記哀公問篇『君何謂巳重焉……君何謂巳重乎**」**。?

韓詩外傳九『邱何敢乎……邱何敢焉』伸尼: 韓詩外傳九『邱何敢乎……邱何敢焉』

汝皆說之乎其有私焉。「哉」同悦」·「仰敢乎……邱何敢焉」仲尼·

莊子齊物論篇:

_

左傅昭 11十年: -- 其 徒日: ---- 助 陳鮑乎? 日: 何善焉」「助灓高乎」曰「庸愈乎」」「愈」雖「善」也?

此上四例皆「焉」與「乎」爲互文。

國語晉語『懼其未可也也: 又何疑焉」

古書虛字集釋 卷二 看

焉」猶「者」也。

詩行章篇毛傳『序點又揚解而語曰「好學不倦好禮不變耄勤稱道不亂者不在此位也「乃在」,

蓋僅有存焉』禮記射義篇「焉」作「者」。

呂氏春秋士節篇『說晏子之義而當乞所以養母焉』「曹」同·說苑復恩篇作了而嘗乞所以養母呂氏春秋士節篇『說晏子之義而當乞所以養母焉』「曹」同·說苑復恩篇作了而嘗乞所以養母

說苑尊賢篇了一人之身榮辱俱施焉在所任也』身·榮辱俱施者」·

左傅襄二十三年『欲擇才焉而立之』

大戴禮衞將軍文子篇『賜有逮及焉有未逮及焉子真‧不得辯知也』同‧

說苑善說篇『臣之所能合悲者有先貴而後賤先宮而後貧者也不若身材高妙;「則」也・ 適

遭暴亂無道之士妄加不道之理焉」

荀子富國篇『故仁人在上百姓貴之如帝親之如父母爲之出死斷亡而偸者無他故焉则[者]:

其所是焉誠美其所得焉诚大其所利焉誠多。

焉, 「何」也。

論語子路篇『焉得賢才而舉之』

焉 一循一 也。

韓詩外傳四了士信愍而後求知焉語已之詞・士不信焉又多知譬之豺與其難以身近也。

荀子哀公篇作『士不信愍而有多知能』「叉」・

莊子德充符篇『 申徒嘉曰「先生之門固有執政焉如此哉」而似此乎·經傳釋詞訓「如」爲「於」·失之·申徒嘉曰「先生之門固有執政爲如此哉」而似此乎·經傳釋詞訓「如」《「似」也·言當有執政

子而說子之執政訓乃」,而後人者也。 |一後、紀也、既見趙注)|| 言子乃愛悅子之執政而紀人者也。| 「後」循「忽」也。(孟子学惠王篇。『未有義而反其君者也』。

國 語魯語「羞鼈焉小」

楚辭雖騷篇「 **覽**民德焉錯輔。

焉 **」猶「於是」** 世訓見經傳

國 語晉語『焉作轅田…… 焉作州兵』左傳僖十五年作『晉於是乎作爱田… …晉於是乎作州

古書虛字集釋 卷二

焉

戰 《國策西周策『君何患焉』史記周本紀作『君何患於是』

此上二例並見經傳釋詞引。

公羊傳信三十三年『吾將尸爾焉』穀梁傳作『我將尸女於是』

焉」猶一則」也釋問·傳

大戴禮會子制言篇「有知焉謂之友無知焉謂之主」詞則.

荀子議兵篇『若赴水火入焉焦沒耳』新序檪事篇作『入則焦沒耳』

焉」猶「乃」也訓見經傳釋詞·按「焉」

大戴禮王言篇『七教脩焉可以守三至行焉可以征』

荀子非相篇『面長三尺焉廣三寸』

此上二例並見經傳釋詞引。

墨子耕柱篇『夫倍義而鄕祿者我常聞之矣同: 倍祿而鄕義者於高石子焉見之也』

焉」猶「因」也一學之傳:

一十一般之物・

左傳昭二十七年『無極譖郤宛焉謂子常曰』韓非子內儲說下篇作『無極因謂命尹曰』

管子幼官篇『官處四體而無禮者流之焉莠命』

禮記三年問篇『然則何以三年也曰加隆焉爾也焉使倍之故再期也』使」也體記三年問篇。然則何以三年也曰加隆焉爾也焉使倍之故再期也』使」也

焉」「是」也 篇:

爲「此」字之義

賈子解縣篇『而匈奴欺侮侵掠未知息時於焉望信威廣德[伸]:難已 本操弾

詩白駒篇『於焉逍遙……於焉嘉客』「居」也·「客」·「寄」也·言於此居處寄託也·詩白駒篇『於焉逍遙……於焉嘉客』「居」讀為孟子公孫丑篇『夫子加齊之卿相』之「加」·

爲「是非」之「是」

墨子非命篇『何書焉存

左傳隱六年『晉鄭焉依』國語周語作『

晉鄭是依』

司見得傳釋

爲「於」・未允・經傳釋詞訓「爲」

焉, 「於」 世剛見經傳

古書城字集釋 卷二 爲

ー こ べ

尹文子大道篇上『五色五聲五臭五味凡四類自然存焉天地之間而不期爲人用』則:

墨子天志篇上『且語言有之日「焉而日晏焉而得罪」句: 將惡避逃之」』 **M「於」・上「而」字別 據孫詒讓本・上「焉」字**

而得罪也・此本孫詒讓說・「此」・言於此淸晏之日爲・

馬一猶「有」也「馬」則有」也·

國語楚語『若於目觀則美縮於財用則匱是聚民利以自封而瘠民也胡美之焉……若夫白珩先: 王之玩也何實之焉」為「爲」字之譌、未允、

「焉」命令之助詞也。

孟子粱惠王篇『君無尤焉』

焉」猶「兮」也。

焉爾也」決定之詞也與只言「焉」同義· 原」方也與只言「焉」同義·「爲」亦 老子十五章『豫焉若冬涉川猶兮若畏四鄰』為五文· 文子上仁篇作『豫兮其若冬沙川』

說 苑 《谯言篇』是以君子見大水觀焉爾也。一荀子宥坐篇作『是故君子見大水必觀焉。 £==

禮記 三年 ·問篇: 『然則何以三年也曰?: 加隆馬爾也」荀子 禮論 篇,作 ---然則三年何 心曰加隆焉。?:

檪記篇『 **宦於大夫者之爲之服也自管仲始也有** 君 ·命焉稱也』「將爾」為「乃如此」·失之·

焉爾,

公羊傳隱二年『託始焉爾』獨於是也』·爾」獨一於是」也。

焉爾」猶「焉耳」也語已詞 禮記 禮器篇『因其財 物而致其義焉爾」

檀弓篇了 用美焉爾。

焉耳」猶「焉爾」 大戴禮會子立事篇『吾無望焉耳』 一也語已之詞

禮記樂記篇「則樂之道歸焉耳」也「歸」「終」

焉耳乎」疑問辭也。

古書虛字集釋

仑二

爲

爲

「爲」「是」也辨略· 論語微子篇『問於桀溺桀溺曰「子爲誰」曰「爲仲由」**」**

孟子梁惠篇『不爲不多矣』

此上二例並見助字辨略引。

新序襍事篇四『麥邱邑人曰「祝主君使主君甚壽金玉是賤人爲寶」 君固壽也・人 金玉之賤人民是寶」互文耳・

J韓詩外傳十作「使吾

孟子梁惠王篇『物皆然心爲甚』

公孫丑篇『齊卿之位不爲小矣齊滕之路不爲近矣』

滕文篇『夫夷子信以爲人之親其兄之子爲若親其鄰之赤子乎』訓下[爲]字爲[有]・失之・滕文篇『夫夷子信以爲人之親其兄之子爲若親其鄰之赤子乎』訓下[爲]字訓[是]・楊傳釋詢

告子篇『周公之封於魯爲方百里也。

左傳桓二年『君子以督爲有無君之心而後動於惡。

莊六年『君子以二公子之立黔年為不度矣·

荀子子道篇『吾以夫子為無所不知夫子徒有所不知』也: 「徒」: 「乃」 文十八年『孝敬忠信爲吉德盜賊藏姦爲凶德。

非相篇『凡人莫不好言其所善而君子爲甚。。 صيا

墨子公輸篇『臣以三事之攻宋也爲與此同類。

穀梁傳傳二十八年『以為晉文公之行事爲已俱矣』訓[是]·穀梁傳傳二十八年『以爲晉文公之行事爲已俱矣』前[是]字

論 衡 |刺孟篇 -盡其道而死者爲正命也; 極梏而 死者非正。 命 也」「非為對文

漢書高帝紀『趙王武臣為其將所殺』略引・」 他「被」 也聲・是「被」與「爲」聲類相通・故「爲」訓「被」・ 「受」 也。」 一个 」 也。」 「 」 」 也。」 「 」 」 は「皮」。 「皮」從「魚」省 「 受」 也。

爲

古喜盟字集釋 爲

國 語越語『子聽吾言吾與子分國不聽吾言身死妻子爲戮」吳越春秋句踐伐吳外傳作『妻子語越語』子聽吾言吾與子分國不聽吾言身死妻子爲戮」吳越春秋句踐伐吳外傳作『妻子

受 戮。 _

爲

詩十月篇『胡爲我作』詞引:| 猶「以」也釋詞:

孟子梁惠篇『君所為輕身以先於匹夫者以爲賢乎』「所爲」作「所謂」・「謂」亦「以」也・孟子梁惠篇『君所爲輕身以先於匹夫者以爲賢乎』「所爲」作「所謂」・「謂」亦「以」也

國語鄭語「褒人褒姁有獄而以爲入于王」下例並同:國語鄭語「褒人褒姁有獄而以爲入于王」下例並同:

晏子春秋襍篇『維義可以爲長存』

孟子告子篇『天下有善養老則仁人以爲己歸矣』指事之嗣· 。「矣」·「之」也·

戰國策秦策二『臣聞張儀西幷巴蜀之地北取西河之外南取上庸天下不以爲多張儀而賢先王』

互文耳・

買子輔佐篇『道行典知變化以爲規是非明利害』

韓非子十過篇「豎刁自獲以爲治內。

爲一猶「用」也鄭紹

穀梁傳成七年『冬無為雩也左傳桓六年『大國何為』

此上二例並見經傳釋詞引。

國語晉語『稱為前世』釋詞引一猶「于」也「於」也解釋詞

爲

左傳莊元年『築王姬之館于外爲外醴也』耳·說見羣經左傳莊元年『築王姬之館于外爲外醴也』耳·說見羣經

一年話を

昭二十七年『子惡將爲子不利』

爲」猶「使」也。

易井九三『為我心惻』強使也」・為「使令」之「使」

古書虛字集釋 卷二 為

孟子梁惠王篇『苟爲後義而先利不奪不饜』傳釋詞爲 「假使」 之義

爲 」 猶 「謂」 也釋詞·

穀梁傳宣二年『趙盾曰「天乎天乎予無罪孰爲盾而忍弑其君者乎」』 司見 利 将 得

論語爲政篇『是亦爲政奚其爲爲政』謂「爲爲政」之上「爲」字爲語聲·失之· ● ? 「爲爲政」之上「爲」字訓「謂」·助字辨略

爲 」猶「以爲_ 也。

孟子公孫丑篇「管仲曾西之所不爲也而子爲我願之乎」「爲我」之「爲」字爲「謂」・失之・孟子公孫丑篇「管仲曾西之所不爲也而子爲我願之乎」「爲我」即「以爲我」・經傳釋詞訓

左傳僖三十三年『吾子淹久於敝邑唯是脯贅餼牽竭矣爲吾子之將行也』「雖」・

爲 一猶「均」也。

韓非子內儲說上七術篇『王曰「爲我悔也寧亡三城而悔無危乃悔寡人斷講矣」』 戦國

策作『鈞吾悔也』「均」・

莊子庚桑楚篇『不見其誠已而發也· 每發而不當業入而不舍也· 每更為失』莊子庚桑楚篇『不見其誠已而發也· 每發而不當業入而不舍也· 每更為失』

爲 一猶「當」也。

爲「敵當」之義

孟子雕婁篇『仁不可爲衆也』猶「邪」也・

爲 「應當」之義

論衡說日篇『或問日月天皆行行度不同三者舒疾驗之人物爲以何喩?

爲口語「丁」字之義即是茶丁酒」:

墨子明鬼篇『故鬼神之明不可爲幽閒廣澤山林深谷「澗」・鬼神之明必知之鬼神之衆不可爲。 富貴衆强勇力强武堅甲利兵鬼神之罰必勝之』從讀書孫志說祖・

又『此吾所謂鬼神之罰不可爲富貴衆强勇力與武堅甲利兵者此: 也。

不辜者數十萬矣此爲踰人之牆垣格

爲 稍一有」也釋詞·

人之子女者與角人府庫稱人金玉蚤桑者數千萬矣』,

古書虛字集釋

卷二 爲

一一六

孟子滕文篇『夫滕壤地褊小將爲君子焉下同· 將爲野人焉』。 程 程 記 程 目 傳

雕婁篇『孰不爲事事親事之本也孰不爲守守身守之本也』「無」· 。?

韓非子內儲說下六微篇『犀首與張儀為怨』。。

墨子非攻篇中『昔者晉有六將軍而智伯莫爲强焉』有强於智伯者也・墨子非攻篇:

爲」循「去」也。「爲」「與」一舉之轉,

淮南子俶真篇『夫牛跪之涔無尺之鯉塊阜之山無丈之材所以然者何也皆其營字狹小而不能

容巨大也又況乎以無裹之邪此其爲山淵之勢亦遠矣』

爲」猶「比」也「爲」「比」、獨「子」前「比」

史記淮南衡山傳『今臣亦竊悲大王棄千乘之君必且賜絕命之書爲羣臣先死於東宮也。

左傳襄二十三年『子有美錦不使人學製焉大官大邑身之所庇也而使學者製焉爲」皆即「製之」,

其為美錦不亦多乎」「其」字指大

爲」猶「與」也轉詞:

孟子公孫丑篇『得之爲有財』

戰國策韓策『嚴仲子辟人因爲聶政語』

此上二例並見經傳釋詞引。

論語衞靈公篇『道不同不相爲謀』不相與謀」·即本此文·

詩桑柔篇『職盜為寇』也· 「職」·「但」

瀓 南子人閒篇 『以三子之能易邱一 道邱弗為也』篇作『吾弗許也』・「許」亦「與」也,

· 仲 尼

「爲」猶「如」也釋詞:

一爲「如或」之義

韓非子內儲說篇『王甚喜人之掩口也爲見王必掩口』

, 說符篇『 孫叔敖戒其子曰「爲我死王則封汝汝必無受利地」」

此上二例並見經傳釋詞引。

宋世家『 今誠得治國國治身死不恨為死終不得治不如去**」**

古書虛字集釋 卷二

爲

--一七

爲「何如」之「如」

左傳成十八年『且事晉何爲晉必恤之 | 商量之嗣

爲「如似」之義

呂氏春秋愼人篇『道得於此則窮達一也爲寒暑風雨之序矣』

順民篇『齊莊子騎攻越問於和子和子曰「先君有遺令曰無攻越越猛虎也」莊子曰: 雖猛虎

而今已死矣」和子以告鴞子鴞子曰「已死矣以爲生」」 巳死矣・尙如生也・下「以」字訓「尙」・言

戦國策韓策「 非為。 此也山東無以救亡』

也,

左傳定四年『 吳為。 封豕長蛇以荐食上國 』蜂盛然』·文義同此·

墨子尚賢篇下『使不知辯德行之厚若禹湯文武不加得也王公大人骨肉之親躄瘖聾瞽暴爲桀。

斜不加失也』從孫詒讓脫補· 。「聲」字舊脫·茲

爲 猶 將 世訓見經傳

史記衞將軍驃騎傳『 驟騎始爲出定襄當單于捕虜**虜言單于東乃更**冷驃騎出代郡。 問見の理解

匈奴傳「單于愛之詳許甘言「僞」也·爲遺其太子入漢爲質』字訓「將」・上「爲」

爲 一猶一而」也[爲]・互見[而]字條・

吳越春秋句踐伐吳外傳『誠聞於戰何以爲可「聞」同「問」:吳越春秋句踐伐吳外傳『誠聞於戰何以爲可「誠」同「請」: 申包背曰「臣愚不能知」」 一國語吳

作 **請問戰奚以而可**

列子黃帝篇『夫得是而窮之者焉得為正焉』莊子達生篇作『夫得是而窮之者物焉得而止焉? :

風序鄭等日・『正猶止也』・「為正」與「而止」同義・詩終

左傳襄十四年『射爲禮乎』按「爲」與「而」同義・當是作「爲」者爲古本・左傳襄十四年『射爲禮乎』按「爲」與「而」同義・當是作「爲」者爲古本・

墨子號合篇 「無應為妄薩 呼者斷』本「爲」作「而」・孫治讓

國語晉語「以嗣爲遠誰能 |出 君 || 去其國」・是軍氏正釋「爲」爲「而」・|| ? || 章注曰・『違・去也・謂丕豹以禍故而

史記儒林傳『非受命爲何』而何』・文例同此・

春秋繁露精華篇「若謂奚齊曰「嘻嘻為大國君之子富貴足矣何以兄之位為欲居之以至此乎

云爾』前「而」・

古書虛字集釋 卷二 爲

햊 非子八姦篇『所謂亡君者非莫有其國也而有之者皆非己有也令臣以外爲制於內則是君人:

者」也』作「而」・是以意改・

姦刧弑臣篇『君因信妾余之詐爲寒正妻』

難二 篇: _ 以為 非臣之力也且不 以管 仲爲霸以爲君之力也且不以 豎刁爲亂。

楚辭 惜 往 日篇『獨鄣壅』 而蔽隱兮使真臣爲無由』一作「而」・

韓詩外傳九『 田無字曰「位為中卿食田七十萬何用是人為畜之』

莊子秋水篇『睾其死爲留骨而貴乎睾其生而曳尾於塗中乎』訓爲:

論衡龍虛篇『何以死蛟爲葉之』

說苑 反質 篇: **—** 衞 有 五 立丈夫 俱負に 缶而 ||入井灌韭終日一區鄧析過下車爲敷之日「爲機重 其後輕

其前命曰橋] 』 115年1:

史記信陵君傳『乃裝爲去』。。

禮書「謂因民而作追俗爲制也」

論衡非 韓篇 -7 則干木以此行而有益魏文用式之道爲有功。

文子自然篇『故不待功而立不以位爲尊不待名而顯不須禮而莊不用兵而强。.

此上三例拧「爲一與「而」爲瓦文。

爲一猶「則」也釋詞,

莊子寓言篇『同於己爲是之異於己爲非之』詢引· 即是經典學

論語陽貨篇: 尼弟子傳作『 <u>—</u> 君子有勇而 君子好勇而無義則亂小人好勇而無義則盜』凱・小人有勇而亡誼則爲盜」於「爲」上。 漢書地理志引作『君子有勇而亡誼則爲 無義爲亂則亂」,文例同此,小人有勇而無義爲。,泰伯篇:『勇而無禮 史記仲

失之・復増「則」字・

孟子告子篇『鄉爲身死而不受今爲宮室之美爲之』「郷爲」之[爲]訓[則]・孟子告子篇『鄕爲身死而不受今爲宮室之美爲之 』「舜爲」之[爲]讀去聲・

左傳隱四年『王覲爲可』

僖二十五年『今為可矣』句例同此· 信二十五年『今為可矣』句例同此·

苟子王制篇『官人守天而已爲守道也』

古書盛字集釋 卷二 為

莊子 在 宥篇: 多 知爲◎ 败。

國語普語一: — 且 苦聞之甚! 精必愚精爲易辱. · 恐不 知避 難。

史記淮 南 衡 王 傳: 三唑 下為。 有殺弟之名柰何? __

白 起 王 躺 傳: -始 **温日「為** 聴將 軍 計耳。 __

淮南子說 Ш 篇: 春貨 秋賦, 民皆欣, 春 賦 秋貸, 一衆皆怨得, 失 同, 喜怒爲。 别, 其 胩 異 也。

爲 禮記祭義篇『唯聖人爲能饗帝孝子爲能饗親。 **一**循 乃 一也「乃」與「綫」

禮運篇『故唯聖 人為。 也。

於世而不僻」,文例同此莊子外物篇:『唯聖人乃

・能遊

知禮之不可以已

祭統篇: _ 唯 有德之君爲 能行 此。

171 庸 篇: 唯 天下 至 誠, 為回 能 經綸天下之大經。

叉: 唯 天下 至 聖, 爲0 能 聰 明 容 知足以有臨 也。

一子滕文篇: 惟助 爲o 有 公田。 **L** ==

梁惠王篇『 無恆產而有恆心者唯士爲能。。

呂氏春秋 精論當: £ === 唯知言之謂者爲可

史記李斯傳『唯明主為能行之**』**

穰侯傳『唯魏冉爲能立昭王。

此上各例皆上言「唯一下言「爲」「爲」皆訓「乃」

齊悼惠王世家『雖大臣皆依朱虛侯劉氏爲彊』今據漢書酬‧齊悼惠王世家『雖大臣皆依朱虛侯劉氏爲彊』今據漢書酬‧

爲, 一獨口語之「却」也 韓非子內儲說上篇『公曰「何夢」對曰一夢見竈爲見公也」

「爲一循一其」也。[爲]][其]古字通用· 墨子旗守篇『有以知為所爲』即「其」

左傳昭元年『 莒魯爭耶為 日久矣』日久矣』,文例同此,左傳昭元年『 莒魯爭耶為 日久矣』 戰國策東陽策曰:『其

孟子公孫 、丑篇 -7 班董 諫於王 而不用致為臣而去。

古書虚字集釋 卷二 爲

新序節士篇『伯成子高辭爲賭侯而耕』 又『孟子致為臣而歸』:

爲 詩卷阿篇『四方為綱』綱』・文義同此・」循「之」也「之」・循(尹」訓「之」也・一人」・四語作「的」・「為」訓

又『四方爲則』義同此·「極」猶「法」也· : 四方之極』·文

六月篇『萬邦爲憲』同此·「憲」「方」皆訓「法」· 。。 鼻矣篇·『萬邦之方』·文例

桑扈篇『百辟爲憲』

爲 一猶「然」 也 一 然 作 如

左傳昭元年『后子見趙孟……趙孟曰「秦君何如」對曰「 無道」趙孟曰「亡乎」對曰「何

為 』然』。按「何」字無須訓「豈」。。 助字辨略云・『何爲猶云豈

爲 襄三十一年『然明謂子產曰「毀鄕校何如」子產曰「何爲」」 一猶「焉」 也。

二四四

老子四十九章『歙歙爲天下渾其心』文選東京賦引作『慄慄焉』並作「慄慄」・劉師培云・『慄慄即老子四十九章『歙歙爲天下渾其心』文選東京賦引作『慄慄焉』並作「慄慄」・劉師培云・『慄慄即

古醴「爲」者「譌」・與「ぉ」爲歌寒對轉・飲敵之異文・焉與爲同」・ 按劉説是也

爲疑問之詞順等字

荷子成相篇: 「何疑為」 疑焉! 文義同! 此又 ·何

漢書 電張湯傳: - 何厚葬為』 作『何厚葬乎』・史記皓吏傳張湯傳

史記宋世家『 必如公言即奴事之爾又何戰為』五年:『又何逃焉』·文例並同必如公言即奴事之爾又何戰為』五年:『又何疑焉』·玄傳傳

. +

大戴禮 Ħ. 帝 · 德 篇: _ 夫黃帝尚矣女何以爲先生難言之。

左 傳襄 二十 ·七年 7 是之不憂而 何以 田 為?

二十二年: 雨行, 何以 聖 為?

昭二十八年『 女何 以爲哉?

國 一話一話 將 何治爲

古書虛字集釋 卷二 爲

楚語『亡人得生又何不來爲。??

穀梁傳定十年『何爲來爲』訓[焉]・穀梁傳定十年『何爲來爲』訓[焉]・

論 語顔淵篇「 何以文為 __

子路篇了: 雖多, 》亦奚以爲 ?

季氏篇『何以伐爲。?

孟子萬章篇「我何以湯之聘幣爲哉」

滕文篇『惡用是脫睨者為哉 <u>_</u>

莊子逍遙遊篇: 『奚以之九萬里而 南為

荀子 楚解漁父篇 7 議兵篇『 何故深思高舉, 然則又何 以兵 中自令放為

韓非子說林篇 「奚以薛爲

戰國策趙策『 君何以疵言告韓魏之君為

呂氏春秋異寶篇『今我何以子之千金劍爲乎』

說苑建本篇『又何學爲乎』

墨子公轍篇『夫子何命焉爲』皆疑問詞:

一爲感歎之詞:

莊子逍遙遊篇『予無所用天下為』

為語末助詞:

論語子張篇『無以爲也』

老子七十五章『夫唯無以生爲者是賢於貴生』

爲難去

「爲」猶「因」也。

古書虛字集釋 卷二

苍二 写

二二七

誷

論衡非韓篇「天地不爲戲歲去春人君不以衰世屏德』皆即「因」·

孟子梁惠王篇「克告於君君爲來見也」趙氏訓「爲」爲「胯」·未允·孟子梁惠王篇「克告於君君爲來見也」趙注曰:『君將欲來』·按

爲 一猶「助」也。

論語述而篇『夫子爲衞君乎』

「爲」 一猶「代」也。

淮南子主術篇『是猶代庖宰剝牲而爲大匠斷也』謂代大匠斷。文例同此:

人間篇『任登曰「智伯之强威行於天下求地而弗與是爲諸侯先受禍也不若與之」」

謂

謂」猶「爲」 一也「爲」字讀去學

鹽鐵論憂邊篇『有一人不得其所則謂之不樂』問則:

禮記祭義篇『非其寒之謂也』

韓非子姦刧弑臣篇『此謂刼殺死亡之主言也』戰國策楚策四「謂」作「爲」韓非子姦刧弑臣篇『此謂刼殺死亡之主言也』戰國策楚策四「謂」作「爲」

謂 猶 為 七「爲」字讀平聲・ 此

左傳莊二十二年『是謂觀國之光』史記陳杞世家「謂」作「爲」調引·左傳莊二十二年。。見經傳釋

韓詩外傳三『孔子觀於周廟有飲器焉孔子問於守廟者曰「此謂何器也」「荀子宥坐篇「謂韓詩外傳三』孔子觀於周廟有飲器焉孔子問於守廟者曰「此謂何器也」「荀子宥坐篇」謂

作「爲。

左傳傳十二年『余嘉乃勳應乃懿德謂督不忘』「督」「椒」同從「叔」聲,故通用),言承汝懿德,爲至不左傳傳十二年『余嘉乃勳應乃懿德謂督不忘』「應」・「承」也・「督」讀爲「椒」・「至」也・(說文:『椒・奚也』・

也忘

謂 一猶「以_ 一也「謂」が互見「以」字條・

說苑修文篇『夫臣勇多則弑其君子力多則弑其長然而不敢者惟禮之謂也。。 春秋疎篇・作『以』山 一 惟禮

亦「以」也・一之故也。「故」

論衡感虛篇『世好神怪因謂之反不道所謂也』「明」也· 論例感虛篇『世好神怪因謂之反不道所謂也』「明」也·

古書虛字集釋 卷二 謂

钢

列子力命篇『 亦不以衆人之觀易其情貌亦不謂。 衆 人之不觀不易其 情貌。

韓 非子亡徵篇『 | 怯懾而弱守蚤見而心柔懦知有謂 可斷而弗敢行者, 曾智有以龍斷而不能行者也。「知」同「智」。「可」「敢」皆訓「能 題

字爲句・失之・一路折以「知有謂可」四 可亡也。

戰國策齊策「 然而 智伯卒身死國亡為天下笑者何謂也。?

詩行露篇『 **豊不** · 夙夜謂行2 多露。 多露也・經傳釋調訓「謂」爲「柰」・行・道也・言豈不欲夙夜而行乎・

大戴禮曾子立 |孝篇| 君子一 孝一 弟, 可謂知終的

墨子耕柱篇『所謂貴良寶者可以利民 也。

戰 **W國策趙策** -凡吾所謂命 爲此者以明君臣之義非從易也。

史記魯仲連傳『所謂貴於天下之士者爲人排難解紛而無所取也』也:

謂, 一「使」 也。 雅見 ·廣

詩 出車篇 自天子 所, 謂º 我 來 矣。

疏 題 ・ 雅

縣蠻篇「命彼後車謂之載之」

≒0

左傳昭十六年『今吾子以好來辱而謂敝邑强奪商人是敎敝邑背盟誓也毋乃不可予

韓詩外傳三『今其仁義之陵遲久矣 也・「夫」「夫」 能謂民無踰乎」 **毋說** 篇 成 问 政 荀子宥坐篇「謂一作

「 使。 」

「謂」猶「與」也釋詞·

史記鄭世家『晉欲得叔詹爲戮為」· 鄭文公忠不敢謂叔詹言』

高祖紀『劉季乃書帛射城上謂沛父老』漢書高帝紀「謂」作「與」。

此上二例並見經傳釋詞引。

胃」循「如」也也:謂「爲」古通用:
即一如」也可謂則「如」強「爲」訓「如」

一爲「柰」字之義即「柰之何」

戰國策齊策『雖惡於後王吾獨謂先王何乎』猶柰也!· 謂

詩北門篇『謂之何哉』為「柰」· 「帶學釋詞訓」謂」

爲一如似」之義

古書虛字集釋

卷二 .

調

1 = 1

國語晉語「謂晉公子之亡不可不憐也」

爲「如或」

新序襍事篇『君謂赦鳧須顯出以爲右』

謂」猶「惟」也謂「惟」

韓非子解老篇『夫謂嗇是以蚤服』也・ 老子作『夫惟嗇是謂早服』

謂」猶「以爲」

左傅哀二十七年『謂大夫其恤陳乎』」猶「以爲」」也

僖二十八年『謂宵俞忠而免之』

僖二十四年『臣謂君之入也其知之矣也· 若猶未也又將及難』: 。

史記項羽紀贊『謂霸王之業欲以力征』「可」也· 。 [欲]同[猶]·

詩皇矣篇『帝謂文王 。

國語楚語 『 女無亦謂我老耄而舍我』拾我乎·無「乎」字者·是省去·

一日 一 一 詞 一 論語學而篇『子曰「學而時智之」**」** 一也。是就言也雅·

或於「語更端」用「曰」字: 禮記檀弓篇『公瞿然失席曰「是寡人之罪也曰寡人嘗學斷斯獄矣」』即是::。。::

或一人之言自爲問答則用「日」字以別之:

論語陽貨篇『懷其寶而迷其邦可謂仁乎曰不可好從事而亟失時可謂知乎曰不可』皆是:

此上 二例說並見經傳釋詞。

或於問語省「日」字

孟子滕文篇『「許子冠乎」曰「冠」』「計」字:

古書虛字集釋

公二 日 越

三。

或於答語省「日」字:

論語陽貨篇『曰「賜也亦有惡乎」「惡徼以爲知者……」

日」循「謂」也音·義亦相通·

說苑建本篇『大學之敎也時禁於其未發之曰預因其可之曰時相觀於善之曰磨不陵節而施之記,

日馴」禮記學記篇「曰」皆作「謂」

曹洪範篇『一日水二日火三日木四日金五日土**』**

韓詩外傳三『此之曰十二發』

逸周書成開篇『內外不爽是曰明王』

度邑篇 「其日茲日度邑」以意改・讀書漢志謂作「名」者是・失之・

詩縣篇了 **虞芮** ·質厥·成文王蹶厥生「輿」也)·「厥」·「而」也·曹文王蹶然而興也,「生」猶「輿」也·(廣雅•「輿•生也』·是|生」亦 予日有疏附予日有先 ・

論衡本性篇『日性善者是見其陽也謂惡者是見其陰者也』為互文· 同日與「謂」

日一循一是」也可是是一个一日」男人為一古通用

詩巧言篇『悠悠昊天曰父母且』也:「哉」

南山篇『既日歸止曷又懷止 ?

書秦誓篇 邦之榮懐日由一人』懐・安也・

盤庚篇『卜稽曰其如台』・卜以問疑也』・言卜卟是其柰何邪・松庚篇『卜稽曰其如台』・卜以問疑也』・言卜卟是其柰何邪・「卟 君與篇『惟文王尚克修和我有夏亦惟有若號叔行若閎天有若散宜生有若泰頗有若南宮适又

考之弊訓』・皆其義也)・言虢叔等五人者是不能往來而輔訓徴・文王無德降于國人也・「由」・「輔」也・「弊敎」猶言「訓殺」・(弊有訓殺之義・洪範言『是弊是訓』・酒誥言『聰聽祖 日無能往來茲迪彝教一句・文王葭應降于國人』「是」也・「無」・「不」也・「茲」・「而」也・「迪」讀爲の、「不」也・「茲」・「希」也・(既見「有」字條)「曰」・

一獨「爲」也是聲:

公羊傳桓四年『諸侯曷爲必田滅一 日乾豆二日賓客三日充君之庖」穀梁傳灣記王制篇「日」。

皆作「爲」三「爲」字爲「日」・失之・皆作「爲」三「爲」字爲「司訓穀梁傳此文之

猶「爲」 也。平整·讀

古古虚字集釋 卷二 日 越

爲「作爲」之義

 書呂刑篇「惟作五虐之刑曰法」

新序襍事篇『客有歌於郢中者其始曰下里巴人……其爲陽春白雪』爲五文:

爲「行」字之義

左傳昭十四年『三數叔魚之惡不爲末減曰義也夫』義述關謂「曰」爲「由」之譌・失之・左傳昭十四年『三數叔魚之惡不爲末減曰義也夫』,「曰義」即「爲義」・亦即「行義」・經

爲 「故」字之義論語雅也篇·「何爲」即「何故」·

說苑尊賢篇「夫良「良臣」· 將營其君使復其位」也· 死而後已何曰以來」

爲「謂」字之義

荀子子道篇『故君子知之日知之不知日不知言之要也能之日能之不能日不能行之至也』韓

詩外傳三說苑襟事篇「曰」皆作「爲」

周 醴職方氏『其外方五百里日侯服 又其外方五百里日 甸服』逸周書職方解篇「日」皆作禮職方氏。

爲。

史記龜策傳『桀有諛臣名曰趙梁。 斜有諛臣名為左張』為五文· [日]與「爲」

一猶「有」 也同到而有一也

詩雨無正篇『庶日式臧覆出爲惡』

墨子尚賢篇中『旣曰若法也・ 未知所以行之術則事猶若未成』尚也・ 「獨若」「獨

書洪範篇『水曰潤下火曰炎上木曰曲直金曰從革』『從·因也]· 潛夫論夢列篇『昔武王邑姜方震太叔夢帝謂己命爾子虞而與之唐及生手掌曰虞因以爲名』

字或作「越」

書梓材篇『汝若恆越曰』也· 「若」·「當」

日」稍一者」也循為訓者也· 「日」訓者」·

詩板篇『吴天曰明及爾出王也・ 吴天曰日[明]也 及爾游行』爲[惟]・失之・詩板篇『吴天曰明及爾出:[王]・[在]。 《天曰日]明]也 及爾游行』爲[惟]・失之・

書洪範篇『月時五者來備』也・「此」

日」稍「則」也。

古書虛字集釋 卷二 日 越

墨子天志篇中『 穀不辜者誰也曰人也予之不祥者誰也曰天也」 從孫治讓說補・「殺」字傳脫・茲 天志篇上「日」

皆作「則」

公羊傳僖二十 一年『吾與之約以乘車之會自我爲之自我墮之曰不可』:

穀梁傳隱元年『己廢天倫而忘君父以行小惠曰小道也。

管子任法篇『 故爲 人主者不重愛人 不重惡人重愛曰失德重惡曰失威德威皆失則主危也。

荀子儒效篇『彼學者行之曰士也』

孟子茑章篇 孔子嘗爲委吏矣曰 會計當而已矣嘗爲乘田矣曰牛羊茁壯長而已矣』

詩角弓篇『雨雪瀌瀌見晛曰 消。 雨雪浮浮見明日流。 **体釋問體「日」爲「車」・而訓爲「於」・失之**韓詩「日」皆作「車」・「車」乃「日」之借字・1 · 55

【吹蜂 聿 日韓 遹 述 華 越 閏】

吹」猶「乃」也obby:「吹

認文引計] 吹水厥等一時作過一

或作

詩東山篇。我征世至。

字义或作 詩縣篇『 日。 止 一 上 一 時 一

東山篇『我東日歸』 采薇篇『日歸日歸』 (发·乃也)· 迺慰迺止』也·(慰·居也·既詳席雅疏證)「時」·「止」也·(說詳經義述開)「日止日時」·隨言『爱居爱處』・ 「言」亦則万」・

七月篇『日教羔羊』

渭陽篇『日至渭陽**。**

字 又或作「遹」

詩文王有聲篇「適駿有

二津,一惟」也。 古書虛字集釋

卷二 眣 掌 E 適 述 越

整適求於等適觀厥成…… **適追來孝**。 津追來孝・作

一三九

班固幽通賦「聿中龢爲庶幾兮」「車・惟也」・

字或作「日」

詩般武篇『自彼氏羌莫敢不來享莫敢不來王曰商是常』「助」也・

曹皋陶謨篇『思日贊賀襄哉!

詩大明篇『昭事上帝聿·懷多福同義)・春秋繁露引作『尤懷多福』・「允」亦「以」也・ 厥德不回以受方事」」「殆「以」也。」「中」「以」。「傳」・「來」也・「來與論語季氏篇『則修文德以來之』之「來」 厥德不回以受方事」」「殆「以」也。「事」「以」

國」為互文・

字或作「述」

詩文王篇『聿修厥德』漢書宣元六王傳引作『述修厥德』

字又或作「日:

詩抑篇『日喪厥國』作『卑喪』·

載見篇『日求厥章』「日」作「車」· - 墨子尚賢篇引

四〇

大明篇『日嬪于京』「日」作「卑」・

七月篇『日爲改歲』貨志引「日」作「津」・

大戴禮衞將軍文子篇『其言曰性』

荀子宥坐篇『孔子曰「太廟之堂亦皆有說官致良工因麗節文非無良材也蓋曰貴文也」 云**楊** ・注

文飾也』・「蓋所以貴

字又或作「越」 放亦與音率之「日」通・「越」與論語『子日』之「日」通・

詩抑篇『亦聿旣耄』』『B』: 書」猶「已」也』以」,故亦訓已」,

蟋蟀篇『歲事其莫』也: 「將」

粵 越

古書處字集釋 卷二 粤 越 日

「粤」「於」也雅・

字或作「越」

書文侯之命篇『越小大謀娥罔不率從』

字叉或作「日」

國語楚語」四封不備一同而至于是有畿日以屬諸侯至于今爲令君』

禮記禮運篇『其降日命其官於天也』「法」也・言其隆於道・其法於天也・禮記禮運篇』其降日命其官於天也』「除」證爲「隆」・「命」・「道」也・「宜」・

越」「與」也雅感

書大誥篇『大誥猷爾多邦越爾御事』詞引・書大誥篇『大誥猷爾多邦越爾御事』詞引・見經傳釋

字或作 「日」

書立政篇『乃用三有宅克卽宅曰三有俊克卽俊』下文曰·『克用三宅三俊』· 書立政篇『乃用三有宅克卽宅曰三有俊克卽俊』下文曰·『克用三宅三俊』·

詩賓之初筵篇『其湛曰樂』

大戴禮千乘篇 7 及中國之民日五方之民咸有安居和味」

「越」循「及」也剛見經傳

書召誥篇『越六日乙未』詞引・

越」猶「於是」也

大戴禮夏小正篇。越有小早一瞬詞,

書康誥篇『殺越人于貨』也·「取」起」一術「其」也·「越」」所「其」也·「越」於」「聲之轉·越」一種「於」」

酒誥篇『在今後嗣王酣身厥命罔顯於民祗》保越怨不易』顯民祗』:「顯」同「鑑」:謂不顧天靈民歸酒::

怨不慢易也・猶微于篇云『召敵響不怠』耳・也)・「保」猶「聚」也・「易」・「慢」也・言聚其

字或作「曰」

秦誓篇『黎民亦曰殆哉』危哉之例同·

詩賓之初筵篇『其未醉止威儀反反曰旣醉止威儀幡幡』五文耳:詩賓之初筵篇『其未醉止威儀反反曰旣醉止威儀幡幡』五文耳:

一越」猶「故」也申事之詞也。

古書 虚字集釋卷二 專 越 日

日

曹盤庚篇『不昬作勞也: 不服田畝越其罔有黍稷』

酒誥篇『厥心疾很不克畏死也· 宰在商邑越殷國滅無楹』言無憂之者也酒誥篇:

大誥篇『民不静亦惟在王宮邦君室越予小子考翼不可征王害不遠卜』事』自謂・「異」讀爲「健」・大誥篇『民不静亦惟在王宮邦君室越予小子考翼不可征王害不遠卜』事』自謂・「異」讀爲「應邦君應士舞

· 億」·「燕億」皆「安」也·左傳階十一年·『不能共億』·是假「億」為「異」·「共異」即「恭敬」也·為一語·皆盛滿之貌·此即「異」與「健」通之例·(億億同音通用)詩大雅『以燕興子』·是假「異」為 「異」與「億」古同音・可通假・楚辭天問篇・『馮翼惟象』・司馬相如長門賦・『心憑噫而不舒兮』・「馮翼」與「愚噫」度」也・言民不靜・亦惟在王宮邦君室・故予小于考度不可征也・下文『厥考異』・亦是假「異」爲「億」・作「考度」解

又『予造天役也·遺大投艱于朕身越予沖人不卬自恤』·

越若」「及」也問題を傳輸している。 青召誥篇「越若來三月」也·至

字或作「粤若」

漢書律歴志引書武成「粤若來二月」也・「巫」・「至」

此上二例並見經傳釋詞引。

「日若」發語詞也。

四四

字或作「粵若」

曹堯與篇『日若稽古帝堯』也·今文「日」作「 **_**0

皋陶謨篇『曰若穃古皋陶』今文「曰」作「粵」

亦越 猶言「以至」也「<u>越</u>訓」。:

書立政篇『自古商人亦越我周文王至於庶人』・文例同此・・

亦越成湯至於帝乙」·

……亦越文

王武王…

…亦越武王』

爱

爱 一猶 「於是

詩斯干篇『爰居爰處爰笑爰語』 M(居)也・「處」也・「旅族」與「處處」同義)・于時言言・于時語語」・文義自「爰」・「於是」也・公劉篇・『于時處處・于時應旅・(「慮」讀爲「旅」・「旅

也・說詳經傳釋詞・此同・「于時」亦「於是」

古書虛字集釋 卷二 爱

卷:-

縣篇「爱始爱謀爱契我龜」「治」·

又『爱及姜女』

公劉篇『爰衆爰有』也.

「爰」「於」也^雅

書盤庚篇『綏爰有衆』釋詞.

詩皇皇者華篇『周爰咨謀』也・「思」「思」

縣篇『周爱執事』也· [周]·[忠]

「爰」「日」也語『子日』之「日」・

呂氏春秋序意篇『 驚得學黃帝之所以誨顓頊矣爰「有大園在上大矩在下…… 」

爱 一 循 一 與 」 也 釋詞· 博

書顧命篇『大保命仲桓南宮毛俾爰齊侯呂伋[及]也· 以二干戈虎賁百人逆子釗於南門之書顧命篇『大保命仲桓南宮毛俾爰齊侯呂伋[碑]同[比]· 以二干戈虎賁百人逆子釗於南門之

外 副引 ・ 関 經 傳

四大

楚解九章篇一曾得爱哀也 永暖唱分上

天問篇「足娶純狐眩妻爱謀」或於夷而與謀殺界也,

「爰」猶「乃」也。

爲「綫」字之義

書無逸篇「作其即位爱知小人之依說見經義遊聞· ……作其即位乃或亮陰」「成」「有」也

爲互文。

為一一前與書張典籍"乃命變

荀子賦篇『爰有大物。 詩凱風篇『爰有寒泉』

爰」猶「以」也。

詩定之方中篇『樹之榛栗椅桐梓漆爰伐琴瑟』

七月篇『遵彼微行发求柔桑。

古善虚字集釋 卷二 缓

公割篇『弓矢斯張干戈威揚爱方啓行』也·「方」·「大」

「爰」猶「是」也。

整群天問篇『南土爱底·至也』······有莘爱極』篇『南嶽是止』·文例同此·

書無逸篇『其在高宗時舊勞于外爰暨小人』與小人」·「爲」亦「是」也·「與」「輕」同師「及」·

詩皇矣篇『爰究爰度』圖・文義同此・

「爰」猶「則」也。

楚解天間篇『陽離爱死』『人失陽氣則死也」・

詩碩鼠篇『適彼樂土爱得我所』傳引:

「爰」猶「有」也。

曹洪範篇「土炭稼穑」「日」亦「有」也・ 史記宋世家「爱」作「日」・

「爱」猶「而」也。

詩采芑篇卷阿篇並曰「亦集爱止』也· 革

爱」猶「之」也。

詩正月篇『瞻鳥爱止于誰之屋』

按「发」與「爲」通用寒歌對轉字:故「爰」字之訓十九與「爲」同「爲」之與「媛」媛」二按「爰」與「爲」,「爰」與「爲」,「爲」「爲」「

篇: 皆一发」與「爲」可通用之證而書無逸篇「爰暨小人」史記魯世家作「爲與小人」見玉 | 曾訓「猴」·「譌」之與「諼」「酢」· 意義相同・ | 「 楥」讀者「撝」木部・「爰」之訓「爲」字· 在武文 |

尤其明證也。

叉 友 佑 宥

非無也。

論語泰伯篇『亡而爲有』

字或作「方_

古普虚字集釋 卷二 有 叉 友 佑 宥 政

24 九

詩雲漢篇『散無友紀』

字叉或作「佑

書金縢篇『敷佑四方』□ · 文 或作 「佑」

多士篇『我有周佑命』

字叉或作「宥」

管子版法篇『罰罪宥過以懲之』版法解篇「宥」作「有」

「有」猶「又」也。

詩終風篇『不日有曀』

論語爲政篇『吾十有五而志於學』

「有」猶「或」也稱詞·

穀粱傳莊二十九年『一有一亡日有』即成了字

書多士篇『朕不敢有後』

五〇

一有 一狮 與一也。本實有一

書無逸篇『怨有同是叢子殿身』四方皆同怨之』,亦是假「同」為「悯」,書無逸篇。 「同一讀為「悯」、「痛」也,漢書王益傳

多士篇『大淫決有解』公本傳文十二年·「解」作「怠」·

呂刑篇: 气惟 我有稽」作「凯」・「凯」・「問」也・與治」義近・

詩既醉篇『命終何俶』也:始

逸周書皇門篇『用克和行成』

有 一猶「于」也「於」 心へき「存」與「子」

書呂刑篇『鰥寡有辭子苗』墨子引作『有辭有苗』訓於」·

詩十月之交篇「擇有 車馬, 以居徂向』也:「其」

殷武篇『天命降監下民有 嚴。 <u>_</u> 猶崧高篇之『四方于宣』・即宣于四方耳「有」・「于」也・謂嚴于下民也・此是倒句

呂氏春秋勸學篇: 『疾學在有尊 師。

古書處字集釋 有 叉 友 佑 宥 妏

史記項羽紀**「恣霸有天下」**

禮記大學篇『是故君子有大道·以位言之』·必忠信以得之驕泰以失之』 。 ,朱注曰:『君子

「有」循「以」也。「有」古讀者「以」・(既見唐

春秋繁露度制篇引書『墨服有庸』書皋陶謨篇作『車服以庸』

賈子胎教篇『兩者不等各有其母』本·大戴禮保傅篇作『各以其母』 輪衝感虛篇引鴻範『月之從星則有風雨』曹洪範篇「有」作「以」論衡感虛篇引鴻範『月之從星則有風雨』曹洪範篇「有」作「以」

詩皇矣篇『皇矣上帝臨下有赫』潛夫論班祿篇引「有」作「以」詩皇矣篇『

荀子正名篇『與所緣有同異宋本·····然則何緣而以同異』為五文· 「有」與「以」

莊子人閒世篇『且德厚信 矼未達 人氣也:《名聞不 争未達 人心而强以仁義 繩墨之言 術暴人人 之前者「述」·是以人惡有其美也以人惡·以已美也·命之曰災人』爲互文·之前者「術」同。,。 「有」與「以」同·言是。 「有」與「以」

禮記哀公問篇『昔三代明王之政必敬其妻子也有道』

論衡感類篇『以湯遭旱自責以五過也聖人純完行無缺失**矣何自責有五過」**

戰國策楚策一『且魏介兵以深割趙趙見亡形而有楚之不救己也也, 必與魏合而以謀楚]戰國策楚策一『且魏介兵以深割趙趙見亡形而有楚之不救己也也, 「而」「又」必與魏合而以謀楚]

史記廿茂傳『公仲因廿茂茂爲韓言於秦昭王曰「公仲方有得秦敷故敢扞楚也」』也: 「方」: 「乃」

晏子春秋襖篇『然吾失此何之有也」

「有」猶「而」也[京訓[而]·獨

荀子富國篇『故儒術誠行則天下大而富使有功』本・宋本「有」作「而」・和・・の。 「有」・「而」也・・此據元朝

莊子外物篇『人有能遊且得不遊乎人而不能遊且得遊乎』為豆文· 「有」與「而」

「有」猶「何」也可則何也·

商君書弱民篇『有以知其然也』

春秋繁露竹林篇『有以效其然也』也・「效」「驗」

「有」猶「如」也「有」們如一也

一爲「及」字之義

漢書杜周傳『夫欲天下治安變異之意莫有將軍』也』,按「不如」即「不及」,

古香虛字集釋卷二 有又友佑宥或

一爲「如似」之義

三國志吳志宗室傳『 . 松笑曰「-屬亦自然行事有此豈有望邪? __ 辨說

略見・助

字

列子力命篇『北宮子旣歸衣其 短 褐, 有。 狐貉之溫 進其 一裁菽有稻粱之味 庇其蓬室若廣慶之蔭乘

其華輅若文軒之飾」五文耳·

一爲一如或」之義

禮記檀弓篇『有直情而徑行者戎狄之道也』

新序襍事篇『自古及今有窮其下能無危者「而」・未之有 也。

史記孟嘗君傳『有用齊秦必輕君』齊·則秦必輕孟嘗君也· 。 言親弗呂禮二人如見用於

周勃世家『有如卒子當代』猶言「殷如」也・

字或作「叉」

又曰無能往來茲迪聲教文王 蔑德降于國人」。 往來而輔訓教・文王無德降于國人也・說詳此「又」字訓「若」・見助字辨略・言者是不能

雅是 也節・ 「日」字條日

有一狗一在」也是無事

孟子告子篇『然則耆炙亦有外與……然則飲食亦在外也』也·互文耳· 。 淮南子道為篇一治國有禮不在文辯一「有」作「在」,殆以意以、淮南子道為篇:

寬冥篇: 即有明智弗能然也』「有」作「在」·殆以意改·

詩殷武·一昔有成湯自彼氐羌也·莫敢不來享莫敢不來王」

一十一首 為一世別則是經傳釋詞 此

國語晉部『其有吉孰大焉』左傳昭五年『其爲吉孰大焉』

議子滕代語司人之有道也**」又**『民之爲道也』

此上三例並見經 傳釋詞引。

史記封禪書『陛下必欲致之則貴其使令有親屬』武帝紀作『史記封禪書『陛下必欲致之則貴其使令有親屬』武帝紀作『 **合為親屬**

韓非子難一篇『是栩留未有善以知言也』「有」可訓「爲」·不必改·韓非子難一篇『是栩留未有善以知言也』「有」可訓「爲」·不必改·

既苑引孟子『善推其所有而已』孟子梁惠篇「有」作「爲」

古客處字集釋

有 叉 友

佑

宥或

五五

周禮考工記轉人『今夫大車之轅擊其登又難**』**

禮記檀弓篇『蠶則績而蟹有医范則冠而蟬有矮兄則死而子皋爲之衰』與「爲」爲至文:「有」猶「爲」也『夫子爲衞君乎』・鄭注曰:「爲・助也』)・

戰國策秦策『吳起事悼王使私不害公鵝不蔽忠言不取苟合行不取苟容行義不固毀譽[顧]・

必有伯主强國不辭禍凶』史記蔡澤傅作『然爲霸主强國』皆則「者」・。「必」與「然」

了有」猶「因」也「有」斯因」· 独

白虎通封公侯篇『天雖至神必因日月之光地雖至靈必有山川之化』為五文:

「有」猶「及」也「有」」即及」也

論衡禍虛篇「虞舜爲父弟所害幾死再三有遇唐堯堯禪舜立爲帝」 。

詩召旻篇『維今之人不倘有舊』篇:『殷不用舊』:「有」猶「用」也[京]訓[用]也:

有一狗一能」也可可能也

墨子天志篇下『處人之家不戒之愼之而有處人之國者乎』

左傳文七年『先人有奪人之心』

戰國策齊策 四『與稍稍誅滅滅亡無族之時 日・『以旅在上・其義焚也』・「興下」即「在下」・猶言「在上」也・「興」・「於」也・「在」也・易旅云・『以旅興下・其義喪也」・又

蹝 欲為監門 関里安可 得而有乎哉!

禮記大學篇『知止而后有定定而后能靜靜而后能安安而后能慮慮而后能得』爲五文: "有」與「能」

「有」猶「得」 也。

左傳信十五年『大夫其何有焉』猶何得也。

管子明法解篇: 光光者, 臣無功而得賞忠正無罪而有罰』爲五文

-

如

回邪!

孟子 公孫 丑 常 『子 夏 子 游 子 張 皆 有 聖 人 之 一 體 』 論 衡 刺 孟 篇 引 「 有 」 作 「 得 」

詩芣苜篇『瀬言有之』

禮記檀弓篇『君王討敝邑之罪又矜而赦之師與也· 有· 有· 古書虛字集釋 卷二 有 叉 友 佑 宥 政 無名乎」

Ħ. 七

五

左 |傳昭三十二年『伯父若肆大惠復二文之業弛周室之憂徼文武之福以固盟主宜昭令名則予

人有大願矣』

易師六五『田有禽』謂田獵不得禽也,故象曰:『久非其位,安得禽也』,易師六五『田有禽』謂田獵得禽也,猶言『田復三狐』耳,又恆九四:『田元禽』,

「有」猶「敢」 也。

左 | 傳傳二十八年『以君之靈不有寧也』辨略·

禮記月令篇季夏節『樹木方盛乃命虞人入山行木毋有斬伐』淮南子時則篇作了 勿敢斬伐」

書大語篇康語篇並曰『若有疾』南山經云・『虎蛟可以已寿』・「有」論「已」也「有」古讀者「已」「一上」也

戰 國策齊策『客趨而進曰 「海大魚」因反走君曰「客有於此」」 ・『於此止無走也」・「止」字即釋「有」・「己」也・「止」也・高注日

晏子春秋諫篇『封人曰「使君無罪於民」公曰「誠有鄙民得罪於君則可安有君得罪於民者「有」猶「謂」也[項]訓[謂]·始

乎二一者 也,作者或一解。

有」「雖」也雅·

左傳哀十六年『自公欲以子閱為王子閭不可遂刼以兵子閭曰: 「王孫若安靖楚國匡正王室而

後庇焉啓之願 《心放不言 聴從? 若將 専 利以傾王室不顧 楚國有一 死不能。 不易1•句例同此•史記淮陰侯傳•『雖死 新 序

義勇篇作『吾雖死不子從也』蓋據爾雅『有·雖也」之訓·

宣十五年『城下之盟有以國斃不能從也』

國語鬥語: **駹姬見申生而哭之曰「有父忍之況國人乎」**

書康誥篇『有厥罪小乃不可不殺』也·

有一循「乃」也「有」即乃」也

韓非子解老篇『修之身其德有餘』老子「有」作「乃」韓非子解老篇『修之身其德有餘』老子「有」作「乃」

字或作「或」又或作「又」

老子四章「道沖而用之也・或不盈。 』淮南子道應篇引作 --道沖而用之又弗益」『又不滿」·

古書虛字集釋 卷二 有又友佑宥或

六 〇

左傳宜十七年『吾若善逆彼以懷來者也・ 吾又執之以信齊沮吾不旣過矣乎?

衣十六年「獪將旌君以徇於國而又掩面以絕民 望不亦甚乎」

「有」猶「是」也「京訓是」也

詩載馳篇『大夫君子無我有尤』「毋」·

書盤庚篇『曷不暨朕幼孫有比』釋調謂「有」爲「語助」·失之·曹縣東第

多方篇『今予惟不爾殺也・ 予惟時命有申』『申命』・「申」皆同「陳」・「布」也・又義典言『分命』・「分」実多方篇『今予惟不爾殺也・ 予惟時命有申』『申』・「乃」也・「申」與「陳」同・「布」也・(義典及易異卦言

以不殺爾・予乃此命是布也・「頌」同・亦「布」也)・ 言令予

「有」看「之」也「有」則之」也發

韓非子內儲說下六微篇「濟陽君有少庶子有不見知欲入愛於君者」則之」·

「有」狀物之詞也。

詩桃夭篇『有費其質』釋問・

「有」狀事之詞也。

詩采蘋篇『有齊季女』

「有」語助也語助·必位於名詞之上· 。訓見經傳釋詞·按「有」字為 曹召誥篇『我不可不監于有夏亦不可不監于有殷**」**

君與篇『我有周旣受』

多方篇『猷告脚有方多士』「點告」:

詩巷伯篇『投畀有北……投畀有昊**」**

此上各例說皆見經傳釋詞。

「叉」「復」也。

論語公冶篇『又問』

古書虛字與釋 卷二

叉

「又」猶「有」也

國語周語『作又不節害之道也』「有」字條:

史記歷書『正不率天又不由人』作「亦」・又」館一亦」也「又」古讀者「異」・奥「以」音近

詩巷伯篇毛傳『魯人有男子獨處于室鄰之釐婦又獨處于室』

列女傳孽嬖傳『崔子歸見庫廢皆焚妻子皆死又自經! iffi 死

「又」猶「以」也「又訓以」、獨

史記衞世家『師曹又怒公之嘗笞三百乃歌之欲以怒孫文子報衞獻公』

「又」猶「與」也「反」即與一強 漢書嚴助傳『蚡以為越人相攻擊其常事又數反覆不足煩中國往救也」。

「又」猶「且」也辨略,字

一爲深入一層之詞

漢書疏廣傳『又此金者聖主所以惠養老臣也』略引:

賈子威不信篇『彼非特不服义大不敬』

論衡定賢篇 [7] 一為提示之詞:

論衡定賢篇『又雞可以姦聲感則人亦可以偽恩動也』 : 雞可以姦聲感•則雨亦可以僞象致]•是其我也,此「又」字訓「且」,與「夫」同義,凱龍篇云:「夫

又一猶「或」也「死」訓或也

左傳襄二十五年『公踰牆又射之』至畿・

國語晉語『其小人不念其君之罪,而悼其父兄子弟之死喪者不憚征籍以立孺子曰「必報警寧

事齊楚齊楚又交輔之一

一又一猶「而」也「又與而為之部是領字

韓 非子外儲說 右下篇『 故國者君之車 也勢者君之馬也無術以御之身雖勞猶不免於亂有術以

御之身處佚樂之地又致帝王之功也」 懶本.

古書職字集釋 卷二 又

一大四

戦國策齊策『公孫開日「封之成與不「否」・非在齊也又將在楚」」「是J也

禮記檀弓篇『非刀匕是共又敢與知防是以飮之也』

莊子讓王篇「夫天下至重也而不以害其生」也· 又況他物乎」·而不可得也·而況可召與J·文法正子讓王篇「夫天下至重也而不以害其生」也· "又況他物乎」·而不可得也·而況可召與J·文法

同奥・此

「又」猶「何」也以则何也

韓詩外傳二『伊尹知大命之將至舉觴造桀曰「君王不聰臣曾大命至矣亡無日矣」桀拍然而

抃嗑然而笑曰『子又妖言矣』也· 『矣」猶「乎」 新序刺奢篇作了子何妖言

荀子堯問篇『彼其寬也出無辨矣汝又美之』

左傳昭七年『朔於舣邑亞大夫也其官馬師也獲戾而逃唯執事所實之得免其死爲惠大矣又敢,●

求 位?

或

可或, 一不盡然也。

孟子萬章篇『或遠或近』

左傳哀元年『天其或者正訓楚也或者」 疑詞也。

國語晉語『其惑者未舉夏郊邪』字或作「惑者」

或」猶「有」也。

孟子公孫丑篇『夫旣或治之』,有也」,

書微子篇「殷其弗或亂正四方」史記宋世家「或」作「有」書做子篇「殷其弗或亂正四方」史記宋世家「或」作「有」

古書處字集釋

卷二

政 有 惑

六 五

六六

無逸篇『乃或亮陰』史記魯世家: 「或」作「有」

此上三例並見經傳釋詞引。

字或作「惑」「誠有百姓者」、「有」、「惑」也、(感、怪也)、字或作「惑」「惑」「不」、「有」亦訓「惑」、孟子梁惠王篇、

墨子明鬼篇『請惑聞之見之則必以爲有「誠」·莫聞莫見則必以爲無」讓本·

「或」猶「又」也轉制,

詩賓之初筵篇『旣立之監或佐之史』

左傳哀元年『今吳不如過而越大於少康或將豐之不亦難乎』史記吳世家作『又將寬之』

此上二例並見經傳釋詞引。

哀十一年『或淫於外州外州人奪之軒以獻』「其」也 昭二十五年『羈也不佞不能與二三子同心而以爲皆有罪或欲通外內且欲去君』

史記信陵君傳『物有不可忘或有不可不忘。

或」猶「誰」也。

孟 |子公孫丑篇引詩日『今此下民或敢侮予』又引孔子釋詩之言日| 『能治其國家難敢侮之』

· 說見助字辨略· 或敢 即。誰敢 也

梁惠王篇一行或使之止或尼之山正義補正,

字或作「有」

書堯與信『有能俾义』事也、言雖善於治洪水也、下例之「有能」、義皆同此、書堯與信』 (學) (學) (學) (漢為「辯)、「辦义」 , '智訓「治」、「能」、「善」也、謂善其

或一狗一何」也可可一或亦即何」

又『帝曰「咨四岳有能典朕三禮」』雅·[者·善也]·與其宣有能]同義· :! , 。 故聽典又屢言[瞻若] 「瞻若」即誰語」·(爾

論衡書解寫「使著作之人総衆事之凡與國境之職及汲忙忙或暇著作」

禮記檢号篇『父死之謂何或敢有他志以辱君義』國語音語作『又何敢有他志以辱君義?體記檢号篇『父死之謂何或敢有他志以辱君義』國語音語作『又何敢有他志以辱君義?

或」猶「若」也。

古書庫字集釋 卷二 成 有 盤

六七

一大八

一爲「若或」之義

買子大都篇『今大城陳蔡葉與不**龚**或不充不足以威晉若充之以資財實之以重祿之臣是輕本:

而重末也』為五文:

一爲「若似」之義

老子四章「湛今似或存」作「若」.

「或」猶「則」也「或」則則·為

韓詩外傳四『今或不然』

易益上九「莫益之。或擊之」「則傷」二字・即釋「或擊」二字・經傳釋詞訓「或」爲「有」・失之・易益上九「莫益之,◎ 繁辭傳曰・『莫之與・則傷之者至矣・易曰・「莫益之・或擊之」」・

「或」猶「即」也是·假令之詞·

左傳襄三十年『或主彊直難乃不生』「堂」也・

「或」猶「所」也。

呂氏春秋應同篇『商箴云一天降災布祥並有其職」以言嗣屬「此」也·人或召之也』無門·唯人。

或有 B

古典虚字集釋

签二

一六九

「或」為語助·失之· 所承受也·經傳釋詢謂 詩天保篇『如月之恆如日之升如南山之壽不騫不崩如松柏之茂無不爾或承』九如之曆·無詩天保篇『如月之恆如日之升如南山之壽不騫不崩如松柏之茂無不爾或承』九如之曆·無

古書虛字集釋卷三

[亦 易]

書康誥篇『怨不在大亦不在小』 一亦」承上之詞也。今語謂「亦」曰「也」・「也」即是「亦」・「小」承上之詞也。今語謂「亦」曰「也」・「也」與「亦」一聲之轉也

詩行潺篇『雖速我訟亦不汝從』 「亦」承接之詞也與下周「亦」字以承接之:

說苑尊賢篇『雖舜禹猶亦困而又況乎俗主哉』

此上三「亦」字在口語亦皆爲「也」楚辭離騷篇『雖菱絕其亦何傷兮』

古書虛字集釋 卷三 亦 易

亦」猶口語之言「也是」

戰 史記爲世家『 國策泰策『講亦悔不講亦悔』 誅之亦失不誅亦失**』**

吳王 -濞 傳: 『今削之亦反不削之亦反』

達生篇『乘亦不知也墜亦不知也。 莊子讓王篇『古之得道者窮亦樂通 亦樂。

亦」猶「又」也一文是師

韓詩外傳七『使舜居桀紂之世能自免於刑戮之中則爲善矣亦何位之有』說苑襍言篇作『使韓詩外傳:

普召誥篇『我聞惟 舜居桀紂之世能自免刑戮 曰……我聞亦惟曰」有」也· 固 可也則」也·又何官得治乎

一夫子・

說苑建本篇『孔子曰, ……夫子亦云」

墨子尚賢篇『其所賞者已無故矣之誤・攻・古功宗』・其所罰者亦無罪』墨子尚賢篇『其所賞者已無故矣之誤・改予攻・『故乃攻

荀子 £ 一制篇: ائد 水 火 有氣而 無生草木有 生而 無 **《知禽獸》** 有 知而 無義, 人有氣有生有知亦且有義。

列子 ·湯問篇: -7 大王: 治 國誠能若此, 則天下可運於一 握將亦奚事哉? 而特也・

國 語 晉語: 『丕鄭曰「惜也不如曰不信以疏之亦固太子以攜之」 ---

書康誥篇『亦惟君惟長不能厥家人』「能」・「善」也

春 秋繁露楚莊王篇 『吾以知其近近而 遠遠親親而疏疏也 「已」・ 亦知其貴貴而賤賤重重而輕。

輕 也有知识 其厚厚而 蔣蔣善善 而 惡 惡 也有知识 其 、陽陽而陰陰白白 丽 黑 知」亦是又知」・

墨子明鬼篇『莊子儀曰「吾君王殺我而不」猶「則」也でが過じり」を紹言と言う。

墨子明鬼篇『莊子儀曰「吾君王殺我而不辜死人毋知亦已」 無毋 死人 (有知不出三年必使吾

君知之」……杜伯曰「吾君殺我而不辜若以死者爲無知則已矣也' 死而有知不出三年

使吾君知之」」 哉,死者無知則已,若有知,吾何面目見仲父於地下』,文例亦同此,「亦已」與「則已矣」同義,按管子小稱篇,『公曰,「嗟茲乎,聖人之言長乎

必

韓詩外傳二 則亦字訓 尙 書 雖 大 居蓬戶之中彈琴以詠先王之風, 傳, 作 7 則 可 以 發憤悅慨忘己貧賤。 有人亦樂之無人亦樂之亦可發憤忘食矣! 一末

古書虛字集釋 卷三 亦 易

溪書董仲舒 傳『共是天下古亦大治』

刑法志『自建武永平民亦新免兵革之禍人有樂生之嵐』

王嶷傳『中 庸人之御駑馬亦傷吻敝策而不進於行。

史記陳丞相世家『始陳平曰「我多陰謀是道家之所禁吾世卽廢亦已矣」』[者]也・

新序節士篇『杵臼曰「立孤與死孰難」嬰曰「立孤亦難耳」」

墨子尚賢篇中『且以尚賢爲政之本者亦豈獨子墨子之言哉此聖王之道先王之書距年之言也』

思齊篇『不顯亦臨『臨者大也』·無射亦保「保」·「安」也·····不聞亦式不諫亦入』皆語助問思齊篇『不顯亦臨『臨者大也』·無射亦保「保」·「娞」也·····不聞亦式不諫亦入』皆語助問

此上二例之五「 亦」字經傳釋詞並謂爲語助詞失之。

谷風篇『我有旨蓄亦以御冬』

論語學而篇『亦不可行也 故答之曰・「則不可行也」・因不失其親亦可宗也」。上文「有所不行」・是問語・

莊子刻意篇『水之性不襍則淸莫動則平也‧互文耳‧鬱閉而不流亦不能淸』

「亦」猶「卽」也為就是」。

老子六十五章『知此兩者亦稽式』「楷」・

「亦」猶「乃」也「必則乃」。

潛夫論述赦篇引書康誥『旣道極厥辜時亦不可殺』書康誥篇「亦」作「乃」

左傳文二年『吾以勇求右無勇而黜亦其所也』所也」・文例同此・

定元年『三代各異物薛焉得有舊爲宋役亦其職也』

詩豐年篇『豐年多黍多稌亦有髙廩萬億及秭』

正月篇『彼求我則如不我得執我仇仇亦不我力』則疾速·如不得我·執我則緩慢·乃不力用我也·正月篇『彼求我則如不我詩執我仇仇。』「則」讀爲「稷」·「疾」也·「仇仇」·「緩」也·言彼求我

呂氏春秋必己篇『其野人大悅相謂曰「說亦皆如此其辯也獨如嚮之人」「何」也·解馬而與之』。。

「亦」猶「其」也「小訓其」也

呂氏春秋義賞篇『咎犯對曰「臣聞繁禮之君不足於文繁戰之君不足於詐君亦詐之而已」』

文之言: 韓非子難一篇「亦」作「其」此咎犯對晉

古書虛字集釋 卷三 亦 易

新序襍事篇五『齊桓公見小臣稷一日三至不得見也從者曰「萬乘之主布衣之士一日三至而新序襍事篇:

不得見亦可以止矣」』韓詩外傳六作『其可已矣』

說苑政理篇「 宓子賤爲單父宰過於陽晝曰: 子亦有以送僕乎」」」・文例同此・「來」亦「乎」也・

權謀為『蔡侯謂叔向曰『子亦奚以語我』

論語季氏篇『陳亢覑於伯魚曰「子亦有異聞乎」」

孟子梁惠篇『王曰「 更不遠千里而來亦將有以利吾國乎」**」**

曹康誥篇『汝亦罔不克敬』其敬識百辟享』·文例同此· 。 「問」·「勿」也·洛誥篇·『汝

莊子庚桑楚篇『 且夫尊賢授能先善與利 自古堯舜以然而况畏壘之民乎夫子亦聽矣』

左傳昭五年『君亦圖之』之」・文義同左傳昭五年『君亦圖之』之」・文義同

哀五年『二三子間於憂虞則有疾疢亦姑謀樂何憂於無君?

逸周書太子晉篇『師曠蹶然起曰「瞑臣請歸」王子賜之乘車四馬曰「太師亦善御之」」

戰國策齊策一『我田忌之人也吾三戰而三勝擊威天下欲爲大事亦吉否

史記田完世家『欲爲大事亦吉乎不吉乎』

墨子兼愛篇下『吾不識孝子之爲親度者亦欲人愛利其親與意欲人之惡賊其親與』「抑」・

韓詩外傳六『今君之食客門左門右各千人亦有六翮在其中矣乎」也: 將皆背上之毛腹下之磊

邪? 一押し・

國語晉語『夫晉公子在此君之匹也君不亦禮焉』傳傳二十三年『君其禮爲』・文義同・國語晉語『夫晉公子在此君之匹也君不亦禮焉』傳傳二十三年『君其禮爲』・文義同・

「亦」猶「惟」也原亦「惟」

書召誥篇『其惟王勿以小民淫用非彝「使」也·亦敢殄戮用义民「恋」·「懲」也·

若有功』「乃」也・

荀子榮辱篇『今是人之口腹夫』也·安知禮義安知辭讓安知廉恥隅積亦呥呥而噍鄕鄕而?

矣

大戴禮衞將軍文子篇『若吾子之言審茂「誠」也・則一諸侯之相也亦未逢明君也』,下「也」字訓大戴禮衞將軍文子篇『若吾子之言審茂「誠」也・則一諸侯之相也亦未逢明君也』,「一」・「曾」也

侯之相也・惟未逢明君耳・「耳」・言顏淵仲由冉求皆諸

孟子梁惠篇『王何必曰利亦有仁義而已矣』

古書虛字集釋 卷三 亦易

滕文篇『聖人之治天下豈無所用其. 心哉亦不用於耕耳。

史記魏世家『子擊因問曰「富貴者驕人乎且貧賤者驕人乎」子方曰「亦貧賤者驕人耳」』 墨子節葬篇「當其於此也亦有力不足財不贍智不智同」知」,然後已矣」。

韓 非子難二篇『叔向對曰「管仲善制割賓須無善削縫隰朋善純緣衣成君舉而 太之亦臣之力 ()

也君何力之有? __

戰

國策趙策『人亦寧朝人耳何故寧朝於人]

亦」「總」也即一皆」 也。

左傳昭二十四年『紂有億兆夷人亦有離傷』

成二年『齊晉亦惟天所授豈必晉 __

定元 年: 若從 践土若從宋「或」也・ 亦唯命。

莊子 徳充 符篇: 『死生亦大矣』

詩噫 嘻篇 「噫嘻成王旣昭假爾「矣」也・率時農夫播厥百穀駿發爾私也・下同・終三十里亦服爾

耕十千維耦」耕也・

易井彖辭『汔至・「將」也・亦未橘井』傳釋詞謂「亦」字爲語助・失之・「亦」、猶「猶」、也一聲之轉・「尙」也し

左傳僖二十三年『以一命命郤缺爲卿復與之冀亦未有軍行。

成二年『舣邑之幸亦云從也況其不幸敢不惟命是聽』下省去「乎」字・配二年『舣邑之幸亦云從也況其不幸敢不惟命是聽』下省去「子」字「云」・「是」也・「聽」

詩何人斯篇『爾之徐行亦不遑含爾之亟行遑脂爾車。

莊子田子方篇『夫哀莫大於心死而身死亦次之』

論衡變虛篇『 使螢惑本爲景公身有惡而守心則雖聽子章言猶無益也使其不爲景公則雖不聽

子韋之言亦無損也』

新序襍事篇二 「 必且 曠 日持久乎絲釐猶能挈石「經」也, 駑馬亦能致遠 。

此上二例「亦」皆與「猶」爲互文。

亦 一猶一此」也「亦則此」

古書虛字集釋 卷三 島

七九

史記平津侯公孫弘傳『且臣聞管仲相齊有三歸侈擬於君桓公以霸亦上僭於君晏嬰相景公食

不重肉妾不衣絲齊國亦治此下比於民』此上僧也,漢書公孫弘傳作『亦下比於民』,即史記不重肉妾不衣絲齊國亦治此下比於民』,「亦上僧」,漢書公孫弘傳作『亦下比於民』,亦下比」

比之し

「亦」猶「果」也。

新序襍事篇『楚王問羣臣曰「吾聞北方畏昭奚恤亦誠何如」』戰國策楚策「亦」作「果」。

韓非子內儲說下六微篇『鄭君問鄭昭曰「太子亦何如」』

內儲說上七術篇『魏惠王謂卜皮曰「子聞寡人之聲聞亦何如焉」

墨子兼愛篇中『然則察此害從睹子平議校以・ 亦何用生哉」以」也・「察」奮誤作「崇」・茲◎

「亦」猶「姑」也「姑」為魚部是韻字・

國語晉語「趙文子爲室斵其椽而礱之張老夕爲而見之不謁而歸文子聞之駕而往曰「吾不善」,

一猶「故」也一般宣訓・申事之詞也。 子亦告我何其速也」我,何疾我也」,文例與此同,

八 〇

左傳襄三十一年『抑心所謂危然』也,亦以告也』

「亦」猶「若」也「如」也言謂同在魚部:字

一爲「若或」之義

墨子明鬼篇『自古以及今生民以來者亦有嘗見鬼神之物聞鬼神之聲則鬼神何謂無乎若莫聞墨子明鬼篇『自古以及今生民以來者亦有嘗見鬼神之物聞鬼神之聲則鬼神何謂無乎若莫聞

莫見則鬼神可謂有乎』・「可」讀爲「何」・

詩雨無正篇『云不可使得罪於天子亦云可使怨及朋友』・從也・一段,

爲「如似」之義

論語學而篇『賢賢易色』賢如色也·說本廣雅疏證·字通作 「易」,楊永・魯論「易」作「亦」·始言好字通作 「易」,論語述而篇:『五十以學

「亦」猶「或」也原或古讀者「域」・

列子力命篇『故貴之或不生賤之或不死愛之亦不厚輕之或不薄』爲五文· 。「亦」與「或」

一亦」猶「以」也學之轉.」

古書虛字集釋 亦

易未濟象傳『濡其尾亦不知極也……飲酒濡首亦不知節也』

戰國策齊策一『卜者出因令人捕爲人卜者亦驗其辭於王前』

晏子春秋問篇『公曰「 雖有賢能吾庸知乎」晏子對曰「賢而隱庸爲賢乎吾君亦不務乎是故

不知也」

「亦」猶「已」也「奉」自己亦

韓詩外傳九『非獨今日自古亦然』

莊子讓王篇『韓之輕於天下亦遠矣今之所爭者其輕於韓又遠』·下貫又遠」·文義正相承·

國語越語『今越國亦節矣請報之』

戰國策楚策一「夫以一詐偽反覆之蘇秦而欲經營天下混一諸侯其不可成也亦明矣」

莊子達生篇『汝得全而形軀具而九竅无中道天於聾盲跛蹇而比於人數亦幸矣又何暇乎天之莊子達生篇『汝得全而形軀具而九竅无中道天於聾盲跛蹇而比於人數亦幸矣又何暇乎天之

怨哉』「未」也・

小 一 何 「 與 」 也馬部引作『四牡舞編』·是其例也·(奕從亦聲·楊從與聲)·
武文 一 獨 「 與 」 「亦 『與 」為 曼韻衆雙聲字 · 可通用 · 詩之『四牡奕奕』 · 說文

漢書司 馬相如 傳贊『此亦詩之諷諫何異』史記「亦」作「與」:

亦」猶「滋」 也「亦」則「滋」、「滋」亦即「益」也。

楚辭九辯篇『彼日月之照明兮尚黯黮而有瑕何況一國之事兮亦多端而膠加』

亦」「語助」也釋詞: 爲發聲助詞:

書皋陶謨篇『亦行有九德,

詩草蟲篇「亦旣見止亦旣觀止」

此上二例並見經傳釋詞引。

有客篇『有客有客亦白其馬。 __

韓詩外傳一引詩『亦巳焉哉天實爲之謂之何哉』詩北門篇作『白焉哉』

為句中助詞:

論 語學而篇『不亦說乎

古書虛字集釋 卷三 亦 品

推

左傳僖二十四年『盍亦求之』

此上二例並見經傳釋詞引。

史記司馬相如傳『其爲禍也不亦難矣』 禮記檀弓篇『喪亦不可久也時亦不可失也」晉語作『時不可失喪不可久』

惟 唯 維 雖 誰

惟」「獨」也。

孟子梁惠篇『惟士爲能』

字通作「維」

詩谷風篇『將恐將懼維予與女』

字叉通作「唯」

八八四

論語述而篇『唯我與爾有是夫』[考]也·

字或作「雖」

詩抑篇『汝雖湛樂從』釋詞:

字叉或作「誰」

淮南子道應篇『白公曰「然則人固不可與微言乎」孔子曰『何謂不可爲也: 誰知言之謂者

乎」「平」也·列子說符篇「誰」作「唯」

詩爲生篇『予美亡此在』也,"誰與獨處』…誰與獨旦』,「誰與皆即「惟予」,「旦」爲「定」之借字,(「旦」與詩爲生篇『予美亡此在」也,「亡」,「不。""與獨處」,「難」同「惟」,「與」同「予」,言惟我獨處也,下文『誰與獨息,

仕於此・……夫士也』・「士」・本字・「仕」爲「士」之借字)。 故此詩上用本字之「予」・下用借字之「與」・「定」通用・猶「袒」與「椗」通用也)・亦止息也・古書有上下文一用本字一用借字之例・(如孟子公孫丑篇・『有

惟」「但」也。

一爲轉語之詞:

國語吳語『吾欲與之徼天之衷惟是車馬兵甲卒伍旣具無以行之』

爲「僅」字之義

古书虚字集釋 卷三 惟 唯 維 雖 誰

字通作「唯」

左傳成十二年『無亦唯是一 矢以相加遺」「無」・「不」 語愈省去也·又按左傳中之「唯是」·有當作「雖是」 也·曾不亦但是一矢以相加遺乎·「遺」下當有「乎」字

十三年・『吾子淹久於敝邑・唯是脯資鎮牽竭矣』・皆是也・解者・如隱十一年・『寡人唯是一二父兄・不能共傳』・ 僖三

字或作「雖」

餄 語子罕篇『譬如爲山未成一簣,上吾止也云夫止·則吾不止也·譬如平地雖獨一簣進增益也·吾語子罕篇『譬如爲山未成一簣止吾止也云夫止·則吾不止也·譬如平地雖獨一簣進增益也·吾

往也一决定嗣·

惟」「爲」也寫玉

召誥篇『無疆惟休亦無蠠惟恤』為語助·失之·

君奭篇『我受命無疆惟休亦大惟艱』

字通作「維」

融十月之交篇「番維司徒家伯維宰」

。

,

。

。

,

。

。<b

一八六

逸周書小開篇『德枳爲大人大人枳爲公公枳維卿卿枳維大夫大夫枳維士國枳爲都都枳爲邑, 巨,枳,爲,家,家,枳,維,徐無,疆。。「維」皆亦「爲」也,互文耳,「根」皆爲「椎」之體之,。 「維」皆亦「爲」也,互文耳,「根」皆爲「枝」之借字,(借「枳」爲「枝」,殆「服」與「肢」

惟一猶一是」也與文選甘泉

書多方篇『非我有周秉德不康寧乃惟爾自速辜』嗣引·

皋陶 謨篇 『百工惟時』 言百工是承叙也·經傳釋調謂「惟」為語助·失之·皋陶 謨篇 『百工惟時』 言百工是承叙也·(說見經義述聞尚書百揆時敘條)·

盤庚篇『非予自荒茲德惟汝含德不惕予一人』

禮記坊記篇引書大誓『予克紂非予武惟朕文考無罪紂克予非朕文考有罪惟予小子無良』。

又『凡民惟曰不享』「爲」也・

洛誥篇『儀不及物惟曰不享』「爲」也,

字通作「維」

詩桑柔篇『進退維谷』

字或作「雖」

古有的 虚字集 學名三 、惟、唯、維、雖、誰

八七

國語晉語『行之克也將以害之若其不克其因以罪之雖克與否無以避罪。

惟」猶「以」也觀見經傳

曹盤庚篇『亦惟女故以丕從厥志』

字通作「唯」

左傳傳二年『冀之旣病則亦唯君故』

詩狡童篇『維子之故使我不能餐兮』字又通作.「維」

此上三例並見經傳釋詞引。

荀子子道篇『及其至江之津也不放舟;[並]也;不避風則不可涉也非維下流水多邪」說苑襍前子子道篇『及其至江之津也不放舟;[故]同[方]

言篇, 「維」作「唯」

逸周曹文政篇『一仁守以均二智守以等三固守以典四信守維假』, 互文耳, 也

「惟」猶「已」也則以,故亦則已,

曹湯弩篇『予惟聞汝衆言。

大誥篇: 『天惟喪殷。

字通作「唯」

左傳哀十八年引夏書『官占唯能蔽志昆命于元龜』也,尚書爲大禹膜篇,败作『官占,惟先蔽志」。則端

旧不知「唯」有由不知「唯」有

莊子人間世篇『回之家貧頗回』: 唯不飲酒不茹葷者數月矣!

楚辭九思篇『歲忽忽兮唯暮』

管子禁藏篇了如鳥之覆卵無形無聲而唯見其成」

書酒誥篇『我聞惟曰……我聞亦惟曰』見經傳釋詞引·惟」 「有」 也薛綜注·

禮記緇衣篇「自周有終為「君」之帙・「周」 相亦惟終』、「相」爲丞相之[相]、

字通作「唯

古靑虛字集釋 卷三 惟 唯 維 雖 誰

八九

體

大戴禮處戴德篇『邱於君子也·唯無言言必盡』·戰必勝矣』·文法與此同·大戴禮處戴德篇『邱於君子也·唯無言言必盡』·戰必勝矣』·文法與此同·

莊子齊物論篇『是唯无作作則萬竅怒呺。

詩候人篇『維鵜在梁』梁』、文例同此、字又通作「維」。 白華篇:『有篇在字》

鵲巢篇「維鵲有巢維鳩居之」 。

綠衣篇『心之憂矣曷維其已」

惟」猶「又」也即有」,亦則又」,

曹洛誥篇『今王即命曰:「即」:「既」也 「記功宗以功作元祀」惟命曰「汝受命篤弼丕視功載」」

字通作「維」

詩楚狹篇『我倉旣盈我庾維億』為「滿」· 訓億

惟」猶「于」也「於」也「雖」子」於」皆

爲介詞:

字通作一維:

墨子非攻篇下『通維四夷』「通維」即「通子」也・ 按

爲一對於一之義師番之對於人也

書多士篇『予惟四方罔攸賓』於四方無所擅斥也書多士篇『予惟四方罔攸賓』於四方無所擅斥也

書洪範篇『惟十有三祀』經傳釋詢謂「惟」爲發語詞・失之・爲 「在」字之義

顧命篇『惟四月。

酒誥篇 -7 惟天降命「命」猶「福」也・ 聲我民惟元祀』之元年也· 言在文王受命

洛誥篇『予惟乙卯朝至於洛師。

盤庚篇: 『邦之城惟汝衆邦之不城惟子一人有逸罰。

禮記 左傳哀六年引夏書『惟彼陶唐 曲 禮篇: _ 去國三世歲也:「世人」 **爵祿無刻於朝出入** 』『在彼殷王』・文例同此・一般子非命篇下引大瞥日・ 無韶於國惟

卷三 惟 唯 維 錐 誰

古書虛字集釋

與之

日從新國之法。

字通作「維」

墨子兼愛篇中引傳曰『雖有周親不若仁人萬方有罪継予一人』人』・是「維」即「在」也・「方」爲「夫」。 ●語義日篇・作「百姓有過・在予]

「百姓」意義同・之借字・「萬夫」與

呂氏春秋『維秦八年』

詩六月篇『維此六月**』**

墨子兼愛篇下『誰以爲二士……誰以爲二君』)・與孟子滕文篇:『於此有人爲』・文例同・字 或作 「誰」。

惟」猶「至」 山也 他 他 音 至於

字通作「唯」

論語先進篇『唯求則非邦也與……唯赤則非邦也與』

字或作「雖」

孟子告子篇了雖存乎人者豈無仁義之心哉」

惟 一猶「與」 世剛見種傳

書禹貢篇『齒革初旄惟木』詞引·

梓材篇『以厥臣達王惟邦君』 』・按鄭君正訓「惟」爲「爽」・鄭注曰・『於國・言邈王與邦君

字通作「維

詩靈臺篇「賁鼓維鏞」詞引・

荀子賦篇『以盲為明以聾爲聰以危爲安以吉爲凶嗚呼上天曷維其同。 事之詞・後語作『

曷其

與同』是語助· 是語助·

論語為政篇『孝乎惟孝』 」猶一其」也也·「惟』爲」一舉之轉·

惟

詩葛覃篇『維葉萋萋』字通作 「維」 | □ 婆婆』・文義同・與杕杜篇・『其葉

節南山篇『維石巖巖。 <u>__</u>

古書席字集釋 卷三 惟 唯 維 雖 惟

九三

字叉通作「唯」

史記管蔡世家贊『余轉曹共公之不用僖負獨乃乘軒者三百人界』也, 知唯德之不建]

惟」猶「而」也[惟順而]也

字通作「唯」

說苑復恩篇『介子推曰「獻公之子九人唯君在耳天未絕晉必將有主主晉祀者非君而何唯二 ?●

三子以爲己力不亦誣乎」』则「而」・左傳僖二十四年作『而二三子以爲己力』

字或作「雖」

左傳成十八年【周子曰「孤始願不及此雖及此豈非天乎」】

惟」猶「猶」也質問

一爲「似」字之義

韓詩外傳七『故曰能爲下者其惟土乎』荀子堯門篇一惟」作「獪」

一爲「尙」字之義

一九四

國語晉語「且夫禍惟無獎,

惟

魯康誥篇『王曰「嗚呼封有敍時順」也・(說見輕義逃聞尚書百揆時敍條) 乃大明服「服」猶[法]也」,句・「敍時」為「時叙」之闽語・「時敘」・「承 」 也 「為」訓[則] 也 ,句・「敍時」為「時叙」之闽語・「時敘」・「承 」 し。「惟」訓「則」・猶

呂刑篇 德 |威惟畏「威」同德明惟明|

民其勑懋和若有疾也‧說詳「有」字條‧惟民其畢薬答若保赤子惟民其康义』「乃」・

惟◎

字通作「維」

詩文王篇『周雖舊邦其命維新』

逸周書大開武篇『若農之服田務耕而不耨維草其宅之旣秋而不穫維禽其饗之』

字叉通作「唯:

國語晋語『幸芍君之子唯其索之也』

惟 **」猶「乃」** 世調見經傳

韓詩外傳九『此惟不及四 一聖者也。

古脊虛字集聯 卷三 惟 唯 維 雖 離

古书的虚字集科 卷三 惟 唯 維 雖 雖

書多士篇「今予惟不爾穀師「以」・予惟時命有申』也・此

孟子梁惠篇「惟君所行也」是」也· 惟」、猶「願」也。(解雅「願」訓恩」可證)故「惟」可訓[顧]· 惟」、「問」也。(見方言及說文)「思」與「願]義相引

字通作「唯」

左傳僖三十年『闕秦以利晉唯君圖之』新序義謀篇作『闕秦而利晉以』也: 願君圖之。

僖十五年『唯君裁之』

史記王翦傳『老臣罷病悖亂唯大王更擇賢將』

漢書外戚趙后傳『陛下未有繼嗣子無貴賤唯留意』

字或作「雖」

韓非子外儲說左下篇『韓宜子曰「吾馬菽粟多矣甚] 肥不可得也名與多與之凱「是」,其實少雖無臞亦不可得也」, 臞, 何也」周市對曰「使騶盡粟以食雖無?。

一九六

「云」「日」也。 論語爲政篇『書云「孝乎惟孝」」

「云」「有」也雅廣

公羊傳文二年『大旱之日短而云災』

荀子非十二子篇『云能而害無能則亂也』

此上二例並見經傳釋詞引。

墨子耕柱篇『巫馬子謂子墨子曰「子兼愛天下未云利也我不愛天下未云賊也』至議:

公孟篇『鳥魚可謂愚矣禹湯猶云因焉』爲「或」・失之・

字或作「員」 廣雅:「艮

古書虛字集釋 卷三 云

具

九七

曹秦智篇「雖則員然」然」、「此」也,

詩出自東門篇『聊樂我員』之「縞衣薬巾」者・是也・孔疏謂「云」為語助・失之・。。「員」・「有」也・言且樂我所有之女也・我有之女・上文

「云」猶「是」 時正月篇『伊誰云情』 二一猶「是」也問題。 「是」也問題。

何人斯篇『伊誰云從』

此上二例並見經傳釋詞引。

桑柔篇了爲民不利如云不克』經傳釋詢訓「云」爲「或」・失

「云」猶「其」也。

詩小明篇『歲聿云莫』莫』,文義同:

۷,٠

君子偕老篇『云如之何』『其若之何』、文義同・君子偕老篇『云如之何』『其若之何』、文義以

雲漢篇『云如何里』 「墨」同「爅」

桑柔篇『民有肅心莊云不遠』經傳釋調訓「云」爲「或」・未允・。 (「 注 一 、 使 」也 · 曾使其不及也 ·

漢書蕭望之傳『今將軍規橅「模」・云若管晏而休 者・古人語念省去也・漢書蕭望之傳『今將軍規橅「模」・ 云若管晏而休 者・古人語念省去也・ **遂行日仄至周召乃留**

「云」猶「能」也。

國語魯語『帥大響以憚小國其誰云待之』說苑正諫篇作『其誰能止之』『止・侍也』・是待亦止國語魯語『帥大響以憚小國其誰云待之』說苑正諫篇作『其誰能止之』『待』・「止」也・(爾雅・

是、止」、故下文曰、『則獨可及止也』、也)、孟子梁惠篇、「何以待之」、「持」卽

晉語『其誰云弗從……其誰云救之』 此上三「云」字經傳釋詞皆訓爲「或」失之。

楚辭雕騷篇『孰云察余之中情……孰云察余之善惡』?

九章篇『不逢湯武與桓繆兮世孰云而知之』尚」也・

詩抑篇: 無日不顯莫予云觀」 **嗣訓「云」爲「或」失之・ 賛 真 能 観 我 也** ・ 經 傳 釋

一猶「如」 也。

古書虚字集釋 云 員

員

爲「如或」之義

列子力命篇『云至於大病』釋嗣· 。

爲「如似」之義

論語述而篇『則可謂云爾已矣』「爾」·「此」也

爲「如何」之「如」 調是・問

漢書東方朔傳「隱云何」

王莽傳『五聲八音各云何』

史記司馬穰苴傳「軍法期而後至者云何」 此上二例說見讀書襖志。

「云」猶「如此」也。

漢書汲歸傳『吾欲云云』曾如此如此也』、

左傳傳二十九年『其音云』

100

襄二十八年『子之言云又焉用盟」

此上三例並見詞詮引。

昭二年『其不往則宋之盟云』

史記汲鄭傅贊『汲鄭亦云悲夫』

「云」「所」也辨略·

文選東京賦『烏覩大漢之云爲乎』略引:

漢書王莽傳『帝王相改各有云爲』

又『災異之變各有云爲』:

風俗通義十反篇『不期相反各有云尚而已』

又『韋著邁種其德少有云補可也』:

「云」猶「爲」也說記詞

漢書嚴安傳『臣聞鄒衍曰「政敎文質者所以云救也」』 別見詞の

古書虛字集釋 卷三 云 員

=0

「云」猶「而」也。

漢書 叙傳『 敬義依 霍庶幾云 已』治:可為庶幾而已也』:

史記自序『彊弱之原云以也』作「世」· 兹據徐廣說改·

史記周本紀『其色赤其聲魄云』一云」猶「然」也狀事之詞也

封禪書『若雄雉其聲殷云』 ©c

此上二例並見經傳釋詞引。

「云」猶「焉」也語末助詞也「晕之轉·

漢書成帝紀『乃著令令太子得絕馳云』模志・

禮記樂記篇『故聖人曰「禮樂云」』

孟子萬章篇『入云則入坐云則坐食云則食」

史記封禪書『聞其言不見其人云』

平準書贊『無異故云事勢之流相激使然』

呂氏春秋觀表篇『非意之也蓋有自云也』由」也·「自」·「

按「云」與「焉」同義故史記封禪書『乃令祠官進時懷牢具食色所勝而以木禺馬代駒按「云」與「焉」同義故史記封禪書『乃令祠官進時懷牢具食色所勝而以木禺馬代駒

焉』漢書郊祀志「焉」作「云」

「云」猶「矣」也語末助詞也聲之轉之

大戴禮曾子立事篇『道遠日益云』荀子大略篇「云」作「矣」

漢書食貨志『其詳靡記云』

詩卷耳篇『云何吁矣』「云」發語詞也^{調見經傳}

簡兮篇『云誰之思』是」也· 詩卷耳篇『云何吁矣』

此上二例並見經傳釋詞引。

「云」句中助詞也翻譯傳

古杏虚字集釋卷三 云 員

古靑虛字集釋 卷三

詩雄雉篇『道之云遠曷云能來』

瞻卬篇了人之云亡』

左傳僖十五年『歲云秋矣』

此上三例並見經傳釋詞引。

「云者」猶「也者」也「至」與「也」

墨子非命篇中『夫曰有命云者』

春秋繁露仁義法篇『義云者非謂正人謂正我』

「云爾」猶「焉爾」也語已詞也。 公羊傳宣元年『無去是云爾』

論語述而篇「不知老之將至云爾」

「云爾」猶「云哉」也反詰詞也字條)故亦即[哉]: 春秋繁露暖燠孰多篇『詩云「不識不知順帝之則」言弗能識知而效天之所爲云爾」

孟子公孫丑篇『是何足以言仁義也云爾』

春秋繁露精華篇『若謂奚齊曰「嘻嘻為大國君之子富貴足矣何以兄之位為欲居之以至此乎

云爾 二 訓 而 字

竹林篇『春秋 之序 辭 也 置王 於 春正 之間非曰上奉天施而下正人然後可以爲王也云爾 』

「非」為語助・失之・(「非」字作「不是」解)・自「非」至「爾」十九字為一句・經傳釋詞補謂

「云乎」疑問詞也。

大戴禮曾子天圓篇: --) 單 居離問 於曾子曰「天圓而地方者誠有之乎」曾子曰「離而聞之云。

子」」訓が、

云乎」反詰詞也。

孟子萬章篇『豊日友之云乎』

論語陽貨篇『玉帛云乎哉』 。

一云乎,一語已詞也。

云員

二〇六

孟子萬章篇『事之云乎』

【抑意噫懿】

抑」猶「然」也轉語詞也

論語子張篇『子夏之門人小子當洒掃應對進退則可矣抑末也』 字爲「然而」、按「然而」爲轉語詞・「抑」・「然」也・助字舞略則此「抑」

同奥「然」

左傳襄二十三年「對日「多則多矣抑君似鼠」』

國語晉語九『美則美矣抑臣又有懼也』

按此上二例並與管子小匡篇『惡則惡矣然非其急者也」說苑建本篇『忠則忠矣然非禮

也』文例同是可證「抑」與「然」同義。

晉語七『孤之及此天也抑人之有元君將稟命焉』 :

論 語述而知 篇: 『若聖與仁則吾豈敢抑 爲之不厭誨 人不倦則可謂云爾已矣」

憲問篇『抑亦可以爲次矣』

又「抑亦先覺者是賢乎」同義:

左傳宣十一年『抑人亦有百曰……』

成十八年『抑人之求君使出命也』

襄十一年『抑微子寡人無以待戏』

又『柳臣願君安其樂而思其終也』

昭元年了子皙信美矣抑子南夫也。

昭八

年:

抑0 臣又聞之曰疑辭」,此 失之:作事不時怨露動于民則有非言之物而 言。

石書於晉魏楡晉侯問於師曠曰「石何故言」對曰:

「石不能言或媽馬不然民聽濫也

或作 「噫」又或作 | 懿: 噫」與「抑」雙擊通用・(噫在之部)[按「懿」與「抑」同音・(俱在至部)[

字

古書虛字集釋卷三 抑意 吃吃奶

二〇七

易繁解傳『噫亦要存亡吉凶則居可知矣』助詞:

曹金縢篇『二公及王乃問諸史與百執事對曰「信噫公命'我勿敢言」」也· 馬本「噫」

作「懿」

意 」猶「或_ 一十一可訓「或」・(「意」與「或」・古韻同在之部)・「或」古讀者「域」・與「意」雙聲兼叠韻・故「意」

為一致一門實雅·[意·疑也]·易乾文言·『或之

韓非子外儲說左上篇『意不欲寡人反國邪』

新序襍事篇五【君意沐邪何悖也」

說苑辨物篇『天之無烈風淫雨意中國有聖說 如辨物第二 一人邪?

史記吳王濞傳『今吳王自以 爲與 大王 一同憂, 願因時循理棄軀 以除 忠害 於天 下意亦可乎

助売・語

字通作 抑:

孟子梁惠王篇『抑王與甲兵危士臣構怨於諸侯然後快於心與」通作「抑」「鄭勇惠.

ニロス

為選擇之連記部·調詮關「抑」為選擇連詞·茲從調整說·

墨子明鬼篇『 豈女爲之與意鮑爲之與』

莊子盜跖篇『知不足邪意知而力不能行邪』

戰國策秦策『誠病乎意亦思乎』下例同· 語助詞? ©

大戴禮武王踐祚篇『黃帝顓頊之道存乎意亦忽不得見與單國領素領『詢邦刊意亦思刊』下例同:

字通作「抑」

論語學而篇『求之與抑與之與』作「意」·

國語周語『敢問天道乎抑人故也』

孟 子公孫丑篇: 『求牧 以與芻而 不得則反 諸共 (人乎? 柳亦立而是 :視其死與

押」猶「則」也「則」為之部是哉字・

左傳莊六年『若不從三臣抑社稷實不血食而君焉 取餘?

二十三年『仲尼曰「 知之難也有臧武仲之知而不容於魯國抑有由也作不順而施不恕也」。

古晋虚字集釋 卷三 抑 愈 噫 懿

昭十九年『今大夫將問其故也: 柳寨君實不敢知其誰實知之

國 語魯語『若盟而棄賭侯信抑闕·矣』 。

字或作一

韓詩外傳十『夫子處齊之時冠帶而立儼有伯夷之縣今居楚而善盜意土地之化使然爾「也」同韓詩外傳十『夫子處齊之時冠帶而立儼有伯夷之縣今居楚而善盜意土地之化使然爾「也」同

王又何怪乎』

抑」猶「雖」 也。

韓詩外傳五『彼其: 、人者生今之世而志乎古之世以天下之王公莫之好也而是子獨好之以民莫,

之爲也而是子獨爲之也抑爲之者窮而是子猶爲之而無是須臾怠焉差焉。

荀子儒效篇『故以枝代主而非越也以弟誅兄而非暴也君臣易位而非不順也因天下之和遂文:

武之業昭枝主之義抑亦變化矣「雖則」・天下厭然猶一也』「安」也・
「既」・

左傳成二年『夫齊甥舅之國也而大師之後也寧不亦淫縱其欲以怒叔父「堂」也・抑豈不可諫誨』,抑」猶「而」也。

「抑」猶「但」也轉詞也。

左傳襄二十七年了 趙孟曰「 善哉民之主也抑武也不足以當之!

抑」猶「是」也。

國語晉語一「君之使我非歡也抑欲測吾心也」可證[押」當訓[是]:

魯語一『若有殃焉在抑刑戮也其夭札也』『求之與抑與之與之「抑」字同義・言語一『若有殃焉在抑刑戮也其夭札也』『求之與抑與之與之之「抑」字同義・而

莊子外物篇『夫不忍一世之傷而驁萬世之息抑固簍邪亡其略弗及邪』 與之與」之「抑」字同義・莊子外物篇『夫不忍一世之傷而驁萬世之息抑固簍邪亡其略弗及邪』 『亡其』亦與論語求之與抑

抑」猶「於是」也。

詩大叔于田篇『抑磬控忌抑縱送忌』

又「抑釋棚忌抑鬯弓忌」: 。

抑」猶「似」也

巫 語魯語『穆子曰「楚公子甚美不大夫矣抑君也』左傳襄三十一年作『**令尹似君矣**』

更子匈奴篇『下胡抑坛也』「則下匈奴循振槁矣』·「猹」亦「似」也·與此文同意。「妘」·「隕」也·言降下匈奴·似隕墜之易也·上文

古書虛字集釋卷三 抑 意 噫 懿

懿

「押」發語詞也釋調·標

左傳昭十三年『晉侯使叔向告劉獻公曰 「抑齊人不盟若之何」」

字或作「噫」

莊子大宗師篇『許由曰噫未可知也』

此上二例並見經傳釋詞引。

意者」猶「或者」 一也。 程制 · 概 見 經 傳

爲疑問之詞:

墨子公孟篇『意者先王之言有不善乎』

晏子春秋襍篇『意渚非臣之罪乎』

此上二例並見經傳釋詞引。

莊子山木篇『子其意者師知以驚愚修身以明汗』者正訓楚也』之「其或者」同義・莊子山木篇『子其意者師知以驚愚修身以明汗』「其意者」與左傳哀元年『天其或

或作「抑者:

漢背叙傳『其抑者縱橫之事復起於今乎』詞引:

一爲選擇之連詞:

韓詩外傳二『子不知予與武予與意者其志與』精遠人子・文法與此同・「或諸」即「或者」・爲選擇之韓詩外傳二『子不知予與武予與意者其志與』精遠人子・文法與此同・「或諸」即「或者」・爲選擇之 連政

九 i

韓詩外傳四『意若國中有聖人乎』「意若」、猶「或者」也疑問之詞也。

一壹

一」「皆」也。

大戴禮衞將軍文子篇『若吾子之言審茂則一諸侯之相也』 見經傳釋調引・盧注曰『一・皆也』・

孟子梁惠王篇 『願比死者一洒之』(羣怒平曦謂「比死」為「近死」·按晏子春秋諫篇·『比死者勉為樂乎」·孟子梁惠王自謂·言願近死者之我·皆洗此三恥也

古書處字集釋 卷三 一十

「近死者」・

字或作「壹」

禮記三年問篇『壹使足以成文理』嗣引:

論語里仁篇『一則以喜一則以懼』 」猶「或」也「隨觀之義·或與或求』・即一與一求也・」猶「或」也「降賦之義·或與或求』・即一與一求也・

穀梁傳莊二年『其一曰「君在而重之也」 』「肆・殺也」」・文例同此。事海按夏小正・『其或日

此上二例並見經 監傳釋詞引。

字或作一 壹:

漢書楊雄傳「壹從壹衡」 問補引・

」猶「忽_ 左傳成八年了七年之中一與一奪二三孰甚焉」關補則

「一」猶「已」也「mezet

四

爲「太」字之義「已甚」即「太甚」・

晏子春秋諫篇『寡人一樂之』是欲祿之以萬鍾其足乎』「一樂」猶言「甚樂」·與上文「算人甚悅之」而義

」七字爲句・而謂「一」字爲語助・皆失之・・其說甚韙・經傳釋詞以「寡人一樂之是欲

管子霸形篇『今楚王之善寡人一甚矣』為己甚者之已甚」同義・管子霸形篇。

一爲「旣已」之義

左傳昭二十年『君一過多矣何信於讒』

左傳成十六年『敗者壹大』字或作 「壹」

此上三例之「一」「壹」經傳釋詞並訓爲語助失之《作品一元年』則者壹才』

呂氏春秋貴直篇『士之遫獘一若此乎』見經傳釋調引「一」猶「乃」也知出篇注:

字或作「壹」

古書處字集釋卷三 一 壹

左傳襄二十一年『今壹不免其身以棄社稷不亦惑乎』

漢書原涉傳『尹君何壹魚肉涉也』

此上二例並見經傳釋詞 補

「一」猶「則」也。

莊子大宗師篇『固有無其實所得其名者乎回一怪之』溯也· 頗

字或作「壹」

禮記權弓篇『予壹不知夫喪之踊也』

大學篇『壹是皆以修身爲本』之是」・

大戴禮小辨篇『微子之言吾壹樂辯言』

此上四 「例經傳釋詞訓「一」「壹」皆爲語助未允。

戰國策燕策『此一何慶弔相隨之速也』史記蘇秦傳『此一何』作『是何』無「一」字 傳釋一 」 語助 也調見程傳

引翼

春秋繁露人副天數篇『觀人之體一何高物之甚而類於天也』

字或作「壹」

禮記檀弓篇『子之哭也壹似重有憂者」詞引·

史記外戚世家『壹何不自喜而背本乎! 詞補引の標

「壹者」 詩何人斯篇『壹者之來』傳疏· 香」猶「乃者」也。『房者』與「妻

「台館」

一台 循 「何」

書湯誓篇『夏罪其如台』史記殷本紀作『有罪其奈何』台」·說詳經傳稿:

古書虛字集釋 台

伊」「維」

詩谷風篇『伊余來聲』也·說並詳經義述聞· : ② 「來」·「是」也·「藝」·「 」 「推」 也寫」之:惟 ·

左傳襄十四年『王室之不壞緊伯舅是賴』者,唯伯舅是賴也,字或作「緊」

「伊」「是」也。

詩雄雉篇『自詒伊阻』也』按「伊」「繋」古字通用・一爲「此」字之義

爲「是非」 詩泮水篇『匪怒伊教』下例问·悲·也·爲「是非」之「是」

蓼莪篇『匪莪伊蒿。

谷風篇『不遠伊選』也・「本」・「非」

東山篇『不可畏也伊可懷也』水篇『睚怒伊敎』之以「睚』「伊」對盲者同例・墓經平議謂「不」「伊」二字伊語助・東山篇『不可畏也,。 。 「不」・「非」也・「伊」・「是」也・此文與谷風篇「不遠伊邇」之用字同例・亦與沖

類弁篇『豊伊異人』

失之

字或作「緊」

國語周語『此一王四伯豈緊多寵皆亡王之後也』,是也」,

字或作「緊」

左傳隱元年『爾有母遺緊我獨無』

伊」猶「爲」 一七一伊」與「維」雙摩兼學額・且同義

古善虚字集釋 卷三 伊 壂

詩何彼禮矣篇『維絲伊緒』也・「是」

文王有聲篇『築城伊演』池」也・下文『作豐伊匹』・「伊」字則訓「是」・文王有聲篇『築城伊演』では」・「溝」也・即城池之「池」也・「爲池」猶言「鑿

「伊」發語詞也。

詩我將篇「伊嘏文王」王」・「於」・亦發語詞也・說見經傳釋詞・

夷

「夷」語助也。

詩瞻卬篇『蟊賊蟊疾靡何夷屆罪罟不收靡有夷瘳』釋問:

矣

三つ

「矣」語已詞也就 論語學而篇『始可與言詩已矣』

「矣」句末助詞也。

或表提示以起下文 詩漢廣篇『漢之廣矣……江之永矣』

論語里仁篇『惡不仁者其爲仁矣』「爲人」:

或表已然之實事 左傳僖二十八年『晉侯在外十九年矣而果得晉國險阻艱難備嘗之矣民之情偽盡知之矣』

或表理論上必然之結果: 孟子離婁篇『其取友必端矣』

論語學而篇『吾必謂之學矣』。。

或爲命令之詞:

古書虛字集釋 卷三 奖

史記商鞅傳『王許我汝可疾去矣』

或為感歎之詞:

左傳昭元年『美哉禹功明德遠矣』

此上各說均見詞詮。

或為抛開之詞:

管子小匡篇『惡則惡矣然非其急者也』

左傳昭元年『子晳信美矣抑子南夫也』

「矣」猶「焉」也[矣」[焉]] 聲之轉:

戰國策秦策四『王旣無重世之德於韓魏而有累世之怨矣』史記春申君傳新序善謀篇「矣」 漢書律歷志『謹權量審法度修廢官舉逸民四方之政行矣』論語堯曰篇「矣」作「 焉。

並 作「焉」

新序襍事篇三「故聖人早從事矣」韓非子喻老篇一矣」作「焉」

大戴禮勸學篇『積土成山風雨與焉積水成川蛟龍生焉積善成德神明自得罄心備矣』荀子勸

學篇作『聖心備焉』

非子 - 齊物論篇 其次以為有物矣而未始有封也其次以為有封焉而未始有是非也。

晏子春秋諫篇『吾爲夫婦獄訟之不正乎則泰士子牛存矣爲社稷宗廟之不享乎則泰祝子游存晏子春秋諫篇『吾爲夫婦獄訟之不正乎則泰士子牛存矣爲社稷宗廟之不享乎則泰祝子游存 矣爲諸侯賓客莫之應乎則行人子羽存矣爲田野之不辟倉廩之不實乎則申田存焉爲國家之。?

有餘不足乎則吾子存矣」謂晏子曰 吾子」·

此上三例皆「矣」與「焉」爲互文。

禮記大學篇『長國家而務財用者「財賄」・ 必自小人矣彼為善之小人之使為國家災害並至…

』人則善於務財用也・「小人之使爲國家」・「使」爲「吏」之借字・言小人之吏爲國家・災害並至也・此文本無不「自「用」也・「彼」・指小人言・上「爲」字訓「則」・「矣」・「爲」也・言長國家而務財賄者・必用小人爲・以小

說苑奉使篇『晏子憱然避位矣』 ••

「矣」猶「也」也點見經傳

古書處字集釋 卷三 矣

. .*

禮記樂記篇『大章章之也咸池備矣』史記樂書「矣」作「也」。

論語里仁篇『朝聞道夕死可矣』漢石經「矣」作「也」。 。

史記 1 鄒陽傳了 故意合則胡越爲兄弟由余越人蒙是矣不合則骨肉出逐不收朱象管蔡是矣』新。。

序襟事篇「矣」皆作「也」

孝武紀『於是郡國各除道繕治宮觀名山神祠所以望幸矣』封禪書「矣」作「也」。:

韓詩外傳五『造父天下之善御者矣無車馬則無所見其能羿天下之善射者矣無弓矢則無所見韓詩外傳五』。

其 巧」荀子儒效篇「矣」 一皆作「 也。

禮記

祭義篇 7

可謂能終矣。 大戴禮曾子大孝篇 八作

矣

也。

中庸篇了 民不可得而治矣」孟子雕婁篇「矣」作「也」

淮南子道應篇『仲尼曰「洞則無善也化則無常矣』莊子大宗師篇「矣」作「也」 指武篇『夫少正卯者魯國之聞 人矣』論衡講端篇「矣」作「也」。

此 上九例皆「 矣」與「 也」通用。

左傳宣十二年『此之謂矣』謂也』·義同此· 左傳宣十二年『此之謂矣』謂也』·義同此·

左傳宣十二年 | 此之謂矣 | 謂也』 - 義同此 ·

易需彖傳『需須也險在前也剛健而不陷其義不困窮矣』。。

史記留侯世家『其不可一也……其不可二也……其不可三也…三矣』・「矣」亦「也」也・……其不史記留侯世家『其不可一也……其不可二也…三矣』・「矣」亦「也」也・……其不 孟子梁惠篇『工師得大木則王喜以爲能勝其任也匠人斲而小之則王怒以爲不勝其任矣』。

可四矣……其不可五矣……其不可六矣…… 其不可七矣……其不可八矣。

禮記鄕飲酒義篇『焉知其能和樂而不流也……焉知其能弟長而無遺矣……焉知其能安燕而禮記鄕飲酒義篇『焉知其能和樂而不流也……焉知其能弟長而無遺矣……焉知其能安燕而

不亂也」乃為智訓

說苑襍言篇『樂水之謂也……樂山之謂矣」。。

韓詩外傳二『 則以其所來者近也……以其所從來者遠矣」

論衡定賢篇『故時當亂也堯舜用術不能立功命當死矣扁鵲行方不能愈病』

此上七例皆「矣」與「也」爲互文。

四諱篇『夫不祥必有祥者猶不吉必有吉矣』

古書虛字集釋

卷三

矣

淮 南子氾論篇: 必有獨聞之耳獨見之明然後能擅道而行矣』「也」・是以意改・

韓詩外傳十『詩曰「不明爾德時無背無側爾德不明以無陪無卿」言文王咨嗟痛殷商無輔鸦,

諫諍之臣而亡天下矣。

漢書賈誼傳『 然而湯 武廣大 其德 行六七百歲而弗失秦王治天下十餘歲則大敗此無它故矣, 则[爱]· 湯武之定取含審而秦王之定取舍不審矣」 此[矣]字

矣」猶「乎」也關釋問

一爲疑問之詞

詩六月篇『侯誰在矣』釋詞引 等 見程傳

論語、憲問篇『克伐願欲不行焉可以爲仁矣』為雖矣」·「矣」字則是答問· 論語、憲問篇『克伐願欲不行焉可以爲仁矣』為雖矣」·「矣」字是問詞·下文『可以 史記孔子世家作了 可以

爲仁乎?

一爲反詰之詞

說苑貴德篇『不亦小矣』亦小乎』·文義同·

一爲感歎之詞:

孟子梁惠王篇『大哉言矣』青乎」、義同此、

一爲疑而棄歎之詞

韓詩外傳三『宋國其庶幾矣』說苑君臣篇作『韓詩外傳三『宋國其庶幾矣』說苑君臣篇作『 宋國其庶幾乎!

左傳成二年『其是之謂矣』隱元年『其是之謂乎』

「矣」猶「哉」也。

為感歎之詞:

史記五帝紀『益拜稽首讓於諸臣朱虎熊羆舜曰「往矣汝諧」』 **審堯典篇「矣」作「哉」**

晉世家『答犯曰「子玉無禮矣」』 左傳僖二十八年「矣」作「哉」

詩車攻篇『允矣君子』君子』・「也」亦「哉」也・詩車攻篇』・作『允也

爲疑而棄歎之詞:

國語楚語『楚其殆矣』哉』·文例同此·

古書虛字集釋 卷三 矣

「矣」猶「兮」也

韓詩外傳二『趣歸於毫毫亦大矣』新序刺奢篇「亳」皆作「薄」「矣」作「兮」

「矣」猶「耳」也釋詞· 個

戰國策趙策『則連有赴東海而死矣』史記魯仲連傳「矣」作「耳」釋詞引戰國策趙策。

左傳僖二十四年『獻公之子九人唯君在矣』說苑復恩篇「矣」作「耳」。。

莊子達生篇『異雞無敢應者反走矣』列子黃帝篇「矣」作「耳」。

「矣」猶「之」 也指事之詞也「矣」爽「之」為強韻字・故「矣」訓「之」・

荀子宥坐篇『孔子曰「如垤而進吾與之如邱而止吾已矣」』

孟子盡心篇『行之而不著焉習矣而不察焉』

呂氏春秋順民篇『內量吾國不足以傷矣外事之諸侯不能害之』並謂傷害吳國也

詩隰桑篇『心乎愛矣遐不謂矣中心藏之何日忘之』也· 「遇」·「何」

買子官人篇『取師之禮黜位而朝之取友之禮以身先焉取大臣之禮以皮幣先焉取左右之禮使

使者先焉取侍御之禮以合至焉[之],是指事之詞,取廝役之禮以合召矣』

此上五例「矣」皆亦「之」也互文耳。

戰國策楚策四『天下合從趙使魏加見春申君曰「君有將乎」曰「有矣」

』路・日・「有之」・文孟子梁惠王篇『不識有

此例 ・同

也

「也」語已及助句之詞也即實證實

一爲決定詞:

論語學而篇『未之有也』

爲決定無結上文之詞 孟子滕文篇『天下之通義也』

古青虛字集釋 卷三

也

爲句中助語而表提示之詞:

論語公冶篇『賜也何敢望回』

左傳昭十二年『古也有志』語』・是也・「者」字亦為句中助語而表提示之詞・左傳昭十二年『古也有志』語』・是也・「者」字亦為句中助語而表提示之詞・

爲起下文之詞:

論語雍也篇「赤之適齊也」

爲助命令之詞:

史記孫子傳『願勿斬也』。。

詩巷伯篇『愼爾言也』「矣」亦命令之助罰也・

此上各說均採自經傳釋詞及詞詮。

一爲呼召之詞:

論語衞靈篇『賜也女以予爲多學而識之者與**』**

爲抛開之詞:

孟子萬章篇「非惟百乘之家爲然也」

「也」猶「耳」也。

論語先進篇『由也升堂矣未入於室也』於室耳』·見經傳釋詞引·

韓詩外傳三『以桀而詐堯如以指撓拂以卵投石 抱羽 毛而 赴烈 火入則焦也』新序棟事篇作章詩外傳三:

【入則焦沒耳】

史記淮陰侯傳『百里奚居奠而奠亡在秦而秦霸非愚於奠而智於秦也用與不用聽與不聽也』。 町下山・宇

左傳襄二十九年『祇見疏也』『祇取辱耳』・句例同此・左傳襄二十九年『祇見疏也』『祇」・「但」也・史記楚世家・

論語子張篇『多見其不知量也』「但」也· 。「多」與「祇」同·

也」猶「矣」也傳釋調

國語晉語『且夫欒氏之脛晉國久也』 禮記文王世子篇『然而衆知父子之道矣…… 然而我著於君臣之義也」互交耳·

古書魔字集釋 卷三 也

业

此上二例並見經傳釋詞引。

尹文子聖人篇『詩曰「憂心悄悄慍于羣小」小人成羣斯足畏也』荀子宥坐篇「也」作「矣」

韓詩外傳二『日有亡乎日亡吾亦亡也』新序刺奢篇, ---- 也」作「矣」

史記仲尼弟子傳『言忠信行篤敬雖蠻貊之邦行也』論語衞靈篇「也」作「矣」

墨子天志篇下『然則義果自天出也』中篇「也」作「矣」

淮南子道應篇『天下皆知善之為善斯不善也』文子微明篇「也」作「矣」

此上五例皆「也」與「矣」通用。

墨子天志篇下『既可得而知也』得而知矣』,文義同,

韓非子姦劫弑臣篇『是猶以足搔頂也愈不幾也……是猶聾而欲審淸濁之聲也愈不幾矣。

也・互文耳・一般をし

荀子臣道篇『可謂篡臣也……可謂功臣矣』

說苑指武篇『武王廉於財矣……武王廉於色也』

淮南子主術篇『 則聖人之心小矣……則聖人之志大也』「矣」・是以意改・即聖人之心小矣……則聖人之志大也。 聲音治要引「也」作

此上四例「也」皆亦「矣」也互文耳。

詮言篇『因春而生因秋而殺所生者弗德所殺者非怨[弗]也·則幾於道也』道矣]·文義同此·詮言篇『因春而生因秋而殺所生者弗德所殺者非怨[弗]亦·則幾於道也』道矣]·文子符言篇·『卽费於

主術篇: 『智不足以爲治勇不足以爲强則人材不足任明也』[矣]・是以意以・

氾論篇『天下非一湯武也殺一人則必有繼之者也』下「也」字作「矣」・是以意改・氾論篇『天下非一湯武也殺一人則必有繼之者也』下「也」字訓「矣」・墓書治漢引

「也」猶「焉」也傳釋詞

戰國策楚策四引詩『上天甚神無自瘵也』詩苑柳篇作『上帝甚蹈「神」爲「蹈」之識・無自瘵焉』

齊策六『二者顯名厚實也願公熟計而審處一也』訓[焉]·史記魯仲連傳作『願公詳計而審處齊策六『二者顯名厚實也願公熟計而審處一也』則[悉]·史記魯仲連傳作『願公詳計而審處

馬。

史記樂書『天高地下萬物散殊而禮制與也「也」作「矣」・「矣」亦「焉」也・史記樂書『天高地下萬物散殊而禮制與也「也」作「矣」・「焉」也・禮記樂記簿・ 流而不息合同而化而樂與

也』禮記樂記篇作『而樂與焉』

論 |一衡紀妖篇『石不能言或馮依也』左傳昭八年作『或馮焉』|

古書虚字集釋 卷三 也

莊子 至樂篇『胡蝶胥 也化而爲蟲』或理篇·「少焉·子路見公」·(少焉·謂俄頃之間也)·莊子 至樂篇『胡蝶胥 也化而爲蟲』 (胥]·「少」也·(此諸子平議散)·「胥也」即「少焉」,說有

也」猶「兮」也解釋調

詩旄邱篇『何其處也』韓詩外傳引「也」作「兮」嗣引・詩旄邱篇『何其處也』韓詩外傳引「也」作「兮」嗣智傳

也」猶「邪」也「歟」也「乎」也釋問:

一爲疑問之詞:

國語周語『敢問天道乎抑人故也』至文耳:

一爲感歎之詞

論語泰伯篇『君子人與君子人也』皆感歎之詢也· 。 [也]亦「敷」也·

史記高祖紀『嗟乎大丈夫當如此也』[矣]:[矣]亦感數之詞・

一爲反詰之詞

孟子公孫丑篇『豈以仁義爲不美也」

一爲反詰兼感歎之詞

禮記檀弓篇『女何無罪也』

爲疑問無感歎之詞:

詩旄邱篇『叔兮伯兮何多日也』

也」猶「哉」也。

韓非子解老篇『吾奚以知天下之然也』老子「也」作「哉」

論衡刺孟篇『今以燕伐燕何爲勸之也』孟子及孫丑篇「也」作「哉」。?!!

一也」猶「者」也釋詞·傳

穀梁傳成十七年『不口至自伐鄭也公不周乎伐鄭也」訓者」:

孟子盡心篇『孩提之意無不知愛其親者及其長也無不知敬其兄也』上「者」字爲互文・武子盡心篇。

此上二例並見經傳釋詞引。

說苑政理篇『孔子謂平賤曰「君子哉若人君子哉若人魯無君子也斯焉取斯」」論語公冶篇,

「也」作一者」

古書處字集釋 卷三 也

韓 非子難二篇『 亦有君之不能耳士無獎者……亦有君不能耳士無獎也」。。

春秋繁露 人副 天數篇: 『於其可數也副數不可數者副類』

淮南子說 山篇二 尾生死其梁柱之下也, "其」、「於」 此信之非也孔子不喪出母此禮之失者。

韓非子八經篇『任事也毋重使其龍必在虧處官者無私使其利必在祿』「也」爲「者」・非是・韓非子八經篇『任事也毋重使其龍必在虧處官者無私使其利必在祿』「也」爲「者」・非是・今本改

此上四例皆「也」與「者」爲互文。

禮記郊特 ·牲篇『其謂之明水也由主人之絜著此水也』[絜]同[溆]·

韓詩外傳『昔者 樂得罪於臣也至今未有為謝也」作『謝者』·是以意改·

淮南子泰族篇『今使愚**数智**使不肖臨賢雖嚴刑罰民弗從也 小不能制大弱不能使强也』 一 字上 訓也

弗從者』・是以意改・ 「者」・掌書治要引・作『民

此上三例皆上下文二「也」字一「也」字當作「者」字解之例與此節首一例同。

文七 ・年 之

主術篇『故靈王好細要「腰」·而民有殺食自飢也』也·「城」:「城」

依真篇『用也必假之於弗用也』讀書架志謂作「者」 * 是·失之·假真篇『用也必假之於弗用也』讀書架志謂作「者」 * 是以意致·

也」猶一之」也。本實也

一同口語之「的」

墨子耕柱篇『古之善者不誅・譙與述同』・按愈說是・今也善者不作』互文耳・墨子耕柱篇『古之善者不誅,諸子平議云・『誅爲茈之誤』。 [也]亦[之]也

大取篇『聖人也為天下也』訓「之」:

貴義篇了今為義也君子奉承先王之道以語之』是以意改· 「也」作「之」·

經上篇『循所聞而得其意心也察也』「心之察也」・義雖 **基是而文則非** 孫詒讓改為

非攻篇上『是以知天下之君子也辯義與不義之亂也』為非攻篇上 一十七字

韓非子解老篇『鬼祟也疾人之謂鬼傷人』

賈子大政篇『故君子富貴也至於子孫而衰則士民皆曰「何君子之道衰也數也」』「之」:「數」:

之道衰之速邪・「速」也・言何君子

爲指事之詞:

古書虚字集釋 卷三

也。

也

說她君道篇『 國 人知刑戮之威專在子罕也大臣親也百姓附之』則「之」·淮南子道應篇 大

臣親之百姓附之』臣畏之、細民歸之』、

淮南子精神篇『故知其無所用貪者能辭之不知其無所用廉者不能讓也』文子上禮篇作『淮南子精神篇: 瘷

者不能讓之。

越絕書卷七『昔者陳成恆相齊簡公欲爲亂憚齊邦鮑晏故徙其吳而伐魯魯君憂也孔氏患之』

吳越春秋夫差內傳作「魯君憂之孔子惠之」

呂氏春秋 權 助篇『故豎穀陽之進酒也非以醉子反也其心以忠也·愛也」· 思 而適足以殺之。

「愛之」・韓非子飾邪篇作『故豎穀陽之進酒也非以端惡子反也實心以忠愛之而適足以殺之「忠也」即

而已矣』十過篇作『故豎穀陽之進酒不以譬于反也其心忠愛之而適足以殺之』「忠」亦「愛」也

此上四例皆「也」與「之」通用可證「也」有「之」義。

管子 明法 解篇 姦邪在主之側者不能勿惡也是以意改、讀書漢志謂作「之」者是、失之。 惟惡之故

必候主閒而日夜危之」

天志篇中『是以圜與不圜皆可得而知也此其故何則圜法明也……是以方與不方皆可得

而知之此其故何則方法明也。如也亦知之

吕氏春秋蕩兵篇『民之說也止篇『民之悅之』·文沙同· 若孝子之見慈親也若饑者之見美食也民

之號呼而走之與上旬一民之說也」相聞,一口 若彊弩之射於深谿也若積大水而失其臺堤也。

上您篇『之鄭鄭文公不敬被瞻諫曰「臣聞賢主不窮窮今晋公子之從者皆賢者也君不禮也不

如殺之』則「之」・韓非子喻老篇作。『君不待之不如殺之』則「待」同意・如殺之。」下「也」字

管子小稱篇『 善罪身者民不得罪也不能罪身者民罪之』「善」也

荀于富國篇『利而不利也愛而不用也者取天下矣利而後利之愛而後用之者保社稷也不利而。;

利之不愛而用之者危國家也』皆訓矣:

非 和篇: 夫是之謂姦人之雄聖王起所以先誅也; 而後盜 城次之し

子道篇: 此 上八例皆「 君子其未得也也也一則樂其意既已得之又樂其治」 也」與「之」爲互文。

古書處字集釋 卷三 也

王 制 篇: _ 而 無 所 凝止也」 與「止」同義)・解蔽篇・『而無所疑止之』・義與此同・「疑止」亦即「定止」・據元刻本・「凝」與「疑」同・「定」也・(大雅云・『靡所止疑』・「疑」・「定」也

墨子 ·耕柱篇: 葉公子 高豊不 知善爲政者之遠者近也而 舊者新是哉』也・「之」

戰 國 策 秦策 韓各立因也以爲 戒。

楚策一『楚王曰「善」乃不罪也』 怒·將罪之』·「之」字亦指鄭申書·楚王:

詩日月篇『胡能有定「正」· 俾也可忘』莊姜指自己言·詩日月篇『胡能有定「正」, 俾也可忘』莊姜指自己言·

春秋繁露四時之副篇『故慶賞刑罰有不行於正處者· 存春秋譏也

呂氏春秋開 |春篇『乃往見范宣子而說: 也。 ---, 開善為國者賞不過而 刑不 慢o

說苑 權 日: 何以 知也一應之曰: 吾聞 病之將死也不可爲 良醫」 『智伯日・「何以知之」・上「也」字訓「之」・上文・

地……」・ 文法同此・對日・「夫勝趙而三分其

韓 非子 外儲 說右 上篇: 舉 兵 而 伐 中 山, 逐滅 也。

出他。

爲助語之詞 林 篇下: 荆王 泉在 秦秦不言

說

詩常棣篇『兄也永歎『茲之永歎』·文例同此·「茲」亦「益詩常棣篇』兄也永歎『茲之永歎』·文例同此·「立」也,奏水 世に ··孫也無我」成一人相也

「也」猶「如」也。

孟子滕文篇『如枉道而從彼何也』

也」循「然」也是解了如

左傳昭二十八年『魏子謂成靜「吾與戊也縣人其以我爲黨乎」對曰: 何也。

也」循「而」也。

莊子天道篇『動而持發也機察而審』為五文:

別は遮反・俗

邪」循「歟」也「乎」也

一爲疑問之詞:

古書虛字集釋 卷三 邪

大戴禮五帝總篇『請問黃帝者人邪抑非人邪

一爲反詰之詞:

莊子寓言篇『有以相應也若之何其無鬼邪無以相應也若之何其有鬼邪』

一爲感歎之詞

莊子天運篇『甚矣夫人之難說也「感歎之詞・ 道之難明邪」 一一也」也・說猶稍疏穏傳釋詞謂「邪」亦

邪」猶「兮」也。飄題助語或句之辭也。

戰國策齊策『松邪柏邪住建共者客別』也‧見經傳釋詢引‧

邪」猶「耳」也。

荀子勸學篇『爲善不積邪安有不聞者乎』,夫何遠之有』,文法與此同,「也」亦「耳」也,(言未之思耳,荀子勸學篇『爲善不積邪安有不聞者乎,論語子罕謂,『未之思也

之有乎)・思・則何還

漢書翟義傳『 尉自送也· 即如勿收邪』言若令都尉自送·則當不收耳,「欲」· 「若」 即如勿收邪』言若令都尉自送·則當不收耳 義部掾夏恢等收縛宛合劉立傳送鄧獄恢白義可因隨後行縣送鄧義曰「欲合都

「邪」猶「也」也轉

一爲決定之詞

莊子德充符篇『我適先生之所則廢然而反不知先生之洗我以善邪。

天地篇『始也我以女爲聖人邪今然君子也』亦「也」也・互文耳・天地篇『始也我以女爲聖人邪今然君子也』亦[然]・「乃」也・「邪」

此上二例並見經傳釋詞引。

易繁鮮傳「其柔危其剛勝邪」

墨子公孟篇『是子之所謂不扣而鳴邪從孫貽讓說補·是子之所謂非君子邪。)。

史記春申君傳**贊『語**曰「當斷不斷反受其亂」春申君失朱英之謂邪。。

賈子修政語篇『其聞寡人之驎之汰邪而不以語寡人者此教寡人之殘道也』

白虎通禮樂篇『其本乃在萬物之始邪故謂鼓也』

荀子堯問篇『忠誠盛於內賁於外形於四海天下其在一隅邪「似」也・ 夫有何足致也」「又」:

天下若在一隅也、夫又何難致乎。「足」、「難」也。「也」、「乎」也。實

古奇 遗字集 釋卷三 邪

與

晏子春秋諫篇『當此道者其晏子是邪』:「似」也:

爲助句之詞:

國語楚語『夫子期之二子邪吾知之矣』

爲助語之詞:

漢書成許后傳『內邪若不私取小府將安所仰乎』

大戴禮五帝德篇『吾欲以顔色取人於滅明邪改之』之」、「邪」皆亦則「也」、說見經傳釋詞大鼓禮五帝德篇『吾欲以顔色取人於滅明邪改之』之」、「死之、邪」皆亦則「也」、說見經傳釋詞

(歟 奥

歟」猶「乎」也「邪」也古通作「與」

爲疑問之詞:

荀子子道篇『意者身不敬與辭不遜與色不順與』

四四四

爲感歎之詞

詩那篇『猗與那與』

爲反詰之詞:

孟子告子篇『然則耆炙亦有外與

禮記祭義篇『是何言與』 一為反詰無感歎之詞

死者如可作也吾誰與歸」即「吾歸誰歟」皆是也。

按「與」字爲疑問之詞或有於句中倒用者如禮記檀弓篇『誰與哭者』即「哭者誰數」又

歟 戰國策秦策三『秦三世積節於韓魏而齊之德新加與』 一循「焉」也「敷」與「焉」

禮記檀弓篇『今斯師也殺厲與』

敷 一猶一也」也古通作一 古書虛字集釋 卷三 敷 與 與。

二四五

爲助語之詞:

論語公治篇『於予與何誅····於予與改是』釋詞·

禮記檀弓篇『君王討敝邑之罪又矜而赦之師與有無名乎』[得]也・

爲決定之詞

禮記祭義篇『夫人曰「此所以爲君服與」』例也邪通用例・醴記祭義篇『夫人曰「此所以爲君服與」』例也邪通用例・

坊記篇『君子之道辟則坊與』『智·譬則巧也』·文例同此· 。 「辟」與「譬」同・孟子萬章篇

檀弓篇『曾子聞之曰「微與」。非也」、從來不知「與」有「也」義,故不得其解,其 嗟也 可去其謝也可食」館弓篇『曾子聞之曰「微與」,「魏」、「非」也,曾子以餓者之措施為不當,故曰

仲尼燕居篇『譬猶瞽之無相與倀倀乎其何之』

春秋繁露天地之行篇『齊之爲言濟與』言在也。文例同此、春秋繁露天地之行篇『齊之爲言濟與』言在也。文例同此、

執實篇『故羊之爲言猶祥與』言猶讎也』,文例同此,執實篇『故羊之爲言猶祥與』言猶讎也』,文例同此,

韓詩外傳四「譬之豺與」也」,文例同此,

說苑尊賢篇『如此人者譬猶豺狼與不可以身近也』荀子哀公篇作『譬之其豺狼也』也,與我

義· 不可以身**選也**。

論語微千篇『不降其志不辱其身伯夷叔齊與』則退·伯夷也』,文例同此:

衞靈篇『子曰「賜也女以予爲多學而識之者與是_詞・對曰「然非與」 于夏初以爲然,惟又以「非與」即「非也」,此是

云·『非也·予一以貫之』者·則是韙子貫之後說·故亦云非也。以證其然·爲不然也·(若以「與」爲疑辭·則「非與」仍與「然」同意·其可ĭ(乎)·下文孔子

賈子俗激篇『是類管子所謂「四維不張」者與竊爲陛下惜之』本· 以本:

墨子尙同篇下『故唯毋以聖王爲聰耳明目與「毋」・無助嗣・ **豊能** 視而通見千里之外哉一聽

而通聞千里之外哉!

兼愛篇下『然卽之交別者「之」・「此」也・ 果生天下之大害者與是故子墨子曰「別非也」衆愛篇下『然卽之交別者「之」・「即」也・ 果生天下之大害者與是故子墨子曰「別非也」

…若之二士者。· 「之」:「此」言相非而行相反與…… 然卽之交兼者果生天下之大利者與。。

是故子墨子曰「兼是也」…… ·若之二君者言相非而行相反與『字·茲從戴氏說删·

倚賢篇中了逮至其國家則不然也· 王公大人骨肉之親無故富貴面目美好者則舉之即孟子, 「無故」

· 請無病災也· 則「兄弟無故」之「無故」」 (王公大人之視其國家也不若視其一危弓罷馬衣裳牛羊之財與)。。

古書 虚字集釋 卷三 一 敷料 與

『今士之川身則下「親」・茲從孫論語 不然・主題譲取り 意・ 「之所欲則為之・厚者入刑罰・薄者被毀醜・則士之用身・不若商人用一布按貴義籍・『則是供俗君子之視義士也・不若視負粟者也」・ 文例與此同 と慎也・ 交別 黄義篇又日・

同亦 ・ ・ 此

元 子 告 十篇: 『惟心之謂與』謂也」·文例同此。 。 說苑修文篇:『莊

滕文篇 『且夫枉尺而 直尋 者以利言也如以利則枉尋直尺而利亦可爲與」, 侯之事・當以意故此文之意・日 養調見

而爲 於孟子之語意・ 亦名非 矣解

而利亦可以爲也以利・與枉尺直禁

1,(枉鄰直尺而利亦爲之者,卽吮癰舐痔,| 葬之以利實者,迴不相逃,不可引以爲況

・燗筥狗荷者也・如以利言・

也

5),解者不知[與]字為決定調則不但枉尺直等而利可以為,

· 故於 亦可 即枉尊直尺

言 學行篇: 『遷善者聖人之徒與。。 <u>__</u> 一聖人ク徒也」孟子膝文篇 2.文例與此同一。 "能言距楊墨書

・者

法

至篇 <u>-</u>7 年爛 高而德彌邵者是聖 一人之徒 。。 متسكا

列子 黄 帝 篇: -亦 不 知 我之 是 菲 利 害歟 亦 不 知 彼之是: 非 利 害 歟。 亦 ネ 知夫子之爲我師若人之爲

我 友, 内 外 淮 矣。 <u>___</u>

經 力 命 傳 釋詞 篇: 汝 造 敷」字條云『「敷」「邪」二字古並讀若「 事 而 窮, 于 造 **'H**-而 達, 此 厚 獭 驗 敷? 此 將 厚 海 之驗數® 也將

則

1.7 T. 八

莊子 終, 天 ڪ 漢 地 書引, 篇: 其亂 作 歸 Mi % 後治之與 邪 於 終。 <u>_</u> ___ 邪 釋文「 與 與本作邪。 餘 通 用, __ __ 此 學 邪 海 按王說是也左傳文元年 **L**_-字 古 讀 若 餘 之 明 證。 ب 叉 艜 餘於 詩 北

風篇 其 虛 其 邪, 旣 úХ 点 且! __ 邪 與一 且 爲韻除反· 子 爾雅引作 其 虛 其 徐, 徐 奥

旣 古讀若 二 餘, 與 軟 | 同 音「敷」與「餘」同音之證· фh 放 亦 與 古讀 __ 歟 若一 」通用身不敬與· 餘」之一證也「 篇 辞不遜與

餘 同從 一 余 聲徐徐』・王斌作『來余余』・是其證・ 此亦。按「徐」古讀若「余」・易困九四:「來 邪

詩外傳九・「與」皆作「邪」・色・順與」・(與皆同歟) 韓 而 同 爲 《語末助詞》 惟 歟 為本字, 邪 則 歟 一之借字耳。 歟

古書之文義隨聲 那 與一 也 轉放 皆一 整之 其 疑 轉, 詞 決 故 詞, 從 歟 無 ___ ·定字而 邪 ٠... 皆訓 不 似 後 也, Y Ź 判 也 分 畛 L___ 亦訓一 域 也。 自 歟 顏 氏 L.__ 或 家 訓 邪。 有 良以 北 Å.

爲 也 之語, 於是 後 人 人皆謂 古 害以 ___ 也 L___ 爲 邪; 實則 呼 那 ___ 爲 ---也, 乃漢魏以 後

之音,

非漢

魏以

邪

乎?! 我

國之書

呼邪

前之音周秦時 籍 尚書而 外以毛詩為最古毛詩 也 一在歌部, 邪 二在魚 中有 部, 本不同 也 音, 歟 二二字而 何 得謂古 入用 無 邪」字,如 也一爲

小助三 略者而言・ご 論 語 £. 子二書 亦 然左傳 國語 雖 也 ____ 敷一 那 **兼**有, 而 那 字 猶 杪

二四 九

古書虛字集釋

卷三

敷

與

猗

「也」「 歟 」爲 寡人多疑緊辭傳非孔子之書者·此亦其一證也· 是見於 經典之 語 未助詞 「 也 」「 敷 」「也」「 飲 」 是見於 經典之 語 未助詞 「 也 」 「 敷 」

皆在前而「 那一 則較後也果如世人謂古書用「也」爲一邪」之說何以毛討論孟諸: 書中之

「也」字與「邪」同義者甚多孟子公孫出篇·『豈以仁義爲不美也』·「也」皆與「邪」同義·「也」字與「邪」同義者甚多孟子公孫出篇『何其處也』·論語爲政篇『子張問十世可知也』· 而「邪」字

與一數」古同音同義若謂古書用「也」爲「數」人必皆曰不可

而謂

用

「也」爲「邪」則不知其不可不亦如昔人所謂知二五而不知十者乎

不一見乎「邪」

兪

俞」「然」 書堯典篇『帝日「俞」』 」「然」也雅· 也。

符

三五〇

「猗」「兮」也。 曹秦桴篇『斷斷猗』禮記大學引「猗」作「兮」

詩伐檀篇『河水清且連猗』漢石經 此上二例說並見經傳釋詞。 「猗」作「兮」

惡 鳥 於 啞 吁

恶」猶「何」 也。

公羊(解三十一年『惡有言人之國賢若此者乎)

植六年『惡乎淫』猶於何也」:

莊十二年『魯侯之美惡·子至』 猶何所至」· 聖十二年『魯侯之美惡·子至』 強曰:『惡乎至 禮記權弓篇『自吾母而不得吾情也、 吾惡乎用吾情』雖於何也。

古普虚字集釋 卷三 悪 鳥 於 亞 旴

五五

古

孟子梁惠篇 天下惡乎定』下安所定」.

此 上 Ħ. 例, 並見經 傳釋詞 引。

經 傳 所一 淫 海 郭子問於莊子曰「 何所」同義「乎」 禹 按上 非君惡所望之? 釋 詞云 皆同 惡乎」即 卽 『吾將惡許用之』 何 說是也「 所 何所從? 二 一 由 莊 成』與公羊傳? 義而莊子天下篇『「古所謂道 一何所 所 十二年公羊傳注及孟子注推之則「惡乎用吾情」卽「何所用吾情」「 」蓋「惡」本訓「 』文例同楚辭天問篇曰: 與一 所謂道惡乎在」莊子曰: 本設若「戸」撃・知之・ 一之明證 與公羊傳僖十九年, 所一 魯侯之美惡乎至』句例? **皆助語之詞也莊子大宗師篇** 也。 一惡所 何」「惡乎」 ___ 術 天何 一惡乎用之 「无所不在」 者, 亦作「惡許 果惡乎在」曰「无乎不在」」 所沓? 與一 猾言 「何所」不 亦 同。 乎」爲雙聲兼疊韶字故「 與 此 文例同。 孟 『子獨惡乎聞之』 可避 木許許」說文引作『伐木所所』・「所」古同「許」・時伐木篇・『伐 ■一言「无乎」一言「无所」 子 ---) 惡乎 天下惡乎定 必訓 ___ 與 爲一 於何 知北 與新 惡所一及「 句 遊篇 例同; 序襖 惡乎」與 也。 一同義, 墨子 又曰: 事 何 東

惡許」與「

惡乎

惡許一爲「何所」可知「惡乎」亦爲「何所」也由此而觀王君解「惡乎」爲「何所」

可謂 信 imi 有徵楊樹達謂一 惡乎」當作「於何」解不當作「何所一解等國文法·失之。

字或作一鳥

史記司馬相如傳『使者曰「烏謂此邪」」

風俗通義窮通篇『夫尹士鳥知予哉』孟子公孫丑篇「鳥」作「惡」。

字叉或作「於」「於」同字:

例女傳仁智傳『羊舌子好正不容於晋去而之三室之邑又不容於三室之邑是於夫子之不容也!

不如受之』容」・末一「於」字訓「何」・言是何夫子之不寛容邪・不如受っ。上二「不容」・是謂「不容納」・下一「不容」・是謂「不寬

墨子非命篇中『故使言有三法・語助詞・― 三法者何也有本之者有原之者有用之者於其本之墨子非命篇: 也考之天鬼之志聖王之事於其原之也徵以先王之書訓所‧說見[其]字條)‧用之柰何發而爲刑?

此言之三法也』非命篇下作『惡乎考之……惡乎原之』「何所」也·此言之三法也。非命篇下作『惡乎考之……惡乎原之』「惡乎」亦獨言

字又或作「听」馬本「吁」作「子」・聖子引「吁」作「於」)、故亦與「鳥」通用・字又或作「听」「吁」與「子」及「於」皆通用・(書呂利篇・「吁・來・有邦有土」・ 古書虛字集釋 卷三 **.** 烏於 啞吁

五五三

五

漢書楊雄傳『翰林主人曰『吁謂之茲邪』司馬相如傳『使者曰:「烏謂此邪」』,文義同漢書楊雄傳『翰林主人曰『吁謂之茲邪』司馬相如傳『使者曰:「烏謂此邪」。文義同

漢書天文志『後聚十五星哀鳥曰即位』為朱盛之貌・史祀作『蔚然日耶位』・「蔚然』亦朱盛之貌也・「鳥」」 後 「 」 也呂氏春秋季春篇・『天子焉始乘舟』・淮南子時則篇[焉]作[鳥]・並其證也・「佐焉]一鳥。 | 一八鳥」「焉」一聲之轉・古通用・史祀師商傳・『破殯將軍鳥氏』朱陘本[鳥]作[焉]・

鳥」看「無」也[鳥]「無]為

漢書司馬相如傳『烏有先生者烏有此事也』

恶」不然之詞也傳釋調 孟子公孫丑篇「惡是何言也」

字或作 韓非子難篇「啞是非君人者之言也」 哑:

此上二例並見經傳釋詞引。

於顧 鳥 嗚 恶

於一 **歎詞也「烏乎」・或作、嗚呼」・或作「於戲」**·古皆通用・

詩文王篇『於昭于天』歎詞也:

莊子田子方篇『仲尼曰「惡可不察與」 ?!

墨子非命篇『惡乎君子天有顯德』

新序義勇篇『晏子奉桮仰天嘆日『惡乎崔子將為無道殺其君盟者皆視之』』三同·「惡乎」新序義勇篇。

皆與「於乎」或「鳥乎」同。

意 抑

噫」「歎聲」也調見經

爲歎美之聲字或作 詩噫嘻篇『噫嘻成王 ! 』釋文「噫」作「意」美之聲・ □意: 古同音・

古書處字集釋 卷三 嚔 澉 懿 抑

二五 五

卷三 唉

爲傷痛之歎聲:

論語先進篇『子曰噫天喪予」』

爲心不平之歎聲:

論語子路篇『子曰「噫斗筲之人何足算也」.』

字通作「懿」又或作「 爲怒恨之歎聲:

抑:

「懿」押」「噫」皆一綮之轉、故通用、按「懿」與「押」同在至部・「噫」在之部。

詩十月篇『抑此皇父』

瞻卬篇『懿厥哲婦』

此上各例並見經傳釋詞引。

三五 六

唉」 歎聲也小子之己」字同音·故「己」字亦爲歎聲·

莊子知北遊篇『狂屈曰「唉予知之」**』**

或為怒恨之歎聲:

史記項羽紀『唉豎子不足與謀』,烏來反。唉

異

異、」循「一九」也是一九」「異」二字古本同音・故「尤」訓、異」・(見説文)「異」亦訓「尤」・異、一猶「一九」也」是一九」作「更」字母・按說文「尤」從「又」聲・唐韻正云・『又・古讀若異』・

戰國策趙策『太后曰「丈夫亦愛憐其少子乎」對曰「甚於婦人」太后笑曰「婦人異甚」

乏

古書虛字集釋 卷三 異 尤

.尤__猶「更_

史記酷吏傅『民爲姦京師尤甚』

、 猥 。 源 助

漢書董仲舒傳『科別其條勿猥勿幷』 猥」猶「總」也「同」也

管子八觀篇『以人猥計其野

此上二例說並見讀書襖志。

論衡宜漢篇『周有三聖文王武王周公並時猥出』

猥」「苟」也明有

漢曹劉歆傳『猥以不誦絕之』‧ 有也』‧ 「典

二五人

史記律書『不權輕重猥云德化不當用兵。

猥, __ 猶 「 猝 __ 也 突 也

公羊傳成十八年疏引春秋說 [**属公猥殺四大夫**

漢書王莽傳『今猥被以大罪恐其遂叛。

此上二例說並見讀書襍志。

余し **一**循 何 七·是其證也·叉按 余」與「烏」古亦同音·「烏」訓「何」·故「余」亦「食」訓「何」·猶「與」訓「何」也·「余」「與」古同音·說文女部「燠

左傳僖九年『小白余敢貪天子之命無下拜』既見新方郎・

余 楚辭離騷篇『溘埃風余上征』・『掩浮雲而上征』・文例同此・一篇「而」也』「命」で、 王注曰・『清・掩也』・按遠游篇」循「而」也。「余」訓「而」・循「與」訓「而」・亦猶「於」

古書盧字集釋 卷三 氽

二五九

又『會飲飲余鬱邑兮……忳鬱邑余侘傺兮……僕夫悲余馬懷兮』

九章篇『乘舲船余上征兮……入溆浦余儃愐兮……心鬱邑余侘傺兮』懷兮」,文例同此,

委

委」循「定」也曾英定」也「爱」與「爱」亦则「定」・

論衡宣漢篇『委不能知有聖與無**』**

古書虛字集釋卷四

何可

詩何彼磯矣篇了其釣維何』「是」也:「何」疑問之詞也曰「什麼」・「維」・「爲」也,

字或作「可」 石鼓文『其魚佳可』何』同· 惟可」與「推

「何」反詰之詞也即為則何 左傳宜十二年何以豐財]

又『民何安焉 』:

古齊虛字集釋 卷四 何

可

字或作「可一

左傳宣十二年『又可以爲京觀乎』義述聞

信十五年『先君之敗德及 可數乎』云:何數乎」也·言非由數也· 信十五年『先君之敗德及 可數乎』云:何數乎」也·言非由數也·

戰國策韓策『夫為人臣者言可必用盡忠而已矣』

何」「誰」也。

設苑復恩篇『主晋祀者非君而何』左傳僖二十四年「何」作「誰」。??

左傳成十年一何國蔑有』國無有二·文義同此·

何」猶「豈」

詩何彼禮矣篇『何彼禮矣[不]也·唐棣之華曷不肅雖王姬之車』也· 」 猶 「豈」 也[豈 互訓·

一何一一盍」也「何」,故何亦則盡」,

詩采菽篇『君子來朝何錫子之』

韓詩外傳七『君子登高必賦小子願者何言其願邱將啓汝 』子也:

何」猶言「何等」

荀子成相篇『人主無賢如瞽無相何 倀 倀』謂其太優傷也

何」猶「無」 孟子梁惠篇『畜君何尤』者·無過也」・」循「無」也「何」・互見、無字條・

1 論修本篇 引詩『何木不死何草不娄』詩谷風篇作『無草不死無木不麥。 :: ◎

淮南子道應篇『譬白公之嗇也何以異於梟之愛其子也」文子徵明篇作 無以 異於梟愛

也。

人閒篇『國危不而安患結不而解從讀書標志所校定』何謂貴智「無爲」・・・・・・亡不能存危不能安無:

為貴智』宋本韓非子十過篇作『亡弗能存危弗能安則無為貴智矣』

說苑敬愼篙 -勿謂何傷其禍將長勿謂何害其禍將大勿謂何殘其禍將然。,。,。, 成也」・「然 勿謂莫聞

天妖伺 人。

越絕書外傳紀策考篇『 故 無 往不復何德不報』曾不聲·無德不報』,文例同此,

古書虛字集釋 卷 何 可

四

戰國策趙策『從而有功乎何患不得收河閒從而無功乎收河閒何益: 也。

說苑反質篇『夫厚葬誠無 益於死者而世競以相高, 靡財殫幣而腐之地下或乃今日入而明日出,

此 眞 與暴骸於中野何異一

春秋繁露楚莊王篇『惡無故自來君子不恥內省不疚何憂於志是已矣』也:「而」

羣書治要引尸子處道篇『上何好而民不從。

易隨九四『有孚在道以明何谷』

易睽九五一厥宗噬庸往何咎』傳曰:「厥宗噬膚・往有慶也」・易睽九五一厥宗噬庸往何咎』傳曰:「無」也・無咎卽有慶・故象

何」猶「不」也

方言三『凡病少愈而加劇亦謂之不斟或謂之何斟』斟』·語異義同方言三『凡病少愈而加劇亦謂之不斟或謂之何斟』如『何斟』與『不 大戴禮哀公問於孔子篇『孔子曰「 邱也小人何足以知禮」」禮記哀公問篇「 何一作「不

何, 詩谷風篇『何有何亡黽勉求之』」猶言:「不論」也 道 [無人類]

奚」「何」也。

孟子梁惠篇『君奚爲不見孟軻也』

說苑善說篇「非禍而奚」 ?

奚」猶「何如」也。

莊子齊物論篇『予嘗爲汝妄言之「試」也·汝亦以妄聽之奚』·何如」·

奚」猶「無」也[例]無也· 列子楊朱篇『雖稱之弗知雖賞之不知與株塊無以異矣……雖毀之不知雖稱之弗知此與株槐

奚以異矣』「亦」可訓「此」・(見本書「亦 字條)故「此」亦可訓「亦」・
。 「奚」亦「無」也・互文耳・「此」訓「亦」・冒亦與株塊無以異也・

二六五

古書虚字集釋

卷四

窓

胡 故 固

詩相鼠篇『胡不遄死』 「胡」「何」也。

字或作「故」

墨子尚賢篇『故不察尚賢爲政之本也」

管子侈靡篇「公將有行故不送公」

荀子解蔽篇『故為蔽』平職: 此上二例說並見讀書禅志。

莊子徐无鬼篇『故乃肯見於寡人』

字叉或作「固」

莊子天地篇『汝將固舊邪』「脟」·「則」也・ 註子天地篇。 ※ 説見諸子平讃・

讓王篇『君固愁身傷生以憂戚不得也』

字叉或作「賈」 | 之哉』・鄭玄注云『沽・音故』・漢石經作「賈之哉」・楚辭離懸爲王逸序云・『而死問詞之露才揚||按「故」「周」『賈」三字・古皆同音通用・(白虎通商賈滿云・『賈之爲言固也』・論語子罕篇・『沽

奥「固」皆爲「胡」・而亦假「賈爲」「胡」・己」・注「盂」一作班賈』・皆其證)・故假「故」

詩谷風篇『能不我搖「能」·「乃」也·「慉」同「畜」·一好」也·言乃不愛好我也· 反以我為警旣阻我德賈

用不售」雄雄篇:『何用不臧」之「何用」同義:謂「何爲」也:「何故」也:

胡」「盍」也「何」訓「盍」也

莊子列御寇篇『闔胡答視其良』也)・「瞀」・「武」也・「夏」同「堰」・「彖」也・言何不試視,莊子列御寇篇『闔胡答視其良』也)・「闔」同「盡」・「胡」亦「盡」也・(閩胡智爲盡・猃庸何皆爲 心仏復命

胡」循「無」也「何訓無也・

後漢書班固傳『歷亡迥而不泯微胡瑣而不頤』 女傳周主忠妾傳・『夫名無細而不聞・行無隱而不彰』・女例並與此同・善無小而不養也・春秋繁露上道窩・『善無細而不舉・惡無細而不去』・ 「微」・「善」也・(武見讀書機志餘編)言惡無遠而不減・「亡 同[無]・「胡」亦 無 也・「慝」獊「惡 也・「 徼」讀為 列

古書處字集釋 卷四 胡 故 固 賈

瑕 遐

禮記表記篇引詩『瑕不謂矣』之言胡也」・現」 「何」也。「胡」斯「何」・故「根」亦訓「何」・故「根」亦訓「何」・以,以,我」亦訓「何」・

詩風桑篇「瑕」作「遐」嗣則·

詩泉水篇『遄臻于衞不瑕有害』] 特集傳) 二子樂舟篇亦言『不暇有答』则謂不知二于之有答是因何也,[不」,語助嗣,「瑕有答」即「何有答」,習不知其有害之在何也,〔說本

字或作「遐」「題」「語」

詩南山篇『週不眉春

械樸篇【遐不作人】

此上二例並見經 上傳釋詞引。

抑篇『輯柔爾顏不遐有愆』曾何有愆過那・

二六八

下武篇一受天之福四方來賀於萬斯年「之」也,不遐有佐』(說文有「左」無「佐」)「左」:「疏外」也,(見號下武篇一受天之福四方來賀於萬斯年「之」也,不遐有佐』(於文有「左」無「佐」第「左」之俗字,

四方不獨今日英賀・雖既萬年之久・亦無有疏外也,策。必有來而左魏。高注)「不遇有」」,即何有疏外。

曷 朅 害

一号」「何」也。 「号」「何」也。

字或作「害」

青大誥篇『王害不遠ト』

字叉或作「朅」」」場。 呂氏春秋貴因篇『膠鬲曰「朅至」,何也」, 武王曰「烐以甲子至殷郊」」

古書處字集釋 卷四 S 朅

二六九

部又遠・「歳」爲得爲「何不」之合聲乎)「歳」字在「歳」部・非叠韻・且「之」「歳

詩雲漢篇『瞻卬昊天曷惠其寧』「以」也・

字或作「害」

書湯誓篇『時日曷喪』孟子梁惠篇引「曷」作「害」 問見程停釋

詩葛覃篇『害澣害否歸窓父母』也・「汙」爽「澣」相對爲義・(傳曰・『汙・煩也」・箋曰・『煩・煩撊之・用功詩哀覃篇『害澣害否歸窓父母』也・「芳」・「盡」也・「何不」也・「否」・「不澣」也・即謂上文「薄汙我私」之「汙」 而日「害否」者・變文以協領耳・「歸寧父母」者・「歸」爲「懷」之僧字・「安」也・言「安寧父母」也・與三家詩作『以を深・澣・謂濯之也』・按「汙」用功深 「澣」用功淺・其事相反)・「害澣害否」 者・猶言盡澣盡汙也・不曰「害汙」・

「蹄」與「憓」通・周語・『無所依懷』・章注云・『懷・歸也』・「懷」可以訓「歸」者・則由「懷」與「歸」通用之故耳・「依父毋」(見說文引・晏・安也)・ 同義・(歸與懷爲學韻字・禮記繙衣篇・『私惠不歸德』・注云・『歸或爲寶』・是

有依歸』之。依歸」為一語)・懷」與書金縢篇『我先王亦永

曷」猶「豈」也辨略· 字

詩何彼襛矣篇『曷不肅雖? __

荀子强國篇『曷若是而可以持國乎? 上二例並見助字辨略引。

此

ニゼロ

「侯」「何」也。

呂氏春秋觀表篇『今侯渫過而不解』 高注日・『侯

詩六月篇『侯誰在矣』(何人斯篇:伊睢云從』):伊」亦「維」也・侯」「維」也同義・「侯」「維」也「維夷」是」

「侯」「乃」也體

詩寫篇『侯作侯祝』詢引·

語

古書虛字集釋

卷四

侯

「號」「何」也。

荀子哀公篇『君號然也』釋問·

盍 蓋 闔

禮記檀弓篇『子蓋言子之志於公乎』哉· 字或作「蓋」 字或作「蓋」 「盍」「何不」也

字叉或作「闔_

莊子列御寇篇『闔胡嘗視其良』既詳 胡』字條

「盍」「何」也雅。

管子戒篇『盍不出從乎君將有行。」 一 亻 一 七雅·

字或作「蓋」

戰國策秦策『勢位富貴蓋可忽乎哉」

字又或作「闔」 :

管子小稱篇『閩不起為寡人壽乎』

此上各例說並見經傳釋詞。

一一發擊也擊一種一蓋為於擊也,

楚辭九歌『盍將把兮瓊芳』

一皆爲後聲・則未允・「造埃風」之「見新方官引・按新方官消離騷「潰

·凌』當訓「掩」・(王注曰:「 溘·掩也 』)・「溘香(埃沁余上征・…… 遠晉游此春宮兮!之二「澅」字

義·「満香游此称宮兮」·興雕版『忽香行此流沙兮』文例同)·游」之「 唐 |字當訓「奄」・(王注曰・『澧·奄也』按「奄」興「忽」 同

古书的虚字集釋 卷四 一直在 益 圖

二七三

洪」發聲也。

書大誥篇『洪惟我幼沖人』釋詞· 。 說見經傳

許

許」「與」

「許」循「所」也。 列子仲尼篇『兼四子之有以易吾吾弗許也』子也『爲』亦與』也·說是『爲字條·左傳莊十四年『納我而無二心者吾皆許之上大夫之事』『職』也·邱·孔上 『我』』也雅·

二七四

墨子非樂篇『吾將惡許用之』釋詞:

許」猶「乎」也極近·故訴得訓。乎」·

古樂府『柰何許石闕生口中銜碑不得語』

許, 後漢書何敞傳『百姓化其恩禮其田居者皆歸至其父母追行喪服推則相讓者二百許人』 一數量之形容詞也。

調詮云・『二百許人・猶今言二百來人』・『埋觀記曰・「高潭等百八十五人・推財相譲」』・

日李 ・注

許」語末助詞也

世說「直以真率少許便足對人多多許」說見詞

[向鄉 嚮

「向」猶「近」也。

古書雄字集釋 卷四 向鄉 播

二七五

龙

後漢書段類傳』餘寇殘盡將向殄滅。

字或作「鄕

詩庭燎篇『夜鄉晨』

字或作「嚮」

易隨象傳『君子以嚮晦入宴息』

淮南子俶真篇『夫水嚮冬則凝而爲冰』

迄 訖

「迄」「至」 詩生民篇『以迄于今』

字或作「訖」

至

孟子盡心篇『同乎流俗合乎汙世』論衡引「乎」皆作「於」「乎」「於」也偏篇高注:

史記司馬相如傳『德隆乎三皇功羨於五帝』也・互文耳・

「乎」語及句之助詞也。 一爲感歎之詞:

論語顏淵篇『富哉言乎」

公治篇『已矣乎』 『

爲狀事之詞

古書虛字集釋 卷四

キャニ

易乾文言『確乎其不可拔』

爲呼召之詞:

論語里仁篇『參乎吾道一以貫之』 。

爲命令之詞:

左傳昭元年『勉速行乎無重而罪』也: 汝

爲疑問之詞:

孟子梁惠王篇『賢者亦樂此乎』

爲反詰之詞:

孟子滕文篇「雖欲耕得乎」

乎」字為疑問及反詰之詞古書中往往有省去者俞氏古書疑義舉例反言省乎字例云『古文

簡質往往有省乎字者尚書两伯戡黎篇: 何擇非人何敬非刑何度非及」史記作「何擇非其人何敬非其刑何居非其宜乎? 「我生不有命在天」據史記 則句末有 平 」字呂刑篇: 則亦當有

監? 非 乎」字皆經文從省故也』學海按俞說是也尚書之文往往省去「乎」字如呂刑篇『 時伯夷播刑之迪 <u>__</u> ___ 迪 下 省去 「 乎 」字也・諸非是伯夷播刑之道乎・「 ・」・「 時」・「 是 '也・「 迪」・「 道」 西伯戡 一黎篇 **_** 般之 **今爾何** 刨

辱高 也; 敢 喪,指 不共給? 位以速官 乃 功, 不無 L---史記 謗? 戮于 <u>__</u> 齊世 爾 亦是「謗 邦? 家作 <u>___</u> 邦 ___ 」下省去「乎」字杜預不知此例而 敢 《不共乎』 下亦 省去 是傳 ---1 乎」字皆是也左 |文省去「乎」字也由此而推莊二十二年『 傳傳四 爲之注曰『敢不敢也。 年『貢之不入寡 一斯為 君之罪 敢

醪矣僖二十三年『 重耳敢不拜』成二年『敢不唯命是聽? 同此者甚多・不可勝引・皆句末省去「乎」字・左傳之文・ 儀禮士

辭, 不 相 見禮: ·得命敢不從也? --- 某問辭不得命敢不從? 』 文例 與 子 相 』皆於句末 見禮同而 「從」下 省去「乎」字或 有 與 ----乎 與「乎」 同 義之「也」字是其證 同義之字士昏禮日『某 也呂

秋精 」孔子不應。「可與」・此亦句末省去 諭篙: أحصا 白 公問 於孔 子曰: ---1 人可與微 乎」字之例也又按凡古書在一句中 言乎」孔子不應」淮南 子道應篇 作

無乃

人

可

以

微 言?

Æ

春

得無]「得微」「將無」「將不」 之疑問詞者其句末皆當有 乎 · 字, 義之字· 咸與『乎』同

平 字 者即是省-去如論 語雍也篇『無乃太簡乎 --ا 晏子春秋 諫篇 『國家得無有故乎』 倒掠

古書處字集釋 卷四 平

無

無事

雜篇「國家得做有事乎」與「得無」為一語・ 世說識鑒篇武昌孟嘉作庾大尉州從事條注引雜篇「國家得做有事乎」「儼」・「無」也・「得微」

皆句尾有「乎」字為文法中之常例也又如左傳僖十九年『今君德無乃猶有所闕』

傳『房曰「得無不可」」世說謝太傅盤桓東山條『如此將無歸』晉書阮瞻傳『瞻曰「將無: 昭二十二年『無寧以爲宗羞』寧」呉無乃」為一語・漢書朱博傳『得無不宜』猶言無乃也」・ 「京房昭二十二年『無寧以爲宗羞』寧」・「乃」也・「無

句中上言「無亦」下有「乎」字者爲常例如左傳襄二十四年『有基無壞無亦是務乎』即「不句中上言「無亦」下有「乎」字者爲常例如左傳襄二十四年『有基無壞無亦是務乎』即「無亦」 同? 」」世說言語篇『將不畏影者未能忘懷』皆句尾省去「乎」字爲文法中之變例也又按一

凡實「無亦」者做此,是也其無「乎」字者皆是省去「乎」字則為變例如左傳昭二十三年「無亦亦」,(亦・語助詞)。 整乎若敖粉冒至于武文』「女」下省志「乎」字・國語周語『王無亦鑒于黎苗之王下及夏商之季』

[季]字· 皆是也[不亦]·

「乎」猶「哉」也

於語公治篇『已矣乎』哉』·文義同此· 學, 建解離服備·『已矣

論衡自然篇『夫何為乎』哉』·文義同此·

乎」猶「耳」也。

大戴禮勸學篇『爲善而不積乎豈有不至哉』按孔者釋「乎」爲「耳」・是也 而以「或」字代「而」字・則未允,就體稱相注云・「言爲善或不積耳・積・則未有不至於成者」

之熟锻鍊耳·奚患性之不善哉』·文法與此同·經義述聞謂「爲善而不積乎」之「不」字爲衍文·失之·「而」當訓「之」·(之作的字解)言不至者·乃爲言之不積耳·論衡學性篇·『况人含五常之性·賢聖示

戰國策燕策『寡人雖不肖乎未如殷紂之亂也君雖不得 意乎未如商容箕子之累也』。 『算人離不徳史記越世家・

例同此・

乎一猶「也」也。

一為決定之詞:

韓非子解老篇『故曰「夫禮者忠信之薄也而亂之首乎」』

而愚之首也』・文例同此・下文云・『前識者・道之華也

莊子知

管子形勢解篇『惟夜行者獨有之乎』形勢篇作『惟夜行者獨有之也』本· 北遊篇作『禮者道之華而亂之首也』論衡自然篇作『禮者忠信之薄亂之首也』

此上二例皆「乎」與「也」通用。

古書虛字集釋 卷四 平

二八一

莊子 秋 篇: ___ 故 曰: 돒 皕 是 Mi 無 非師治 Mi 無亂 平 **] 是未明天地** 之理萬物之情者 也。

論篇: **—** 若 是而 可謂 成 平; 雖 我 亦 成 也: 若 是 而 不· 叫 謂 成 乎; 物 與 我 ME 成 也。

說苑 花權謀篇. **--**君之所得 山戎之寶器中國之所鮮 也不可以不進周公之廟 乎。

٠....

穀梁 傳僖 十年 - 夷吾曰「-是又將殺我乎 © : : : ·夷吾曰: 「是又將殺我也。

七 年: 項,國 也不 可滅 mi 滅之乎®

墨子魯

問篇

-

故

翟

以

爲

雖

不

耕織

平;

m

功賢於耕織

也。

此 上 例, 皆 乎 與 也 爲 互文。

倘 同篇中『 若苟 上下不同義上之所賞則衆之所非日「 人衆與處於衆得罪一則是雖使得上之

賞, 未足以 勘 野 。 | 」以沮乎』・「乎」亦與「也」同義・下文・『則是雖使得上之罰・未足

活 國 策趙策 懑 問 篇: --不 此 逆詐不 億不信抑 先聖之所以集國 家定社 亦先覺 者然 稷乎。 ___ 亚 | 地本如是 是賢乎 。 维 是而文則非 訓賢 也」本朱注

論

戰

心篇 -7 齊宣 Ŧ 欲短喪既詳孟子正義補正·公孫丑曰「爲募之喪猶愈於已乎。 ○○

管子心術篇上" 人皆欲智师莫索其所以智乎』不知平」可訓也

內業篇二: 化不易氣變不易智惟執一之君子能爲此乎。

作靡篇『能歷故道新道定國家然後化時乎』可以化時也」·

淮南子繆稱篇『小人之從事也曰苟得君子曰苟義「爲」: 所求者同所期者異乎。

丁春秋 凍篇『景公不悅曰「勑其功則使一妾勑其志則比焚如四之 焚如」: 是夫子無所謂

能治 國平。

說苑權 謀篇『居三年言未得王之閒乎』臣未得王之閒也』,是其證 以吾之說未可耳。

反質篇『 刑罰之起有原人主不塞其本而替其末傷國之道乎」

禮記會子問篇『見星而行者唯罪人與奔父母之喪者乎』

贵德篇『故曰「譬子產之與夫子猶浸水之與天雨乎」』也·「與」·「此」

「若子不奪人之親亦不可奪親也」此之謂乎』「此之謂也」・即

古書意字樂釋 卷四

二八三

·記篇『配曰「三王四代唯其師」此之謂乎』:

賈子 退讓篇『老子曰「報怨以德」此之謂乎』報怨以德」・此之謂也」文例與此同・四子退讓篇『光子曰・「聖人轉稱爲福・

按言「其是之謂乎」者「其」「殆」也爲疑而有定之詞故「乎」字亦爲疑而彙嘆之詞,

與此上三例言「此之謂乎」之「乎」字不同義。

修政語篇上「故諸君子也・「得賢而舉之得賢而與之譬其若登乎得不肖而舉之得不肖而 與之樣。其若下淵子,得土・譬其・獨以弧怵鳥也』,文何與此同・「譬其」皆即「譬之」,, 。 。 。 按大政籍・「故欲以刑罰慈民・醫其・獨以鞭狎狗也・……欲以簡澄

呂氏春秋首時篇『見賢人則往不可止往者非其形心之謂乎。

法言問道篇「道德仁義禮書諸身乎」書之·馬也』·文例同此· 民者

學行篇『漸猶水乎』曰:『亦猶水而已矣』:

左傳襄二十七年了君子曰「彼其之子邦之司直」樂喜之謂乎何以恤我文:『獸・嘉善也』

其收之」向戌之謂乎』之司直」,石子之謂也』,文例同此,其收之,向戌之謂乎』之司直」,石子之謂也』,文例同此,

·禮·喪服·傳『謂弟之妻婦者是嫂亦可謂之母乎』也·此是借娘不可稱母·以證弟妻不可稱婦之義·禮·喪服·傳『謂弟之妻曰婦·則是娘亦可謂之母

論衡儒 增篇『使當今射工射禽獸於野其欲得之不遺精力乎及其中獸不過數寸跌誤中石不能

內鋒箭摧折矣」

國語晉語『然而民不能戴其上久矣難必及子乎』而宗妻傳作『難必及子』:無「乎」字・國語晉語『然而民不能戴其上久矣難必及子乎』而宗妻傳作『難必及子』:無「乎」字・故列女傳晉

列子周穆王篇『孔子曰「此非爾所及乎」顧謂顏回紀之』及也。· 敦舒公治篇:『非爾所

說宛反質篇「魯樂郎園季平子欲速成叔孫昭子曰「安用其速成也以虐其民作如或解:

其可乎無囿倘可乎』『無囿・獨可・無民・其可乎』・可爲證也・

莊子庚桑楚篇『南榮懋曰「然則是至人之德已乎」「矣」也· : 日「非也是乃所謂冰解凍釋者:

能子』曾此乃所謂冰解凍釋之能也。

韓非子說林篇下『桓公問管仲「富有涯乎」答曰「水之以涯其無水者也富之以涯其富已足

者也「及」・断「至」・人不能自止於足而亡其富之涯乎』「忘」・言人不能自止於足・故忘其富之涯也・;「以」曾「訓」

慎本・ ・

戰 《國策燕策》柳下惠曰「荷與人之異「而」也・惡往而不黜乎猶且黜乎作「領且黜也」是其證:「猶」・

古香磁字集釋 卷四 乎

卷四 弈

古齊盧字集釋

二八六

是也・「且」・ 寧於故國爾」』同義・

此上四例皆上下文用二「乎」字而一為疑問詞一為決定詞此古書上下文同字異義之例

也。

爲助語之詞:

莊子天運篇『其始作有倫而今乎婦女』「也」也·

論語雍也篇『於從政乎何有』也何有』·文例同此·

爲助句之詞:

晏子春秋問篇『叔向問晏子曰「世亂不遵道上辟不用義正行則民遺曲行則道廢正行而遺民

乎」猶「矣」也

戰國策秦策『寡人欲車通三川以窺周室「者」也・而寡人死不朽乎』史記秦本紀「乎」作「矣」戦國策秦策『寡人欲車通三川以窺周室「촶」・

說苑復恩篇『仲尼聞之日「趙襄子可謂善賞士乎」』呂氏春秋義賞篇作『襄子可謂善賞矣』

管子小問篇『此其可比於君子之德乎……此其可比於君子之德矣』

1學行篇: _ 鳥獸觸其情者也衆人則異乎賢人則異衆人矣聖人則異賢 人矣。

法言問道篇 5 民之阜也無為矣紹桀之後篡紂之餘法度廢禮樂虧安坐而視天下民之死無為乎。 或問無為曰「 奚爲哉在告處夏襲堯之虧行堯之道法度彰禮樂著垂拱而 視

此上三例皆一乎」與「矣」爲互文。

商君書外內篇『是謂設鼠而餌以狸也亦不幾乎』必賢,而求與己同者,而欲得賢,亦不幾矣」,句例同的君書外內篇『是謂設鼠而餌以狸也亦不幾乎』必賢,而求與己同者,而欲得賢,亦不幾矣」,句例同

龜策傅『可謂聖人重事者乎』

·是以擇賢而用占焉可謂聖人重事者乎』「乎」·「矣」也

知北遊篇『弗知乃知乎知乃不知乎』 。

齊物 論篇『三子之知「智」·幾乎皆其盛者也。

法言孝至篇『或問子曰「死生盡禮可謂能子乎」。:

古書虛字集釋 卷四 乎

二八八八

淮南子繆稱篇『故楚莊王謂共雍曰「有傷者受吾虧祿有功者受吾田宅是二者女無一焉吾無

以與女問於可謂不踰於理乎」

荀子修身篇『人有此三行雖有大過既詳睹于本職・天其不遂乎』「亦」也・

詩常棣篇『是究是圖·夏其然乎』。。

一爲語已之詞

荀子勸學篇『君子愼其所立乎』辨略・大戴禮勸學篇一乎」作「焉」。

韓詩外傳一『君子以爲得婦道之宜故舉而傳之揚而歌之以絕無道之求防**汙道之行乎」列女**。

傳召南申女傳「乎」作「焉」

一爲狀事之詞

淮南子道應篇『惷乎若新生之犢』莊子知北遊篇「意乎」作「瞳焉」

一語之餘也發無意義之句末助詞也。

韓 非子顯學篇『孔子曰「以容取人乎失之子羽以言取人乎失之宰予」論衡骨相篇作『以貌:

取人……以言取人』無意義・

荀子堯問篇『爲人下者乎其循土也……爲人下者其循土也』故或有或無、

論語爲政篇『子曰「由誨女知之乎」』意義·

管子戒篇『夫江黃之國近於楚為臣死乎「乎」字無意義·君必歸之楚而寄之』

乎」猶「而」 也通用,於訓而,故乎亦訓而,

說苑敬愼篇『樹欲靜乎風不定子欲養乎親不待」韓詩外傳九作『樹欲靜而風不止子欲養而說苑敬愼篇『樹欲靜乎風不定子欲養乎親不待』韓詩外傳九作『樹欲靜而風不止子欲養而

親不待』

楚辭遠遊篇『山蕭條而無獸兮野寂寞乎無人』「乎」作「其」二本、「其」亦「而」也、既見「其」字條・楚辭遠遊篇『山蕭條而無獸兮野寂寞乎無人』「乎」作「其」、按王注云。其一作乎』、知有作 七諫篇『從水蛟而為徒兮與神龍乎休息』—作而」·

此上二例「乎」皆亦「而」也互文耳。

七諫篇『念女嬃之嬋媛兮涕泣流乎於悒』

古書虛字集釋 卷四 乎

九章篇『 獨永歎乎增傷」

戰國策燕策 7 燕王 謂蘇代曰「寡人甚不喜酏者言也」蘇代對曰「 周地賤媒爲其兩譽也之男

家曰女美之女家曰男富然乎周之俗不自爲娶妻』劉氏吹[乎]爲「而」·失之·

易巽上九『「喪其資斧貞凶」「正」也・象曰「 荀子强國篇『道德之威成乎安强暴察之威成乎危弱狂妄之威成乎滅亡也』同此· 。 韓詩外傳 喪其資斧正乎凶也」』 乎凶]釋「貞凶」・稅避泰縣以「正乎凶」即「正而凶」・以「正 大

正遯 |凶|・甚壁・以「正乎」二字爲句・則失之・|而亨」釋「遯亨」也・焦循易章句・解「貞凶」爲

行一「且」 一九。親文帝即 興吳質書李善注・

爲姑且之義

詩十畝之間篇『行與子還兮……行與子逝兮』

二九〇

爲「將」字之義:

漢書韓安國傳『上高帝披堅執銳豪霧露沐霜雪行幾了年』「近」也,

文選犯文帝與吳質書『別來行復四年。

爲义且之義

史記南越傳『漢與兵誅郢亦行以驚動南越』 。

此上三例並見詞詮引。

「行」猶「可」也可不行」、盖古之遺書也、

孟子雕婁篇『公孫丑曰「君子之不效子何也」孟子曰「勢不行也」』 左傳文七年『先蔑之使也苟林父止之曰「夫人太子猶在而外求君此必不行」』

哀元年『以是求伯必不行矣。

淮南子說山篇『慈石能引鐵及其於銅則不行也』

古書命字集釋

卷四

行

況如許訪 兄 皇 行 遑

孟子萬章篇『況乎以不賢人之招招賢人乎』「況」「矧」也韻。

字或作「兄」

管子『雖得天下吾不生兄與我齊國之政也』

荀子非十二子篇『盛名況乎睹侯』以也」: "况

「況」「益」也。

詩常棣篇『況也永歎』與「滋」同·「益」也· 按「茲」

國語晉語『衆況厚之』益也」・「況・

字或作「兄」

詩召晏篇『職兄斯引**』**

字又或作「皇」

書無逸篇『則皇自敬德』漢石經「皇」作「兄」

此上各例並見經傳釋詞引。

「皇」猶「胡」也「何」也『皇』胡』何」

曹秦智篇「惟鐵鐵菩諞三俾君子易解詳經義遊閱通說上殆字條·我皇多有之」「愛」也·言我何敬重愛書秦智篇「惟鐵鐵菩諞三俾君子易解詳經義遊閱通說上殆字條·我皇多有之』「愛」也·言重」也·「有」·

作「况」,「况」亦「何」也,作「况」,「况」亦「何」也,「是」好之乎,公主傳文十二年,「皇」

字或作「遑」「何論」曰[追論」・

詩谷風篇『我躬不閱作「今」·按「躬」為「今」之借字· 追恤我後』五年引道」並作「臭」· 詩谷風篇『我躬不閱作「今」·按「郎」為「令」之借字· 追恤我後 』五年引道」並作「臭」·

古書 成字集科 卷四 况 兄 皇 行 建

二九三

字叉或作「況」

國語晉語『況其危身於敵以起讒於內也』「與」亦「何」也・經傳釋調則「況」爲「如」・失之・四語晉語。 ② 其危身於敵以起讒於內也』「況」・「何」也・左傳閔二年作『與其危身以速罪也」・

左傳定九年『思其人猾愛其樹況用其道而 不恤其人乎』

文六年『先王遠世獨詒之法而況奪之善人乎』上之,手則以」・

字叉或作「行」

列子力命篇『惟事之恤「是」也·行假念死乎』「暇」· 「限」。

按「皇」之所以得訓「胡」訓「 何」者皆由聲轉「皇」與「黃」同音 通聲音篇引作『皇帝』・風俗

「黄耆」爲「胡耆」之轉語·亦「麝耆」也·「何」之聲轉爲「皇」猶「詩載芟篇傳)「胡耆」即書召誥篇之『麝耆』· 胡」之聲轉爲「皇」循「胡者「與「黃者」之爲一語也憂籍・『國不黃者』・「胡」・「霧」也・(貝胡」之聲轉爲「皇」循「胡者」與「黃者」之爲一語也憂籍・『國不黃者』・「胡」・「霧」也・(貝

「鼓『姑』古同音・「行」與「黄」古亦同音大・「行」撃・「横」・從木・「黄」撃・故「行」得與「皇」、曹牽牛星之別名・ 何鼓」之亦名「黄姑」也。

通而亦訓「何」

况」猶「若」也謂「若夫」也或言「況乎」或言「況於」亦皆猶言 岩

大一也需要篇。若共君子所患』之「若夫」同義:

墨子兼愛篇中『然而今天下之士君子曰然乃若兼則善矣雖然不可行之物也譬若挈太山而越

之』、黎愛篇下作『今若夫無相愛変相利此自先聖六王者親行之』義、「今」、「乃」也、轉掉之詞、。 河濟可謂畢劫有力矣自古及今未有能行之者也況乎兼相愛交相利則與此異古 者 聖 王 行,

兼愛篇中『況於兼相愛交相利則與此異……況兼相愛交相利與此異矣』與者夫」同義·並

兮

一号」猶「歟」也「邪」也。

一為感歎之詞

國語晉語『猗兮遠兮』與上文例同此、第一處美一人家

爲疑問之詞

古書虚字集釋 卷四

合

二九五

韓詩外傳引詩『何其處兮』作[也]・「也」亦「邪」也・韓詩外傳引詩』何其處兮』作[也]・「邪」也・詩謠邱賞[兮]・

「兮」猶「乎」也。

為感歎之詞:

爲狀事之詞:

史記賈生傳『澹乎若深淵之靜氾兮若不繫之舟』「兮」皆作「摩」・「摩」與「乎」同・史記賈生傳『澹乎若深淵之靜氾兮若不繫之舟』「兮」亦「乎」也・互文耳・漢意、乎」

「兮」猶「也」也。

爲決定之詞

詩羔裘篇「邦之彦兮」媛也」,文例同,

鳴鳩篇『其儀一兮』淮南子詮言篇「兮」作「也」·

巷伯篇序『巷伯奄官兮』本:

爲助語之詞:

二九六

詩鄉兮篇『叔兮伯兮』

爲助句之詞:

詩候人篇『彼候人兮』

杖杜篇『彼君子兮』『彼丈夫也』·

爲比事之詞: 詩鳴鳩篇『心如結兮』淮南子詮言篇「兮」作「也」

采药篇『如三月兮**」**

爲命令之詞:

詩道大路篇『無我惡兮』「毋」·

爲狀事之詞

詩羔裘篇『羔裘晏兮三英粲兮』

療消篇『溱與消方渙渙兮』 。

古書處字集釋

卷四

兮

二九七

一分」循「之」也」也」が難化」一作之」· 「分」循「之」也」也」即一之」· 故「今」赤訓「之」· 「み」を「今」赤訓」之」· 故「今」赤訓「之」·

也。

易井彖解『汔至亦永獨井』「獨」:「由」也一爲 「將」字之義

未濟彖解「小狐汔濟」。光、幾也」、

詩民勞篇『民亦勞止「止」·「矣」也·汔可小康」「危」「危」亦 治」也·為「殆」字之義、行足也·○ 。 義曰·『汔·幾也』·為「殆」字之義、殆是疑而 疑而有定之詞也・按毛傳訓「光」為

ニカス

畜物於大

一有 一也 語助也「畜」又、「寧有盜臣」、唐書食貨志引「有」作「畜」、皆其瞪也、按「有」與「畜」聲可值 「有」 也。

畜

「有」際・讀者「名」・

曹盤庚篇『女共作我畜民』右有民』之,有民」為一語・曹盤庚篇『女共作我畜民』右有民」與皋陶誤篇『子欲左

【傒音 徯

大戴體少問篇『君其志焉或僕將至也』「僕」猶「其」也轉, 為一僕」字亦可讀者一溪也,

字或作「徯」

古書盛字集釋 卷四 畜 偶

谼

二九九

書皋陶謨篇『惟動子、應後志』、說詳「不」字條古書處字集釋卷四、縣合

解題

縣」猶「異」 也。

荀子天論篇『君子小人之所以相縣者在此耳』

合

「合」「當」也調能

晏子春秋外篇『公曰「合色寡人也殺之」』「邪」也、史記司馬相如傳『然則受命之符合在於此矣』則:

¥00

「合」猶「足」也。

管子正世篇『有愛人之心而實合於傷民也』說本語子平議· 曾子正世篇『有愛人之心而實合於傷民也』『合於即「足以」

孟子梁惠篇『此心之所以合於王者何也』心足以王矣之「足以」同義・孟子梁惠篇『此心之所以合於王者何也』心足以王矣之「足以」・興上文「是

會

「會」「適」也。

論衡吉驗篇『會有張良樊噲之救卒得兔脫』

「會」「與」也云富與貴則日「常會貴」、如

公羊傳隱六年『公會齊侯盟于艾』及,蟹,皆與也,

「F F 呼」

古書じ学集釋 卷四 合命吁于 呼

301

呼

書呂刑篇『吁來有邦有土告爾祥刑』馬本「吁」作「于」」歎詞也猶言「於」及「嗚呼」也

荀子宥坐篇『孔子喟然而歎曰「吁惡有滿而不覆者哉」』韓詩外傳三說苑敬愼篇「吁, 墨子尚賢篇引「吁一作「於。

上皆

作「嗚呼」

詩鵬慶篇『于嗟乎鵬虞字或作 「于」.

吁」歎聲也。

一爲驚詫之歎聲:

字或作「呼」

禮記檀弓篇『會子聞之瞿然曰「呼」釋文「呼」作「吁」

爲怒恨之歎聲: 左傳文元年『呼役夫』

30 ...

嘻 譆 凞 談

「嘻」歎聲也。 一爲歎美之聲

詩噫嘻篇『噫嘻成王』

字或作「語」

莊子養生主篇『文惠君曰「讀善哉」」

爲悲恨之聲

禮記檀弓篇『夫子曰「嘻」』注:

爲傷痛之聲

古書虛字集釋 卷四 嘻籍 熙 淚

古書虚字集釋 卷四 嘻 諄 朔 謑 煰

黟

公羊傳傳元年『 慶父聞之曰「嘻」」

爲歎息之聲:

大戴禮少閒篇『公曰「嘻」」

漢書翟義傳『熙我念孺子』 字或作「熙」。?!

一爲驚詫之歎聲:

字或作「誒」

說文引春秋傳『誤誤出出』亦驚說之歎聲也·

烱彩音

夥

二〇四

史記陳涉世家『夥頤涉之爲王沈沈者』

子』之「已」同・亦歎嗣也・(古無平上之分・「頤」夷「已」同音)・服度曰・『驚而偉之・故曰夥頗』・按「頤」夷書大誥篇『已・予惟小

物而驚歎之之聲・「夥頤」・皆偉大其

卷四 腡 糌

古書職字集釋

三〇五

古書虛字集釋卷五

舉

舉一猶「全」也

孟子公孫丑篇『天下之民舉安』

史記石奮傳『舉宗及兄建肉祖』

舉」猶「凡」也飘見助字

漢書曹參傳『參代何爲相國舉事無所變更』略引,

【故 固 顧 姑】

古 **齊虛字集釋 卷五 舉 故 固 顧 姑**

姑

故」猶「是以」 非子外儲說左下篇『吾觀國人尙有飢色是以不秣馬班白者多徒行故不二輿』。 七『故・申事之詞』・

同義

韓

說苑雜言篇『故夫君子博學深謀不遇時者衆矣』韓詩外傳七無「 夫 」字為語助詞

買子· 大政篇: 故是以明君之於政 心惧之。 ___

修政語篇上『 諸 侯朝 會而 **禹親報之故是以禹一** 皆知其國也 [一]亦「皆」也 ·其士月朝 而禹親見

之放是以禹一皆知其體也。

此上二例「故是以」為複語一故」亦「 是以」也。

故」猶「先」 九年范注・

或作二 固:

韓

「將欲愈之必固張之將欲弱之必固强之」「且」·失之·非子喻老篇『將欲取之必固與之』

下言「故」・其上言「是以」・

字叉或作「姑

說林篇上『將欲敗之必姑輔之將欲取之必姑予之』天將毀之,必先累之』,文例同此,說林篇上『將欲敗之必姑輔之將欲取之必姑予之』天將毀之,必先著之。

故」猶「特」也熟點,

漢書趙充國傳『不足以故出兵』略引:辨

按史記留侯世家『直墮其履橋下』索隱引崔浩云『直猶故也』「直」與「特」同「犆」・「種」 春秋繁露郊祭篇『弗行者非灼灼見其當而故弗行也。

聲·「特」訓「故」故「故」亦訓「特」令人猶謂「故意」曰「特意」矣從「直」

禮記檀弓篇『故謂夫子貞惠文子』開爾雅·故」 「今」 也雅·

字或作「問」

孟子公孫丑篇『個將朝也,

一故一猶一則 世間是經傳

古書庙字與釋 卷五 t. 固 晒 姑

墨子天志篇『當若子之不事父弟之不事兄臣之不事君也故大下之君子與謂之不祥者」。

皆し

戰國策東周策「君必施於今之窮士不必且爲大人者故能得欲矣」。

齊策『韓魏戰而勝秦則兵半折四境不守戰而不勝以亡隨其後是故韓魏之所以重與秦戰而輕:

爲之臣也」

此上三例並見經傳釋詞引。

大戴 禮勸學篇『君子博學如日參己焉「而」也・故知明則行無過』「而」也・荀子勸學篇作『則禮勸學篇』「則」・荀子勸學篇作『則

知明而行無過。

韓 之資而旦暮獨說於前放法術之士奚道得進人主奚時得悟乎」人主篇作『則法術之士奚時之資而旦暮獨說於前放法術之士奚道得進人主奚時得悟乎』人主篇作『則法術之士奚時 非子孤憤篇『法術之士操五不勝之勢以歲數而猶不得見從顧實析校改·當塗之人乘五非子孤憤篇『法術之士操五不勝之勢以歲數而猶不得見從顧實講作「又」,茲 勝

得進用人主奚時得論裁』

叉: 『今人主不合參驗而行誅不待見功而授爵故法術之士安能豪死亡而進其說姦邪之臣安肯

乘 利 而 退身』人主篇作『則法術之士安能豪死亡之危而進說乎?

說林篇 下『荆王伐吳吳使沮衞魘融犒於荆師荊將軍曰「縛之殺以釁鼓」問之曰「汝來卜乎」

答曰「卜」卜吉乎曰「吉」 荆 人曰「今荆將欲汝釁鼓其何也? 一 就詳「出」字錄·答曰「是故

其所以爲吉也』

商君書畫策篇『內行刀鋸外用甲兵故時變也』

史記呂后紀『且立長故順』長則順』・文義同此・史記呂后紀『且立長故順』長則順』・文義同此・

字或作「固」

賈子數寧篇『夫日天下安且治者非至恐無知問諛者耳』則認也。文例同此

說苑雜言篇: 使舜居桀紂之世能 自免刑戮固可也又何官得治乎』韓詩外傳七作『能自免於

刑戮之中則爲善矣』

又『依賢固不困依富固不窮』:

春 秋繁盛 "玉英篇 『春秋之於所賢也固順其志而一其辭章其義而

古書端字集釋 卷五 一故 周 顧 姑

姑

=

竹林篇『春秋之道固有常有變』

, 从 篇一 者利之道區有常有變 』

莊子庚桑楚篇『 孟子梁惠王篇『百姓皆以王爲 越雞不能伏鵠卵魯雞固能矣雞之與雞其德非不同也有能看不能者其才固有 发 也, 臣固知王之不忍也」

巨小也。

史記商君傳『此一物不具君也不出』

東越 傳: 今殺 王以謝 天子, 天子 聽,罷 兵, 固。 國完完不 · 聽乃力戰 。

說苑政理篇『任力者固勞任人者固佚』。。

淮南子說林篇『有爲則議多事固苛』

莊子達生篇 一不離不勞則不求文以待形不求文以待形固不待物。

大戴 禮曾子 ,制言篇『· 仁之見殺智之見逐固 不難; 詘 身而 爲 不仁宛言而爲不義則君子 弗為 也。

此上三例皆「固」與「則」爲互文。

字叉或作「顧」

史記陳丞相世家『誠臣計畫有可采者風大王用之』

伍子胥傳『若旣得立欲分吳國予我我顧不敢望也』:

字叉或作「姑」

逸周書周 |祝篇『故惡姑幽惡妬明惡姑陰陽惡姑短長惡姑柔剛』| 作「剛柔」・茲從讀書雜志說乙轉・「惡姑」皆即「何則」・「柔剛」各誤倒

惟今之謀人姑將以爲親』 「粉」頭は「火」・

耳互・文

新序雜事篇『故秦皇帝任中庶子蒙嘉之言[是以]: 以信荆軻之說故匕首竊發』史記鄒陽傳

作『而匕首竊發』

節士篇: 『致使於晉故反則徐君死於楚於是脫劍致之嗣君**』**

左. 傳襲 九年: _ 然故不可誣也是以雖隨无咎』無所誣・是以雖隨无咎也・經傳釋詞謂。 「故」爲本然之調・失・「無所」也・言此而

Ż.

古書席字集釋卷五 故 問 顧 姑

三四四

韓詩外傳七『夫蘭茂生於茂林之中深山之間不以人莫見之故不芬』 玉本:

詩載騙篇序『戴驅齊人刺襄公也無禮義故盛其車服禮義故爲句‧失之‧詩載騙篇序『戴驅齊人刺襄公也無禮義故盛其車服禮義故爲句‧陳奐斷「無 疾驅於通道大都與文

姜淫播其惡於萬民焉。

荀子哀公篇『孔子 對日所謂君子者言忠信而心不德仁義在身而色不伐思慮明通而辭不爭故:

猶然如將可及者君子也』所建之親』·
。 楊注曰:「雖然·

韓非子二柄篇『放越王好勇而民多輕死「是以」・「楚靈王好細腰而國多餓人齊桓公妬而好內;」。此「故」字訓 放豎刁自宮以治內好味易牙蒸其子首而進之二字·茲從顧廣圻校劃· 燕子噲好賢故子之明不® 受國」為正文・

故」循「以」也「故」、五見以字條、

淮南子泰族篇『乃澄列金木水火土之性故立父子之親而成室家別五音清濁六律相生之數與 從讀書雜志說改,以立君臣之義而成國』爲互文,文子上禮篇「故立」作「以立」倒作「清濁五音」,茲

史記五帝紀贇『余幷論次擇其言尤雅者故著爲本紀書首』

字或作「顧

呂氏春秋必己篇『孟賁過於河先其五[伍]·船人怒而以楫虓其頭顧不知其孟賁也』

未之 尤詞・

按 以。 「故」與「以」同義故通用荀子宥坐篇『是故君子見大水必觀焉』說苑雜言篇 議兵篇 7 是故 刑罰 省而威流。 韓詩 外傳「 **故**|作「以」 皆其 例 也。 故

作

故

韓 韓非子姦劫弑臣篇『近之所見外傳作『近世所見』・李兌之用趙也餓主父百日而死卓齒之用齊也,一猶「夫」也[矣]・「夫」添訓(故]・互見[夫]字條・提|不之詞也

未至餓死擢筋也故劫殺死亡之若此其心之憂懼形之苦痛也必甚於厲矣」楚策四韓詩外傳未至餓死擢筋也故劫殺死亡之若此其心之憂懼形之苦痛也必甚於厲矣」。

擢閔王之筋懸之廟梁宿昔而死故厲雖癰腫疕瘍上比於春秋未至於絞頸射殺也下比於近世,

故 皆作 · 一夫。

呂氏 春 秋 權 助篇: 「故緊穀陽之進酒 也, 說苑敬愼篇「仏」 作 夫。

戰國 策魏策二『 今夫 楊橫 樹 2 则生, 倒樹之則生折而樹之又生然使十人樹楊, 一人拔之則無生

古書虛字集釋 卷五 故 固 顧 姑

三一大

楊矣故以十人之衆樹易生之物然而不勝一人者何也樹之難而去之易也』韓非子說林篇。◎

『夫以十人之衆』本・

老子二十九章『故物或行或隨或歔或吹或强或羸或載或墮是以聖人去甚去奢去泰』景龍本,

敦煌本「故」皆作「夫」

三十八章: 『故失道而後德失德而後仁……是以大丈夫處其厚不居其薄』。 景福本 「故」作

「 夫。 」

按此 上二例作「故」 者爲老子原文作「夫」者是後人據文義而改。

三十九章『故貴以賤爲本高以下爲基是以侯王自謂孤寡不穀。

五十六章『故不可得而親不可得而疏不可得而利不可得而害不可得而貴不可得而賤故爲天

下貴』相傷・故德交歸焉」・文法同此・

墨子節用篇上『以益衣裳宮室甲盾五兵舟車之數於數倍乎若則不難」此」也,故孰爲難倍唯人

爲難倍」

史記 |龜策傳『由是觀之豈不偉哉故龜可不敬數』

賈子修政語篇上7大禹之治天下也諸侯萬人而禹一皆知其體故大禹豊能一見而知之也「夬」

世能 一聞而識之也諸侯朝會而禹親報之故是以禹一皆知其國也其士月朝而禹親見之,

故 是以禹一皆知其體也』為申事之詞・

莊子山木篇『故朝夕賦飲而毫毛不挫而況有大塗者乎』即尚]:

讓王篇『夫天下至重也而不以害其生又況他物乎……故天下大器也而不以易生此有道者之:

所以異乎俗者也」亦「夫」也·互文耳·

故」循「老」也成立 若為無部學

爲「若或」之義

戰國策趙策一『虎將即禽禽不知虎之卽己也而相關也: 就 兩罷而歸其死於虎故使禽知虎之

即己決不相關矣』獨写「向使」・

文選解嘲『故有造薊 「何之律於唐處之世則性矣」

古善虚字集釋 卷五 故 固 顧 姑

三一八

呂氏 春 秋制樂篇『文王曰「不可夫天之見妖也以罰有罪也我必有罪故天以此罰我也「是以」.

今故與事動衆以增國城是重吾罪也不可』

淮 南子說山篇: 『寇難至躄者告盲者盲者負而走兩人皆活得其所能也故使盲者語使躄者走失

其所也」

賈子連語篇『故材性乃上主也賢人必合而不肖人必離國家必治無可憂者也若材性下主也邪

人必合賢正必遠坐而須亡耳又不可勝憂矣』

修 政語篇上『故使味食然後食者其得味也多若使人味言然後聞言者其聞言也少』

此上二例皆「故」與「若」爲互文。

字或作「固」

莊子田子方篇『公園以爲不然何不號於國中曰「无此道而爲此服者其道死」**」**

字叉或作「姑_

左傳昭十年『瀘利生孽姑使無瀘乎「也而義可以滋長」

爲一若似」之義

新序雜事篇二『鴻鵠術其小者也蔡侯之事故是也』已』、「因」、「殆」也、亦「似」也、(因訓循、誤詳經新序雜事篇):

調傳) 釋

呂氏春秋貴公篇『孔子聞之日一去其荆而可矣」老聃聞之曰「去其人而可矣」故之聃則至

公矣。

字通作「姑」 爲一及」字之義:

爲

國語晉語『與其君臣不相聽以爲諸侯笑也盡姑以違蠻夷爲恥乎』「何若」,亦即「何及」,國語晉語『與其君臣不相聽以爲諸侯笑也盡姑以違蠻夷爲恥乎』「盡,「何」也,「盡姑」即

一者夫」之義子同義。「至

荀子富國篇『故先王聖人爲之不然』

韓非子二柄篇『故世之姦臣則不然』

又『故古人爲之不然』羊傳桓二年:『至乎地之與人則不然』,文例皆與此同:: 〇 按莊于山木篇:『若夫萬物之情,人倫之傳,則不然』,

古書處字集釋 卷五 故 固 顧 姑

三一九

公

姑

莊子逍遙遊篇『故夫. 知效一官

天運篇『故夫 三皇五帝之禮樂法度』

「故夫」皆卽「若夫」語助:亦皆卽「至乎」

故一循「使」也是故事有「使」義・

大戴禮保傅篇『及秦不然其俗固非貴辭讓也所尙者告得也固非貴禮義也所尙者刑罰也故趙。。

孟子萬章篇『欲常常而見之故源源而來。

高傅胡亥而發之獄』漢書賈誼傳「故」作「使」

故」猶「皆」也質之轉之時

史記周本紀『襃姒不好笑幽王欲其笑萬方故不笑』

淮南子齊俗篇『今之裘與裴孰急『夫』也·見雨則裘不用升堂則義不御此代爲帝者也譬若舟車

精 肆窮。廬 廬・讀書雜志云・『肆當作駯・乃鳥切』・ 故有所宜也』 「相肆躬廬 廬」・讀書雜志云・『肆當作駯・乃鳥切』・故有所宜也』

字或作「固」

左傳傳二十三年『晉鄭同儕其過子弟固將禮焉』當也、況天之所啟乎』

買子匈奴篇『婦人先後扶持之者固十餘人』

韓非子姦劫弑臣篇『 愚者固欲治而惡其所以治皆惡危而喜其所以危」

故一猶一亦一也一故,亦為無部陸與字一、故訓亦」。

韓詩外傳五『 瓦用之者如彼小用之者故如此也』

論衡率性篇『論人之性定有善有惡其善者固自善矣其惡者故。 可發告率勉使之爲善。

文選文賦『是蓋輪扁所不得言故非華說之所能精。 能精』「故」字乃後人所増、說詳讀書雜志・ 臣本李馨本六臣本並作『亦非華說之所據五

故一猶一雖」也。

故, 易豫彖傳『豫順以 一發端之詞也。 (動故天地如之而況建侯行師乎) 之、況其選《乎』、文例與此同、「則」亦「雖」也、緊辭傳、『君子皆其室・出其言養・則千里之外應

古書處字集釋 卷五 故 固 顧 姑

禮記曲禮篇『故君子式黃髮,

明此衆稿雜辭也」·鄭注云·『發句言故

故猶但也轉語之詞也但,故或兩個一個, 禮運篇『故學人參於天地……故人者其天地之德, ·放禮義也者人之大端也」 疏標写三節・北上三句・孔

禮記權弓篇『故喪事雖遠不陵節』

固 故 顧 姑

固, 一本然之詞 中心の制見極傳

禮記哀公問篇『固民是盡』嗣明:

大戴禮保傅篇『及秦不然其俗固非貴辭讓也所尙者告得也固非貴禮義也所尙者刑罰也』

左傳昭二年『固日汝無敢爲賓,

定元年『踐土 固。然。

字或作「故

荀子性惡篇『凡禮義者是生於聖人之僞[爲]也·非故生於人之性也』獨本也: 故

晏子春秋雜篇『晏子避席而對曰「乃此則老且惡[雖]也 嬰與之居故矣馴[久] 故及其少且姣晏子春秋雜篇:

也

固」猶「其」也望之詞·

公羊傳襄二十七年『子固爲我與之約矣』

「固」猶「必」也

呂氏春秋任數篇『其說固不行』必也:「固

字或作「故」

戰國策秦策『吳不亡越越故亡吳**』**

此上三例並見經傳釋詞引。

淮南子說山篇『是而行之故謂之斷治也」· 非而行之必謂之亂」爲正文· 此南子說山篇『是而行之故謂之斷治也」· 非而行之必謂之亂」爲故與[必]

古香蜜字集科 卷五 固 故 顧 姑

字又或作「顧:

大戴禮禮察篇『爾豊顧不用哉? 制程の標準

書微子篇『我不顧行遯』

固」「久」也太子為非固相也。・高注・

孟子梁惠王篇『天下固畏齊之彊也』

字 或作「故」

晏子春秋雜篇『 晏子避席而對曰「 乃此則老且惡「雖」也·嬰與之居故矣」

固」「當」也。

孟子萬章篇『君之於氓也固周之』「園當」二 「字・「當」字即釋「固」字・『固當周其窮乏』・按趙氏疊

荀子解蔽篇『故學也者固學止之也』

禮論篇『故學 者固學爲聖人也」

莊子德充符篇『先生之門固有執政焉如此哉』其不當有也·經正子德充符篇『先生之門固有執政焉如此哉』其不當有也·經三 | 傳釋調訓 「如」為「於」・失之・ 似也・言當有執政而似此乎・謂

字或作「故」

史記刺客傳『今日之事臣固伏誅』趙策作『臣故伏誅』訓篇』· 史記刺客傳『今日之事臣固伏誅』趙策作『臣故伏誅』訓篇』·

墨子尚賢篇下『且今天下之王公大人士君子中質將欲爲仁義「願」也,求爲上士上欲中盛王之

道下欲中國家百姓之利放尙賢之為說而不可不察此者也」有「是」字·非是·

固」循「乃」也^{翻見整傳}

孟子萬章篇『仁人固如是乎』

字或作「顧」

戰 國策趙策『雖强大不能得之於小弱而小弱顧能得之於强大乎]

字叉或作「故」

出生的,是以至為已知之矣王故尚未之知邪一呂氏春秋審己篇『臣以王為已知之矣王故尚未之知邪一

此上三例並見經傳釋詞引。

· 古書贈字集釋 卷五 · 固 故 顧 姑史記晉 世 家 『 三賞之 後故 且及子 』

字叉或作「姑」

戰國策齊策四『三窟已就君姑高枕爲樂矣』。

[顧 固 故]

顧」循「但」也^{翻見程傳}

爲轉語之詞:

禮記祭統篇『是故上有大澤則惠必及下顧上先下後耳』

戰國策燕策『吾每念常痛於骨髓顧計不知所出耳』。

此上二例並見經傳釋詞引。

一爲「徒」字之義

論衡譴告篇『顧可言政治失時氣物爲災乃言天爲異以譴告之不改爲災以誅伐之乎』「寧」 「乃」

也也

字或作一固一

史記秦始皇紀『

趙高說二世曰一天子稱朕固聞擊一』志於校定·李斯傳作『天子所以貴者俱,

以聞聲。

顧」「反」也或外」·高注·

戰國策燕策『子之南面行王事而噲老不聽政顧爲臣』詞引:

賈子階級篇『此之不爲而顧彼之行。

顧」猶「豈」 一也 一世 動見助字

漢書季布傳『 且僕與足下俱楚人使游揚足下名於天下顧不美乎』

史記刺客傳『近幸子乃為所欲顧不易邪?

字或作一故:

墨子尚賢篇下『今王公大人骨肉之親無故富貴面目美好者「無故」同義・謂無病災也・故必智哉」

古書虚字集釋 卷五 顒 固 故

顧

戰 國策齊策四: 術無形篇『世稱高宗之徒不言其身形變異而徒言其增延年壽故有信矣』同義· 『奏』與「乎」 『故有問舍本』 而 問 末者邪?

字叉或作「固」

論

戰國策燕策二『生之物固有不死者乎』

史記陳丞相世家『人固有美好如陳平而長貧賤者乎

張釋之傳『令他馬固不敗傷我乎:

(姑 固 顧

姑」「且」也。

字或作「固」

列子說符篇『聖人之言先忤後合其事未究姑復問之』淮南子人間篇作『固試往復問之』閩·

且 出 前

左傳襄二十七年『且諸侯盟小國固必有尸盟者楚爲晉細「使」也・不亦可乎」

風俗通義窮通篇『夫魏齊者勝之交也勝: 在固不出況今又不在臣所乎』

列子力命篇『汝奚辱北宫文子之深乎固且言之』也·獨今人實「姑且」耳·列子力命篇『汝奚辱北宫文子之深乎固且言之』也·獨今人實「姑且」耳,「因」,「且」

漢書衞靑傳『上曰「我非忘睹校功也今固且圖之」」

字叉或作「顧」

史記張儀傳『若善守汝國我顧且盜而城』之。 固且 同·

五帝紀贊『予觀春秋國語其發明五帝德帝繫姓章矣顧弟弗深考 弟』是復語:顧: 其所表見皆不

虚。

(各)

古書扇字集釋 卷五 姑 固 顋 各

二二九

「各」異詞也就

論語公冶篇『盍各言爾志』

「各」循「皆」也音·「故」則「皆」·故「各」亦則皆」·

曹盤庚篇『各非敢遠卜』曾不敢遠卜也:

韓詩外傳四『然其持之各有故言之皆成理』

此上二例「各一與「皆」爲互文。

致

敢一進取也號

孟子萬章篇『蓋不敢不飽也] 総之日 敢一

春秋繁露陽尊陰卑篇『諸在上者皆爲其下陽諸在下者各爲其上陰」「凡」。

敢二 冒昧之辭也感敢問』 敢一冒昧之辭也者·告以卑解尊·不自明之意」·

敢」猶一能」也一敢一五旦能字條, 戰國策魏策一『楚雖有富大之名其實空虛其卒雖衆多言而輕走易北不敢堅戰』說詳「言」字條

史記張儀傳「 敢」作「能」

史記項羽紀『沛公不先破關中公豈敢入乎』漢書高帝紀作『公互能入乎史記項羽紀』

<u>_</u>

同巨

豊奥 一 世 ・ ・

淮南子原道篇『 以其無爭於萬物也故莫敢與之爭』「能」・是擬老子而改・ 老子作『夫唯不爭故

天下莫能與之爭し

老子三章『常使民無知無欲使夫知者不敢為也為無為則無不治』 •

左傳宣三年『妾不才幸而有子將不信敢徵蘭乎』、見淮南于池論為乃始信於異衆也』尚注)・左傳宣三年『妾不才幸而有子將不信敢徵蘭乎』、見淮南于池論為乃始信於異衆也』尚注)・「知」也

說苑雜言篇『 孔子觀於呂梁懸水四十仞環流九十里魚鼈不能過電體不敢居有一丈夫方將設

之。 「敢」與「能」

古書虛字集釋 卷五 敢

三三三

又『魚鼈不敢過黿體不敢居』列子說符篇「不敢」皆作「弗能」:

【假暇】

假」設詞也。

荀子正名篇『假之有人欲南而惡北』「者」也:

假」猶「但」也數」「事」即假」字·

莊子德充符篇『奚假魯國邱將引天下而與從之』但也J· 「學

字或作「暇」

韓詩外傳十『吾則死矣奚暇老哉』

假

名暇」・春秋一根」作「固」・「衆共公

竞

「竟」猶「終」

禮記儒行篇『起居竟信其志』按「信」與「伸」同・ 也。

竟」猶「果」也「栗」亦則竟」,互見「果」字條,

論衡質知篇『魯僖公二十九年介葛盧來朝舍于昌衍之上聞牛鳴曰「是牛生三犧皆已用矣」 或問何以知之曰「其音云」人問牛主竟如其言』其實也,或問何以知之曰「其音云」人問牛主竟如其言』其實也,

叉:

指瑞篇『賈誼為長沙太傅服鳥集舍發書占之云「服鳥入室主人當去」其後賈誼竟去」指瑞篇『賈誼為長沙太傅服鳥集舍發書占之云「服鳥入室主人當去」其後賈誼竟去」 韓信葬其母亦行營高敞地令其旁可置禹家其後竟有萬家處其墓旁』

又『其後數月越地有降者匈奴名主亦將數千人來降竟如終軍之言:

一成字集釋 卷五 ŢŢ,

竟」循「逐」也同意思即

史記淮陰侯傳『信亦知其意怒竟絕去』風俗通義窮通篇作『遂絕去』

武安侯傳『武安侯病使巫視鬼者視之見魏其灌夫共守欲殺之竟死』論衡死僞篇作『遂至死』

始皇紀『項羽爲西楚霸王主命分天下王諸侯秦竟滅矣。

信陵君傳『公子竟留趙』

又『公子自知再以毀廢乃謝病不朝與蜜客爲長夜飲飲醇酒多近婦女日夜爲樂飲者四歲竟病:

酒而 卒。

儒 |林傳『陳涉起匹夫騙瓦合適戍旬月以王楚不滿半歲竟滅亡其事至微淺。

袁盎傳: 淮南王 一爲人 《剛如有遇霧露行道死陛下竟爲以天下之大弗能容有殺弟之名柰何,

靡頗藺相如傳『趙王亦以括母先言竟不誅也』

竟 循

史記淮陰侯傳『諸將效首虜休畢賀因問信曰「兵法右倍山陵前左水澤今者將軍令臣等反背

「お」也作御」民之之同也尊、故古人意覚・爽今人意知。同義・

仲 :尼弟子傳『弟子問曰「夫子何以知之」夫子曰「詩不云乎一月離于畢俾滂沱矣」昨暮月水陣曰「破趙會食」臣等不服然竟以勝此何術也」」

不宿畢乎他日月宿畢竟不雨。

陳丞 相世家『及呂后時事多故矣然平竟自脫定宗廟以榮名終稱賢相』

陳涉世家 陳涉雖 已死, 其所置 侯王. 將相竟亡秦 』

趙世家『 及索兒竟無聲』

伯夷傅了 盗跖日殺不辜肝人之肉暴戾恣睢聚黨數千人橫行天下竟以壽終」。

既

既一「己」也。

爲 「業已」之義:

古書虛字集釋

卷五

覍

旣

論語季氏篇『旣來之則安之**」**

一爲「太」字之義

荀子子道篇『今汝衣服旣盛顏色充盈』說苑雜言篇作『衣服甚盛』奧[甚]]義:

詩皇矣篇『天立厥配受命旣固』

「既」「盡」也。

老子八十一章『既以爲人己愈有』戰國策魏策引「旣」作「 盡。

一既一循一其一也[既]「其」亦訓[既]、互見其字條·

一爲.「將然之詞」

書西伯戡黎篇『天旣訖我殷命』也・說見掌經平議・

一爲指事之詞

詩大東篇『佻佻公子行彼周行既往既來使我心疚』 「既」訓集」・

春秋繁露山川頭篇『水川源泉混混沄云畫夜不竭既似力者盈科後行既似持平者循微赴下不事秋繁露山川頭篇『水川源泉混混沄云畫夜不竭既似力者盈科後行既似持平者循微赴下不

遺小閒旣似察者循谿谷不迷或奏萬里而必至旣似智者障防山而能清淨旣似知命者不清而遺小閒旣似察者循谿谷不迷或奏萬里而必至旣似智者障防山而能清淨旣似知命者不清而

得之而生失之而死既似有德者。 」說苑雜言篇, 旣 皆作「

孟子萬章篇『湯三使往聘之旣而 幡然改曰: 』『既而曰』之「既而」不問義・彼「既而」循言「已而」或「俄而」・「既」訓,其一・指伊尹賈・「而」・一乃」也・按此與論語鑑;舒 其。

「旣」猶「而」 一 也。

楚辭九章『羌中道而回畔兮反旣有此他志』

詩長發篇『率履不越遂視既發』因視而行也

易說卦傳『 故水火相遠雷風不相悖山澤通氣然後能變化旣成萬物也。

旣 循 若 也。作「若或」

左傳僖十五年『獲晉 侯以厚歸也旣而喪歸「若以」・焉用之』「今」亦「若」也・

書 |洪範篇| **滅月日時旣易**

左傳定十年『饗而旣具是寒禮也若其不具用秕稗也』為互文·

古書虚字集學 卷五

旣

國

語 楚語! 地有高下天有晦明民有君臣「人」也·國有都鄙古之制也先王懼其不 小帥從也二· 二

故 制 之以 義施之以服行之以禮辯之以名書之以文道之以言旣其失也易物之, ,。○ 。○ 曲。

史記高祖紀『已而呂后問曰「陛下百歲後蕭相國旣死令誰代之」』國即死」:「即」亦「者」也・英書作「蕭伯

[死] 猶「卽」也[既]即」·「即」字條·

墨子號分篇『當途材木「枚」,茲從讀書雜志校改,不能盡內「納」,旣燒之』 我王來既爱宅于茲「乃」也・重我民「動」同・無盡劉。」「劉」・「殺」也・我王來既爱宅于茲「乃」也・重我民「動」同・無盡劉。」「無」・「非」也・

書盤庚篇『

旣

書 康誥篇『人有小罪非害乃惟終]凶」也・自作不典式爾有厥罪小乃不可不殺則雖」・乃有大罪,

非終乃惟告災適爾「如此」、既道極厥辜時乃不可穀」說詳道」字條非終乃惟告災適爾「如此」、既道極厥辜時乃不可穀」說詳道上極」也 『番母見一旅力旣愆我尚有之』「愛」也・「好」也・「有」・

周 禮 考工 記駒人一个夫大車之墩擊其登又難「爲」也· 既克其登其覆車 也必易。

果」誠「也」。

孟子雕婁篇『果有以異於人乎』 禮記中庸篇『果能此道矣』爲假設之說:

左傳僖二十八年『晉侯在外十九年矣而果得晉國』「果」。猶一一竟」也思言為注。 「終」也

戦國策秦策三『故文王果收功於呂尚』「逸」亦「終」也· 。 史記范睢傳、果」作「途」•

公容 調

古書處字集釋 卷五 果公容 訟誦

三三九

諺

「公」「共」也。

荀子解蔽篇『此心術之公息也』共也。

字或作「容」

淮南子主術篇『萬民之所容見也』

字义或作「訟」

兵略篇『夫有形埒者天下訟見之』

公」「明」也猶言「公然」也。

左傳襄二十七年『而公怨之』

字或作「訟」又或作「誦

史記呂后紀『太尉尚恐不勝諸呂未敢訟言誅之』『監循公也』・東隱云・『公言循明首也」・史記呂后紀『太尉尚恐不勝諸呂未敢訟言誅之』「監循公也」・東隱云・『公言循明首也」・又引章昭日・

后紀「訟」作「誦」

三宮〇

教」循「使」也。

管子任法篇『夫非主命而行有功利因賞之「而」也,是教妄舉也遵主命而行之有傷敗而罰之是 韓非子解老篇『可欲之類進則教良民爲姦退則合善人有禍』「使」也・

使民庫利而離法也」為五文・

蓋

蓋」大略之詞也。

孝經「蓋天子之孝也」釋詞:

古書處字集釋 卷五

敎 鲞

三四

一
循 一也 有定之詞· 是疑而

禮記檀弓篇『有子蓋旣祥而絲! 層組製」

蓋 一猶一或」也可是

論語里仁篇 写 蓋有之矣我未之見也!

蓝 **」猶「乃」** 也。 訓見助字

韓詩外傳九『婦人日非傷亡簪也蓋不忘故也』

蓋」循 一則一也。

史記歷書『 蓋聞昔者黃帝發聲助詞·合而不死名察度驗定清濁起五部建氣物分數然蓋。

漢書律歷志作『 然則尚 矣。 صا

論 衡譴 告篇: --- 楚非 上好獵樊姬爲之不食鳥獸之肉秦繆公好淫樂華陽后爲之不聽鄭衞之昏二

姬非兩主拂其欲而不順其行皇天非賞罰而順其操而渥其氣此蓋皇天之德不若婦人賢也』。

二賢審也』、文例同此、上文『此則皇天用意、不若

三四二

自然篇『譴告之言衰亂之語也而謂之上天爲之斯蓋所以疑也』

禮記榱弓篇『昔者夫子失魯司寇將之荆蓋先之以子夏又申之以冉有』

又『喪服兄弟之子猶子也蓋引而近之也嫂叔之無服也蓋推而遠之也姑姊妹之薄也蓋有受我:

而厚之者也。

韓詩外傳七『士有足而不至者蓋主君無好士之意耳無患乎無士也』

列女傳晉弓工妄傳『此蓋射之道也』

戰國策趙策『蘇秦為趙上使於秦反三日不得見謂趙王曰「秦乃者過柱山有兩木焉一蓋呼侶,

一 蒸哭 」 』 「發者」 ・

又「一蓋曰「此非吾所苦也」」:

蓋一語助也。

為發聲助:

漢書高帝紀『 **盖開王者莫高於周文**』

古書席字集釋 卷五 着

登十

新序雜事篇『公召郄虎曰「衰言所以勝鄴趙衰·恣勝將賞之曰「蓋聞之子」子當賞」。。

爲句中助:

漢書禮樂志郊祀歌『神夕奄虞蓋孔享』此與見經傳釋調引,

詩正月篇『謂山蓋卑爲岡爲陵……謂天蓋高不敢不局謂地蓋厚不敢不蹐』

全

「今」是時也號

論語先進篇**『今**也則亡』

「今」「此」也。

詩載芟篇『匪今斯今』字訓『此一言不但今時有此事也・「一个」

國語周語『王問於內史過曰「今是何神也」」

三四四

晉語『今君之所聞也』

韓詩外傳二『今何吾子之情也』之情也』、「是」亦「此」也、韓詩外傳二『今何吾子之情也』之情也是「是一天年作是何子

此 上二例經傳釋詞訓「今一爲「是」「是」亦「

呂上春秋知分篇『崔杼不說直兵造胸句兵鉤質謂晏子曰「子變子言則齊國吾與子共之子不 此 也。

史記日者傳『觀大夫類有道術者今何言之陋也何辭之野也』

左傳襄二十九年『今是長亂之道也』

韓非子難一篇『夫人情莫不愛其子今弗愛其子指易牙」首:安能愛君?

「今」猶「卽」也opple 書召誥篇『其丕能誠于小民今休

叉『王厥有 成命治民今休』「若」也・

春氏春秋驕恣篇 『齊宜王為大室三年而未能成春居諫王王曰: ----寡人請令止之」

古書虛字集釋 卷五

三四 Ħ.

此上三例並見經傳釋詞引。

漢書王尊傳「所捕宜今發史」是師古正訓 今」為

「今」猶「故」也雅肆故今也條·

書甘書篇『天用駒絕其命·今予惟共行天之影』。

湯誓篇「夏德若茲今脫必往」

此上二例並說見經義述聞 爾雅。

大誥篇『般小腆誕敢紀其叙天降威知我國有班民不康日一予復」之話: 曹子恢復舊樂也•

反

骪 我周邦今蠢」動也:

墨子非命篇『今故先生對之日』「是故」為復語:「是」亦「故」耳墨子非命篇。

「今」猶「將」也。

史記鄭世家『於是楚登解揚樓車令呼宋遂負楚約而致其晉君命曰「晉方悉國兵以救宋宋雖一?;

急慎毋降楚晉兵令至矣』左傳宜十五年作『晉師悉起將至矣。

三四六

戰國策秦策『臣今見王獨立於廟朝矣。

燕策「天下必以王為能市馬馬今至矣」

史記項羽紀『奪項王天下者必沛公也吾屬今為之廣矣』屬皆且為所廣」·文例同此·「且」亦「粉」也·君記項羽紀『奪項王天下者必沛公也吾屬今為之廣矣』屬皆且為所廣」·文例同此·言吾屬將為所傳也·上文"者 此 H 四例經傳釋詞並訓「今」爲「卽」失之。

叉: 若不趣降漢漢今廣若」「汝」·

高祖紀『諸侯並起个屠沛』

呂后紀『若爲將而棄軍呂氏今無處矣』

伍子胥傳『吾數諫王王不用吾今見吳之亡矣』

淮南衡山傳『大王不從臣之計今見大王事必不成而語先泄也』

吳王海傳『不足憂也今破矣』

漢書資田灌韓傳「 君侯能兼容則幸久不能今以毀去矣」

「今」循「若」也點類

古書虛字集釋

卷丘

三四七

三四四

爲「若或」之義

管子法法篇『今以誣能之臣事私國之君而能濟功名者古今無之』不訓者」: 醴記會子問篇『今慕遠則其葬也如之何』

此上二例並見經傳釋詞引。

論衡感虛篇『湯之致旱以過乎是不與天地同德也今不以過致旱乎自責禱謝亦無益也』 韓非子五蠹篇『今有構木鑽燧於夏后氏之世者必為縣禹笑矣』

孟子梁惠王篇『今王鼓樂於此 ····今王田獵於此』見·
爾

又『今王與百姓同樂則王矣』

告子篇『今日舉百鈞』是一也,則爲有力人矣。

禮記曲禮篇『今人而無禮雖能言不亦禽獸之心乎』

爲「若似」之義

書大誥篇「今翼日民獻有十夫「賢」也,民賢有十夫,謂武王以凱臣十人也,予選以于《文選參賦,「駢馳書大誥篇「今翼日民獻有十夫「異」讀為「異」,「異日」猶書「義日」,「獻」,「漢」,「漢」,「疾速」也,

統一「子」・「往」也・牧事、武圖・功」で「文武」・「圖功」・「大功」也・真渠」・注日・『冥』・疾

「今」猶「夫」也提示之詞也。

商君曹弱民篇『今雕婁見秋毫之末不能以明目易人鳥獲舉千鈞之重不能以多力易人』錯法

篇作『夫離朱見秋毫百步之外而不能以明目易人』離宴·

大戴禮哀公問五義篇『哀公曰「然則今夫章甫句歷而縉笏者此皆賢乎」』荀子哀公篇一大戴禮哀公問五義篇『哀公曰「然則今夫章甫句歷而縉笏者此皆賢乎」』荀子哀公篇一

然

則今夫」作「然則夫」也・凡言「今夫」者做此・

禮記中庸篇『今夫天』

「今」猶「乃」也。

韓非子忠孝寫『夫所謂明君者館畜其臣者也所謂賢臣者能明法辟治官職以戴其君者也今堯韓非子忠孝寫。

白以 \$明而不能以畜**舜舜自以爲賢而不能以戴堯湯武自以爲義而弑其君長此明君且常**與,

而賢臣且常取也』「且」「當」也・

墨子非攻篙下『今逐夫好攻伐之君又飾其說以非子墨子曰』也・(說見途字錄)「夫」・「彼」也・曾乃墨子非攻篙下『今』・「乃」也・「選」與「途」同・語助

三四九

古书虚字集釋

卷五

4

兼愛篇下『今若夫 銀相愛交相利此自先聖六王者親行之」飾其說以非子墨子曰」:「則夫」亦「乃彼」也・彼好攻伐之君也・下文「則夫好攻伐之君・又

皋

一皋」發語之長聲也。

儀禮士 喪禮『皋某復』釋詞·

共

「共」「同」也。

孟子滕文篇『學則三代共之』

三五〇

字或作「降」

左傳表二十六年 六卿三族降聽政』平二、

見

「見」猶「受」也。

史記楚世家『先絕齊而後責地則必見欺於張儀見欺於張儀則王必怨之」戰國策楚策二一 中國記述世家。

見

孟子盡心篇『盆成括見殺』殺也』,按「被」亦「受」也, **欺**」皆作「受欺」

韓非子說難篇『厚者爲戮輕者見疑』「受也・

史記齊世家『代君死而見戮,

按「見」之義爲「受」古人施受同 **L** nul ,

古書旗字集釋 卷五 見

故爲受事之詞者或加「見」字,

施受同詞例・其說甚詳・楊樹達古書疑義舉例續補有

五五一

先王 亦 或不 謀臣今不用常快快願王早圖之』史記伍子胥傳「今不用」作「今不見用」賈子胎教寫: 加 見 | 字「見」字者為常例・ 如說苑正諫篇一 太宰嚭旣與子胥有隙因讒曰……「自以

『文公以晉伯而厲公以見殺於匠麗之宮威王以齊强於天下而簡公以殺於檀臺』

劉國義·

皆其證也公羊傳莊二十八年『春秋伐者爲客伐者爲主』何注云『伐人者爲客讀伐長言之齊

人語也見伐者爲主讀伐短言之齊人語也』據何氏說知「伐者爲主」卽「見伐者爲主」不言

魔武· 左傳昭十年『君伐焉歸』「君伐」卽「君見伐」孟子及孫丑篇『蚳竈諫於王而不用』語·為係 「見」字者以古人施受同群之故也 古書之通例,何氏謂一伐」字之讀法,有長書短音之分,又謂之爲齊人。「兌者爲客」之「伐」,是施嗣,「伐者爲主」之「伐」是受觸,施受同詞,乃

「不用」卽「不見用」此皆省「見」字之例也。

見一猶一遇」也是見一点過一見也

墨子七患篇『故國雕寇敵則傷民見凶饑川亡』「遭」也・

居

居」猶「為」也認為

史記祭世家『旦答輔祭武王用事居多』引・

「居」循一其」也(此見下條·故「居」讀如字·亦可訓 [三之切] [[其]· 法言問明篇『吞珍莊也居難爲也』雖能也,文例同,

一爲指事之詞:

詩十月之交篇『擇有車馬「於」也・以居徂向』與「彼」同義・須・月之一。 此「居」字訓・

易繫解傳『噫亦要存亡吉凶「押」・則居可知矣』與此同義・ 此上二例經傳釋詞並訓「居」爲語助失之。

爲「乃」字之義

詩生民篇『上帝居歌』也·經傳釋調訓 居」爲語助·亦失之· 明令『上帝其饗』·文義同此·「其」即「乃」

爲「則」字之義:

戰國策齊策二『公以是爲名居足矣』

古書匯字集聯 卷五 居

一爲「而」字之義

禮記郊特性篇『以鍾火之以和居參之也』

【其歸居期】

「其」猶「哉」也能與第二

曹微子篇『若之何其』之何哉。文義同: [1] 左傳襄二十九年:

詩園有桃篇『子曰何其』

庭燎篇『夜如何其』

韓非子制分篇『是何其法通乎人情關乎治理也』

字或作「期」

詩頭弁篇「實維何期」

三五四

字叉或作「居」

禮記檢弓篇『何居我未之前聞也』如姬姓之姬!:

左傳襄二十三年『誰居其孟椒乎』

詩柏舟篇『日居月諸』月平・ 莊子齊物論篇: 何居乎』乎』)・将傳釋問謂「乎」字為府文・失之・何居乎」「居乎」即「哉乎」・(白虎通壽命篇・『然哉

忌

近鳕

一忌」猶「哉」 也部屋韻字、

詩叔于田篇『叔善射忌』字時同此・

字或作「辺」

松高篇『往辺王舅』本·

古書虚字集釋 卷五 其 居 期 忌 U

三五五

「荷」「誠」也。

論語里仁篇『苟合矣····· · 荷。 完矣!

··荷美矣』爲[且]·未九

子路篇『荷志於仁矣』

一苟」 左傳襄二十八年『小適大苟舍而已焉用壇』詞引・ 一猶一但」也釋詞:

楚辭離騷『不吾知其亦已兮茍余情其信芳」。

「荷」猶「若」也解「著或」

易繋解傳『荷非其人道不虛行』釋詞・

荷」稽「尙」也 翻見極傳

Z

马五六

爲期望之詞:

詩君子于役篇『君子于役苟無飢渴』 一 詞見 題 傳 標

爲期望兼命令之詞

左傳襄十八年『晉侯伐齊將濟河中行獻子於曰『奇捷有功無作神羞』釋詞引·左傳襄十八年『晉侯伐齊將濟河中行獻子於曰『奇捷有功無作神羞』釋詞引·

苟」猶「乃」也。

楚辭離騷篇『夫惟聖哲以茂行兮「之」也· 苟得用此下土 』 「受」也· 楚辭離騷篇『夫惟聖哲以茂行兮「之」也· 苟得用此下土 』 「用.讀爲 答]·

「苟」猶「則」 七一何憚於病』·風俗通義十反寫引「則」作「苟」· 10「苟」與「則」同義·故左傳傳七年·『心則不說

墨子節葬篇『若法若言行若道苟其飢渴又若此矣』

極

「速」也「急」也。

古書虛字集釋 卷五 苟 旗 極

詩七月篇『亟其乘屋,

字或作「極」

荀子賦篇『出入甚極』為極、急也」。

漢』漢書「即南面」作『亟南面」

史記匈奴傳『今單于能卽前與漢戰天子自將兵待邊單于卽不能訓者」· 即南面而臣於史記匈奴傳『今單于能卽前與漢戰天子自將兵待邊單于卽不能訓者」· 卽南面而臣於

掘 闕

厥, 一「其」

曹召誥篇『厥終智藏源在』

厥」猶「若」也解語

書召誥篇『王厥有成命治民今休』也·即

無逸篇『厥或告之曰「小人怨汝詈汝」則皇自敬德』也無逸篇。

又『此厥不聽』為「之」・未允・

史記三王世家『厥有僭不臧乃凶于而國害于爾躬』「爾」也·

「厥」猶「乃」也同義思義」

漢書司馬遷傳『屈原放逐乃賦離賦左丘失明厥有國語』明原有國語、孫子脫脚而論兵法」、「而」亦漢書司馬遷傳『屈原放逐乃賦離賦之丘失明厥有國語』明原有國語、孫子脫脚而論兵法』、「而」亦

厥」猶「以」也。

史記自序『成一家之言厥協六藝經傳』

厥」猶「於」也。

古書虛字集釋 卷五 跃 捆 跌

三五九

曹立政篇『文王惟克厥宅心乃克立茲常專司收人』。

厥」猶「之」也釋問· 。 。 。 。 。

書無逸篇『自時厥後』詞引·

字·或作 「据」、厥」・公羊傳作『韓風』)・故「捌」亦與「厥」通用・字。或作 「据」(掘」從「風」聲・「風」與「厥」通用・(左傳宜十二年『韓

詩蜉蝣篇『蜉蝣掘閱麻衣如雪』姚之借字·說文云·『娥·好也』)·言蜉蝣之羽翼悅澤也·詩蜉蝣篇。 。 「掘」·「之」也·閱讀爲韓詩介傳九『羽毛悅澤』之「悅」·(悅爲

厥 一猶「而」也。

康王之誥篇「皇天用訓厥道言皇天因順從而開導之也,康王之誥篇「皇天用訓厥道言皇天因順位,「謹」同「導」, 付界四方。

多士篇『誕泽厥洪』逸」、「厥」上是脫「淫」字、

按 八厥一 與一 其一 爲牙膏雙聲字故「其」字訓「 若, 二訓 乃,訓 而」訓「以」訓「於」

訓「之」「厥」字亦訓「若」訓「乃」訓「而」訓「以」訓「於」訓「之

幾一「殆」 莊子徐无鬼篇『非我與吾子之罪幾天與之也』 一一い。見説文・「殆」是

又『君雖爲仁義幾且僞故』其也:

列子仲尼篇『吾見子之心矣方寸之地虛矣幾聖人也』

此上二例經傳釋詞並謂「幾」為語助失之。

史記黥布傳『人相我當刑而王幾是乎』亦「殆」也·說是「豈」字條· 史記黥布傳』人相我當刑而王幾是乎』亦「殆」也·說是「豈」字條·

「幾」「近」也將然份未然之詞也「差」點」・

左傳昭二十七年『吾幾禍子』

易小畜上九歸妹六五中孚六四並曰『月幾望』

古群處字集釋 卷五 鐖

幾」猶「則」 也。

老子六十九章『輕敵幾喪吾寶』

管子形勢解篇『常以言翹明其與人也其愛人也其有德於人也以此爲友則不親以此爲交則不 結以此有德於人則不報故曰「見與之友**幾**於不親見愛之交幾於不結見施之德幾於不報」」,。

文・一般於」之「於」・皆訓「是」・「見」皆訓「綴」「蔑」皆與「則」為五

荀子賦篇『聖人拱手時幾將矣』也:

國語周語 7 其無乃廢先土之訓而王幾頓乎」義·「頓」。B」也·說並見程義述聞·

別

閒」猶「近」 也。

漢書景帝紀『閒歲或不登』註:

置

「皆」「俱」也。

禮記大學篇『壹是皆以修身爲本』也: 叫百」 一俱」 也

一皆」「編」也 篇毛傳· 。 。 。

國語晉語五『皆告諸大夫曰「二三子可以賀我矣」』左傳昭四年『旦而皆召其徒』

賈子保傅篇『於是皆選天下之端士有道術者以衞翼之』

階

古書虛字集釋 卷五 皆 贈

马太王

春秋繁露奉本篇『階此而觀之』「階」 「因」也「由」也。

「蹇」發語詞也。

楚辭九歌『蹇將憺兮壽宮』詞也』 至注日:『蹇・

字或作「謇」

離騒『蹇吾法夫前修兮』難也。・失之・

「蹇」「乃」也訓訓新

楚辭九章「慘鬱鬱而不通兮蹇侘僚而含感」一爲口語「這纔」之義

三大四

字或作「謇」

離騷『余雖好修姱以鞿羁兮「惟」「蹇朝辞而夕替」

爲口語「却」字之義

九章『車旣鋄而馬頗兮蹇獨懷此異路』

此上三例並見新方言引。

可 何

9 二謂「可以」也。

論語先進篇『可謂大臣與』

字或作「何一

韓詩外傳二『子反曰「區區之宋猶有不欺之臣何以楚國而無乎吾是以告之也』公羊傳宣十韓詩外傳二。

古書虛字集釋 卷五 蹇 審 可 何

古書虚字集 卷五 可 何

五 年, ---何 作 可。

左傳昭八年『若何弔也其非惟我賀「則」也·將天下是賀」「且」也·

孟子公孫丑篇『何事非君何使非民』

可」猶「所」也關為鄭注:

大戴禮武王踐阼篇『無行可悔』 說苑敬慎篇 可」作「所」

禮記 中庸篇『 體物而不可遺」王念孫云・『不・無也」・

此上二例並見經傳釋詞: 引。

左傳襄九年『然故不可誣也是以雖隨无咎』也・「不可」・「無所」也・

孟子告子篇『親之過大而不怨是愈疏也 親之過小而怨是不可磯也愈疏不孝也不可磯亦不孝。,

也』『磯・激也』)・言無所感激之也。「不可磯」即「無所激」・(趙注

可一「背」 曹多方篇『罔可念聽』

孟子滕文篇『百官族人可謂曰知』曰行・至是乃肯謂曰行也・(「行」謂「行三年之喪」」孟子滕文篇『百官族人在此前不肯謂。 「知」猶「爲」也・「行」也・言百官族人在此前不肯謂

賈子親疏危亂篇 [令之安肯聽召之焉可致』「pjd·五文耳·

可可 | 猶「約」 也。

漢書王章傳『章小女年可十二』 独云約十二。

史記高祖紀『項羽之卒可十萬。

李將軍傳『出居延北可千餘里。

韓非子外儲說左篇『景公曰「 趨駕煩且之乘使關子韓樞御之行數百步以關爲不疾奪轡代之

御可數百步以馬爲不盡釋車而走一字·是衍文·脫並詳睹于平議· ;, © 「盡」·「進」也·「盡」下舊有「進」

「可」猶「卽」也。

韓非子內儲說下六微篇「夫人先誡御者曰「王適有言也・ 必可從命」。 聴從」・「巫」亦「即上文・「王適有書・

戰國策秦策五『秦王曰「然」乃可復使姚賈而誅韓非。

墨子兼愛篇下『 故約食為其難為也然後為「極」也· 而靈王悅之未踰於世而民可移也即求

古書虛字集釋 卷五 可 何

古書虛气集釋 可 何

以鄉其上也』「郷」同「向」、「即」上「則」也

可」猶一能」 也。

管子任法篇: - 聖君置儀設法而固守之然故諶杵習士聞識博學之人不可亂也衆彊富貴私勇者,

不能侵 也。

禮記 上大學篇: 其 家 不 可0 而能敎人者無之一

左傳哀十三年『可勝也而弗能居也。

此 上三例「可」 皆與 能 **咒」爲互文。**

易繋辭傳『是以身安而 國家可保也」

可 | 猶 | 足 | 也是行』・墨子非命篇下引「足」作「可」・一也」「可」與「足」同義・故書僞泰督篇「謂敬不

韓非子十過篇: 一管仲日: 臣老矣不可問也」」

左

傳昭

四年二

恃險與馬不可以爲固也自古以然」新序善謀篇「可」作「足」

孟子告子·篇『乃若其情則可以爲善矣乃所謂善也』「性」之借字·言若順其性·則足以爲善也孟子告子·篇『乃若其情則可以爲善矣乃所謂善也』「性」之借字·言若順其性·則足以爲善也 ・説辞拙

義補正・

梁惠王篇『五十者可以衣帛矣……七十者可以食肉矣… …八口之家足以無飢矣」 ·數口之家可以無飢矣」見· **盡心篇**,

雕婁篇『養生者不足以當大事惟送死可以當大事。

作

則老者足以衣帛矣……

老者足以無失肉矣

呂氏春秋任數篇『所信者目也而目猶不可信所恃者心也而心猶不足恃。 萬章篇『人悅之好色富貴無足以解憂者惟順於父母, 可以解憂。

戰國策燕策一 **『王日「吾聞齊有清濟獨** 河可以為固有長城鉅防足以爲塞一二,。

一湾濁河・コ

何足以一雖有清

字即作"足"·可證「可」與「足」同義· 爲固·… 雖有長城鉅防·何足以爲塞』 此上 一四例皆一 可」與「足」爲互文。

孔

古書虚字集釋 卷五 何 ijŢ ŦL

三六九

孔, 甚 也 雅·爾

詩六月篇『羅狁孔熾』

羌

一差」「乃」也^強

字或作「慶」

漢書楊雄傳『懿神龍之淵潛兮慶竢雲而將舉』

此上二例並見經傳釋詞引。

詩韓奕篇『慶旣介居』

三七〇

極

「亟」「屢」也。

字或作「極」 左傳隱元年『亟請於武公』

曹大誥篇『子易其極卜敢弗于從』從乎」·

克

「克」「能」也。

古書虛字集釋 卷五 巫 極 克

一指一也一克」,五見一片一字條,

書牧誓篇·「弗·迈克奔以役西土」謂猶蘇也」·「役」·「助」也·言勿蘇虐敵人之肯奔者以助西書牧誓篇·「弗·迈克奔以役西土」謂猶蘇也」·「暴」也·(馬鄭本尚書「迓」皆作「禦」·曰·『禦

雅庚篇『予不克羞爾用懷爾』傳釋詞正誤)「懷」・「安」也・言予乃肯教道爾以安爾也・雅庚篇』・予不克羞爾用懷爾』傳釋詞正誤)「懷」・「安」也・言予乃肯教道爾以安爾也・經

史記律書『且兵凶器雖克所願動亦耗病』 「克」猶「可」也們可」·「克」亦訓「可」·(爾雅·『背·可也」)·

貨

一肯」願詞也 音意。 ·

詩終風篇『惠然肯來』

「肯」猶「克」也「能」

書大語篇『厥子乃弗肯堂也· 矧肯構』後漢書肅宗紀引「肖」作「克」極近·故通用·書大語篇『厥子乃弗肯堂也· 矧肯構』後漢書肅宗紀引「肖」作「克」極近·故通用·

又『厥子乃弗肯播矧肯穫』 :

工 期 恭 己 記

「其」指事之河也日間,其

孟子滕文篇『他日歸則有饋其兄生鵝者』

字或作「期」語言其『期』

戰國策秦策五『王曰「為期與我約矣」』

字叉或作「己」

孟子滕文言『他日歸則有饋其兄生鵝者已頖顧日』

公孫丑篇『使己爲政不用則亦已矣又使其子弟爲卿』「又」「何」也·言從其爲政·不見用· 則亦已矣・指奔王言・

古書席字集釋 卷五 英期 綦 己 配

三七三

祀

詳拙著孟子正義補何從其于弟爲廟子 正・説

曹秦智篇『如有一介臣斷斷猗無他技其心休休焉其如有容人之有技若己有之人之意聖其心曹秦智羔.

好之不啻若自其口 出。

左傳昭四年『國人謗之曰「其父死於路己爲蠆尾」」

晚上四例「己」皆亦「其」也變文以避複耳。

「其」「彼」也上節之「其」非泛指·為有少異耳· 。此與上節義同·惟此「其」字是泛指·

墨子貴義篇『以其言非吾言者是猶以卵投石也。

詩湛露篇『其桐 其◎ 椅,

論語學而篇『其爲 人也孝弟,

莊子則陽篇「父子之宜, · 彼其乎歸居。

天下篇『彼其充實不可以已。

孟子公孫丑篇『彼以其富我以吾仁彼以其爵我以吾義。

墨子節用篇中『彼其愛民謹忠』

荀子堯問篇『彼其寬也』

左傳宣二年『夫其口衆我寡』

國語晉語『夫其子孫必光啟上』 此上四「彼其」皆是複語「其」亦「彼」也二「夫其」皆「彼其」之轉語亦是複語。

夫」與「其」皆訓「彼」

字或作「己」又或作「記」

詩揚之水篇『彼其之子』箋日『其或作記或作己』詩揚之水篇『彼其之子』箋日『其或作記或作己』

左傅文十四年『夫己氏』為「渠之切」之「其」·經傳釋詞謂「己」為語助·失之·左傳文十四: 。。 「夫己」與上例之「夫其」同·「夫己」曾訓「彼」·「己」寶

候人篇『彼其之子』禮記表記篇引作『彼記之子』

上之「彼其」「彼已」「彼記」皆是複語「其」爲本字「記」「己」皆爲借字均當

产者雄字集釋 発九 英期祭 己 韶

三七五

渠之切] 于荀子之「彼其」同・ 釋詩者自毛鄭以下皆讀「彼其之子」之「其」爲「記」

而解為語助詞誤甚。

其 與 己 **L**. 旣 逋 用故假「己」爲「其」亦假 「其」爲「己」左傳哀元年 爲之庖 正以

除 死 洛與其 其o 害, 失 人同 其 ___ 為 <u>__</u> --屋 己」之借字杜注云: 讀爲一 蓐收 之一 — 賴 蓐, 此 以得除己害。 蓐 與 <u>__</u> 一是其證 收 ___ 同 義。 也管子侈靡篇 死 讀爲 **—** 屍。 唇 舉 下

家: 其 子玉之败而 字 讀 爲一 己」言收舉其屍 歸楚成王怒其不用其言貧與晉戰讓實子玉。 **者與己家失亡** 人同。 謂 其水之之懇切 下 其一字爲「 也管子餘義・ 己 一之借字韓 史記 晉世

詩 外 傳 +: -申 鳴 日. 「受君之祿避君之 難非 忠臣也正君之法以殺其父又非孝子 也。 國 新

謟 簡 日: ---; 以君之出也處己入也煩己饑食其 糴, 三 一施而 無 報, 故 來。 論 語憲問篇 \neg 不 患 Ā

之 不 己 知, 患 英。 不 能 也」「己」字・變文以 X避復耳. 二亦皆即 顏 淵篇: 攻 其。 惡 無攻 人之 恶。 F 葐 心 篇: 樂

英₀ 丽 忘人之勢。 ___ 莊子人間 世篇 是 以 人 惡有 其美也同,曾是以人惡,以己美也,命之曰災人。,「有」、「以」也、「共」與「己」

字·故皆與「人」字》文·「其」皆爲「己」之借字此上三例・「其」皆即「己」「其」皆爲「己」へ

其一猶「或」也調言之

左傳成三年『王送知罄曰「子其怨我乎」

列女傳齊傷槐女傳『嬰其有淫色乎』

左傳哀元年『天其或者正訓楚也』「其亦」或也・

一其一猶一殆」也是疑而有定之詞,

儀禮鳴禮篇『

君其以賜子』擬議之詞·未允· の? 經傳釋詞間「其」為

易困家傅『其唯君子乎』

乾文言『其唯聖人乎』

此上二例經傳釋詞 訓 上, 爲擬議之詞於義亦通然不如訓「殆」之於義爲長。

復彖傅『復其見天地之心乎』

擊辭傅『知變化之道者其知神之所爲乎』

又『易之興也其於中古乎作易者其有憂患乎』:

古書順字集釋 卷五 其期 茶 己 韶

叉: **「**顏氏之子其殆庶 古書虚字集釋 幾乎?! 「其」亦「殆」也。 舥

國語周語「 書金縢篇『公日 王室其。 1「體王其III 將 卑. 乎[! (罔 害? <u>___</u>

禮記檀弓篇『將軍文氏之子其無幾乎」

此上 七例並見經 傳釋詞 引。

中庸篇『其此之謂 與!!

韓詩 外 **傅**八: _ 伯宗 其回 無 後攘人之善。

隱六年『其陳桓公之謂乎』左傳隱元年『其是之謂乎』

僖二十四年: -『我實使狄狄其怨我』際桓公之謂乎』

一猶 一將 世。釋訓 詞兒經傳

其

青微千篇: 今殷其淪 喪、

詩七月篇『飯其張屋其始播百穀』即時」・

此上二例並見經傳釋詞引。

伯分篇一其由其由呆果出日。

左傳隱三年『其將何辭以對』「其」亦「將」也・作勿當二其由」同名另出上

「其一价」之一也點認傳

書原誥篇『殷其弟小子封』一同口語之一的』

大型、下下了上上, 詩魚麗篇『物其多矣』 。

大戴禮保傅籍『凡是其屬』

此上三例並見經傳釋詞引

公子之從者皆足以相國。

古書中字集釋卷五 其期 綦己 夕子之 從 才 皆 贞 岁 木 國 』

韶

列女傳曹信氏妻傳『吾觀晉公子其從者三人一句· ** 皆國相也」左傳僖二十三年作『吾觀晉

马七九

墨子 明鬼篇 _ 若此 英。 僧速 起。 若是之僭速也。

論 語子 張篇: 7 不若是乙甚 也 <u>___</u> 漢石 經作 _ 不 若 是 漢· 其甚· 也。 字解・

逸周 書 太子 晉篇: _ 챮 度。

管子侈靡篇: <u>_</u> 變其。 美者莫如 時 』「其」可訓「之」·不必改字· 。 讀書雜志謂「其」當作「之」·

呂氏 春秋期 賢篇『天下之士其歸之也一句·若蟬之走明火也』「歸 也・亦

孟 子梁惠王篇『若是其甚與?

書 大誥篇 - 若昔股: 其c 逝,

多 一士篇 === 罔 不 配 天 其◎ 澤。

左 傅 僖 + 八 年: $\overline{}$ 仓 尹 其。 不 勤 民, 質自 敗 也。

臧文 仲 其o 不仁 |者三不 小知者三。

史記 墨子 晉 世 家: 君 其o **祀毋乃絕乎**』 |左傳傳十年作『君祀毋乃殄乎』・無|按[其]訓[之]・與[的]同義・可有 **一 其**字

尚同篇下『意獨子墨子有此而先王無此其有邪 · 『疑當作無有此邪·其字衍,失時同篇下『意獨子墨子有此而先王無此其有邪 · 『無此其有』,即「無此之有」,孫論 之讓 · 🛱 則 亦

也。

說苑政 理篇『欲其大者乃在於此矣』「猶其大者」·謂謀之大者也· 。 「欲 讀爲小雅「謀論回讀」之「猶」·

爲指事之詞

賈子大政篇『放欲以刑罰慈民辟其艄以鞭押狗也雖久弗親矣欲以簡泄得士辟其猶以弧忧鳥

也「醬·雖久弗得矣」詞引·,「辟」皆同,

修政語篇『學聖王之道者譬其如日靜思而獨居譬其若久』

說苑尊賢篇『譬其若夏至之日而欲夜之長也』呂氏春秋知度篇「其」作「之」

字或作「己」

禮記大學篇『人之視己』指小人言・

呂氏春秋自知篇『百姓有得鍾者字・下同此・ 欲負而走則鍾大不可負以椎毀之鍾況然有 音, 恐

へ聞之而奪己也指鐘書・ 遠掩其耳』

非子内儲說下篇『王謂夫人曰「 新 人見寡人常掩鼻何也」對曰「不己知也」」之知」亦即「不

古書席字集釋卷五 其期 綦己 記

韓

知之一

難勢篇『夫勢者非能必使賢者用己而不肖者不用己也賢者用之則天下治不肖者用之則天下

働し也・互文耳・ 「己」皆亦「之」

時民樂其救之於患害也』言樂其救己於患害也呂氏春秋務大篇『燕虧顏色不變是何也「酱」· 按「己」與「之」,爲疊韻字故「己」訓「之」「之」亦訓「己」春秋繁露楚莊王篇『湯之

雅事篇『不知五尺之童子膠絲竿加之乎四仞之上而下爲蟲蛾食已」又『而投之乎黽寒之外』 第一章 不知禍之將及之也』「及之」即「及己」諭大篇作『乃不知禍之將及己也』是其義也新序

「加之」即「加己」「投之」即「投己」戰國策楚策作「加己乎四仞之上……投己乎黽寒

之外」是其義也雜事篇『諸侯自擇師者王自擇友者霸足己而羣臣莫之若者亡』「莫之若」。

即「莫己若」荀子哀公篇「之」作「己」是其義也管子牧民篇『能佚樂之則民爲之憂勞能即「莫己若」荀子哀公篇「之」作「己」是其義也管子牧民篇『能佚樂之則民爲之憂勞能 富貴之則民爲之貧賤能存亡之則民爲之危墜能生育之則民爲之滅絕。「爲之」皆即「爲己」

其一循一而一也[其]而字條·

戰國策魏策一『楚雖有富大之名其實空虛』史記張儀傳「其」作「而」

賈子耳痺篇『 天之處高其聽卑」淮南子道應 篇 其 作 __ 而。

孟 子公孫 北篇: $\overline{}$ · 舍我其誰: 也? ___ 論 衡 刺孟 篇引, 其 作 而。

韓詩 外傳九『是以君子入則篤孝出則友賢何爲其無孝子之名』荀子子道篇作『故君子入則外傳九』是以君子入則篤孝出則友賢何爲其無孝子之名』荀子子道篇作『故君子入則

篤行出則友賢何為而無孝之名也**』**

逸周書官人篇『喜怒以物其色不變』大戴禮官人篇作『喜怒以物而色不作』。

大戴禮·哀公問五義篇『躬行忠信其心不置』「置為.徳」·是ய·攺「其為.而」·則非·大戴禮·哀公問五義篇『躬行忠信其心不置』「體義述開吹「其」爲「而」·讀「置」爲「徳」·按讀

篇作『言忠信而心不徳』

荀子儒效篇『比 弓篇 毛 傅 作 比 周而譽俞少鄙爭而名俞辱頌勞以求安利其身俞危』為「爽」・喟歎與也・ 周 Mi 黨 愈 少鄙爭而名愈辱求安而身愈危。 詩角

國語周語『非此其誰』

晉説『非女其誰』而雖J·文例同此· っ? 左傳傳二十四年『非君

古書處字集釋 卷五 其期 綦己 配

晏子 春 秋 雑篇: 景 公游 於 紀, 得 金壺, 一發 其。 八視之。 曹雞市 心謂當從御覽作了一其」作「而」 作「而」・よ」・是以意味 失败 ・酸

外篇: 此 難 得 其。 知 也。

問篇: 然 其。 亦 有 焉。

呂氏 春 秋 制 樂篇 _ 故成 《湯之時》 有 榖 生於 灰 庭 香 **而生**比 此禮 • 邟 日 英。 大大拱。 <u>__</u> 作「而」・是以来 改引

左 一件隱十 ---年 其 況能 人有 許 乎。 許乎」・文例同

昭 七 年: _ 其₀ 況 能 **记**任大國之賜。 <u>__</u>

昭 十六年 吾子 何愛於 __ 琅 其◎ 以 取 僧 於大國· 也?

昭 九 年: $\overline{}$ 焉 用 速 战 其。 以 勦 民 也?

桓 + 年: 吾焉 用 此 其◎ 以 買 害 典?

國 周 語 將 馬 用 飾 宮其。 以 微亂 也?

孟子 盡 心 篇 _ 衆皆 悦之其 爲 《士者笑之。

禮記 大 駬 篇: 未 有 上 好 仁而 下不好義者 也未 有 好 義 其。 事 不終者 也。

表記篇「非魔帝其孰能如此乎」而誰能」,文例同此,

墨子貴義篇『盡天下之卵其石猶是也不可毀也』

韓詩外傳八『使者可謂不辱君命其能專對矣」。

詩巷伯篇『豈不爾受旣其女遷』

書微子篇『若涉大水其無津涯』

楚辭七諫篇『玉與石其同匱分』

時命篇「雖知闲其不改操兮……雖體解其不變兮」

哀

九

《歎篇『心憐慌其不我與兮躬速速其不吾親』

此上三例王注並曰『其一作而』

天問篇『何聖人之一德卒其異方』

古書處字集釋 卷五 其 期 綦 己 配

雛

騒篇:

老

冉

再 其○

將

至

兮,

<u>__</u>

「 時亦冉冉而將至 」· 文例岩同: 情賢篇・ "壽冉冉而日衰兮』・悲!

此回風窟

八八六

叉: 時曖 曖其0 **水將罷兮……** 雖 九 死其猶未悔…… 日忽忽其將暮, 唯昭 質其猶未虧し

九章篇『山蕭條而無獸兮野寂寞其無人』

悲回 風篇: **—** 歲智智其若頹兮忽而道盡兮。 文例同此 · 時亦冉冉而將

至。

九歎篇『路曼曼其無端兮周容容而無識』

荀子賦篇『此夫始生鉅其成功小者邪長其尾而銳其剽者邪字・や指本之詞・

頭銛達而尾趙

粽者邪!

此上四例皆「其」與「而」爲瓦文

「其」循「於」也「其」、互見「於」字條、

戰國策楚策『臣聞治之其未亂爲之其未有也』老子言『爲之於未有治之於未亂。史記蘇秦傳『以趙之爲蔽其南也』戰國策燕策「其」作「於」 史記蘇秦傳『以趙之爲蔽其。 南也一 於。

燕策 八先王 以爲愜其志」史記樂毅傳作『先王以爲慊於志』則快」:

春秋繁露 天地之行篇**了**故冬之水氣東加於春而木生乘其泰也; 春之生西至金而死厭於勝也。

滑稽傳 齊趙陪位於前韓魏翼 衞 其。 後。

劉敬 叔孫 通 傳: 且明主在其上法令具於下。

戰國 策趙策三 君非徒不達於兵也又不明其時勢。

商君書更法篇『 是以聖人苟可以强國不法其故苟可以利民不循於禮。

……不循其程」・「其」亦史配商君傳作『不法其故

呂氏 字爲介詞・可省去)・故奥法篇又曰・『臣聞法古無過・循禮無邪』・常訓「於」・「法於故」「循於禮」・卽是「法古」「循禮」・(故與古同・於 【春秋上農篇『爲害其時也……爲害於時· 也。

晏子春秋問篇『昔三代之與 也謀必度其義同・「居」也・事 **- 必因於民** 意改,體書雜志謂作一掌書治要引「其」作「於

荀子榮辱篇 三國志魏 『義之所在不傾於權不顧 英。

淔

『不厭其天不忽於 。, 人。

莊子達 生篇

淮南

子

說 山篇: <u>المت</u> 升之不 能大 於 石 也升在石之中夜之不能修其歲 也夜在歲之中。據乾道

古書虚字集釋 卷五 其 期 綦 린 램

三八七

三八 八

管子 ·白水篙 : 濟 以於舟 者 和 於 (水矣義) 於 (人者祥) 其0 矣。 從讀書雜志說改・「鬼」舊誤作「神」・ 茲

稐 衡 藝 齊篇: ___ 故 譽 人 不 增 其美, 則 聞 者不 快 其o (意) X 不 益其惡, 則聽者 不

韓 非子亡 **|徴篇:** 7 喜 淫 刑 而 不 周 於 **法好**: 辨 說 而 不 求 其0, 温於 文麗 而不顧 其。 功 者, न्त 亡也。 **愼**據 本王

戰 囡 5策秦策五: - 曾 參 孝 其0 (親天下) 願以爲子子胥忠於 **小君天下願**! 以爲 臣。

此 Ŀ 十五. 例, 其 皆 興 於 爲互文。

至: f 非 儒 篇: _ 夫為子弟後生其師按孫君不知[其]與[於]同義·故致此誤· 必修其言法其行力不足知

弗 及 而 後已。 <u>____</u> 弟後生」・猶云「門人小子」・下二「其」字皆指事之詞・「子

篇: 其。 侧, 於前。

說 叢 賢 師 良 友 在 詩 書 禮 樂陳

說

苑

奉

健

篇:

—

冠

雖

敝,

宜

加

其° 上;

履

雖

新,

宜

居其。

下。

履雖新必關於足」
説義篇・『活雖敝

. .

女例同此 必加於首

建 |本篇: 不愼 其。 前 而 悔 其。 後。

臣 術篇 高線之事夫子三年曾 無以衝位 而逐之其義可

韓非子人主篇『不察其事類者也』

解 老篇: 避其 域, 省其 時, 則 免其。 虎兕之害矣。 一 其原· 則免於諸害矣』・是其義」即「免於」・下文・『避其 也域

呂氏 春 秋 愼 行 篇: ___ 乃 殺費 無忌 **壺滅其族以說其國**。。 |訓||於]・左傳昭二十七年作『 虚 滅 其 族以

說于國。

大樂篇『皆化其上樂乃可成』

管子大匡篇『莊公抽劍其懷』

八觀篇『聽民之所以化其上』

周禮載師『唯其漆林之征二十而五』

漢 書 Ħî. 行 志: _ 至. [ii] 子 歆治 左氏 傅, 其。 春 秋 亦已乖矣言五行傳又頗不

淮南子說山篙『尾生死其梁柱之下』

莊子齊物論篇『巧歷不能得而況其凡乎』衆」也:庸

國 語音 語四: ___ 夙 夜 征 行不 遑啟 處稍懼 無及況其順身縦, (欲懷安) 、將何及矣?

古書庭字集釋 卷五 其期 綦己 韶

三八九

古書虛字集釋

荀子王霸篇『百姓莫敢 不敬分安制以化其上」

墨子佝賢下篇『逮至其國家則不

叉『 今若有 一 諸侯於此為政, 英。 國家 也。

又: 然而 不識 以尙賢為 政其國家百姓』上,『今者王公大人為政於國家者』,文例皆同此。 。 非攻籍中,『古者王公大人為政於國家者』,尚賢智

春秋繁露天道無二篇『終有復始其一』本吹「其」爲「於」・失之・春秋繁露天道無二篇『終有復始其一』本吹「其」爲「及」同・盧文弨校

韓詩 的外傳八 7 梁山崩晉君召大夫伯宗逍逢輦者以其輦服其道」官以其蟄死於道也・晉語作『過大事》。「服」讀爲「覆」・下「其字訓「於」・

是其義也。當這而覆」。

其」猶「在」 也。「其」與「在」古

荀子宥坐篇了 孔子曰「居吾語女其故人有惡者五[古]句:而盜竊不 與焉。

國語楚語上「其祭典有之日**」**

韓 周 ·非子難三篇「今足下雖强未若知氏韓魏雖弱未至如其晉陽之下也」 〔語『而班先王之大物以賞私德其叔父實應且愴[而]也・以非予一人」:

字 或作

戰國策中山策『與不期多少其於當厄怨不期深淺其於傷心』「與」謂「施與」也・莊子秋水篇『言之所不能論意之所不能察致者不期精粗焉』。 [期』其」曹訓「在」・莊子秋水篇『言之所不能論意之所不能察致者不期精粗焉』

其一循「然」也。

爲狀事之詞.

詩小戎篇『溫其 如玉。

韓奕篇『爛其盈 門。

溱洧篙『溱與洧 瀏。 清矣士與女殷其盈矣!

綠衣篙『淒其 JI, 風。

裳裳 者華篇: 門芸英 黄矣。

山有归 樞篇: 7 宛 其o 死矣。 知宛 也然 ・死

為轉語之詞

古書處字集釋 卷五 其 期 綦 己 韶

马九一

史記 刺 客 傳: り其 後週 可圖 也。 __ 戰 國 策燕 策作 然 後乃可圖 也。

淮南子齊俗篇『今屠牛而烹其肉或以爲酸或 以爲 甘煎熬燔炙齊味萬方其本一牛之體; , 伐 一種一种

豫樟而剖棃之或爲棺椁或爲柱梁披斷撥楹所用萬方然一木之樸也』樸支例同:「其」亦「然」也:豫樟而剖棃之或爲棺椁或爲柱梁披斷撥楹所用萬方然一木之樸也』樸支例同:「其本一牛之體」三「然一木之

耳互・女

韓詩外傳二『 顏淵侍坐魯定公於臺東野畢御馬乎臺下也: 定公曰一 善哉東野畢之御上也!

善 則 善 矣其馬將佚矣」』佚矣』·是其義也·「然則」與「然而」同義,。

・將

顏

淵 曰:

莊子 齊物 論篇: 『如是皆有為臣妾乎其臣妾不足以相治也其遞相爲君 臣乎訓抑」・「其」」と「其」 其o 有 眞

君存焉。

公羊傳隱 四年: 衆雖欲立之其立之非也」

論語子路篇『言不可以若是, |為句・其||幾也|||文「不幾乎」・正相呼廳・此六字◎|||。||| 幾・近也・「其幾也」與下

其 □猶「若」 也。釋詞見 ・經傳

爲一若或一之義嗣能之

詩 小是篇 □ 謀之其城川具是遠謀之不城則具是依。

左傳僖九年『其濟君之靈也不濟則以死繼之』

此上二例並見經傳釋詞引。

史記范睢 傳: 王 其。 欲霸必親中國。 』 戰國策秦策三「其」作「若

禮記 1月 介篇 仲7 秋之月節『其有失時行 罪無 疑。 __ 淮 南子 時則篇 作一 者或失時』古通

左傳宣十二年『其俘諸』 於厲宣桓武不泯其社稷使改事君夷於九縣君之惠也』「其字・皆訓「若」・ 江南以實質 海濱亦唯命其 翦以賜諸侯使臣妾之亦唯命若惠顧前好殷

腷

隱十一年『天其以禮悔禍于許』

哀十一年引盤庚之誥『其有與越不恭』「乃」亦「若」心・

淮南子主術篇『夫華黯綠耳一日而致千里然其使之搏兔不如狼契紅見證書雜志・ 技能殊也。

字或作「期」

呂氏春秋雖俗覽篇『期得之則可不得將死之』

古書處字集釋 卷五 其期 綦己 配

爲 「若似」之義

論語微子篇『其斯而已矣』已矣」·文義同此· 。 孟子盡心篇·「如此而

晏子春秋諫篇『當此道者其晏子是邪』是決定問・

問篇『君子曰盡忠不豫交不用不懷祿其晏子可謂廉矣』謂忠士矣』,文例同此:

呂氏春秋懷龍篇『兵不血刃而民服其化』多作其化』·按作「其化」者是古本·呂氏春秋懷龍篇『兵不血刃而民服其化』多作其化』· 西注云:「著化本

荀子哀公篇『士不信戀而有多知能「叉」同・譬之其豺狼也不可以身選也』作「譬猶豺狼與」・「幽」荀子哀公篇『士不信戀而有多知能「叉」同・譬之其豺狼也不可以身選也』作「譬猶豺狼與」・「幽」

堯問篇『忠誠盛於內賁於外形於四海天下其在一隅邪[也]也・夫有何足致也』[足]・[雖]也堯問:

韓非子外儲說右上篇『王召樗里疾曰「是何匈匈也何道出」「由」也・樗里疾曰: 王 日: 「吾無與犀首言也也· 其犀首何哉』犀首」之[似]同義· , 「似犀首也。

其」猶「抑」 也歐地寶擇之詞也。

史記趙世家『誠愛趙乎其實情齊乎』

五九四

孟子萬章篇『 將比今之諸侯而誅之乎其敎之不改而後誅之乎?

此上二例並見詞詮引。

晏子春秋雜篇『請飲而後辭乎其辭而後飲乎

墨子公孟篇『君子服然後行乎其行然後服乎

莊子養生主篇『天與 其。 人 與?

知北遊篇: 『夫子有乎其無有乎?

呂氏 春秋貴信篇: $\overline{\neg}$ 君寧死而又死乎其寧生而又生乎?

其 **」猶「豈」** 七「豈」亦訓「其」・互見「豈」字條・

論衡祀義篇『而罪歟也·其鮑之罪歟』意鮑為之與J·是其義也:意J與「抑」同·論衡祀義篇『而罪歟也·汝愈

曹盤庚篇『若火之燎于原不可鄉邇其猶可撲滅?

酒誥篇: 我其。 可不 大監 撫 于 時?

一十篇 我其敢求位?

古書處字集釋 卷五 其 期 綦 己 韶

> 三 九五

此上三例經, 傳釋詞並訓「其 」爲「寧」「寧」亦「<u></u> 豊」也

大誥篇『若兄考乃有友伐厥子民養其勸弗數』僕」・「勸」讀爲,觀」,曹臣僕豈觀望而不救乎,大誥篇『若兄考乃有友伐厥子民養其勸弗數』僕」・「勸」讀爲,觀」,曹臣僕豈觀望而不救乎,

左 |傳文四年『其敢干大禮以自取戾| سا

成二年『余雖 欲於鞏伯也·「善」也· 其敢廢舊典以忝叔父』

般爾以人之母嘗巧也,則豈不得以「已」園,其毋以嘗巧者乎則病者乎」「無」,

也・互文耳・「其」亦「豈」

「其」猶「旣」也「其」可見、既字條、「己」也。

史記賈生傳『已矣國其莫我知獨堙鬱兮其誰語』知兮·人心不可謂兮』·文例同此·史記賈生傳『已矣國其莫我知獨堙鬱兮其誰語』知兮·人心不可謂兮』·文例同此·

宋世家『於是諸侯皆曰桀宋宋其復爲紂所爲不可不誅』

大戴 禮 衞 將軍文子篇『其言曰 **【性都其富哉〉** 任其 戎, 是仲由之行也」「哉」・「始」也・

曹禹貢篇『嵎夷旣略濰淄其道』史記夏本紀「其」作「旣」。。 議兵篇引詩『徐方其來』詩常武篇「其」作 旣。

又『淮沂其父蒙羽其藝』:

其一狗一以一也「其」可見以字條,

禮記祭義篇『夏后氏祭其聞殷人祭其陽后氏大事以昏・殷人大事以日中」・按鄭君是轉「其」爲以」・禮記祭義篇『夏后氏祭其聞殷人祭其陽后氏大事以昏・殷人本以日中」・按鄭君是轉・謂日中時也・夏

人祭日以朝及閣』祭於日出以朝』・「於」亦「以」也・「以朝」即「及朝」・人祭日以朝及閣。 淮南子氾論篇作「夏后氏祭於閣・殷人祭於陽・周人

荀子議兵篇『故陽之放桀也非其逐之鳴條之時也武王之誅紂也非以甲子之朝而後勝之也』。:

文子符言篇『凡事人者非其實幣必以卑辭』

管子禁藏篇『三日聽其淫樂以廣其心**遺以竽瑟美人以塞其內遺以餡臣文馬以蔽其外』之[其]**

劃以

淮南子氾論篇『視其更難以知其勇「殿」也・冒示以更難以戰其勇也,淮南子氾論篇『視其更難以知其勇「殿」同「示」・上「其」字訓「以」・「知」・ 財以論其仁振以恐懼以知其節則人情備矣」 動以喜樂以觀其守委以貨

此上五例皆「其」與「以」爲互文。

韓詩外傳三『 及其至 乎江之津也不方舟不避風不可渡也非其衆川之多乎」 死雜音篇作「非唯下

古書 虛字集釋 卷五 其期 養 己 配

三九七

「唯」亦「以」也・流衆川之多乎」

說苑尊賢篇『今我長毅三千乘而不敢久處於此者豈其無管仲數』也:「殆」也・

管子小匡篇『君何不穀而受之其屍』「髮」同:

書君與篇「若游大川予往暨汝與其濟。

孟子萬章篇一芍善其禮際矣斯君子受之一「接」也・

戰國策楚策四『示之其齒之堅也』

墨子親士篇「是故比干之殪其抗也孟賁之殺其勇也西施之沈其美也吳起之殺其事也」功:

詩雲漢篇『曷惠其寧』也· 蓋

七十八章『天下莫弱於水而攻堅强者莫之能勝其無以易之』 老子七十七章『是以聖人爲而不恃功成而不處其不欲見賢』景龍本作『斯不見賢』:「孰」亦「以」也老子七十七章『是以聖人爲而不恃功成而不處其不欲見]。「見」・「顯」也・言以不欲顧明其賢也

韓詩外傳十『夫貧而如富其知足而無欲也賤而如貴其讓而有禮也無勇而威其恭敬而不失於韓詩外傳十『夫貧而如富其知足而無欲也賤而如貴其讓而有禮也無勇而威其恭敬而不失於

人也「無」也・終身無患難其擇言而出之也」

其」猶「故」也

韓非子解老篇『中心懷而不論其疾趨卑拜而明之,今本改「其」爲「故」・非是・韓非子解老篇。 實心愛而不知故好

言繁辭以信之。

韓詩外傳六『孔子曰「入其境田疇草萊甚辟此恭敬以信故民靈力入其邑墉屋甚尊樹木甚茂,

此忠信以寬其民不偷』「故民」・

此上二例皆「其」與「故」爲互文。

韓非子八經篇『其故國治而敵亂』亦「故」也・獨言「是故」耳・韓非子八經篇。

其一猶一是一也「其」,五見是字條,

一爲「此」字之義

史記文帝紀『其歲新垣平事覺』歲獨云是歲」,

古書虛字集釋卷五 其期 茶 己 配

马九九

四 0

列女傳楚成鄭發傳『且其人蜂目而豺聲忍人也』左傳文元年作「且是人」

周禮占夢『占夢掌其四時』今歲四時也」・按「今」與「此」同義

墨子 非命 篇下 引泰 誓 了 祝降 其 喪 』 也・按作爲泰督者・蓋據多方篇『天降時喪・……天惟降時喪』之文而攺・墨子 非命 篇下 引泰 誓 『祝降時喪』:「時」亦「此」

莊子大宗師篇『爾果其賢乎邱也請從爾後也』「爾」謂「顏淵」· 莊子大宗師篇『爾果其賢乎邱也請從爾後也』「爾」是「孔子」·

大戴禮小辨篇『公曰「然則吾何學而可」子 曰「行禮樂而力忠 信其君 其習可乎」 迦[則]:

同義・「平」與「也」

爲「是非」之「是」

呂氏春秋貴信篇「鈞其死也戮於君前」同此「之」亦「是」也・呂氏春秋貴信篇「鈞其死也戮於君前」同此「之」亦是上文例

權勛篇: 『放豎陽穀之進酒也非以醉子反也其心以忠也」愛也」・「鬼・ 韓非子十過篇作『不以

雙子反也也· 非 其心忠愛之」「忠」亦「愛」也・ 飾邪篇作『非以端惡子反也實心以忠愛之』

曾訓是」・

審應篇『敢問王亦其堯邪』

叉. 其在於民而君弗知得也」・ 其不如在上也其在於上而民弗知其不如在民也』皆即「是不。

新序雜事篇: ----譬之其猶鞹革者也大則大矣殺之道也。 一 而求其景之直也」,文例: 同此木

如

叉: ---1 吾所 以亡 者其何。 哉? <u>_</u>

林篇『今荆將欲汝釁鼓『以』也 其何也?

尸子『人知用賢之利也不能得賢其何故也? : 韓非子說 **寫下・『是何故也』・文例同此** 見**藤**文類聚五十三引・墨子非 何也』・文例同此・禮韶三年問籍・『是

國 .語晉語一『若下攝上與上攝下周旋不動以達心目其反爲物用也何事能治』

魯語一門 衞侯開其6 臧文仲之爲也,

詩國宮篇 _ 周公皇 祖, 亦 其。 福 女。

書召誥篇: $\overline{}$ 節 性,惟 H 其。 邁。 也邁

孟子 盡心篇" 人之所不學 m 心能者其良能♪ 也所不慮而知者 其**。** 良 知也。

古書虛字集釋 禮運篇『故人者其天地之德陰陽之交鬼神之會五行之秀氣也。 。 卷五 其 期 己 ŤB

四〇二

韓詩外傳四『何以知其莒也』

論衡 威類 篇: -武王夢帝與其 、九齡同「己」·其天已予之矣武王巳得之矣何須復請,此「其」字 ©

左傳宣二年了 非馬也其人也 **》**

莊子養生主篇『始也吾以爲其人也而今非也』

淮南于齊俗篇『故先王之法籍非所作也其所因也其禁誅非所爲也其所守也』指事之詞:

其」猶「則」 :非子八經篇『是以喜見則德價怒見其威分』本·猶「則」也「則」·「則」添訓「其」·互見「則」字條·獨「則」」也「其」與「則」為之部是韻字·故「其」訓 此上三例「其」皆與「非」爲對文可證「其」當訓「是

韓

韓詩外傳七『故虞舜耕於歷山之陽立爲天子其遇堯也傳說負土而阪築以爲大夫其遇武丁也韓詩外傳七『故虞舜耕於歷山之陽立爲天子其遇堯也傳說負土而阪築以爲大夫其遇武丁也

尹故有莘氏僮也負鼎操俎闆五味而立爲相其遇湯也呂望行年五十賣食棘津年七十屠於,

朝 羊之皮爲秦伯牧牛舉爲大夫則遇秦穆公也」 歌九十乃爲天子師則遇文王也管夷吾束縛自檻車以爲仲文則遇齊桓公也百里奚自賣五

韓 非子十過篇『彼來請地而弗與則移兵於韓必矣……如弗與其措兵於魏必矣 … ·其指兵於

寡人必矣』於策作『其移兵寡人必矣」, 情兵」與『移兵』同義, 戰國策

荀子修身篇『將以窮無窮逐無極與其折骨絕筋終身不可以相及也將有所止之與假設之間,

則 T 里雖遙亦或遲或速或先或後胡爲乎其不可以相及也』事之詞:

書湯誓篇『子其大質女……予則孥戮女』

此上五例「其」皆與「則」爲互文。

韓非子外儲說左上篇『然而士窮乎范且虞慶者爲虛辭其無用而勝實專其無易而窮也』

也是

左傳僖二十三年『晉楚治兵遇於中原其避君三舍若不獲命其左執鞭弭右屬爨鞬以與君周旋』

昭二年『彼其髮短而心甚長』

哀十五年『柴也其來由也死矣』

禮記

禮運篇「

人其父生

而

師

教之。

古書) 服字集釋卷五 其 期 茶茶 己 包包

己 18

楚辭雕 骚篇『不吾知其 : 亦已兮一

九章篇『故衆口其蝶金兮』

晉語四『怨其多矣。 國語周語二「儉其能足用矣。

書皋陶謨篇『天工人其代之**」**

酒語篇『盡執拘以歸于周予其殺』 堯與篇『浩浩滔天下民其咨』。

洪範篇『臣之有作福作威玉食其害于而家凶于而國。

又『是之謂大同身其康强子孫其逢」「豐」・: 牧誓篇『稱爾戈比爾干立爾矛子其皆

静維清篇 金縢篇『爾之許我我其以壁與珪歸俟爾命爾不許我我乃屏壁與珪』「則」也· 「假以溢我我其收之。

四〇四

賓之初筵篇『錫爾純嘏子孫其湛』眼 福也·

呂氏 存 秋 (決勝篇) 一戰 而 :勝者戰其F (勇者也) 戰而**北者戰其怯者也**」

下賢篇『放賢主之畜人也不肯受質者其禮之.

吳越春秋夫差內傳『齊為疾其疥耳越之為病乃心腹也』

字或作「期」

荀子禮論篇『足以別吉凶明貴賤親疏之節期止矣』[斯]之誤・失之・荀子禮論篇『足以別吉凶明貴賤親疏之節期止矣』[斯]之誤・失之誤。] 王先謙謂 [期] 爲

其」循「又」也之部是韻字・

成三年『王送知罄曰「子其怨我乎」對曰「二國治戎臣不才不勝其任以爲俘馘, 左傳傳二十三年『其波及晉國者事之詞・ 」 君之餘也其何以報君」晉語作「又何以報 執 事

以愛

鼓使歸卽戮君之惠也臣實不才又誰敢怨」王曰「然則德我乎」對曰「二國圖其社稷而求,

其民各懲其忿以相宥也兩釋與囚以成其好二 國有好臣不與及其誰敢德』誰敢」爲互文:

書呂刑篇『 今爾 何監 非時伯夷播刑之迪 者・古人語急省去也・「迪」下當有「乎」字・無之 其今爾何懲」 **は程詞謂「其」為「其」・「又」也・程**

古书虚字集釋 卷五 其 期 綦 己 館

四〇五

四〇六

易離九四『突如其來如』鄭注)「如」皆則「焉」・「鬼」・「鬼」・「鬼」・「鬼」・「鬼」・「鬼」・「鬼」・「鬼」・「鬼」・(見

其一猶一且一也「其」,互見且字條,

爲「尙且」之義

楚辭離騷『覽椒蘭其若茲兮又況揭車與江 雕。

史記楚世家『陳軫曰「其有貴於此者乎」昭陽曰「今尹」」

左傳文十七年『畏首畏尾身其餘幾』

國語晉語四『今將婚媾以從案「若」也・受好以愛之聽從以德之懼其未可也又何疑焉」。

列子力命篇『天其弗識 人 初 能 覺 』而況於人乎』 文例同此? 易乾文書曰:『天且弗達

書皋陶謨篇「 知人則 哲惟帝其難之』訓「惟」字爲嚴聲・失之・哲惟帝其難之』訓「惟」與「雖」同・程傳釋調

爲「又且」之義

左傳昭三年『豈唯寡君舉羣臣實受其即[與]·其自唐叔以下實寵嘉之』即[且]·左傳昭三年『豈唯寡君舉羣臣實受其即[與]讀為。

國語為語『豈唯寒君與二三臣實受君賜其周公太公及百辟神祇實永嘉而賴之」

其」循「必」也。

左 傳襄二十三年『其然傳釋詞訓『其』為 者」·失之·將具敵車而行』

襄二十六年『 若日拜君之勤鄭國微君之惠楚師其猶在敝邑之城下則[必]·其可』也·殆

論語子路篇: 冉子退朝子曰「何晏也」對曰「 有政」子曰「其事也。

墨子節葬籍『上稽之堯舜禹湯文武之道而政逆之「正」・下稽之桀紂幽厲之事猶合節也若以。 =

此觀則厚葬人喪其非舉王之道也』

風 俗通義恠 神篇『晏子朝公曰「吾夢與二日嗣寡人不勝我其死也」曰:『公夢與二日國・不勝・注:。 。 「其死」即「必死」・下文『晏子

其」猶「所」 是其私也・恐必死也し・

國語楚語下了不獨其為一所為也!・一猶一所」也[其]·互見所,字條·

孟子離婁符『其妻問所與飲食者則盡富貴也……問其與飲食者盡富貴也』所」也,

古書虚字集釋 卷五 jt. 期 薪 근 ŶB.

四〇八

淮南子主術篇: _ 所持 甚小其任甚大』從讀書雜志校改: 文子作「所任甚大」,。 一 要 男 事 者 治

呂氏春秋重己篇『不察所召而察其召之者。

此上三例皆「其」與「所」 為 互 文。

荀子强國篇『故曰「 佚而治約而詳不煩而功治之至也」秦類之矣雖然則有其觀矣」「勉」也·

也・下「矣」字訓「焉」・「慍」・「腮」・「懼」

丁其 猶「乃」 世訓見經傳

會洪範篇『使羞其行而邦其昌』 訓下乃共・字

湯誓篇「今女其日夏罪其如台」如台」·女與此同· 高宗形日篇·『乃日其

詩七月篇『八月其**穫**

叉: 「二之日 其。 同。

禮記 月令篇: 五五 者備 當, 上 帝 其。饗。 __

國語晉語「 喪田不懲禍飢其與。。

此上六例並見經傳釋詞引。

其一猶「有」也完那種與字、

史記武帝紀『而公孫卿之候神者猾以大人跡爲解無其效』封禪書作『無有效』.

韓詩外傳五『天子居廣度之下帷帳之內旃茵之上被躐爲視不出閫莽然而知天下者以其賢左

右也」新序雜事篇作『以有賢左右也』

淮南子人間篇『今霜降而樹穀冰泮而求穫欲其食則難矣』。

易大壯初九『「壯于趾征凶有孚」象曰「壯于趾其孚、窮也」變文以避復耳・

其」猶「亦」也「其」・五見亦」字條・

曹盤庚篇『茲予大享于先王爾祖其從與享之』

荀子修身篇『人有此三行雖有大過飲見事經平職・天其不遂乎』「矣」也・

其」猶「夫」也

韓詩外傳三『今其仁義之陵遲久矣能謂民無踰乎』 bi· 使 荀子宥坐篇作『今夫世之陵遲亦

古書虛字集釋 卷五 其期 綦己 配

四〇九

久矣」

列子 楊朱篇『君見其 收羊 者平』 不見夫江南之樹乎』·文例同此·『H

尸子『閔子騫肥子貢旦一何肥也」子騫曰「吾出見其美車馬則欲之·····

孟子梁惠王篇『其如是孰能织之』是:文義同此・孟子梁惠王篇『其如是孰能织之』論語季氏篇『夫如

一爲「是」字之義

「其」猶「爲」也許等

史記廿茂傳『卿明知其不如文信侯專歟』戰國策秦策「其」作「爲」。

左傳桓十年『匹夫無罪懷壁其罪』三國志文昭甄皇后傳作『匹夫無罪懷寶爲罪。

漢書 日劉歆傳: -且此數家之事皆先帝所親論今上所考視其古文舊書皆有徵驗」文選作了 為古

文舊書。

尸子發蒙篇『國之所以不治者三不知用賢此其一也雖知用賢求不能得此其二也雖得賢不能 :

盡此其三也」……此為二也一文例同此,

莊子外物篇『不知其誰氏之子』

知北遊篇『英其實知不以放自持』

左傳僖二十八年『君子謂文公其能刑矣』

文十七年『小國之事大國也德則其人也不德則其鹿也」

爲「作」字之義

國語齊語『此非欲戮之也欲用其政也』為政也:

史記龜策傳『是皆當時而行見事而彊乃能成其帝王』

爲「被」字之義

說苑立節篇「與我者受邑不與我者其烹」

一循「爲」也讀去聲:

邑・以敗其君之政者乎」・是其私也・「爲」・上文・『惡有不肖父爲不肖子爲封

古書ᇤ字集釋 卷五 其 期 茶己如

「其」猶「寧」也願詞也。

左傳哀六年『死一也其死響乎』國爾』・文例同此、《翁且黜乎、謂均是黜也)・左傳哀六年『死一也其死響乎』國爾』・文例同此、《翁且黜乎、謂均是黜乎、寧於故

其一猶「與」也。

一爲「及」字之義

周禮考工記弓人【利射侯其代』[其」作[與」·

易睽六三『見輿曳其牛掣』

一爲「如」字之義

「其」猶「可」也是美學等,

一爲「可以」之義

淮南子修務篇『戰而身死卒勝民全茲從睹于平議說劃:我社稷可以庶幾乎』戰國策楚策作「社

稷其爲社稷乎』「爲」、「以」也・

國語楚語『德其忘怨』

左傳定四年『會同難嘖有煩言莫之治也其使祝鮀從』

昭元年『吾儕偷食朝不及夕何其長也』也」,文義同此,

越絕書外傳紀地傳『此越未戰而服天以賜吳其逆天乎』越絕書外傳紀地傳『此越未戰而服天以賜吳其逆天乎』

爲期望之詞

書召誥篇『上下勤恤其日我受天命丕若有夏歷年式勿替有殷歷年』「式」乃」也·

爲命令之詞:

史記高祖紀『其以沛爲朕陽沐邑**』**

文帝紀『其除田之租稅』

爲命令無期望之詞

金縢篇『我其為王穆卜』 書堯典篇『我其武哉』「之」也·

古書虛字集釋 卷五 其 期 桊己

祖

古書虛字集釋 超

立政篇『我其克灼知厥若。

此上三 例皆對自己言。

皋陶 謨篇: --1 帝其。 念哉 」去矣」·文例同此·

洛誥篇『汝其敬融百辟享,

文侯之命篇『惟祖惟父其伊恤朕躬。

左傳隱三年『吾子其無廢先君之功』

字或作「綦」

莊子讓三篇『子綦爲我延之以三旌之位<u>|</u>

此上五例皆對 他 人言。

其」猶「乎」 也。

孟子雕婁篇『不明乎善不誠其身矣』禮記中庸篇作『不誠乎身矣』

文選離騷『何不改其此度也』一本作『何不改乎此度也』 奧[乎]同義‧是語助嗣‧可省去‧故楚辭文選離縣『何不改其此度』

改此度』・ 離騒作『何不

楚辭九章篇『終不反其故郷』王注云『其一作乎』

春秋繁露順命篇『其尊至德巍巍乎不可以加矣其卑至賤冥冥其無下矣』 奧 巍巍乎爲五文:

三國志吳志陸遜傅『今觀君氣陵其上意蔑乎下』為五文:

孟子滕文篇『恐其不能盡於大事』

左傳襄七年『今旣耕 愐 卜郊宜其不從也! 之謂我愛也! · 文例同此 · 孟于梁惠王篇 · 『宜乎百姓

莊二十六年『曷爲不言其滅』公羊傳莊十年『曷爲不言其獲』

哀三年『曷爲不言其復之』

」更端之詞也釋詞.

其,

書無逸篇『其在高宗·····其在祖甲』詞引·

穀梁傳莊二年『其一曰「君在而重之也」」

古書燈字集釋

卷五

共

期茶

己配

其一語助也釋詞· 大戴 禮夏 小 Ē 篇: 二 其。 傳 二 曰: 肆,

易小畜初 九『復自道, 何其。 咎?

曹康誥篇『未其 (有若女封之心。

詩君子于役篇『曷其有佸

左傳傳· + 五. 年『以德公 為怨, 秦不 其。 然。

國語 晉語「多一 丽 **驟立不其集亡**。 也集

此 上 五 例, 並見經 傳釋詞 引。

|孔子世家『孔子病子質請見孔子方負杖逍遙於門日「 賜汝來何其晚也」」禮記權弓篇

作『賜! 爾 來 何遲 也?!

呂氏 法言修身篇 春 |秋異| 用 篇: _ 以網 其 鬼神不敢以其犂也。 四 + 國。 __ 新 序 雑事篇作「 以網四十國。

將致孝乎

四一大

「其諸」猶「殆」也同一語是過助・

論語學而篇『其諸異乎人之求之與』 公羊傅桓六年『其諸以病桓與』

或作「其者」「苦」「諸」

法言重黎篇『其者未辯與?

其諸一猶「抑」也學過

哀十四年『 公羊傳僖二年『寢不安與其諸侍御有不在側者與』姬之不存側邪』,文例 則未知其爲是與其諸君子樂道堯舜之道與

同・抑・・

「其者」猶言「或者」也誤

漢書燕刺王傳『其者寡人之不及與意亦子大夫思有所不至乎』「抑」・

B 幾

古書 赋字集釋 卷五 其 期 綦 己 韶 豈 茂

四一七

「豊」反詰之詞也四輪道・

哈語憲問篇「豈其然乎」

字或作「幾」

莊子人閒世篇『不爲社者且幾有翦乎』「其」也·

荀子榮辱篇『幾不甚善矣哉』

大略篇「利夫秋毫害靡國家然且爲之幾爲知計哉」

此上三例並見經傳釋詞引。

孟子告子篇「其好惡與人相近也者幾希

易屯六三「卽鹿无虞惟入於林中「雖」・君子幾不如舍」蜀淮日「费・辞也」・失之・易屯六三「卽鹿无虞惟入於林中「雖」。君子幾不如舍」蜀淮日「费・辞也」・失之・

左傳昭十年『幾千人而國不亡 ?

昭十六年『幾爲之笑而不陵我』

「豈」「何」也沒[安」「爲」「曾」並與「何同義・

大戴禮曾子制言篇「君子進則能達退則能靜豈貴其能達哉貴其有功也豈貴其能靜哉貴其有

守 也。 L

韓詩外傳八『景公曰「先生之譽得無太甚乎」子貢曰「臣賜何敢甚言尚慮不及耳臣譽仲尼,

譬循 善豈其然善豈其然」「何以如此」・詩曰「綿綿翼翼不測不克」」『豈其然乎」異義・!。 ?!!!。 !! 「豈其然」・即 :: 兩手捧土而附泰山其無益亦明矣使臣不譽仲尼譬猶兩手把泰山無損亦明矣」景公曰:

「豈」循「而」也[豈與[其] 聲之轉·故[其]

吳越春秋句踐入臣外傳『越王曰「昔堯任舜禹而天下治雖有洪水之害不爲人災變異不及於

民 豈 況 於 人 君 乎 」

又『夫飛鳥在青雲之上尙欲繳徼矢以射之豈況近臥於華池集於庭廡乎』:

豈」猶「其」也^{翻見程傳}

爲命令無期望之詞與「可」同義

國語吳語『大王豊辱裁之』

古書處字集釋卷五 登 農

爲 「或」字之義顯言

莊子外物篇『君豈有斗升之水而活我哉?

戰國策秦策『子常宣言代我相秦豈有此乎

齊策『君豈受楚象牀哉

燕策『將軍**豈有意乎**

史記范睢傅『孺子豈有客習於相君者哉』

魏公子傳『我豈有所失哉? ___

李斯傳『丞相豈少我哉豈固 我哉?

此 上 八 (例並見經) 傳釋詞 引。

曹相 國世家『以爲豈少朕歟 <u>___</u>

墨子明鬼篇『豊女爲之與意鮑爲之與』「抑...

莊子列御寇篇『子豈治其痔邪何得車之多也』也:・文法同此:「意」亦則「或」・莊子列御寇篇『子豈治其痔邪何得車之多也』也:・文法同此:「意」亦則「或」・何情

爲「殆」字之義疑而有定

禮記曾子問篇『周公曰「豊不可」」問引:

漢書內吉傳『豊宜褒顯先便入侍』

史記蔡澤傳『豈道德之符而聖人所謂吉祥善事者與』有「非」字·未允· 東記蔡澤傳『豈道德之符而聖人所謂吉祥善事者與』有「非」字·未允·

「豈」猶「何必」也。

管晏列傳賀『語曰「將順其美匡救其惡故上下能相親也」豈管仲之謂乎」

禮記曾子問篇『曾子問曰「大功之喪可以與於饋奠之事乎」孔子曰「覺大功耳自斬衰以下,

皆可禮也」」與「豈大功耳」同義・

三 三 音 題 ・ 亦 距 鉅 巨 渠 遽

詎, 豊 也。 電見 ・政

古書虚字集釋 卷五 魱 距 銸 巨 渠 遮

字或作「巨」

漢書高帝紀『沛公不先破關中公互能入乎』豈敢入乎」:

字叉或作「渠」

孫寶傳『掾部渠有其人乎』曰記・豈也』・

荀子王制篇『豈渠得免夫累乎』複語:

史記張儀傳『且蘇君在儀寧渠能乎』则『堂』・

字叉或作「鉅」

荀子正論篇『是豈鉅知見侮之爲不辱哉』

字叉或作「濾」

國語吳語『此志也豈邈忘於諸侯之耳乎』

呂氏春秋具備篇『豊遠必哉』

豊渠」「豊鉅」「豊遠」並即「豊詎」此上七例並見經傳釋詞引。

詎_「何」 一也寫字頤注 ・物論

莊子齊物論篇『 庸証。 知吾所謂知之非不知邪庸詎知吾所謂不知之非知邪」则何]•

字或作「遽

淮南子齊俗篇『庸遐知世之所自者乎』「庸龍 同一・典

人間篇『此何遂不能爲福乎』「速」亦「何」也

墨子公孟篇『 雖子不得福吾言何遠不善而鬼神何遠不明」

史記鄭世家「 往何遠必辱? <u>__</u>

戰國策秦策! 君其武焉奚邀叱也! 訓の何・

字叉或作

史記陸賈傅『何晁不若漢』漢書作『何遠不若漢』

字叉或作「距

韓 非子難 粒四篇: 「衞奚距然哉? 一門何」・

古書虛字集釋 卷五 詎 距 鉅 巨 渠 遮

此上八例並見經傳釋詞引。

按「詎」字之「豈」「何」二訓在經傳釋詞爲一條實屬含混意義有別,茲故析之。

國語晉語『詎非聖人必偏而後可』

詎」猶「其」也學之轉:」

爲「抑」字之義調學之

列子周穆王篇『若將是夢見薪者之得鹿邪**距有薪者邪」**?

一爲「殆」字之義

字或作「鉅」 戰國策楚策一「今王以用之於越矣」已,而忘之於秦臣以爲王鉅速忘矣」

遽 詎

四二四

左傳傳二十四年『僕人以告公遠見之』「遠」 「疾」也。识明為

字或作「詎」

列子黃帝篇『范氏之黨以爲偶然未詎怪也」

【暨 既 幾】

置」「與」也。

書君奭篇『予往暨汝奭其濟』

暨」「及」 也雅·爾

字或作「旣」

古書虛字集釋

卷五

遊詎豎旣幾

周禮地官閱師『旣比則讀法』故書作『豎比則讀法』也‧說見鄭注‧

四三五

國語魯語『旣其葬也焚煙徹于上』平議:

字又或作「幾」按「幾與既」通·故亦與「豐」通・

左傳襄二十八年『楚不幾十年未能恤諸侯也』

秦 期 其 巷

「泰」「極」也色·耳欲蒸學」·楊注·至也。

荀子君子篇『刑罰綦省而威行如流政令致明而化易如神』「至」也:

字或作「期」

荀子正論篇『期臭味』當作養」:

莊子知北遊篇『期而後可』

字叉或作「其_

韓詩外傳三『今汝衣服其盛顏色充滿』「甚」亦「極」也:「至」也:韓詩外傳三『今汝衣服其盛顏色充滿』「甚或雜言篇作『衣服甚盛」。

墨子耕柱篇『人之其不君子者』

兼愛篇下『故約食爲其難爲也緣後爲」

秦一一至一也「及」也就然及至之義: 尚同篇上『上以此為賞劉其明察以審信』孫前讓以「其」爲「甚」·失之· 申篇「其」作「甚」·字異義同·

荀子宥坐篇『綦三年而百姓往矣』

字或作「碁」

議兵篇『已廿三年然後民可信也』

字叉或作「期」

韓詩外傳五「比朔三年果有越裳氏重九譯而至」及三年」之「比及」・

古書追字集釋

卷五

¥

勸

競 一猶「綦」也「極」也皆一聲之轉也。

韓詩外傳四『是以刑罰競消而威行如流』「竟」古字通用:《逸周書史配解篇:「竟進爭權」・是借「竟」韓詩外傳四『是以刑罰競消而威行如流」・文義同此・按「說」

為與

一競「爲「竟」),故「竟」爲「終極」之義,「競」亦爲「極至」之義,競」,文于微明篇,『愛一號,散無競,總一管,謂之心』,是借

¬ 競, 詩十月之交篇『職競由人』告』・下皆同此・」 一並」也王逸注・「皆」也

桑柔篇『職競用力』

左傳襄八年引詩『職競作羅』「憂」也·

僅 斸 謹 廑 懄 働

史記秦本紀『僅以身免』「僅」「但」也。

字或作「謹」

墨子辭過篇『宮牆之高足以別男女之禮謹此則止』

尚書大傳二『我欲盡智得情者千人而吾謹得三人焉』 。

字叉或作「懄」

賈子益壤篇『今淮陽之比大諸侯勸過黑子之比於面耳』

字叉或作「廑」

漢書賈誼傳『諸公幸者乃為中涓其次廑得舍人』

「僅」猶「少」也。

字或作「斸」 詩行葦篇毛傳『蓋僅有存焉』禮記射義篇作『蓋斷有存者』

古书虚字集釋卷五 一位 断 謹 廑 协 動

四二九

及

字叉或作「懄

賈子時變篇「其不同禽獸働焉耳」

及

「及」「與」也雅· 「與」也雅·

「及」「至」也。

左傳莊二十二年『及陳之初亡也陳桓子始大於齊其後亡也成子得政』

「及」猶言「至於」也。

法言問道篇『老子之言道德吾有取焉耳及搥提仁義絕滅禮學吾無取焉耳』:

史記梁孝王世家『故曰不通經術知古今之大體不可以爲三公及左右近臣少見之人如從管中史記梁孝王世家:

四三〇

親天也し

禮記中庸篇『今夫天斯昭昭之多及其無窮也日月星辰繁焉萬物覆焉』廣大・……及其不測」・義

「及」猶「乘」

史記高刑紀『及其鋒而試之可以有大功』辨略·

及一猶「以」也「及」前以一下以一字條中

尚書大傳二『高宗有親喪居廬三年然未嘗言國事而天下無背叛之心者何也及其爲太子之時,

盡以知天下人民之所好惡「巴」・是以雖不言國事也知天下無背叛之心」。

「及」猶「若」 世。調見經傳

一爲「若或」之義觀談之

管子大匡篇『臣聞齊君惕而亟驕雖得賢庸必能用之乎「何」也‧及齊君之能用之也管子之事濟

也」訓奏」・

古書虛字集釋 卷五 及

四三二

老子『吾所以有大患者爲吾有身及吾無身吾有何患』牟子理惑論引「及」作「若」:

又『取天下常以無事及其有事不足以取天下』:

此上三例並見經傳釋詞引。

春秋繁露竹林篇『曾子曰「辱若可避避之而已及其不可避君子 視死若歸」

爲「若似」 _ 之 義:

管子大匡篇『豈及彭生而能止之哉』如也」・『及・

言

言」猶「然」也。

爲狀事之詞

詩大東篇『瞪言顧之』作『晚然顧之』·

簡兮篇『公言錫霄』「子」也·「爵」酒器·

爲轉語之詞:

戰國策魏策『楚雖有富大之名其實空虛, 其卒雖衆多 言 而輕走易北 不敢堅戰 』史記張儀傳

「言而」作「然而」

一爲狀事之詞:

詩二子乘舟篇『願言思子』思貌·

爲助語之詞:

詩柏舟篇『靜言思之』

終風篇『寤言不寐願言則懷』「傷」·

楚狹篇『備言燕私』

易繋解傳『德言盛禮言恭』

為語已之詞:

易師六五『田有禽利執言』語解也』:

淮南子齊俗篇『故易曰「履霜堅冰至」聖人之見終始微言』「焉」同・非「矣」之課・孫說失之・淮南子齊俗篇『故易曰「履霜堅冰至」聖人之見終始微言』「焉」同・非「矣」之課・孫說失之・

言」猶「於」也「意訓於」強

孟子公孫丑篇『宰我子貢善爲說解[於]也:冉牛閔子顏淵善言德行』

詩桑柔篇『瞻言百里』

曹大誥篇「朕言艱日思。

顧命篇『恐不獲誓言嗣。。

墨子所染篇『子墨子言見染絲者而 嘆日:

言」循「乃」也是到了乃上強

詩載見篇『永言保之』保之」・文例同此・

文王篇『永言配命,

為 覃篇 『言告師氏言告言歸」

草蟲篇『言采其族』老放此・漢廣篇『言刈其楚』

載馳篇『喜至于漕。

氓篇『言旣途矣』

伯兮篇『言樹之背』

小戎篇『言念君子』

七月篇『言私其豵』

黃鳥篇『言旋言歸』庭燎篇『言觀其族』

楚茨篇『言抽其棘』 我行其野篇『言就爾B

卷五

言

『言就網居……言歸斯復。

四三五

古書卼字集釋 卷五 言

都 人士篇 『言從之邁』悅」也·謂乃以之不. 。「從」·「以」也·「邁

采綠篇: 『言裝其弓』

抑篇: 「言稱之絲·····言示之事·····言 提其耳。

有客篇『言授之繁』

戰國策秦策三『則王之所求於韓者言 可得也」

言一猶一則一也一為訓則也

詩定之方中篇『星言夙駕』「晴」同・ 左傳僖九年『旣盟之後言歸于好』篇同·

史記 黥布 傳『言此三人者同功一體之人也』:

書君 奭篇: 『汝有合哉言曰在 時二 人。

康誥篇 : 考也: 紹聞衣德句 王 曰: 嗚呼封汝念哉今民 言往求于殷先哲王用保义民』曰:「文本作聞」・是闻」與「文」通:「文」訓「典」。 「聞」讀爲「文」:「典法」也・(孝經:『言不文』・釋文 將 在 「祗適乃文考也・「將」・「行」也・「適」與「述」同・言今勉行在、武適乃文考也・「將」・「行」也・「適」與「述」同・言今勉行在

四三大

之意義相衡接也,先儒以「紹開衣德言」為句,並謂其屬上「転適乃文考」為義,曾失之,德」之「德」,可證「紹開衣德」四字當讀斷,亦可證「紹開衣德」與「言往數求於殷先哲王」 殷法 |先哲王也・下文『別求聞由古先哲王・…… 我時貨艦般先哲王德・用康乂民』・「聞」即「紹聞」之「聞」・「鶴」即「衣」・見周語拿注)・「衣」讀爲「依」・(說本經義述聞)・「言」・「則」也・「敷」・「徧」 也・ 謂紹法依徳・則往徧求予

了言」稍一而」也「是」訓「而」也· 通過「而」也

詩彤号篇『受言載之』受而載之』,文例同此,

泉水篇『燙車言邁』

又『恕言出遊』

雞 鴻篇 戈言。 加之與子宜之宜言飲酒與子偕老』肴也」:

車攻篇『怨言徂東』

小明篇『與言出宿』

按「言」字訓「乃」訓「而」說本胡適文存言字解:有駁篇『醉言舞』

古書虛字集釋 卷五 言

四三七

遇」猶「得」 也。

韓詩外傳五『獨明夫先王所以遇之者所以失之者 知國之安危臧否 若別白 黑』荀子君道 篇:

左傳襄三年『逡遇心疾而卒』「遇」作「得」

(業)

四三八

仲尼弟子傳『吾兵業已加魯矣』複語· 中尼弟子傳『吾兵業已加魯矣』複語·

劉敬叔孫通傳『 二十餘萬兵已業行」是複語・

齊悼惠王世家『 頃之諸呂有一人醉亡酒章追拔劍斬之而還報曰「有亡酒一人臣謹行法斬之,

太后左右皆大驚業已許其軍法無以罪 也」風俗通義恠神篇作『業許之矣』言『梁已』同義・

宜

「宜」「當」也。

詩文王篇『宜鑒于殷』禮記大學引「宜」作「儀字或作 「儀」

宜」猶「殆」 七是疑而有定之詞・
と記見經傳釋詞・按「殆

孟子滕文篇『不見路侯宜若小然』 詞兒經傳釋

卷五 業 宜 儘

四三九

「宜」助語詞也 離記 種詞:

詩螽斯篇『宜爾子孫振振兮』嗣引:

宜」猶「乃」也。

吕氏春秋樂成篇『中山之不取也奚宜二篋哉一寸而亡矣』是高君訓宜爲7万世。

詩小宛篇『哀我填寡宜岸宜獄』「助語詞」·未允·詩小宛篇『哀我填寡宜岸宜獄』「助語詞」·未允·

淮南子精神篇『推其志非能不貪富貴之位, 從讀書雑志說補・此「不」字舊脱・茲 不便侈靡之樂特宜迫性閉欲以義

自防也。

新序雜事篇『故有國蓄民施政教者宜厚之而可耳』

危

一危」「殆」也有定之詞·

四四〇

漢書宣元六王傳『我危得之』我殆得為天子也」・漢書宣元六王傳『我危得之』我始得為天子也」・

外戚趙后傳『今兒安在危殺之矣』

愁」「且」也。

左傳哀十六年『不愁遺一老』且也』「愁・

昭二十八年『鈞將皆死愁使吾君聞勝與滅之死也以爲快』釋嗣:

俄 睋 蛾

俄, 須臾之頃也。

古書處字集釋 卷五 危 憖 俄 睵

蛾

公羊傳桓二年『俄而可以爲其有矣』

字或作

定八年『戦而日「彼哉彼哉」』釋詞・既見經傳或作「賊」

字叉或作「蛾」

漢書外服傳『始爲少使蛾而大幸』無費之頃」·「蛾

偶

「偶」猶「偶然」也謂非「常」也。

文選與山巨源絕交書『偶與足下相知耳』謂偶然」.

偶 一種「適」 也調會適

論衡們會篇『二龍之祇當效周厲適開櫝褒姒當喪周國幽王秉性偶惡』也·互文耳· 論例們會篇『二龍之祇當效周厲適開櫝褒姒當喪周國幽王秉性偶惡』也·互文耳·

四四二

又『若夫物事相遭吉凶偶適相遇非氣威也』

又「自然之道適偶之數」:

偶適」「適偶」皆複語「偶」亦「適」也。

雅

雅」猶「素」 七「素」為魚部量韻字・與

史記高祖紀『雅齒雅不欲屬沛公』

「雅」猶「極」 一世訓見助字

後漢書章德寶后紀『肅宗先聞后有才色數以訊諸姬傅及見雅以爲善』。。

我

古書虛字集釋 卷五

雅 我

四四三

좜

我」猶「何」

詩蜉蝣篇『於我歸處』乎』·是即凱我爲何人

鶉之奔奔篇『人之無良我以爲兄』

又『人之無良我以爲君?

我 」猶「其」也國文法:

詩小戎篇『駕我騏婦』

株林篇『駕我乘馬說于株野乘我乘駒朝食于株』:

我」訓「其」皆指事之詞。

我」猶「乃」 詩信南山篇『我疆我理』理』,文義同此,」 循「乃」也也,「我」「宜」古同音,」 循「方」也「我」」「宜」古同音,

吾

四四 四

吾」猶一其」也圖文法:

漢書王貢兩鮑傳『 君 平人 筮於 成都 市以爲卜筮者賤業而可以惠衆人有邪惡非正之問各因,

導之以善從吾言者已過年矣」

此上二例並見高等國文法引。

韓詩外傳九『子路曰「 有 人於斯夙興夜寐手足胼胝而 面目黧黑樹藝五穀以事 英 親, 而 無孝子

之名者何也] 孔子曰『吾窩者身未敬邪[或]d·色不順邪辭不遜邪? <u>_</u>

禮記中庸篇: 寅谌,(按孔子雖是聖人,而常自以爲不及君子,故瞥曰,『躬行君子,則吾未之有得』),能已矣」者,即「俛爲日有孳孳,斃而後已」之意也,先儒皆以中庸此文爲貶君子之辭,其誤 足行 也 ·雖 | 佛爲日有孳孳・斃而後已』・(鄭注日・『中道而廢、其亦弗能已止也・表記篇・『 -君子遵道 而行半途。而廢吾弗能已矣。」止也:「吾」・「其」也、指君子言:言君子之遊道,,句 「廢・喩力極體頓不能復行則止也」)・奥此文・意義相同・所謂「吾弗」詩之好仁如此・郷道而行(中道而鑒・忘身之老也・不知年數之不 而则

一語一百

古書 虚字集 釋卷五 語子

否

語」猶「謂」 也。

戰國策齊策三『齊人聞之曰「孟嘗君可語善爲事矣轉禍爲功」」

字或作「吾」

孟子 雅婁篇『吾君不能謂之 賊』『精其君不能者·賊其君者也』·激義與此詞。 『吾君』讀爲「語君」·即是「謂君」·公孫丑篇

四四六

古書虛字集釋卷六

得

利

「得」「獲」也。

孟子盡心篇『求則得之』

得」猶「能」也。

韓詩外傳二『不能勤苦焉得行此……不恬貧窮[安]也:焉能行此』也:互文耳:

牟子理惑論引老子『天地尚不得久而況於人乎』老子二十三章「得」作「能」

大戴禮衞將軍文子篇『賜有逮及焉有未逮及焉[焉]皆訓[者],不得辯知也』[徧]同,大戴禮衞將軍文子篇『賜有逮及焉有未逮及焉[焉]皆訓[者],不得辯知也』[徧]同,

戰國策寨策三『穰侯十攻魏而不得傷者非寨弱而魏强也其所攻者地也』

古書虛字集釋

得

四四

四四七

得, 一猶「可」也。

春秋繁露保位權篇『制之者制其所好是以勸賞而不得多也制其所惡是以畏罰而不可過也」。

「町」也・互文耳・「畏」同「威」・「得」亦

得し 一循 「待」 也是領字・故「得」可則「待」・

「待」「哉」作「乎」

都

都」「於」 上 雅見 ·爾

史記司馬相如傳『終都攸卒』嗣引·

都」「皆」也。

四四八

論衡謝短篇「儒不能都曉古今」

「都」歎美之詞也。

曹皋陶謨篇『皋陶曰「都」」釋詞:

【當 尚 嘗 常】

當」「宜」也。

史記齊悼惠王世家『當斷不斷』

字或作「尙」

詩抑篇『相在爾室提示之詞· 尚不愧於屋漏』

當」猶「定」也「鹽獎」「必」也。

户虎通考點篇『既能進善當能戒惡」。 。

古書處字集釋卷六 當 尚 皆 常

四四九

史記信陵君傳『往恐不聽必當殺之』「必定」· 「必當」即

「當」猶「方」也。

孟子公孫丑篇『當在宋也』一爲「正」字之義「正當」

爲「方纔」之義

三國志魏志華佗傳『佗久遠家思歸因曰「當得家書方欲暫還耳」」「正」也・

當」猶「將」也轉動·

機禮特性饋食禮記『佐食當事則戶外南面』未至」・見經傳釋罰引・

戰國策趙策一「知伯曰「兵著晉陽三年矣旦暮當拔之而饗其利」」韓非子十過篇「當」作

將。

又『居頃之襄子當出」

吳越春秋句踐入臣外傳『越將有福吳當有憂』也·互來耳·

當」指「於」也の大下的故及及乎」。韓非子忠孝篇作『當是時也」。

漢書董仲舒傳『當虞氏之樂莫盛於韶於周莫盛於勺」也, 互文耳,

國語鄭語『當周未有』

說苑政理篇『君子之盗豈必當財幣乎」 『記録語』「1) 『 7 』 。

「當」猶「在」也。

墨子尙賢篇下『當王公大人之於此也』

七患篇『患之所當國必有殃』:

「當」猶「對」也「聲樂」謂對於也。 辭過篇『君寶欲天下之治而惡其亂也當爲宮室不可不節」★飲不可不節」「當」皆數「在」。 幹過篇『君寶欲天下之治而惡其亂也當爲宮室不可不節」★飲不可不節:……當歸

墨子天志下篇『當天之志而不可不察也』

非攻篇中『故當攻戰而不可不非』

明鬼篇『故當鬼神之有與無之別』

古書 虛字集科 卷六 當 尚 管 常

四五一

非命篇中『當夫有命者不可不疾非也』訓「於」・說詳「夫」字條)・篇下作『當若有命者之言不可非命篇中』。

不强 非也』若」亦「對於」也・

非樂篇『當在樂之爲物將不可不禁而止也』「對於」也:

明鬼篇『當若鬼神之有也將不可不奪朋也』

兼 愛篇下『當若兼之不可不行也』

當若」皆即一對於」見者字條:墨子書言「當若」者皆做此。

字或作「嘗」

明鬼篇『嘗若鬼神之能賞賢如罰暴也』若同·亦謂「對於」也·問鬼篇。。「如」·「而」也·「醬者」與「當

當一猶一如一 也釋詞·「似」 也。

墨子明鬼篇『燕之有祖當齊之有社稷宋之有桑林楚之有雲夢也』詞引・

國有此五者毋幸必亡[無].中山與齊皆當此 』

當一猶「爲一也謂為人」曰「當人」是也一一作」 也。

說苑權謀篇

__

孟子雕婁篇『養生者不足以當大事惟送死可以當大事』為大事」‧是趙氏訓[當]為[爲]‧孟子雕婁篇『養生者不足以當大事惟送死可以當大事』為大事』‧是趙氏訓[當]為[爲]於

新序禅事篇三『 是使布衣不得當枯木朽株之資也』史記鄒陽傳一當一作「爲。

淮南子氾論篇了二君處彊大勢位修仁義之道湯武救罪之不給何謀之敢當

平議已駁正之矣・惟平議謂「當」爲「蓄」之誤・亦失之・得其解而妄攺・讀書模志謂作「慮」者是・未爲允當・諸子

論語衞靈篇『當仁不讓於師』 。

子張篇『子夏之門人小子當洒掃應對進退則可矣』

史記陳丞相世家贊『 非知 謀孰能當此者乎

字或作「常

漢書東方朔傳『安敢望常侍郎乎』

當」猶「爲」也「是」 也。

呂氏春秋達鬱篇『孰當可而鎖「以」也,其惟士乎」

當一猶「其」 也。

古書處字集釋 卷六 當 倘

四五三

孟子雕婁篇『言人之不善當如後患何』石何』,文例同此,.

史記留侯世家『橫絕四海當可柰何?

漢書匈奴傳『當從塞內還之邪從塞外還之邪」

字 或作「尙

漢書賢田灌韓傳『 非大王立尚。 誰立哉!!

當」猶「受」 也。

莊子讓王篇『屠羊說曰「大王失國非臣之罪故不敢伏其誅大王反國非臣之功故不敢當。

韓詩外傳八「當」作「受」

說苑正諫篇『子胥曰「嗟乎藏臣宰嚭爲亂王顧反誅我「顯」亦「反」也· :,「顧反」是複語· 弟爭立我以死爭之於先王幾不得立若旣立欲分吳國予我我顧不敢當然一二然過也也 我令若父霸又若立時諸

敢受也·史記越世家作了 曾我則不 若初欲分吳國半予我我不受已』「也」也,亦

後

管子心術篇下『慕選者所以等事也』「懦弱」也・

等」猶「何」 也。

後漢書禰衡傳『死公云等道』也』・(武見新方言)・後漢書禰衡傳『死公云等道』也』・(武見新方言)・

來 切, 粵 海按「等」與「台」音近「台」訓「何」故「 」六胎・「等」古讀「多改切」五海・「土來」與一多改」音最近也「等」從「寺」擎,見廣韻十 等 亦訓一何」「台」音「飴」亦讀「土

寺」聲字多與「台」聲字通用如「齝」亦作「鰣」「鰣」・見記者・ 皆其例然則「等」之與「台」不獨音近且聲類亦相通矣。 「殆」與「待」通「待」

古書虚字集釋 卷六

鼎

同音通用・故知「鼎」與「正」古皆讀者「丁」(從「正」聲之「定」字・是其例)・左傳哀十七年之『寬尾』・即詩汝墳篇之『赬尾』・是「正」貞「丁」三字・古亦皆「『上」「竹」「貞」「丁」三字・古皆同音通用・(貞・古讀者丁)・『

漢書賈誼傳『天子春秋鼎盛』按「方」亦「正」也・漢書賈誼傳『天子春秋鼎盛』按「方」亦「正」也・

鼎」猶「將」 漢書匡衡傳『 11(管子揆度篇]當壯者遣之』・「當壯」即「丁壯」・說見經義述聞り「鼎」訓「將」・循「當」訓「將」也・「鼎」與「當」擊相轉・強「丁壯」 無說詩「舞」。 |医||北水||『言医且來也』・按「且」亦「將」也・

軍 坦

單, 一盡 一也,見詩天保

四五六

國語魯語「堯能單均刑法以儀民」

字或作一戰 一 故寒 單通·

書多方篇『我惟時其戰要囚之』「其」·乃也·言我於是乃盡幽囚之也·

字又或作「出」也、(老子、『禪然而善謀』、河上本「禪」作「墠」、舜會本、孫登本「釋」皆作「坦」、是坦」「墠」字又或作「坦」「坦」」按「坦」與「單」通、猶「單」與「但」通、(武見「但」字條、「坦」「但」同從「旦」聲)、「坦」與「墠」通 (見説文)・「坦」亦訓「大」・(見文選四京賦酶注・按「坦」訓「大」爲「單」之借字)・「繟」三字通・按「旦」「單」□撃之字・古多通用)・「坦」與「單」既通・故「單」訓「大」・

論語述而篇『君子坦蕩蕩小人長戚戚**』**

【儻 黨】

儻」猶「或」也 釋詞 也 理問題 經傳

莊子籍性篇『物之儻來寄也』

出本作黨。

。 釋文云:『篇

字或作「黨」

古書虛字集釋 卷六 儻

荀子天論篇『怪星之黨見』

史記淮陰侯傳『恐其黨不就』 漢書伍被傳『黨可以徼幸』

此上四例並見經傳釋詞引。

獨」「單」也

論語顏淵篇『人皆有兄弟我獨無」

獨」「但」也。

說苑換言篇『不遇時者衆矣豈獨邱哉」于也·**九**

一猶「爲」也。

四五人

荀子王制篇『故周公南征而北國怨曰「何獨不來也」東征而西國怨曰「何獨後我也」」 元子

我」,文例同此,「何獨」「奚爲」皆即「何爲」。亦皆猶實「何故」也,梁惠王篇 『東面而征,而夷怨,南面而征,北狄怨,曰,「奚爲後

孟子告子篇『何獨至於人而疑之』

說苑善說篇『雍門子周以琴見乎孟嘗君孟嘗君曰「先生鼓琴亦能命文悲乎」雍門子周曰:

臣何獨能令足下悲哉」

獨」猶「其」也。

孟子滕文篇『一薛居州獨如宋王何』予何』,文例同此,孟子滕文篇『一薛居州獨如宋王何』予何』,文例同此,

左傳宣四年『棄君之命獨誰受之』誰歸之」文例同·

列女傳魯義姑姊傳『子雖痛乎獨謂義何』也·「泰」也· 「如」

獨一猶一豈」也翻題

禮記樂記篇「且女獨未聞枚野之語乎」

古書處字集釋 卷六 獨

四五九

左傳襄二十六年『夫獨無族姻乎』「彼」也・

此上二例並見經 傳釋 詞

獨 一猶「何」也釋詞·

呂氏春秋必己篇『獨如嚮之人』嗣引:

論衡雷虛篇『物之飲食天不能知人之飲食天獨知之』

列女傳郃陽友娣傳『季兒曰「嘻獨今乃語我乎

淮南子道應篇『文侯喟然嘆曰「吾獨無豫讓以爲臣乎」 『

漢書司馬相如傳「朕獨不得與此人同時哉」

獨一猶「猶」也。

爲「猶尙」之義

說苑襍言篇『聖人獨見疑而況於賢者乎』

商君書農戰篇『雖有詩書鄉一束家一員獨無益於治也。

墨子兼愛篇下『然而天下之士非兼者之言也獨未已也』作獨」,茲作「獨」,是從舊本學子兼愛篇下『然而天下之士非兼者之言也獨未已也』作獨」,在「獨」作「獨」,

楚辭離騷篇『覽察草木其獨未得兮豈珵美之能當』一作獨』,茲從作[獨]之本,楚辭離騷篇『覽察草木其獨未得兮豈珵美之能當』一作獨』,茲從作[獨],王注云,『獨

一爲「猶似」之義

左思魏都賦『萬一譬焉亦獨犨麋之與子都培壤之與方壺也』謂「獨」為語助、失之、

獨一猶「定」也學之轉:

論衡藝增篇『夫賁光上書於漢漢爲今世增功益美猶過其實況上古帝王久遠賢人從後褒述失論衡藝增篇『夫賁光上書於漢漢爲今世增功益美猶過其實況上古帝王久遠賢人從後褒述失

實雕本獨已多矣」

獨」猶「乃」也

漢書東方朔傳『太公伊尹以如此「則」也:龍逢比干獨如彼」

戰國策趙策四『公之客獨有三罪』

國語楚語『其獨何力以待之』

古書虚字集釋

徒

•

孟子公孫丑篇『非徒無益而又害之』「徒」「但」也『非徒網鳥也』注:

「徒」「空」也。

左傳襄二十四年『齊師徒歸』空也」: 徒

「徒」猶「乃」也認題標

荀子子道篇『子路謂子買曰「吾以夫子爲無所不知夫子徒有所不知」』 司見經傳釋

韓非子外儲說左下篇『田子方望翟黃乘軒騎駕方以爲文侯也移車而避之則徒翟黃也』詮: 韓非子外儲說左下篇『田子方望翟黃乘軒騎駕方以爲文侯也移車而避之則徒翟黃也』詮: 韓見嗣

外儲說右上篇『孔子曰「由之野也吾以汝知之汝徒未及也」』于曰:「此非爾所及乎:顧謂顏回紀外儲說右上篇『孔子曰:由之野也吾以汝知之汝徒未及也」』于曰:「及」循「知」也:列子問穆王篇:『孔 也,「敢」,「能」也,「基」,一始」也),「及」字皆訓「知」,之」』,書洛誥篇,『王如弗敢及天基命定命』,(「如」,「以」

[殆 辭]

一始」疑而有定之詞也·與西周語章注目·「A

孟子雕婁篇『殆於不可』「是」也:

字或作「辛」等來營篇・「俾君子易辭」・「辭」爲「殆」之借

書大誥篇『天渠忱》解其考我民』「成」也·言天不可信·殆其成我民也·書大誥篇『天渠忱》解其考我民』「柴」·「不可」也·(說詳) 匪」字條)·「考」·

· 殆 _ 猶 「 將 」 也

論衡指瑞篇『祖乙曰「遠方君子殆有至者……遠方君子將有至者矣」』也·互文耳·論衡指瑞篇『祖乙曰「遠方君子殆有至者……遠方君子將有至者矣」』「殆」亦「將」

詩七月篇『女心傷悲殆及公子同歸』。

殆」猶「必」也 見呂氏春秋自知篇:『座

韓非子內儲說下篇『無極教宛曰「今尹甚傲而好兵子必謹敬先亟陳兵堂下及門庭」宛因爲

古書虛字集釋 卷六 殆 辭

四六四

之令尹往而大鷲曰「此何也」無極曰「君殆去之事未可知也」」做說:

莊子徐无鬼篇『君自此爲之則殆不成』 。

列女傳齊傷槐女傳『齊傷槐女者傷槐衍之女也名婧景公有所愛槐使人守之植木懸之下令曰:

犯槐 者刑傷槐 者死」於是衍醉而傷槐景公聞之曰「是先犯我令」使吏拘之且加罪焉婧。

懼, 爲老而見奔殆有說內之」「納」・至哉」「爲」也・晏子春秋諫篇「殆有說內之」作『是必有爲老而見奔。 .乃造於相晏子之門曰「賤妾不勝其欲願得備數於下」晏子聞之笑曰「嬰其 有淫色乎何

故令內之 』

【道導首】

道」猶「從」也器篇注:

韓 ·非子十過篇『有玄鶴二八道南方來』論衡紀妖篇作『從南方來』·

字或作「首」

禮記曾子問篇『今之祭者不首其義故誣於祭也』

道」猶「由」

管子制分篇『治者所道寓也』」 一猶 「由」 也^{異篇注:}

晏子春秋襍篇『奚道至於此乎』

呂氏春秋壅塞篇『 則過無道聞而善無自至矣』「由」也・

道 一猶「因」也。

呂氏春秋貴因篇『孔子道彌子瑕見釐夫人因也』鹽鐵論論儒篇作『孔子適衞因嬖臣彌子瑕:

以見衞夫人。

字或作「導」

晏子春秋諫篇『楚巫徼導裔款以見景公』。

道

古書虛字集釋 卷六 道導

首

四六五

一爲「終始」之「終」

曹君奭篇『其終出於不祥』今文作『道出於不祥』「終」也,

一爲「極盡」之義:

曹康諾篇『人有小罪非告乃惟終「凶」也)・「惡」也・與「會」字相對為義・「會」・「過」也「災」也・喪與篇書康諾篇『人有小罪非告乃惟終「俗》獨「凶」也・(洪範篇・「內短折」・馬融注曰・『凶・終也』・是「終」亦 大也)・「肆赦」是復語・皆「赦」也・「賊刑」亦復語・謂「殺」也・「告災肆赦・怙終賊刑」「終」字亦訓「凶惡」與「告災」相對爲義・(怙・ 自作不典式爾 · 「如此」也· 有

罪小乃不可不殺「却」・言雖其罪小・却不可不殺也・乃有大罪非終乃惟皆災過也・與上單首「告」同罪小乃不可不殺「却」;下「有」字訓「雖」・下「乃」字訓

適爾謂偶然如此・「属」也・ 旣道極厥辜時乃不可殺」首雖極盡厥即,此却不可殺也。 [旣]、「雖」也、「道極」只一義

【特待持恃】

特」猶「但」也。

漢書叔孫通傳『吾特戲耳』

字或作「持」

墨子非命篇『此持凶言之所自生而暴人者道也』「之」也・

戰國策燕策二「持臣非張孟談也」 韓詩外傳六「持以巧敏拜請畏事之」

字叉或作「恃」

左傳襄九年『我之不德[若]也·民將棄我豈唯鄭[但]也·若能休和遠人將至何恃於鄭』[乎]也·

但乎鄭至也・何意人且至・何

特」猶今人言「特別」也

後漢書陳忠傳『若有道之士對問高者宜垂省覽特遷一等以廣直言之路」監· 說見詞

特」猶今人言「特地」也。

史記季布傳『河東吾股肱郡故特召君耳』

字或作「待」

古善、虚字集釋卷六 特 待 持 特

四六七

漢書趙尹韓張兩王傅『延壽逐待用之』『待讀為特』

「特」猶「太」也等之博士」

越絕書荆平王内傳『今子大夫報寡人也特甚』

「特」循「乃」也也「特」時同從寺」等·

一爲「却」字之義

戰國策中山策『以臣所行多矣周流無所不通未嘗見人如中山陰姫者也不知者特以為神』

爲「纔」字之義

大戴禮子張問入官篇『故君子莅民不可以不知民之性達諸民之情[於]也,旣知其以生有習生」 「與」也,首既知其何性與何習也,然後民特從命也」之「以」訓「何」,「生」亦「性」也,「有」,然後民特從命也」

一爲「是」字之義:

荀子禮論篇『故學者固學爲聖人也「當」也·非特學爲無方之民也」

按「特」「持」「待」「恃」四字同從「寺」擊古皆通用莊子逍遙遊篇『彭祖乃今以久特

聞』崔譔本「特」作「待」史記張儀傅『夫待弱國之救忘强秦之禍』楚策「待」作「恃」,

儀禮公食大夫禮『左人待載』注曰『古文「待」爲「持」』韓詩外傳五『(堅强以待之』說

此皆「特」「待」「持」「恃」四字展轉相通之證也。 **苑善說篇「待」作「持」晏子春秋外篇『士者持祿游者養交」墨子七患篇作『仕者待祿。**

[但 亶 單]

但」「徒」也。

史記李斯傳『天子所以貴者但以聞**聲**』

字或作「亶」

春秋繁露煖燠孰多篇『空者**亶地而已不逮物也』**

字叉或作「單」

古書 虛字集釋卷六 但 重 單

四六九

莊子盜跖篇『單以反一日之無故而不可得也』與但同J· ・ 事常騰云:『單

「但」「特」也轉詞也。

三國志吳質傳『公幹有逸氣但未逾耳』

一但一命令之詞也。

漢書原涉傳『涉曰「但絜掃除沐浴待」』

「但」「空」也。

漢書陽憲王傳『未有但巳者也』

字或作「亶」

此上四例說皆見詞詮。

[第 弟]

一爲命令之詞:

史記張丞相傳『汝第往』

袁盎晁錯傳『君第去臣亦且亡避吾親君何惠?

字或作「弟」

鄭生陸賈傳『弟言之』 史記吳起傳『君弟重射臣能令君勝』且也」·

漢書司馬相如傳『弟俱如臨邛』史記「弟」作「第」且也」・

字或作「弟」一爲「姑且」之義:

史記五帝紀贊『顧弟弗深考』亦「且」也・

第」「使」也假令之詞也。

古書虛字集釋 卷六 第 弟

古書虛字集釋 卷六 脫 蜒

史記陳涉世家『藉第分毋斬』「藉第令」三字只一義, 宣假使」之謂也·安記陳涉世家『藉第分毋斬』「藉第令」三字只一義, 宣假使」之謂也·按

吳王濞傳『今大王與吳西鄉第**介**事成兩主分爭患乃始結』「假使」之間也, 亦

此上二例說並見詞詮。

脫

脱 | 猶「或」也。

三國志呂蒙傳『貧賤難可居脫誤有功富貴可致」

「誕」句中助詞也。詩生民篇『誕寅之隆巷』

書大誥篇『肆朕誕以爾東征』

此上二例說皆見經傳釋詞。 •

迭

帙

「迭」「代」也「更」也。

史記封禪書『軼興軼衰』 字或作 「軼」 ◎ ○ ○

古香遗字集科 卷六 法 数

迪

一迪 一循「用」 也轉詞:

書君奭篇。乃惟時昭文王勋也。「勳」、「輔相」也・「誓子奭篇」。乃惟時昭文王勋也」、「勵」該爲「韶」、開雅・『韶・ 油見冒』也・見經傳釋詞引・「勉」

「迪」猶「故」也申事之詞也。

王褒四子講德論引書『迪一人使四方』書君奭篇作『故一人有事於四方』之借字:

盤庚篇『茲子有亂政同位也・言若子有昏亂之官長同於厥血也・具乃貝玉乃祖乃父丕乃告我高后曰::: 作不刑于股孫」迪高后不乃崇降弗祥」獨口語言道纔」),經傳釋詢謂「迪」字爲發語詞,失之,作不刑于股孫」。

「迪」語助也_{科詞·}傳

立政篇『古之人迪惟有夏**』**

書酒語篇『又惟殷之迪諸臣惟工』则與J·

君與「結『迪」に前人光施于我冲子』「堂」之上聲·古音平上不分:「君與「結』」迪」に前人光施于我冲子」「沖」為「童」之借字·既文|沖] 動し動気

此上三例並見經傳釋詞引。

字 或作一道一音道,迪為豐野

君頭篇『我道惟寧王德延』馬本作我迪」·君頭篇『我道惟寧王德延』馬來作我連

逮

速」「及」也。

字或作「遝」

公羊傳『祖之所逮聞也』漢石經「遠」作「

禮記中庸篇『所以遠賤也』釋文『逮本又作逐公羊傳『祖之所遠聞也』漢石經「遠」作「逐

「逮」猶「僅」 也。

古書虚字集釋 卷六 逮 恶

漢書王莽傅『克身自約糴食逮給」辨略:

逮, 一語 助也。

左傳成十三年『昔遠我獻公及穆公相好』

字或作「遝」

以非子墨子曰 ……」本・競技節度

墨子非攻篇下「今逐夫好攻伐之君語助也,下文云,『則夫好攻伐之君』,「則夫」亦「乃彼」也。「予」,「乃」也,「夫」,「彼」也,「今逐夫」即「乃彼」,「逐」

又飾其說

乃 迺

一猶於是也

詩公劉篇『乃造其曹』

字或作「迺

24 七大

詩公劉篇『迺陟南岡』

乃」猶「然後」也「而後」也。

史記晉世家『重耳謂其妻曰「待我二十五年不來乃嫁」』左傳僖二十三年作『待我二十五年記書世家『重耳謂其妻曰「待我二十五年不來乃嫁」』左傳僖二十三年作『待我二十五

年不來而後嫁 』

一爲口語之「就」

淮南子說林篇『見象牙乃知其大於牛見虎尾乃知其大於貍』嗣輔引·

呂氏春秋制樂篇『無幾何疾乃止』

書金縢篇『王翼日乃廖』

左傳定十四年『少君見我我顧乃殺之』

春秋繁露王道篇『一年不熟乃詩糴失君之職也』

為口語之「就是」:

辺

四七七

史記髙祖紀『呂公女乃呂后也』漢書髙帝紀「乃」作「卽。

吳世家「荷先君無廢祀民人無廢主社稷有奉乃吾君也」

「乃」猶「方」也「甫也」「纔」也

穀梁傳莊十年『乃深其怨於齊又退侵宋以衆其敵』、「雅一丁」七一十七二一卷二七

大戴禮保傅篇『太子乃生固舉之禮』「之」:「以」也大戴禮保傅篇『太子乃生固舉之禮』「之」:「以」也

此上二例說並見經傳釋詞。

漢書楊雄傳『列宿乃施於上榮兮日月纔經於梜振。 為五文

賈子親疏危亂篇『陛下之臣雖有悍如馮敬者乃啓其口匕首已陷於胸矣』

此上二例並見經傳釋詞補引。

詩生民篇『鳥乃去矣后稷呱矣』爲『則』・失之・詩生民篇『鳥乃去矣后稷呱矣』爲『則』・失之・

國語晉語『吾求君子久矣今乃得之』

韓 非子外儲說左篇『雨霽日出視之晏陰之閒而棘刺之母猴乃可見也。

禮記月令篇仲春之月節『雷乃發聲』

論 講 瑞篇『子貢事孔子一年自謂過孔子二年自謂與孔子同, 以為J· 三年自知不及孔子;

當一年二年之時未知孔子聖也三年之後然乃知之」「然」亦「乃」也當一年二年之時未知孔子聖也三年之後然乃知之」「然乃」是複語

字或作「迺」

漢書賈誼傳『故迺孩提有識』

乃上猶「但」也「僅」也。

史記項羽紀『至東城乃有二十八騎』

東越傳「且秦舉咸陽而棄之何乃越也」作「但」・

酒夫論邊議篇『自古有戰非乃今也』今也』、文例同此・「直」亦「但」也 。 按風俗通窮通篇・『自古患鳥・非

此上三例說並見高等國文法及詞詮。

春秋義賞篇『天下勝者衆矣而霸者乃五』「裁」與「僅」同義・

墨子明鬼篇『 若使鬼神 請亡『亡』同「無」・是乃費其所爲酒醴粢盛之財耳」

古書處字集釋卷六 乃 週

四七九

字或作「迺」

漢書蘇武傳『又言蘇武使匈奴二十年不降還迺爲典屬國』「重」與「但」同・漢書蘇武傳『又言蘇武使匈奴二十年不降還迺爲典屬國』「重」與「但」同・

此例見高等國文法引。

一乃 一 猶 一 則 」 也 **悶**調 是 傳

書盤庚篇『我乃劓殄滅之無遺育』『則劓殄無遣宵』・作

易繋解傳『見乃謂之象形乃謂之器』。 此上二例並見經傳釋詞引。

乃」轉語詞也「**與**」語之

春康浩篇『有厥罪小「雖」也·乃不可不殺」釋詞· 。 就見經傳 史記趙世家『然趙氏真孤乃反在。

字或作「迺」

漢書車千秋傳『朕日一食者累月迺何樂之聽』

「乃」異之之詞也歸 」 「乃」異之之詞也歸 」 「乃」異

詩山有扶蘇篇『不見子都乃見狂且』釋詢:

莊子外物篇『君乃言此』

淮南子時則篇仲冬之月節『雷乃發聲』非其時、故言乃也」、

乃」循「而」也是張禮燕禮・『大

禮記文王世子篇『文王九十七乃終』論衡氣壽篇「乃」作「而。 詞見 補經 引傳

曹金縢篇『乃元孫不若旦多材多藝不能事鬼神。 列女傅賢 明傳『上天降災使我兩! 君, 匪以玉帛 相見乃以與戎」左 傳僖十五 年, 「乃」作「而」

「乃」猶「是」也課題

左傳成二年『子以衆退我此乃止』詞引·

史記張儀傳『臣非知君知君乃蘇君』文法引・史記張儀傳『臣非知君知君乃蘇君』文法引・國

孝文紀『此乃天授非人力也』

古書虛字集釋 卷六 乃 迺

說苑 辨 物 篇: _ 非 ,狗乃羊也.

搴 · 使 篇: 7 此乃匹夫愚人之怒耳非布 衣韋帶之士怒也』 至乎誅諫者必傳之舜乃;

齡衡命義篇『吾敗乃命非用兵之過』

韓

非子

外儲

說右

上篇了

堯之知舜之賢非其難者也; ;

夫

其 難 也。

看夫論述赦篇『是故先王之制刑罰也非好傷人肌膚斷人壽命者也乃以威姦懲惡除民害也』。

吳越 春秋吳王壽夢傳『夫適長當 國, 非先王之私乃宗廟社稷之制。

越絕 書級 外 傳記. -非善荆平 ·也, 乃 勇子胥也。

此 上九例皆「乃」 與一 非一 爲對文可證 乃 當訓 是。 一

管子 水地篇 『此乃其精也』處・是身之精」・

曹立政篇『古之人迪惟有夏乃有室大競』明「大夫」也・曹惟有夏是大夫大器盛也・曹立政篇『古之人迪惟有夏乃有室大競』明「大夫」也・曹惟有夏是大夫大器盛也・

莊子 知 北遊篇「 聖人之 愛人 也終無已者亦乃取於此者也。

史記 魯仲 連傳 則吾乃梁人 也。

范雎傳『爲此四貴者下乃所謂無王也』

「乃」猶「適」也是語道

文子微明篇『事或欲利之適足以害之或欲害之乃足以利之』也,互文耳,

戰國策齊策二『齊王曰「寡人甚惟儀儀之所在必舉兵伐之何以託儀也」對曰「是乃王之託戰國策齊策:

儀也」』儀也· 跟

淮南子俶填篇『善我生者乃所以善我死也』

莊子天道篇『无私焉乃私也。

墨子天志篇上『然則天亦何欲何惡天欲義而惡不義然則率天下之百姓以從事於義則我乃爲。

天之所欲也。

「乃」猶「爲」 也。

管子地員篇『其木乃格』假」之根」·(見睹于平曦)

荀子王霸篇『以夫千歲之法自持者是乃千歲之信士矣』「也」也・

古書處字集釋 卷六 乃 逎

四八三

四八四八四

書康浩篇『時乃引惡』「明」・「長」也・

史記信陵君傅『嬴乃夷門抱關者也**」**

大宛傳『蓋乃北海云』「焉」し、

陳丞相世家『樊噲帝之故人也且又乃呂后弟呂須之夫』

乃一循一且」也轉詞:標

一爲「尙且」之義

曹大誥篇『若考作室旣底法厥子乃弗肯堂矧肯構厥父葘厥子乃弗肯播矧肯穫』「何」·見經傳

引釋・詞

賈子親疏危亂篇『高皇帝五年卽天子之位割脣腴之地以王有功之臣多者百餘城少者乃三明子親疏危亂篇『高皇帝五年卽天子之位割脣腴之地以王有功之臣多者百餘城少者乃三 四

縣, **你德至渥** 也。

衡 氣壽篇『譬猶人形一丈正形也名男子為丈夫尊及嫗爲丈人不滿丈者失其正也雖失其正,

猾乃爲形也」

說苑貴德篇『夫鬭者忘其身者也忘其親者也忘其君者也行須 **史之怒而鬭終身之禍然乃爲之,**

是忘其身也家室雕散親戚被戮然乃爲之是忘其親也君上之所致惡「至」也:刑法之所大禁也,

然乃爲之是忘其君也」

新序襍事篇『夫政不平也乃斬伐四國而況二人乎』

逸周書芮良夫篇『天子惟民父母[爲]也‧致厥道無遠不服無道左右臣妾乃違」。

莊子山木篇『少君之費寡君之欲雖無糧而乃足」

爲「又且」之義

韓非子六反篇『此非特無術也又乃無行』

漢書奚奉傳『非直費財「特」・又乃費士」

又乃」並與管子地員篇『旣有麋麃又且多鹿」之「又且」同義。

戰國策韓策二『非獨政之能乃其姊者亦列女也』「列」同一級」•

春秋繁露玉杯篇『非直不予「悔」・乃少惡之」

古書虚字集釋 卷六 乃酒

四八六

說苑至公篇『二三子再拜稽首曰「不惟晉國適享之乃唐叔是賴之」」也·互文耳· 記苑至公篇『二三子再拜稽首曰「不惟晉國適享之乃唐叔是賴之」」也·互文耳·

乃一猶「以」也或置所

儀禮 剪服 傅 『 正體於 上又乃將 傳所重也 』己爲宗主也』·是鄭君訓「乃」爲「以」也·(鄭注曰·『重其當先祖之正體·又以其將代

淮南子氾論篇『故聖人見存亡之迹成敗之際也非乃鳴條之野甲子之日也』「及」・失之・按荀子淮南子氾論篇『故聖人見存亡之迹成敗之際也非乃鳴條之野甲子之日也』「及」・失之・按荀子

之朝而後勝之也」・文例與此同・職兵篇・『武王之誅紂也・非以甲子

戰國策秦策一『乃復悉卒乃攻邯鄲不能拔也』㎜以〕・韓非子初見秦篇作『乃復悉卒以攻邯戰國策秦策:

鄲

趙策二『天下之卿相人臣乃至布衣之士』

燕策三『 軻自知事不就倚柱而笑箕踞以駡曰「事所以不成者乃欲以生劫之必得約契以報太前自知事不就倚柱而笑箕踞以駡曰「事所以不成者乃欲以生劫之必得約契以報太

子 也。 느

文選典引『伊考自遂古乃降戾爰茲』古、以降至於今也、

史記孝文紀『其答安在非乃朕德薄而敎不明歟**』**

書多方篇『慎厥麗乃勸厥民刑用勸』之」之「利」同義・謂效法也)・「用」・「乃」也・曾慎厥施以勉・厥民法書多方篇『慎厥麗乃勸厥民刑用勸』(麗」・「施」也・「勳」・「勉」也・「刑」・「法」也・(刑與周頌、百辟其刑

也效 ・**乃** 勉

乃一猶「寧」也釋詞:傳

一爲一豈」字之義

左傳襄三十年『或主彊直「即」也・難乃不生』詞引・左傳襄三十年『或主彊直「即」也・難乃不生』詞引・

書西伯戡黎篇『乃罪多參在上訓 汝」·乃能責命于天』「可」也·

字或作「迺」

漢書章玄成傳『誠以爲遷廟合祭久長之策高皇帝之意迺敢不聽』不敢不從」・漢書章玄成傳『誠以爲遷廟合祭久長之策高皇帝之意迺敢不聽』不敢不從」・

一爲「何」字之義

論衡譴告篇『顧可言政治失時「但」也·氣物爲災乃言天爲異以譴告之不改爲災以誅伐之乎非論衡證告常,顧可言政治失時「顧」·

謂之言「謂」・「當」也・不然之說也」

字或作「迺」

古書處字集釋 卷六 乃迺

變動篇『平 顧可言寒溫感動人君「但」也・人君起氣而以賞罰迺言以賞罰感動皇天天爲寒溫以應

政治乎」

乃 一
指
「
又
」
也
釋
詞
補
・

易隨上六『拘係之乃從維之』問稱引・見程傳釋

曹金縢篇【王出郊天乃雨反風』

立政篇『其在受德啓惟羞刑暴德之人同于厥邦[刑]·「法教j也·乃惟庶習逸德之人同于厥政』

「謀」也・

乃一猶「然」也與乃,雙聲:轉詞也

孟子公孫丑篇『皆古聖人也吾未能有行焉乃所願則學孔子也』爲「者」・永九・孟子公孫丑篇『皆古聖人也吾未能有行焉乃所願則學孔子也』爲[釋]釋][乃]

莊子盜跖篇『小人殉財君子殉名其所以變其情易其性則異矣乃至於棄其所爲而殉其所不爲,

則一也。

了乃一僧 一此一也「用」古讀者「瀰」更「乃」為雙聲 一方」的「此」,獨「用」訓「此」也

書立 政篇『則乃宅人』首如此宅人也・

君與篇『告君乃猷裕』也』、言告君此道也、

史記齊悼惠王世家『 當斷不斷反受其亂乃是也』非之「是」、為是

春秋繁露正貫篇『書曰「八音克諧無相奪倫神 人以和一乃是謂也」言此之謂也:

列 女傳魯義姑姊傳『魯未可伐也乃至於墳…… 與「今」字同義・此「乃」字訓「此」・

字或作「迺」

晏子春秋外篇『五子不滿隅一子可滿朝非迺子邪』[是]:「是」亦此」也:

刀乃 猶「故」 利有攸往乃亨 也釋詞稱·

易大過彖傳『

小畜象 傳: -健 而 巽, 剛 中 而 □志行乃享.

此 上二 一例並見經 傳 釋 祠 補

左傳信二十八年『公說乃拘宛春於衞』晉語作『是故拘宛春於衞』[故]也‧說見[是]字條‧左傳信二十八年『公說乃拘宛春於衞』晉語作『是故拘宛春於衞』「是故』是複語‧[是]亦

古書虚字集釋 卷六 乃 迺

循「若」。也能·著或

書洛誥篇『女乃是不養』例是經傳釋記

盤庚篇: **『乃有不吉不迪與越不恭**。

費督篇: **『乃越逐不復汝** 則有常刑。

孟子告子篇『乃若其情則可以爲善矣』正)・言者順其性也・經傳釋詢謂「乃若」二字爲發語詞・失之孟子告子篇『乃若其情則可以爲善矣』 趙注曰・『者・順也』・「情爲"性」之借字・(武見拙者孟于正 ·豬補

潛夫論明忠篇『夫帝王者其利重矣其威大矣徒懸重利足以勸善徒設嚴威, 以誘民操大威以驅之則舉世之人可令冒白刃而不恨赴湯火而不難。 可以懲奸乃張 重 利

乃 猶「於」 也・一乃「而」古同音・

史記匈奴傳『今中國雖 群不取其父兄之妻「B」·親屬益 **殊則相穀至乃易姓** 治皆從此類。

潛夫 論遏利篇『盗人必誅況乃盗天乎』

倘 書大傳一「惟五 | 配奏鐘石論人聲及乃鳥獸咸變於前八伯咸進睹首而和曰「明明尚天爛然,

星陳日月光華弘予一人」

書盤 庚篇: — 盤庚數于民由乃在位, 居九 ・是由於在位者之所煽感也・(不言「不適有居」者・是蒙上文而省):字爲一句・「敷」讀爲「覺」・「于」・「其」也・言盤庚覺悟其民之不適;

職本 説 琴 ・ 平

乃一猶「其」也釋調整指事之詞也。

周禮小宰『各修乃職致乃法待乃事」

詩大田篇『旣備乃事』

此上二例說並見高等國文法。

臣工篇『庤乃錢鎛』

書君奭篇『公曰「前人敷乃心」』

盤庚篇『: 汝無老侮 成 人無弱 孤 有 ·幼茲從經義述問 ,「老侮」今課例 各長于厥居勉出乃力』 文一 耳曾 ・訓

乃」猶「固」也念然

公羊傳昭十二年『我乃知之矣』

史記直不疑傳『我乃無兄』 。

古書虛字集釋 卷六 乃 酒

逎

此上二例說並見經傳釋詞 補。

乃一猶一與一也。乃訓與也

大戴禮語志篇『物乃歲俱生于東以順四時卒于冬方』春·墨於冬也·冬方·北方也』·

史記管蔡世家贊『余喜曹共公之不用僖負職乃乘軒者三百人知唯德之不建』「乃」作「而」・「而」

也亦與

乃」猶一抑」 也。調選・押之

漢書文帝紀『意者朕之政有所失而行有過與乃天道有不順地利或不得人事多失和鬼神廢不。

享 與?

乃一猶「竟」也意料不及

列子湯問篇『穆王始悅而歎日「人之巧乃可與造化者同功乎」詔貳車載之以歸』。

乃一猶「已」也可以一战亦則已」,

春秋繁露天辨在人篇『天乃有喜怒哀樂之行人亦有春秋冬夏之氣者合類之謂也。

四九二

孟子梁惠篇『夫我乃行之』

左傳昭十三年『子產聞其未張也便速往乃無所張矣』爲「竟」・失之・

乃」猶一之」也[之]作[的]字解·[乃]訓

逸周書祭公篇『王曰「公無困我哉俾百僚乃心率輔弼子一人」』也:「率」:皆」也:

書康誥篇『不率大夏也· 矧惟外庶子訓人「即是」· 惟厥正人越小臣諸節乃別播數句:「惟」書康誥篇『不率大夏也· 矧惟外庶子訓人「即是」· 惟厥正人越小臣諸節乃別播數句:「惟」

于訓人與其正人與小臣諸節之別播數也, 造民大譽弗念弗庸療厥君「越」皆訓「與」, 言不率大法者, 即是外庶

乃」猶「能」也學之轉·

漢書匈奴傳『東援海代南取江淮然後乃備』漢紀「乃」作「能」

書立政篇『謀面用丕訓徳「勋」亦「勉」也・「訓」・「順」也・則乃宅人「如此」・茲乃三宅無義民」書立政篇『謀面用丕訓徳「融」亦「勉」也・「面」讀為則乃宅人「知乃」強言。

也・「俄民」即「邪人」・「義」讀爲「俄」・「邪」

又『弦乃俾乂國』奏典『有能俾乂』・義與此同・:

此 上二例一 茲乃 皆即「故能」詳[茲]李條・「茲」訓[故]・

古書虛字集釋 卷六 乃 酒

> 四 九三

「乃」猶「如此」 一七「角」訓「如此」・故 乃」亦訓「

莊子德充符篇『子無乃稱』助字辨略說· 此] [無]同[毋]·此

大宗師篇『是自其所以乃』「則」也・

淮南子人間篇『屈建告石乞曰「白公勝將爲亂」石乞曰「不然白公勝卑身下士不敢驕賢其

家無管籥之信關鍵之固大斗斛以出輕斤兩以內而乃論之汝如此論之也· 以不宜也 』 生之

則以字訓

吳子圖國篇『吉乃後舉』 「乃後」 猶「然後」也後」即「然後」· 本語、

字或作「迺後」

史記韓非傳『迺後申其辯知爲』韓非子說難篇作『然後極騁智辯焉』

漢書項籍傳『願爲諸軍決戰必三戰斬將艾旗迺後死』。。。

了乃今」謂「於是時」也問題: · 「今」

四 九四

左傳襄九年『吾乃今而後知有卜筮』

國語晉語二『衆謂號不久吾乃今知之』

莊子逍遙遊篇『而後乃今培風』「乘」也· 『培」讀爲「馮」

又『而後乃今將圖南』者做此.

亦語轉: 作 而今」而後」・ 或「如今」今人方為刀俎。並猶言「于今」也布傳・『子·

廖創夫・

乃若 猶云 「今夫」或「若夫」提示之詞也。確認中庸篇·『今夫天』: 者夫」並提示之詞· 學經· 者夫慈愛恭

孟子雜婁篇『是故君子有終身之憂而無一朝之患也乃若所憂則有之」:

墨子兼愛篇『 然而今天下之士君子曰「然乃若兼則善矣「圓」也,雖然不可行之物也」

此上二例經傳釋詞謂「乃若」爲轉語詞失之。

愛篇『乃若夫少食惡衣穀:: 00 身而爲名此天下百姓之所皆難也」 |戦・ 殺身為名・此天下百||猶曹||今夫]・下文・『今若

夫」亦與「今夫」同義・姓之所皆難也」・「今若

古書虛字集釋 卷六 乃 遒

四九五

乃如 猶言「若夫」 也亦提示之詞也。 「乃者」爲一語・

詩日月篇『乃如之人兮』「兮」猶一也」也・

蜒蝀篇『乃如之人也』『此』也・

能 耐 面

能一「克」 也。

孟子公孫丑篇『未有能濟者也。

字或作「耐:

禮記禮運篇『故聖人耐以天下爲一家』

字叉或作「而:

墨子尙同篇『天下之所以治者何也唯而以尙同一義爲政故也』「能」.茲不多舉.

四 九六

能一循一可一也至前。

管子七法篇『故不明於敵人之政不能加也不明於敵人之情不可約也』 見經傳釋詞補。 。 「能」亦「可」也 說

孟子梁惠篇『或曰「世守也非身之所能為也「雕」也 說詳拙著孟子正義補正·效死勿去」」 。 ,「身」・「己」也・「爲」讀爲「違」·效死勿去」」

書西伯戡黎篇『乃罪多参在上「汝」也·乃能責命于天』「乃」字條乃稱寧也節・書西伯戡黎篇『乃罪多参在上「汝」也·乃能責命于天』「乃能」即「豈可」、說見

左傳傳二十二年『吾兄弟之不協焉能怨諸侯之不睦』

信九年『我欲無貳也· 而能謂人已乎』

字或作一而」

語憲問篇『愛之能勿勞乎忠焉能勿誨乎』亦「之」也・互文耳・鹽鐵論授時篇引作『愛之而勿語憲問篇『愛之能勿勞乎忠焉能勿誨乎』亦「之」也・「焉」鹽鐵論授時篇引作『愛之而勿

勞 乎?

左傳昭元年『賈而欲羸[旣]訓[已]·而惡踟乎』

能」猶「敢」也本意能」

韓 詩外傳二『君欲赦之上之惠也臣不能失法下之義也』新序節士篇「能」作「敢」。

古書虛字集釋 卷六 能 耐 而

四九七

九

潛夫論考績篇 『書云「賦納以言明試以功車服以庸誰能不讓誰能不敬應? 』書皋陶謨篇作

商君書墾介篇『百縣之治一形則從迂者不敢更其制過而廢者不能居其舉』也·互文耳· 商君書墾介篇『百縣之治一形則從迂者不敢更其制過而廢者不能居其舉』也·互文耳·

能 一省一以」也本書「能」「以」互訓・「能」訓

文子精誠篇『此假不用能成其用。 也。

賈子屬遠篇『此天下之所能長久也』「能」爲「以」、失之、

左傳文十五年『將何能保』在』、十三年、『將何以立』、句例皆同此、左傳文十五年『將何能保』在』、十三年、『將何以終』、十二年、『將何以

楚辭天問篇『遷藏就岐何能依』「盛」也・

國語晉語二『夷吾不佞其誰能恃乎』「何」也· 。 ? 「誰」·

史記 記刺客傳『 彼伍員父兄皆死於楚而員言伐楚**欲自爲報私響也非能爲** 吳。

能 猶 則 世一而訓則・強

尹文子上篇『設一人能備天下之事訓『克』·能左右前後之宜遠近遲疾之間必有』 不無者焉.

孫子 ·虚實篇『故敵佚能勞之飽能飢之安能動之』

此 上二例皆王啓湘周秦名學三種序說。

詩小戎序『 國 人則 於其車 一种, 人能勉其 君子焉』也,互文耳,

一能 猶 一得 也。

文子道德篇『故世治則愚者不得獨亂世亂則賢者不能獨治。

上仁篇『故號令能下究而臣情得上

此 上二例「能」皆亦「 得一 也互交耳。

左傳傳· 九年: 『能欲復言而愛身乎。 此「復」與「行」同義之證・又論語學而篇・『信近於義・言可復也』・「復」「復」猶「行」也・晉語作『豈能欲行吾言而又愛吾身乎』・(豈能亦卽豈得)

亦則行一・

宜二年『能欲諸侯而惡其 **八難乎?**

商君書靳令篇: 『效功而取官爵雖有辯言不能以相先也』「能」作「得」· 。」據新局本· 九本

字或作 而:

古書處字集釋 卷六 能 耐 而

四 九九

能 | 猶 | 且 | 也而加且也 猫

曹皋陶謨篇『能哲而惠』史記五帝紀作『能哲能惠』淮南子修務篇引書作『能哲且惠』惠』。;

即且惠・皆

金縢篇『子仁若考武文・『佐・巧韶多材也』)・「若」・「而」也・「考」讀爲「巧」・(並見經義述聞)・「佐」讀爲「佐」・(見羣經平議・按詩盧令篇・『其人美且仁』・「仁」亦「佐」之借字・ 能多材多

史記自序『 非獨色愛能亦各有所長」

淮陰侯傳『今韓信兵號數萬其實不過數千能千里而襲我亦以罷極』「點」同一板」・

此上二例經傳釋詞並訓「 能」爲「乃」失之。

能」猶「乃」 一也調見經典 傳

列 女傳賢明傳『先生以不斜之故能至於此』

漢書谷永傳引詩『能或滅之』

此 上二例並見經傳釋詞

新序操事篇四『子 - 得罪於父| 可以 因姑姊叔父而解之父能赦之臣得罪於君可以因便辟左右而

謝之君能: 赦之。 一韓詩外傳十 ____ 能 ___ 皆作 **乃**。

能 猶「爲」也。

春秋繁露堯舜湯武篇『有道伐無道此夫理也, 「此夫」是複語・ 所從來久矣寧館 至湯武而然邪?

「何爲」同義・經傳釋詞補謂「能」爲語助・失之・「寧能」即「何爲」・與論語雅也篇『何爲其然也』之

左傳昭十二年『中美能黃上美爲元下美則裳』釋詞訓「能」爲「乃」・未允左傳昭十二年『中美能黃上美爲元下美則裳』釋詞訓「能」・「則」・皆訓「爲」・ 經

晏子春秋 外篇: ___ 晏子曰「古之聖 八非, 不 知能繁登降之禮制規矩之節行表綴之數以發民以爲。

煩 人留 制 禮 不羨於便事非不 知 能。 揚干: 戚鐘鼓竽 瑟以 勸 衆 也, 以 為 費 財 留 I 故 制 樂不 羨

於 和民非不知能累世殫國以奉死哭泣處哀以持久也而不 爲者知其無 補 死 者而 深 害 生者。

墨子魯問篇「 奚能以封為哉』不知也之「奚而」爲一語・「奚而」亦「何爲」也,說見趙注),。 「爲」訓「乎」・「奚能」即「何爲」・(按「奚能」與孟子萬章講『奚而 七 能被德承澤」高注·

能

」猶「及」

古書虚字集釋 卷六 t 耐 而

論語公治篇『未之能行』

孟子萬章篇『不能五十里』

戰國策燕策『於是不能期年千里之馬至者三』

此上三例並見經傳釋詞補引。

論語子張篇『吾友張也爲難能也』「是」也·

管子戒篇『此四子者其孰能。一人之上也』「曾」也・

「能」循「足」也能五十里」朱注:

體記祭義篇『參直養者也參但養父母者耳· 安能爲孝平?

淮南子俶真篇『目觀玉輅琬象之狀耳聽白雪淸角之聲不能以亂其神登千仞之谿臨媛眩之岸,

不足以滑其和」也·互文耳·

此上二例皆見經傳釋詞補引。

能一猶「有」也「能從「月」等「日」訓

五〇二

買子 禮容語篇「惟善人能受盡言则「克」・今齊旣亂其能善乎

左傳宣三年『螭魅罔兩莫能逢之』

能 一 狗 一 等 」 也之。· 漢書谷永傳引「寧」作「能」)· 故「能」可則「寧」· 能」「寧」一聲之轉·古或通用· (詩正月篇·『寧或滅

一爲「豈」字之義:

左傳昭元年『三大夫兆憂憂能無至乎』

一爲願詞:

史記項羽紀『吾寧鬭智不能鬭力』為五文· "能」與「寧」

能」語助也聯關稱·

文選報任少卿書『素非能相善也』漢書司 馬遷傳作『非相善也』

禮記緇衣篇引詩『誰能秉國成』詩節南山鴛作『誰秉國成》

寧

NAT S

學」猶「豈」也。

左傳成二年『寧不亦淫從其欲以怒叔父』

寧一猶「何」也

「寧」」願詞也不寧」,鄭注曰:『寧・願也』,易繫辭傳『靈用終日』

左傳襄二十六年『與其失善寧其利淫』子致士篇·作『與其失善·不若利淫』· 左傳襄二十六年『與其失善寧其利淫』子致士篇·作『與其失善·不若利淫』· 故荷

呂氏春秋貴信篇『君無死而又死乎其寧生而又生乎』選擇之詞:

戰國策趙策『人之情寧朝人乎寧朝於人也』篇朝秦楚』·是受秦楚之朝也· 聖國策趙策『人之情寧朝人乎寧朝於人也』篇朝秦楚』·是受人之朝』·猶孟子梁惠

莊子秋水篇『寧其死爲留骨而貴乎寧其生而曳尾於塗中乎:。

此上三例六「寧」字皆訓一 願」經傳釋詞並訓爲「將」失之。

寧」猶「其」 也。

爲「或」字之義:

史記蔡澤傳「子常宣言欲代我相奏也: 將@有之乎**」** |「豈」亦「其」也・(豈訓其・見經傳||「事」・「其」也・秦策三・作『豈有:

詩伐木篇『寧適不來微我有答』「徼」・「非」也

楚辭卜居篇『吾寧悃悃款款朴以忠乎「且」也・將送往勞來斯無窮乎』 「新」論「以」也・經傳釋調酬「將」・「抑」也・選擇之詞也・

新序善謀篇『 王寧亡十二 城邪將亡十國邪 🖢 字・奥楚解ト居之文法同・此例上用「寧」字・下用「將」

白虎通聖人篇『「聖人未沒時寧知其聖乎」曰「知之」』

越絕書外傳記吳王占夢篇『范蠡數吳王曰「 王有過者五寧知之乎」」

爲命令之詞與「可」 字同義

左傳昭十六年『子寧以他規我。

古書虚字集釋 卷六 蠢

五〇五

古書處字集釋

寧 看 乃 也。 我顧い課題を得 口語之「却」也。

詩 日月篇『寧不我

雲漢篇『寧丁我躬』 小弁篇『寧莫之知。 。 سا

此 上三例並見經 m·傳釋詞引。

寧 一猶一如此」 也。

晉書王行傳『何物老嫗生寧馨兒』訓語助」·爲「駅」之借字)「寧 ・語助

也,《廣雅·『淳·泥也』・「淳」從「寧」聲・「爾」古音者「泥」之上聲)・劉盼遂世凱新語校箋訓「寧馨兒」之「寧」爲「如之「爾馨」爲一語,「爾」爲「如此」之合聲・「寧」爲「爾」之聲轉・故亦訓如此,「爾」之轉爲「寧」・猶「泥」之轉爲「淳」

|奥世武文學篇『田舎見張學人作爾馨・(武文具部『駅・詞也・渡若馨』・「

疏・(按「者」字訓「如此」・亦「爾」字之聲轉)・此」・甚韙・而謂「寧」爲「若」之借字・則猶精

猶「爲」 也。

詩四月篇『胡寧忍予:

雲漢篇「胡寧瘋我以早」

五〇大

技 胡寧 寒 「胡然」爲一 語典。寧、為雙拳・ 胡然一 爲 何爲, 然如帝也」・(如・似也)・正月詩君子偕老篇・『胡然如天也・胡

然篇 智即「何為」・一枚「司胡然厲矣」・「胡 胡寧一 亦爲「 何爲。 經傳釋詞訓「 胡 海 爲 ----何, 何乃 亦 --何

修學設龍平』 為」也法言問明篇『 何乃 董豪則活何乃明哲乎 』 並即 「何為」『何為其然也」之「何爲」同義· 此上之「何爲」· 並與論語雅也篇 論衡案書篇「 陰陽相渾旱湛相報天道然也何乃

寧」語助也 釋詞· 標

三部月七釋説・

左傳昭元年『不寧唯是』副引·

昭六年『無寧以善人爲則也・ 而則人之辟乎』「雖

襄三十一年『無寧災息』酫・

一条

禁, 一如 也。

古書虛字集釋

卷六

瘚

五〇七

國語晉語『柰吾君何

柰」猶「何」 楊雄廷尉箴『惟虐惟殺人莫予杂』 一也「無」訓「何」也・

也。

淮南子兵略篇『唯無形者無可奈也』釋問:

能

耐 謂 忍耐 也。

字或作一能:

漢書鼂錯傳『鳥獸毳毛其性能窓』左傳文十三年『能賤而有恥』 左傳文十三年『館賤而有恥。

【那難】

, 三國志魏志毋邱儉傳注載文欽與郭淮書曰「那」猶「柰」也

『所向全勝要那後無繼何?

吳語越語『吳人之那不穀亦又甚焉』於也』·那 」 「於」 也雅·

左傳宣二年『牛則有皮犀兕尙多樂甲則那 』 「何」・顧炎武訓「那」爲「柰何」・並失之・(如顧氏説・下「則」字訓「猶」・言雖棄甲猶尚安寧也・杜預訓「那

則是為

何』義例同也・其可通乎)・「鼈甲則那」與下文之『丹漱若

「那」猶「何」也會翻「何」

續列女傳更始韓夫人傳『不如此帝那得之」

古 曹 虛字集 釋卷 六 那 難

五〇九

字。以作「能」」詩桑扈篇:「受福不那」、說文鬼部引作「受福不能」、字。以作「能」「難、與「那」古通用、周禮占夢注:『故書雜或爲能』、

左傳昭十年『忠爲命德其子弗能任罪猶及之難不慎也』「蔡何」・亦通・

後漢書逸民傳『公是韓伯休那乃不二價乎』

知

知」猶「之」也語助也等之字條:既

戰國策楚策四『閭姝子奔莫知媒兮』荀子賦篇作『莫之媒也』同義:

詩采薇篇『我心傷悲莫知我哀』 鹽鐵論備胡篇引作『莫之我哀。

墨子公孟篇『譬若美女處而不出人爭求之行而自衒人莫知娶也』『知一本作之』:

晏子春秋外篇『若使古之王者毋知有死』當作『如毋有死』・失之・

致

「致」「至」也「極」也。

荀子君子篇『刑罰綦省而威行如流政令致明而化易如神』「極至」之義・

展

展一猶「乃」也調新 詩君子 偕老篇 『展如之人兮』如之人兮』·文例並與此同·可證「展」當訓「乃」· , 見新方書引·按日月篇·『乃如之人兮』·蝃蝀篇·『乃

「運動利」

古書盛字集釋 卷六 致 展 遲

五一

古書盛字集釋

運」猶「及」也「至」

列女傳齊宿瘤女傳『遲其至也也· 宿瘤駭。 。 史記衞青傳『遲明行二百餘里』(見廣雅)說本讀書碟。 、 漢書作『合明』:「會」亦

直

孟子梁惠王篇『直不百步耳』詞引·直」為「但」也讀者「特」·與「但」為雙聲·

直」循「特」也繼令直特

史記留侯世家『直墮其履橋下』

晏子春秋襍篇『嬰最不肖故直使楚矣』「耳」也·

此上二例說並見經傳釋詞。

五二二

直」謂一徑直」 一门直接」

史記梁孝王世家『平王襄直使人開府取壘樽賜任王后』如何・而徑使人取之也」・東記梁孝王世家『平王襄直使人開府取壘樽賜任王后』如何・而徑使人取之也」・

漢書陸賈傳『平答燕居深念賈往不請直入坐』, , , 。 。

「疇」

疇 誰 世。雅爾·爾

書堯典篇『疇若子工』「善」・讀去聲・

疇一發聲也。

體記憶弓篇『子疇昔之夜』發聲也』・響・

良

古書虛字集釋 卷六 暘 夏

五一三

漢書五行志『中國其良絕矣』猶信也』・「良」「信」也則「之以易諒」・尚子修身篇「諒」作「良」)・「諒」訓「信」・故「良」亦訓「信」・、「良」」「信」也」口語謂「信」曰「眞」・按「良」與「諒」古字通用・(韓詩外傳二・『 智慮潛深・

「良」「甚」也。 史記趙世家『諸將以爲趙氏孤兒良已死』:

「良」「能」也。

左傳昭十八年『吾身泯焉弗良及也』也(·(見正義引)· 。 服慶曰·『真·能

春秋繁露精華篇『功未良成而志已滿矣』。

聊

聊一「且」也。

五 py

一爲「姑且」之業

詩泉水篇『聊與之謀』

爲「叉且」之義:

左傳隱十一年『寡人之使吾子處此不唯許國之爲亦聊以固吾圍也。

來

來 猶「哉」 ||一一||在治忽』·史配夏本紀作『來始滑』·是「在」「哉」||來」三字古皆通用)·故「來」可訓「哉」。|||一下」與「哉」學韻·古通用·(書立政篇·『是問顯在廣世』·漢石經「在」作「哉」·皋陶謨篇

孟子離婁篇『盍歸乎來』

莊子人閒世篇『嘗以語我來』「試」也·

又『子其有以語我來』

大宗師篇『嗟來桑戶乎』

古青虛字集釋 卷六

來

五二五

禮記 檀弓 篇 『嗟水 食』 〔爾」訓 [乎]・奥[來」訓 [哉] 同義)・皆識怒之歎學也 に い 「嗟來」與孟子告子篇『赙爾而與之』 之 「嗕爾」同義

來」「至」也雅:

書召浩篇『越若來三月』「至」・說並見極傳釋詞・

UII

詩谷風篇『伊余來堅』讀為「懶來」 一猶 「是」 也釋詞・

桑柔篇『反予來赫』「怒」也·

四 牡篇『將母來說』念也·

采芑篇『荆蠻來威』

江 漢篇『淮夷來求,

叉: E 國 來⊙ 極。 <u>___</u>

此 上六例並 見 經 傳釋詞 引。

> Ŧī. 六

淮夷來鋪。 』夷是陳也・常武篇・『鋪敦池」 按「求」讀爲「逑」・「聚」也・ |淮濱』・義略同此・(箋訓[鯖]爲[陳]・黷|・「鋪」・「陳」也・(見廣雅)・言淮夷是聚

哪 准 按 王君訓 來 爲「 是一極爲允當采芑之『柳蠻來威』與魯頌之『戎狄是膺荆舒是懲』

文例 同, 此 來 .___ 當訓「是」之證一也桑扈之『萬福來求』為「建」・「聚」也」・當訓「是」之證一也桑扈之『萬福來求』為「建義述聞云・『「來」讀 與長發之『 百

祿 是遒, 文 例 同衆也・『道・ 此 來 當訓 「是」之證二也烈祖云『來假來**饗**降 福 無疆; 閟 宮

云: 是饗是 宜降福既多 <u>__</u> 假 L.... h __ 格」「來」也「宜」同「 儀, 亦一 淶 也。 來也』・

詩皆 就 神祇言文異義同此「 來 」當訓 「是 」之證 二也之「是格」「是饗」同義·(神保漢石經作「神寶」·來 」當訓 「是 」之證 二也之「是格」「是饗」「與建英篇『神保是格 ……神保是饗』

見金縢鄭注)・「寶」亦「神」也・

書皋陶謨篇『 鳳皇來儀, 祖 考來格。 考是來也,「來儀」與詩閱宮之『是「來」皆訓「是」、「儀」、「來」也・「 宜格 三同義・((宜同議・來也・設)也・言鳳身是來・

見祖

頌『來假來饗」之「來假」爲一語・前)・「來格」今文作「來假」・與商

歷

歷」猶「連」也學之轉:

古書原字集釋 卷六

歷

曹序『虞舜側微堯聞之聰明也· 歷試諸難」

書盤庚篇『歷告爾百姓于朕志』也:以

後漢書段頌傳『先零東羌歷載爲息』。

*犂」猶「及」也「至」也。

史記晉世家『犂二十五年吾家上柏大矣』「比」亦及」也·「至」也。 東麗云·「犂獅比也」

孝惠記『犂明孝惠還』

高祖紀『黎明圍宛城三匝』亦「及」也「至」也・字或作「黎」

此上三例皆本讀書樂志說。

五一人

[慮 閲]

愿」循「大凡也」「大氏」也。[天氏]亦作[大抵]·按[處]夷[處]古同音通用]·「略]夷[露]而從「各]專· 慮」獨「大凡也」「大氏」亦作[大抵]·按[處]夷[略]古同音·(國語晉語『是先主禮第子

獨今謂大氐曰「咯」也・(略訓大氐・見下條)・可知「略」與「慮」古亦同音)・古謂大氐曰・「慮」・

荀子 職兵篇『焉慮率用賞慶刑罰勢詐而已矣』「焉」・「乃」也・「爲庫率」獨言「乃大抵」・荀子職兵篇:

漢書買誼傳『感亡不帝制而天子自爲者』「無」・同一書

賈子五美篇『宗室子孫盧莫不王』。

字或作「閭」

漢書溝洫志『浩浩洋盧殫爲河』史記河渠書作『閻殫爲河』

此上四例說並見讀書襍志。

略

一略」猶「大凡」也「大氏」也說詳上節· 「略」」「大凡」也「「本」」。「略」專「盡同・

漢書外戚恩澤侯表『至乎孝武元功宿將略盡』略』者‧亦爲「大氐」之義・英書外戚恩澤侯表『至乎孝武元功宿將略盡』略』者‧亦爲「七氐」也‧按言「大

類

類」循「大氏」也前大氏,故「類」亦則大氏・

漢書賈誼傳『夫移風易俗使天下回心而鄉道類非俗吏之所能爲也』

類一猶一皆」也。

後漢書到壽傳『類不檢節』獨皆也」.

五二〇

害虛字集釋卷七

而 能

而, 一承上起下之詞也。

孟子梁惠王篇『王之諸臣皆足以供之而王豈爲是哉』

離婁篇『又顧而之他』

萬章篇『予既烹而食之』

字或作「能」一詳經傳釋詞「能」字條:

墨子天志篇『少而示之黑謂黑多示之黑謂白少能嘗之甘謂甘多嘗之甘謂苦』 晏子春秋外篇『入則求君之嗜欲能順之君怨良臣則具其往失而益之』

古書歌字桌釋

卷七

丽 能

五二二

而一猶「則」也釋調·

孟子萬章篇 _ 可以速而速可以久而久可以處而處可以仕而仕』公孫丑篇「而可以速而速可以久而久可以處而處,」。。 並作 则。

制 引 穏 傳 釋

晏子春秋諫篇『君欲節於身而勿高使人高之而勿罪也』

禅篇『德厚而受祿德薄則辭祿』「則」爲五文·

國語晉語『然而多聞以待能者不猶愈也』則,曰「然而」,說見經傳釋詞:

春秋繁露王道通三篇 『然而王之好惡喜怒乃天之春夏秋冬也然則人主之好惡喜怒乃**天之暖**

清寒暑也』「然則」為互文・

而一猶「乃」也轉詞。

一爲「纔」義:

大戴禮曾子本孝篇『如此而成於孝子也』「爲」也·

左傳宣十二年『誅而薦賄則無及也』

傳宣十五年了吾今取此然後而歸爾。

爲 却一義原轉之

左傳成十六年『夏書曰「怨豈在明不見是圖」將愼其細也「當」也·今而明之其

此上 四例皆見經傳釋詞

隱三年『君人者將嗣是務去「當」也,而速之無乃不可乎」

論 語述而篇『子溫而屬威而不猛恭而安。 <u>__</u>

漢書蒯 通 傳『 相君之背貴而不可言」史記淮陰侯傳 而一作 乃。

孟子萬章篇『千乘之君求與之友而不可得也而況可召與。 世。 · 見調詮引

而

一猶「尙」

韓 非子說林篇『其子而食之且誰不食』戰國策魏策一作『其子之肉尚食之其誰不食』非子說林篇『其子而食之且誰不食』戰國策魏策一作『其子之肉尚食之其誰不食』

莊子天道篇『 夫天地至 神而有尊卑先後之序而況,。 人道乎 」 则 尚」。

古書虛字集釋 卷七 而 螥

戰

國策

趙

策四:

-

臣稱

為

大王

美之雖然而有一

苟 于非十二子篇『如是而不服者則可謂試怪狡猾之人矣雖則子弟之中訓'在·刑及之而宜。。

・孫

書皋陶謨篇『能哲而惠』淮南子修務篇引作『能哲且惠』

m

管子四維篇『今若君之美好而宜通也。

公羊傳昭二十一年『惡之而貶之也。

左傳文十六年『公子鮑美而豔。。

文選君子行『天道夷且簡人道嶮而難』「且為

而 一个一一一也一而一到「以」·亦即「己」·

潛夫 論德化篇『自古而然非乃今也』以然」,文例同此:「以」即「已」字:。 「乃」:「但」也,按左傳昭四年:『從古 論衡齊世篇『文質之法古今所共一文 一質一衰 一盛古而有之非獨今也 。

丽 **」
循**「
然 也。

為轉詞:

莊子天道篇『美則美矣而未大也』

禮記權弓篇 哀則哀. 矣而。 難爲 繼 也。 | 』然非禮也』・文例同此・
対就苑建本籍・『忠則忠奏

一爲狀事之詞

書皋陶謨篇『啓呱呱而泣』。

詩野有死屬篇『舒而脫脫兮』

而後」猶「然後」也。

論 語子路篇 __ 如有王者必世而。 後仁』論衡宣漢篇引「而」作「然」

孟子辦婁篇一 夫人必自侮然後人侮之家必自毁而後人毀之國必自伐而後人伐之』, , 。。 然後後 爲一

文

而」猶一爲」也[而],至見爲」字條:

孟子滕文公篇『方里而井』論語 顏淵 篇正義引一而二 作一 爲。

春秋舉難篇: 以王 孫 岩端而 。 不肖翟璜進之」新序雜 事篇 四, 而一作「爲」「而」作「爲」,失

古書處字集釋卷七 而能

呂氏·

五二五

能

Ż

公羊 ·傳定十二年『五板而堵五堵而雉』許愼五經異義『戴禮及韓詩說八尺爲板五板爲堵五傳定十二年』五板而堵五堵而雉』許愼五經異義『戴禮及韓詩說八尺爲板五板爲堵五

堵為雉」 年正義引· 見左傳隱元

管子乘F 馬篇: 五. 家而伍十家而連五連而暴五暴而長』 比為**關**·四國為族』·文例同按此與周禮大司徒『五家為比

五.

呂氏 春 秋 禁塞篇 \neg 此 Ł 君者, 大而。 無道 不義』按舊本作「而」不誤・畢氏隨改作「爲」・乃誤耳」・不義』按舊本作「而」作「爲」・曰・「舊本「爲」誤作「而」・

勿躬篇『 非狗 不得冤冤化而狗, 則不爲冤。 』是不為死也·狗亦無由得之矣 言非狗固不得兔·然兔化為狗 則

墨子尙賢篇中『然則親而不善以得其罰者誰也』

晏子春秋外篇『則亦與民而仇矣』「爲」之譌·非是·
。 讀書樂志謂「而」爲

孟子梁惠王篇『師行而糧食』

春秋繁露循天之道篇『是故惟天地之氣而精』

穀梁 傳 宣二年二 盾日 一 天乎天乎孰! 為盾而忍私其君者乎」」「肾也・

莊子秋水篇『寧其死爲留骨而貴乎』[而]也:

淮南 子說林篇「 蝮蛇螫人傅以和堇則愈物故有重而害反爲利者」。 一個一個

史記周勃世家『君後三歲而侯侯八歲爲將相。

此上二例皆「而」與「爲」爲互文。

孟子萬章篇『奚而不知也』也』·是趙氏正釋「而」爲「爲」·孟子萬章篇。 奚而不知也』也』·是趙氏正釋「而」爲「爲」爲

論語憲問篇『奚而不喪』既見事經平議・

荀子哀公篇『 君以此思哀則哀將「其」也・焉而不至矣」也・虞文弨訓「而」爲「能」。 [爲而」即「何爲」・猶「癸]

墨子尙賢篇『上可而利天』 」 猶「以」 也釋詞:

而

荀子成相篇『子胥進諫不聽到而獨鹿墨子尚賢篇『上可而利天』

廃棄之江。

此上二例並見經傳釋詞引。

緰 語學而篇: 敬 事而信節用而愛人使民以時』然後堪稱為敬·故曰「敬事以信」・助字辨略謂「而信」の,の,の,故禮配云・「誠信之謂盡・濫之謂敬」・是可知敬必以信 之。

前・失之・「而」為語助

古書雕字集釋卷七 而能

五二八

而 猶 一典 也。 釋訓を 傳

稐 語雍 也篇 不有祝鮀之佞而。 有宋朝之美』劇引

左 國 「語晉 傳襄二十五年『若爲己死而爲己亡非其 。 語二了二三子計乎有禦楚之術而: : 有守國之備, 私職誰敢任之』 則 可 也。 史記齊世家作『若爲己

韓 非子 內儲 ·說上七術篇『其患在豎牛之餓叔孫而江乙之說荆俗也』子產之致游吉也』·文例與此。 下文『其說在董子之行石色與

此 上三 例並見高等國文法引。

買子 修 政 語 篇 上: _ 是故 明 君 m̄∘ 君子貴佝學 道 而 賤下獨 思也。 ___ 訓上「而」字

东. 傳僖 5二十八年| 數之以其不用信 負 爾 而。 乘軒者三百人也。 轉詞・失之・

昭二十五年 哀樂而樂哀皆喪心 也。

淮 南子 | 覧复篇| 故蒲且子之連鳥於百仞之上而詹何之鶩魚於大淵之中」。 全而壽必成 本據・歳

韓

非子解老篇:

—

盡

天年

則

功則富與貴

全壽富貴之謂

福。

孟子梁惠王篇『與民守之效死而民弗去』

此上二例皆「而」與「與」爲互文。

而」猶「如」也。

一爲「如或」之義:

孟子萬章篇『而居堯之宮逼堯之子』

爲「如似」之義

孟子雕婁篇『望道而未之見』

左傳昭四年『牛謂叔孫見仲而何』如何也]·爲一如何」之一如」同義·

爲一及」字之義

管子大匡篇『管仲對曰「以臣則不而令人以重幣使之」』「不如」·亦即「不及」· 。

字或作一能:

古書虛字集釋 卷七 丽 能

五二九

墨子號介篇『明於守者也不能此乃能守城』作「似」字解・墨子號介篇『明於守者也不能此乃能守城』作「似」字訓」如」・

而

月伶篇『歲且更始專而農民無有所使』逸周書月令解篇「而」作「於」. 禮記學記篇『相觀而善之謂摩』說苑建本篇作『相觀於善之曰磨』。

文選答賓戲『 伯夷抗行於首陽柳惠降志而辱仕』漢書敍 傳 而 一作「於」

尚書大傳四『七十者杖于朝見君揖杖當為去」· 八十者杖于朝見君揖杖挾也」· 出去:「揖·

****九十

者杖而朝見君建杖』為五文・

韓詩外傳九『一詘一信展而雲間』

晏子春秋外篇『 寡人不足以辱而先君「可」也·今為賞已通之子孫**」**。

漢書敍 傳下了 封禪 郊 **心心登秩而** 神。

論語 泰 伯篇: 写 而今而⁶ 後, シー訓「以」・

左傳襄七年『詩日「退食自公委蛇委蛇」謂從者也衡而委蛇必折』之[衡]同義·[逆]也·言[逆] 。 。 。 按[衡]興孟子告子篇]衡於慮]

字或作一 能:

左傳昭七年『孟絷之足不良能行』行也·

而一看「其」也「而」即其一一其一字條

爲指事之詞: 韓非子二柄篇『爲人臣者陳而言君以其言授之事』[其]也,主道篇作『故羣臣陳其言君以其韓非子二柄篇『爲人臣者陳而言君以其言授之事』[之],主道篇作『故羣臣陳其言君以其

言授其事し

心度篇『故欲舉大功而難致而力者大功不可幾而舉也』「其力」・。

易解九四『解而拇』趾・文例同此・

漢書梅福傳『今不循伯者之道迺欲以三代選舉之法取當世之士猶察伯樂之圖求騏驥於市而。 不可得亦已明矣』「而」可訓「其」、不必改字、不可得亦已明矣。」「中都曰、『而當作其字』、按

趙世家『 且令而國男女無別。

古書虛字集釋 卷七 丽 能

能

左傳僖二十八年『 有渝此盟明神殛之俾隊其師無克祚國及而玄孫無有老幼』 **注疏本「而」**誤作 石程宋本皆如此。

元校勘記・

襄二十八年了 必使而君「汝」也・棄而封守」

國語魯語一『今晉人鴆衞侯不死亦不! 討其死者諱而惡殺之也。

呂氏 春秋 異 (寶篇: _ 孫叔敖死王果 以美 地封其子而子辭」 「其」・是以意改・按後漢書引・「而」作

春秋繁露基義篇『盘而用而損其 妨。 <u>___</u> 一訓 其 ·

保位權篇『是以羣臣分職而治各敬而事爭進其功』其事也保位權篇。

莊子漁父篇『謹修而身愼守其眞。

此 上五 例皆 而 ---與一 其一 爲互文。

呂氏 春秋應 言篇: 當此時也 兩周全其 八北存 魏舉陶削魏地六百有之勢「此」也・是而入太蚤奚待

於魏敬之說 也?

淮南子道應篇『夫意而中藏者聖也』「度」也・

五三二

爲一殆一字之義是而有定

莊子天地篇『汝方將忘汝神氣訓[且]: 墮汝形骸而庶幾乎』 其庶幾乎』・文例同此・按孟子梁惠王篇『則齊國

爲疑詞順

説苑善説篇『歲飢來年而反矣疾疫將止矣』也・「或」也・説苑善説篇『歲飢來年而反矣疾疫將止矣』、「脟」ゕ「其」

字 或作 能:

莊子讓王篇『然而攫之者必有天下君能攫之乎』也:「或」也:

按 而」與「其」同義古書多通用如史記田完世家 《「不在: 此 而 在 異 國乎」左傳莊二十二年,

而」作「其」 楚辭雕騷篇『 芳菲菲而難虧兮』情誦篇『事 君而不貳兮』王注並曰『「而」

作一其。』遠游篇『命天閣其開關兮…… 日 暾暾其西舍兮』哀時命篇: 氣消滯其若波…

|粉糅其增加兮』王: 體解其不變分』愍命篇『 注並日: 「其」一作「而」」 心溶溶 其不可量分』 皆是也。 沈江篇 7 秋草榮其將實兮』九辯篇: 「霰

而一猶「之」 也訓見高等

雪

雖

卷七 丽 能

爲口語之一的

論語憲問篇『君子恥其言而過其行』作「之」・是以意吹・論語憲明:

佝書大傳『君子恥其言而不見從恥其行而不見隨』

此上二例皆見高等國文法引。

大戴禮勸學篇: 『吾嘗跂而望之不如升高而博見也』荀子勸學篇作『 不如登高之博見 也。

韓詩外傳十『 為宗 廟 mο 不血食邪則祝人太宰在 』 晏子春秋諫篇作『 爲社稷宗廟之不享乎? 則

泰祝子游存矣」

韓詩外傳九引詩曰『人而無良我以爲兄』則:「詩鶉之奔奔篇作『人之無良」

說苑建本篇引 5詩日『人而**何** 無良相怨 一方』詩角弓篇作『人之無良。

騺 語 泰 6伯篇: 人而不仁疾之已甚亂也」 虢相恃而勢也」 論衡問孔 疑本作「相恃而存也」,失之諸于平護謂「勢」字義不可通 篇引 而一作「之」

列女傳賢明傳『君子是以知周南之妻而能匡夫也』--句· の 十四字為 淮 南 子 人 間篇: _ 虞之與

管子·戒篇.『任之重者·莫如身·····期而遠者·莫如年』「之」·是以意义·讀書模志謂作「之」者是·失之管子·戒篇.』任之重者·尊如身····期而遠者·莫如年』「元」亦「之」也·互文耳·掌書治要引·「而」作

荀子性惡篇『不可學不可事而在人者謂之性可學而能可事而成之在人者爲之僞』同•「而在」荀子性惡篇『不可學不可事而在人者謂之性可學而能可事而成之在人者爲之僞』同•「而是]與「爲」

• 互文而•

赋篇『忽兮其極之遠也撞兮其相逐而反也』旋轉之貌·反亦旋也』· 三章章,

漢書司馬相如傳『故有剖符之封析圭而舒』

莊子列御寇篇『夫千金之珠必在九重之淵而驪龍領下』| 句·

大宗師篇『知天之所爲者天而生也』

此上八例皆「而」與「之 」爲互文。

|周書周祝篇『難而起自近者』為「之」・非是・

逸

禮記哀 公問篇『 公曰「君子何貴乎天道也」孔子對曰「貴其不已如日月東西相從而 不已也二

周禮司諫『以時書其德行道藝辨其能而可任於國事者」 。

呂氏春秋直諫篇『使公毋忘出奔而在於莒也使管仲毋忘束縛而在於魯也使甯戚毋忘其飯牛。

古書處字集釋 卷七 而能

而居於車下。

論衡 書解篇『皆士加各著不以思慮 間 也。

حيا

莊子逍遙遊篇『 吾鶩怖其言猶河漢而無極也。

爲指事之詞:

韓 非子十過篇「 क्षी 曠不得已而鼓之一奏而「一奏之」· 殆以意改• 有玄雲從西北方起再奏之大風

至大雨隨之』論衡紀妖篇作『一奏之……再奏之』,

儲說上篇『荆南之地麗水生金人多竊采金采金之禁得而輒辜磔於市甚衆**蹇**離其水也』 先王

「則」・失之・慎訓「而」爲

內

周 禮稍人『帥而 以 至。

史記 貨 殖 傳: المست 富者得 勢益 張失勢則客無所之以而不樂」

老子十七章『 其 次親而譽之』「而」皆作「之」・

楚辭雕騷篇! 何『般宗用而不長』 この一生という。

五三六

篇『鯭功用而不就。

逸周 書命訓 篇: — 古之明王奉此六者以**收**萬民民用而。 不失。

字或作 能:

逸周書度邑篇『 我未定天保何癡能欲』字訓「之」・與「的」同義・

白虎通義五行篇『土則害水莫能而樂』此「能」字訓「之」・爲指事之詞白虎通義五行篇『土則害水莫能而樂』,「而」改爲「能」・言英之能樂也

按 「而」與「之」同義古書多通用如楚辭懷沙篇『離慜而長鞠, 』史記屈原傳「而」作「之」

涉江篇『雖僻遠之何傷』文選「之」作「而」哀郢篇: **—** 忽 翱翔之焉薄, 悲 回 風篇『 愁鬱鬱

快兮』哀 時命篇『心煩寃之懺讒』沈江篇『 追悔 過之 無及 今」自悲篇『微霜降之蒙蒙·

之無

注並曰『「之」一作「而」』九辯篇『惟其紛糅而: 將落兮』九章篇『遭沈濁而汙滅

時命篇『愁修夜而宛轉兮…… 知貪餌而近死兮』自悲篇『徐風至而徘徊兮』王注並曰:

而 一作「之」 一」皆是也。 衣

£

丽 猶 當 也 如訓問當一也 猃

古書虛字集釋 绺 + M 能

五三八

賈子保傅篇『不習爲吏而視已事』「如」亦訓「當」‧說見經傳釋嗣明子保傅篇『不習爲吏而視已事』「如」亦訓悟傳篇作『如視已事』

論 語雍也篇 『斯人也而有斯疾也』訓邪·

列女傳賢明傳『曾子曰「唯斯人也而有斯婦」 :

論衡明零篇『歲氣調和災害不生尙猶而雩』

而, 一猶一故一也申事之前也「而」,正見一故」字條,

荀子正論篇『於是焉桀紂羣居而盜賊擊奪以危上矣[乎]也‧安禽獸行虎狼貪是]也‧ 故脯互

人而炙嬰兒矣』則「故」・

字」· 顏色不變而武王擒紂於牧野』『王古玉

韓非子喻老篇『句踐入宦於吳身執干戈爲吳王洗馬故能殺夫差於姑蘇文王見置於王門翌日·韓非子喻老篇『句踐入宦於吳身執干戈爲吳王洗馬故能殺夫差於姑蘇文王見置於王門翌日·

史記龜策傳『自三代之與各據禎祥塗山之兆從而夏啓世燕之卜順故殷與百穀之筮吉故周王』

此上三例皆「而」與「故」爲互文。

韓非子說林篇下『桓公問管仲富有涯乎答曰「水之以涯其無水者也富之以涯其富已足者也。

「其」皆訓「是」·人不能自止於足而忘讀爲亡。· 其富之涯乎』同義「以」皆訓「及」·

莊子天運篇『汝欲聽之而無接焉而故惑也』逾「是故」皆爲「故」也・「是」訓「故」・說詳「是」字條莊子天運篇『汝欲聽之而無接焉而故惑也』 「而故」是馥語・「 而 」亦「故 也・「而故」皆爲「故」

而」猶「亦」 一七旅師・『而用之』・鄭注曰・『而讀爲若』・是其證也・『一一』「而」訓「亦」・猶「若」訓「亦」也・「而」「若」古通用・周禮

戰國策趙策『秦雖善攻不能取六城』趙雖不能守而不至失六城』新序善謀篇作『亦不失六戰國策趙策』秦雖善攻不能取六城』趙雖不能守而不至失六城』新序善謀篇作『亦不失六

城。 느

論衡 《明雩篇》: 然則大等所祭豈祭山乎「其」也,假令審然「誠」也,而不得也」

孟子公孫丑篇『不幸而有疾不能造朝』

禮記昏義篇『敬愼重正而后親之禮之大體而所以成男女之別亦所以也,而立夫婦之義也』。

一个 一比」也。「而」「若」古通用·

韓詩外傳四『紂殺比干而囚箕子爲炮烙之刑殺戮無時羣下愁怨皆莫冀其命然周師至, 令不行

乎 左 右而豈其無嚴令繁刑 也哉其所以統之者非其道故也』荀子議兵篇作『是豈令不嚴刑?

不繁也哉』並與「此豈」同義・

古書虛字集釋 卷七 而能

戰 國策趙策一『豫讓拔劍三躍呼天擊之曰「而可以報智伯矣」

淮南子秦族篇『故法者治之具也而非所以爲治也而猶弓矢中之具而非所以中也。

「亦獨」・失之・

春秋繁露基義篇『陽之出也常懸於前而任事陰之出 也常懸於後而守空處而見天之親陽而,。 疏

陰此見也・任德而不任刑也』

荀子堯問篇『伯禽將歸於魯周及謂伯禽之傅曰「汝將行盍志而子美德乎」』同・表也・荀子堯問篇『伯禽將歸於魯周及謂伯禽之傅曰「汝將行盍志而子美德乎」『志奏[畿

墨子號介篇『而所以備姦也』「此」之誤・失之・

魯問篇『子欲學子之子今學成矣戰而死而子慍] Mio **糶**響則慍 也。 同響

天志篇上『且語言有之日「焉而日晏焉而得罪將惡避逃之」 頓・上「焉」字訓「於」・上「而」字訓「此」・言於此淸明之日焉・而得與也云・『晏者淸也明也』・按孫俞武皆是也・「 爲而日晏爲 」五字・讀時當 دييا 晏焉而得罪 | 八字気句・諸子平は嫐・引間計本・孫治譲云・『焉而 議日

而一猶一寧一也原西古讀者一瞬之轉

一爲「豈」字之義

論語顏淵篇『爲仁由己而由人乎哉』

爲「何」字之義:

漢 書 韓信 旧傳『信乃仰』 視適見滕公日 上不欲就天下乎而斬壯士」』 史記 1淮陰侯傳 作 何

斯壮士』奥書「何爲」同意・

史記呂不韋傳『 且自大君之門而乃大吾門 』大吾門』・是以意改・讀書模志謂當從御覽・:「而」・寧也・何也・御覽引作『盡自大君之門 失 之顧 乃

論衡是應篇『堯候四時之中命羲和察四星以占時氣四星至重猶不躬親而自察論, **茨以數** 日也?

說苑反質篇: ___ 孔子卦得賞, 喟然而嘆 息子張進與 舉手而問日: ____ 師聞資者吉卦而嘆之乎」即何

禮記櫝弓篇『旣曰明器矣而又實之』

左 傳 襄二 十三 年: 一一子有 美 錦不 使 人 學 製焉大官大邑身之所庇也。 而。 使 學者製焉?

昭三十二年『 趙簡子問於史墨曰「 季氏 出其君而民服焉[之]也 • • 諸侯與之君死於外而莫之或

罪也」對曰「物生有兩有三有五有陪貳一』

語楚語 Ŀ: 女 無 亦 謂 我 老耄而 || 舍我語急省去·言汝不亦謂我老耄而捨我乎· || 而又 誇我 || 何乃也· ? 無·不也· [我]下當有「乎」字·無之者·是◎ ? || 「而又」·

古書 虚字集 學一卷七 一 而 能

而 稻一是」也「而」,五見「是」字條,

左傳宣十五年『及輔氏之役顆見老人結草以亢杜回杜回躓而頗故獲之夜夢之曰「余而所嫁

婦 人之父也』論衡死僞篇作『余是所嫁婦人之父也』。

襄三十年『非相違也而相從也』

大戴禮勸學篇『君子之性非異也而善假於物也』

史記到敬傳『周不能制也非其德薄也而形勢弱也』:

韓非子難二篇『使桓公發倉囷而振貧窮論囹圄而出薄罪非義也不可以雪恥使之而義也義」: 也. 桓公宿義須遺冠而後行之則是桓公行義為遺冠也 』字. 兹從盧文照校嗣,是義

此上四例「而」皆與「非」爲對文是「而」卽「是」也。

內 儲說上七術篇『若如臣者猶獸鹿也唯薦草而就。。

禮記 祭義篇『 已徹而退無敬齊之色而忘本也。 一訓を学

管子輕重丁篇 且君幣籍而務則賢人獨操國趣君穀籍而務則農人獨操國固。

莊子胠簽篇『跖曰「何適而無有道也」 : 』文・是也・謂「而」爲「其」之論・則非・「而」・「是」也・「適」與,讀書模志謂「無」字爲衍文・「而」爲「其」之識・按謂「無」爲衍

呂氏春秋當粉篇・作『奚啻其有道也』・「其」亦訓』是」・「啻」同・「但」也・「何適而有道也」・卽何但是有道也・

循「又」也「而」·互見「又」字條 ・訓

而,

說苑辨物篇『仲尼在陳有隼集於陳侯之廷而死楛矢貫之石砮矢長尺而咫』 國語魯語作 其

長尺有咫』皆即「又咫」・「市咫」・「有咫」・

韓 非子難二篇『夫六晉之時智氏最强滅范中行而從韓魏之兵以伐趙』說苑敬愼篇作『又率非子難二篇』

又等策,『昔吳王夫差,以强大為天下先,强襲郢而棲越,身從諸侯之君』,亦謂身率諸侯之君也,者,則據說苑以改韓于耳,古謂「率」曰「從」,故戰國境趙策作『知伯從韓魏兵以攻趙』,文與韓子同 韓魏之兵以圍趙襄子於晉陽』「又率」、按韓改非也、「而」與「又」同義、「從」與「率」同義、御覽作「又率」韓魏之兵以伐趙』、王先愼韓非子集解據御覽改「而從」為

戰 國策楚策一『且魏令兵以深割趙趙見亡形而有楚之不救己也「以」也、必與魏合而以謀楚。

__

魏策三『其功多於與秦共伐韓然而無與强秦鄰之禍』「而」也・

淮 南子精神篇 是故 無所 甚疏 而無所甚親。

易 說卦『 萬物之所 成 終而 所成 始 也。

古 [善趣] 字集釋 卷七 丽 能

Ŧ. 29

而,猶 押 一 也。

列子仲尼篇『壺邱子曰「 禦寇之遊固與 人同數而] 日 固與人異歟] 「押が」・

而一循一乎一也一而一如一声通·

爲感歎之詞:

論語微子篇『已而已而今之從政者殆而』莊子人間世篇作『 已乎已乎殆乎殆乎!

爲反詰兼感歎之詞:

左傳宣四年『若敖氏之鬼不其餒而』 其然平し、文例:論語泰伯篇・『

| 東此同・

逸 周書芮良夫篇『不其亂而』

爲介詞:

法言寡見篇。君子惟正之聽荒乎淫拂乎正沈而樂者君子弗聽也』「乎」為五文 ・與

而 猶一哉 一也。「而」「如」古字通・

詩著篇『俟我於著乎而』

一而」猶「耳」也顧字、故以為訓・

論語子罕篇『康棣之華偏其反而豈不爾思室是遠而』

而為一猶一然為一也是反話乘感歎之詞.

荀子王霸篇『旣能當一人則身又何勞而爲』

呂氏春秋當務篇『子肉也我肉也尚何革求肉而爲』。00?

此上二例之「而爲」並與莊子徐无鬼篇「奚惑然爲」之「然爲」同義。

而一猶「然而」也而」也·「而」「然」「聲之轉·

淮南子人間篇『夫病溫而强之食病暍而飲之寒此衆人之所以爲養也而良醫之所以爲病也 頁

泰族篇『晉獻公之伐曬得其女非不美也然而史蘇嘆之見其四世之被禍也吳王夫差破齊艾陵, 勝晉黃池非不捷也而子胥憂之見其必禽於越也』「然而」· 文義同·

古書戲字集釋 卷七 而能

·汝」猶「此」也字通作「女」

詩鴟鴞篇『今女下民』孟子公孫丑篇引「女」作「此」『今此下民」句例同詩鴟鴞篇『今女下民』孟子公孫丑篇引「女」作「此」『今此下民」句例同 靜女篇『自牧歸夷洵美且異匪女之爲美美人之貽』也・指襲官

如

如, 一爲「若似」之義 **禮記大學篇「如惡惡臭」** 若一也。

爲 一若或」

如, 一獨一条」也見公羊傳昭十 論語述而篇『如不可求從吾所好**』**

詩晨風篇『如何如何』

如 孟子梁惠王篇『君如彼何哉』 一猶「及」 一七注云・『及猶如也』・是如亦及也・一と淮南于修務篇・『堯舜之聖不能及』・

論語子路篇『不如其鄉人之善者好之其不善者惡之』人·不爲憂矣」之「不及」同義·論語子路篇『不如其鄉人之善者好之其不善者惡之』人·不知」與孟子盡心篇『則不及

如,

詩車攻篇『不失其恥。合矢如破』傳釋詞訓「如」爲「而」,說猶稍疏二,猶一「則」」也「則」,猶「而」訓「則」也,則」也,則是稱傳釋詞,「如」訓 經

召复篇『維昔之富不如時維今之疾不如茲』(書康誥篇・『乃惟書炎』・潛夫論並敖篇引・「災」作「哉」・召复篇『維昔之富不如時維今之疾不如茲』(書康誥篇・『乃惟書炎』・潛夫論述敖篇引・「災」作「哉」・

昔之富則著·在今之貧則災也·經傳釋詞酬「不」字爲「語助」·甚應·而剛「如」爲「似」。「時」爲「是」。「茲」爲「此」·詩下武篇。『昭茲來許』,三家詩「茲」作「哉」,是「茲」「哉」「災」三字通用·按「哉」「災」「茲」三字,古皆同音),言在

甚則 ・背誤

古書虚字集釋 如

風俗通義窮通篇『昔子夏心戰則癯道勝如肥』「則爲五文·法言五百篇『世人之益者倉廩也取之如單』「盡」也·與法言五百篇『世人之益者倉廩也取之如單』「盡」也·

如 一 循 「 於 」 也 離 見 經 傳

呂氏春秋愛士篇『人之困窮甚如饑寒。

心汲黯傳『一 至如0 黯見上不冠不見也。

此 上 一例並見經濟 傳釋詞引。

佞幸傳『甚貴幸埒如韓媽也。

項羽紀: 如今人方 為刀俎, .__ا

呂氏 春 秋 4. 節篇: 大者定天下其, 次定二 國必由. 如。 此 人 者 也。

管子 心 近術篇下: = 善氣迎人親如弟兄惡氣迎人害於戈兵』內業篇作『 善氣迎人親於弟兄惡氣

迎人害於甲兵』

猶 而

如

五四八

左傳隱七年『 歃 如⊙

襄二十三年『 非鼠 如◎ 何?

大戴禮王言篇『 使有了 司月省如時攷之」

此上三例並見經 傳釋詞

如一猶「乃」 世訓見経傳

詩常武篇『王奮厥武如震如 怒 <u>_</u>_ 詞見 理 傳 釋

一如一猶一當」也釋詞:

左傳僖二十二年『若愛重傷 則如勿傷愛其二毛則如服焉。

大戴禮保傅篇『不習爲更如視已事。

此 上二例並見經 傳釋詞 引。

派 一一公孫 丑篇: $\overline{}$ 寡人如就見者也「之」也·有寒疾不可以 風。

漢書翟義 傳: 欲 介 都尉自送「若」也·則如勿收邪」則「如」為「將」·失之· 「邪」論「耳」也·經傳釋 調

古書虛字集釋 卷七 如

五 四九

一如」猶「與」

史記虞卿傳『趙王問樓緩曰「予秦地如毋予 也·不 **孰** 吉? **」新序善謀篇「如」作「與」經**

引傳 ・釋 詞

如

猶「或」 也也·「如」「若」古同音通用· [如」訓「或」·獨「若」訓「或」

論語先進篇『方六七十如五六十「如獨與也』· 按王武不如朱武爲長·論語先進篇『方六七十如五六十「如獨與也』· 按王武不如朱武爲長司曰

宗廟之事如會同一

儀禮鄕飲酒禮『公如大夫入』爲[與]・未允・

左傳宣十二年『有喜而憂如有憂而喜乎』為「將」·未允· 上傳宣十二年『有喜而憂如有憂而喜乎』為「將」·未允·

如」循「爲」也「而」即爲」也

戰國策楚策一『夫史舉上蔡之監門‧也大不如事君小不如憂室』史記甘茂傳作『戰國策楚策一『夫史舉上蔡之監門‧也大不如事君小不如憂室』史記甘茂傳作『 大不爲事君,

小不爲家室.

買子諭誠篇『湯曰「嘻盡之矣非桀其孰能如此」』 禮篇作 非桀其孰爲此」

左傳昭元年『是謂近女見經義述聞・ 室疾如蠱』「致」・

五 五〇

淮南子天文篇『三三如九……三與五如八』八』、「而」亦「爲」也、淮南子天文篇『三三如九……三與五如八』八』、「而」亦「爲」也、 闹

論語 公 冶篇 『何如其 知也』如」即「何爲」,猶憲問篇「奚而不喪」之「奚而」即「何爲」也論:"何爲其然也」,文例同此,按「如」與「而」古字通:

法言 問 明篇: $\overline{}$ 何如。 其 明也?

五百篇: 何 如◎ 其大 也?

韓詩外傳六『天子於其 君之朝也揖而進之曰「噫朕之政敎有不得爾者邪何如乃有饑寒而

如一个一以一也一一则以上 得衣食有獄訟而不平其冤失賢而不舉」』 ・猫

大戴禮文王官人篇「志殷如深其氣寬以柔」 逸周書官人篇作了

志殷以淵』「深」也・

又『少言如行恭儉以讓。 <u>__</u> 逸周 書, 如 **___** 作一 以。

荀子大略篇『 學者 非 必為 仕而 □仕者必如學。 | 奥|由|同義・

『不知 所 如[©] 往。

詩 柏 州篇 一耿 耿 不寐, 如有隱憂。 』爲「而」・未允・ 脛傳釋罰訓「如」

古善虚字集釋 卷七 如

如

書洛誥篇『周公拜手稽首曰「朕復子明辟 辟·君也· 王如弗敢及天基命定命[基]字訓[始]·智洛誥篇『周公拜手稽首曰「朕復子明辟 辟·君也· 王如弗敢及天基命定命[基]字訓[始]·[能]也· 此

予乃胤保大相東土其基作民明辟 」』「基」字訓「課」・

如一个一之一也「之」、狗「而」訓」之」也,

韓詩外傳四『宛如鉅釶惨若蜂壺』『宛・地名・大剛日鉅・鉳與鎰同・矛也』・ 史記禮書作『宛之韓詩外傳四『宛如鉅動・楊注云・

鉅鐵施釶同鑽如蜂壺」

管子輕重甲篇『今每戰與死扶傷如孤《茶首之孫』

禮記祭義篇『如見親之所愛如欲色然』[如]字訓[似]・出記祭義:

此上二例皆「如」與「之」爲互文。

如一个一作」也古字亦通、数如可訓能」。

曹秦誓篇『其心休休焉其如有容』则「而」·公羊傳文十二年作『其心休休能有容。

如一猶「是」也「如」則是正獨 莊子 秋水篇『吾以一 足趻踔而行予無如矣今子之使萬足獨柰何」「如以雙聲借為能」,

五五二

論衡幸偶篇『長數仞之竹大連抱之木工技之人裁而用之或成器而見舉持或遺材而遭廢棄, 非

工技之人有愛憎也刀斧如有偶然也』為對文·

如 酒一即一也「即」· 口語

史記淮南王傳『王曰「上無太子宮車即晏駕廷臣必徵膠東王不如常山王」』「酉」同‧漢書「史記淮南王傳『王曰「上無太子宮車即晏駕廷臣必徵膠東王不如常山王」』「否」與

如」作「卽」

論語憲問篇『桓公九合諸侯不以兵車管仲之力也如其仁如其仁**』**

如一猶「寧」 七故「如」亦訓「笒」・「如」「而」・「寧」古音皆雙撃・「如」與「而」古字通・「而」訓「箏」・

法言問道篇『或曰「申韓之法非法與」曰「法者謂唐虞成周之法也如申韓如:: 和 韓? 一

吾子篇『如其智如其智』 **喔』·文例同此·**

如其富如其富しの?

古書虚字集釋

如

五五三

五 五 四

淵騫篇『如其寢如其寢』

察見篇『如賢人謀之美也詘人而從道如小人謀之不美也朏道而從人」: 。

如」猶一雖」也「若訓」雖」也

論語泰伯篇『如有周公之才之美使驕且吝其餘不足觀也已』

如一猶「若此」也「若」則「如此」也

世說容止篇注引語林云『王仲祖每覽鏡自照曰「王文開那得生如馨兒」』『馨』:「語助」詞世說容止篇注引語林云『王仲祖每覽鏡自照曰「王文開那得生如馨兒」』「馨」:「何」也

按「如馨兒」與晉書王衍傳『何物老嫗生寧馨兒』之「寧馨兒」爲一語與「寧」為雙聲· 。「如」古讀者「奴」

寧」亦爲「若此」之義說詳「寧」字條。

「如」猶「哉」也。

禮記祭義篇「善如爾之間也 *! 』爾之問也』·文例同· 此與韓詩外傳七·『善哉

如 」猶「乎_ 也訓見經傳

漢書王吉傳『大王誠留意如此』

韓非子存韓篇『均如貴臣之計也・ 則秦必爲天下兵質矣」本・韓非子存韓篇:

大戴禮衞將軍文子篇『當如是假也得之矣』游:

如」「然」也狀事之詞也釋詞:

說文引詩曰『宛如左辟』詩葛履篇作『宛然左辟』 1 - 外』 七別』 | 本語 七程語・

論語鄉黨篇『恂恂如也……色勃如也』

此上二例並見經傳釋詞引。

易晉初六『晉如摧如』 如」猶「焉」也語末助詞也。

離九四『突如其來如注》[其]:猶[又]也: 焚如死如棄如 』

岩

古書虛字集釋 卷七 若

若一「如」也。

爲如似之義 論語泰伯篇『有若無』

爲如或之義:

左傳傳二十三年『公子若反晉國則何以報不穀』

若」猶「柰」也。

書微子篇『若之何其』「哉」也・

若」猶「然」也狀事之詞也onle

詩氓篇『其薬沃若』詞引・

若」猶「焉」 一也語末助詞也。

「若」猶「此」也**翻記**稱 易節六三『不節若則哮者』

五五六

曹盤庚篇 一子若顧懷茲新邑 』邑也·經傳釋詞訓者 爲惟一·未允·曹盤庚篇 一子若顧懷茲新邑 』邑也·經傳釋詞訓者爲惟一·未允·

禮記會子問篇『以此若義也』「若」亦「此」也

公羊 傳定 <u>一</u>四年: 君如有憂中國之心則若時可矣』「此」也、穀梁傳作『 則若此時可矣」複語

一世を

此上二例並見經傳釋詞引。

若一猶「如此」也問題·傳

荀子禮論篇『故人苟生之爲見若者必死苟利之爲見若者必害。 ___

儀禮士昏禮『勖率以敬先妣之嗣[是]也·若則有常』

若」猶「而」也釋詞·

書金縢篇「子仁若考」「传」・「考」讀爲「巧」・

召誥篇二二 相 古先民有夏天迪從子保面稽天 若今時旣墜厥命今相有殷天迪格保, 心面稽天,句

既墜厥命今沖子嗣則無遺壽者曰其稽我古人之德矧曰其 行能 飛稽謀自天. 項籍傳『馬童面「面」讀如漢書

古書虚字集釋 卷七

岩

今時

五五七

惟其稽我古人之德,亦惟其有稽謀自天也,「稽謀自天」下,無「若」字,可證舊以「面稽天若」爲句之體之』之「面」,背也,「面稽天」,背稽天也,「若今時」,而今時也,「曰」與「聿」同,惟也,「矧」,「亦」也

右」猶「乃」也。

國 語 周語引書曰『必有忍也若能有濟也』此例見經傳釋詢引・

老子十三章『故貴以身爲天下若可寄天下愛以身爲天下若可託天下』 宥篇:「若」皆作「則」:淮老子十三章『故貴以身爲天下若可託天下』 ,⑤ 此例見詞詮引:按莊子在

病」・「則」「焉」が皆訓乃・ 南子道應篇・「若」皆作「

則 一也。 種間· 種間·

孟子公孫丑篇『伯夷伊尹於孔子也‧ 若是班乎」之是:

韓非子外儲 說右 上篇『 . 起日: 世起謂・吳 使子為組令之如是而今也異善何也」其妻曰: 用财

也加務善之」」也:勉

莊子山木篇『君子不爲盜賢人不爲竊吾若取之何哉?

戰國策楚策一『王若欲置相於秦乎如欲也·若公孫郝者可』

國語吳語『苟伯父令女來明紹享余一人若余嘉之。

論衡書解篇『陸賈司馬遷劉子政楊子雲其材能若奇』

說苑修文篇『貌若男子之所以恭敬婦人之所以姣好也』

善說篇『雍門子周以琴見乎孟嘗君孟嘗君曰「先生鼓琴亦能令文悲乎」雍門子周曰「臣何善

獨能令足下悲哉 也· 寫·為 臣之所能令悲者有先貴而後賤先富而後貧者也不若身材高妙適遭

暴亂無道之士妄加不道之理焉。「若」・「則」也・言否則身材高妙也

岩一猶「雖」也。

易乾九三『君子終日乾乾夕惕、若厲无谷』 | 夕惕若」爲句・皆失之・以「夕惕若厲」爲句・或以 惕・雖危无咎矣」・以「雖危」釋「若属」・是其證也・先儒或「若」・「雖」也・「厲」・「危」也・文言曰・『故乾乾因其時而

左傳襄二十九年『觀止矣若有他樂吾不敢請已』

戰國 策秦策四『 齊魏 得 地 模利而詳事下吏治也。· 年之後爲帝若未能於以禁王之爲帝有

餘矣』增·「於」·「而」也·

齊策三『君聽臣則可不聽臣若臣不肖也臣輒以頸血渝足下衿』

古書電字集釋 卷七 若

五五九

大〇

若一新一以」也「如」斯以上 一种

書 君奭篇『殷旣墜厥命我有周旣受我不敢知曰厥基永孚于休若天棐忱』也·[忧]·[值]也· 。 ○ 「棐]與[匪]同·不可

論 衡 禍 虚篇: 『若此言之顏淵 不當早天盜跖, 不當全活也」

咸虛篇『言湯以身禱於桑林自責若言』

荀子 議兵篇『故齊之田單楚之莊蹻秦之衞鞅燕之繆賤是皆世俗之所謂善用兵者也是其:

强弱, 則未有以相君也「君」・「長」也・若其道一也未及和齊也。

國 語晉 語九: 「國家之將與也君子自以爲不足其亡也若有餘。

龍辱者驚貴大息若身「驚」・「動」也・何謂龍辱者驚龍爲上辱爲下

皆如此·王弼i陈景元李道純·

本本

作・

老子十三章『

説詳諸子平議・有脱誤 得之若驚失之若驚是謂: 罷辱若驚何謂貴大患若身吾所以有: 患者 P為吾有身

及吾無身吾有何患』也、假設之範・

引易・作『失之毫釐・差以千里』・「之」亦「以」也・序・説苑建本篇・賈子胎教篇・漢書趙充國傳・並 經解篇引易日『差若毫釐謬以千里』 |漢書司馬遷傳引易作『差以毫釐謬以千里。 配按 自史

若 一个 他一也能見經傳釋詞

曹文侯之命篇『女多修扞我 于艱若女予嘉」調明

呂氏春 秋 雛 俗篇『不若是而已又欲以其: 辱行 漫我。 稿莊 同子 王

若 ・猶

猶 尚

荀子君道篇『國雖若存古之人日亡矣』道稿同· 。 淮南子君

莊子達生篇『 嘗與汝登高山「試」也·履危石臨百仞之淵若能射乎

呂氏 春 秋 知度篇『 舜禹 潛老。

困而! 况俗主子』亦一一「亦」亦「尚」也・

邁 巡 徒篇 兵 篇: · ---7 爲之而樂矣奚待賢者 中 ·主ূ ·主 僧若不能 · 有其 民, 而 雖 不肖者猶 況 於暴 君 岩勸之」 乎。 ڪ

禮記 禮運篇 『其燔 秦椑豚河 汗算 而 | 抔飲費 | 桴而 土鼓猾若可以致其敬於鬼神。

墨子尚賢篇 _ 未 知 所以行之之術則事! 滑若未 成。 __

管子 輕 重 甲 篇 君 雖 **彊本趣耕發草立幣而** 無止民猶若不足也。

古書虚字集釋 卷七 若

荀子不苟篇『雖作於心見於色出於言民猶若未從也』

此上六例經傳釋詞皆訓 世に調見を得 若」爲「然」失之。

爲指事之詞:

「若」猶「其

書召誥篇『我亦惟茲二國命嗣若功』 制 利 理 傳 釋

墨子天志篇『今人處若家得罪……今人處若國得罪』文法引・墨子天志篇『今人處若家得罪……今人處若國得罪』文法引

爲命令兼期望之詞:

左傳昭元年『子若勉之以勸左右可也』詞引·

醴記祭統篇『 叔舅子汝谿若纂乃考服』爲「惟」・失之・

「若」猶「當」 し「好」訓「當」也・

左傳宣十七年『吾若善逆彼以懷來者』至職:

孟子盡 |心篇『滕更之在門也若在所禮而不答何也:

國語吳語『王若今起師以會』「即也!

論衡論死篇『使死人有知必恚人之殺己也當能言於吏旁告以賊主名若能歸語其家告以尸之論衡論死第『使死人有知必恚人之殺己也當能言於吏旁告以賊主名若能歸語其家告以尸之

所在』為五文・

者」猶「與」也翻題 傳

書召誥篇『旅王若公』陳言於王與公也一年」 化釋詞:

禮記內則篇『父母有婢子若庶子庶孫 一

此上二例並見經傳釋詞引。

祭義篇『容以遠若容以自反也』

論衡變虛篇『天使螢惑加禍於景公也如何可移於將相若歲與國民乎』 』「奥」爲互文・此例「若」與

「若」猶「或」也調見經傳

儀禮士昏禮記『若衣若笄』

左傳襄十一年『若子若弟』

古書虛字集釋 卷七 者

昭 十三年『若入於大 古書盛字集釋 都而乞師於

此上三 例, 並 見 經 傳 釋 詞 引。 **(諸侯?**

周 禮 解課: 凡 封 國若家,

儀禮燕禮: · 幂用給若錫。

左傅襄十三年『 請 為靈者 厲。

此

上三

釋

賈子修政語篇下: 例, 經 傳 凡人者若賤若貴若老若 詞 並 訓 若 爲 與。 二失之。 幼。

戰國策趙策四: 『然則貿馬善而若惡 _ 皆無危補於國」

韓詩外傳四『管仲曰: 意若國 中有聖· **一人乎?**

若 一猶「及」 一世。訓見經傳

國語 晉 語: _ 病 未若死』左 傳成二年「若」作「及」

召誥篇 一若翼日乙卯,

五

此上二例並見經傳釋詞引

孟子梁惠王篇『不若與人』人』之「及」・同義・

荀子强國篇『今君人考譬稱比方則欲自並乎湯武若其所以統之則無以異於桀紂而求有湯武:

之功名可乎』「及其」同義・猶言「至於」也・

| 右|| 介|| 小|| 七|| 而況俗主乎||・ 既苑覃賢篇「若」作「亦」・是「若」亦」同義・故通用・

墨子節葬篇『計厚葬久喪奚當此三利者我意若使法其言用其謀厚葬久喪實可以富貧衆寡定。 危治亂乎此仁也義也孝子之事也……意亦使法其言用其謀計厚葬久喪請可以富貧衆寡定

危治亂乎同· 則仁也義也孝子之事也』亦」為五文· 司 () 清爽誠

若一猶「於」也「若」則於」也

一爲介詞

書皋陶謨篇『予創若時』時・是也・

爲「在」字之義

若

書呂刑篇『若古有訓』

大誥篇『若昔朕其逝』「之」也・

金縢篇『惟爾元孫某遷属虐疾也·若爾三王是有丕子之貴於天』「子」讀爲「慈」・金縢篇『惟爾元孫某遷属虐疾也·若爾三王是有丕子之貴於天』「子」讀爲「不」・

此上三例經傳釋詞並訓「若」爲「惟」未允。

若一猶「乎」也「若」如乎」。

公羊傳僖二十六年『曷以爲內外同若辭』

史記司馬相如傳『吞若雲夢者八九』

墨子非攻篇中『及若此則吳有離罷之心……及若此則韓魏亦相從而謀曰」

「若夫」提示之詞也闡表

大戴禮衞將軍文子篇『文子曰「若夫知賢人莫不難」」

五六大

禮記曲禮篇『若夫坐如尸立如齊』義舉例:

「若夫」猶「及夫」也「至乎」也為:「夫」與「乎」而義: 轉接之詞也。

禮記樂記篇『若夫禮樂之施於金石……及夫禮樂之極乎天而蟠乎地』夫爲五文•禮記樂記篇『若夫禮樂之施於金石……及夫禮樂之極乎天而蟠乎地』夫爲五文•

莊子山木篇「若夫萬物之情人倫之傳則不然」之與人則不然」,文例同,

大戴禮會子事父母篇『孝子惟巧變故父母安之者夫坐如尸立如齊……」

孟子離婁篇『若夫君子所惠則無矣』

易繫辭傳『若夫襟物撰德辨是與非則非其中爻不備』

岩乃」轉語詞也別類是傳釋調·按「若

戰國策齊策『若乃得去不肖者而爲賢者狗豈特攫其腓而噬之耳哉』詞引•

淮南子犯論篇『若乃人攷其才而時省其用雖日變可也』

若干」不定之詞也。

飕記曲醴『始服衣若干尺矣」

然

若而」不定之詞也釋詞:傳

左傳昭三年『則猶有先君之適及遺姑姊妹若而人』詞引· 第四三:

然

然」猶「是」也。

爲「是非」之是

論語雅也篇『雅之言然』

爲「此」字之義

左傳襄九年『是於周易曰「隨元亨利貞无咎」元體之長也亨嘉之會也利義之和也貞事之幹

也體仁足以長人嘉德足以合體利物足以和義貞固足以幹事然故不可誣也是以雖隨无谷』

也·不可·無所也「然故不可誣也」者

五六入

「然」詞之轉也

左傳傳三十年『然鄭亡子亦有不利焉』

然而」詞之轉也就是標

孟子公孫丑篇『然而孟施舍守約也』二字・與此同義・

一然而」詞之承上而轉者也猶言一 「如是而」

孟子梁惠王篇『然而不王者未之有也』二字·與此異義:

雄時外專四『女催》。然一猶「然而」也。

韓詩外傳四『汝淮以爲險江漢以爲池緣之以方城限之以鄧林然秦師一韓詩外傳四『汝淮以爲險江漢以爲池緣之以方城限之以鄧林然秦師一 至於鄒郢舉若振槁然』

說苑建本篇『忠則忠矣然非禮也』然而未仁也』·文例同·說苑建本篇『忠則忠矣然非禮也』然而未仁也』·文例同: 而」也: 荀子議兵篇作『於二: 然而秦師 至而鄢郢舉若振槁然。

然」猶「然則」也說見詞

後漢書宦者傳『月命仲冬命閹尹審門閭謹房室詩之小雅亦有巷伯刺讒之篇然宦人之在王朝,

古書處字集科 卷七 然

松

者舊矣」引き

論衡感虛篇『夫草木水火與土無異然札梁之妻不能崩城明矣』

晏子春秋襖篇『公曰「然夫子之於寡人何爲者也」

「然」狀事之詞也。

論語公冶篇『斐然成章』

「然」比事之詞也。

禮記大學篇『如見其肺肝然』

「然」應詞也釋詞·

論語陽貨篇『然有是言也』調明.

晏子春秋襍篇『公見其妻曰「此子之內子也」晏子對曰「然是也」』

「然」「如是」也®建立大

孝經『夫然故生則親安之祭則鬼享之』

五七〇

禮記少儀篇『然故上無怨而下遠罪也』 連讀,們「然」為「是」,按此例「然」字為一句,與上例「夫然」二字孔疏以「然」字為句,楊氏詞詮從之,王氏經傳釋詢以「然故」二字

「然故」二字連讀之各例・皆當以「然」字爲句・「故」字屬下爲句・文例同・當以孔楊之說爲韙・凡經傳釋詞「然」字條 設・以

如是。

然」猶「乃」 按經傳中言「不然」「 世の調見経傳 雖然」「然則」者「然」 字皆訓

莊子天地篇『始也我以汝爲聖人邪同義‧ 今然君子也』 制制・停停

徐无鬼篇『今也然有世俗之累焉。

又『於是乎別而聞之於齊適當渠公之街然身食肉而 終。

買子准 難篇 **—** 闔 .閻富故然使專諸刺吳王僚燕太子丹富故然使荆軻,。 刺秦王政』 本「然」皆作「能」

史記滑稽傳: رات 朔初入長安至公車上書凡用三千奏牘公車令兩人共持舉其書僅然能勝之』

楚辭九章篇: 「然容與而狐疑。

篇: 然飲 傺 而 沈藏。

古書庫字集釋

卷七

然

大戴 禮千乘篇『子曰「立妃設如太廟妃‧適妻也』‧然乃中治中治不相陵』「然」亦「乃」也禮千乘篇『子曰「立妃設如太廟妃‧適妻也』‧然乃中治中治不相陵』「然乃」是復語

墨子魯問篇『若以白公爲不義, 「何故不受王誅白公然而反王』「乃」·言誅自公乃反王也· 回故不受王誅白公然而反王』「然而」爲「然乃」之傳語·皆訓

区 語 周語『上得民心以殖義方是以作無不濟求無不獲然則能: 樂此』「乃能樂此」也

然」猶「則」也調題·

荀子大略篇『少言而法君子也多言無法而流詰當為順一然雖辯小人也』

荀子仲尼篇『仲尼之門人五尺之豎子言羞稱乎五伯是, 何也曰然彼誠可羞稱也」

墨子非命篇中『然則胡不嘗及之諸侯之傳言流語乎』「則」也,此太孫治言

然」猶「卽」也。

莊子外物篇『鮒魚曰「吾得斗升之水然活耳』

然」循「而」也翻記標傳

管子版法解篇: 『然川君子之爲身無好無惡然已乎』而已也:

孟子公孫丑篇『識其不可然且至』

此上二例並見經傳釋詞引。

論 衡定賢篇『治病之醫未必惠於不爲醫者[鑒]同·然而治國之吏未必賢於不能治國者偶得其,[惠]與®

方遭曉其術也』也:「遺」、循「適」也・

然一循「如」也聲之轉

一爲一何如」之如詞·

說苑善說篇『趙簡子問於成摶曰「 吾聞夫羊殖者賢大夫也是行奚然」」「其」也・

爲「如似」之義

淮南子修務篇『欣然七日不食如饗太牢』「而」也・

爲一如或一之義:

書盤庚篇『予丕克羞爾用懷爾 然失于政陳于茲……』w·久

管子七臣七主篇『土地不毛則人不足人不足則逆氣生逆氣生則令不行然彊敵發而起雖善者

不能存。

古:億字集釋 卷七 然

五七四

史記陸賈傳『足下位爲上相食三萬戶侯可謂極富貴無欲矣然有憂患不過患諸呂少主耳』史記陸賈傳『足下位爲上相食三萬戶侯可謂極富貴無欲矣然有憂患,過患諸呂少主耳』

孟子盡心篇『 山徑之蹊間介,然用之而成路爲間不用則茅塞之矣」也,用,行也,爲,以也, 實

而不行。則茅斯塞之矣。說詳拙著孟子正義補正。山徑之蹊屬碍不通。如行之則成路。以其隔碍不通

然一循一且一也訓見」,故然亦訓且,

一爲「又且」之義

越絕書請糴內傳『親之乎彼聖人也將更然有怨心不已」

爲「尙且」之義

楚辭七諫篇『年既已過大半兮然埳軻而留滯』:

史記游俠傳『猶然遭此番』

然一猶「焉」也轉動:

禮記哀公問篇『君子以此之爲尊敬然』

又『寡人願有言然』

孟子公孫丑篇『今時則易然也』

此上三例並見經傳釋詞引。

叉『今言王若易然』此也.::

詩常武序『有常德以立武事因以爲戒然』:

史記律書『文帝時會天下新去湯火人民樂業因其欲然句 能不擾亂「而」同·故百姓遂安」

「然」猶「也」也詞·之

論語憲問篇『羿善射奡盪舟俱不得其死然』潛夫論五德志篇引「然」作「也」。)

說苑正諫篇『子胥曰「嗟乎讒臣宰嚭爲亂王顧反誅我「願」亦「反」也·我合若父霸又若立時諸說苑正諫篇『子胥曰「嗟乎讒臣宰嚭爲亂王顧反誅我「願反」是複語· 子弟爭立我以死爭之於先王幾不得立若旣立欲分吳國與我我顧不敢當然』。 | 説見「故」字條

見當一字條一。史記伍子胥傳作『我顧不敢望也』「當」一受」也一說

韓詩外傳一『故新沐者必彈冠新浴者必振衣莫能以己之皭皭容人之混汙然』也:不

史記蔡澤傳『 蔡澤曰「若夫秦之商君楚之吳起越之大夫種其卒然亦可願數」也・終

古善盛字集釋 卷七 然

五七五

然」猶「乎」也。

爲反詰之詞

莊子徐无鬼篇『奚惑然爲 。? 「然為」・ 乊

潛 ||夫論德化篇|| 億兆醜類**變**異吉凶何非氣然

爲推度之詞:

論 本故 無訓一彼 定文・之

青千乘・子與有勢焉・諸侯其畏我乎」・對曰•「畏君王哉・是四國者・專足畏也・又加之以楚・敢不畏君王哉」」・「矣」字・而」為疑問詞・下為決定詞・又如左傳昭十二年・『王曰・「昔諸侯遠我而畏晉・今我大城陳蔡不龑・賦字・而上為疑問詞・下為決定詞・又如憲問簿』『克伐怨欲・不行爲・可以爲仁矣」・子曰・「可以爲難矣」』・同用故同一文例・同用一字・而其意義則或異・例如論語爲政篤・『子張問十世可知也・……雖百世可知也』・同用「也」

問同・用 下爲反詰罰・皆是也・「哉」字・而上爲決定

然」循「之」也指事之詞也。

禮記檀弓篇『穆公召縣子而問然日—句·「天久不雨吾欲暴尪而奚若」。:九字為 **詢訓(然)爲「焉」・「焉」亦「問然」即「問之」・程傳釋**

「心」・説詳「爲」字條・「之」・也・古書多以「問爲」爲

祭義篇『國人稱願然日一句・「幸哉有子如此」』「爲」・「爲」亦「之」也・「失義篇」。 - 六字爲

論語泰伯篇『禹吾無間然矣』

荀子臣道篇『曉然以至道而無不調和也』平護謂然爲於文‧失之‧荀子臣道篇『曉然以至道而無不調和也』平護謂然爲詩言,與於此,謂言義之」也,諸子

E

耳一猶一爾」也詞之終也。東國古詩注引字書日

央記封禪書『文成食馬肝死耳』孝武紀「耳」作「爾」。。

大戴禮曾子立事篇「吾無望焉耳」

禮記樂記篇『則樂之道歸焉耳』云「爲爾」・皆語終之詞・禮記樂記篇『則樂之道歸焉耳』云「爲」・「終」也・「爲正」猶

耳一猶「而已」也聲,說見經傳釋詞,

戰國策齊策『若乃得去不肖者而為賢者狗豈特攫其腓而噬之耳哉』

古酱處字集釋 卷七 耳

五七七

晏子春秋襟篇『晏子食脫粟之食炙三弋五酉苔菜耳矣』

此上二例並見經傳釋詞 引。

荀子正論篇『 豊特人之耳哉 □爲「也」·失之· ◎? 極傳釋調補訓「耳」、

「耳」猶「矣」也釋詞:

淮南子人間篇『患至而後救之雖有聖知弗能爲謀耳。

「耳」猶「也」 世訓見經傳

爲決定之詞:

史記匈奴傳『不備苦惡則候秋熟以騎馳踩而稼穡耳』「汝」也·漢書一耳」作「也」。

甘茂傳『士方其危苦之時易德耳 ®

說

東使篇『 簡子按兵而不動耳。

韓 非子初見秦篇『 出其父母懷衽之中生未嘗見寇耳』戰國策秦策「耳」作「也」

為助語及助句之詞:

莊子大宗師篇『今一犯人之身說見莊子解故·而曰人耳人耳人耳· 『犯』隨達』也· 司福の事

史記封禪書『又以爲康王諸侯耳』

戰國策中山策『田簡謂司馬憙曰「趙使者來屬耳獨不可語陰簡之美乎』也 量

「耳」猶「乎」也「邪」也觀詞

國志崔琰傳注『後與南郡習授同載見曹公出授曰「父子如此何其快耳。? 引見調整

論語雅也篇『女得人焉耳乎』乎」・「耳」或作「爾」・「爾」亦疑問詞語語雅也:

「耳」猶「然」也比事之詞也「耳」訓悉」:強

史記魏世家『苟有利焉不顧親戚兄弟若禽獸耳』 ©c

耳矣」猶「已矣」也調見經傳

禮記檀弓篇『勿之有悔焉耳矣』詞引· 禮記檀弓篇『勿之有悔焉耳矣』詞引·

孟子梁惠王篇『盡心焉耳矣』

耳」猶「而」也詞

古書 虚字集釋卷七 耳

五七九

古書虚字集釋 卷七 Øż 爾

漢書賈誼傳『故化成俗定則爲人臣者主耳忘身國耳忘家公耳忘私。

賈子時變篇: 『假父耰釗杖彗』耳慮有德色矣』「而」・古聞「大抵」曰「處」・

戰國策東周策『夫鼎者非效醯壺醬藝 耳可懷挾提挈以至齊者。

仍

仍一「乃」 世。 雅見 ・爾

史記淮南衡山傳贊『淮南衡山專挾邪僻之計謀爲畔逆仍父子再亡國各不終其身』嗣引· 東記淮南衡山傳贊『淮南衡山專挾邪僻之計謀爲畔逆仍父子再亡國各不終其身』嗣引·

爾

爾一猶「此」 也訓見經傳

> 五 八〇

詩桑柔篇『雖日匪子毀解·言雖則非毀予也· 旣作爾歌』

酌篇『載用有嗣也· 實維爾公也· 尤師』信於來也·

爾, 之解轉出一類皆 猶 骨爾 如此 乃書故 2」「如」等」五点以云・『爾者如見 学・皆訓 如・

漢書田 叔 傳: 相 曰: 王自 使人償之不爾; 是王 為惡而相為 善也。 引見・調

詮

世 **心說文學**篇: ___ 劉尹 曰: ---田含兒强學 人作 爾警語。 ___ 「如馨」・如言「寒馨見」及「如粋馨・語助也・按「爾馨」亦語轉 是作

爾」猶一其」也指導之詞也

墨子 明鬼篇引夏書 禹誓曰『御 非 爾① 馬之政, 同政 ・與 JE 害山 誓篇, 爾 作 其。

又『今予與有扈氏爭一日之命且 **- 海卿大夫庶-**人「與」也·予非爾田野葆士之欲 也, 王之誤字 說土 皆爲

平議·予共行天之罰也』也·奉詳諸子

詩南山有臺篇『樂只君子保艾爾後』

兩無正篇『凡百君子各敬爾身』

古書虛字集釋 卷七 肾

Ŧī.

松高 篇: 因 是 謝 人以作爾庸 』「庸」 一順に現り

書大誥篇: 亦惟 十 人, 迪 知 上 |帝命越||天棐忱同・「不可」也・「忱」・「信」也・言以天不可信也・||帝命越||天棐忱同・「越」興「曰」同・以也・(戢詳「攺」字條)「棐」興「非」|

爾。時

罔敢

易 法。

周 禮 |大司徒『正歲介于教官日「各共爾職修乃事也· 以聽王命]|

國語晉語三『各聚爾有以待所歸兮』

楚語 下『於是乎合 英 州 鄉朋 友婚姻比? 爾⊙ 兄弟 親戚親也」・「比・ 殆必亡者也。

爾」猶「彼」 也。

孟子公孫丑篇『爾為爾 我哉? 我為 我雖祖是 **裼裸裎於我側爾焉能浼我哉**? 」韓詩外傳三作『 彼安能浼

」列女傳賢明傳作『 且彼為彼我為我彼雖裸裎安能汙我』也·吾何畏彼哉」·文例同此·

詩思文篇 無此疆爾界

公羊 側 者曰: 傳昭 十三年 「子苟知之何以不革? 齊高 偃 帥 師 」日「如爾○ 納 北燕伯于陽伯于 所不 知 何? 陽者何公子陽生也子曰「我乃知之矣」生。:

爾」猶一 「一一」也「爾」· 皆以聲轉而義通也· 即

詩七月篇『晝爾于茅宵爾索絢』也・取

孟子告子篇『非天之降才爾殊也』

賈子階級篇『故化成俗定則爲人臣者主爾忘身國爾忘家公爾忘私』

文子自然篇『藐爾不應感而不動』為五文・

爾」猶「然」也。

一爲狀事之詞

史記仲尼弟子傳『夫子喟爾嘆曰「吾與蔽也」論語先進篇「爾」作「然」「蔵」作「點」

爲比事之詞:

荀子非相篇『葉公子高入據楚誅白公定楚國如反手爾。

商 君書耕戰篇『我不以貨事上則如以狸餌鼠爾必不冀矣』

爾 一猶一之」也指事之詞也。 古書處字集釋 卷七 爾

拞

詩 大 /明篇: -- **篤生武王**归 保 右 命 爾?

禮記檀弓篇『夫子何善爾也』

爾」猶一焉」也轉詞:

孟子滕文公篇『彼有取爾也』詞引:

詩伐檀序『君子不得仕進爾』

「何」、作「也」 也為說之必然· 也」為決定之間·是其義同· 同以作 「也」 也。說文·『尔· 詞之必然也』· 爾與尔同· 「爾」

一為決定之詞:

韓詩外傳五『雖巖居穴處而王侯不能與爭名何也仁義之化存爾』荀子儒效篇作『道誠存也』

韓詩 外傳十『王不見夫江南之樹乎名橘樹之江 北則化爲枳何則地土使然爾。 」晏子春秋篠篇

作『所以然者何水土異也』

又『意土地之化使然爾也: 王又何怪乎!

傳僖二年『君若用臣之謀則今日取郭而明日取虞爾君何憂焉

叉 請以屈產之乘與垂棘之壁往必可得也毀或之關: 則實出之內藏藏之外府馬出之內廢繫之

外 廢爾。 **州君何喪焉**?

爲 語 宝末助詞:

史記孝武紀『又以為康王諸侯爾。

循「耳」也詞之終也。東選古詩注引字書日

爾

孝武紀『文成食馬肝死綱。 』封禪書「爾」作「耳。 史記高祖紀『高祖曰「沛吾所生者極不忘爾』漢書「爾」作「耳」

孝文紀『特畏高帝呂太后威爾』漢書 : 爾 作

新序襍事篇三『臣常以爲然徒虛語爾。 史記 鄒陽傳, 爾」作「耳」

___ 耳。

漢書司馬 相如傳『臣之所見蓋特其小小者爾』

論語鄉黨篇『便便言唯謹爾 。

公羊傳莊四年『 其國亡矣徒葬於齊爾」

古書盛字集釋 卷七 爾

五八五

僖三十一年『不崇朝而 偏雨乎天下 - 者唯太山爾. ___ 作「乎」· 亦亦「耳」也·風俗通義正失篇·「爾

此上三例經傳釋詞, 並訓「 爾一爲「 而已一失之。

公羊傳宣十五年『 莊王圍宋軍有七日之糧爾盡此不勝將去而歸爾。oo

禮記檀弓篇『不以食道用美焉爾

叉: 而非・檀弓之文・無「其敬」二字・其文例不與郊特性同也・巳」・引郊特性篇『主人自盡其敬而巳矣』之文爲證・其說似是 唯祭祀之禮主人自盡焉爾』文公篇官『親喪固所自盡也』・「也」亦語終之詞也・經傳釋詞訓「爾」爲「唯祭祀之禮主人自盡焉爾」「吳爾」二字・皆語終之詞・與書「爲耳」同義・「主人自盡爲爾」・猶孟子:

而原

禮器篇[] 因其 財物而致其義焉爾。。。

莊子德充符篇『不見己焉爾不得類焉爾。。

爾 」猶「矣」 也。

詩 噫嘻篇『噫嘻成王旣昭假爾』箋曰: 七 呢即「爾」之古音山 — 噫嘆乎成周王之功其德已著至矣!

詞引を

爾 一猶「乎」

公羊傳隱元年『 然則 何言

湛二年『何譏闡』

爾 一猶「而已」 一通用・「耳」側「而已」・ 」・故「爾」亦訓「而巳」・古爾」與「耳」一聲之轉・古

鹽鐵論論功篇『其以强爲弱以存爲亡一朝爾也』文法引:

荀子榮辱篇『 是其爲相縣 也也,縣、異 幾直 夫「豊特」 同・ **芻豢稻粱之縣糟糠爾哉**

> 此見 與經

大齊策『豈特**撄**若修繆詞補引・ !!

英按

亦訓「而已」・說詳「耳」字條・腓川噬之耳哉』・句例同・「耳」字

孟子雖婁篇『得其心有道所欲與之聚之所惡勿施爾也』

爾」「語助」也。

詩雄雉篇『百爾君子』子詞義·

裁馳篇『百爾所思不如我所之』於百·循不如我一往也·

·西」猶云「若乃」也「爾」與「若」

爾

漢書楊雄傳上『爾迺虎路三嵏以爲司馬』

古書虛字集釋

卷

屯

雷

五八七



則, 一猶「輒」 也承上起下之詞也。

則 孟子公孫丑篇『可以仕則仕』 **猶口語言** 「就是

國語鄭語『非親則頑不可入也。

吳語『越國南則楚西則晉北則齊』

リ 「印」 し之部・「即」在至部・非同音也・其所以通用者・ リ 「即」 し。見小爾雅・經傳緣嗣云・『則與即古同聲而通用』 漢書王莽傳『應聲滌地則時 成 創。 一時・印時也」・

出

「其爲雙摩耳・「則」「即」既通用・故按王君嗣通用則是・而罰同音則非

其·

計画多相同・古難「則」在

古書處字集釋

卷八 则

五 八九

則一猶一固一也「則」·互見故事條·

公羊傳僖二年『荀息曰「宮之奇知則知矣雖然虞公貪而好寶見寶必不從其言請終以往。 二新

序善謀篇作『宮之奇知固知矣雖然其爲人也通心而懦, 又少長於君。

孟子滕文篇『滕君則誠賢君也雖然未聞道也』

史記蘇秦傳『子言則可然吾國小西迫强趙南近齊』:

漢書司馬相如傳『楚則炎矣而齊亦未爲得也』

呂氏春秋愼大篇『此則妖也雖然非其大者也』

管子小匡篇『惡則惡矣然非其急者也』

戰國 策秦策三『商君吳起大夫種其爲人 CE 盡 忠致 功則可願矣閎夭事文王周公輔,。 成王也

亦忠乎』

則一猶「故」也申事之詞也

易豫彖傳『天地以順動故日月不過而四時不忒聖人以順動則刑罰濟而民服』漢書魏相傳引,

「則」作「故」

左 傳昭二十年『 夫火烈民望而畏之放鮮死焉水懦弱民狎而翫之則多死焉。 。 韓非子內儲 說上

七術篇作『夫火形嚴故人鮮灼水形懦故人多溺』

管子 版法 解 篇: 明主 能 勝六攻而立三 器, 則國治「故」・是以意政・「則」作 不肖之君不能勝六攻而

器故國不治』

此上三例經傳釋詞並訓「故」爲「則」失之

韓 非子解老篇: -兩不 相傷則德交歸焉』老子「 則一作「 故。

荀 -j-非 相篇: _ 形 不 勝 心心 不勝術; 術 正 而 心 順之則 形 相 雖 惡 而 心術善 無害爲君子 也形 相 雖善

而心術惡無害爲小人也』

莊子 . 肚篋篇『| 天下之善人少而, 不善人多則聖人之利天下也 少而害天下也

書君 範篇 『天惟純佑命則商實百姓王人姓王人」七字爲句・甚韙・而謂「實」爲語助・則非・『天惟純佑命則商實百姓王人,「實」・「之」也・說見"是」字條・經義症聞以、則商實百 罔不秉德

明恤。

古書虛字集釋 卷八 則

管子君臣篇下『則故施含優猶「游」同・以濟亂』「是故」・「是」亦「故」也・說詳「是」字條

一則,猶 韓 非子顯學篇『今商官技藝之士亦不墾而食是地不墾與盤石一 是 七「則」・互見「是」字條 貫 (也儒俠無軍

一勞顯

iffi

荣者,

先王

當作而題」・則民不使與象人同事也」慣日・『顯而』

說苑辨物篇『失其常雕其時則爲變異「謂」也·得其時居其常是謂吉祥』爲互文·說苑辨物篇『失其常雕其時則爲變異「謂」也·得其時居其常是謂吉祥』爲互文·

荀子正論篇『不知其 無益則不知智局、 知其無益也直以欺人「但」也,則不仁。 "知而使之,是不知其無益也。 以欺人「但」也,則不仁。 " 般孟子公孫丑篇•

不知也』・ 文例同此仁也・不知而使之・ ・是

史記 始 皂紀『朕聞太古有號無謚中古有號死而 以行為證則子議父臣議君· 心甚無謂,

股 弗 取焉。

史記自序『教喪禮必以此爲萬民之率使天下法若此則尊卑無別也。:

莊子 庚桑楚篇 『非陰陽賊之心則使之也。

吳越 春 秋句踐歸國 · 外 傳 無奪民好則利也「之」也、民不失其時則成之省刑去罰則生之薄 其賦

斂則與之無多臺游則樂之靜而無苛則喜之民失所好則害之農失其時則敗之有罪不赦,。 則の

之重賦厚斂則奪之多作臺游以罷民則苦之勞擾民力則怒之』;

墨子貴義篇『今士之用身則不然意之所欲則爲之厚者入刑罰薄者被毀醜則士之用身不若商

人用一布之愼也 』 訓[是]:

則 猶 「 乃 」 世訓 ・經傳

詩新臺篇『魚網之設鴻則雕之』 制料の

孟子告子篇『其日夜之所息平日之氣其好惡與人相近也者幾希希·少也・孟子告子篇』其日夜之所息平日之氣其好惡與人相近也者幾希希·少也・ 則其旦登之所

爲有梏亡之矣』同・亂也・「亡」與「無」同・爲有梏亡之矣。「有」與「又」同・「梏」與「強

盐 心篇『 則之野,

尙 書大傳二『 無則遠方將有來朝者乎

墨子非攻篇下『則夫好攻伐之君「彼」也,又飾其說以非子墨子曰:

富國篇「 我 以 墨子之非樂也則使天下亂墨子之節用也則使天下貧。

古唇患字巢界 卷八

則

ЛŁ. 九三

越絕書外傳紀范伯篇『三王則三皇之苗裔也五伯乃五帝之末世也』爲夏文・越絕書外傳紀范伯篇『三王則三皇之苗裔也五伯乃五帝之末世也』爲夏英「乃」

則一猶「裁」也「機同・

爲「僅」字之義 列子湯問篇『日初出大如車蓋及日中則如盤盂』金樓子立言篇上作『日初出如車蓋至中裁。 •

如盤盂。

荀子勸學篇『小人之學也入乎耳出乎口口耳之間則四寸耳曷足以美七尺之軀哉』

爲「方」字之義「方機」・

詩出車篇『旣見君子我心則降』

大戴禮夏小正篇「鷹則爲鳩」

呂氏春秋季秋篇『豺則祭獸戮禽』「乃」亦「古大夷融夏小正篇』鷹貝名雄』

則一猶一而」也釋詞· 國則是經傳

莊子逍遙遊篇『其視天下也亦若是則已矣』

封禪 書『然則怪迁 阿諛苟合之法自此

此 上二例並見經傳釋詞 引。

大 戴禮勸學篇「 君子博學如日參己焉「而」也,故知明則行無過。」「則」也,荀子勸學篇作『

則知

明 而 行無過。

列子 ,仲尼篇: _ 孔子曰「至 聖則吾邱 何敢然則? 邱博學多 識 者 也。

易盤 彖 傳: 終則又始 復始」・文義同此・大戴禮盛徳第・『終而

醴 記祭義篇『進退必敬如親聽命則或使之也。

韓 非子存韓篇: 一雖 也。 『是我一舉二 國有亡形國・指齊趙」・則荆: 魏又必自服矣。

則,

」猶

法言問 明 篇: \neg 雖隋 和 何以 **加諸……** 使 起之一 固兵每 如斯、吳起」,則 太公何以加諸 為互文

商君 春秋篠篇『 書 外 八內篇: 晏子進席而對曰「乃此則老且惡嬰與之居故矣」「久」也 苟能分商賈技巧之人無繁則欲國之無富不可得也』也·不可得矣』·文例同此·
。 孟子滕文篇『雖日撻而求其齊

寄虚字集釋 則

Æ. 九五

賈子大政篇『夫道考行之於父則行之於君矣行之於兄則行之於長矣行之於弟則行之於下矣;

行之於身則行之於友矣行之於子則行之於民矣行之於家則行之於官矣皆訓[必]: 故士

」 猶 「必」也 則未仕而能以試矣』 「以」與

則」猶「必」 韓詩外傳三『是猶! 使人之子孫自賊其父母也彼則先覺其失何可詐哉』荀子議兵篇作『 「

彼

必

將來告之夫又何可詐也』

列子說符篇『孫叔敖戒其子曰「爲我死[如]也·王則封女女必無受利地』實稿同列子說符篇『孫叔敖戒其子曰「爲我死[如]也·王則封女女必無受利地』實稿同 · 秋 異 淮南子

間篇作『王必封女』

吳越春 秋王僚使公子光傳『此鳥不飛飛則沖天不鳴鳴則驚人』 新序練事篇作『 是鳥 雖不

盘,

「飛」同·蜚必沖天雖不鳴鳴必驚人』「」

墨子尚同篇上『上之所是必皆是之所非必皆非之上有過則規諫之有善則旁作「必」」,孫始讓云• 通。 薦之 』爲互文・「旁與訪」。 「則」與「必

書立政篇『自一話一言『雖』也·我則末惟成德之意以义我受民』

莊子達生篇『彼无故以合者則无故以離。 。

則一猶一今」也即即今也 ・猶

史記商君傳『君之危若朝露尚將欲延年益壽乎「猶」也‧則何不歸十五都灌園於鄙。

列子黃帝篇『 始吾以夫子之道爲至矣則又有至之者矣。

則一猶「其」 也訓見經傳

禮記檀弓篇『人之稱斯師也者則謂之何』 一 調 引 穏 穏 穏 穏

左傳宣十三年『我則爲政「是」也:而亢大國之討將以誰任我則死之』

莊子天地篇『世俗之所謂然而然之所謂善而善之則不謂之道諛之人也』「也」與「邪」莊子天地篇『世俗之所謂然而然之所謂善而善之則不謂之道諛之人也』「道」:「韻 同一義也

表記篇 也付也「則」・互見「猫」字條 情疏 而 貌親在小人則穿窬之盗 也與 一人,其猶穿窬之盜也與一,文例同: 此諸

· 101

孟子梁惠王篇『竭力以事大國則不得免焉』

則

猶「猶」

禮記

古書虛字集釋 则

五 九七

則

春 秋 具備 篇: 夫 立功 名亦 有 具不得 其具賢雖過湯武則勞而

左傅宣二年『 牛則有皮犀兕尙多棄甲則那』「則字訓「獨」· 「那」·「安」也·

F

韓 ·非子存韓篇『陛下雖以金石相獎道應篇高注曰·敝·盡也)·脫苑正諫篇·『今欲極天命之響·獎無窮之非子存韓篇』

窮之樂也· 則兼天下之日未也 』猶未有兼天下之日也·樂』· | 電無©

禮記檀弓篇「 爲 人臣者殺其身有益於君則為之況于其身以善其 , 君子』大也。

說苑 墨子明鬼篇『 指 武篇: 且周書獨鬼而商書不鬼則未足以爲法也。 夫有五者之一, 則^o 不 免於誅今少正卯兼之是以先誅之也。

尙同篇下『家旣已治國之道盡此已邪則未也』 ? ◎

倘 曹大 傳四: 商所受于夫子 夏 · 商明子 志之於心弗敢忘也雖退而嚴居河濟之間作壤室編蓬戶尚

彈琴其中以歌先王之風則可以發憤感慨忘己貧賤」。

則」猶「或」也轉詞·應

陳丞相世家『樊噲帝之故人也功多且又乃呂后弟呂須之夫有親且貴帝以忿怒故欲斬之,

則到 心恐後悔。 副引 便 傳 釋

則, 韓詩外傳十『意者將使我投石超距乎追車赴馬乎逐麋鹿搏虎豹乎吾則死矣何暇老哉』「假」韓詩外傳十『意者將使我投石超距乎追車赴馬乎逐麋鹿搏虎豹乎吾則死矣何暇老哉』「暇與 猶 一 已 也一即一部已也

也: 新序襍事篇「則」作「已」同:但

青洪範篇『鯀則殛死禹乃嗣與』爲[乃]·失之·

荀子宥坐篇『 今學 **曾未如肬贅則具然欲爲** 人師。

則」猶「偶」 也。

莊子逍遙遊篇『時則不至而控於地而已矣』 削上の一学

論衡物勢篇『夫天地合氣人偶自生也猶夫婦合氣子則自生也』爲五文:

則」猶「惟 七「則」・互見「惟」字條・一一」「則」訓「惟」・「惟」亦訓

公羊傳文十一年『狄者何長狄也兄弟三人一者之齊一者之魯一者之晉其之齊者王子成父殺

之其之魯者叔孫得臣殺之則未知其之晉者也」

卷八 則

五九九

則

則」猶「以」也「則」可見以字條

墨子尚同篇中引書呂刑曰『折則刑』書呂刑篇作『制以刑』「制」

晏子春秋襍篇 了人多愛我者吾體不能親人多諫我者吾志不能用是則內無 ; 拂而 外無輔。

敬慎篇作『是則內無聞而外無輔也』意改・讀書雜志謂作「以」者是・失之・

呂氏春秋本生篇『故古之人有不肯富貴者矣山重生故也非夸以名也為其實也則此論之不可

不察也」

韓非子難勢寫『雲罷霧霧而龍蛇與螻螘同矣則失其所乘也賢人而訛於不肖者則權輕位韓非子難勢寫『雲罷霧霧而龍蛇與螻螘同矣則失其所乘也賢人而訛於不肖者則權輕位,。

不肖 而能服於賢者則權 重位尊· 也。

荀子富國篇『若是故姦邪不作盗賊不起而化善者勸勉矣是何也? 則其道易其寒問其政令 二, 其

防表明。

仲尼篇『然後恭敬以先之忠信以統之慎謹以行之端愨以守之頓窮則從之疾力以申重之』與一中尼篇。然後恭敬以先之。自以統之慎謹以行之端愨以守之頓窮則從之疾力以申重之』與J

則一猶 爲 則」的為一個人類

左傳桓六年『 『何則不信?

昭三年『釜十 則鍾』爲衆」、文例同此

昭十二年『中美能黄『爲』也・上美爲元下美則裳』爲堂文明十二年『中美能黄『爲』也・上美爲元下美則裳』「則」與

則」猶「能」 也「則」が互見「能」字條 · 11

左傳哀十一年『鳥則擇木木豈能擇鳥』史記孔子世家作『鳥能擇木木豈能擇鳥乎?

荀子哀公篇『水則載舟水則覆舟。

則 一猶一於」也則凱及於於 · m

禮記學記篇「 人之學也或失則多或失則寡或失則易或失則止。 失於太蛋二·文例同此春秋繁露玉杯精曰:『

戰國策魏策一: 『子方日「臣聞之君 石明則樂官, 示 明 則回 樂音。

易旣濟彖傳 終止 前, 卦 耐之「終亂」同義 言終止於亂也·此 ・奥

則 猶「在

卷八 則

逸 周 書 £ 佩篇: 合為 在 因 時, 應事 則回 易成』「則」與「在」為互文・「易」・「疾速」也・

荀子非十二子篇『雖則子弟之中刑及之而宜』也:「尚」也・「獨」

韓詩外傳八『文侯曰「中山之君長短若何矣」蒼唐曰「問諸侯比諸侯諸侯之朝則側者皆人尊詩外傳八』

臣無所比之。」

則」猶一如」也釋問·

一爲「如或」之義

書洪範篇『女則有大疑』詞引:

左傳文二年『周志有之勇則害上不登於明堂』逸周書作『 勇如害上し

一爲「如似」之義

禮記 5.坊記篇『 君子之道譬則: 坊 ·與』坊與』、「獨」亦「如」也、「似」也・ 大穀禮禮祭籍作『君子之道・譬猶

孟子萬章篇『智譬則巧也聖譬則力也』 。

性惡篇: 夫聖人之於禮義 也, 辟則陶 城而生之也 』「譬」同·

墨子所染篇『則段干木禽子傅說之徒是也』

春 秋繁露必仁且知篇『不仁而有勇力材能則狂而操利兵也不智而辯慧獧給則迷而乘良馬也』

書立政篇『則乃宅人』也· 此

論 衡紀妖篇『高祖所殺之蛇非蛇也則夫鄭厲公將入鄭之時邑中之蛇與邑外之蛇鬭者非蛇也』。·

則」循「之一也辨略」

詩雞鳴篇『匪雞則鳴……匪東方則明』略引:

戰國策趙策三『秦知天下不救王則媾不可得成也』[講員・

則一猶一者」也「則」,互見一者」字條·

墨子節葬篇『死則旣以葬矣[已]同·生者必無人喪而疾』從讀書陳志說改・茲子節葬篇『死則旣以葬矣[已]同·生者必無人喪而疾』從讀書陳作[哭]·茲 節用篇作『 死者旣

葬生者毋**人**喪用哀』

則」猶「哉」也」韓則與

卽

國語 楚語 『是知 天 咫同,「耳」也,安知 民則』則亦只也』,按俞君則「則」爲「只」,未九。國語 楚語 『是知 天 児」』「思」與「只」。。 『 華經平識式・『 児與則並語詞・ 咫與只同・

墨子天志篇中『此其故何則園法明也』

荀子宥坐篇『百仞之山任負車登焉何則陵遲故也』

則」猶「若夫」 一 也。

孟子滕文公篇『掩之誠是也則孝子仁人之掩其親亦必有道矣』

即

即」猶「則」也。

」猶口語言「就是」也。大戴禮會子立事篇『三十四十之間而無動即無數矣五十而不以善聞則無聞矣』為至文:大戴禮會子立事篇『三十四十之間而無動即無數矣五十而不以善聞則無聞矣』為至文:

即, 」猶口語言「就是」 左傳襄八年『非其父兄卽其子弟。

漢書高帝紀『呂公女卽呂后也』

即一「就」也。

史記項羽紀『項羽即日因留沛公與飲』: 一京 ·

漢書高帝紀『項伯許諾卽夜復去』

「卽」「近」也「不卽人心」注:

書四角戡黎篇『殷之即喪』之近喪·義同此·

「卽」猶一今」也與開雅縣

哲文侯之命篇 「即我御事罔或耆壽俊在厥服」『既我御事』者·非是·既詳阮元校勘記·
 古文侯之命篇 「即我御事罔或耆壽俊在厥服』『既我御事』者·非是·既詳阮元校勘記·
 古本有作

史記蔡澤傳『卽君何居焉忍不能自聯疑不能自決必有四子之禍矣』

即一猶「故」也「則則故」也,申事之詞也。

賈子過秦篇中『今秦南面而王天下是上有天子也卽元元之民冀得安其性命莫不虛心而仰上』。

史記朝鮮傳『上爲其名美卽不詰拜何爲遼東東部都尉』悉何:謂

古書雕字集釋 卷八 即

大〇五

即一猶 「已」也「旣」 七「節」與「即」古通用・

書 `顧命篇『茲旣受命還』漢石經「旣」作「卽」已·故通作:

洛誥篇: 7 今王卽命曰「記功宗以功作元祀」惟命曰「又」也:「汝受命篤」 剪。

禹貢篇: 西戎 即我」注曰『旅・序也』・按序與敍同)・經傳釋詞訓「即」爲「則」・失之・のの典與本篇『荊岐旣族』・文例同・「旅」亦「敍」也・(儀禮燕禮『士族酌』・

史記晁錯傳『袁盎卽跪說曰 凱·就」·「君爲丞相自度孰與陳平絳侯」丞相曰「此「郎」字 吾不如。 袁盎

日『善君卽自謂不如……』

吳世 「家『公子光者王諸樊之子也常以爲吾父兄弟四人當傳至季子季子卽不受國光父先立卽::

不傳季子光當立。

白 虎 通 封公侯篇: 『天下太平乃封親屬者示不私也卽不私封之何?

戰 國策趙策一『蘇秦出李兌舍人謂李兌曰「臣稱! 觀君與蘇公談 心其辯 過 君其博過君, 君能 聽

蘇公之計乎? 」李兌曰「不能」舍人曰「 君卽不能願堅塞兩耳無聽其談

墨子節。葬篇『壁玉即具』與「既」同義・非「既」字之誤・聖子節。葬篇《壁玉即具』與「既」同義・非「既」字之誤・按「即」

史記商君傳『公叔座召鞅謝曰「今者王問可以爲相者我言若王色不許我我方先君後臣因謂,

王即弗用鞅當殺之 」

文子道德篇『 目無妄視耳無苟聽專精積稿內意盈幷即以得之「即」・「既」也・必固守之必長久日無妄視耳無苟聽專精積稿內意盈幷即以得之「即」・「既」也・必固守之必長久

之。

即一猶一猶一也一尚」也同則獨一強

戰國策秦策三『東門吳曰「吾嘗無子無子之時不憂今子死乃卽與無子時同也臣奚憂焉」

即一个一世里的一个

史記陸賈傳『將相和調則士務附天下雖有變卽權不分』

周本紀『與周高都是周折而入於韓也秦聞之必大忿怒周卽不通周使』

文子尚義篇『趣舍同卽非譽在俗意行均卽窮達在時』

即一猶一然一也。

史記蘇秦傳『今燕雖弱小卽秦王之少壻也』。

古書虛字集釋 卷八 即

大〇七

ęp

孟子梁惠王篇『齊國 【雖褊小吾何愛] 牛卽不忍其觳觫若無罪而就死地[然]也·狀事之詞· | 。 枚

以羊易之也。

即一猶「雖」也即則雖此

戰國策齊策一『齊地方二千里帶甲數十萬粟如邱山齊車之良五家之兵疾如錐矢戰如雷電解,

如風雨卽有軍役未嘗倍太山絕淸河涉渤海也』

即一猶「若」 七調見經傳

爲「若或」 一之義

公羊傳莊三十二年『寡人卽不起此病吾將焉致乎魯國』「若」‧說詳想傳釋詢‧公羊傳莊三十二年『寡人卽不起此病吾將焉致乎魯國』「若』‧說詳想傳釋詢‧

爲「若似」之義

莊子庚桑楚篇『若有不卽是者天鈞敗之』

Bli 一狗一或」也釋詞:

國 語越語『無乃卽傷君王之所愛乎? 開見經傳釋

六〇八

漢書楊雄傳『雄見諸子各以其舛馳大氏訾毀聖人即爲怪迁析辯詭辭以撓世事」則:

即一猶「其」也則訓其也 ·猶

史記呂后紀『太后王諸呂恐即崩後劉將軍爲害』

張丞 四相傳『戚日 姬子如意 爲趙王年十歲高祖憂即萬歲之後不全也」

鄭世家『弗殺使卽反國爲鄭憂也』

將

將, 一幾然尚未然之詞也。

孟子公孫丑篇『孟子將朝王』

同・又

爲「又且」之義

古書虚字集釋 卷八 舿

韓非子外儲說左下篇『非徒危身又將危父: …非徒危己也又且危父矣』 為五次

一爲「姑且」之義:

莊子知北遊篇『夫道窅然難言哉將爲汝言其崖略。

将」猶「則」也^{[将][則]]}

新序襍事篇四『子產曰「胡 為夫人朝夕游焉以議執政之善否其所善者吾將行之其所惡者吾?

將改之』左傳襄三十一年「將」皆作「則一

史記春申君傳『且王攻楚將惡出兵』戰國策秦策「將」作「則」

楚世家『於是王使使謂奢能致二子則生不能將死』。。

莊子徐无鬼篇: 『我則勞於君君有何勞於我……我將勞君君有何勞於我』「叉」同· ?

呂氏春秋離俗篇『期得之則可[若]也· 不得將死之』

淮南子人間篇『子能變道則可據御覽增・ 左傳襄二十九年『專則速及侈將以其力斃專則人質斃之』 不能將加誅於子」

此上五例皆「將」與「則」爲互文。

桓六年『周人以諱事神名終將諱之』: "」王佟皆一界」身一具「私工で

襄十一年『晋能驟來楚將不能』。

十四年『良君將賞善而刑淫』

九年『今將借人之力以救其死』:

荀子性惡篇: 孟子曰「今人之性惡將皆失喪其性故也」 一此擴楊注校改

禮 諭 篇: 故儒 清粉☆ 使人兩得之者也墨者將使 人兩失之者也是儒墨之分也!

韓非子說林篇『襲將罪之今召以爲子傅何也』

門田篇『與我者將利之不與我者將害之』

國語魯語『今將惠以小賜祀以獨恭』:

譬如羣獸然一个負矢將百羣皆奔』走」,是車氏正轉「將」

『行之克也[若]也・ 將以害之若其不克其因以罪之』「將」為「其」·於義。 「其」亦「則」也·經 未安學 - 詞 M

古書處字集釋 卷八 將

孟子盡 心篇 — 古之爲 關也將以禦暴今之爲關也將,。 以爲暴。

梁惠王篇『 國 君 進賢如不得已「也」也・ "将使卑瑜(尊, 疏踰 戚, 《可不愼與

公孫丑篇『朝將視朝』之「朝」同義·此本趙岐武· 」之「朝」字與上文『孟子將朝王』

将一猶「乃」也釋調·

左傳宣六年『使疾其民以盈其貫將可殪也』詞引

非子徐无鬼篙『 徐无鬼曰: 无鬼生於貧賤未嘗敢飲食君之酒肉將· 來勞君也。

將」猶「必」也

呂氏春秋重言篇『是鳥雖無飛飛將沖天雖無鳴鳴將駭人』 沖天・三年不鳴・鳴將驚人』・東韶楚世家作『三年不蜚・蜚將

喻老篇, 作 -雖無飛飛 《必沖天》 雖無鳴, 鳴 心驚人。 必沖天・雖不鳴・鳴必驚人」新序콅事篇作『是鳥雖不蜚・蜚

左 傳隱 74 年: 夫兵%火 也, 明戦將 自 焚也。 ___ 漢音武五子傳贊, 作 --- 兵猶火 也弗哉, 心自焚。

不戢・必取其族 』・是其義也・「必自焚」・左傳襄二十四年云・『异

呂 氏春秋義賞篇『 詐偽之道雖今偷可後將無復非長術也』韓非子難一篇「將」作「必」 。

管子侈靡篇: _ 輕君位者國必敗硫 貴 (戚者 謀將◎ 泄。 ___ 爲 至 料

孟子滕文公篇: ___ 夫 滕 壤 地 褊 小, 將◎ 爲 君子 焉, 將⊙ 爲 野 Y 補組 「將」爲必然之罰云・『爲・有也』 甚經 ・釋詞

告子篇『二王我將有所遇焉』

左傳閔元年『難不已將自斃』

昭十二年『今周與四國服事君王將唯命是從豈其愛清化『言言』。

國 語 吳語: 臣 觀 吳王之色類 有 大爱 小 則 嬖妾 嫡子 死, 不 則 國 有大 入難「否」同・ 大 川越 乙 吳州 谉 不

鼎。

محسا

可與戰主其許之。

左傳僖二十四年『天未絕晉必將有主』

呂氏春秋應同篇『伐火者必將水』。。

荀 子 性 |惡篇 - 故 枸 木, 必 將⊙ 待翼 栝 烝 矯然 後直 鈍 金必將 待礱厲然後利令人之性 惡, 必 將⊙ 待 師法

然後正し

富國篇『故必將撞大鐘聲鳴鼓吹竽笙彈琴瑟以寒其耳』

古書虛字集釋 卷八 將

六一四

又『必將修禮以 齊朝。

墨子尚賢篇上『譬若欲衆其國之善射御之士者必將富之貴之敬之譽之然後國之善射御之士,

將可得而衆也」則乃」・

此上六例 「必將」皆是複語「將」亦「必」也。

非命篇下『王公大人怠乎聽獄治政卿大夫怠乎治官府則我以爲天下必亂矣農夫怠乎耕稼樹:

藝婦人怠乎紡織績紙則我以爲天下將必不足矣』「將必」與上文祗言「必」同義・,

將」猶一當一

左傳襄二十一年『猾將十世宥之』

韓非子顯學篇『夫是墨子之儉將非孔子之侈也是孔子之孝將非墨子之戾也』

此上二例並見詞詮引。

顯學篇『 則是伊尹管仲無所用也將聽民而已矣」

墨子非命篇下『其言不曰吾罷不肖吾聽治不强必曰吾命固將失之』

叉 其言 不曰吾罷不肖吾從事不强必曰吾命固將窮」茲從孫治讓校改,不曰吾罷不肖吾從事不强必曰吾命固將第一茲之字舊聽爲「又」,

戰國策秦策四『若土廣者安人衆者强則桀紂之後將存。。

國 .語周語三『將民之與處「是」也:而離之將災是備禦而召之則何以經國?

左傳隱三年『君人者將禍是務去』

成六年『子爲大政將酌於民者也』

成十六年『夏書日「怨豈在明不見是圖」將愼其細也。

襄二十一年『子為司寇將盜是務去』

襄三十年『王子相楚國將善是封殖』

昭九年『女爲君耳將司聰也……女爲君目將司明也』

公羊 傳莊 四 年: 此其 爲 可葬柰何復讐者非將殺之逐之也以爲雖遇紀侯之殯亦將。 葬之也。

將, 叉: 「欲」 前此者有事矣後此者有事矣則曷爲獨於此焉譏於譬者將壹譏而已故擇其重者而譏焉。 世。 願 也。 無怒』毛傳・見詩氓篇『將子

古書虛字集釋 卷八 將

六一五

國 語晉語四写 野人舉塊以與之公子怒將鞭之』左傳僖二十三年「將」 作 欲。

管子小匡篇: 施伯謂魯侯曰「勿予非戮之也將用其政 也。 <u>__</u> 國 語齊語 將 作 欲。 느

左傳僖二十四 年: _ 身將隱焉用文之』史記晉世家 將 **---**作 欲。

書盤庚篇『古我先王將多于前功。

韓

非子

說

林篇:

_

靖郭

君將

城薛,

』新序襍事篇「

將

作一

欲。

左傳定四年『國家方危諸侯方貳將以襲敵不亦難乎」

哀十一年『今君易之將以求大不亦難乎?

將 一猶 「循」 也, 「倘」 也。

禮記 儒行篇了 **循將不忠百姓之病** 也。

春秋 外篇『吾細 人也猶將忠死」 屈篇曰:『以國與人猶尚可』:「猶將」即「猶尚一:呂氏春秋不

尚將欲延年益壽子』年日·『十年尚獨有臭』·

買子 無 蓄篇 『遠方之疑者並舉而爭起矣爲人上者乃試而圖之豈將有及乎

逸周書芮良夫篇『難至而悔悔將安及』

列子說符篇『旣爲盜矣仁將爲在』

左傳信十四年『皮之不存毛將安傅』「己」也・

僖十三年『重施而報君將何求』 :

僖二十八年『我退而楚還我將何求』文義同此「叉」亦「尙」也傳二十八年『我退而楚還我將何求』交義二十四年·『吾又何求』

隱十一年『邪而詛之將何益矣』

呂氏春秋當務篇『信且孝而談之國將有不誅者乎』

則陽篇『已有之矣乃將得比哉』尚得與無名者比乎』・

乃

巧言篇『旣微且尰爾勇伊何為猶將多爾居徒幾何』 也・斯干篇・『無相猶矣』・箋曰・『猶當作痛・「猶」讚爲「渝」・病也・言爲病尚多・不但徼尷

猴夷痛通之證・ 瘉・病也』・ 此 詩

莊

子

将一猶「今」也「將」訓(今)·強

公羊傳宣六年『君將使我殺子吾不忍殺子也』

古書盧字集釋 卷八 將

左傳襄二十七年『兵民之殘也財用之靈小國之大災也將或弭之[有]也・雖曰不可必將許之』

訓「當」・

莊子秋水篇『今爾出於崖涘觀於大海乃知爾醜爾將可以語大理矣』

將 一猶「方」也「正」 一七「粉」・互見「方」字條・

詩簡兮篇『方將萬舞』 《「方將」是複語・呂氏春:淮南子道應篇『襄子方將食而有憂色』子說符篇:「方將食」並: 列

將 一種 也。

左傳襄三年『寡人將君是望』云惟君是望·

僖五年 7 神所馮依將在德矣』

宜十二年『此行也將鄭是訓定豊敢求罪於晉?

昭十三年『 存亡之制將在今矣』

墨子尚賢篇上了 是故國有賢良之士衆則國家之治厚賢良之士寡則國家之治薄故大人之務, 將⊙

在於衆賢而已』

荀子: 非 相 故事不揣長不揳大不權輕重亦將志乎爾長短小大美惡形相豈論也哉』補 御御神嗣

未介

将 一 循 一 殆 」 也 釋詞補 ·

漢書張馮汲鄭傳贊『彼將有激云爾』詞補明

國語晉語四『今晉公子有三祚爲天將啓之』「殆將」是復語・「將」亦「殆」也・國語晉語四『今晉公子有三祚爲天將啓之』「殆將」是復語二十三年・作「殆將啓之』

史記封禪書『八神將自古而有之或曰太公以來作之**』**

荀子非相篇『葉公子高微小短瘠行若將不勝其衣』

将 一 指 一 扣 」 也 選擇之間·與「或」同義·

楚辭卜居篇『吾寧悃悃款款朴以忠乎將送往勞來斯無窮乎?

戰國策楚策「 先生老悖乎將以為「以」亦「爲」也· 楚國妖祥乎』 與」、「妄」亦「抑」也、「妄」與「將」皆訓新序機事篇作『先生老僭與・妄爲楚國妖

王之治偶逢其時也』,是也,經傳釋詞補訓「將」爲「抑」,甚應,而謂「亡」爲語助,則非,「抑」,故义連言之曰「妄將」,其字通作「亡將」,論衡定賢篇,『亡將東都適當復亂,而壽

مد

此上二例並見經傳釋詞引。

莊子至樂篇『夫子貪生失理而爲此乎將子有亡國之事斧鉞之誅而爲此乎將子有不善之行愧

遺父母妻子之醜而爲此乎將子有凍餒之患而爲此乎將子之春秋故及此乎』「本」也:

史記孟嘗君傳『人生受命於天乎將受命于戶邪』

此上二例並見高等國文法引。

一猶「如」也「若」也為「若或」之義:「若」

将

左傳昭二十七年『今尹將必來辱爲惠已甚』 詞補引・。 見經傳釋

韓非子外儲說左篇『治齊此五子足矣將欲霸王夷吾在此』管子小匡篇作『若欲霸王夷吾在韓非子外儲說左篇』治齊此五子足矣將欲霸王夷吾在此』管子小匡篇作『若欲霸王夷吾在

此』新序襍事篇作『如欲霸王則夷吾在此』

國語晉 語四: _ 質將善而賢良贊之則濟可俟若有違質教將不入其何善之爲』訓必上

左傳隱三年『將立州吁乃定之矣若猶未也階之爲禍』

公羊傳襄二十九年『將從先君之命與則國宜之季子者也如不從先君之命與則我宜立者也』

「蹄季子」・即

史記春申君傳: 『王將借路於仇響之韓魏乎……王若不借路於仇響之韓魏』 策戰同國

此上四例皆「將」與「如」或「若」爲互文。

史記 齊 世家: 君將治齊即高 僕叔牙足也君且欲霸王非管夷吾不可』「若」也·

禮記三年問篇『將由夫患邪淫之人與』?

淮

崩

子

兵

、略篇:

將[◎] 欲

西而示之以東」「者」、是以意政、

又『將由夫修飾之君子與』:

國 語晉語『今將婚媾以從秦受好以愛之聽從以德之懼其未可也「尙」也,又何疑焉?

莊子在宥篇『天下將安其性命之情之八者存可也亡可也天下將不安其性命之情之八者乃始

臠卷馆囊而亂天下也」

荀子修身篇『將以窮無窮逐無極與其折骨絕筋「則」也,終身不可以相及也將有所止之與則千 雕遙, 亦或 遲或速或先或後胡爲乎其不可以相及也」

古書虛字集釋 卷八

將一猶一何」也所則何一強管則何

墨子魯問篇『子墨子游魏越曰「旣得見四方之君也・子則將先語」』

左傳昭三年『鄭游吉如晉送少姜之葬梁丙與張超見之梁丙曰「甚矣哉子之爲此來也」子太三。

叔曰「將得已乎」」

韓詩外傳八『魯哀公問冉有曰「凡人之質而已[則]也:將必學而後爲君子乎」韓詩外傳八『魯哀公問冉有曰「凡人之質而已[則]也:將必學而後爲君子乎】

說苑貴德篇『孟孫曰「夫以一魔而不忍「尚」也·又將能忍吾子乎

將一猶「是」也是是是非

左傳昭十年『非知之實難將在行之』

昭十六年『吾非偷晉而有二心將終事之』

哀十四年『非不利也將除害也』

老子六十五章『古之善為道者非以明民將以愚之』。第十四年『非不和世界賢皇也』

荀子君道篇『天下曉然皆知其非以爲異也將以明分達治而保萬世也』

淮南子說山篇『撰良馬者非以逐狐狸將以射麋鹿砥利劍者非以斬縞衣將以斷兕犀。

文子上義篇『古之用兵者非利土地而貪寶路也「專」也・將以存亡平亂爲民除害 也。

墨子尙同篇中『則此語古者上帝鬼神之建設國都立正長也「言」也・非高其衡厚其祿富貴泆而 錯之也上當有游字」· 將以爲萬民除害富貴貧寡安危治亂也』 寡」·按孫說尚未盡允·此當作「富貧錯之也」讀者模志云·『洪□

寡定危治亂」,是其證也,衆寡」,節鄰篇四言『富貧衆

此 |上八例「將」皆與「非」爲對文可證「將」當訓「是」

論衡吉驗篇『夫壁在地中五子不知相隨入拜遠近不同壓紐若神將教跽之矣』 為記・成也」・「別當

「將」猶「此」也「將」即一出

左傳襄二十一年『夏書曰「念茲在茲釋茲在茲名言茲在茲允出茲在茲惟帝念功」將謂由己

党也』上」・此言上明而下化也」・文法與此同・一数荷子解散篇・『詩曰・「明明在下・赫赫在

左傳襄二十五年『詩所謂「我躬不說皇恤我後」者宵子可謂不恤其後矣將可乎哉殆必不可』

昭十二年『且夫易不可以占險將何事也且可飾乎』則乃]:

古書虛字集釋 將

將 一猶「得」也。

左傳襄二十七年『求逞志而棄信志將逞乎』

世說識鑒篇武昌孟嘉作庾太尉州從事條注引嘉別傳『將無是乎

政事篇殷仲堪當之荆州條『與本操將不乖乎』

将」猶「以」也釋詞補·

荀子宫國篇『故非有一人之道也直與巧繁拜諸而畏事之』韓詩外傳作『特以巧敏拜請畏事

之」「飯」同・武・見讀書篠志・

戰國策秦策『蘇秦始將連橫說秦惠王』

趙策一『趙襄子最怨知伯而將其頭以爲飲器』

」「帥」也就猶今人言 莊子天運篇『夫子見老聃亦將何規哉? 「領本」也一种一

將,

左傳莊二十一年『鄭伯將王自圉門入』

六二四

淮南子人間篇『其馬將胡駿馬而歸』

此上二例並見詞詮引。

史記呂后紀『少帝日「欲將我安之乎」』也・生い二十二十分主

将 一 循 一 而 」 也 [] 题 而] 也 · 獨

列子黃帝篇『使弟子並流而承之……使弟子並流將承子』爲「傍」·「承」讀爲「悉」·

左傳襄二十五年『且人有君而弑之吾焉得死之而焉得亡之將庸何歸』亦與「而」爲互文・左傳襄二十五年『且人有君而弑之吾焉得死之而焉得亡之將庸(所曰歸),「庸」亦「何」也・「將」

襄二十八年『求崔杼之尸將戮之不得叔孫穆子曰「必得之。

昭十九年『今大夫將問其故抑寡君實不敢知「則」也: 其誰實知之?

列子湯問篇『大王治國誠能若此則天下可運於一握將亦奚事哉』「叉」也·列子湯問篇『大王治國誠能若此則天下可運於一握將亦奚事哉』「豕」·

孟子滕文公篇『使民 肹 肹然 將終歲勤動』 苦不休息之貌:孟子滕文公篇『使民 肹 肹然 將終歲勤動』 苦不休息之貌:

滕文公篇『匍匐往將食之』

晏士春秋 外篇『今公家縣汰而田氏慈惠國澤是將焉歸』說詳讀書篠志:

古書虛字集釋 卷八 婚

六二五

戰國策魏策四「君之楚將奚爲北面」「適」也:

公羊傳宣六年『公怒以斗擎而殺之支解將使我棄之』爲至文:

書微子篇『用以容將食無災』

將 一猶「爲」 世訓見極傳

呂氏春秋誠廉篇『吾聞西方有偏伯焉似將有道者』嗣輔引·

論語子罕篇『固天縱之將聖』

詩敬之篇『 日就月將』「行」與「爲」問義、

禮配檀弓篇『不將公事』

管子大匡篇『非子定社稷其將誰也』「而」也·

戰國策魏策四『與臣而將四矣。

墨子天志篇『天下之所以亂者其說將何哉? 秦策三『意者臣愚而不闔於王心邪亡其言臣者將賤而不足聽邪』「押亦」・

說

不免焉。

勸學篇『安特將學禅志茲從讀書儀志說删・順詩書而已耳』「乃」也・勸學篇『安特將學禅志茲從讀書儀志說删・順詩書而已耳』「乃」也・

解蔽篇『案直將治怪說「直」與「特」同·玩奇解以相撓滑也。

將」猶「其」也釋詞·

左傳隱元年『君將若之何』莊十四年『君其若之何』

隱三年『其將何辭以對』「將」亦「其」也· 『其將」是復語·

此上二例並見經傳釋詞引。

論語述而篇『子貢曰「諾吾將問之」」

說苑奉使篇『柳下惠曰「諾」乃東見齊侯齊侯曰「魯君將懼乎」』

墨子尚賢篇『夫假借之民將豈能親其上哉」

子

六二八

說死辨物篇『賜欲知死人有知將無知也[子真]死徐自知之猶未晚也』詞補引:說死辨物篇『賜欲知死人有知將無知也[子真]死徐自知之猶未晚也』詞稱專釋

將」猶「相」也。

詩溱洧篇首章『伊其相謔』次章『伊其將謔』說見毛詩傳箋通釋詩凑洧篇首章『伊其相謔』次章『伊其將謔』說見毛詩傳箋通釋

將一猶「之」也們也一個

漢書蕭望之傳『竊憐凉州被寇方秋饒時民尚有飢乏病死於道路況至來春將大困乎。

茲

茲」「此」也。

孟子萬章篇『惟茲臣庶』

字或作「子: 亦或借[茲]為|子」・國語智語・『優施赴舞・謂里克婁曰・『主孟唱我・我敦茲暇豫事君」・「茲」即曹金滕稿・『是有丕于之黃于天』・今文尚古"子」乍「茲」・是「子」「茲」古通用・故借「子」為「茲」・

詩長楚篇「樂子之無知」匹也」・「知・

茲」「今」也雅

文選典引『伊考自途古乃降戾爰茲』「於」也・言考自遠古以降至於今也・

「茲」猶「則」也同意

左傳昭二十六年『若可師有濟也君而繼之茲無敵矣』「斯」亦「則」也:

字或作「子」

漢書文三王傅『冀州刺史林奏年爲太子時與女弟子私通』年爲太子時,與女弟即私通也,

茲」猶一故」也「」」」」故也、

書召誥篇『天旣遐終大邦殷之命長也·久也· · 茲殷多先哲王在天』

顧命篇『王曰「嗚呼疾大漸惟幾病日臻旣彌留恐不獲聲言嗣茲予審訓命女』

立政篇『謀面用丕訓德則乃宅人乃·此也·茲乃三宅無義民』也·曹故能三宅無邪愿之人也·立政篇『謀面用丕訓德則乃宅人乃·此也·茲乃三宅無義民』也·曹故能三宅無邪愿之人也·邪

自古商 人亦 越我 周文王立政立事收夫準人則克宅之克由釋之茲乃「能」也・俾乂國句・旣本問文王立政立事收夫準人則克宅之克由釋之茲乃「能」也・俾乂國句・旣本

大三〇

治・堯典篇・『有能傳义』・「俾」亦讀爲「辯」・ 則罔有 立政 立憸人 』則「而」・尙書今古文注疏・「俾」讀爲「辯」・「辯义」皆訓

盤庚篇『世選爾勞予不掩爾善茲予大享于先王爾祖其從與享之』「亦」也· "其」,

國語楚語『以予正四方也・「余恐德之不類茲故不言」『真故』・編書「是故」耳・國語楚語『以予正四方也・「余恐德之不類茲故不言』『玄故』是複語・「茲」亦「故」也・

「茲」循「乃」也「更」訓「乃」也・

楚辭天問篇『初湯臣摯後茲承輔』

逸周書祭公篇『汝其皇敬哉茲皆保之』。...

青立政篇『宅乃事宅乃牧宅乃進茲惟后矣』「爲」也·

「茲」猶「亦」也。

曹立政篇『式敬爾由獄以長我王國茲式有愼以列用中罰』

左傳襄十四年『今予命女環茲率舅氏之典』

字或作「滋」

昭二十六年『路吾以天下吾滋不從也』

「茲」猶「而」也「整」順而」。

左傳昭七年『三命茲益恭』

曹立政篇『周公曰「嗚呼休茲知恤」 解哉』「休」與「恤」爲對文・召誥篇・『惟王受命・無職惟休・亦無詳。」 ・ 休・慶也・恤・憂也・茲・而也・言喜慶而知憂患者・少也・

哉」爲句・誤甚・經義述聞訓「恤」爲「愼」・亦失之・惡惟恤」・是其證也・先儒以「休茲」爲句・「知恤鮮

君奭篇。『又曰無能往來茲迪彝教一句・文王蔑德、降于國人』而也・迪與由局・輔也・曾號叔原夭散宜書。 ハ字爲一句・又・若也・日・是也・茲・ 無線降子國人也,經傳釋罰訓「迪」為「用」,失之,生泰顧南宮還五人,若是不能往來而輔耶彝教,文王

曹盤庚篇『茲予有亂政同位具乃貝玉』

字或作「子」

大戴禮哀公問於孔子篇『君子行此三者無「子」字・ 則愾乎天下矣」

茲」猶「致」也。

書酒誥篇『祀茲酒』

大三一

左 |傳昭元年『勿使有所 壅閉 湫底以露其體茲心不爽而昏亂百度。

昭二十六年『 單旗劉狄帥攀不弔之人「溲」同・以行飢於王室晉爲不道是攝是贊思肆其罔極茲,

不穀震蕩播越竄在荆蠻。

字或作「滋」

昭 五年『君若職焉好逆使臣滋敝邑休息而忘其死亡無日矣』:

經 傅 釋 詞謂此 上三例之「茲」及「滋」皆承上起下之詞猶今人言致令如此也按王 一說甚

总个訓「茲」爲「致」即襲其意』

隱十一年『無滋他族質偏處此同·「質」猶「之」也· 以與我鄭國爭此土也」

一弦」循「之」也音雙聲字・其音極近・

一爲口語之「的」

召誥篇『皇天上帝改厥元子茲大國殷之命』 | 天改大郑殷之命』,與此同義| 十四字爲一句,康王之誥篇,

义: 【『越厥後王後民茲服厥命』殷受天命」・可暨[服]與[受]同義)・言及其後王後人之受其命也・旣曰[※王]《越厥後王後民茲服厥命』,十字爲一句・越・及也・民猶人也・服・受也•(召誥言[有夏服天命]•又言[有

人自有複語耳・ 又日「後民」者・古

字或作「子」

韓詩外傳六『莊王曰「君子不令臣交易爲言」』公羊傳宣十二年「子」作「之」韓詩外傳六『莊王曰「君子不令臣交易爲言」』公羊傳宣十二年「子」作「之」

晏子春秋襍篇『君子賜也厚矣嬰之家不貧也』

戰國策東周策『君之國小盡君子重實珠玉以事諸侯不可不察也』作「之」・是以意吹・

此上二例皆「子」與一之」爲互文。

爲語助詞:

呂氏春秋介立篇『介子推』左傳僖二十四年作『介之推』語助:· 「之·

史記封禪書『羨門子高』漢書郊祀志作『羨門高』

爲指事之詞。

詩二子乘舟篇『願言思子』指「二子」書・詩二子乘舟篇『願言思子』指「二子」書・

大車篇『大車艦艦磊衣如羨豈不爾思畏子不敢』表如羨之大夫言·

古書 遗字集釋 卷八 一 茲 滋 子

六三三

六 三 Z

齝 語子 ·路篇: _ 吾黨有 直躬者其父攘羊而子證之」指「直躬」言·

左 傳文十五年『 夫子以愛我聞我以將殺子聞」指「夫子」首·

子勸學篇『身者繭也含而不治則知行腐竈使賢者教子以爲世士子』,此從原本、汪改非是子勸學篇。

則 (天下諸侯莫敢不敬。

按 「子」訓「之」「之」亦訓「子」如韓非子難三篇**「**子思出子服厲伯入見問龐 桐氏子子

服 [宛言不受窕貨之姑免矣』作「子」·是以意改·一 厲伯 . 對 曰: 「其過三皆君之所未嘗聞』「君子」·論衡作『皆君子所未曾聞』 墨子耕柱篇『巫馬子謂子墨子曰[我與之異]] 難二篇『君子不

聪

作之』,按學改未允,茲從舊,呂氏春秋忠應篇『王子慶忌喜曰「吳王之無道也子之所見也今之得學本改「之」爲「子」,云,『子舊

免而去之亦善矣』「今子」・左傳成十六年『潘尪之黨與養由基蹲甲而射之徹七札焉以示王,

|年『申鮮 君有二臣如此奚憂於戰』 基為二人,故下文曰『君有二臣如此』,經傳釋詢訓「之」為「與」,大誤,君有二臣如此《吳慶於戰》 「潘尪之黨」,謂潘尪子黨也,黨是潘尪之子,故曰潘尪子黨,黨與養由 ||虞之傅摯| 為右。 為「與」·亦鉄·皆是也。經傳釋罰訓「之」

+-

哉

一爲疑問之詞「哉」猶「乎」也。

論語衛靈篇『夫何爲哉』

爲反詰之詞:

孟子滕文篇『陳仲子豈不誠廉士哉』

「哉」感歎之詞也。

書堯典篇『帝曰「咈哉」**」**

大語篇 『肆哉 爾庶 邦君越 爾御事 』 「力」・「勉」也・「勵」亦則「勉」・是「肆」爽「勖」義同・經傳釋詞謂「哉」為大語篇 『肆哉 爾庶 邦君越 爾御事 』 「力」・「勉」也 「勵」亦則「勉」・ 東雅・『肆・力也』・「力」即漢孝王莽傳『力來農事』之

古青虚字集釋 卷八 哉

六三五

未語 尤助

哉」猶「矣」 上 也 訓見程傳

莊子至樂篇『其為形也亦愚哉……其為形也亦外矣』為至文· 。 「哉」與「矣」

戰國策秦策二「秦有安邑則韓魏必無上黨哉」「哉」為「矣」・非是・戰國策秦策二、「秦有安邑則韓魏必無上黨哉」「哉」為「矣」・劉本敗

哉」猶「也」也決定之詞也。

列子說符篇『非天爲蚊蚋生人虎狼生肉者哉。

說苑敬愼篇『天下之事已盡矣無以復語子哉。

莊子天地篇『天下之非譽無益損焉是謂全德之人哉』

潛夫論思賢篇『此所謂「子之愛人傷之而已」哉』 ©00

韓詩外傳四『人有雞犬放則知求之有放心而不知求其於心爲不若雞犬哉 也:是

詩園有桃篇: ____ 彼人是哉 J

不知類之甚

「哉」循「焉」也。

一爲答詞:

禮記曾子問篇『曾子問曰「宗子去在他國庶子無虧而居者可以祭乎」孔子曰「祭哉」』

國語育語『趙簡子使尹鐸爲晉陽請曰「以爲繭絲乎抑爲保障乎」簡子曰「保障哉」。。。

左傳宣十一年『對日「猶可辭乎」王日「可哉」」

昭十二年『我若求之其與我乎對曰「與君王哉」.

爲語終之詞

列女傳齊傷槐女傳『嬰其有淫色乎何爲老而見奔殆有說也· 內之納· 內女傳 至哉。

書君奭篇『惟是受有君命哉』 ••

哉 一个一之」也指事之詞也「哉」古音同一致」「茲」」

史記五帝紀『舜曰嗟然禹汝平水土維是勉哉』夏本紀作 「維是勉之」

書皋陶謨篇『 侯以明之撻以記之書用識哉」「之」也・皆互文耳・

卷八

哉

六三七

堯典篇『我其試哉』 ◎

哉

孟子滕文篇『如不待其招而往何哉』 一个一也「哉」,互見「如」字條

作

作一一一始」也是專

書皋陶謨篇『萬邦作义』詞引·

作 呂氏春秋孟冬紀『孟冬行春令則凍闕不密地氣發泄民多流亡行夏令則國多暴風方冬不寒蟄

蟲復出行秋介作霜雪不時小兵時起土地侵削」禮記月令篇「作」作「則」。 。

詩文王篇『儀刑文王萬邦作字』也·信

大三八

大戴禮會子事父母篇『爭辨者作亂之所由與也由己爲無咎則寧由己爲賢人作亂』爲至文:

「作」循「及」也轉調整傳

曹無逸篇『其在高宗時舊勞于外爰暨小人作其卽位乃或亮陰 也:有 三年不言……其在祖甲,

不義惟王舊爲小人作其卽位爰知小人之依」例見歷傳釋詞引・。 「爰」猶「乃」也・此

禹貢篇『作十有三載乃同』

梓材篇『作兄弟方來[邦]也·亦旣用明德』

盤庚篇『盤庚作惟涉河以民遷作」三字為句·失之· 乃話民之弗率誕告用亶』爾雅)「話」讀爲「佸」·盤庚篇『盤庚作惟涉河以民遷作」三字為一句·舊以「盤庚

乃會聚民之不從者・而大告以誠也・此例上官「作」・下言「乃」・與無逸禹貫之女法同・「會」也・(武詳羣經平職)「率」・獨「從」也・「用」・「以」也・言盤庚及謀涉河以民選・

「智音」・子」

督, 「則」也就 古青虚字集釋

公羊傳閔二年『設以齊取魯曾不與師徒以言而已矣』

論語為政篇『曾是以爲孝乎』

此上二例並見經傳釋詞引。

「曾」「乃」也_{釋詞}·

詩河廣篇『誰謂河廣曾不容刀誰謂宋遠曾不崇朝』

論語先進篇『吾以子爲異之問曾由與求之問。

此上二例並見經傳釋詞引。

「曾」「何」也記方

莊子列御寇篇『先生旣來會不發藥乎』

論語八佾篇 『 曾謂 泰山不如林放乎 』如林放之知禮耶·經傳經調訓「曾」爲「乃」及「則」·皆未允· ? 「曾」·「何」也·「謂」與「爲」同·「於」也·言季氏何於奏山不

墨子公孟篇『 鳥 無可謂愚矣禹湯猶云因焉也· 今墨會無稱於孔子乎』

戰國策宋衞策『犀首伐黃過衞使人謂衞君曰「獎邑之師過大國之都曾無一介之使以存之乎?

敢請其罪」

孟子公孫丑篇『爾何曾比予於管仲』

買子諭誠篇『王何曾惜一踦屢乎』?

晏子春秋外篇『讒佞之人則奚曾爲國常患乎.

此上三例一何曾」「奚曾」皆是複語曾亦何也

「曾」「尚」也是「會」亦「尚」也・

孟子萬章篇『知虞公之不可諫而去》之泰也: 年已七十矣曾不知以食牛干秦穆公之爲汙也,

可謂知乎」

荀子宥坐篇『今學曾未如肬贅則具然欲爲人師』「已」也:

文選答客難『使蘇秦張儀與僕並生於今之世會不得掌故安敢望侍郎乎? 史記晉世家『且君老矣旦暮之人曾不能待而欲弑之』

淮南衡王傳『紂貴為天子死曾不如匹夫』。

が百代三代 新古な元子 あべて がは

古書虛字集釋 卷八 曾

扁鵲倉公傳『不能若是而欲生之曾不可以告咳嬰之兒』

列子 湯問篇『以君之才曾不能損魁父之邱如秦行王屋何……以殘年餘力會不能毀山之一毛,。

其如土石何?

莊子應帝王篇『而曾二蟲之无知』也·知·匹也·

戰國策齊策『生王之頭會不若死士之襲也』

足

「足」猶口語之「夠」也

左傳襄二十八年『嬰之衆不足用也』

史記蔡澤傳『夫待死而後可以立忠成名是微子不足仁孔子不足聖管子不足大也』

「足」猶一可」也關助字

孟子公孫丑篇『王獪足用爲善』也·與

滕文篇『亦不足弔乎』

此上二例並見助字辨略引。

韓詩外傳八『所兄事者足》 以教弟矣』說苑政理篇「足」作「

可。

韓詩外傳四『桀爲酒池可以運舟糟邱足以望十里』

新序善謀篇『然則反古者未可非也循禮者未足多也』

管子霸言篇『出足以利軍伍處可以修城郭』

商君書農戰篇『 見言談游士事 君之可以尊身也商賈之可以富家技藝之足以餬口也。

此上四例皆「足」與「可」爲互文

孟子盡心篇『是奚足哉』理由不可也:

大戴禮王言篇『孔子曰「 以敢 問 」 」王之道與」之「可」字相應・ 參汝可語明王之道與「會子曰「不敢以為足也得夫子之間也難是》!

古書戲字集稱 卷八 足

六 ØЧ 29

·春秋諫篇『寡人一樂之》是欲祿之以萬鍾「而」也·其足乎

老子三十五章『視之不足見聽之不足聞用之不足旣』同義・王弼注訓[足]爲[得]・旣猶稱疏・老子三十五章『視之不足見聽之不足聞用之不足旣』同義・王弼注訓[足]矣[[可]・是[足]與[可

莊子則陽篇『 然則謂之道足乎

荀子强國篇 --- 兩者孰足の 為也?

史記蘇秦傳『 此其君 欲得其民力竭惡足取乎, 也惡 何

漢書爱盎傳『公幸有親吾不足累公』

「足」猶「能」 世訓見助字

莊子天道篇『 世雖貴之我猶不足貴也」

韓詩外傳四『今有堅甲利兵] (不足以施) 敵 「破魔語九作『三義同野・精殺其生者而戮其死者』・是其證也・,「施」・「殺」也・左傳昭十四年・『三人同罪・施生戮死』・

良 矢調, 不足射遠: 中微與無兵等爾。

「足」猶「重」

荀子禮論篇『禮者人道之極也然而不法禮不足禮謂之無方之民法禮足禮謂之有方之民』 曹武子禮論第二禮者人道之極也然而不法禮不足禮謂之無方之民法禮足禮謂之有方之民』 曹

有方之士・不隆禮・不由禮・謂之無方之民」・「由禮」與「法禮」同義・「降禮」與「足禮」同義・陳志云・『足禮謂重禮・不足禮謂輕禮也』・按王武甚韙・禮記經解篇・作『是故隆禮由禮・謂之

樂論篇『不足其上矣』韓志・

孟子滕文篇『今也父兄百官不我足也』

國語吳語『天若棄吳必許吾成而不吾足也』] 317服交篇『〈私多兄子官刁邦员私』

「足」猶「難」也

漢書黥布傳『故楚兵不足罷也』者:言易也。

戰國策秦策四『三王不足四五霸不足六』小畜之也!・

新序雜事篇三『則五霸不足侔三王易爲比』與書「易爲」同意·

戰國策秦策一『以此與天下[敵]也‧天下不足兼而有也』

荀子太略篇注引尸子曰『避天下之逆從天下之順天下不足取也避天下之順從天下之逆天下

不足失也』

堯問篇「 忠誠盛於內賁於外形於四海天下其在一隅邪「邪」猶「也」也・ 夫有何足致也 ?] 又一同與

古書虛字集釋 卷八

足

載

載 一猶 一則 」也與「則」古同音・

詩斯干篇『載寢之牀』詞引:

字或作「哉」

詩文王篇『陳錫哉周』亦作「申錫」·商頌云·「申錫無疆』· 左傳宣十五年引「哉」作「載」詩文王篇『陳錫哉周』亦作「申錫」· 「南」· 「傳』· 「陳錫」

春君與篇『在讓後人于丕時』「承」・既詳經義述聞尚書百揆時敍條·字又・或作 「在」 告』今文「在」作「哉」)・故亦與「載」通・字文「在」作「哉」)・故亦與「載」通・

載 一个一乃一也。

載馳篇『載馳載驅

詩酌篇『載用有嗣

菁菁者莪篇『載沈載浮』與」・文例同此・

四月篇『載清載濁。

泉水篇『載脂載率』

采 披篇『 載 勝載駟 」

江漢篇『王心載寧』亦「乃」也・「則」訓 乃」・見程傳釋詞・

字或作「哉」

漢書孔光傳『是以羣大夫咸惰。哉莫以爲意咎由君焉』

字叉或作「在」

易乾九四『或躍在淵』也・文言云・『上下元常・……進退元恒』・是其確也・「一多乾九四』 或躍在 淵』也・文言云・『上』也・「在淵』即「乃淵」・謂「退」也「下」

載」「爲」也「媽」與「爲」同・

曹皋陶謨篇『乃廣載歌』史記夏本紀作『乃更為歌』 書皋陶謨篇『乃廣載歌』史記夏本紀作『乃更為歌』

字或作「在」

古書盛字集釋 卷八 軷 哉 在

六四七

韓非子六反篇『故樂貴在天子而不足於尊』為天子」、是其義、韓非子六反篇『故樂貴在天子而不足於尊』為天子思想、『樂村貴 古書虚字集釋

載」「設」也

法言先知篇『或問曰「戴使子草律」」8世二、

拿 遵

拿一个一个一也「會」則」皆一舉之轉·

戰國策秦策一『地尊不可得乃取欺於亡國』韓非子初見秦篇「尊」作「會」

字或作「遵」

詩的篇『於鑠王師遵養時晦』取是晦國也

寖 浸 侵

, 定記佞幸傳『久之蹇與中人亂』 「蹇」 「漸」 也。

字或作「浸」

易臨彖傳『剛浸而長』

字又说作「侵」「漫」,史配武帝紀,『倭尊於泰山矣』,封禪書「倭」作「漫」,是「倭」與「漫」古字通,字又。此作「侵」,旣文「蹇」爲水名,「倭」訓「漸進」,是「蹇」訓「漸」,乃「倭」之借字也,「蹇」,隸變作

曹文侯之命篇『閔予小子嗣 句法同· 造天不愆「遭」同·殄資澤於下民「澤」・祿也・侵戎我國曹文侯之命篇『閔予小子嗣 ,與『今沖子嗣』 |家純||『訰訰・亂也』・玉篇・『訰・亂也』・「純」訓| 亂」爲「訰」之借字・禮記緇衣篇・『事純而祭祀』・鄭注曰家・() 使・漸也・戎・大也・純・亂也・曾漸大我國之亂也・(國家猶言乃國・左傳曰・『傾覆我國家』是也)爾雅

通用・書多方篇・「惟天不畀純写純」亦與「飩」同・亂也・『純或爲煩』・「純」與「訰」同・亂也・「煩」亦「亂」也・故可

一縱從

二雖也。

縱

古書處字集科 卷八 一口 松

從

六四 九

大五〇

詩青衿篇『縱我不往子寧不來』也·何

字或作「從」

左傳宣三年『從其有皮丹漆若何』

縱」猶「卽」也。

爲「就使」之義:

史記項羽紀『縱江東父兄憐而王我我何面目見之縱彼不言籍獨無愧於心乎』監·與記項羽紀『縱江東父兄憐而王我我何面目見之縱彼不言籍獨無愧於心乎』監·問題

爲口語之「就」

字或作「從」 史記平準書『令民縱自得鑄錢』

左傳隱六年『長惡不悛從自及也於騙:雖欲救之其將能乎』「徒」之識:失之:

縱」猶「己」也。

左傳文六年『今縦無法以遺後嗣而又收其良以死難以在上矣』。:

墨子貴義篇『今爲義也君子「之」也・奉承先王之道以語之縱不說而行「悅」・ 又從而非毀之則

是世俗之君子之視義士也不若視負粟者也」

國語晉語『縱不能討又免其受盟者晉何以爲盟主矣』

此上三例說皆見經傳釋詞補按左傳成十一年「已不能庇其伉儷而亡之又不能字人之孤此上三例說皆見經傳釋詞補按左傳成十一年「已不能庇其伉儷而亡之又不能字人之孤

而殺之將何以終』其文法與晋語之文同可證「縱」與「已」同義。

【且豆餘】

「且」」介 「哉」 也二十三年・「且于之際」・晏子春秋作「茲於兌」)・故「且」可訓「哉」・「且」」介 「哉」 也」「且」與「哉」一擘之轉・「哉」古讀者「茲」・「茲」與「且」通用・(左傳藥

詩君子陽陽篇『其樂只且』「d哉」·

寒裳篇『狂童之狂也且』

椒聊篇『椒聊且遠條且』「長」也・

古書虛字集釋 卷八 且

六五一

巧言篇『悠悠昊天日父母L

按三百篇中之「且」 字有似為語助而實非語助者如溱洧篇『士曰旣且』「 且」與「徂」

同往也出其東門篇『 匪我思且』「且」亦與「徂」同存也皆見鄭笺·山有扶蘇篇:: 乃見

征且』「狂且」讀爲「狂子」通·故得假「且」為「子」· 與下章之「狡重」同義君子偕老在且,「狂且」讀爲「狂子」,「且」與"茲」通·「子」亦與「茲」

篇『揚且之皙也…… 揚且之顏也』「揚」「淸揚」也一且」讀爲「珇」美好也「珥·美·:

嗟

蓍一「哎」

爲歎詞:

詩麟之趾篇『于嗟麟兮』「吁」·

六五二

一爲怒聲:

戰國策趙策『齊威王勃然怒曰「叱嗟而母婢也。

漢書韓信傅『項羽意烏猝嗟千人皆廢』一聲之轉、

此上並見經傳釋詞。

·嗟」循「此」也姕」與「傞傞」同·皆其證)故「嗟」可訓「此」· 。按「喽」與「此」專相通·(如「班」與「瑳」同·「姕

戰國策齊策「田單之愛人嗟乃王之教澤也」

「姥」一狗 「斯」 也傳聽十四年作人與公差」・是其證)故「嗟」可訓「斯」・左

一爲句中助詞:

詩中谷有薤篇『何嗟及矣』之何斯·獨言「何其」也·

一爲句末助詞:

詩節南山篇『僭莫懲嗟』之関斯之「斯」同義・

此上二例經傳釋詞, 並訓一嗟」為語助茲襲其意而略爲變通。

古書處字集釋 卷八 "瘠" 蛏 錢

六五三

嗞 茲子

「喽」「夢」也見說文:「夢」

戰國策秦策『嗟嗞乎司空馬』

字或作「茲」

管子小稱篇『嗟茲乎聖人之言長乎哉』

冶書大傳『嗟子乎』字又或作「子」

此上並見經傳釋詞引。

告 業 訾

一也與呵」同・

字或作「訾」

呂氏春秋權勳篇「子反叱曰「訾退酒也」釋問·

且 狙

「且」「將」 詩雞鳴篇「會且歸矣」
一下將」也音律篇注·

制見を

晏子春秋外篇『得霄地且動…… 得審地將動』為互文・

莊子齊物論篇『 誰獨且 回 無師乎? **| 為語助・失之・** | 極傳釋調謂「且」

又「吾獨且奈何哉?

戰國策燕策『子之丈夫來則且奈何乎』新序卷其篇『爲將柰何』‧是也‧戰國策燕策』子之丈夫來則且奈何乎』「且」與「將」同義‧故或言「將乘何」•

古書虚字集釋 卷八 且 徂

六五 五

六五

之「且擊·可知「且」亦有「將」音也以「滫」與「粗」同例之從「爿」擊·,「駔」從 將一爲精母雙聲兼古韵魚陽對轉字故「且」「 按 人 有「七也切」一音於是以「子餘切」之音爲語助詞, 「且」音也「且」與「 聲近義同之旨矣本書以訓「將」之「且」仍置之於清母各字之刻讀「七也切」者則由從 「且」字訓「 將, 相 將」音旣通故「且」「將」二字之訓亦十九相同也自「且」字聲轉 承 讀 【一七也 |切||此乃沿誤就誤「且一字古祇有「子餘切」一音與「 將」二字聲可互通以「駔」 而訓 將 者則讀「七也切」 遂大失古 皾 可 知一 一子 將 朗 切 ___ 亦有 例

俗之故耳。

且」「叉」也。

詩那篇『旣和且平

「且」猶「尙」也釋詞・思邦年」

副 見 経 傳 釋

戦國策秦策一『忠且見乗……忠尚見乗』爲五文・

且」「姑且」 一世。訓見經傳

且」承上而深入一層之詞也。 詩山有樞篇「且以喜樂且以永日」

制経停料

論語季氏篇『且爾言過矣』

孟子公孫丑篇『且王者之不作』

且, 史記李廣傳『且引且戰』二 兩務之詞也就見助字

田儋傳『彭越是時居梁地中立且為楚且為漢』

且」猶「夫」 墨子非攻篇『今且天下王公大人士君子 也轉題·提示之詞也。

孟子公孫丑篇『且以文王之德百年而後崩猶未洽於天下』

此上二例並見經 一傳釋詞引。

古書虛字集釋 爸八 A 谻

六五

韓 非子難二篇『景公過晏子曰「子宮小近市請徙子家豫章之圃」晏子再拜而辭曰「且嬰家非子難二篇』

貧待市食而朝暮趨之不可以遠」」

司 馬 相如封禪文『或曰「且天爲質闇示珍符固不可辭」

此上二例經傳釋詞謂「且」爲「發語詞」失之。

買了過秦篇上『且夫天下非小弱也』史記陳涉世家作『且天下非小弱也』「且」亦「夫」也

新序襍事篇三『且夫齊亦君之水也』戰國策齊策一且夫」作「今夫」「今」亦「夫」也

易繋解傳『易曰「負且乘致寇至」負也者小人之事也乘也者君子之器也小人而乘君子之器,, 「而」也「且」如「而」。「而」李條・

盗思奪之矣』釋「且乘」之「且」·即

「且」猶

孟子 ·滕文篇『百工之事固不可耕且爲也然則治天下獨可耕且爲與』: 彼以與此然且仁者不爲況於殺人以求之乎」

買子修政語篇『然且大禹其猶大恐』

告子篇『徒取諸

退讓篇『翟王之自爲室也堂高三尺壤陛三条亦茨弗翦采椽弗刮且翟王猶以作之者太苦居之。

者太佚』

荀子榮辱篇了 則夫塞者俄且通也陋者俄且僩也愚者俄且智也」

國語魯語『人其以子爲愛且不華國乎』也• 斉

吳語**「乃不**待旦且亦中分其師將以禦越」

楚辭離騷篇「馳椒邱且焉止息』也・

管子中匡篇『古之墮國家隕社稷者非故且爲之也之[故意]·必少有樂爲不知其陷於惡也」管子中匡篇『古之墮國家隕社稷者非故且爲之也之[故]即口語

莊子德充符篇『知不出乎四域且而雌雄合乎前』[得]也:

左傳桓八年『無與王遇且攻其右』

成十三年『狄應且愴』

戰國策燕策三『且夫處女無媒「今夫」也‧考且不嫁舍媒而自衒獎而不售。

史記李斯傳『今陛下初立此其屬意快快皆不服恐爲變且蒙恬已死「又」也:蒙毅將兵居外臣戰

古书的虚字集科学 卷八 人 且、徂

戰栗栗唯恐不終且陛下安得爲此樂乎?

蘇秦傳「然且 。 王行之者將以取信於齊也』戰國策燕策作『而足下行之』

呂氏 春秋 察微篇『使治亂存亡若高山之與深谿若白堊之與黑漆則無所用智雖愚猶可矣且治察微篇』

亂 存 亡 則不然。

去尤篇『邾之故法, 為甲裳以帛公息忌謂邾君曰「不若以組凡甲之所以爲固者以滿竅也今竅;

滿矣而任力者半耳且組則不然竅滿則盡任力矣」**」**

韓 弦, 非子外儲說左上篇『范且曰「弓之折必於其靈也不於其始也夫工人張弓也伏檠三旬而蹈

日犯機是節之其始而暴之其盡也焉得無折且張弓不然**二**愼本·

且,猶 丁其 也。

韓 非子說林篇『其子而食之且誰不食』「尚」也・戰國策魏策作『非子說林篇』 其子之肉尚食之其誰! 不食!

秋知分篇『嬰且 可以回 而求福乎」「嬰」韓詩外傳二作「嬰其可回矣」同義・「吳」爾子」「嬰」爾

春秋無義篇『豈且忍相與戰哉?

春

莊子齊物論篇『果且有彼是乎哉果且無彼是乎哉 ?

此 上二例經傳釋詞謂「且」爲語助未允。

外物篇『人有能遊且得不遊乎人而不能 遊且得遊乎』「而」也・

又『旣已爲一矣且得有言乎旣已謂之一:: 矣且得無言乎?

田子方篇『非是也且孰爲之宗

人間 |世篇『使予也而有用且得有此大也』|

韓非子十過篇『懸叔瞻而出之我且殺而以爲大戮』

管子大匡篇『夫雖不得行其智「彼」也·豈且不有焉乎』指「智」 首·

「且」猶「殆」也(所)是疑而

莊子寓言篇『已乎已乎吾且不得及彼乎』

論衡恢國篇『以武成言之食兒以丹晨舉脂燭殆且: 。

威類篇。然則雷雨之至也殆且自天氣也,由,由 成王之畏懼殆且感物類也?

古書虚字集釋 卷八 且

徂

六六

古存虚字集釋 卷八 À 徂

此上二例「殆且」是複語「且」亦「殆」也

「且」猶「與」也國文法· 也則見高等

春秋文五年『王使榮叔歸含且贈』文法引・

墨子明鬼篇引夏曹禹誓『日中今予與有扈氏爭一日之命且爾卿大夫庶人予非爾田野葆土之

欲也予共行天之罰也』则[其]·並

「且」循「以」也「且」,互見「以」字條,

公羊傳僖四年『濤塗謂桓公曰「君旣服南夷矣何不遠師濱海而東服東夷且歸」.

漢書婁敬傳『臣願陛下徙齊諸田楚昭屈景燕趙韓魏後及豪傑名家且實關中。

字或作「狙」

詩楚狹篇『工祝致告徂賓孝孫』

且一猶「已」也們以一一故所以一一

漢書馮奉世傳『丞相御史兩將軍皆以爲民方收斂時未可多發萬人屯守之且足』

韓非子內儲說下篇『王召公子汜而告之對曰「講亦悔不講亦悔王今割河東而講三國歸王必

日三國固且去矣吾特以三城送之」 』:

「且」猶「當」也。

墨子非命篇上『上之所賞命固且賞非賢故賞也上之所罰命固且罰不暴故罰也』。「不」亦「非」

又『不知曰我罷不肖從事不疾必曰我命固且貧……不知曰我罷不肖爲政不善必曰吾命固且。. 失之』篇作「晋命固將失之」・「將」亦「當」也・說見「將」字條・下「且」字舊脫・今據文例補・此篇作「吾命固且失之」・下

非命篇中『不肯曰我罷不肖我爲刑政不善必曰我命故且亡 與「圓」同: 能不肖我從事不疾必曰我命固且窮』「將」亦「當」也· 「簡」作情作「吾命固將窮」· ……必不能日我

尸子發蒙篇『夫愛民且利之也愛而不利則非慈母之德也好士且知之也好而弗知則衆而 :: 也力於朝且治之也力而弗治則勞而無功矣』也 互文耳;

韓 非子難二篇『以爲非臣之力也且不以管仲爲霸以爲君之力也且不以豎刁爲亂』亂之三爲

古春虛字集釋 卷八 且 徂

字・岩訓

忠孝篇『今堯自以爲明「乃」也:而不能以畜舜舜自以爲賢而不能以戴堯湯武自以爲義而弑其:

君長此明君且常與而賢臣且常取也』「是」也・

且」猶「則」也。

戰國策秦策二『且先出地絕齊訓「則」:秦計必弗爲也先絕齊後責地且必受欺於張饒」史記

楚世家作『則必見欺於張儀』。

墨子天志篇上「上得且罰之衆聞則非之」

尙同篇中『上得且罰之本旦作則』・衆聞則非之』

倘同篇下『上得且賞之衆聞則譽之』

此上三例一且」與「則」爲互文。

淮 南 F子修務篇: 且夫觀者莫不為之損心酸足 』按五一與「則」同義·非鶴也·

荀子正論篇『彼楚越者且時享歲頁終王之屬也。

孟子滕文篇『病愈我且往見夷子不來』

义『我且直之**』**

召氏 蒜 秋 **公愛士篇**『 凡數人之來也以求利 也今來而得死且以走爲利。

論衡說日篇『誠實論之且無十焉』。

莊子至樂篇『人且偃然寢於巨室』

人間 世篇: 「形就而 入且爲頗爲滅爲崩 為蹶心 和而 出且爲聲爲名爲妖 爲

孼。

邟 非子孤憤篇『人臣之欲得官者其修士且以精潔固身其智士且。 以治辯 進

難一篇『是韓子之謗已成而卻子且後至也』

外儲 說 左篇: 如是 耕 者 且。 深, 耨者 且。 熟云 也。 __ 爲「云」・又按「此從顧廣圻武・ 「云也」· 猶言. 於熟上添「且.

又『如是羹且美錢布且易云也』:

说苑建本篇『毀仁惡士且近於刑』 :

春秋 (條約: 譬之猶秋蓬 |也孤其根而美枝葉秋風一至根且拔矣』

古香堂字集科 卷八 人 且 徂

潛夫論賢難篇『且凡士之所以爲賢者且以其言與行也』前[則]:

「且」猶「是」也即是子經

一爲「是非」之「是」

晏于春秋襍篇『晏于曰「夫范昭之爲人也非陋而不知禮也且欲試吾君臣故絕之也」篇同。

史記穰侯傳『此非敢攻梁也且劫王以求多割地王必勿聽也』 韓詩外傳八作『范昭之爲人也非陋而不知禮也是欲試吾君嬰故不從。

戰國策齊策三『蘇秦非誠以爲君也且以便楚也』

此上二例「且」皆與「非」爲對文可證「且」當訓「是」

而周策『且輕秦也』作「是」,是以意改,

易坎六三『來之坎坎「於」也、險且枕』「此也、

韓 非子外儲說左篇『解狐鷹其響於簡主以爲相其響以爲且幸釋己也乃因往拜謝』

左傳官十二年『否臧且律竭也』

字或作「狙」

詩四月篇『四月維夏』是」也、六月徂暑」

一爲「是故」之是

墨子節葬篇下『且故與天下之利除天下之害』「是故」・

「且」猶「乃」也。

史記封禪書『漢之聖者在高帝之孫且會孫也』「與」・失之・

墨子非攻篇中『今攻三里之城七里之郭攻此不用銳且無殺而徒得此然也爲前〕:「然」猶「焉」墨子非攻篇中『今攻三里之城七里之郭攻此不用銳且無殺而徒得此然也爲前』,「刄」也・「而」讀 無殺,能徒得此爲乎,殺人多必數於萬寡必數於千然後三里之城七里之郭且可得也」也,曾攻此不用銳,又

戰國策趙策二『事成功立然後德且見也』

賈子權重篇『後不至數歲諸侯偕冠陛下且見之矣』

莊子應帝王篇『試齊且復相之』

古書虚字集釋卷八 且 徂

說苑復恩篇『宣孟曰「子名爲誰」及是且對曰「何以名爲?

史記伍子胥傳『句踐食不重味弔死問疾且欲有所用之也。

且」猶「必」也。

墨子經說下『且然必然且已必已且用工而後已者必用工而後已』。 譲掠な計

莊子齊物論篇『方其夢也不知其夢也夢之中又占其夢焉覺而後知其夢也且有大覺而後知此

其大夢也』

說苑說叢篇『卑而正者可增高而倚者且崩』

韓非子外儲說左下篇『方問曰「子奚乘是車也」曰「韓非子外儲說左下篇『方問曰「子奚乘是車也」曰: 君謀欲伐中山臣薦鳌角而謀得果且伐

之臣薦樂羊而中山拔」」

戰 國策趙策三『秦王見趙之相魏冉之不急也且不聽公言也』

韓策一『 魏順曰: 「天下罷必攻 市印 以償兵費王令之勿攻市邱五國重王且聽王之言而不攻市

邱不重王且反王之言而攻市邱」]

韓詩外傳六『昔郭君出郭謂其 (御者曰「 吾渴欲飲」御者進淸酒曰「吾飢欲食」御者進乾脯

梁糗曰「何備也」御者曰「臣儲之」曰「奚儲之」御者曰「爲君之出亡而道飢渴也;;;; 日:

「子知吾且亡乎」御者曰「然」』

且」循「押」也「或」同義·為選擇之詞·

禮記會子問篇『葬引至於搄日有食之則變乎且不乎』

此上二例並見經傳釋詞

戰國策齊策『王以天下爲尊秦乎且尊齊乎

且」猶「或」也。

史記楚世家『右尹曰「請待于郊以聽國人」王曰「衆怒不可犯」曰「且入大縣而乞師於諸史記楚世家。」

侯」王曰「皆叛矣」又曰: 「且奔諸侯以聽大國之慮」王曰「大福不再祇取辱耳」」

也・「若」訓「或」・見經傳釋詞・年・「且」皆作「若」・「若」亦「或」

一旦 猶「若」 一也見經傳釋詞。

古書虛字集釋 且 徂

六六九

呂氏春秋知士篇『且靜郭君聽辨而爲之也必無今日之患也』戰國策齊策「且」作「若」

公羊傳隱三年『且使子而可逐則先君其逐臣矣』

此上二例並見經傳釋詞引。

史記齊世家『君且欲霸王非管夷吾不可』列子力命篇作『君如欲霸王非夷吾弗可』[若]也·史記齊世家『君且欲霸王非管夷吾不可』列子力命篇作『君如欲霸王非夷吾弗可』[若]也·

荀子性惡篇『假之人有資財而分者字‧茲從王先誅說劃‧ 且順情性好利而欲得若是則兄弟相拂前子性惡篇『假之人有資財而分者字‧茲從王先誅說』: ◎

奪矣且化禮義之文理若是則讓乎國人矣』

墨子公孟篇『且有二生於此善星』

莊子讓王篇『今且有人於此』

齊物論篇『今且有言於此』皆訓「若」・。 「今且」是復語・

按經 傳釋 詞訓 齊物論之「且」爲「借」「借」者假如之謂與「若」同義又按公羊

元年『且如桓立』之「且」當訓又經傳釋詞訓爲「借」未允故本書未採其「且」訓「

借一一條。

「且」猶「今」也。

詩載芟篇『匪且有且匪今斯今』亦「有」也・皆謂不但今時有此事也・毛傳曰・『且・此也』・按上「且」字訓詩載芟篇『匪且有且匪今斯今』亦「有」也・皆謂不但今時有此事也・毛傳曰・『且・此也』・按上「且」字訓

奥「今」同義・「此」・是謂「此時」・

論衡案書篇『儒家之宗孔子也墨家之祖墨翟也且案儒道傳而墨道廢者儒之道義可傳而墨之論衡案書::

法議難從也」

史記匈奴傳贊『堯雖賢與事業不成得禹而九州寧且欲與聖統唯在擇任將相哉」.

呂氏春秋貴信篇『曹劌按劍當兩陛之間曰「且二君將改圖無或 進者!

戰國策趙策『公子牟辭應侯應侯曰「公子將行矣獨無以敎之乎」曰「且徼君之命命之也臣,

固且有效於若」」即「當」·

此上二例經傳釋詞訓「且」爲發語詞未允。

字或作「徂」

書資誓篇『祖茲淮夷徐戎並與』釋詞·

古書虛字集釋 卷八 且 徂

一旦, 「此」也。

詩|載安篇|『匪且有且』春秋作『茲於兌』),故「茲」訓「此」,「且」亦訓「此」,「茲」訓「今」,「且」亦訓「今」,詩|載安篇|『匪且有且』春秋作『茲於兌』),故「且」與「茲」古通用,(左傳襄二十三年,『且于之隧』,晏子

且一ろ「何」也一般」即何也。

戰國策韓策二『張翠曰「韓未急也且急矣」』

老子六十七章『慈故能勇儉故能廣不敢爲天下先故能成器長今舍慈且勇[者]也,舍儉且廣舍

後且先「捨」同:死矣

「且」循「欲」也「思訓欲」·獨

管子明法解篇『故人臣之行理奉命者非以愛主也且以就利而避害也百官之奉法無姦者非以 言子明法解篇。

一且」猶一並」也[且]如一些一字條· 愛主欲以受虧而避罰也』為五文:

「且」猶「幾」也^{興略,}「將」 論 衡非韓篇『此所謂文武張設德力且足者也』

七十里也之「特」同義· 「近」也。

戰國策齊策三『覆三國之軍兼二周之地舉韓氏取其地且天下之半』

漢書匈奴傳『後燕王盧綰復反率其黨且萬人降匈奴』。.

此上二例並見詞詮引。

【香音》 既 略 烧

香」「曾」也就一乃」也。

字或作「憯」或作「慘」

左傳昭二年作『慘不畏明』

一智」「何」也「何」也「簪」之變體字· 詩雲漢篇「僭不知其故」釋文云「潛亦作慘」

古書處字集釋卷八 香 ヤヤ 階 は

大七三

字或作「憯」或作「噆」

詩節南山篇『僭莫懲嗟』釋文云『「憯」亦作「噆」」

十月之交篇『胡憯莫懲』「何」是複語・

按此上各例之「營」「僭」「噆」「慘」四字經傳釋詞均訓爲「會」說猶含混茲析爲「乃」

「何」二義以「曾」字本有「乃」「何」二義故也可參看「曾」字條。

此

此」「是」也。

爲與「彼」字相對之「是」

詩皇矣篇『維此二國其政不獲維彼四國**爰究爰度』**

爲「是非」之「是」

韓非子五蠹篇『此以效仁非以爲治也』

禮記 禮器篇 是故君子之於禮也非作而致其情也此有由始

史記項羽紀『此天之亡我非戰之罪也』

說苑臣術篇『君之內隸臣之父兄若有離散在於野鄙者此臣之罪也君之外隸臣之所職若有播說,◎

亡在四方者此臣之罪也兵革不完戰車不修此臣之罪也若夫獎車駑馬以朝主者 非 臣 之 罪亡在四方者此臣之罪也;。

也。

此 上四 例「此」皆與「非」爲對文可證「此」 當訓「是」

戰國 |策燕策一『今使弱燕爲雁行而强秦制其後以招天下之精兵此食鳥喙之類也』篇·『Hzzl

也』・文法同此・史記蘇秦傳「此」作「不王・是近枝之類

是。

漢書 「杜欽傳『假介丹知而白之此誣罔罪也不知而白之是背經術惑左道也』 按孟子公孫丑篇・社欽傳『假介丹知而白之此誣罔罪也不知而白之是背經術惑左道也』 按孟子公孫丑篇三文

之・是不知也』・文例同此・知而使之・是不仁也・不知而使

孟子告子篇『 仁義 || 忠信樂善不倦此天虧也公卿大夫此人虧也]

古書庭字集釋 卷八 此

墨子法儀篇『故百工從事皆有法所度今大者治天下其次治大國而無法所度「是」・『此不若百恩子法儀篇』故百工從事皆有法所度今大者治天下其次治大國而無法所度「是」・『此不若百

工辨也』「明」也・

又『天下之爲父母者衆而仁者寡若皆法其父母此法不仁也』:

明鬼篇『今執無鬼者曰「鬼神者固無有」則此反聖王之務::

兼愛篇下『此言而非兼擇即取兼即此言行費也』云:『費與拂问・倦也』:

志

尙賢篇中『夫無故富貴面目佼好者「無故」同義・謂無病災也・ 豊必智且有慧哉若使之治國家,

則

此使不智慧者治國家也』

又『若苟賢者不至乎王公大人之侧則此不肖者在左右也』: 為賢者不勸・而爲暴者不沮矣。・文例同下文『若苟賞不常賢・而罰不當泰・則是

禮記樂記篇「 若夫禮樂之施於金石越於聲音用於宗廟社稷事乎山川鬼神則此所與民同也,

此」猶「乃」也同義・總

土此有財有財此有用。

此」循「則」也說題

大戴禮文王官人篇『誠在其中此見於外』也』,按「斯」亦「則」也,大戴禮文王官人篇『誠在其中此見於外』也』,按斯」亦「則也,

墨子節章 **葬篇下『計厚葬人喪奚當此三利者我意若使法其言用其謀厚葬人喪實可以富貧衆寡**

定危治亂乎此仁也義也孝子之事也為人謀者不可不勸也 讓本: 意亦使法 其言用其謀,

厚葬外喪實不 可以富貧衆寡定位理亂乎此非仁非義, 非孝子之事也爲人謀者不可不沮 也。

「此仁也義也 ……此非仁非義」後文「此」皆作「則」

管子內業篇『然而不反此生之 忒』反守於道・則生有养成也』・

韓非子忠孝篇『非其 親者知謂之不孝而非其君者天下此賢之」

戰國 策 韓策: 『子嘗教寡人循功勞視次第今有所求此我將奚聽乎?

趙策: 棋緩 日: - 虞卿! 能盡知秦力之所至乎誠知秦力之不至此彈丸之地猶不予也』「可」也:

荀子正論篇『雖此倮而薤之猶且必扣也安得葬種哉』

墨子 **尚賢篇中**『 凡所使治國家官府邑里此皆國之賢者也」

古書虚字集釋 卷八 此

六七八

「此」猶「故」也「是」即故」:領申事之詞也。

淮 南子泰族篇『紂有南面之名而無一人之德此失天下也』

說苑尊賢篇『國家之任賢而吉任不肖而凶案往世而視已事其必然也如合符此爲人君者不說苑尊賢篇:

以不愼也」

墨子節葬篇『今唯無以厚葬久喪者爲政助嗣・國家必貧人民必寡刑政必亂若苟貧是: 無以為

積委也若苟 寡是修城郭溝渠者寡心讀者陳志說補· 若苟亂是出戰不克入守不固此求, 。 禁止 大

國之攻小國也而旣已不可矣』可矣』,皆與此文例同,「此求」與「是故求」同義,亦即與「故求」同義,。 上文『是故求以衆人民,而旣已不可矣,…… 是故求以治刑政,而旣已不

此一循「以」也「此」,互見以上京院・

戰國策趙策一『知伯身死國亡地分為天下笑此貪欲無厭也。

齊策五『昔吳王夫差以强大爲諸侯先强襲郢而棲越身從諸侯之君也:「領」也:而卒身死國亡,

為天下戮者何也此夫差平居而謀王强大而喜先天下之嗣也」

此」猶「其」也。

墨子親士篇『是故不勝其任而處其位非此位之人也不勝其餌而處其祿非此祿之士也。

超世家 7 肥義謂信期曰「公子與田不禮甚可憂也其於義也聲善而實惡此爲人也不子不

臣] 一大] · 「此] 亦 訓 「 其] ·

此上二例「此」與「其」爲互文。

買子匈奴篇『陛下必時有所富必令此有高堂邃字』, 此上一伢一此」與一事」為互交

晏于春秋諫篇『今自聊攝以東姑尤以西者此其人民衆矣』。 「此其」是複語・ 左傳昭二十年作

其爲人也衆矣』

史記孝文紀『張武等議曰「漢大臣皆高帝時大將習兵多謀詐此其屬意非止此也」』漢書作 史記孝文紀『張武等議曰「漢大臣皆高帝時大將習兵多謀詐此其屬意非止此也」』漢書作

| 其屬意非止此也』言[其]同義・

韓非子姦劫弑臣篇『故劫殺死亡之君此其心之憂懼形之苦痛也必甚於厲矣』

取 飯

古書虛字集釋 卷八 取 取

「取」「不捨」也。

孟子告子篇『含生而取義者也**」**

「取」循「得」也說文·「學·取」亦得也· 戰國策魏策二『國得安焉身取尊焉』為夏文

論衡累害篇『以玷汙言之清受廛而白取垢』

荀子非十二子篇『上則取聽於上下則取從於俗』

取, 「爲」也雅・廣

荀子王制篇『則好取侵奪』 從錢本・其說未允・在王先縣已辨之矣・此據呂本・錢本無。取」字:讀書模志謂當

富國篇『上雖好 取侵奪, ومتنطأ

莊子天道篇『語道而非其道者安取道』

馬蹄篇『道德不廢安取仁義』道德以爲仁義』・是其義也・

大戴禮王言篇『明王奚爲其勞也……明王焉取其費也』也·互文耳·

六八〇

取」猶一 一機」 也「僅」 一(就見說文糸部總篆段注)皆由聲之轉也 了[取]與「纔」同義・治[級」與「纔」同字

史記酷吏傳『丞相取充位天下事皆決於湯』謂「張揚」・「湯」

字或作「冣」 「取」「黎」同從「取」聲・古通用 故戰國策趙策"類取』史祀廉儁傳作『頻粲』・「取・才「取」與「取」通・猗"聚」與"取」通也・(易萃彖傳・『聚以正也』・釋文云・『案・茍作] 句取 切。

漢書佞幸傳『景帝惟有郎中令周仁昭帝時駙馬都尉稅侯金賞嗣父車騎將軍 釯. 日磾舒爲侯二

篇 』多有調作「最」者·觀詳經義述聞公羊傳會猶最也條)· 「乃」·「爲」也·今史記「飯」調作「最」·(古書之「取」字 人之龍取過庸不篤』厚也」,是師古正訓「取」爲「纔」,人之龍取過庸不篤」原也」,是師古正門,《纔過於常人耳,不能 大 史記佞幸傳作『 仁龍取過庸品七十不乃甚

將七羊

將一一詩」也為毛傳·

左傳僖二十八年『詰朝將見』成二年『詰朝請見』 與此同,「將」字杜注無解,陸氏釋文無首,是杜| | 詰朝]即「明日」,文十二年,『明日請相見也』; 陸義

訓「請」也・ 皆不知其當

古書虛字集釋 卷八

將

一請」猶「怨求」也。 孟子公孫丑篇『不敢請耳』

「請」猶「其」也命令兼期望之詞也。 文『王請大之』 孟子梁惠王篇『王請度之』
圖之』·文例同此・ : ○ ○ 左傳賞十四年・『君其 : ○ ○ ○ 左傳第十四年・『君其 公羊傳僖二年『君請勿許也』勿許』·義與此同· 。 左傳傳七年·『君其

又『君請擇於斯二者』

在 載

「在」「存」也**。**

禮記大學篇『在明明德』明德也:

字或作「載」 | 就許「載」字條

書皋陶謨篇『戴采乐』字訓「事」·作動詞解·首「在為事」也·

「在」猶「于」也「於」也。 詩魚藻篇『魚在在藻』既見詞詮・

文王篇『天監在下』

書酒語篇『無辜自酒腥聞在上』「自」·「以」也·

文侯之命篇『昭升于上敷聞在下』爲互文・

墨子非樂篇上『當在樂之爲物將不可不禁而止也』

左傳襄十一年『藏在盟府』僖五年『藏於盟府』

字或作「哉

古書虛字集釋 卷八 在 軷 哉

大人马

「立政篇『是罔顯在厥世』漢石經「在」作「哉」

金城村 || 近半路「取」・通鉄以

冣, 極し 一也通誤作「最」 義·「最」則無之・「是」則「極」者・(廣韻・『最・極也』)・是誤以「反!之義 按說文」部・『寅・稜也』・「二部・『最・犯取也』・「寅」字引申之有「極」

説文宣纂段注・ 第「最」之義・説詳

晏于春秋襍篇『嬰冣不肖故直使楚矣』作[最]:[矣]:「耳」也、

字或作「取」既詳「取」字條・

孟子盡心篇『楊子取爲我』「機」·失之·

莊子達生篇『人之所取畏者被席之上飲食之間』 。

取」「凡」也通誤作「最」是與以「取」之義為「最」之義·說亦詳說文段注· 。 漢書周勃傳『冣從高帝…… 正文及注文之「饭」字·皆談作「最」。師古注云・『取・凡也』・按今本漢書

【曾聞】

「曾」猶「嘗」也。

公羊傳閔元年『莊公存之時樂會淫乎宮中』才能反』·

徂

祖」猶「及」

絲衣篇『自堂徂基自羊徂牛鼐鼎及甄』 作『自堂徂基・自羊來牛』・釈苑尊賢篇・『詩曰・『自堂徂基・自繆傳得調云・『徂亦及也・互文耳』・按王武甚匹・韓詩外傳引詩

時作「來牛」者・爾雅云・【來・至也」・劉向解時・正以「及」釋「徂」・羊徂牛」・言以内及外・以小及大也」・(自興以皆訓由・是其義同)・ 韓

古書虛字集釋

卷八 曾 徂

六八五

從

「從」「隨」也。

論語子,罕篇『吾從衆』

字或作「松」

墨子號介篇『爲人下者常可上之[之]與[志]同‧隨而行松上不隨下』豫志・

「從」「因」也處傳注・

文子符言篇『從天之威與元同氣』淮南子泰族篇「從」作「因」

韓非子姦劫弑臣篇『是以主有所善臣從而譽之主有所惡臣因而毀之』。 左傳襄三十年『大人之忠儉者從而與之泰侈者因而斃之』

此上二例「從」皆與「因」爲互文。

大八六

昭十三年『民從而與之』

十六年『客從而笑之』

戰國策趙策『從而有功乎何患不得收河間從而無功乎收河間何益也?

從 一个一人 也。

韓非子愛臣篇「昔者紂之亡周之卑皆從諸侯之博大也亦即爲「以」、王君改「從」爲「以」、失之、韓非子愛臣篇「昔者紂之亡周之卑皆從諸侯之博大也亦即爲「以」、王忠愼曰、『從當作以」、按「從」之義爲「因」、

晉之分也齊之奪也皆以羣臣之太富也』

淮南子說山篇「聖人從外知內以見知隱。 。

齊俗篇「是從牛非馬以徵笑羽也」

呂氏春秋君守篇『此官之所以疑而邪之所從來也』

此上四例「從」與「以」爲互文。

文子上德篇『累塊不止邱山從成』

列子 黄帝篇『 若能入火取錦者從所得多少賞若』「汝」・

古書處字集釋 卷八 從 松

六八七

在载

六八八

韓非子內儲說上七術篇『夫從少正長從賤治貴而不得操其利害之柄以制之此所以亂也』

一就

「就」猶「卽」也「縱」也假令之詞也。

風俗通義正失篇『就若所云明神禍福必有徵應」 三國志法正傳『法孝直若在則能制主上令不東行就復東行必不傾危矣』則:

【才纔裁財在哉】

才」「僅」也。

水經注『林部據嶮路才容軌』

字或作「財」

漢書霍光傳『光爲人沈靜詳審長財七尺五寸』

字又或作「纔」 「纔」爲「才」・如假「裁財在哉」四字皆爲「才」之比也・然以「纔」爲「才」・其來已久・畝按古韻「才」在之部・「纔」在談部・本非盛韻・而韻部亦較遠・蓋「才」與「纔」本同義 水本書亦

列假

一而爲

買子藩疆篇『長沙乃纔二萬五千戶耳』

字叉或作「在」

漢書賈誼傳『長沙乃在二萬五千月耳』『在與機問」・

字叉或作「裁」

史記張儀傳『雖大男子裁如嬰兒』

才」「方」也「始」也就交至"了?艸

唐書歷志載大衍歷議引書顧命『惟四月才生魄』

字或作「哉」 字通作「纔」・口語謂爲「方纔」・(廣雅・『方・始也』)・爾雅云・『哉・始也』・「哉」爲「才」之借字・「才」訓「始」・

大八九

書顧命篇『哉生魄』 古書處字集釋 自

自

「自」「從」也。

自」猶「于」也「於」也。孟子滕文篇『自楚之滕』「三也

爲介詞:

楚辭天問篇『出自湯谷次于蒙汜』淮南子作『日出于暘谷』

時日月篇『出自東方』 此上二例皆「自」與「于」爲**互文**。 詩伐木篇『出自幽谷遷于喬木』義同此・易困初六・「入于幽谷」·文例同此· ・ 孟子滕文篇・『吾聞出於幽谷・濹子喬木者』·文

易需六四『出自穴』穴』、文例同此・

法言修身篇『由於情欲入自禽門由於禮義入自人門由於獨智入自聖門法言修身:

書召誥篇『 語告無殷越自乃御事』「乃」·「其」也・

洛誥篇『無有选自疾。。

呂氏春秋古樂篇『帝顓頊生自若水』

左傳莊二十二年『光遠而自他有耀者也』

為一對於一之義論語音之於人也之一於

詩羔裘篇『自我人居居……自我人究究』究究·惡也』·

自 一猶「在」也學之傳.

機禮特性饋食禮記『賓與長兄弟之薦自· 東方其餘在東堂。

左傳襄二十三年『樂氏自外子在內。

自

六九 一

此 上 一例皆「 自一 與 「在」爲互文。

成 二年『自今無有代 其君任患者有一 於此, 粉爲戮乎. <u>۔</u> 也將

文王有聲篇『自西自東自南自北

詩正月篇『父母生我胡俾我瘉不自我先不自我後。

不在前後・當孤之身」」・文例同國語吳語・『夫差辭曰・「天既降爲

此於

何人斯篇『胡不自北胡不自南。?

易小畜『密雲不雨自我西郊。

曹多方篇『 爾乃自時洛邑』「此」也・

呂氏春秋長攻篇『故趙氏自今有刺笄之證與反斗之號』

史記周本紀』武王至于周自夜不寐。

說苑奉使篇『相與出周南門刳羊而約曰「自後子孫敢有相攻者令其罪者此刳羊矣」」

自, 」「始」 した「皇」篆説解・見説文王部

曹酒誥篇『厥父母慶自洗腆致用酒。

大九二

多方篇『自作不和爾惟和哉爾室不睦爾惟和哉』

「自」猶「所」也。

書康誥篇『凡民自得罪』 一个一月一七

詩日月篇『東方自出』

左傳成十三年『康公我之自出』

襄二十五年『至於莊宣皆我之自立成公播蕩又我之自入』

良十六年**「無自律」**音無所法效也·

哀二十七年『大夫陳子陳之自出』

「自」猶「以」也。

史記張丞相傳『於是周昌周苛自卒史從沛公』漢書「自」作「以」祁從史記喚「以」為「自」·非史記張丞相傳『於是周昌周苛自卒史從沛公』漢書「自」作「以」祁從史記喚「以」為「自」·非

也

鄭世家『自晉文公之過無禮言未禮之也· 故背晉助楚』

古書處字集釋 卷八 自

六九三

汲鄭傳『自天子欲羣臣下大將軍大將軍尊重益貴』:

國語晉語『鄢之役荆壓晋軍軍更患之將謀范匄自公族趨過之曰「夷竈堙井非退而何」』

淮南子人間篇『然而冠冠履履者其所自託者然也』

呂氏 春秋本生篇『此官之所自立也』則失所爲立之矣」・「爲」亦「以」也・

書酒語篇『庶華自酒腥聞在上』八字為一句・

墨子 備 城門 篇『疏數自敵爲之』 謂「自」爲「因」之謂・失之・又按孫治讓謂「敵」即「適宜」之「適」・亦通・墨子 備 城門 篇『疏數自 敵爲之』 "疏」・「稀」也・「數」・「密」也・言稀密以敵之多寡爲之也・王氏讀書祿志

禮記表記篇『是故議道自己而置法以民』爲五文・禮記表記篇『是故議道自己而置法以民』爲五文「以」

祭義篇『衆之服自此故聽且速也』

書召誥篇『王來紹上帝自服於土中』見經傳釋詞引・

自」循「若」也解:

左傳成十六年『自非聖人外寧必有內憂』「苟」・「苟」亦「若」也・

范睢傳「意者臣愚而不概於王心也亡其言臣者賤而不可用乎「抑亦」・ 自非然者

韓詩外傳二『自以爲罪則寡人亦有罪矣』

「自」循「雖」 也明此訓·至為精確· 也訓見調詮·按楊君簽

史記律書『自含血戴角之獸見犯則校也・「尙」也・ |而況於人懷好惡喜怒之氣喜則愛心生怒則史記律書『自含血戴角之獸見犯則校也・「尙」・ 「猶」

毒螫加惰性之理也。

漢書景十三王傳『自凡人猶繁於習俗而況於哀公之倫乎』。

吳越春秋句踐伐吳外傳『吾愛士也雖吾子不能過也及其犯誅自吾子亦不能脫也』爲五文:吳越春秋句踐伐吳外傳『吾愛士也雖吾子不能過也及其犯誅自吾子亦不能脫也』爲五文:

此上三例皆見詞詮引。

曹立政篇「自一話一言我則末惟成德之彥「鮗」也:「惟」:「誅」也:以义我受民』曹立政篇「自一話一言我則末惟成德之彥「鮗」也:「惟」:「求」:以义我受民』

莊子列御寇篇『自是有德者以不知也也·「尚」也·而況有道者乎」

「自」猶「則」也。

史記儒林傳『言禮自魯高堂生······言春秋於魯自胡母生於趙自董仲舒』漢書儒林傳「自」

古書庫字集帶 卷八 自

六九五

皆作「則」

大宛傳『記 旣連烏孫自其两大夏之屬皆可招來而爲外臣」

詩小宛篇『渥粟出卜白何能穀』「得」也•

莊子大宗師篇『是自其所以乃』「然」也・

晏子春秋外篇: 『若使古之王者毋知有死[知]・語助也 自昔先君太公至今尚在而君亦安得此

國而哀之?

國語周語二『無禮則脫寡謀自陷』為五文

「自」猶「卽」 也。

韓非子說林篇上『韓魏反之外趙氏應之內智氏自亡』亡」:「遂」亦「部 即也也

曹洪、範正、義引、荀子。『蓬生·麻中不扶·自宜』篇·作『蹇生麻中·不扶乃直』·「而』「乃」皆與「即」同義。 斯子勒學篇·作『不扶而直』·掌書治要引大戦體會子制:

「自」猶「且」 也。

論 衝論死篇『

精神擾自無 所知況其散也』「平」也·獨

韓非子說林篇『爲人主者 本· 誠明於臣之所言則雖畢弋馳騁撞鐘舞女國猶且存也不明臣

之所言雖節儉勤勞布太惡食國猶自亡也』為五文:

【雖唯惟維誰】

雖」推拓之詞也詞兩數也·

墨子非命篇『雖昔也三代罷不肖之民亦猶此也』

韓詩外傳十『雖上古聖人亦若此而已』

此上二例皆上言「雖」爲推筆下言「亦」爲承筆。

字或作「唯」

戰國策秦策『獘邑之王所甚悅者無大大王唯儀之所甚願為臣者亦無大大王獎邑之王所甚惟

者無先齊王唯儀之所甚惟者亦無先齊王」史記張騰傳「唯」皆作「 雖。

古奇虚字集彩 卷八 雖 唯 惟 維 雅

火九七

六九八

史記汲黯傳『宏湯深心疾 黯唯天子亦不說也」「之」也·漢書「唯」作「雖」

范睢傳『主人翁習知之唯睢亦得謁』

司 馬 相 如 傳: 相 如 使時蜀長老多言通西南夷不爲用「庸」・功也・ 唯大臣亦以爲然』

此上四例並見經傳釋詞引。

是子尙賢篇中『故唯昔三代聖王**堯舜禹湯文武之所以王天下正**諸侯者此亦其法已』

按經 |傳釋詞謂此例之「唯」字爲發語詞 字條· 誤甚此與前數例皆同一上用「 唯

一 字, 下

用「亦」字「唯」則「雖」之借字也又墨子尙賢篇中『 故雖昔三代暴王桀紂 兩 属之所

以失損其國家傾覆其社稷者已此故也」「已」 與一 亦 同義。 亦是上用「 雖 字爲推筆

下用「亦」字爲承筆之例經傳釋詞「惟」字條訓「 雖一爲發語詞亦失之。

字叉或作「惟」

史記淮陰侯傳『惟信亦以爲大王不如也』漢書「惟」作「唯」詞引・。 見經傳釋

孟子滕文篇『惟士無田則亦不祭。

告子篇『惟耳亦然……惟目亦然』

此上二例亦皆以「雖」「亦」二字相推承之例。

曹大誥篇『予惟小子若涉淵水予惟往求朕攸濟訓「是」• …予惟小子不敢替上帝命』 皆即「予雖小曹大誥篇『予惟小子若涉淵水予惟往求朕攸濟訓「是」• …予惟小子不敢替上帝命』 皆即「予惟小子」•

謂「惟」為語助・失之・子」・經傳釋詞「惟」 字條

又『爾惟舊人爾丕克遠省』「不」同:

康誥篇『汝惟小子乃服惟弘王應保殷民』首汝事是弘王承保殷民也・。 九字為一句・下「惟」字訓「是」・

又『汝惟小子未其有若汝封之心』助詞:語

此 上一例一 汝惟小子」皆即「汝雖小子」與詩民勞篇『戎雖小子汝也」・ 而式弘大』

文例同。

洛浩篇 『汝惟沖子惟終』平藤云·『終讀爲景』· 本語: ◎ , 。 下「惟」字訓「是」· 本語文例 同

字又或作「維」

詩天保篇『降爾遐福維日不足』 。

古書處字集釋 卷八 雖 唯 惟 維 體

六九九

字叉或作「誰_ 墨子非儒篇『用誰急遺行遠矣』 义或作 「誰」」通・(誰通味・説見唯字條)

一雖 一猶「卽」也假令兼推拓之詞也。

襄十九年『婦人無刑雖有刑不在朝市。 左傳閔二年『尨奇無常金玦不復雖復何爲』

雖」猶「若」 七「惟」訓者」也・

儀禮士昏禮『雖無娣媵先』獨先媵·客之也」·爲「若或」之。 鄭注曰·『若或無娣

論語雍也篇『仁者雖告之日』辨略· 說見助字

爲「若似」

韓詩外傳九『夫關雎之人仰則天俯則地幽幽冥冥德之所藏紛紛沸沸道之所行雖神龍變化斐,

斐文章大哉關雎之道也!

左 傳文十七年『雖敝邑之事君何以不免』

按經傳釋詞「惟」字條謂「雖」為語助失之又按左傳文十七年『 雖我小國則蔑以過之

矣』經傳釋詞謂「雖」爲語助亦未允「雖我小國」之「雖」乃推拓之詞也條注:謂左傳歸十。。 3.未允・「惟」當體為「難」・推拓之間也・年『唯我鄭國之有請謁烏』之「唯」字為語助

雖一循 況也。

左傳昭九年『伯父若發冠毀冕也·「尚」也·拔本塞原專棄謀主雖戎狄其何有予一人」『君有左傳昭九年』伯父若發冠毀冕也·「裔」·「裔」

|| 文例與此同・標傳釋詞「惟」字條謂「雖」 為語助・失之・糖而自踰之・(而・猶也・尙也)・況荊變則何有於問室」・

雖 循「則」也「難」訓「則」也・

禮記檀弓篇「雖微晉而巳天下其孰能當之」

函 「語晉語『雖微秦國天下**孰**弗息?

楚語『雖微楚國諸侯莫不譽』「執」也·

上三例「 雖微 一皆即一 則量」見一微」字條

古著盧字集釋 卷入 雖 唯 惟 維 誰

鮮

韓非子六反篇『夫富家之愛子財貨足用財貨足用則輕用輕用則侈泰親愛之則不忍不忍則騙

态侈素則家貧驕恣則行暴此雖財用足而厚愛輕利之患也』作「則」·是以意改;, 。 歲本如是·今本「雖」

斯

「斯」「此」也。

論語雍也篇「斯人也而有斯疾也』「當」也·

字或作「鮮」「斯」與「鮮」」學之

詩麥莪篇『鮮民之生不如死之久矣』既·

斯 一猶「則」也。

荀子哀公篇『敢問何如斯可謂庸人矣』大戴禮哀公問五義篇「斯」作「則」

字或作「鮮」

斯」猶「乃」也轉詞。標

書金縢篇『周公居東二年則罪人斯得』詞引・書金縢篇『周公居東二年則罪人斯得』詞引を傳釋』、

易旅初六『旅瑣瑣斯其所取災』。

字或作「鮮」

國語晉語八『國無道而年穀龢熟鮮不五稔』五稔」・與此同義・國語晉語八『國無道而年穀龢熟鮮不五稔』五稔」・與此同義・

斯一猶「而」也。

詩斯干篇『乃安斯寢』「居」也・

正月篇『維號斯言「雖」同有倫有背』脊・理也・正月篇『維號斯言「雖」同有倫有背』脊・理也・

我行其野篇『言歸斯復』「乃」也・

節南山篇『亂靡有定式月斯生』「乃」也・節南山篇『亂靡有定式月斯生』「乃」也・

字或作「鮮」

古薄虚字集釋 卷八 斯 鲜

七〇三

鮮

墨子尙賢篇中引詩「 孰能 執 熱鮮不用濯」不以濯」·「斑」。? ◎ 「用」·「以」也

斯一猶「其」 ししい。世界調・個別の世界のである。

詩白華篇『有扁斯石』

思齊篇『有秩斯品』也、武詳極義述聞・

此 上三例並見經傳釋詞引。

板篇: 無俾! 城壤無獨斯畏』「畏」讀爲「威」・

抑篇: — 亦維斯戾』「爲」也・

召复篇『胡不自替職兄斯引』也·明·長也:

殷其靈篇『何斯遠斯』即『此」・

桑柔篇『胡斯畏忌

斯 一猶「以」 也。

文選章孟詩『耒耜 斯耕』漢書章賢傳「斯」作「以」

> 4

詩七月篇『朋酒斯饗』

楚辭卜居篇『將送往勞來斯無窮乎』 話七月篇『別潛其獨』

新序善謀篇『昔湯伐桀而封其後於杞者斯能制桀之死命也陛下能制項籍之死命乎曰未能也,

其不可一也』

斯」猶「之」也同口語之「的」、

詩螽斯篇『螽斯羽』句例同·

瓠葉篇『有兔斯首』

此上二例並見詞詮引。

斯干篇『如跂斯翼如矢斯棘如鳥斯革如暈斯飛』 「跂」「雄」同從「支」摩・故假「跂」為「雄」・「跂」常體為「雄」・說文色派「难・雄島也」・

甫田篇『乃求千斯倉乃求萬斯箱』

此上二例經傳釋詞訓「斯」爲「其」失之。

下武篇『於萬斯年』

古香盛字集釋 卷八 斯 鮮

七〇五

「斯」循「是」也釋詞斯干篇『秩秩斯干』 烈祖篇『及爾斯所』

寺公列第『子京元文』 一 猶 「是 」 也釋詞·傳

于京斯依·····于豳斯館』詞引· 詩公劉篇『于京斯依·····于豳斯館』詞引·

宋磯篇『彼爾維何也·「維」·「是」也·維常之華彼路斯何君子之車」

采芑篇『朱芾斯皇』

字或作「鮮」

香盤庚篇『古我前后罔不惟民之承保按[之]猶[是]也· 即一是以」「で 「尹」・「過」 也・曾先君皆敬・是以不過于天明也・又按今文作『后胥高』・「高」亦「敬」也・(廣雅感也」・之「感」・敬也・(慄感皆訓]敬」・說詳經義述聞爾雅)[鮮」爽「斯」同・(此華經平職說) [斯以 后胥感。鮮以不浮于天時一

也高・敬

斯」猶「有」也。

詩小旻篇『謀猶回遹何日斯沮』「止」也・

載支篇『匪且有且匪令斯今』為五文・

斯, 」「盡」也「皆」也。

潛夫論班祿篇引詩『爾之教矣民斯效矣」矣」、「胥」亦「肯」也・ 禮記檀弓篇『我喪也斯沾』沾讀日硯・鹿也」・禮記檀弓篇『我喪也斯沾』沾讀日硯・鹿也・

斯 一猶「然」 世紀が見た神

禮記玉藻篇『二虧而言言斯』

論語鄕黨篇『色斯舉矣』

此上二例並見經傳釋詞引。

詩皇矣篇『王赫斯怒』

斯 」循「兮」也a·皆屬此訓· 詩鴟鴞篇『恩斯勤斯鬻子之閔斯』

何人斯篇『彼何人斯

古兽虛字集釋 卷八 斯 鮮

古〇古

小弁篇『鹿斯之奔』古字「也」「兮」通用・是其證・

思

「思」奥「斯」通用之證・独事篇・「斯」作「思」・皆

詩關 **雎篇『寤寐**

閔予小子篇『於乎皇王繼序思不忘』

烈祖篇『實我思成』也・(見猗嗟篇鄭筆)・八二十八年] (第1年) (11年) (11

那篇: 殺我 思成 』 福」・烈祖篤『綏我眉春』・皆是也・「綏」與「此與『賽我思成』同義・「綏」爲「遺」之借字・ 這」通、獨局體夏宋注云『故書終爲撻』矣・(按證與也・詩中多假「綏」爲「遺」・如載見篇『綏以多

此 上四 例, 思 訓「斯」並與「是」同義。

公割篇 『思輯用光』義·用·而也·光·大也· 。 [思] 訓「斯」·興「乃」 岡

桑屋篇『旨酒思柔』與「思」訓「斯」

文王有聲篇『無思不服』與「有」同義・

書顧命篇『柔遠能邇安勸小大庶邦思夫人自亂于威儀』「治」也·「子」·「其」也· ■「人」也」「人」也」「風」

易繋辭傳『小人而乘君子之器盜思奪之矣上慢下暴盜思伐之矣』。

此上二例「思」訓「斯」與「則」同義。

「思」狀事之詞也專之詞:同:

詩思齊篇『思齊大任』女』文例同此・

良耜篇『思媚其婦』文例同此・

車軽篇『思變季女逝分』

文王篇『思皇多士』「思」・義亦同此・

古書處字集釋 思

七〇九

思文篇『思文后稷』思齊篇『思媚周姜』

「思」循「兮」也,想到兮上。 此上六例經傳釋詞謂「思」爲發語詞說猶稍疏。

詩漢廣篇『不可休思』

資篇『敷時釋思』

題

肆,

「肆」「今」也耀· 「無逸篇『肆中宗之享國七十有五年』史記魯世家「肆」作「故。「故」也雅·

割引 引 経 の 穏

「康誥篇「肆女小子封」述明・

曹堯典篇『肆類于上帝』史記五帝紀「肆」作「途」」即」 「遂」 也。

肆」猶「極」也「甚 也。

詩崧高篇『其風肆好』方言· 就見新

上二島箇反・又

二些, 一詞 世。

楚辭招魂篇『去君之恆幹何爲四方些』「斯」同義:既本經傳

相

古書虚字集釋 卷八 些 相

相」「互」也。

孟子滕文篇『出入相友』

相」循「青」也序引「青」作「相」),故「青」訓「相」・「相」亦訓「青」・新

左傳襄十四年『遵人以木鐸徇于路官師相規工執本事以諫』

漢書五行志『是時女主獨治諸呂相王』

戰國策趙策『昔者三晉之交於秦 相善也今秦釋韓魏而獨攻王王之所以事秦必不如韓魏也』

此上三例「相」訓「胥」與「皆」同義皆也」:

韓非子存韓篇『陛下雖以金石相獘則兼天下之日未也』(唐雅・「胥・同也」・)「奘」男「鮫」同・「塵」韓非子存韓篇『陛下雖以金石相獘則兼天下之日未也』(唐雅・「胥・同也」・)「奘」男「慰」東「問」字同義,

下雖與命石同盡、尚未有兼天下之日也・也・「則」・「尙」也・(說詳「則」字條)言陛

相一猶「所」也學之轉

漢書蒯通傳『物有相感』韓詩外傳七「相」作「所」

相」猶「夫」也提示之詞也。

曹盤庚篇『相彼鳥矣』無逸篇『相小人』 無逸篇『相小人』 此時

小弁篇『相彼投兔』四月篇『相彼泉水』

抑篇『相在爾室,

禮記坊記篇『相彼盍旦』

此上七「相」字舊皆讀去聲訓爲視未允。

晉 須

胥, 「相」 也。 雅見 ・爾

古靑虚字集釋 卷八

胥 須

七一三

古書虛字集釋

詩角弓篇『無胥遠矣』

「胥」「皆」也亦是開

詩角弓篇『民胥然矣』皆也·「胥·

字或作「須」

論衡骨相篇『誠是秦王須得志「若」也·天下皆爲房矣」。

一骨」循一是」也一个一颗一大多通、微片下断,字条

詩瞻卬篇『維予胥忌』

國宮篇『黃髮台背壽胥與試』試過・

一骨」猶「兮」也「所訓(兮)·始· 詩韓奕篇『侯氏燕胥』也·

桑扈篇『君子樂胥』

七

須

「須」「待」也「須」斯「传」·為「種」之會

左傳成十二年『寡君須矣』

字或作「胥」

管子大匡篇『將胥有所定也』等也」・『香・

須」猶「用」也需訓用」·故「須」亦訓「用」·

漢書馮奉世傳『奉世上言願得其衆不須復煩大將」引:

徐

古書虛字集釋 卷八 須 胥 徐

七一五

古齊處字集釋 卷八 似 以 逖

「徐」猶「胥」也「皆」也能經過

公羊傳成十五年『魯人徐傷歸父之無後也』皆共之群」・公羊傳成十五年『魯人徐傷歸父之無後也』皆共之群』・

似

「似」「若」也。

孟子公孫丑篇『北宮黝似子夏』

字或作「以」

左傳襄三十一年『今尹以君矣』本・

呂氏春秋察微篇『夫弩機差以米則不發』

七一六

多」因事之詞也概事也。·儀禮聘禮鄉注「途猶因也」,

鲁康王之誥序『途誥諸侯』· 61.18日 1818日 1818年 1818日 18

春秋定七年『遂侵衛』 事故日進二・「兩

逐 _ 猶「卽」也。

左傳成二年『今叔父克遂有功於齊』

左傳文七年『及歸遂不見』點.

「迻」「竟」也觀意料不及之詞也。

列女傳賢明傳『嗟乎惜哉乃下世兮庶幾遐年今遂逝兮』

遂」猶一故」也申事之詞也。

列子說符篇『故至言去言至爲無功夫淺知之所爭者末矣白公不得已[也也·遂死於游室。 二淮

南子道應篇作『白公不得也故死於浴室』。

古書虛字集釋 卷八 遂

逐 漢書蕭望之傳『今將軍規檢「模」字・云若管晏而休若管仲晏于而止乎・遂行日仄至周召乃留乎』(第1912年)第1912年)第1912年)第1912年)第1912年)第1912年)第1912年)第1912年 **」猶「抑」也選擇之連詞也**。

上資

一偏」也既發送。

「 **遂**。

易繫解傳『无有遠近幽深遂知來物』「不覧」・

七一八

古書虛字集釋卷九

乏時

「之」指事之詞也即贈え

輪語學而篇『學而時習之』文「學」字書·

或有不蒙上不探下而憑空指者

論語憲問篇「愛之能勿勞乎」「爲」亦「之」也·指君言·亦是形空指·論語憲問篇「愛之能勿勞乎」「之」指「子」言·下文「忠爲能勿誨乎」·

微子篇『微子去之箕子爲之奴』「爲」·「以」也· (大)字皆指封官·

或有探下文而指者

論語先進篇『非日能之願學焉宗廟之事如會同也·端卓甫願爲小相焉』會同之小相也· 蘭語先進篇『非日能之願學焉宗廟之事如會同也·端卓甫願爲小相焉』會同之小相也·爾

古書虛字集釋 卷九 之 時

七一九

衞靈篇『知及之仁不能守之雖得之必失之知及之仁能守之不莊以涖之則民不敬 皆指「民」書· 此上七「之」字

而指· 知及之仁能守之莊以涖之動之不以禮未善也」言·則是承上文而指· 是探下文 。 此上四「之」字·亦指「民」

或有於句中倒用者:

論語學而篇『未之有也』之也.

呂氏春秋雕俗篇『若苟得已則必不之賴』 不賴之也·』·

**勸學篇『未之嘗有也』

誓有之也』・**

韓詩外傳五『以天下之王公莫之好也而是子獨好之以民莫之爲也而是子獨爲之也』荀子君韓詩外傳五『以天下之王公莫之好也而是子獨好之以民莫之爲也而是子獨爲之也』荀子君

道篇作『莫好之……莫欲之』也‧既詳「由」字條:

字成作一時」「傳・『草立土德時歷制度』・史記作『草上總之立制度』・是其鐘也・字成作一時」「時」古文作「昔」・從「史」等・(史即之字)故典「之」通用・漢書張蒼 易隨象傳『大亨貞无谷而天下隨時』「之」・是以意改・

「之」口語之「的」也。

詩關雎篇『在河之洲**』**

或有省去者:

墨子明鬼篇『當是時』又「當是之時」

非攻篇『飾攻戰者言曰』又『飾攻戰者之言曰』

孟子梁惠王篇『民望之若大旱之望雲霓也』

滕文篇『民之望之若大旱之望雨也。

化二三河 1月多一至河底了11一至乡里,四次第一日之皇之老才与之宫再也

此上三例凡同爲一語而無「之」字者卽是省去。

史記孟嘗君傳『今君又尙厚積餘欲以遺所不知何人「之」字· 而忘公家之事日損文竊怪之』 呂氏春秋知士篇『此劑貌辨之所以外生樂趨惠難故也』「之」字·

字或作「時」 易隨象傳『隨時之義大矣哉』在當時,(觀見讀書雜志管子卷四可立而時條)亦假「之」為「時」之一例,

「之」「其」也音初橋注・

荀子王制篇『之所以接下之人百姓者』也: 議兵篇作『其所以接下之人百姓者』

古書虛字集釋 卷九 之 時

静采綠篇『之子于矜言報其弓之子于釣「此子」· 言編之繩』爲互文· 詩采綠篇『之子于矜言報其;, (之子)皆即 @ 。 「之」與「其」

此上二例並見經傳釋詞引。

史記武帝紀『問之人果偽書於是誅文成將軍』封禪書「之」作「其」

陳杞世家『鄙語有之詞・是探下文而指・牽牛徑人田田主奪之牛』楚世家作『田主取其牛』新、中、『記書の『記書の』の「記書の『田主取其中』新、「記書の『記書の』の「記書の『田主取其中』の「記書の『記書の『記書の

序襍事篇四『襄廿曰「吾聞之於叔向曰「君子不乘人於利不迫人於險」使之城而後攻」』

韓詩外傳六作『使其城』

賈子保傅篇『保保其身體傅傅之德義』大戴禮保傅篇「之」作「其」

韓非子說難篇『自勇之斷』史記韓非傳「之」作「其」

子立爲諸侯今至于我而辭。之故何也」」莊子天地篇作『敢問其故何也』 審秋長利篇『伯成子高辭諸侯而耕禹往見之則耕在野禹趨就下風 而問曰「堯理天下吾

此上六例皆「之」與「其」通用,

公羊傳成十五年『爲人後者爲之子也』又「爲人後者爲其子』

墨子兼愛篇下『之故何也』又『其故何也』

春秋繁露天道施篇『非奪之情也所以安其情也』

論衡講瑞篇『見之父察其子孫』

物勢篇『如天故生萬物當令其相親愛不當令之相賊殺也::

列子仲尼篇『 人之游也 一觀其所見我之游也字即的」・觀之所變し

韓非子六反篇『盧其後便計之長利也』

二柄篇『沽以其言授之事』主道篇作『君以其言授其》中,一万月年『届古代四書《玉木七』

荀子禮論篇「是以繇其期」遙」,足之日也』陳志・武見讀背

富國篇『厚刀布之斂以奪之財重田野之稅以奪之食苛關市之征以難其事。 左傅昭二十年『是以鬼神不饗其國以禍、之祀史與焉』謂「之」爲行文・失之・

此上十一例皆「之」與「其」爲互文。

隱 五年: 鳥獸、之肉不登於俎』古本・作「其」者乃後人據文義而改・左傳中多以「之」爲「其」・如「枕之股,句の

古书的虚字集网络一个之一 非

七二四

斯其)「鄭人臨之三人也」・「其歐以禍・之祝史與爲」之屬皆是,故知作「之」者爲古本•哭之」・(枕之即枕其)「奪之杖以敲之」(奪之即奪其)「斬二逐蒿黎養而共處之」(斬之即

論語陽貨篇『取瑟而歌使之聞之』劉英:

荀子王霸篇『之所以爲之者則舉義士也雖本, 據王先 之所以爲布陳於國家刑法者則舉 義法也之所

極然神羣臣而首鄉之者志說删‧郝懿行云‧『極讀爲亟‧疾也』‧則舉義志也』 說見讀書陳志‧

戰國策魏策二『二人者之所爲。之利於魏與不利於魏王厝需於側以稽之』「需」謂「田需」・戰國策魏策二。」中「之」字訓「其」・

韓非子內儲說上七術篇『使人行之所易而無離所惡此治之道』「去其所易」」「離」同・「罹」・「遭」韓非子內儲說上七術篇『使人行之所易而無離所惡此治之道』「去」点・(下文公孫鞅章・作 所易而無遺所惡也・此也・上「之」字訓「其」 ・此土先傾散・

書序『虞舜側微堯聞之聰明』 :

春秋繁露竹林篇『今子反往視宋聞人相食大驚而哀之不意之至於此也』曾:鏡唐謂[意]下當有春秋繁露竹林篇『今子反往視宋聞人相食大驚而哀之不意之至於此也』曾:鏡唐謂[意]下當有

失之・字

按楊氏古書疑義舉例續補有「之其通用」一例其說頗詳本書「之訓其」及「其訓之」二節 所引之例閒有爲楊君所道及者茲爲不敢掠美起見故特聲明於此。

「之」循「而」也「之」,五見「而」字條,

史記屈原傳『離愍之長鞠』楚辭作『離愍而長鞠』「愍」·

大戴禮會子大孝篇『故君子頃步之不敢忘也』禮記作『君子頃步而不敢忘孝也·

韓詩外傳五『用萬乘之國則舉錯而定一朝之白』則而〕・荀子儒效篇作『一朝而伯』「白」・自一朝帝の:

楚辭涉江篇『雖僻遠之何傷』文選「之」作「而」

墨子兼愛篇下『故焚身爲其難爲也然後爲「極」也・ 之越王說之「而」・」按畢說未允:之越王」即至于兼愛篇下『故焚身爲其難爲也然後爲「極」也・ 之越王說之「而」・」按畢說未允:之越王」即

者·乃古書上下文變換語詞之例也· 未踰於世而民可移也[即]也·即求以鄉上也』「而越王」·此作「之」·前後文皆作「而」

經說篇上『故也必待所爲之成也』所得而後成』,文義同此,

社 **衆其人民治其刑政定其**

荀子勸學篇『方其人之智君子之說』讀爲一份」,「近」也,

『故曰性者本始材朴也偽者文禮隆盛也無性則偽之無所加無偽則性不能自美』

古書虛字集轉 卷九 之一

為

老子一章『玄之又玄』精上文例同此·

漢書張陳王周傳『因問請之得宿衞中』

淮南子氾論篇『使鬼神能玄化則不待戶牖之行』 讀書陳志謂作「而」者是・失之・御覺引「之」作「而」・是以意致・

道應篇「師望之謂之日」之」作「望而」・亦以意改・道應篇「師望之謂之日」之」作「望而」・亦以意改・

又『仲尼遠然曰「何謂坐忘」顏回曰「墮肢體黜聰明離形去知洞與化通是謂坐忘」仲尼曰: 洞則無善也化則無常矣而夫子薦賢「薦」・「先」也・言汝乎此先賢也・「薦」則「先」・見高騰注・同則無善也化則無常矣而夫子薦賢「薦」・「汝」也・「夫」猶「乎」也・「子」讀爲「茲」・「此」也・ 邱 請

從之後』莊子大宗師篇作『 而果其賢乎「此」也:邱也請從而後也」

戰國策趙策『臣主之權均之能美未之有也』訓[而]・

國

又『其至者亦將不能之會也已』 :: 吳語『吳王將恥不戰必不須至之會也』也: 待

說苑建本篇『積小之能大者其惟仲尼乎』

莊子人閒世篇『外曲者與人之爲徒也』

穀梁傳襄二十九年『此變之正也』

韓非子外儲說右下篇『王曰「子何故不知於此也・乎 彼民之所以爲我用者訓[的]:

非以吾愛

之爲我用也以吾勢之爲我用者也』

難四篇『孫子君於衛而後不臣於魯臣之君也君有失也故臣有得也』謂臣變而爲君也』:

整辭抽思篇『思蹇產之不釋兮』產而不釋J·

疫郢篇「忽翱翔之焉薄」

悲回風篇『愁鬱鬱之無快兮』

沈江篇『追悔過之無及兮』

此上三例王注並曰『之一作而』

九辯篇『雖重介之何益』

古書處字集釋 卷九 之 時

七諫篇『徐風 至而徘徊兮疾風過之湯湯。

戰國策燕策『苟與人之異惡往而不黜乎』。,

淮南子原道篇』待而後生莫之知德待之後死莫之能怨』「待而」·

逸周書命訓篇『夫民生而樂生無以穀之能無勸乎者勸之以忠[動而]·則度至於極夫民生而惡 死無以畏之能無恐乎若恐而承教則度至於極。

此上四例「之」皆與「而」爲互文。

「之」「是」也。

一爲「此」字之義:

詩桃夭篇『之子于歸』

爲「是非」之「是」

韓詩外傳十『金玉之賤人民是寶』新序棟事篇四作『金玉是賤人爲寶』「是」也,韓詩外傳十『金玉之賤人民是實』新序棟事篇四作『金玉是賤人爲寶』「爲」亦 書無逸篇『惟耽樂之從」漢書鄭崇傳引「之」作「是·

左傅僖二十四年『纐人之財猶謂之盜』訓『是』·史記晉世家作『猶曰是盗』「頃」也·

莊子列御寇篇: 「方者謂之遁天之刑」此·可證「謂之」即是「謂是」· 文例同

論語堯曰篇『猶之與人也』「珣」也・

國語晉語「鈞之死也」「均」・

醴 記中庸篇『天命之謂性』

荀子子道篇『審其所以從之之謂孝之謂貞也』言「之謂」者做此· 「之謂」即「是謂」· 凡

詩公劉篇『芮鞫之即』「就」也:

莊子:大宗師篇『惟命之從』從」·文例同此·

列子湯問篇『唯魚之念』

國語周語 7

「之」猶「且」也「尙」 也。

戰國策齊策『夫齊新斥作[無齊]· 雖隆薛之城到于天猶之無益也」新序襍事篇作『猶且無益

古書盧字集郡 七九 Z 睫

也。

韓詩 2外傳二『一 天無事焉猶之貴天也…… 君無事焉猶之尊君。 也。

莊子讓王篇『 以我為天子猶之可也。

雅南子泰族篇『故舜放弟周公殺兄猶之爲仁也文公樹米曾子架羊猶之爲智也』 則陽篇『入之者十九猶之暢然况見見聞聞者也』

管子大匡篇 5 其於 君不如親糺糺之不死而況君乎』於子糾且不死也:

戒篇『今夫易牙子之不能愛將安能 愛君」「而」也・

又「今夫豎刁其身之不愛焉能愛君」於公」・字即作「於」・按「何有」即「何愛」・ :: 韓非子 難 一篇作

且不愛安能愛君」

詩 ·碩鼠篇「誰之永號」

「之」猶「將」 也。

史記留侯世家『上乃憂曰: 『爲之奈何」』新序善謀篇「之」作「 將。

「之」猶「焉」也語已詞也。

史記貨殖傳『淵深而魚生之山深而獸往之人富而仁義附焉。』 作「於是」解・按「之」字訓「焉」・是語高等國文法謂助二「之字」 曾訓「焉」・

足詞・株君解為「於

說苑建本篇『譬之如汙池水潦注焉菅蒲生之』大禮禮勸學篇作『譬之如汙邪 世同義: 說苑建本篇『譬之如汙邪 世同義: 示 水

深層馬売蒲生馬』水源集馬・菅蒲生馬・』・

颐 【語周語『民神無怨故明神降之『說苑辨物篇「之」作「焉」 。

漢書嚴助傳『此老子所謂「師之所處荆棘生之」者也』老子三十章作『荆棘生焉』

成 帝紀: <u>—</u>] 迺者地震京師火災樓降狀甚懼之』 朕甚懼爲」·文例同此·

禮 樂志 至周 末世大爲無道以失天下秦繼其後又益甚之**』**

禮記 中庸篇 草木生之禽獸居之寶藏與焉」焉・萬物殖焉・飛鳥集焉・走獸休焉」・文例同此・草木生。

戰國策秦策『頃之一人又告之曰「曾參殺人」』之」作「頃然」、「然」亦「焉」也・戰國策秦策。 頃之」即「頃悉」、新序雜事篇、「

論語鄕黨篇『當暑終絡絡必表而出之』「出」謂出行・。 「表」謂加上衣・

古书,虚字集四学 卷九 一之 计时

潛夫論潛數篇『故正義之士與邪柱之人不兩立之』「立爲」・

韓非子內儲說上七術篇『凡人之有為也們的」,非名之則利之也。 春秋繁露竹林篇 『春秋記天下之得失而見其所以然之』「然焉」・

呂氏春秋功名篇『桀紂為天子當有天下能盡害天下之民則「的」·而不能得賢名之』。

孟子離婁篇『則不知手之舞之足之蹈之』「蹈之」即「蹈爲」:

梁惠王篇『則苗浡然與之矣』為衍文·失之·

萬章篇 金聲而玉振之也』於始・「振」・「收」也・謂收之於終・

又『玉振之也者,

告子篇『夫貉五穀不生惟黍生之』

曹金縢篇 「我國 家醴亦宜之し

商君 書 開 塞篇: 天地 設 而 民生之。

左 傳傳 五年『美城之。大名也』

國語晉語『且人中心唯無忌之「是」也,何可敗也」

戰國策魏策一『張儀惡陳軫於魏王曰「軫善事楚爲求壤地也甚力之」」

「之」循「者」也故本書之二者」互酬·

說苑襟言篇『是知之所以樂水也』也」・上覧之」・下言「者」者・瓦文耳・說苑襟言篇『是知之所以樂水也』。「知」同「智」・下文云・「是仁者所以樂山 韓詩外傳三作「此智者

所以樂于水也。

尚書大傳一『此仁之樂于山者也』韓詩外傳三作『此仁者所以樂于山也』。

墨子尙同篇中『內之父子作怨讐皆有雕散之心不能相和合』篇上作『是以內者父子兄弟作墨子尙同篇中『內之父子作怨讐皆有雕散之心不能相和合』篇上作『是以內者父子兄弟作

怨惡不能相和合』

韓詩 外傳八『惜乎不齊爲之大功乃與堯舜參矣』說苑政理篇作『不齊所爲者大』

南子 齊俗篇 所自視之異也…… 所自窺之異也…… 所從觀者異也』為互文·

易漸彖傳『漸之進也』衍文・失之・

淮

·非子說林篇『故小之名卑地削大之國亡身危』前·大者身死而國亡』·交例同此。 管子五輪篇· 『是以小者兵挫而

古書 虚字集 釋卷九 之 時

呂氏春秋用民篇『今外之則不可以拒敵內之則不可以守國』

安死篇『人之壽久之不過百』則「者」・

論語先進篇『赤也為之小孰能為之大』「之」也· 多歹集』 丿之言グ之不说正』 则表。

禮記曲禮篇『凡祭有其廢之莫敢舉也有其舉之莫敢廢也』「所」・

論衡定賢篇『或德髙而舉之少或才下而薦之多」

祀義篇「其修祭祀是也信其事之非也」

韓詩外娯三『旣拔無守之吾進先生』

漢書劉歆傳「傳聞之與親見之其詳略不同」

淮南子說林篇: 『湯放其主而有榮名崔杼弑其君而被大謗所爲之則同其所以爲之則異」以之

「声」・訓

莊子則陽篇『與世偕行而不替廢」也· 所行之備而不洫 』鮮少也 』·既見莊子解故· 正子則陽篇『與世偕行而不替廢」也「偏 所行之備而不洫 』鮮少也 』·既克云:『衂 墨子號介篇「歸敵者父母妻子同產皆車裂先覺之除」罪也」,蘇氏式「實先覺察者,錄其

中山策『君所將之不能半之而與之戰於伊闕』作「戰之」,茲從吳氏補注乙轉,中山策『君所將之不能半之而與之戰於伊闕』作「戰之」,茲從吳氏補注乙轉,留 戰國策宋衛策『衛人迎新婦婦上車問驂馬誰馬也御曰「借之」新婦謂僕曰「拊驂無笞服」』

「之」猶「所」也。

賈子等齊篇引詩『行歸于周萬民之望』詩都人士篇「之」作「所」

韓非子十過篇『平公曰「寡人之好者音也」』者音也」・字即作所」・ 史記樂書「之」作「所」韓非子十過篇『平公曰「寡人之曰,寡人之」作「所」。

史記趙世家『狂夫之樂智者哀焉愚者所笑賢者察焉』為至文· 「之」與「所」

項羽紀『奪項王天下者必沛公也吾屬今爲之虜矣』虜」,文例同此,「且」亦「將」也,項羽紀『奪項王天下者。必沛公也吾屬今爲之虜矣』。「今」「將」也,下文「若屬皆且爲所

淮南子泰族篇『天下大利也比之身則小身之重也比之義則輕』謂[之]爲[所]之睽‧失之‧淮南子泰族篇『天下大利也比之身則,,。 中[之]字訓[所]‧掌釋平賦

氾論篇『伯成子高髀爲諸侯而耕天下髙之今之時人辭官而隱處爲鄕邑之下豈可同哉』即「所卫論篇』伯成子高髀爲諸侯而耕天下髙之今之時人辭官而隱處爲鄕邑之下豈可同哉』即「之下」

T

管子七臣七主篇『遇周武王遂爲周氏之禽』

吳越春秋句踐伐吳外傳『 種得劍又數戶「南陽之宰而為越王之禽」」或」·句例同此·

古 青 虚字 集 釋 卷 九 之 時

「之」猶「亦」也。

易乾文言『庸言之信庸行之謹』亦信・常行亦謹」・

漢書欒布傳『且垓下之會微彰王項氏不亡天下已定彰王剖符受封之欲傳之萬世』史記樂布:

傳作『亦欲傳之萬世』

韓非子解老篇『故曰民之生生而動動而之死地之十有三』 有三也,按乾道本如是,傅本作『亦十有韩非子解老篇『故曰民之生生而動動而之死地之十有三』 有三也,按乾道本如是,傅本作『亦十有

意改・是以

戰國策秦策『諸侯不可一猶連雖之不能俱上於棲從讀尊祿志校改・ 之明矣』按姚本如是:鮑本作戰國策秦策『諸侯不可一猶連雖之不能俱上於棲從讀尊祿志校改・ 之明矣』按姚本如是:鮑本作

是以意改・「亦明矣」・

「之」循「以」也成立

史記淮陰侯傅『懷諸侯之德』漢書「之」作「以」

仲尼弟子傳『義之爲上』論語陽貨篇作**『君子義以爲上」**

左 傳閔二年『衣之尨服遠其躬也佩以金玦棄其衷也』漢書五行志引「之」作「以」

史記自序說苑建本篇賈子胎教篇漢書趙充國傳並引易曰『失之毫釐差以千里大戴禮保傳篇,

大 戴禮保傅篇『太子乃生固舉之禮』[之]爲[以]之誤·失之· 列女傳貞順傳引易並作『失之毫釐差之千里』漢書司馬遷傳引易作『差以毫釐**謬以千里』** 買子保傅篇漢書賈誼傳並作『固

舉以禮。

量子兼愛篇下『自古之及今」新·失之· □ 明鬼篇非命篇中並曰『自古以及今』

史記律書儒林傳並曰『自是之後』酷吏傳歷書並曰『自是以後』

此上七例皆「之」與「以」通用。

韓詩外傳三『夫散其本教而待之刑辟縎決其牢而發以毒矢也』也: 射

淮南子繆稱篇『吳鐸以聲自毀「吳」睽作「矣」・ 膏燭以明自**傑**虎豹之文來射猨狖之捷來措。

亦「以」也・意林明「之」並作「以」・是以意攺・「來」・「致」也・「措」・「刺」也・(見高注)「之」皆

荀子 非相篇了 `故贈人以言重於金石珠玉觀人以言「勸」· 美於黼黻文章聽人之言 從」也· 順 · 「顧」,「觀」讀為 · 美於黼黻文章聽人之言 從」也· 順

口膏 虚字集 釋卷 九 一 之 時

於鐘鼓琴瑟」 -刻此 本元

夫論浮侈篇 晉靈厚賦以彫牆春秋之爲非君華元樂呂厚葬文公春秋以爲不臣」

史記 客 傳: 則長城之南易水以北未有所定也。

左 i 傅閔二年 刺 -_ 故敬其 事則命以始服其身則 衣之純 』服也」·是服亦 -

が悦也)・

呂氏春秋求 人篇『堯傳天下於舜, 禮之諸侯妻以二女臣以十子。

大戴禮子張問入官篇『故君子莅民不臨以高不道以遠不責民之所不能』

又『今臨之明王之成功則民嚴而不迎也道以數年之業則民疾疾則辟矣』: 「陰以」・

墨子明鬼篇下『 日暮以爲教乎天下之疑天下之衆 | 聞詁删去上「之」字·失之·

此 上九 例皆「之」與「以」爲互文。

『天加之答』以炎』·文例同此· 『天加之答』以炎』·文例同此·

淮南子人閒篇『夫人僞之相欺也非直禽獸之詐計也』則作[夫人能僞以相欺],是以意改淮南子人閒篇『夫人僞之相欺也非直禽獸之詐計也』則作[夫]於爲以相欺],為實 荀子榮辱篇『傷人之言深於予載』或・讀書雜志謂作「以」者是・失之・

堯問篇『我文王之爲子武王之爲弟成王之爲叔父**』**:

論

陽貨篇『邇之事父遠之事君』

孟子萬章篇『今而後知君之犬馬畜伋』

法言吾子篇『君子事之爲上』上J·文例同此· () 論語:『君子義以爲

呂氏春秋音律篇『申之此令』

詩定之方中篇『樹之榛栗椅桐梓漆』醴記檀弓篇『勿之有悔焉耳矣』

周禮稻人『澤草所生種之芒種』 ○ 。

逸周書文傳篇『潤濕不穀樹之竹葦莞蒲礫石不可穀樹之萬木』 樹穀者・樹以材木・」文例同此・大聚篇・『陂溝道路聚直邱墳・不可

「之」猶「已」也們以一故亦即[已]、 王會篇 『楊蠻之翟』「以」同義·又「楊變」奮誤倒作「變楊」·茲從讀章雜志說乙轉·王會篇 『楊蠻之翟』「以」同義·又「楊變」奮誤倒作「變楊」·茲從讀章雜志說乙轉·

古書處字集釋卷九 之 時

K

戰國策趙策『吾城郭之完府庫足用倉廩實矣』韓非子十過篇作『吾城郭已治』

孟子萬章篇『丹朱之不肖舜之子亦不肖』

左傳定九年『曩者之難今又難焉』

傳五年了一之謂甚「爲」也·其可再乎』「豈」也·

國語晉語八『八年之謂多矣、爲」也・何以能久』章氏正則「之」爲「巳」・是四語晉語八『八年之謂多矣、爲道・何以能久』章注曰・「已爲多也」・是

詩桑柔篇『旣之陰女反予來赫』

戰國策趙策一『以子之才而善事襄子则的」・襄子必近幸子子之得近而行所欲此甚易而功必戰國策趙策一『以子之才而善事襄子则[的]・襄子必近幸子子之得近而行所欲此甚易而功必

成。

「之」猶「與」也類問題

左傳文十一年『皇父之二子死焉』子』謂穀甥·牛父· 「皇父之二子死焉」子」謂穀甥·牛父·

墨子尙同篇中『是以選擇其次立爲卿之宰』雜志· ● 說是讀書

禮記中庸篇『知遠之近知風之自言其風也」・「風」亦「凡」之骨字)・「自」・「己」也・言知未與己也・禮記中庸篇『知遠之近知風之自言其風也」・「風」亦「凡」之骨字・孔子『顧先生之

之類」、武見古書疑義學例・

國語周語二『棄壯之良而用幼弱』

楚辭九歎篇『吟澤畔之江濱』

荀子正論篇『其行之爲至亂也』

「之」猶「則」也釋問題標

國語晉語『華則榮矣實之不知』 調則・

詩鵯之奔奔篇『鶉之奔奔鵲之彊彊』毛傳曰『i 鶏則奔奔鶴則强**彊然』為**則」·

竹竿篇『巧笑之瑳佩玉之儺」

呂氏春秋功名篇『放民無常處見利之聚無之去」

園道篇『其所欲者之遠而所知者之近也』

列子楊朱篇『凡生之難遇[得]也·而死之易及】 。

古書虛字集釋 卷九 之 時

禮記儒行篇「禮之以和爲貴」

孟子滕文篇「顏色之戚哭泣之哀」

離婁篇『君子深造之以道』「於」也·

韓詩外傳八「魯哀公問冉有曰「凡人之質而已將必學而後爲君子乎』「何」也:韓詩外傳八「魯哀公問冉有曰「凡人之質而已將必學而後爲君子乎』「舿」•

戰國策趙策『故從母言之之爲賢母也從婦言之之必不免爲妬婦也』「則」,史祀「之爲」作「是爲」,即國策趙策『故從母言之之爲賢母也從婦言之之必不免爲妬婦也』「則」,史祀「之爲」「之爲」,

上舊脫一「之」字·茲從黃丕烈校補。「之必!作「是必」・「是」亦「則」也・又「必」

荀子非相篇『然而口舌之均赡唯則節』耳·既見睹子平職·

「之」猶「爲」也「爲」也

一爲「作」字之義

韓非子十過篇『秦穆公迎而拜之上卿』余也‧說苑反質篇作『穆公迎而拜爲上卿』

戰國策燕策田光曰『光聞長者之行不使人疑之』「為行」・史記刺客傳作『光聞之長者爲行』

莊子列御寇篇『知而不言所以之天也知而言之所以之人也古之人天而不人』[之人]即[爲人]· 正子列御寇篇『知而不言所以之天也知而言之所以之人也古之人天而不人』[之天]即[爲天]·

七四二

淮南子兵略篇「有逆天之道帥民之賊者身死族滅」「華民為賊」、是以意吹、淮南子兵略篇「有逆天之道帥民之賊者身死族滅」「華民為賊」、是以意吹

詩園有**桃篇「園有桃其實之**殽 …… 園有棘其實之食」

逸周書允文篇『選同氏姓位之宗子』「立」・

爲「是」字之義

新序善謀篇『臣故曰「勿擊之便」』又『臣故曰「勿擊爲便」』

莊子大宗師篇『孰知生死存亡之一體者吾與之友矣』则爲J·

戦國策魏策一『若以臣之有功臣何力之有乎』「カ」ボ「カ」も・ 庚桑楚篇『孰知有无死生之一守者吾與之爲友』『臣有守也』·王念孫謂『守』爲「道」之借字)·庚桑楚篇『孰知有无死生之一守者吾與之爲友』『臣有守也』·王念孫謂『守」爲爲「道」·(田子方篇

淮南子本經篇『天下寧定百姓和集是以稱湯武之賢』「以爲」是復語・「以」亦「爲」也・淮南子本經篇『天下寧定百姓和集是以稱湯武之賢』「以爲」是以稱樂與以爲聖』・文例同此 荀子解蔽篇『人心之危道心之微』作[恤」·[惟]亦[吟]也·

易否「否之匪人」

公羊傳宜十五年『吾見子之君子也是以告情於子也』

古脊虚字集釋 卷九 之 時

穀梁傳莊十一年『宋萬之獲也』聞謂「之」為析文・失之・穀梁傳莊十一年『宋萬之獲也』聞謂「之」為析文・失之・

史記伍子胥傳『非鄭之仇乃子西也』

尸子發蒙篇引易『若履虎尾終之吉』

「之」猶「若」也_{釋嗣・} 一 整解九章篇「晉申生之孝子兮」

左傳宣十二年『楚之無惡除備而盟何損於好者以惡來有備不敗』詞引·

國語晉語一『行之克也將以害之若其不克其因以罪之』則善用衆矣、求必益廣、乃可厚圖也』,文國語晉語:。 「 下文・『若不勝狄・雖濟其罪・可也・若勝狄

間此・

此上二例皆「之」與「若」爲互文。

論語里仁篇『古者言之不出恥躬之不逮也』则若」·

韓 非子八經篇『此五患者人主之不知則有劫殺之事」则「若」・

左傳信九年『齊侯不務德而勤遠略故北伐山戎南伐楚西爲此會也東略之不知西則否矣。

敗折・四略則必敗折也・程傳釋詞訓「之」為「則」・大髎・「其十七〇円・」 斉國殆終於飢也:折」・(大戦禮『朽本不知』・荀子作『朽木不折』)曹東略若不 [1] 「在」・「終」也:「

戰國策魏策四『假之得幸庸必爲我用乎』「歯」也・

「之」循「於」也「于」也。

禮記大學篇『人之其所親愛而辟焉』猶於也」:

大戴禮曾子事父母篇『養之內不養於外則是越之也養之外不養於內則是疏之也』於」也,互文大戴禮曾子事父母篇『養之內不養於外則是越之。 [養之]亦[養

停穏詞・ 耳 説見經

鹽鐵 論 |引傳日『河海潤千里盛德及四海況之妻子乎』 註: 詞

韓 非子顯學篇『孔子曰「以容取人乎失之子羽以言取人乎失之宰子」』論衡骨相篇作『非子顯學篇『孔子曰,以容取人乎失之子羽以言取人乎失之宰子」』論衡骨相篇作『 以

貌 取人失於子羽以言取人失於宰予也』

墨子兼愛篇下『入見文公出以踐之朝』篇中作『出以踐於朝』讓本・。 。 "據孫論

大戴禮少間篇『可用于生又用之死。

雅南子 主術篇『 上告于天下布之民」

古書處字集釋 卷九 之 睇

說苑辨物篇『上告于天子下布之民』

墨子 修身 篇『 譖 慝之言 無入 于耳「于」二字互用・乃古書上下文變換語詞之例・道藏本作「之」者・蓋據下文墨子 修身 篇『 譖 慝之言 無入 于耳 「于」二字互用・乃古書上下文變換語詞之例・道藏本作「之」者・蓋據下文

而改,非愚子之奋,批杆之。 卑無出之口,殺傷人之孩「亥」,無存之心。於口,存於心」也,下文"藏於「無出之口無存之心」,「出之口」,「存之心」,即「出

石·無以場馴!·是其義・身者・無以場愛・出於口

此上四例皆「之」與「于」爲互文

墨子天志篇『故天意曰「此之我所愛兼而愛之我所利兼而利之」如「於」・

公羊傳隱三年『或失之前或失之後』。

荀子賦篇『臣愚不識敢請之王』

國語魯語二『季桓子穿井獲如土缶[而]也‧戰是掌經平職‧ 其中有羊焉使問之仲尼曰』(國語魯語:

「之」循「有」也。「有」古讀者「以」、「之」 史記張儀傳『秦王以爲然乃具革車三十乘入儀之梁』「納」也・

書牧誓篇『「牝雞無展」牝雞之展惟家之索』即「有」・

國語晉語二『雖後之會將在東矣』「必」也:

左傳哀十六年『子貢曰「君其不沒於魯乎夫子之言曰「禮失則昏名失則您」』言」,见明他人左傳哀十六年『子貢曰「君其不沒於魯乎夫子之言曰「禮失則昏名失則您」」「之言」即「有

其例也・此文是子頁引孔子之質爲證・故知「夫子之言曰」・卽夫子有言曰・之言・以證已之議論者・必博某某有言曰・如論語李氏篇・『周任有言曰』・ ęρ

「之」矟「歸」也。

孟子萬章篇『夫然後之中國踐天子位焉』文選陸機答賈長淵詩注引作『夫然後歸中國』

公羊傳襄二十九年『將從先君之命與則國宜之季子者也』即「歸」·

之一一至一也矣靡他。毛傳·

孟子滕文篇『自楚之滕』

萬章篇『知虞公之不可諫而去之之秦』「至秦」· 句 。 「之秦」即

字或作一時

萬章篇又曰『時舉於秦』也、「及」也・

古害虚字集釋 卷九 之 時

「之一猶「致」也。

左傳成十三年『能者養以之福』據漢書五行志所可改正,杜注云『養威儀以致福』

韓詩外傳二『因化之功若推四時』立功」·意略同此·

之一猶一諸」 一心に諸典でえ

詩伐檀篇『寬之河之側兮』漢書地理志引「寅之」作「寅諸」釋詞:

史記齊世家「昭王之出不復君其問之水濱」左傳僖四年一問之」作一問諸」

「之」猶「夫」也。提示之

淮南子齊俗篇「今之裘與養孰急」

墨子非樂篇『今之禽獸麋鹿蜚鳥貞蟲。

「之」猶「矣」也成「之」可則矣」.

大艱禮勸學篇『吾嘗終日思矣不如須臾之所學吾嘗跂而望之不如升髙而博見也』荀子勸學大艱禮勸學篇:

篇作『吾嘗跂而望矣』

七四八

淮南子泰族篇『天地四時非生萬物也神明接陰陽和而萬物生之』上文『神明接陰陽和而萬·

物生矣」

又「聖人之治天下非易民性也拊循其所有而滌蕩之」爲「條暢」·文子自然篇正作『條暢』·::

「之」「乎」也雅小爾

一爲疑問之詞:

晏子春秋襍篇『君子贈人以軒不若以言吾請以言之。以軒乎』 尼・日・「贈汝以車乎・以雪乎」」・、武苑篠書篇・『 子路特行・辭於仲

此文 ・例 同

春秋繁露重政篇『故元者爲萬物之本而人之元任焉安在之乃存乎天地之間。

穀梁傳隱元年『公何以不言即位成公志也焉成之言君之不取爲公也』

呂氏春秋達鬱篇: 『寡人與仲父爲樂將幾之』「幾」·「幾何」也·

爲反詰之詞

離 俗篇『湯义讓於務光曰「智者謀之武者遂之仁者居之方之道也吾子胡不位之』 立位 莊

百書處字集釋 卷九 之時

七四九

時

子讓王篇作 『吾子胡不立乎』

左傳僖二十四年『言身之文也身將隱焉用文之』则字」・

爲介詞:

公羊傳襄十年『曷爲繫之鄭』乎周,文例同此,

逸 周書月介篇『行之是介丑篇·「行乎國政」·句例同此·而甘雨至三旬』

荀子君道篇『審之禮也』

韓詩外傳六『君子哉安之命矣』

「之」猶「兮」也語末或句末之助詞也。

「嘉賓式燕綏之」

葛履篇『要之襋之**』**

七五〇

左傅昭二十五年『鸜之鵒之公出辱之』釋嗣·

詩商有嘉魚篇

裳裳者華篇『左之左之……右之右之』

「之」猶「也」也「也」」

一爲決定之詞

唐石經「之」作「也」

管子君臣篇下『國家之衰也訓的」·可立而待之』立而待也」·文例同此·可立而待之』立而特也」·文例同此·可

荀子富國篇 非特以為淫泰夸麗之茲從蔣子平議說删: 將以明仁之文通仁之理也」则「也」· 第二十二章

墨子貴義篇『則是世俗之君子之視義士也不若視負粟者之』此據道藏本・墨子貴義篇:

此上三例皆「之」與「也」爲互文

備城門篇『此守城之重禁之』「軍禁也」·即

為語末助詞:

論語子張篇『抑末也本之則無』

莊子繕性篇『物之儻來寄也訓的」·寄之其來不可圉其去不可止』「爨」・

古書處字集釋 卷九 之 時

古書虚字集釋

此上二例皆「之」 - 與「也 **旦」爲互文。**

大宗師篇『庸詎知吾所謂吾之乎』

新序善謀篇『通心則其言之略』言也屬了文例

國語晉語『比其和之而來故久』「及」也:

穀梁傳定四年『大之甚勇之甚』「大」之譌・(說見羣經平識)穀梁傳定四年『大之甚勇之甚』「大」之譌・(武見)本[士]・「士]乃

詩蓼莪篇『鮮民之生也・「之」訓「的」・不如死之久矣』經傳釋詞謂「之』字爲語助・失之・詩蓼莪篇『鮮民之生]知」同「斯」・「此」ののの。 此典論語『天下之無道也久矣』句例同

何人斯篇『伊誰·云從也弘 維暴之云』記時也云』·皆語末助調也·實

之, 語助也釋詞·

禮記 射義篇『公問之裘』賢奉也」・

左傳僖二十四年『介之推。

此 上二例並見經 位傳釋詞 引。

宜二年『組慶』說苑立節篇作『組之彌』

昭十二年『我有圃生之杞乎』

哀十七年『縣縣生之瓜』

呂氏 ·春秋樂成篇『終古斥鹵生之稻粱』漢書溝洫志作『終古斥鹵兮生稻粱。

韓詩外傳『死之無赦謂之天誅是王者之政也』[語助]・韓詩外傳『死之無赦謂之天誅是王者之政也』[語助]・ 荀子王制篇作『死無赦。

墨子天志篇上『 惡人者此爲之博也賊人者此爲之厚也」 皆語助・上文云:『愛人者此爲博爲・利人者「賊」舊誤作「賤」・茲從孫治讓武改正・「之」

是其證也・此爲厚焉』・

戰國策韓策三了 人之所以善扁鵲者爲有臃腫也使善扁鵲而無臃腫也則人莫之爲之也」之「之」

語字 助・是

呂氏春秋襍謂篇『而莫之誅鄧析之類』爲語助・呂氏春秋襍謂篇『而莫之誅鄧析之類』爲語助・

孟子梁惠王篇『吾有司死者三十三人而民莫之死也』

被亦有「之」字似為語 .助而實非語助者如詩桑扈篇『萬邦之屏……之屏之翰』下句是蒙上

省去萬 邦二字善萬邦之屏之翰也之美。·文法同此· 假樂篇『 四方之綱……之綱之紀。下句亦

口害魔学集釋卷九 之時

是蒙上省去「四方」二字,

者 堵 都

者」別事詞也就或指其事或指其物或指其人。

字或作「諸」

爾雅釋魚『龜俯者靈仰者謝 前弇諸果後弇諸獵』釋嗣・

或三一也者」「也」之「上」也字·即是)·連貫之則曰「也者」·

孟子盡心篇『仁也者人也』

戰國策齊策『齊人有馮諼者』

或言 也者」

禮記檀弓篇『魯人有周豐也者』

「者」起下兼疑問之助詞也。

禮記大學篇『所謂誠其意者毋自欺也』「毋」與「無」同・

「者」狀詞也。

詩干旄篇『彼姝者子』

楚茨篇『楚楚者炎』

一者」語末助詞也。

或表商権:

卷九 者諸 绪

都

古書虛字集釋

七五五

七五大

漢書董仲舒傳: 了今漢繼大亂之後若宜少損周之文致用夏之忠者。 o

或表假設

論語公冶篇『魯無君子者』

或表偽飾:

左傳定八年『陽虎偽不見冉猛者』

此上三例說皆見詞詮。

者」猶「也」也調見經傳

韓非子外儲說左篇『故羣臣士民之道言者迂宏其行身也離世』嗣稱引:

此上二例皆「者」與「也」爲互文。

淮南子覽冥篇『潦水不泄渡漫極望旬月不雨則涸而枯澤「如」・受漢而無源者』」當作「也」・按 十過篇『張孟談曰「臣聞之亡弗能存危弗能安則無爲貴智矣君失此計者』爲釋之誤」・「失語篇』,

不必改字,「者」可訓「也」

風俗通義六國篇『我之帝所甚樂吾所以久者適有學者』訓[也]·史記趙世家作『吾所以久者,風俗通義六國篇『我之帝所甚樂吾所以久者適有學者』訓[也]·史記趙世家作『吾所以久者,

適有學也』

者」猶「焉」也。

墨子非命篇上『言而無儀譬猶運鈞之上而立朝夕者也』下篇一者」作 二 焉。

列子楊朱篇『得百年者千無一焉設有一者』焉爲五文· 『一者」與「一者」與「一者」與「一者」與「一者」與「一者」與「一

晏子春秋襍篇『嬰非有以異於人也常為而不置常行而不休者故難及也』

列女傳仁智傳『夫魯國有患者君臣父子皆被其辱』

史記匈奴傳『說曰f說·「必我行也爲漢患者」。oo

字或作「諸」《

左傳文五年『皋陶庭堅不祀忽諸』也忽焉」之「忽焉」同義・

者」猶「哉」也。

古書處字集專件 卷九 者 諸 绪 都

七五七

古書虛字集釋 卷九 者 諸 堵 都

左傳襄二十八年「誰敢者」襄八年「誰敢哉

論語先進篇『安見方六七十如五六十四点也一面 非邦也者

新序禅事篇『亦有君之不能養士安有士之不足養者?

史記五帝紀『堯又曰「誰可者」』 『

按書傳中凡言「何者」者皆即「何哉」

詩釆綠篇『維魴及鰊薄言觀者。! 多世級

者一猶一之一也。本書「昔」

一爲「的」字之義

韓非子顯學篇『不道仁義者故「事」也,不聽學者之言』「學人」,中非子顯學篇。

主道篇: 了 虚則知實之情靜則知動者正。 。 <u>___</u>

管子君臣篇下『此人君者二過也……此人臣之大罪也』

墨子非命篇上「此持凶言之所自生「特」・下同・而暴人者道也」「之」・失之・又「此持凶言之所墨子非命篇上」此持凶言之所自生「特」改為「《》、《》、《》、《》、《》、《》、《》、《》、《》、《》、《》、《》

自 生而暴人之道 也。

庚桑楚篇『南榮 莊子知北 遊篇『君子之人若儒墨者 曰: ___ 然則是至人之德已乎? 師。

「矣」也・日「非也是乃所謂冰解凍釋者能乎」「己」・猶

先謙曰・『者猶之』・「能乎」即「能也」・王

此上六例皆「者」與「之」爲互文。

應 帝王篇『是殆見吾善者機也。

讓 王篇『恐聽者醪而遺使者罪』「聽者」之「者」爲術文·

漢書藝文志『儒家者流』訓「者」爲「此」·失之·

爲指事之詞:

孟子盡心篇『堯舜 性者也』又『堯舜性之也。

史記穰侯傳『 未嘗有者也」 戰國策魏策三『未嘗有之也。

荀子禮論 篇 加 好者。 焉斯聖 Ñ (矣])史記禮書作『加好之焉聖矣。

古書處字集釋 卷九 者 諸 堵 都

七 五 九

富國篇: 一不 利 而利之不如利而後利之之利也不愛而用之不如愛而後用之之功也利而後利之,

不 如 利 丽 不利 者之利 也; 愛而 後用之不如愛而 ||不用者之功_| 也。

墨子節葬篇下 』 積委多城郭修上下調和是放大國不耆玖者·之」·失之· 無精委城郭不修,

不調和是故大図耆攻之。「懂」

此上二例皆「者」與「之」爲互文。

孟子公孫丑篇『寡人如就見者也』「當」也·

一者」循「則」也「則」互訓・

荀子宥坐篇『孔子曰「由居吾語汝昔晉公子重耳霸心生於曹越王句踐, 霸心生於會稽齊桓公

小白霸心生於莒故居不隱者思不遠身不佚者志不廣**』** 與困約・意義略同・故説苑作『身不約』、「佚』讀爲「層」・方言・『層・勞也』・勞苦 說

苑襍言篇作『故居不幽則思不遠身不約則智不廣。

大戴禮 作 「則」「義 武王踐阼篇 皆作 --7 敬 二計。 勝怠者吉怠勝敬者滅義勝欲者從欲勝義者凶』 荀子議兵篇 者 二皆

韓詩 [外傳七『故無常安之國無宜治之民得賢者昌失賢者亡自古及今未有不然者也 则[则]···

外傳五作『得賢則昌失賢則亡』茲從問廷氣戰改・外傳五作『得賢則昌失賢則亡』茲從問廷氣戰以下不問。

此上三例皆「者」與「則」通用。

越絕書請糴內傳『越在我猶心腹有積聚不發則無傷動作者有死亡』

逸周書史記篇『樂專於君句 者權專於臣權專於臣則刑專於民。

韓非子心度篇『 **爾賤則上卑上** |卑者必削』尊・上専則必王』・是其證也・| 「者」亦「則」也・上文・『爵賞則上

漢書孔光傳『皆謂不懼者凶懼之則吉也。

論衡異虛篇「廢子道者不孝逆君欲則不忠」

管子治國篇『末作文巧禁則民無所游食民無所游食則必農民事農則田墾田墾則粟多粟多則

國富國富者兵强兵强者戰勝戰勝者地廣』

賦篇: 此 上六 例, 居 則 周 静致 耆 不動則, 與 則 八爲互文。 綦高 以鉅 圓者。 中規方者中矩』

古書 遗字集釋 卷九 者 睹 堵 都

七六二

儒效篇: _ 鄉是者。 **減倍是者亡鄕是** 如 不滅倍是如不二者「者」字不訓「則」・自古及今未嘗有也」

修身篇『小人反是致亂而惡人之非己也致不肖而: 欲人之賢己也「至」・ 1 办 如 虎. 狼, 行 如 禽獸,

又惡人之賊己也諂諛者親諫諍者疏修己爲笑至忠爲賊於諂諛之人則親之,於諫諍之人則疏之,又惡人之賊己也諂諛者親諫諍者疏修己爲笑至忠爲賊於諂諛之人則親之,於諫諍之人則疏之,

於言

於已之人則賊害之也, 雖欲無滅亡得乎哉 』修己之人則笑之,於致忠

論衡本性篇「實者人性有善有惡猶人才有高有下也」 。

命義篇『實者項別用兵過於高祖』

論語季氐篇『陳力就列不能者止』。。。

子路篇『葉公問政子曰「近者說遠者來』於仲尼·仲尼曰·「政在悅近而來遠」·」是其義也·(史體孔子子路篇『葉公問政子曰 ,。;,。。「說」·「愛好」也·「來」·「招致」也·韓非子雖篇『葉公子高問政

「附」爲「怤」之借字・方言・『怤・悅也』・)世家・『葉公問政・孔子曰・「政在來遠附邇』・

者」循「然」也學例禮補

論語鄉黨籍『似不能言者』例續補引・

茍 -}-仲 尼篇注 引尸子一 武王 親射惡夾之口新斫殷紂之頸手汙於血不溫而食。 當作盟」・ 當此

之時猶猛獸者也」

史記周本紀『姜嫄出野見巨人跡心忻然說欲踐之踐之而身動如孕者』

者」猶「其」也「者」訓其」也

大戴禮哀公問於孔千篇『禮者政之本與』禮記哀公問篇「者」作「其」

戰國策秦策五『向者遇桀紂必殺之矣』也·高注曰·『若其遇桀紂·則必殺也"· 是其證· 即國策秦策五『向者遇桀紂必殺之矣』也·高注曰· [若其遇桀紂·則必殺也"· 是其證·

漢書武帝紀『有冕失職也・ 使者以聞』

「者」猶「矣」也。

公羊傳莊四年『古者有明天子則紀侯必誅必無紀者』釋詞補· 。就見經傳

者」猶一此」也只者

越絕書吳內傳『君若有憂中國之事意者時可矣』公羊傳定四年作『君如有憂中國之心則若越絕書吳內傳『君若有憂中國之事意者時可矣』公羊傳定四年作『君如有憂中國之心則若

時可矣』「者時」·「若時」·皆即此時」· 。「意」·「則」也·(說辞「抑」字條)·

· 文作 「 者 」 都· 是其證)· 故亦與「者」通• (孟諸亦作明

孟子萬章篇『謀蓋都君』之借字:

字叉或作「堵」 世記巧藝篇『傳神寫照正在阿堵中』呂蒙日阿蒙・是其例・文文(作「堵」」者』・是「堵」東「者」本同音・(按「者」古讀者「堵」・詩網繆篇以「楚」「戶」「者」三字爲韻・可證・)文文(作「堵」」 東記張標之傳・『堵陽人也』・章昭注云・『堵・音緒』・漢書張釋之傳(師古注云・『堵・音

此一例是郝懿行說。

字叉或作「諸:

儀禮士昏禮『夙夜無愆視諸衿聲』爲「示」·未允· 。 親·瞻也·鄭注讀「親」

諸 耆

諸」「之」也禮記鄭注・

孟子公孫丑篇『王庶幾改之王如改諸則必反予』風俗通義窮通篇引作『王如改之』

法言君子篇『人必其自愛也然後入愛諸人必其自敬也然後人敬諸』。·

諸」「於」 世見儀禮郷

公羊傳哀十四年『 撥亂世反諸正「之於」· 莫近諸 春秋。

大戴禮子張問入官篇『始故佚諸取人勞於治事』與「於」為五文·

一語」「乎」也雅·爾 爲狀事之詞:

禮記祭義篇『勿勿諸其欲其饗之也』禮器篇「諸」作「乎」釋詞・禮記祭義篇:。 就具經傳

為語末助詞:

詩日月篇『日居月諸』乎・月乎』・

爲疑問之詞:

孟子梁惠篇『人皆謂我毀明堂毀諸已乎』

字或作「者」

漢書孫寶傅『今風雨 · 未時百姓不足每有一事羣臣同聲得無非其美者。

古書虚字集釋 卷九 者 諸

七六五

爲 介詞與於

禮記祭義篇『孝弟發諸朝廷行乎道路至乎州巷放乎獀狩修乎軍旅』。

爲反詰之詞:

字遍作「者」

晏子春秋襍篇『孰謂晏子習於禮者』又『孰謂晏子習於禮乎?

史記項羽紀『富貴不歸故鄉如衣繡夜行誰知之者。??

魏世家『王獨不見夫博之所以貴梟者

吳越春秋闔閭內傳『辛日公辛・ 「君討其臣敢讐之者」」

諸 」 循一 哉 」 也。

法言問明篇『雖隋 和 何以加諸! 』史記周勃世家贊『雖伊尹周公何以加哉! 法同・水二例文

諸 一猶「凡」

莊子至樂篇『諸子所言皆生人之累也」

七六六

春秋繁露竹林篇『今諸子所言皆天下之常雷同之義也』

此上二例說並見經傳釋詞補。

韓非于解老篇『諸夫飾智故以至於傷國者,

史記李將軍傳「諸廣之軍吏及士卒或取封侯」

高祖紀『諸所過無不殘滅』。

墨 了號令篇『諸以衆强凌弱少及强奸人婦女以讙譁者**皆斷**。

左傳桓六年『遂辭諸鄭伯』之命辭婚也・」猶一以」也。「諸」則以」、獨「之」一聲之轉・」如「諸」則以」、獨「之」訓「以」

諸

襄三十一年『吾語諸趙孟之偷也』

字或作「者」

大戴禮衛將軍文子篇『先以詩世道者孝弟』

諸」猶「其」也經調補·

古書虛字集釋 卷九 者 諸

春秋繁露王道篇『進善誅惡絕諸本而已矣』釋詞補·

諸一一つ之子」也。諸一為「之

禮記檀弓篇『吾惡乎哭諸』 ®?

論語雍也篇『山川其舍諸』 **

此上二例說並見經傳釋詞。

「諸」「之於」也。(於·古音者鳥)·

國語齊語輕過而移諸甲兵』管子小匡篇「諸」作「之於」釋詞稱。

左傳哀元年『虞思於是妻之以二姚而邑諸綸。 』史記吳世家 「諸」作「之於」則:

一諸一句中助詞也。

公羊傳哀六年『陳乞使人迎陽生於諸其家』辨略·

定記 吳世家「諸一作「作「之於」釋詞補· 「之於」釋詞補·

終

「終」「盡」也「背」也。

淮南子說山篇『鼻之所以息耳之所以聽終以其無用者爲用矣』 孟子告子篇『是君臣父子兄弟終去仁義懷利以相接』

詩伐木篇『終和且平』平』·文例同此·「終」、猶「既」也釋詞·『既和且

字或作「衆」

載馳篇『許人尤之衆稱且狂』狂・妄也・

循「常」也「久」也 此上二例並見經傳釋詞引。

「循「常」也「久」

終一

古書歷字集釋 卷九 終 浆

七六九

墨子尚賢篇上『故官無常貴而民無終賤』 要引「終」作「恆」・是以意改・「終」亦「常」也・互文耳・顰書治

孟子梁惠篇 『樂歲終身飽 ……樂歲終身苦』仰望而終身也是「終身」不同義・一一一一樂歲終身苦』仰望而終身」與雛婁篇『良人者・所

周禮考 工記 『則於馬終古登弛也』曰:『古・言久也』・逸周書周祝稿:『天爲古・地爲久』:「古」亦「久」問禮考 工記 『則於馬終古登弛也』與注曰:『齊人之言終古・猶言常也』・按「終古」即「常久」:(詩縣篇毛傳

耳也) 互 文

莊子大宗師篇『終古不忒』『終古·久也』·

論語堯日篇『天祿永終』「永終」即

終 漢書南越傳『終今以來』後也・二猶一道」也「從」也「從」也 1][終]與[道]・[道]即[從]也・故][終]與[道]通用・(說見道字條)故

正

正 **一** 適 也日后間適

驗 語述而篇『正惟弟子不能學也』「是」也

史記春申君傳『今王中道而信韓魏之善王 也此正吳之信越也」

荀子禮論篇『先王之道禮樂正其**盛**者也』。

韓 :非子十過篇『夫虞之有號也加車之有輔輔依車車亦依輔虞號之勢正是也】

字或作「政」

墨子節葬篇『上稽之堯舜禹湯文武之道而政逆之』

墨子尚同篇中『民知上置正長之非正以治民也「宜長」。「正人」猶「誠」也讀正為誠」・按「正」可讀為「誠」・故可訓「誠」・「正長」猶言正」」猶「誠」・故可訓「誠」・「正惟弟子不能學也」・鄭注曰・「魯 是以皆比周隱匿而莫肯倘同其上」

論衡變動篇『夫正欲得之而猶不能致況自刑賞意思不欲求寒溫乎。

正」猶「即」 也推拓兼假令之詞也。

漢書終軍傳『 且鹽鐵 郡有餘藏正二國廢國家不足以 為利害し

黄 傳: 許丞 廉 吏雖 老尙能拜起送迎正頗重聽何傷

古書虛字集釋 卷九 Œ 政

せせこ

王 莽傳『嚴尤奏言務人犯法不從騶起正有他心宜令州郡且慰安之』:

此上三例說並見讀書襖志。

「正」猶「則」也。

漢書司馬遷傳『此正少卿所親見僕行事豈不然邪.?

莊子天道篇『士成綺明日復見曰「昔者吾有刺於子今吾心正卻矣何故也」::

論衡說日篇『冬與夏日之出入在於四隅扶桑細柳正何所在乎

正」猶「尙」也。

戰國策魏策一『小事也謂可者謂不可者正半況大事乎』

「何」 ||1|| 征利」・史記「征」作「爭」・說文「証」訓「諫」・ 經典通假「睜」爲「証」・亦假「爭」爲「証」・此皆|| 訓見詞詮・按詞章家毎用「爭」爲「何」・「爭」與「正」通・「爭」「正」聲相近・孟于梁惠備『上下交

通之證也・

三國志魏志蔣濟傳『燕王正爾爲放』引:

續列女傅更始韓夫人傳『 帝方對我飲樂正用是時來奏事?

職 召晏篇『胡不自替職兄斯引……溥斯害矣職兄斯弘』也・「兄折」之新」ण「其」・「長」・□ののののののでは、「兄」・「益」也・「則」・「長」ののののである。 詩蟋蟀篇『無已太康職思其居「近」也·····職思其外「遠」也····・職思其愛』邁通釋·詩傳 看看 「尙」也。

詩巧言篇『無拳無勇職爲亂階』

大東篇『東人之子職勞不來』但勞苦不見恩動也。

十月之交篇『職競出人』

桑柔篇『職競用力』

左傳襄八年引詩『職競作羅』同·「憂」也·

古書盛字集釋 卷九 職

七七三

古書虛字集釋 卷九 紙 秖 禔 是 多

此上三例「職競」皆即「但並」楚解雕題主法

襄十四年『蓋言語漏洩則職汝之由』

【衹鄉祇 禔是多

紙」猶 但

字或作 左傳襄二十九年『祇見疏也』與「祇」形似易混,當以作「祇」爲正,一文作「多」,許部引作「寥寥縣馬」,是其證),故「多」亦可測「但」,以作「多」,按「多」與「單」聲類亦通,(詩四牡鶯『嘽嘽縣馬』,說文

正義「祗」作「多」

襄十四年『多遺秦禽』『多體爲祇』・

論語子張篇『多見其不知量也』

字叉或作「紙」

史記周本紀『祇取辱耳』

字叉或作「禔_

韓長孺傳『臣以三萬人衆不敵禔取辱』

論語為政篇『今之孝者是謂能養』字又或作「是」

「衹」「是」也。

文選東京賦『祇吾子之不知言也』『祇·是也」・

法言學行篇『茲苦也衹其所以爲樂也』

[只旨 咫 軹 指]

「只」語已詞也就

楚辭大招篇『白日昭只』皆飯此‧觀見經傳釋詞

古書席字集釋卷九 只旨 咫 軹 指

「只」猶「耳」也釋詞: 傳

左傳襄三十七年『諸侯歸晋之德只』嗣引·

字或作「咫」

國語楚語『是知天咫』 一種問題の

只」猶「哉」也。 爲感歎之詞

詩燕燕篇『仲氐任只

字或作「旨」

樛木篇『樂只君子』左傳襄十一年引作『樂旨君子』

爲反詰之詞:

字通作「軹: 班子大宗師篇『而奚來爲軹』「乎」a·

个 一也也。

詩柏舟篇一母也天只按「天」謂《文』也・詩柏舟篇一母也天也」・『毛傳曰・『母也天也』・ 不諒人只』知也」.

北風篇. 一既亟只且!

君子陽陽篇: 『其樂只且』

按一 只且」皆即「也且」之狂也且, 亦皆即「也哉」君也哉。

一只 一是 」也 要 篇 鄭 藝 · 一 此 」 也。

莊子徐无鬼篇『請只風與日相與守河』 :

「只」猶「卽」也推拓兼假令之詞也。

列子天瑞篇『 日月星宿亦積氣中之有光 耀者只使墜亦不能有所中傷。

咫一猶 一則

賈子連語篇『 將薄咫亟壞倉薄咫亟裂器薄咫亟毀酒薄迟亟酸」新序襍事篇也釋詞· 也釋詞· 咫一並作[則]

間引 ・ 標 等

古書處字集釋

卷九 只 軹 咫 旨 指

七七七七

卷九

字或作「指」「是」及「思」亦皆通 ・與

曹,而伯戡黎篇『殷之即要指乃功』「劝」、「成」也、言殷已近喪、則汝紂成之也、曹,而伯戡黎篇『殷之即要指乃功』「之」、「已」也、「即」、「近」也、「乃」、「汝」也

正

一人ろ 「矣」也訓[矣]・「止」亦訓[矣」・

詩采薇篇『薇亦作止……歲亦暮止』「P」·

杖杜篇『卉木萋止女心悲止征夫歸止』

此 」循「但」也「僅」也。

詩關雎序箋『今謂此序止是關雎之序』

止一猶一之」也指事之詞也。

詩車牽篇『高山仰止景行行止』 釋文云。「仰止本或作仰之。行止詩作行之」。宋本史記孔子世家贊引詩釋文云。「仰止本或作仰之」、禮記表記篇引詩。「高山仰止。景行行止」

行嚮之』,是"止」與「之」古通用,故「止」可訓「之」,「高山仰止,景行行之」。三王世家云。「高山仰之,景

草蟲篇『亦旣見止亦旣覯止辭也』,失之,我心則降』『旣見君子,我心則降』是是義也,草蟲篇『亦旣見止亦旣覯止辭也』,失之,我心則降』『旣見君子,我心則降』是是義也,

韓弈篇『韓侯迎止』

墓門篇『歌以訊之』廣韻六至「醉」下引作『歌以醉止』「止」者』古本・(既詳經義述聞)・「止」即墓門篇『歌以訊之』 廣韻六至「醉」下引作『歌以醉止』「む」者』古本・(既詳經義述聞)・「止」即

也之

止一猶一焉」也「之」師焉」也

為語已詞:

墓門篇『有鴞萃止』 詩南山篇『旣日歸止』

非子 人閒 世篇 ا 虚室生白吉祥止止。 作『吉祥止也』・「也」亦、焉」也・下「止」字訓「焉」・淮南子似真豬

一為反詰之詞:

時南山篇『易又懷止 祭 远記:之記

古書虛字集釋 卷 九 止

至

至

至」轉接連詞也。

史記淮陰侯傳『諸將易得耳至如信也・國士無雙』詮・

「至」「極」也。

禮記大學篇『在止於至善』

史記衛將軍驃騎傳『驃騎將軍爲人少言不泄有氣敢任天子嘗欲教之孫吳兵法對曰「顧方略

何如耳不至學古兵法』必定」:

汲黯傳『且匈奴畔其主而降漢漢徐以縣次傳之何至令天下騷動罷斃中國而以事夷狄之人乎』:

為「何必」甚違・此即襲其既・「何至」即「何必定」・詞詮謂「何至」

至, 一是 |七此讀周秦之人・撃之襲也」・齊策・『大王覽其說而不察其至』・史記張儀傳作『大云賢其說而不計其し。|「至」訓「是」・猶「實」訓「是」也・「至」與「質」通用・(禮記篠記篇・『使某實』・鄭涛口・『實當爲至・

『至・即賞也』・)

漢書東方朔傳『至非守宮即蜥蜴』是也」・『五

属質

屬, 爲「會適」之義 「適」也。

左傳成二年『下臣不幸屬當沒行』適也」· □ ★注曰·『■

爲「正」字之義

國語得語『吾屬欲美之』 龜也」 · 『屬·

此上二例並見經傳釋詞引。

古書處字集釋 卷九

古書旗字集釋 卷九 繿

屬 循 一機」也調見整傳

國 墨子非命篇下『 語晉語『屬見不穀而下無乃傷乎』 且以爲若此則天下之亂將屬可得而治也社稷之危也將屬可得而定也」「乃」 司見 利 将 等

慶」是複語・ 也・「纔」也・「特

屬 香 一 但 」 也 (左傳哀十 , 年之 [陽鏤]・ 帯子成相篇作 , 獨鹿 l)・ 情 一 但 」 し (左傳哀十 , 年之 [陽鏤]・ 帯子成相篇作 , 獨鹿 l)・

識城東

識 循「纔」

左傳成十六年一識見不穀而趨無乃傷乎」 之轉)・經傳釋詢訓[畿]爲[適]・[適]亦[纔晉爲[識]作[屬]・「暖]亦[纔]也・(按[屬]]

「旃」一之」也指事之詞也。

詩陟站篇『上慎旃哉』之也。

左傳桓十一年『初虞叔有玉虞公求旃』

垂

事」猶「爲」

戰國策燕策『安事死馬而捐五百金』獨宮「何故」也・ 新序襍事篇三「事」作「用」「用」亦

爲也。

古書聞字集釋 卷九

旃

事

七八三

呂氐春秋不屈篇『 何事比我於新婦乎?

事」猶「用」 也。

淮南子覽冥篇『故召遠者使無爲焉親近者言無事焉』「爲」「事」皆訓「用」・亦讀書雜志散・淮南子覽冥篇『故召遠者使無爲焉親近者言無事焉』「爲」「事」今本誤作「使」・茲從讀書雜志校改

尸子分篇『聽樂而國治勞無事焉飲酒而賢舉智無事焉自爲而民富仁無事焉。;,。;,。;,。;,。;,。;,。;,。;,。;,。。,。。

莊子說劍篇『周尚安所事金乎』 ·

史記酈生陸賈傳『迺公居馬上得之安事詩書』

淮陰侯傳『王必欲長王漢中無所事信』

事」猶「止」也「但」

漢書古令人表引孔子曰『何事於仁[爲]也・必也聖乎』者・非止稱仁・乃爲聖人也」・」。。? [於]・必也聖乎』師古注曰・『言能博施於人而濟衆」。猶「止」也「但」也。。

事 一個一是一也(事」前是」、強一之」聲)、

戰國策齊策五『則事以衆强作[是]·是以意改·適罷寡也』「罷」同「疲」・

事」、循「使」也「事」「使」古通用・書君爽篇・『故」人使四方」・

墨士佝賢篇上『不能以佝賢事能爲政 也。 関
記・

書多士篇『比事臣我宗多遜』同・「使」也・

試

莊子應帝王篇『嘗試與來』「嘗試是複語」問「嘗試」也以且」.

試 」 猶「若」 也謂「設若」

賈子過秦篇上『試使山東之國與陳涉度長絜大比權量力則不可同年而語矣』史記陳涉世家

勢一試使」作「嘗試使」「夢」亦「若」也: :

戰國策秦策一『大王試廳其說』

古書童字集釋 卷九 俎

所

所

所一指事之詞也。

論語爲政篇『視其所以觀其所由察其所安』釋闡問論語爲政篇。

所一猶一可! 也釋詞·傳

史記淮陰侯傳『非信無所與計事者』 漢書一所一作「可」 詞見 明 程 傳

商君書更法篇『此兩者所以居官而守法』史記商君傳作『商君書更法篇『此兩者所以居官而守法』史記商君傳作『 以此兩者居官守法可也」

文于上仁篇『貴以身冶天下可以寄天下愛以身治天下所以託天**下』老子作『故貴以身爲**天

下若可寄天下愛以身為天下若可託天下』「若」・「乃」也

改,不知「足以」亦即「可以」,而無須改也,讀書標志謂當從類聚卸覽作「足以」,失之,藝文類聚太平御覽引「所以」並作「足以」者,蓋據下文『足以設賓祀,不求其美」之文而 ,法法篇 _ 是故先王制軒冕所以蒈貴賤不求其美設衡祿所以守其服不求其觀也。 即可以一

所一个一之一也是的一語

禮記坊記篇『夫禮坊民所從章民之別』「之」也·

史記平準書贊『禹貢 九州谷因其 土地所宜人民所多少而納職焉。

廿茂傳『臣不知卿所死處矣』

所一納一其一也。

史記孝武紀『少君者故深澤侯入以主方匿其年及所生長』封禪書「所」作「其」 ・

孟子梁惠篇「就之而不見所畏焉」「殿」·

管子心術篇『至不至無虚也: 非所人而亂』

左傳惡二十八年『焉用作壇以昭其禍所以告子孫無昭禍焉可也』

詩將有來篇『中毒之言不可道也所可道也言之醜也』「尙」字解)言其可道者・言尚醜也・經傳釋新訓詩將有來篇『中毒之言不可道也所可道也言之醜也』「尙」字訓「者」・末「之」字訓「且」・〈「且」作

失之・「所」爲「若」・

莊子漁叉篇『專親以適不論所以矣訓「用」· 飲酒以樂不選其具矣處喪以哀無問其禮矣』 正子漁叉篇『專親以適不論所以矣訓「用」· 飲酒以樂不選其具矣處喪以哀無問其禮矣』

古書虛字集釋 卷九 所

「所」 一猶「若」也釋詞·傳

書牧誓篇『爾所弗勖其于**爾躬有戮**。 左傳傳二十四年『所不與舅氐同心者有如白水』

宣十年『所有玉帛之使者則告不然則否。

此上三例並見經傳釋詞引。

禮記哀公問篇『君所不爲百姓何從? <u>۔۔</u>

韓非子難一篇『所問高大而對以卑狹則明主弗受也。

「所」「且」也助具解引尚書鄭注·一台」也。

孟子離婁篇『朝不信道工不信度君子犯義小人犯刑國之所存者幸也』

所」猶 一而 也。

賈子傅職篇『天子居處宴私安所易樂而揕』大戴禮保傳篇「所」作「如」。

七八八

論衡說日篇『易日「 日月星辰麗乎天百果草木麗於土」麗者附也附天所行』

所」猶「是」也。

一爲「此」字之義

呂氐春秋審應篇『齊亡地而王加膳所非兼愛之心也』

爲 「是非」之「是」

韓詩外傳三『泰山巖巖魯邦所瞻』說苑襍言篇作『『韓詩外傳三』泰山巖巖魯邦所瞻』說苑襍言篇作『『 魯侯是瞻』作「唐」。

國語晉語『除君之惡唯力所及』左傳僖二十四年作『唯力是視。

列子仲尼篇『唯命所聽』命是聽」同義· 明子中尼篇『唯命所聽』命是聽」同義·

湯問篇『唯命所從』 。 從一・文例同・興老子『唯道是

易繋鮮傳-- 惟變所適。

孟子梁惠篇 - 惟君所行也』

古青虚字集釋 借九 所

七八九

七九〇

管子侈靡篇『一上一下唯利所處』

戰國策韓策二『客何方所循』

趙策『寡人所親之』

淮南子說山寫『今女已有形名矣何道之所能乎』奚鼓之所鳴」、「之所」亦皆訓「是」、與此同淮南子說山寫『今女已有形名矣何道之所能乎』奚鼓之所鳴」、「之所」皆訓「是」、說死政理篇『兴獄之所聽

論衡寒溫篇『當其寒也何刑所斷當其溫也何賞所施』 。?

学 **上**法 儀意『故百工從事皆有法所度今大人治天下其次治大國而無法所度此不若百工辯也』 。

淮 南子 齊俗篇『衣服禮俗者非人之性也所受於外也』可證 所」當即「是」

「所」猶「何」也。

國語魯語「曹劌則所以戰於莊公」左傳莊十年作「 問何以戰」

漢書武五子傳『問帝崩所病』何病而剧:四時古注曰:四

書無逸篇 魔」,倘言故知民隱也,则一一只合心,「依 廢緣 = 周 公日: 赐吗! **君子所其無逸先知稼穡之艱難**, 乃逸語助諭·失之則知小人之依」。經傳釋調,所為

「所」猶「如此」也。

韓 非子內儲上匕 術篇: _ 市 吏甚怪· 太宰知之疾也 乃悚懼其所也。

又『更以昭侯爲明察皆悚懼其所而不敢爲非』:

叉: == 吏乃以 君 1為神明 · 古悚懼 其所。 ___ 為神明」·茲從王先慎說改正今本誤作「吏乃皆悚懼其所以 ・君

所」「語助」也轉詞整傳

禮記檀弓篇『君無所辱命』

公羊傳襄二十七年『無所用盟』

此上二例並見經傳釋詞引。

吳越 **春秋旬** 踐 伐吳外 傳: _ 惟 是 與馬兵革卒伍旣具無以行之』····· 又『兵革旣具無所以行之』

可證 所」為語助詞・「無所以」即是「無以」・

所以一猶「是以」也與「故」

韓詩外傳二『吾聞衛世子不肯所以泣也』 公孫壮篇:「是以難也」・句例同此・御覽四百六十九引「所」作「是」・孟子

字同

P。我日下所以」.

古書虛字集釋 卷九 所

七九一

所以」猶 所由」 也。

史記准陰侯傳『北乃信之所以爲陛下离也』

淮南子說林篇『湯放其主而有榮名崔杼忒其君而被大謗所爲之則同其所以爲之則異。

所 以上 猶「所有」也。

盡心篇『其所以異於深山之野人者幾希』孟子雕婁篇『人之所以異於禽獸者幾希』

所以 猶「所用」也。

易發解傳『言行君子之所以動天地也』

審, 一「信」也「誠」也

七九二

史記張耳傳『貫高喜曰「吾王審出乎」辨略:

管子小稱篇『審行之身無怠雖夷務之民可化而使之愛審去之身雖兄弟父母可化而使之惡』

論衡雷虛篇: 審如說雷之家則圖雷之家非審如圖雷之家則說雷之家誤」。

(始

始」猶「嘗」也「始與「實」

漢書陸賈傳『自天地剖判未始有也』以來·未當有也』·

呂氏春秋重己篇『可不可未始有別也』

史記魏世家『事始已行不可更矣』

「好」、循「以」、也書無逸篇・『治民祇懼』・漢石經[治]作「以」・)故「始」可訓「以」・「好」、「好」、「好」、「好」、「所以別貴始』・史記禮書「始」作「治」・「好」、「所以別貴始』・史記禮書「始」作「治」・

大戴禮子張問入官篇『始故佚諸取人勞於治事』

古書虚字集釋 卷九 始

七九三

使

使一个一以一也成是他一

荀子君道篇『故人主必將有便嬖左右足信者然後可其知惠足使規物, 心風 兵端 减足使定物,

然後可 | 鎭)其知盧足以應作萬變,然後可見,文例同此, 。 「誠」讀爲「正」,下之,其德音足以填撫百姓,(填同

又『人主必將有足使喻志決疑於遠方者然後可其辯說足以解煩其知慮足以決疑其齊斷:

距難不還私「秩」, 茲從讀書雜志說改,不反君然而應薄扞忠「急」也, 足以持社稷然後可』使是

爲互文・與「足以」

臣道篇』內不足使一民外不足使距難

又: 內足使一民外足使距難』該甚·王先慎集解不從元刻·而從宋本·失之· 。 元則如是·宋本作『內足使以一民·外足使以距離』·

楚辭九章「俾山 川以備御兮命皋陶使聽直』一作以」:

七九四

叠 上非儒篇下『夫儒浩居而自順者也不可以教下好樂而淫人不可使親治立命而怠事不可使。

守職宗喪循哀不可使慈民機服勉客不可使導衆』可置使」與「以」同義・;;

叉:

此上三例皆一使」與「以」爲互文。

一爲提示之詞使」猶「夫」也。

新序操事篇『今使天下布衣窮苦之士』史記鄒陽傳「使」作「夫」

一為語助詞:

左傳定十五年『是使賜多言者也』子真:

墨子非命篇中『故使言有三法**』**

使一猶「所」也學之轉:

詩采微篇『靡使歸聘』本又作所」·

古書屆字集釋 卷九 一使

適

「使」猶「故」也麼頭,申事之詞也。

戰國策秦策一『冷向謂秦王曰「向欲以齊事王猶使也」· 使攻宋也」』一作故』· 戰國策秦策::

適

適」猶「會」也。

左傳昭十七年『鳳鳥適至』

適」猶「正」也四語間之

荀子王霸篇『審吾所以適人訓徒」:適人之所以來我也』

呂氐春秋胥時篇『王子光見五子胥而惡其貌「伍」·不聽其說而辭之曰「其貌適吾所甚惡也』

劉歆與楊雄書『今聖朝留心典誥發精於殊語欲以驗考四方之事適子雲攙意之秋也』

淮南子氾論篇『事或欲之適足以失之或避之適足以就之』

-6 九

說苑襍言篇『當陽侯之波而臨淵流適子所能耳』。

漢書奚奉傳『猶巢居知風穴處知雨亦不足多適所習耳。

適」猶「方」也「纔」也。

韓非子說林篇『孟孫適至而求魔』愼本:

韓詩外傳九『今適有知而欺之』

漢書賈誼傳『陛下之臣雖有悍如馮敬者適啟其口[乃]亦[纔]也・ 匕首已陷於胸矣」

適」猶「偶」也。

韓非子顯學篇『故有術之君不隨適然之善而行必然之道』然・偶於也』・韓非子顯學篇『故有術之君不隨適然之善而行必然之道』然・偶於也』・『適

外儲說右下篇『吾釋勢與民相收若是吾適不愛而民因不爲我用也故遂絕愛道也』 慎 様 王 先

詩伐木篇『窜適不來「其」也·微我有答』「非」也·

論衡指瑞篇『是陽鸽之巢服鳥之集偶巢適集』爲五文:論演指瑞篇。。「適」與「偶」

適 一猶「是」 11。引其匕首以擿涤王』・燕策 樋」作「提」是其證也・1)訓見經傳釋調・按「適」與「是」音極近・史記刺客傳

百書處字集釋卷九 適

莊子秋水篇『當堯舜而天下無窮人非知得也當桀紂而天下無適人非知失也時勢適然』

左傳文十三年『子無謂秦無 人吾謀適不用也』見用」也・

適 猶「若」 した。

韓非子內儲說篇『王適有言必亟

完聽從王言。

又『秦侏儒善於荆王左右荆適有謀侏儒常先聞之」:

此 上二例並見經傳釋詞引。

外儲說左下篇 封人 人因竊謂: 仲日「管仲」「適幸及齊不死而用齊將何 報我?

晏子春秋諫篇: _ 晏子曰「嘻難哉! 雖然嬰將爲子復之適爲不得訓「是」・「一 將若何]

禮記 儒行篇一適弗逢世上 - 弗援下 - 現 推。

書呂刑篇『上刑適輕下服下刑適重上服』

適 一猶 一得 一 也 の 見 の 書 大

韓 非子 說林篇下『崇侯惡來知不適紂之誅也而不見武王之滅之也』做記· 。 此王先

適」「當」也。

漢書買誼傳『以為是適然耳』當也!

道」循「故」U「是」音近而通·說詳」「遙猶是也」節·

史記趙世家『今余思虞舜之勳適余將以其胄女孟姚配而七世之孫』「汝」也・

云

「式」「用」也。

字或作一代」篇、『式商受命』、「式」即「代」字、字或作一代」「式」「代」同從戈聲、古通用、書立政

墨子非命篇下引仲虺之告『我聞有夏人矯天命於下帝式是增「惶」用爽厥師』「喪」・

作『帝式是惡』上篇作『帝代之惡』今本誤作成:

式 《伯子·北京》(1)。 一句 「「我」·又按「式」從「弋」聲·「我」從「我」聲·「弋」與「找」聲相通·(說文·「我」帶文作「或」是其作的「大」。 一 一 也」。 禮記仲尼燕居篇·『車得其式』·注云 『式謂載也」按「式」爲「積載」之「載」·故亦爲語詞之 古書虛字集釋 卷九 式 代

七 九九

訓爲「載」・證)・故「式」得

爲一乃一字之義

詩蕩篇『式號式呼』載呶』·文例同·

又『式夷式已無小人殆』是倒語:節南山篇『亂靡有定式月斯生』「而」也:

角弓篇『莫肯下遺式居婁驕』「婁」同「屢」・

崧高篇『式遄其行』 。

斯干篇『兄及弟矣式相好矣無相猶矣』

左傳昭十二年『祈招之愔愔式昭德音思我王度式如玉式如金」

爲一則」字之義:

詩賓之初筵篇『式勿從謂無俾大怠』

「大」」 M | 一口 | 也 數梁傳作 | 定弋]・此「弋」「巳」古同音之證・ | 姒]本讀若 [以] 與 [巳] 同音) · 以 | 一口] 也 [式] 從 [弋] 擊・ [弋] 與 [巳] 古同音・故 [式] 可訓 [巳] ·春秋 釋之 [定姒] ·

X00

詩式微篇『式微式微

車牽篇『雖無好友式燕且喜……式燕且譽也·說見經義述聞· ·式歌且舞」也·並與常樣篇『紙』

且平し・文例同・安且寧し・那篇「既和

鹿鳴篇「嘉賓式燕以敖」樂」也:

南有嘉魚篇『嘉賓式燕以樂·····嘉賓式燕以衎』樂J也·

此上二例「以」皆訓「且」俱謂嘉賓旣安且樂也。

翅 適

啻」猶「但」也。

書無逸篇『不啻不敢含怒』

字或作「翅」

古书戲字集釋 卷九 酋 翅

適

八〇

莊子大宗師篇『陰陽於人不翅於父母』即一如」•

字叉或作「適」

戰國策秦策『疑臣者不適三人』

此上三例說並見經傳釋詞。

爽

爽」「發聲」也。

書康誥篇「爽惟民迪吉康」釋詞· 。 說見經傳

庶

人〇二

一語」 一幸」 也雅明

庶」猶「庶幾」也。

論語先進篇『回也其無乎』易繫辭傳『顏氏之子其殆庶幾乎! 上の親見経傳

「勝韓平」

勝」「盡」也。

漢書景帝紀『朕既不敏弗能勝識』畿・盡知之』・

墨子天志篇上「今天下之士君子之書不可勝載言語不可盡計」為互文・

率

方書電字集釋 卷九 · 庶 勝 率

入〇三

率」「自」也難「由」也

春秋繁露玉英篇『故齊桓非直弗受之先君也「特」也·乃率弗宜爲君者而立罪亦重矣』

一本」「用」也命率育」毛傳・

曹堯典篇『百獸率舞』

盤庚篇『率額衆戚出矢言』「戚」・「貴戚」也

多士篇『予惟率肆矜爾』

呂刑篇『: 故乃 明于刑之中率义于民裴彝』也「彝」、「法」也・「非」

此上四例並見經傳釋詞引。

率」猶「皆」也。

史記老莊申韓傳『大抵率寓言也』 。

一率」總計之言也常在下』·
注· 猶言一大抵」 逸周書祭公篇『俾百僚乃心率輔弼 |子 一 人 』之心皆輔弼子一人也· 一七「大氏」・

禮記祭義篇『古之獻繭者其率用此與』

漢書薛宣傳「大率各在部刺史或不循守條職」「大抵」也:「清書等」。

荀子議兵篇『焉慮率用賞慶刑罰勢詐而已矣』復語·皆即「大抵」也· 。「爲」·「乃」也·「慮率」是

「率」語助也。

書君奭篇『率惟茲有陳「道」也·保义有殷』釋詞·

矧

1

矧」「況」也雅·

詩抑篇『矧可射思』 。

另一循一亦一也『矧·長也』·可證「矧」與「引」通)·與「亦」為雙聲·

書君奭篇『天惟純佑命則商實百姓王人 [寅]·[之]也· 罔不秉德明恤小臣屏侯甸矧咸奔走』:

古書 虛字集釋 卷九 矧

八〇五

ハつさ

說見經傳

矧」猶「又」也與又為**營**幹

書酒語篇『女勘毖殷獻臣侯甸男衛讀旨徽』(欲即樂字) 椒臣猶言餘臣, 矧太史友內史友越獻臣書酒語篇『女勘毖殷獻臣侯甸男衛讀旨徽』(『語》謂『告敎』也・「獻」。

百宗工|與」也,矧惟爾事服休服采矧惟若疇圻父薄違農父若保宏父定辟矧女剛制于酒』見可宗::「越」,回

「矧」訓「惟」・說見下僚・經傳釋詞・按「矧女」之

另一个性」也具性為雙母·

書酒語篇『矧女剛制于酒』汝剛制其酒也.

曹大誥篇『寧王惟卜用克綏受茲命今天其相民矧亦惟卜用』

矧」猶「卽」也。

書康語篇『元惡大憝矧惟不孝不友』「即是」·

又『不率大夏」法也,矧惟外庶子訓人惟厥正人訓[與],越小臣諸節乃別播敷「乃]::: 「矣」也・造

民大譽弗念弗庸潔厥君] 云即是」。

矧 上猶 一何一也。

詩伐木篇『相彼鳥矣猶求友聲矧伊人矣也: 不求友生』詩伐木篇『相彼鳥矣猶求友聲矧伊人矣也: 不求友生』

書大誥篇 🗆 **厥于乃弗肯堂矧肯構**? ……厥子乃弗肯播矧肯穫。「肯」皆同「克」・「能」也・

含

舍」 循 「徒」 也公羊傳「茶」作「舍」)·「茶」訓「徒」(見方言十二郭注)故「舍」亦訓「徒」·舍」, 「在」 (左海及六年·『齊陳公弑其君茶』·

孟子滕文篇『且許子何不爲陶冶舍皆取諸其宮中而用之』

是 氏 寔 實

古甚處字集釋 卷九 舍 是 氏 寔 Ħ

八〇日

古書虛字集釋

是一「此」也。

論語季氏篇『夫如是』

字或作「寔」「鬼」成與「是」同・

春秋桓六年『寔來』何·獨曰是人來也」·

□是」非「非」也。

孟子梁惠篇『王之不王是折枝之類也』

字或作一寔一

禮記大學篇引秦誓『寔能容之』曹秦誓「寔」作「是」

詩小星篇『寔命不同』『蹇』古多通用‧既詳經傳釋閱‧

國語楚語『用之寔難毀之易矣」。

字叉或作「實」 左傳昭二十五年『天地之經而民實則之』孝經三才章一實」作「是 同在支部・「至」「支」韻部最近・故「實」「窓」皆與「是」通・「實」與「蹇」通・故亦與「是」通・古韻「實」在至部・「是」「蹇」

八〇八

僖 Ŧī. 年· — 鬼神非人實親唯德是依』ト・唯鄉是ト』・文法典此同・鬼神非人實親唯德是依』ト・唯鄉是ト』・文法典此同・

昭十 年: 非知之實難將在行之。

國語晉語『武族唯晉實昌』 晉胤公子實德。

法言問明篇: **「不聰實無耳** 也不 明實無! 目 也。

是一猶一之」也翻題

爲指事之詞:

左傳襄十四年『晉國之命未是有也』 一 詞 見 標 傳 釋

墨子耕柱篇『葉及子高豈不知善爲 政者之遠者近也指事之詞・

而舊者新是哉?

同口 語之「的」

左傳昭元年『主是謂矣』矣』、文例同此 ・之謂

七年『公日「 何謂六物」對曰「 歲星日月星辰是謂也」一句·

語季氐篇 7 無乃爾 是o 過 與? 』與』・文例同此 昭

論

古書虚字集釋 卷九 是 氏 洱 實

八〇九

秋繁露正貫篇『書曰「八音克諧無相奪倫」乃是謂也』「此」也:

韓詩外傳五『夫危削滅亡之情皆積於此而求安樂是聞「至」也:不亦難乎?

管子幼官圖篇了至善之為兵也非地是求也非之「是」· 罰人是君也。 ___

詩崧高篇『南國是式『下土之式』文例曾同此: :詩松高篇『南國是式『下土之式』文例曾同此: : ……文武是憲 削え」を

股武篇「四方之極」韓詩齊詩並作「四方是則」爲則之僧字・

字或作「實」

書君。東篇『則商寶百姓王人』爲句・甚雖・而謂『實』爲語功嗣・則失之・書君。第二,則商寶百姓王人。則・故也・「實」・「之」也・經爲逃聞以此七字

左傳隱十一 年: 無滋他族實偏處此一句: 以與我鄉國爭此土也 」致他族之偏處此也:

襄二十四年 一了子實生? |我而謂子沒我以生乎。「使」也,質量使子沒取我以生乎,

詩桑柔篇『君子實維』「爲」也:

國 【語楚語『君實有國而不愛「愛」・「吝」也・臣何有於死」「有」訓「愛」・「語楚語『君實有國而不愛「愛」・「吝」也・臣何有於死」「有於死」之

史記周本紀『今三川實震是陽失其所而塡陰也**」**

是」「則」也觀

大戴禮王言篇『教定是正矣』

國語晉語「若更君而周訓之是易取也」

此上二例並見經傳釋詞引。

管子君臣篇上『非茲是無以理人非茲是無以理財』稹志·管子君臣篇:

明法篇『 比周 以 相為匿是忘主死交以進其譽故交衆者譽多。

書立政篇『無獄無愼惟有司之牧夫「之」皆即「爽」・是訓用違』言則訓以善也・「雖」書立政篇『無獄無愼惟有司之牧夫「之」皆即「爽」・是訓用違』言則訓以善也・「雖」

之質也」・語子平議論「違」為「塵」・東京賦薛綜注・管子水地篇『違非得失

呂氏春秋音初篇『或曰「后來是良日也之子是必大吉」或曰「不勝也之子是必有殃」

必皆!則

潛夫論讚學篇了 是故無董景之才景君明·倪匡之志匡衡·而欲强捐家出身曠日師門者是必無幾

矣』「則必」・

古書雕字集釋 卷九 是 氏 窓 貿

ハ ニ

荀士樂論篇『此五行者是足以正身安國矣。

晏子春秋襍篇『此三者嬰之家俗今子是無一焉。

國語鄭語『周亂而樂是矯而貪必將背君』

韓 非子五靈篇『故明主之國無書簡之文以法爲教無先王之語以吏爲師無私劍之捍以斬首爲

勇是境內之民其言談者必軌於法」;, ©

逸周書文傳篇『 故 凡 士: 地之 間者聖人裁之並爲民利是魚鼈歸其泉鳥歸其 林。

周鹂考工記輪人『蓋已崇則難爲門也蓋已卑是蔽目也』爲至文:

字或作「氏」

漢書地理志『至元孫氏爲莊及』

是一猶一而」也而互訓

戰國策齊策 [先君好士是君 不好 士。

魏策『』 吳起 2對日 | 河山之險信不足保也是霸王之業不從此也。

詩氓篇『不思其反「而」也、反是不思」

晏子春秋諫篇『 寡人一樂之「太樂」·是欲祿之以萬鍾其足乎』「可也

春秋繁露楚莊王篇『惡無故自來君子不恥內省不疚何憂於志是已矣』「無」也・

韓非子難二篇『或曰「行人未有以說也乃道惠公以此人是敗文公以此人是霸言」也・未見所。,

以用人也」

荀子議兵篇『故齊之田單楚之莊蹻秦之衞鞅燕之繆蟣是皆世俗之所謂善用兵者也焉此」,是 巧拙强弱則未有以相君也「是」也·若其道一也「以」也·未及和齊也」

一猶「故」也申事之詞也。

其

說苑指武篇『是故道非權不立非勢不行是道傳然後行』

荀子哀公篇『舜不窮其民造父不窮其馬是舜無失民造父無失馬也』故新序及韓時外傳並作荀子哀公篇『舜不窮其民造父不窮其馬是舜無失民造父無失馬也』故新序及韓時外傳並作

大戴禮保 傅篇: 失度則史書之工誦之三公進而讀之宰夫減其膳是天子不得爲非也」

古霄虛字集釋 卷九 是 氏 峞 實

入一三

將 軍文子篇『文子日「 若夫 知賢 人奠不難吾子親遊焉是敢問

晏子春秋外篇『讒佞之人隱君之威以自守也[依]也・是難去 焉。

問篇『公日「善於是破斄之臣東邑之宰皆有加利是上獨擅名利下流也』]][[是]字::

淮南子兵略篇『善用兵者當擊其亂不攻其治「必」也,是不襲堂堂之寇不擊填填之旗。

主術篇『是非之所在不可以貴賤尊卑論也是明主之聽於華臣則故」・其計乃可用[者]也・不差::

其位其言而可行「若」也,不實其辯』下,茲以意改。

春秋繁露煖燠孰多篇『知心而不省薫與凓孰多者用之必與天戾與天戾雖勞不成则[布]: 是

自正月至於十月而天之功畢」。

循天之道篇了 天有 兩和以成二 中歲立其中用之無窮是北方之中用合陰而物始動於下南方之,

中用合陽而養始美於上。

Ħ. 相生篇 者不怨』訓成上 據法 聽訟無有所阿孔子是也爲魯司寇斷獄屯屯與衆共之不敢自專是生者不恨

易 繋解 傳: 是 VI. 胏 於 天之道 iffi 察於民之故爲發端之詞 是興神 物以 前 民用。

孟子梁惠王篇『是故湯事葛』 **複語**·

按 凡 以一 是故 」連言為· 申事之詞者「是」亦「故 」也言[是故]與只言「故 同 義。 故 成

通 作: 如荀 子哀 公篇 二是故 其事大辨乎天地 明 爭 日 月, __ 大戴禮哀公問五 義篇 作 --- 故 其 事

大 配 平天: 地參 夷; 乎 百 月, <u>_</u> 是也又或互作: 如 孟 子 ·梁惠王篇 - 惟仁 吳。 者 爲 能 以 大 事 小, 是o 故 天文。 湯

俯以 葛文王事 察於地理是 昆 惟 放知幽 智 者 爲 明之故 能 以 小 原始 事 大, 反終, 故 太 故知死生之說精氣 王事 · 獯鬻句踐 事 爲 <u>_</u> 物游 易繋解 魂爲 傳: 一變是故 仰 以 知 觀 鬼神之 於

情 狀。 禮記 禮 器篇: 『禮之以多爲貴者以 其外 心者也德發揚 **翻萬物大理物博** 如此 則 得

無可 以 多 以 爲 貴 稱 爭? 其 德 者, 君子 如 樂其 此 則 發也; 得不 禮之以 以 少為貴 少為 乎? 貴者, 是故 以其 君子 愼 內 心者也德克 其 獨 也。 <u>__</u> 皆 產之致 是 也。 也精微觀天下之物,

禮哀 子篇: -- 仁 人不過乎物孝子不過乎物是仁人之事親也 如 事天。 與言「是故」同「是」別「故」・

故仁人之事親也如事天」・義,故禮記喜公問篇作『是

大戴

古書盛字集釋 卷九 是 氏 選 寶

八一六

是一獨「且」也」生意

戰 國策秦策『是王攻楚之日則惡出兵』[且]·是據史記而改 ? 姚本如是·鮑本「是」作 史記春申君傳作『 且王攻楚將惡

出兵』「則」也・

詩正月篇『天夭是椓』也』・是其體)・「天是椓」・帽「賊且害」也・詩正月篇『天夭是椓』の。「夭」與「椓」同義・(召旻鸞毛傳曰・『棒・夭椓

潛夫論救邊篇『是夫危者易傾疑者易化』

左傳襄二十九年『諸姬是棄其誰歸之』

史記鄭世家『齊彊而厲公居櫟即不往「若」也·是率諸侯伐我納厲公』 「且」之談・

墨子節葬篇『爲人弟者求其兄而不得不弟弟必將怨其兄矣「且」也・爲人子者求其親而不得不墨子節葬篇『爲人弟者求其兄而不得不弟弟必將怨其兄矣「則」・爲人子者求其親而不得不 孝子必是怨其親矣爲人臣者求之君也·互文耳·而不得不忠臣必且亂其上矣』且爲互文· ,。 ("必是"奧"必

是一猶「其」也「其」型

一爲指事之詞日西間其

韓詩外傳四『是以刑罰競消而威行如流者無他由是道故也』訓[其]·荀子議兵篇史記禮書並

作『由其道故也』

叉: 的故 其言可以爲民道民從是言也行可以爲民法民從是行也』爲至文:

外 . 傳五: 也而是子獨爲之也抑爲之者窮而是子猶爲之而無是須臾怠焉差焉』 調・「是子」皆即「其子」・,。 。 宋「是」字訓 「夫」・是語助, -- 彼 其 人者生今之世而志乎古之世以天下之王公莫之好也而是子獨好之以民莫之爲,

「其人」同義・血、彼其人者」之

外傳一『磏仁雖下然聖人不廢者匡民隱括有在是中者也』

荀子君道篇『以天下之王公莫好之也然而于是獨好之以天下之民莫欲之也也‧說群[由]字條‧一司子道篇:

然而 于是獨爲之好之者貧爲之者窮然而于是獨獨將爲之也不爲少頃輟焉。「于是」實際 志門

「是子」・未允・「子是」當從外傳作

國語「齊語『桓公擇是寡功者而讁之』管子小匡篇「是」作「其」謂「是」為「其」之譌・失之・國語「齊語『桓公擇是寡功者而讁之』管子小匡篇「是」作「其」謂是「異」其而義・經義述聞 大戴禮文王官 人篇『平· 人而 有慮者使是治國家而長百姓。

史記黥布傳『上曰「是計將安出」』

古書虚字集釋 卷九 是氏 篡 實

說苑善說篇『趙簡子問於成摶曰「吾聞夫羊殖者賢大夫也是行奚然』「妲」也・說苑善說篇『趙簡子問於成摶曰「吾聞夫羊殖者賢大夫也是行奚然』「婦」、 賈子禮容語篇『夫郄氏晉之龍 人也[卻」·是族在晉有三卿五大夫貴矣。

辨物篇『完山之鳥生四子羽翼巳成乃雕四海哀鳴送之爲是往而不復返也』辨物篇『完山之鳥生四子羽翼巳成乃雕四海哀鳴送之爲是往而不復返也』

孟子盡心篇『有事君人者事是君則爲容悅者也』「容」亦「悅」也孟子盡心篇『有事君人者事是君則爲容悅者也。「容悅」是複語

又『是舍簞食」豆羹之義也』之二「其」字同義・皆指仲子言・:。

儀禮喪服傳『若公子之子孫有封為國君者則世世祖是人也。

淮南子道應篇』趙簡子以襄子爲後董閼于曰「 無卹賤今以爲後何也」簡子曰「是爲人也能

爲社稷忍羞」』

左傳昭九年『今武猶是心也』

爲命令兼期望之詞

字通作「實

左傳襄二十三年『執事實重圖之』重圖之』・文例同此・

昭二十六年『而諸侯實深圖之』「汝」也・

國語 晉語 八『子寶圖之』圖之J·文例同此· 三二章 章 章 左傳閱二年·『子其

「是」猶「夫」也調照標

一爲提示之詞:

禮記三年問篇『今是大鳥獸』荀子禮論篇「是」作「夫」。 調見 明 ・

淮南子主術篇『是繩正於上木直於下非有專焉所緣以修者然也。

國語晉語『是楚一言而有三施子一言而有三怨怨已多矣難以 轚

爲語助詞論語陽貨篇:「食失稻・衣

韓詩外傳五『抑爲之者窮而是子猶爲之而無是須臾怠焉差焉』即[夫]字

字或作「實」

書呂刑篇『閱實其罪』既見禮義述聞・

古書虛字集釋 卷九 是 氏 笔 實

是 一 循 「 乃 」 也 「 於 是 」 也。

書馬頁篇『桑士旣蠶是降邱宅土』風俗通義山澤篇曰『謹按尚書民乃降邱度上』「度」通書馬頁篇『桑士旣蠶是降邱宅土』風俗通義山澤篇曰『謹按尚書民乃降邱度上』「定」

禮記月令篇『是察阿黨則罪無有掩蔽』逸周書月令解篇作『於是察阿上亂法者 則罪之無有

掩 蔽。

詩萬草篇『是刈是淺』之・於是後養之」・

字或作「實:

詩生民篇『實方實苞實種實踐實發實務實堅實好實類實票. 十「實」字·皆語助罰·失之·經義述聞尚書題實其罪條·謂此

韓弈篇『實墉實壑質畝實籍

載芟篇『實函斯活』「而」也・

是」猶「者」也。

書洪範篇『曰時五者來備』 史記宋世家作『 五是來備。 」 壁水備」・以「 き」・「者」也 **水甚・** ・作『五

韓非子忠孝篇『此皆釋世 而 ··不治是也 。

禮記襍記篇『如此而後可以服三年之喪其餘則直道而行之是也』。

樂記篇『唯邱之聞諸萇弘「邴」謂「孔子」・亦若吾子之言是也』

論語先進篇『論篤是與「敷」・君子者乎色莊者乎』『論篇者謂□無攑言・君子者謂身無鄙行・論語先進篇『論篤是與「敷」・「興」音 色莊者不

三者・皆可以爲春人』・惡而嚴・以遠小人言・此

字或作「氏」

後漢書李雲傳引尚書『五氏來備』

是一猶「至」也「至」互訓・

荀子禮論篇『小者是燕虧猶有啁噍之頃焉』禮記三年問篇作『小者至於燕雀』。

實」猶「卽」也原則在日話

左傳莊十八年『陳娲歸于京師實惠后』

定十年『公會齊侯于祝其實夾谷』

實」猶「爲」也。

古書處字集釋卷九 是 氏 寔 實

爲「是」字之義

左傳昭十一年「今茲諸侯「年」也・ 何實吉何質凶」「誰」也・

為「故」字之義「何為」即是「何故」·

國語晉語四「其何實不從」

吳語『雖四方之諸侯則何實以事吳』「其」也・

是故一發端之詞也既見上是猶故也」節· 易繋解傳『是故夫象』多以是故」為發端之詞。

一是以一猶一故」也申事之詞也。 禮記禮運篇「是故禮者君之大柄也」。

韓非子外儲說左下篇『吾觀國人尙有飢色是以不秣馬班白者多徒行故不二興』 爲五文:

「是以」發端之詞也。

易繫辭傳『是以明於天之道而察於民之故』 。。

時

「時」「是」 爲「此」字之義 書無逸篇「自時厥後」 也。 雅見 ・開

爲「是非」之「是」 **書無逸篇『無時或怨**。

詩生民篇『時維姜嫄。

論衡是應篇『故夫屈軼之草或時無有而空言生或時實有而虛言能指』 白虎通災變篇『堯遭洪水湯遭大旱命運時然』

死偽篇『或時景公軍敗不吉之象也』

古書盧字集釋 卷九 H 恃

スニュ

八二四

晏子春秋問篇『先其: 難乎而後幸得之時其所也失之非其罪也。

韓詩外傳八『文侯曰「怨乎」曰「非敢怨也時思也。。

此上二例「時」與「非」爲對文可證「時」當訓「是」

字或作一情」「恃」與「時」同音・

戰國策趙策一 『且夫說士之計皆曰「秦亡三川魏滅晉國恃韓未窮而禍及於趙』本「恃」作「是」· ・

改是 ・以 意

一時」循「而」也「時」「一個」之」前一面

史記馮唐傳『吾獨不得廉頗李牧時爲吾將』

保傅篇『故自爲赤子時教固以行矣』「巴」·漢書賈誼 大戴禮朝事篇『然時用財如此其厚者』禮記聘義篇「時」作「而」 傳, 時作「而」

漢書司馬 遷傳. 專決於名時失 。 人情」史記 自序「時」作「而」

此 上四例讀書襍志皆讀「 時」爲「而」茲訓「時」爲 「而」卽襲其意

書堯典篇『黎民於變時雅』則變化而和也·

時一猶一乃」也完點與方法

禮記月令篇『孟春行夏令則雨水不時草木蚤落國時有恐』则[乃]·逸周書月令解篇淮南子時禮記月令篇『孟春行夏令則雨水不時草木蚤落國時有恐』則[乃]·逸周書月令解篇淮南子時

則篇並作『國乃有恐』

逸周書時訓解篇『又五日大雨時行』

時一猶「以」也。「時」與「以」為

詩蕩篇『不明爾德時無背無側爾德不明以無陪無卿』漢書五行志引作『爾德不明以亡陪亡詩蕩篇『不明爾德時無背無側爾德不明以無陪無卿』漢書五行志引作『爾德不明以亡陪亡

卿不明爾德以亡背亡側 』

時」猶「由」也。

呂氏春秋下賢篇『奚時相得』知接篇『奚由相得?

韓 非子人主篇『今則不然其當途之臣得勢擅事以環其私「營」同 左右近習朋黨比周以制疏遠

古書魔字集釋卷九 時 特

即法術之士奚時得進用人主奚時得論裁『孤憤篇作『故法術之士奚道得進而人主奚時得即法術之士奚時得進用人主奚時得論表』孤憤篇作『故法術之士奚道得進而人主奚時得

悟乎』皆「何由」也・

又『則賢智之士奚時得用」::

一看一七一者」、晚之間看也

時 管子小匡篇『公曰「善吾子就舍異日請與吾子圖之「對曰「時可將與夷吾F则也·何待異日管子小匡篇』公曰「善吾子就舍異日請與吾子圖之」對曰「時可將與夷吾F則」也·何待異日

乎? **—**

書多方篇『時惟爾初也・「似」也・不克敬于和「奥」也・則無我怨』「毋」・書多方篇『時惟爾初也・「似」也・不克敬于和「奥」也・則無我怨』「無」同

「時」猶「卽」也辨略・

三國志魏志明帝紀『及宣王至遼東霖雨不得時攻』春引:

韓非子說林篇。鄭人有一子將宦謂其家曰「必築壞牆是不善人將竊」其巷人亦云不時**築而**。,

人果竊之 記記・見

例定賢篇『明君求善察惡於多少之閒時得善惡之實矣』

青酒語篇『弗獨乃事時同于教』也·「被」也·

「時」猶「或一也」時與或為

一爲不虚然之詞:

詩楚炎篇「永錫爾板時萬時億」極山海經大荒四經注,作『驕福』・)詩楚炎篇「永錫爾板時萬時億」極山海經大荒四經注,作爲壽古令人表,『編

爲疑詞:

論衡配義篇『夫夜姑之死未必厲鬼擊之也時命當死也』

刺孟篇『如使天命在三日之閒魯平公比三日[及]也·亦時樂**跋倉之議更用樂正子之言往見孟**,

子。

「時」猶「當」也

法言問神篇『或曰「龍必欲飛天乎」曰「時飛則飛時潛則潛」」

新序義勇篇『爲人臣者時生則生時死則死是謂人臣之禮』 :

時」猶「常」也。

古書處字集聯 卷九 時 特

禮記緇衣篇引兌命『 敬孫 務時敏厥修乃來』鄭注曰:『敏·勉也』。, 中庸篇:『人道敏政』:

誰

誰, 「孰」 一 也。

誰」發聲也。 論語微子篇『子爲誰 ??

詩墓門篇『誰昔然矣』也」・說見經傳釋 詞・

誰, 一何一也就

左傳成三年『又誰 易同人象傳『又誰答也』矣』,文例同此, 敢怨? 其 誰° 敢 德』何敢望回』之「何敢」同義・

國 .語晉語『穆公問冀芮日『公子誰恃於晉』特而不念』之「何恃」同義·語晉語『穆公問冀芮日』公子誰恃於晉』「誰恃」與左傳傳二十六年『

何

八二八

又『夷吾不佞其誰能恃乎』「以」也・

字或作「雖」說見難學條

韓非子難二篇『若使桓公之任管仲必知不**欺己也是知不欺主之臣也然**雖知不**欺主之臣今桓** 公以任管仲之專借豎刁糠疑「今」為「令」之職・未允・ 蟲流出戶而不葬桓公不知臣欺主與不欺

主已明矣」茲從王先愼校改・

孰, 一「誰」也。

孟子萬章篇『孰謂子產智。

「孰」猶「何」 也。訓見整傳

論語八佾篇『是可忍也孰不可忍也? 一詞引・見經傳釋

古書處字集釋 卷九 孰

【誠情請成】

誠」「實」也写真」

孟子滕文篇『掩之誠是也』

字或作「情」

墨子非攻篇『情不知其不義也』

字叉或作「請」

尚同篇『今天下之王公大人士君子請將欲富其國家』「順」也· "明」中,○

按王念孫云『墨子書一情」「請」二字並與「誠」同。

誠」猶「若」也解語或

淮南子氾論篇『誠其大略是也雖有小過不足以爲累若其大略非也雖有**問里**之行未足大學」。

は近奥「若」

韓非子初見秦篇『大王誠聽其說』「武」亦「若」也・

晏子春秋諫篇『誠有鄙民得罪於君則可』「謂」也·

字或作「成」

文子上義篇『成其大略是也雖有小過不足以爲累也成其大略非也閻里之行未足多也』

子淮 氾南

下「成」字作「者」・論篇・上「成」字作「誠」・

易豫上六『冥豫成有渝无答』

誠一猶「但」也。

漢書賈誼傳『一寸之地一人之衆天子無所利焉誠以定治而已』辨爲,

辰

八三二

大戴禮本命篇『辰故陰以陽化陽以陰變』

【常 嘗 當 掌】

一常」「恆」也。

字或作「嘗」

韓非子內儲說下六微篇『司馬喜中山君之臣也而善於趙嘗以中山之謀徼告趙王』

字义或作「當」

「常」猶「定」也「必」也

春秋繁露陽尊陰卑篇『是故先愛而後嚴樂生而哀終天之當也」

韓非子顯學篇『故海內之士言無定術行無常議』讀爲「儀」・「法」也・韓非子顯學篇『故海內之士言無定術行無常議』讀爲「僕」與「定」爲互文・「鹽」

晏于春秋外篇『物有必至事有常然』必至・事有固然』、「固」亦「必」也晏于春秋外篇『物有必至事有常然』、『常」與「必」爲互文、齊策四作『物

漢書趙廣漢傳『亂吾治者常二輔也』也· 。 常·必

字或作「掌」

墨子非樂篇『是以食必粱肉衣必文繡此掌不從事乎衣食之財而掌食乎人者也』。

嘗 常 尙 當 賞

曾一一曾一也層音

孟子滕文篇『吾他日未嘗學問』

字或作「當」

荀子君子篇『先祖當賢子孫必顯。

古書虛字集釋 卷九 響 向 常 尙 當 賞

呂氏春秋疑似篇『戎寇當至幽王擊鼓諸侯之兵皆至』

字又或作「常」

荀子天論篇『是無世而不常有之』「魯」是以意吹・

正論篇『以桀紂爲常有天下之籍則然』

漢書陳涉項籍傳贊史記始皇紀贊並曰『常以十倍之地百萬之軍仰關而攻秦』賈子過秦篇上,

史記陳涉世家贊「常」皆作「

史記高祖紀『高祖常繇成陽』

老子七十四章『若使民常畏死而爲奇者[奇]、「邪」也·吾得執而殺之「能」也·孰敢」

「嘗」「試」也見續註也

莊子人間世篇『嘗以語我來』「哉」也・

齊物論「請嘗言之」

應帝王篇『嘗試與來』復語・

左傳成十七年**「君盍答使諸周而察之」式也」・**

字或作「當」

墨子兼愛上篇『當察亂何自起起不相愛」利之所自生」·文例問此·

字叉或作「賞」

墨子尚賢篇下『我賞因而誘之矣』「爲」也・

尚同篇下『然胡不賞使家君**」**

曾一猶一若」也假設之詞也。

史記陳涉世家贊『嘗試使山東之國與陳涉度長絜大比權量力』使「嘗試是複語・皆訓「者」・史記陳涉世家贊『嘗試使山東之國與陳涉度長絜大比權量力』使「嘗試是複語・皆訓使」作「試

韓非子解老篇『嘗試釋詹子之察』

淮南子精神篇『嘗試爲之擊建鼓撞巨鐘』

字或作「當」或作「常」或作「向」。中或作「前」。

| (皆從尙聲)故「向」亦與「瞥」通・「尙」從「向」聲・「尙」與「瞥」通・

八三五

荀 - j. 性 一惡篇: 『今當試去君 上之勢 無禮義之化」同一智訓「若」・「當試」與「嘗試」

韓非子人主篇『當使虎豹失其爪牙則人必制之矣』。。

墨子 兼愛下篇『 常使若二君者也・下同・言必信行必果與當同・ 常使若二士者言必信,

行必果』之借字』、按孫散是

史記 李斯傳『 向使 四 君却客 m 不納。 范睢傳·『鄉使文王疏呂尚而不與深言』·是也·范睢傳之「郷使」「向」又作「嚮」及「鄕」·說苑君道篇·『嚮使宋人不聞君子之語』·

避「郷使」亦爲「若使」之義・ 策作「即使」・「即」「若」也・可

此 上三 例之「當使」 常使」「向使」並 爲 語亦 並 與 若使一同義故 列為

> 條 又 按

今人雖多用「向使」爲假設之詞而「 向 乃 警」之借並非本字。

黄帝篇: 「當與汝登高 山履危石臨一 百仞之淵若能射乎』莊子田子方篇一當一作「嘗」

墨子非樂篇『然則當爲之撞巨鐘擊鳴鼓』

叉: 然 則 當。 用 樂器譬之若聖王之為 册 車 也, 卽 我 弗 敢 非也。

法 儀篇 然則奚以爲治法而 ·可**當皆**法其父母奚若? 「何如」・

戰 ·國策秦策五『中期適遇明君故也向者遇桀紂必殺之矣』注曰•『若其遇桀紂·則必殺也』·國策秦策五『中期適遇明君故也向者遇桀紂必殺之矣』注曰•『若J也·「者」・「其」也·高

字又或作「尚,

書湯誓篇『爾尚輔予一人致天之罰予其大資女』「則」也:

墨子尚賢篇『尚欲祖述堯舜禹湯之道將不可以不尚賢』訓[者]・

相付也就「施」之對文也。

古人施受同詞故每有當言「受」字號於而省去者:

左傳宣二年『鄭公子歸生受命于楚釋文作『命于楚』云「本或作受命于楚非也」臧琳云:

陸氏非之是也傳本無「受」字故注云一受楚命」若傳本作「 受命于楚」則文義已明 杜 n

學海按陸臧說皆是也左傳謂「受命」 只曰「命」宣十二年『與魏**錡**皆

古書處字集釋 卷九

受

無庸

注矣』勘記·

八三七

八三八

命而往』而往也·是其證也「受」與一見」同義謂「受命」只曰「命」猶謂「不見用」只。 謂曾受命

日「不用」也字條・

【尚上常當】

「尙」「猶」也,

左傳傳四年『十年偷猶有臭』「尚」亦 猶」也·

字或作「當」

韓非子外儲說右篇『太公望日「且先王之所以使其臣民者非爵祿則刑罸也今四者不足以使

之則望當誰為君乎」「何也,

史記魏公子傳『公子當何面目立天下乎?

按經傳釋詞訓此上二例之「當」為「將」失之。

東越傳『今小國以窮困來告於天子天子弗振當安所告愬又何以子萬民乎』

說苑襟言篇『處常待終當何憂乎』

漢書成帝紀『未聞在位有惻然者誰當助朕憂之』。

份」「庶幾」也就 也 就

字或作「上」

詩陟帖篇『上慎旃哉』漢石經作『尚愼旃哉』

份」「曾」也就 就

一爲「乃」字之義

莊子徐无鬼篇『以不惑解惑復於不惑是尚大不惑』

禮記郊特性篇『祭于舫尚曰求諸遠者與』「爲」也・

楚辭九章篇『理弱而媒不通兮尙不知余之從容』客‧舉助也」・楚辭九章篇『理弱而媒不通兮尙不知余之從容』客‧畢註日‧『從

字或作「當」

古書 虛字集釋卷九 尚上常

八三九

呂氏春秋有度篇『諸能治天下者「凡」也·固必通乎性命之情者當無私矣」。 古書處字集釋 卷九 逝 噬

字叉或作「常」

禮記儒行篇『今衆人之命儒也妄也・「妄」・「釋妄」也・ 常以儒相詬病」

爲「則」字之義:

書秦誓篇『番番良士旅力旣愆「雖」也·我尚有之好」也· 仡仡勇夫射御不違我尚不欲』「爰好」書秦誓篇『番番良士旅力旣愆「雖」也·我尚有之好」也· 仡仡勇夫射御不違我尚不欲』「爰好」·

君與篇『惟文王尚克修和我有夏』

韓詩外傳七『於臣之義尙可爲王破吳而强楚』

逝

一猶「而」也。

逝

詩桑柔篇『 誰能執熱逝不以濯」也」,即「逝」子當訓「而」之證,墨子引「逝」作「鮮」「而」也,說詳誰能執熱而不以濯

除り、学

日月篇『乃如之人兮逝不古處』「也」也・

字或作「噬」

有杕之杜篇『彼君子兮噬肯適我』

此上之「逝」「噬」二字經傳釋詞訓爲發聲失之。

逝, 詩碩鼠篇『逝將去女適彼樂土』為發聲·失之· 一指「斯」也「茲」也知「逝」際「斯」通·(鮮與斯同)·故「逝」可訓「酒」「斯」也」「茲」也以詩桑柔篇·『逝不以濯』·墨子引「逝」作「鮮

審」母無異本書以「使」「所」「爽」「率」四字入正齒者從今音也又按「事」字「鉏吏切」 使」「所」「 爽一 率 <u>.</u> 四字皆在廣韻「山」紐其古音實在齒頭歸於「心」母, 侃此本黄 今音則

志·在「牀」母據黃侃古音十九紐「牀」母歸「從」之說則「事」字亦本爲齒頭音本書以「事」 廣談

古書 虚字集釋 卷九 逝 磁

7、尚有「寺」字。(寺在邪母)「寺」古讀者「侍」。在禪母)禪其音亦本在舌頭也。以)。而不當入「牀」紐也。從「之」聲之字。本音皆在舌頭。其誤入齒頭者。除「事」字 子入正。當者亦從今音也(正齒音皆歸舌頭·而齒頭音則否)·蓋「事」字在廣韻當入「神」組·(神紐為正齒音·古在舌子)上。《火按黃兵部「牀」母歸「從」·其說固確不可易·然「事」字則從「之」聲·本為正齒音而非齒頭音·

人四二

「彼」「他」也。 孟子公孫丑篇『彼以其富』

被一獨「不」也「愛」與「不」

詩桑扈篇『彼交匪敖』

宋菽篇『彼交匪舒**』**

「紓」「慢」也皆謂不侮慢也「匪」・「匪」亦「不」也・。經傳釋調訓「彼」爲

古書虛字集釋

卷十

被

八四三

此上二例「彼」「匪」皆訓「不」「交」皆讀爲「姣」「侮」也釋詞·「敖」同「倣」

八四四

何彼磯矣篇『何彼磯矣唐棣之華曷不肅雖王姬之車』亦「不」也・互文耳・何彼磯矣篇『何彼磯矣唐棣之・事曷不肅雖王姬之車』亦「何」「曷」皆訓「豈」・「彼」

彼, 」 16 【 14 【 12 【 12 】 12 【 12 】 12 【 13 】 14 【 14 】 14 【 15 】 15 【 15 】 15 【 16 】 16

墨子修身篇『言無務爲多而務爲智無務爲文而務爲察故彼智無察在身』而情反其路者也」。

「誠」同・「路」・「道」也、末「而」字訓「則」・「情」、

一彼」猶「夫」也「夫」!!

一爲提示之詞:

膏洛語篇『彼裕我民首夫致道我民也· 無遠用戻し也・(見廣雅)言毋遠於善也・無遠用戻し「用」・「於」也・「戻」・「善」

一爲語助詞:

墨子親士篇『故彼人者寡不死其所長』

「彼」猶「若」也解:著或」

莊子漁父篇『彼非聖人不能下人』有內憂」,文法同此,「距」亦「若」也,此子漁父篇『彼非聖人,不能下人』,國語營語,「簡非聖人,不有外息,必

「彼」給「是」也。「彼」與「夫」古通用

禮記樂記篇『君子之聽音非聽其鏗鎗而已也彼亦有所合之也』[非]爲數文:與記樂記篇『君子之聽音非聽其鏗鎗而已也彼亦有所合之也』[彼]訓[是]:與

公羊傳襄二十七年『昧雉彼視』割也.

必

「必」猶「定」也

論語學而篇「雖曰未學吾必謂之學矣」

「必」猶「但」 論語憲問篇『何必高宗古之人皆然』必獨云堂但』·

「必」猶「固」也

文選西京賦『小必有之大亦宜然』

呂氏春秋至忠篇『文摯至視王之疾謂太子曰一王之疾必可已也猶愈也』 5、注曰·『已 雖然王之疾已則必

古書 庫字集 釋一 卷十

八四五

古書處字集釋 卷十 必

殺擊也」訓[定]·

必」猶「可」也。

論衡命祿篇『是故才高行厚未必保其必富貴智薄德寡未可信其必貧賤』文耳·遙過篇·『才高行論衡命祿篇』是故才高行厚未必保其必富貴智薄德寡未可信其必貧賤』文耳·遙過篇·『才高行

「必」循「如」也解·必卑賤」·(「以」皆訓「其」)·是其鑑也·必卑賤」·(「以」皆訓「其」)·是其鑑也・必卑賤」·(「以」皆訓「其」)·是其鑑也・

史記孟嘗君傳『文曰「必受命於天君何憂焉必受命於戶則高其戶耳誰能至者? <u>--</u> 論 衡 四諱篇

作『必受命於天君何憂焉如受命於戶卽高 其戶誰能至者 」福虛篇作 7 如在 天, 八君何憂也. 如

在戶則宜高其戶耳誰而及之者」「誰能」・

戰 國策秦策三 5 吳起事悼王使私不害公讒不蔽忠言不取苟合行不取茍容行義不固毀譽;

必有伯主强國(「爲」·讀去聲)不辭禍以』主强國·不辭職凶。「然」亦「如」也·〇〇一年,「有」·「爲」也·不辭禍以』,「必」「如」也·史記奏澤傳·作『然爲霸

史記 刺 客傳: _ 公子光曰一使以兄弟次邪季子當立必以子乎則光眞適嗣當立』 與上「使以」同義 「必以」即「如以」

陰侯傳: رً 王必欲長王漢中無所事信必欲爭天下非信無所與計事。

鄭世家『去疾讓曰「必以賢則去疾不肖必以順則公子堅長」

韓世家『子必能不絕趙配死不恨矣。

論語顏淵篇『必不得已而去於斯三者何先』?

韓 非子八 八說篇: 『虎豹必不用其爪牙而與鼷鼠同威萬金之家必不用其富厚而與監門同資。

可した。

論衡變虛篇『臣請伏於殿下以伺之星必不徙臣請死耳。 。

公羊傳傳二年『茍息日」請以屈產之乘與垂棘之壁往必可得也如能得假道也· 則實出之內藏,

藏之外府馬出之內廢繫之外廢爾君何喪焉」

必」猶「若」也「似」也。

醴 記祭義篇『祭之日入室僾然必有見乎其位周旋出戶肅然必有聞乎其容聲出戶**而** 聽, **漁然必**

有聞一 乎其歎息之聲。 』說苑修文篇作『祭之日將入戶優然若有見乎其容盤旋出戶喟然若有

聞 野 敷 息 之 聲

古書處字集釋 卷十

必

入四八

「必」猶「則」也同点前:

管子治國篇『昔者七十九代之君法制不一號介不同然俱王天下者何也必國富而粟多也」

淮南子繆稱篇『故孝己之禮可爲也而莫能奪之名也則「其一必不得其所懷也』

韓非子孤憤篇『是當塗者之徒屬非愚而不知患者必汙而不避姦者也』輕也。• 交法同此•

文子符言篇『凡事人者非其實幣必以卑解』也,互文耳,

新序義勇篇『子與我將舍子「則」也,不子與我必殺子』

荀子儒效篇『仲尼將爲司寇沈猶氏不敢朝飲其羊公慎氏出其妻愼潰氏踰境而徙魯之粥牛馬

者不豫賈必蚤正以待之也」

論衡問孔篇『使下愚之人涉耐罪之獄吏令以大辟之罪必冤而怨邪將服而自咎也』「押」也· :

商君書修權篇『人主失守則危君臣釋法任私必亂』亦「則」也・互文耳・商君書修權篇『人主失守則危君臣釋法任私必亂』,「君」讀爲「羣」・「必」

[畢 必]

孟子滕文篇『公事畢』 一舉」「終」也

字或作「必」

「畢」 「皆」 也 墨子所染篇『五入必而已則爲五色矣』

班子在宥篇『而儒墨畢起』ま』·是其證· 儒墨皆

字或作「必」

戰國策秦策四『四國必從』皆服從紊也・

子 件 場 手

ž

並一也。

一併,

古書虚字集釋 卷十 併 并

入四九

古書虛字集釋 卷十 别

一件」一皆」也讀 買子親疏危胤篇『高皇帝與諸侯倂屑而起』

害大誥篇『朕卜幷吉』字通作 「丼」 釋文云·『井本作供』·

「丼」「合」也。

漢書藝文志『幷爲倉韻篇』合也』

別

易緯豬覽圖『交別主一日』監·
別一猶「各」也

別一猶「編」 也。

書康誥篇『別求聞山古先哲王用康保民』「由」「於」也・言獨求典法於古先哲王也・書康誥篇『別求聞山古先哲王用康保民』「由」「於」也・言獨求典法於古先哲王也・

溥 普

溥」「偏」 也。

詩北山篇『溥天之下』孟子萬章篇引「溥」作「普」字或作 「普」。

巨順音 頗

古書虚字集釋 卷十 溥 遊 D 頉

入五一

古書虛字集職 煩

「叵」「不可」也能

說文敍『雖叵復見遠流其群可得略說也」。

「叵」「迻」也。

後漢書隗囂傳『帝知其終不為用叵欲討之』並也」·

字或作「頗」「頗」、並「曹火切」、

漢書陳湯傳『騎引卻頗遣吏士射城門騎步兵』辨略:

頗

」 也 辨略 · 動見助字

史記叔孫通傳『臣願頗采古禮與秦儀襍就之』引·頗」「略」也「稍」也「少」也辨略· 漢書疏廣傳『子孫幾及君時[翼]‧頗立產業基阯。

論衡別通篇『涉淺水者見蝦其頗深者察魚鼈其尤深者觀蛟龍』

頗一猶「多」 一 也。

漢書田資傳『於是上使御史簿青嬰所言灌夫頗不響應即「不符」之意、劾繫都司空上漢書田資傳『於是上使御史簿青嬰所言灌夫頗不響應即「不符」之意、劾繫都司空」。

頗」「甚」也。

史記袁盎傳『絳侯得釋盎頗有力』

論衡謝短篇『夫總問儒生以古今之義儒生不能知別名以其經事問之又不能曉斯則坐守何言

師法不頗博覽之咎也』

「頗」「旣」也「巳」也辨略・

王莽傳『今阨會已度府帑雖未能充略頗稍給』抵」也・漢書買誼傳『其削頗入漢者爲徙其侯國及封其子孫也』

進

古書處字集釋 卷十 並

八五三

١

並」「皆」也。

漢書高帝紀『諸侯並起』

並」「與一也剛見詞

漢書文三王傳『元鼎中徙代王於淸河是爲剛王並前在代凡立四十年薨』引:漢書文三王傳『元鼎中徙代王於淸河是爲剛王並前在代凡立四十年薨』引:

莊子胠篋篇『竊仁義並斗斛權衡符璽之利者』

進書文三王傳『代並」猶「無」也。

漢書文三王傳『代孝王參初立爲太原王四年代王徙爲淮陽王而參徙爲代王復並得太原都晉

陽如故。

並一「且」也傳集社・

一爲「又且」之義

漢書高帝紀『般叛楚以舒屠六舉九江兵迎黥布並行屠城父。

莊子胠篋篇『爲之斗斛以量之則並與斗斛而竊之……所盜者豈獨其國邪並與其聖知之法而

也。

八五四

爲「姑且」之義

詩車鄰篇「並坐鼓瑟……並坐鼓簧」

為兩務之詞:

列子天瑞篇『林類年且百歲「將」也·底春被裘「至」也·拾遺穗於故畦並歌並進』

一並」猶一正」也。

史記宋世家『小民乃並與相爲敵讐』好」)書微子篇:, 並與」作「方輿」・「方」亦「正」也・「並」古讀者[傍」・史記宋世家『小民乃並與相爲敵讐』「近興」・「正好」也・(禮記學記篇・『不興其藥』・鄭注訓「興」 爲「喜

「方」爲「傍」・按「方」與「房」猟 ・故「亦」與「傍」通用・義亦相通・(說見下條)「方」古音亦讀若「傍」・(荀子勸學篇「方其人」・郝懿行讀

並」猶「乃」也。

荀子正論篇『故象刑殆非生於治古並起於亂令也』「方」亦「乃」也・

並」猶「偏」 也。

易井九三【王明並受其福』並聞・

古書虚字集釋 卷十 並

八五五

傍源湖 旁 並

傍」「近附」 也。

字或作「徬 走部・『近・附也』・是「傍」與「傍」同義・、通作「旁」説文介部・『傍・附行也』・人部・『傍・近也』・通作「旁」

莊子漁父篇『子路旁車而問曰: <u>__</u>

又通作「並」 (並同傍・承同抵)・釋文云・「史記漢書傍河傍海皆作並」・漢書武帝紀集注云・『並讀曰傍』・列託黃帝篇・『並流而承之』・

史記袁盎傳『袁盎騎並車摩轡』隆引・即・の。。。

被

被一循「受」 也。

買子階級篇『被戮辱者不太迫乎』 論衡命義篇『被禍而死』

韓非子五蠹篇了今兄弟被侵必攻者廉也之人: 知友被辱随仇者貞也」

「被」「及」也。

曹禹貢篇『西被于流沙』『被·及也」。

「被」「與」也「被」·與「敗」通· 漢書兩學王趙佗傳『卽被佗書行南海尉事』方書・

詩旣醉篇「天被爾祿」

进

「比」「及」也。

古書虛字集釋

卷十 比

入五七

孟子梁惠王篇『比其反也』

論語先進篇『比及三年**』** | 者』・賈子胎数緒作『比三月者』・是可證「比」與「及」同義・「比及」是複語・「比」亦「及」也一大戴續保傳篇・『比及三月

「比」「每」也。

禮記王制篇『比年一小聘』

比一猶「連」 也。

漢書景帝紀『閒者歲比不登。 上 ・見 ・見

公羊傳閔二年『比三君死』

戰國策燕策『人有寶駿馬者比三旦立市人奠之知』。

「比」「近」也發言近

後漢書光武紀『比陰陽錯認日 月薄蝕。

「此」「皆」也。

戰國策秦策『頓足徒裼犯白刃蹈煨炭斷死於前者比是也』韓非子初見秦篇「比」作「曾」。

入五

詞 引 終 傳 標

比上 猶

大戴禮保傅篇『於是比選天下端士』[皆]・「皆」亦[徧]也・大戴禮保傅篇:

薄

薄 循 乃

詩為覃篇『薄汙我私薄辭我衣』

一爲引詞:
一爲引詞:
乃
」

詩采芑篇『薄言采芑』

爲「於是」之義

古寄虚字集釋 卷十

薄

八五九

詩芣苜篇『采采芣苜薄言采之』

出車篇「薄言還歸。

按「薄言」是複語皆訓「乃」故「薄言采」亦可曰「薄采」或「言采」蹤及艸部引作「言采其抄、薄言」是複語皆訓「乃」故「薄言采」亦可曰「薄采」或「言采」蹤及艸部引作「薄采其茆)・

其菲 證 · 是

毎

每一謂「每次」

一每」謂「每事」

」謂「每事」也 左傳成上五年『初伯宗每朝其妻必戒之』 法言問明篇『或問小每知之「小事」·可謂師乎?

此上二例說皆見詞詮。

九六〇

每」一雖」也雅

詩常棣篇『每有良朋』詢引:

度

茂」「無」也。

國語晋語『吾有死而已吾蔑從之矣』釋詞:

古青虚字集釋

度

八六一

史記游俠傳『古布衣之俠靡得而聞已』詮·

靡 一猶「匪」也是解:不

漢書章賢傳章孟詩『致冰匪霜致隊靡嫚』末省去「子」字文選作『致墜匪慢』

末

入六二

「末」「無」也,

論語子罕篇『雖欲從之末由也已』

「末」「勿」也。 禮記文王世子篇『末有原』勿有所再進』·

一末」「不」也。

墨子公孟篇『四弟曰「吾末與子酒矣」

禮記檀弓篇『末之卜也』調引・末」 「未」 也別見經傳釋 故「末」可訓 未」・東「未」 古通, は見る。 見經傳釋 は、末」可訓 未」・ 大」 し。訓見經傳釋詞・按「未」 與「未」 古通

公羊傳隱六年『吾與鄭人末有成也』引記

「末」語助也。

公羊傳哀十四年『末不亦樂乎堯舜之知君子也』釋詞: 與 說見經傳

人六三

莫

「黄く」「無」・七、模「亦作「無」・「襲」亦作「譕」・故

史記陳平世家『及平長可娶妻富人莫肯與者」。。

「莫」「勿」也。

國語吳語『明日徙舍斬有罪者以徇曰「莫如此不從其伍之令」」

「莫」「不」也。

史記陳平世家『其計密世莫得聞」詮:

莫」猶「或」也

一爲不盡然之詞

詩終風篇『莫往莫來』

爲疑詞:

莊子則陽篇『莫爲盜莫爲殺人』二「乎」字者·古人語急省去也·無子則陽篇。 莫爲盜莫爲殺人』二「乎」字者·古人語急省去也·無

論語述而篇『文真吾猶人也茲乎』之「女」・躬行君子則吾未之有得』则「莫」爲「或」・「或」亦疑調也・「論語述而篇』、文真爲"如」・「文」即『文不在

周·

近儒或訓「文莫」為「黽勉」、未允・易乾文言所謂『或之者・疑之也』・是也・

「莫」循「何」也也・(通書蟆作廠)「莫」為「蟆」之古音・

韓非子難一篇『晋平公與摹臣飲飲酣乃喟然嘆曰「莫樂爲人君惟其言而奠之遠也」如何」:

[無樂]亦卽[何樂]也・[無]與「莫」古同音同用・論語于路構・『予無樂予爲月・惟其言而莫予遠也』・

莫 一猶「孰」也「誰 一 也。

天

徧 偏

古書虛字集釋 卷十 偏 徧

八六六

「徧」「溥」也「盡」也。

詩天保篇『拳黎百姓「百官」・偏為爾德』「受」也・詩天保篇『拳黎百姓「百官」中。 6 5

字或作「偏」

墨子公孟篇『今子偏從人而說之』韓志・
。 說見讀書

「偏」。 16 「別」 也開尚書別求條)·故本書「編」「別」互訓· 一個」 16 古書「編」「辯」「別」三字通用·(武詳釋義述

荀子正名篇『有時而欲徧舉之故謂之鳥獸鳥獸也者大別名也』也, 互文耳,

不 丕 否

不」「弗」也。

曹西伯戡黎篇『我生不有命在天』者·是語急省去·說見古書

逸周書芮良夫篇『不其亂而?

左傅宜四年『不其餒而』

此 上二例「而」皆訓「乎」並與論語 泰伯篇『不其然乎』文例

孟子公孫丑篇『自反而不縮雖褐寬博吾不惴焉』見爲字條:說

詩思齊篇「肆戎疾不殄烈假不瑕」「病」・皆謂雖大病亦不病也,說本孫治讓瘤心述林,詩思齊篇「肆戎疾不殄烈假不瑕」「病」・「故」也、「戎」「烈」皆訓「大」・「殄」「假」「艰」皆訓

此上五例經傳釋詞並謂「不」爲「發聲」失之。

字或作「否」

左傳宣十二年引周易「師出以律否滅凶」不也」·
「否・

字叉或作,「丕」

書大誥篇『爾惟舊人「雖」·爾丕克遠省」

召誥篇『丕若有夏歷年』「似」也・

多方篇 『四子、惟進之恭同「供」・「具」也・曹無不惟錢財是供具也・、洪舒于民』 為「茶」・「帯」也・此孫。 『八子、「進」讀爲「聲」・「財」也・「之」・「是」也・「恭」

規星 ・衍

古書處字集釋 卷十 不 丕 否

八六七

「不」「無」也轉詞:

商君書開塞篇『有法不勝其亂與不法同』

此上二例「不功」「卽無功」「不法」卽「無法」與」有功」「有法一爲對文。

易无妄象傳『无妄之樂不可試也』

禮記中庸篇『體物而不可逍』也・生

左傳襄九年『然故不可誣也是以雖隨无答』「故」·「而」也·

此上三例「不可」皆即「無所」見可享條:

字或作「否」

禮記大學篇『其本戲而末治者否矣』釋詢·

不」「勿」也。

孟子滕文公篇『我且往見夷子不來」釋詢:

不一一非 世訓見経傳

莊子讓王篇『先生不受豈不命邪』見經傳釋調引・ 新序節士篇作「豈非命也哉

韓非子十過篇『故豎穀陽之進酒不以響子反也』說苑敬愼篇作『非以妬子反韓非子十過篇』故豎穀陽之進酒不以響子反也』說苑敬愼篇作『非以妬子反。

字或作「否」

墨子尚同篇『夫建國設都乃作后王君公否用泰也輕大夫師長否用佚也維辯使治天均』 **經**說 傳見

不一猶「未」也。

左傳文十八年『以至於堯堯不能舉……以至於堯堯不能去』史記五帝紀「不」皆作「未」荷子子道篇『孔子曰「意者身不敬與鮮不遜與色不順與』韓詩外傳九「不」皆作「未」

「不」猶「莫」也。

列子天瑞篇『物不傷焉德莫加焉』為**瓦文·**

老子三十二章『道常無名樸雖小天下莫能臣也』景龍本御注本敦煌本英倫本並作『天下不の

古書賦字集釋 卷十 不 丕 否

八六九

八七〇

敢臣』「敢」・「能」也

「不」「發聲」 禮記緇衣篇引甫刑『播刑之不迪』書呂刑篇作『播刑之迪』 一世。訓見経傳 語 助 也。

詩大明篇『不顯其光。

國語晉語『夫晉公子在此君之匹也君不亦禮焉』傳傳二十三年・「君其禮焉」・同義・國語晉語『夫晉公子在此君之匹也君不亦禮焉』傳傳二十三年・「君其禮焉」・同義・

戦國策秦策『楚國不尙全事』史記楚世家作『吾國尙可全』

此上 四例並見經傳釋詞引。

墨 子非命上篇: ___ 天亦縱棄之而弗葆』志所校定,此從讀書棟 中篇作『天不亦縱樂而不葆』是語》

字或作「丕」

書康誥篇『惟乃丕顯考文王』

召誥篇『其丕能誠于小民。

此上二例並見經傳釋詞引。

「不」猶「乃」也「不」字條注:

書禹賈篇『三苗丕敍』

召誥篇『厥旣命殷庶當作「庶殷」· 庶殷丕作』

康誥篇『至于旬時不蔽要囚』同此・「飯」・「断」也・「要」讀爲「幽」・康誥篇『至于旬時不蔽要囚』同此・「飯」・「斷」也・「要」讀爲「幽」・文義

此上三例說並見經傳釋詞。

字或作「不」「薄」訓「乃」・故「不」亦訓「乃」・

詩召旻篇『池之竭矣不云自頻泉之竭矣不云自中』「頻」與「濱」同・

义『不裁我躬』文法同:寧」亦「乃」也:

禮記射義篇『幼壯孝弟耆蓋好禮不從流俗修身以俟死者不在此位也……好學不倦好禮不變,

施期稱道不亂者不在此位也」言乃在此位也·

此上三例之五一不」字經傳釋詞謂爲發聲失之。

「丕」與「乃」同義連言之則曰「丕乃」

古書處字集聯一卷十 不不不否

音盤庚篇『丕乃敢大言女有積德』於是也』·按王武甚島·

又『乃祖乃父丕乃告我高后』:

又『迪高后丕乃崇降弗祥』「故」也:

逸周書祭公篇『丕乃有利宗』

「不一猶一則」也同義。

詩匏有苦葉篇『濟盈不濡軌』頭也·

常棣篇『鄂不棒棒』外發也・轉轉・光明也」・高棣篇『『不棒棒』外發也・轉轉・光明也」・

經傳釋詞訓此上二例之「不」字爲發聲失之。

論語微子篇『四體不動五穀不分』「糞」・「治」也・(分與糞通・膿症王制篤作『百畝之分』・)。 。 此二語是丈人述己之事・「分」彼爲孟子萬章篇『百畝之糞』之

字或作「否」

詩何人斯篇『還而不入否難知也』為發聲·失之·

書盤庚篇『今我既羞告爾于朕志也· 若否罔有弗欽』也·言汝則勿有不敬也·

不一與「則」同義連言之則曰「不則」

逸周書皇門篇『我不則寅哉寅哉』爲後常・失之・

「不則」亦作「否則」或「丕則」

曹無逸篇『旣誕漢石磬作·旣延」· 否則侮厥父母……乃變亂先王之正刑[政]·至於小大民否曹無逸篇『旣誕漢石磬作·旣延」·「久」也·③。

則厥心達怨否則厥口詛祝』石經作不一

叉『時人丕則有愆』也:此

逸周書祭公篇『烏呼天子三公監于夏之旣敗丕則無遺後難』

不則」猶言「即是」也「不則」皆為「則」有「即是演也

「否不」

古書虛字集釋 卷十 否不

古書虛字集釋

「否」謂不如上所云也。

孟子公孫玉篇『如此則動心否乎?

字或作「不」

「否」以爲不然之應詞也。 孟子萬章篇「否不然也」

义『否不然』

公孫丑篇『景子曰一否非此之謂也」』

戰國策魏策四『唐且對曰一否非若是也」」

否」「不可」也。

左傳昭二十年『君所謂可而有否焉』不可也」·

按段玉裁謂此上二文皆本作「否然」今作「否不然」者譌也[否]下注·失之

入七四

非, 「不是」 他。

論語先進篇『回也非助我者也』

書酒語篇『誕惟厥縱淫洪于非彝』召睹篇・『其惟王勿以小民淫用非彝」・皆是也・書酒語篇:『誕惟厥縱淫洪于非彝』のの、尚書中屢言『非彝』・如康皓篇・『勿用非謀非錄』・

字或作「棐」

呂刑篇『率义于民棐彝。 ستنا 述林・

「非」「不」也傳服度注·

曹盤庚篇『肆予沖人非廢厥謀』釋詞・

莊子山木篇『衣獘履穿貧也非憊也此所謂非遭時也』訓「不」· ・

淮南子修務篇 『放美 人者非必西施之種通士者不必孔孟之類。 』説見經傳釋詞補・「非」與「不」爲互文

古書虚字集釋 卷十 非 棐

八七 扯

古書虚字集釋 非 棐

非猶 無無 二 也。

賈子耳痺篇『死而 非0 補。 一釋詞補・説見種傳

字或作「棐」

書呂刑篇『明明棐常『墨子引作』明明不常』常·独書立賢無方也』·按孫武甚禮·書呂刑篇『明明棐常『墨子引作』明明不常』常·独書立賢無方也』·按孫武甚禮·不

逸周書小開篇作『 明明非常一字·皆訓[無]・

非」「不可」 也。

戰 ·國策魏策三『且夫僧韓不受安陵氏可也夫不患秦之不愛南國非也。 一旦写動文・

韓非子外儲說左篇『嬰兒非與戲也。

列 、女傳楚於陵妻傳「夫子織層以爲食非與物無治也。

老子七章『非以其無私邪「邪」作「乎」・「乎」亦與「也」同義・故能成其私」

三十九章『是以侯王自謂孤寡不穀此非以賤爲本邪非乎』其賤之本與・非夫』・可以爲證・三十九章『是以侯王自謂孤寡不穀此非以賤爲本邪非乎』其賤之本與・非夫』・可以爲證・

入七六

匪

「匪」「不」 「匪」「非」 詩木瓜篇『匪報也』非也・」「非」也。

詩殷武篇『稼穡匪解』詞引· □ 「不」也釋詞· □ □ 見經傳釋

桑扈篇『彼交匪敖』 108 「妓」:「梅」也・

易无妄『无妄元亨利貞其匪正有皆」也・者

詩小晏篇『如匪行邁謀』 「匪」 「彼」 也程:

定之方中篇『匪直也人』同義・

古書處字集釋 卷十 捱 檗

八七七

古曹虚字集釋 涯 棐

此上二例並見經傳釋詞

匪, 「不可」 也一非二二不可一也

詩瞻卬篇『匪教匪誨時維 婦寺一是也・

蕩篇『天生烝民其命匪諶』書其道不可信也·

字或作「非」云、『架古歷字』、

書大 浩篇 『天 棐 忱 一辭 其 考 我 民 』 辞』・公羊傳・「辞」作「怠」・王引之謂「辞」「怠」 皆爲「殆」之借字・(說見書) 大 浩篇 『 天 棐 忱 一辭 其 考 我 民 』 辞』・「成」也・「辞」 讃爲 「殆」・疑而有定之間也,奏智篇・「俾君子鳥

此「鮮」與「殆」通之證・超義述聞通飲上殆字條)

又: 越天棐忱

康浩篇『天畏棐忱』「天則」即「天法」)・尚書中多謂「天則」曰「天成」・如顯命為『敬近天成・……」君爽篇『若天棐忱』「長」讀為「威」・(今文尚書作「天成」)爾雅云・「成・則也」・(易乾文書云:君爽篇『若天棐忱』

念我天威J·皆是也·君奭篇·『誕將天威· 粗

此 上 四一 棐 忱, 並與詩蕩篇之「匪諶」同述林•謂「不可信」也。

匪」猶「不但」也。

詩抑篇「匪手攜之言示之事匪面命之言提其耳」

載芟篇『匪且有且下「且」字訓「此」・匪今斯今』語只一義・皆謂不但今時有此事也・二、。 「斯」・「有」也・下「今」字訓「此」・二

字或作「棐」

書酒語篇『我西土柴祖邦君御事小子尚克用文王教』與詩戰交篇之「匪且」爲一語,說本體養述林,書酒語篇『我西土柴祖邦君御事小子尚克用文王教』與詩戰交篇之「匪且」爲「禹」同,「今」也,「柴祖」

(弗 賞)

弗一「不」也。

論語公冶篇『弗如也』

弗」「語助」也。

史記魯世家『惠公弗皇』漢書律歷志作『惠公皇』練志・東記魯世家『惠公弗皇』漢書律歷志作『惠公皇』練志・

古書處字集釋 卷十 弗 費

八七九

字或作「費」

史記晉世家『晉穆侯名費生』世本作『弗生』史記十二諸侯年表作『晉穆公名生』書標志· 東記晉世家『晉穆侯名費生』世本作『弗生』史記十二諸侯年表作『晉穆公名生』書標志·

天

夫」猶「乎」也。

一爲疑問之詞

晏子春秋外篇『仁人亦樂是夫』樂此乎』,文義同此,

史記孔子世家『吾歌可夫』

通用、戰國策齊策。君長有齊,奚以薛為,夫齊,雖隆薛之城到于天,獨之無益也。,新序隸事篇「夫」作「無」,(此是假無為夫),左傳哀十六年,『民知不死,其亦夫有舊心』,風俗通義正失篇作『人知不死,其亦無有奮心』,(此是假無為夫) 按此「可夫」在口語作「可嗎」作「廖」· 「嗎」亦或書 嗎」即「夫」之轉音字也「夫」與「無」音近

無」與「嗎」古皆讀若「模」故「夫」字音轉而爲「嗎」也。

爲感歎之詞:

左傅襄二十四年『有合德也夫』

禮配檀弓篇『三年之喪亦已久矣夫』

又『仁夫公子重耳』

按「仁夫」之「夫」在口語作「吧」作「罷」・ 「夫」與「吧」古並讀若「逋」 無古輕音 骨重学・

雙擊兼疊間,以史記子虛賦之『薄且』,漢書作『巴且』例之,可知「巴」與「逋」本同韻,字古亦在兩母,(今在非母)故知讀者「逋」也,(逋,在鬲母)古韻「吧」在魚部,與「逋」爲 故「夫」 得音轉爲[吧]

也,

爲助語之詞:

准南子道應篇『而夫子薦賢邱請從之後』孔子也·「之」·「而」也·說詳「之」字條「之獨而也」節· (m),「而」·「汝」也·「子」同「茲」·「此」也·「薦」・「先」也・「邱」

「夫」提示之詞也聚書之端」· 「夫」

左傳隱三年『夫兵猾火也』

孟子公孫丑篇『夫天未欲平治天下也』

古書虛字集釋 卷十 夫

「夫」猶「也」也為是之

孟子告子篇『率天下之人而禍仁義者必子之言夫』當訓「也」,爲決定之罰,孟子告子篇『率天下之人而禍仁義者必子之言夫』當訓「也」,爲決定之詞,故知「夫」

易繋辭傳「其孰能與於此哉古之聰明叡知神武而不殺者夫」。。

又『聖人以此齊戒以神明其德夫』:

禮記中庸篇『夫徼之顯誠之不可掩如此夫』

「夫」猾「矣」也之詞·

莊子列御寇篇『使宋王而寤子爲鼈粉夫』。

「夫」猶「焉」也體之

大戴禮哀公問於孔子篇「君子以此之爲尊敬夫」「然」「然」亦「焉」也・

「夫」猶「於」也原表與於為

墨子天志篇中『不知亦有貴知夫天者乎』「智」・

淮南子道應篇『其比夫不名之地猶褒與也』

易繫解傳『天下之動貞夫一者也。

韓詩外傳二『貞夫法哉石先生乎』

「夫」猶「此」也

禮記檀弓篇『夫夫也爲習於禮者』夫也」·見經傳釋調引· 。 鄭注曰·『夫夫·猶書此

丈

韓詩外傳六『詩曰「不愆不忘率由舊章」夫學之謂 也。

韓詩外傳五『詩曰「有覺德行四國順之」夫此之謂也』

又「夫此順命以愼其獨者也」

此上三 |例「夫此」皆是複語「 夫」亦「此」也

賦篇『此夫文而不采者與。

日者傳『此夫為盜不操矛弧者也』

古書旗字集釋 卷十

夫

春秋繁露堯舜湯武篇『有道伐無道此夫理也所從來久矣』

此上三例「此夫」皆是複語「夫」亦「此」也。

韓詩外傳三了夫是之謂能自養者也」「凱此」・

墨子非儒篇『是夫大亂之賊也』則此」・

夫」猶「彼」也釋詞

禮記三年問篇『夫焉能相與華居而不亂乎』荀子禮論篇「夫」作「彼」

國語齊語「夫爲其君勤也」管子小匡篇「夫」作「彼」。

此上二例並見經 **止傳釋詞引**。

左傳傳二十四年「夫祛猶在。

國語周語『然則夫支之所道者必盡知天地之為也』。

一夫」猶一衆」也『夫人・衆人也」・

曹召誥篇「夫知保抱攜持厥婦子」。

左傳襄八年『夫人愁痛

此 上二例並見經傳釋詞引。

易比家解『不學方來「並」也・後夫凶』「比之」謂「比九五」・「无首」謂「不先」也・即「後夫凶」之義・一日本陰・世界、「方」・〇〇〇一首本陰・世界・而上爻後於衆則凶也・上六云・『比之・元首・凶

夫」猶「則」 也。

墨子尚同中篇『鄉長固鄕之賢者也舉鄕人以法鄕長夫鄕何說而不治哉』上篇作『則鄕何說

以 飢 哉?

又「夫國何說而 不治哉…… 夫天下何說而不治哉! 上篇作 則國 何說以亂哉? 則天下何

說 以亂哉?

倘賢篇『今王公大人欲王天下正諸侯夫無德義將何以哉』「非」也・

韓 非子說使篇『今利非無有也而民不化上威非不存也而下不聽從官非無法也而治不當名三

者非不存也而世一治一亂者何也夫上之所貴與其所以爲治相反也」彈子如之後,世必失之,是者非不存也而世一治一亂者何也夫上之所貴與其所以爲治相反也」彈子便王精:『以隨侯之珠・

者輕也」。 文法與此同。何也。則其所任重。而所要

古 青虚字集釋 卷十 夫

八八五

八八六

戰國策韓策一『夫以韓之勁與大王之賢乃欲西面事秦稱東藩鎮帝宮受冠帶祠春秋交臂而事

馬夫羞<u>社稷而爲天下笑無過此者矣</u>』则則:

「夫」猶「其」也謂**

楚辭離騷篇『榝又欲充夫佩幃』王泩云『夫一作其』

禮記大學篇『菑必逮夫身』其身』,文義同此.。。 晏子春秋陳篤。禍必及

國語吳語『王若今起師以會「今」·「即」也·奪之利無使夫悛」即「其」· 「之」「夫」皆

左傳襄二十六年『君淹恤在外十二年矣而無憂色亦無寬言猶夫人也』爲"此」・未允・

宜二年「公嗾夫獒焉」

管子白心篇『夫天不墜地不沈夫或維而載之也夫』「而」·「與」也·曾其有維與載之者也管子白心篇『夫天不墜地不沈夫或維而載之也夫』「而」·「與」也「其」·「或」·「有」也

戰國策趙策一『知伯身死國亡地分爲天下笑此貪欲無厭也也. 夫不聽知過亦所以亡也』

「夫」猶「故」也「故」就,申事之詞也。

史記大宛傳贊『惡覩夫謂昆侖者乎』書作『惡覩所謂昆侖乎」・「所」亦「其」也・東記大宛傳贊『惡覩夫謂昆命者乎』書作『惡覩所謂昆侖子」・指禹本紀肖・漢

史記孔子世家『夫君子爲之必可名言之必可行君子於其言無所苟而已矣』論語子路篇作史記孔子世家。

故君子名之必可言。

春秋繁露天道施篇『好色而無禮則流飲食而無禮則爭夫禮體情而防亂者也』『夫一本作故』·春秋繁露天道施篇『好色而無禮則流飲食而無禮則爭夫禮體情而防亂者也』『共而本作法云

荀子君子篇『不矜矣夫故天下不與爭能而致善用其功有而不有也夫故爲天下貴矣』

論衡死僞篇『文王曰「嘻先君必欲一 見奪臣百姓也夫故使欒水見之於是也」。

此上二例「夫故」皆是複語「夫」亦「故」也。

國語齊語『夫是故士之子恆爲士……夫是故工之子恆爲工……夫是故商之子恆爲商. 夫0

是故民皆勉為善」篇句:

按「夫是故」亦是複語「故」・ 與言「是故」同義故士之子恆為士」文例同:是其體:按「夫是故」亦是複語「是」亦訓 與只言

「故」亦同義既見「是」字條・。「是故」與「故」問義・

「夫」猶「是」也「是非」之

論語先進篇「非我也夫二三子也」

古普盧字集釋 卷十 夫

八八八八

韓非子外儲說左下篇『非私臣而然也夫天性仁心固然也』 。

說苑襍言篇『夫驥尼罷鹽車提示之罰: 非無驥狀也夫世莫能知也』。

此上三例「夫」皆與「非」爲對文可證「夫」當訓「是

孟子告子篇「耆秦人之炙無以異於耆吾炙夫物則亦有然者也」

盡心篇『謂夫莫之禁而弗爲者也』「邪」也・

墨子非命篇下了天下之治也渴武之力也天下之飢也桀紂之罪也若以此觀之夫安危治亂存乎。

上之為政也則夫世可謂有命哉」即此」・

父身死莫之養也」仲尼以爲孝舉而上之以是觀之夫父之孝子君之背臣也' 而論之」以是觀之夫君之直臣父之暴子也魯人從君戰三戰三北仲尼問其故對日「吾有老

又『故偃王仁義而徐亡子質辯智而魯削以是舊之夫仁義辯智非所以治國也

夫」猶「若」也解著

韓非子難一篇『或曰「昔者齊桓公兩用管仲鮑叔成湯兩用伊尹仲虺夫兩用臣者國之憂則是韓非子難一篇』

桓公不霸成湯不王也。

「夫」「語助」也。

一禮記少儀篇『加夫德與劍焉』煩・皆發撃」・

論語陽貨篇『食夫稱衣夫錦』

禮記檀弓篇『予惡夫涕之無從也』

戰國策整策四『王獨不見夫 蜻蛉乎』狸姓乎』·文例同此·可雖[夫]為語助·戰國策整策四『王獨不見表 蜻蛉乎』『夫』語助』也·莊子逍遙遊篇・『子獨不見

【方放荡旁吃】

方」猶「正」也

論語季氏篇『少之時血氣未定戒之在色及其壯也血氣方剛戒之在鬪及其老也血氣旣衰戒之 ;

古香 魔字集釋 卷十 方 放 1坊 旁 昉

八八九九

古普區字集釋 卷十 方 放 助 旁 助

在得』「未」與「既」之間也・謂

静定之方中篇『定之方中』

北山篇『鮮我方將將·壯也·旅力方剛』

正月篇『燎之方揚』

板篇『天之方虐』

又『民之方殿屎』吟』也:「神

左傳隱四年『陳衞方睦』

宜十五年『天方授楚』

曹徽子篇『小民方與相爲敵響一句…… 天毒降災荒殷邦也:「荒」:「飢」也・方與 沈酗 于 酒, 咈其

堯典篇『湯湯洪水方割蕩蕩懷山襄陵浩浩滔天』「大」也・(大誥篇・「天降割於我家→馬本「割」作「甞」・堯典篇『湯湯洪水方割蕩蕩懐山襄陵浩浩滔天』「大」也・〔大皆篇・「天降割於我家→馬本「割」讀爲「客」・ 者長舊有位人』謂紂正好沈酗于酒·即上文所謂『我用沈酗于酒』也·「我」字是謂「紂」·
者長舊有位人』謂紂正好沈酗于酒·即上文所謂『我用沈酗于酒』也·「我」字是謂「紂」·是

徳」・「制『亦「客」之借字・「大」也・「申」循「明」也・「勸」體爲「親」、言大明親文王之德也・孟子梁惠王篇・『時日害喪』・趙注曰・『害・大也』)・君奭篇・「在昔上帝・割申勸寧王之

此上二例經義述聞皆訓「方」爲「並」失之。

荀子解蔽篇『則天下之治說者方多然矣』「乃」也:

呂氏春秋名正篇『竊觀下吏之治齊也方若此也』獨口語之俗。字:

「方」 一猶「當」也。

莊子養生主篇『方今之時』『當今之時』同義:

買子修政語篇『方是時也』是時也同義· 國子修政語篇『方是時也』是時也同義·

國語音語『方事之殷也』「中」也・

字或作「放」

管子小問篇『桓公放春三月觀於野』

「方」猶「將」也。

說苑奉使篇『王方殺子以釁鐘。

又『晏子賢人也今方來』:

古書虛字集釋 卷十 方 放 訪 旁 眆

昉

論衡質知篇『婦人之知尚能推類以見方來』。。 史記魯世家『今允長矣吾方營菟裘之地而老焉』

「方」「始」也雅

詩小戎篇『方何為期胡然我念之』平醫:

字或作「昉」

公羊傳隱二年「始滅昉於此乎」

方」循「甫」也「方機」・

字或作「訪」

史記齊悼惠王世家『方以呂氏故幾亂天下今又立齊王是欲復爲呂氏也』漢書「方」作「訪」史記齊悼惠王世家。

方」「並」也

「並」男

「方」古同音・

漢書敘傳『文武方作』並也』・「方・

書呂刑篇『方告無辜于上』

易比彖解『不寧方來』

「方」「且」也無難

孟子滕文篇『周公方且隋之』「方且」是複語

字或作「旁」

莊子人閒世篇『其可以爲舟者旁十數』平職·

「方」猶「徧」也。

詩商頌『方命厥后』告睹侯』・『謂傳

書立政篇『方行天下至於海表』

字或作「旁」

漢書地理志『旁行天下』

此上三例說並見經義述聞尚書。

「方」「有」也 態

古書處字集釋一卷十 方 放 訪 旁 昉

八九三

古書處字集釋卷十 方放 訪 旁 昉

詩正月篇『萩萩方穀』云:方・有也」・

曹洪範篇『既富方穀』

「方一猶「凡」也學之轉

墨子非命篇『是故子墨子言曰「吾當未盡數[鹽]·茲從學沅戰敗· 天下之良書不可盡計數大

方論數而五者是也』即上先王之「憲」之「刑」之「實」是」・。

方一猶「乃」也「乃互訓

一爲口語「這纔」之義

韓非子外儲說左上篇『明日早令人求故人故人來方與之食』「乃」是以意改:韓非子外儲說左上篇『明日早令人求故人故人來方與之食』「乃」是以意改:「方」作

史記商君傳『公叔座召鞅謝曰「今者王問可以爲相者我言若王色不許我我方先君後臣因謂:

王即弗用鞅、既也、當殺之』

爲口語「却」字之義

漢書刑法志『故象刑殆非生於治古方起於亂令也』

呂氏春秋安死篇『 `其所非方其所是也其所是方其所非也。

「萬夫」與言「百姓」同意・故論語喪曰篇作『百姓有過・在予一人』・曰・「雖有周親・不若仁人・萬方有罪・維予一人』・皆是假「方」答「夫」・ 《如 [是] 也 萬方有罪,罪在朕躬。。國語周語,及呂氏春秋順民篇,[萬方]並作[萬夫],幾于兼愛篇引傳《如 [是] 也 [方] 訓[是],缩[夫] 訓[是]也,[方] 與[夫] 古字通用,論語堯曰篇,『朕躬有罪,無以萬方,

詩般武篇『是斷是遷方勁是虔』亦「是」也・五文耳・詩般武篇『是斷是遷方勁是虔』亦「是要則」同・「方」

浦

漢書匈奴傳『傷痍者甫起』 一甫」「始」也「方」也「纔」也。

製

古齊虛字集釋 卷十 消 敷

八九五

敷, 一偏」也鄭藝· 龍見時麥篇

詩般篇『敷天之下』天之下[為一語·

凡

「凡」「共」**也**。

史記陳勝世家『陳勝王凡六月』

「凡」「皆」也雅

「凡」猶言「大凡」也「大抵」也。

公羊傳襄二十九年『先君之所以不與子國而與弟者凡爲季子故也』 ■

詩常棣篇『凡今之人』

八九六

「便」「卽」也。

莊子達生篇『若乃夫沒人之未瞥見舟而便操之也』辨略 。 既見助字

無 无 亡 毋 妄 应

無」「不有」。也

論語素伯篇『有若無』

字或作「无」 易乾九四『或雖在淵无谷』

古書處字集釋 卷十

便

八九七

字叉或作「亡」

論語先進篇『今也則亡』

字叉或作「毋」 子罕篇『毋意今言「懸揣」也· 毋必毋固「故」「巧阼」也·毋我」「私」也·

·毋」「勿」也禁止之詞也。

論語雅也篇『原思爲之宰與之粟九百辭子曰「毋以與爾鄉里鄉黨子」』「乎」更也而義語雅也篇『原思爲之宰與之粟九百辭子曰「毋以與爾鄉里鄉黨子」」「以」・「可」也

學而篇『無友不如己者』

毋」循「不可」也可之意·故又則「不可」・

字通作「无」

易大過上六『「過涉滅頂凶无答」象曰「過涉之凶不可咎也」」on不可告上爻也·

乾用九『「見奉龍无首吉」象曰「用九天傳不可爲首也」』也:「首通「先」也:曾於華龍當並重: 「可」同義·「不可以」作一不可爲」者·語之轉耳,不可以先也,「不可以」與「不可」同義·猶「可以」與

字叉或作「無」

左傳哀二年「趙孟曰「國無小』不可小周義・

「無」猶「莫」也。

穀梁傳傳二十二年『勝無幸焉』述聞・穀梁傳傳二十二年『勝無幸焉』述聞・

無」「非」也。

禮記禮器篇『荷無忠信之人則禮不虛道』「道」:行也

書呂刑篇『鰥寡無蓋』「峇」· 墨子尚賢篇引「無」作「不」嗣引·無」猶「不」也靡綜注·

字或作「毋」

墨子天志篇引詩『毋大擊以色毋長夏以革』詩皇矣篇「毋」皆作「不」爲「偲」:旣敍」也・惡子天志篇引詩『毋大擊以色毋長夏以革』詩皇矣篇「毋」皆作「不」爲「以」皆與哭」:「鬼讀

「参追」也・「本」同「棘」・

字又或作「亡」 古書虛字集釋 卷十

無 无 t 婔 妄 忘

八九九

漢書貢禹傳『方今天下饑饉可亡大自損減以救之稱天意乎』

無」猶「未」也轉詞:

韓 非子外儲說右上篇『王曰「吾無與犀首言也」」

字 或作「无」

莊子遠住篇『汝得全而形軀狊而九竅无中道天於聾盲跛蹇而比於人數亦幸矣」:

一亡,「否」也。

左傳襄九年『姜曰「亡」』釋詞· 記傳

無」猶「雖」 七見「毎」字條)故「毎」訓「雌」「無」亦訓 「無」古讀者「模」・奥「毎」字聲相通轉 雖()

荀子王制篇『故近者不隱其能遠者不疾其勞無幽閒隱僻之國莫不趨使而安樂之』從也』:

分安制以4 其上』·文法與此同·篇·『則雖幽閒隱僻百姓·莫較不敬

左傳襄三十年『國無小小能事大國乃寬』「即」也· 文子下德篇『爲存政者無小必存爲亡政者無大必亡』有亡徽者·雖成必敗』·文法同此·文子下德篇。爲存政者無小必存爲亡政者無大必亡』有亡徽者·雖成必敗』·文法同此·

傳二十二年『國無小不可易也無備雖衆不可恃也』表」之「雖」·是互文·傳二十二年『國無小不可易也無備雖衆不可恃也』表」之「雖」史「雖」與「雖

「無」猶「凡」也可能

漢書成帝紀『有靑蠅無萬數集未央宮殿中朝者坐』。

字或作「亡」

食貨志『天下大氏無慮皆鑄金錢矣』

趙充國傳『亡庫萬二千人』

按「亡庫」與「 無慮」同廣雅云『無慮都凡也」謂「都凡」曰「無慮」。 部畳韻字・・・

亦或

謂「都凡」曰「無」例•卽是•曰「慮」字條・。 | 說見「慮」

字叉或作「妄」

李廣傳『而諸妄校尉已下』「諸凡」與「都凡」為一語・

無」猶「不論」也。

詩泮水篇『無小無大』

古書處字集釋卷十 無无亡 毋妄 心

A SEP

九〇一

無 一个 一得無 也。

儀禮士喪禮『無有近悔? | 着乎」・見極傳釋翻引・

韓非子內儲說上七術篇『太仁萨公則大臣無重』猶得無也:韓非子內儲說上七術篇『太仁萨公則大臣無重』猶得無也:

無 **」**猶 何 七「蟆」・(「蟆」・通書作「麽」)・「蟆」即古書中之「無」字也・1)「無」古讀若「模」・ 音轉則為「蟆」・今天津人謂「何」日

管子國蓄篇『是特名羅於為君耳也· 無壤之有』『何長之有』文例同管子國蓄篇『是特名羅於為君耳也· 無壤之有』『何長之有異二十三

・年

國語晉語『鈞之死也[之]:[是]也:無必假手於武王, [鈞] 同 [均]: ②

醴 記禮運篇『則是無故「何故」・先王能修禮以達義體信以達順故』口語之「原故」也記禮運篇『則是無故「無故」卽先王能修禮以達義體信以達順故』口語之「原故」中相問答

大學篇: 楚國 無以爲寶惟善以爲寶。

又『亡人無。 **以為寶**? 仁 一親以爲實。 こには、

論 語 八 (佾篇: _ 君子無所爭? 必 也射乎。

子 路篇: 予無樂乎為 君? 惟其 言 而 莫子 達 也。

左傳昭二十六年『我無所監夏后及商』為發聲·失之· 第四十六年『我無所監夏后及商』為發聲·失之·

周 禮 **地考工記** 輪人了 無所取之取諸園也……無所取之取諸易直也……無所取之取諸急也」。

朝人『此無故惟轅直且無橈也』m「何」・ : 。?

呂氏 春秋當賞篇『民無道知天也・下同・」 民以四時寒暑日月星辰之行知天……人臣亦無道知

主人臣以賞罰衡祿之所加知主』

孟子雕婁篇『言無實不祥不祥之實蔽賢者當之』「語言」・「言」謂

詩采菽篇--7 君子來朝何錫子之作「何不」解・ 雖無予之路車乘馬又何予之玄袞及黼。

気性・

之」・意正相承・調酫訓「難」爲「量」・失之・「無」・「何」也・上言「惟何予之」・下書,又何予

晏子春秋諫篇『彼獨不欲雨乎祠之無益則・「無」並作「何」,是以意改・要子春秋諫篇『彼獨不欲雨乎祠之無益則・「無」並作「何」,是以意改其聚 彼獨不欲雨乎祠之

何益」也、互文耳・「無益」亦「何益」

無」「語助」也翻見極傳

詩文王篇『無念爾祖』念・念也」・

抑篇『如彼泉流無淪胥以亡』

古書處字集釋 卷十 無 无 亡 毋 妄 忘

九〇四

字或作「毋」

管子立政九敗解篇「人君唯毋聽寢兵則華臣賓客莫敢言兵」

此上三例並見經傳釋詞引。

無」猶「抑」也調整之事

字或作「毋」

漢書貨殖傳『窓鶴無刁』史記作『塞鶴毋刁』兔去作民而有辭乎・抑止而爲刁氏作奴乎・漢書貨殖傳『窓鶴無刁』史記作『塞鶴毋刁』兔去作民而有辭乎・抑止而爲刁氏作奴乎・

字叉或作「亡」或作「忘」或作「妄」

墨子非命篇『不識昔也三代之聖善人與意亡昔三代之暴不肖人與』同義・故連書之曰:抑無」・「無」専「抑」

呂氏春秋愛類篇『必得宋乃攻之乎亡其不得宋且不義猶攻之乎』

戰國策趙策『不識三國之情秦而愛懷邪忘其情懷而愛秦邪?

國語越語『道固然乎妄其斯不穀邪』

此上三例「亡其」「忘其」「妄其」爲一語「亡」訓「抑」「其」亦訓「抑」字錄·

放連言之日一亡其。

新序模事篇』先生老俗與妄為楚國妖與』將以為楚國默祥子」・「將」亦[抑]也称序模事:

此上各例之「無」「亡」「妄」「忘」四字王引之謂爲轉語詞楊樹達謂爲選擇連詞茲

從 楊說。

「亡意」猶言「意者」也為意義,或

史記魯仲連傳『亡意亦捐燕藥世東遊於齊乎』齊策「亡意」作「意者」 。。 為轉語
関・失之・

無有」猶言「不論」也。

書盤庚篇『無有遠邇用罪伐厥死罰其生·且罰其死也·用德彰厥善』凱[於]·書經庚篇『無有遠邇用罪伐厥死罰其生·且罰其死也·用德彰厥善』凱[於]·書不但

左傳襄二十三年『無有衆寡其上一也』

或作「无有」

易繋解傳『无有遠近幽深遂知來物』云・『无有獨云不論」・

無乃」猶「得無」也是與實

古書虛字集釋 卷十 無 无 亡 毋 妄

忘

九〇五

卷十 無 无 ¢

左傳隱三年『無乃不可乎』者・是常例・

僖十九年『 **今君德無乃猶有所闕** 者・日本

無寧

無「無乃」也之無乃同義。

左傳昭二十二年『無窦以爲宗羞』釋詞:

隱十一年『若寡人得沒于地天其以禮悔禍于許「若」也·無寧茲許公復奉其社稷』

此上二例皆與僖十九年『今君德無乃猶有所闕。 一之文法同。

無寧」猶「不寧」也同思是賴

輪語子罕篇『且予與其死於臣之手也無寧死於二三子之手乎」其寫身·不寧葉酒乎」·文法與:

按此句末有「乎」字・是常例・馬注曰・『無寧寧也』・失之・

左傳襄二十四年『無寧使人謂子 寧也』・失之・杜注・「無寧・

字或作一毋寧.

新潟川老臣子』・以「毋」字為語助・失之・所省)・服慶注曰・『毋寧・寧也・歌自取夫人・

此上二例句末無「乎」字是變例。

無亦」「不亦」也。

左傳襄二十四年『無亦是務乎』為發聲,失之,按此句末有「乎」字,是常上傳襄二十四年。 ◎ ◎ ? 此與論語『不亦樂乎』文法同,經傳釋調謂 失之・

成十二年『無亦唯是一矢以相加遺』「但」も・

昭二十三年『無亦鑒乎若敖蚡冒至于武文』「チ」也

國語周語『王無亦鑒于黎苗之王下及夏商之季』

此上三例皆句末無「乎」字是變例下四例亦皆同此。

周 語: ____ 無◎ 澤其 柔嘉選其馨香潔其 酒 禮品 其百 **褒修其簠簋奉** 其犧象出 有 樽葬,

陳其鼎俎淨其

巾 鼎, 敬 其 祓 院字·章注曰·『無亦·不亦也』· ?四十二字爲一句·「除」下省去「乎」 體解節折而共飲食之。

語: 若克 有 成無亦晉之柔嘉「乎」字・ 是以甘食』曰・『無亦・不亦也」・,。 。

晉

彼無亦置其同類以服東夷』作『無亦・不亦也』・周語晉語注並曰・『無亦・不亦也』・是其證の。。 の

古書處字集釋 卷十 無 无 亡 毋 妄 忘

『女無亦謂我老耄而含我「謂」・「以爲」也・ 而又謗我』「叉」訓「乃」說分見「而」「叉」二條・「而又謗我」「不又」猶言「何乃」・「而」訓「何」・

此上七例經傳釋詞並謂「無」爲發聲失之。

無已」猶「然而」也「無順為」:

詩蟋蟀篇『今我不樂日月其除無已太康,

孟子粱惠王篇「是謀非吾所能及也; 無已則有 焉。

無以

孟子梁惠王篇『無以則王乎』 - 梁惠王篇『無以則王乎』亦是務乎』・文例同・「無以」即「無亦」・亦即「不亦」・一、一、2、 五字為一句・「則」「法效」也・此與左傳薨二十四年「無一、猶二言 「不・亦」」也「以」與「亦」古多通

無幾」猶 無幾何」也幾何而疾止:無

居無幾躬求賢 聖。

無 越絕書八『日 「無幾何 也。

史記 周勃世家『居無何』

勿, 論語學而篇『過則勿憚改』 「毋」也禁止之詞也。

「勿」「無」 也 雅·爾

歩六三『入于坎密勿用』 豊家群『勿憂宜日中』無也」・ ・ 和九『潛龍勿用』 ・ 和元三である。 ・ 和元である。 ・ のので、 ・ ののでで、 ・

師上六『小人勿用』

頤六三『十年勿用』

古青虚字集釋 勿

九〇九

九 一 〇

此上 四「勿用」皆即「無庸」亦皆即「無功」二字・即釋爻辭之「勿用三字・四「勿用」,皆即「無庸」亦皆即「無功」二字・即釋爻辭之「勿用三字・ |用|與|庸|

古字通晉語八『 忠塞 無用」 史記 司馬 相如傳了 相如使時蜀長老多言通西南夷不爲用。

「用」皆「庸」之借字「功」也。

墨子兼愛篇『古者文武爲正「改」・均分賞賢罰暴勿有親戚兄弟之所阿』

勿」猶「弗」也「不」也。

文子符言篇『故小國寡民雖有什伯之器而勿用』老子八十章「勿」作「不」。.

荀子宥坐篇『 今夫世之陵遲亦久矣能使民勿踰乎』說苑政理篇作『能謂民弗踰乎』

戰國策齊策: _ 田侯召大臣而謀曰「 救趙孰與勿救」 |焼・『奥楽城何如不奥』・文法興此同・|「孰奥」即「何如」・(骮見經傳釋詞)趙

論語 雍也篇『雖欲勿用山川其含諸』猶不也。 。,

詩君子于役篇『如之何勿思』

左傳文七年『勸之以九歌勿使壞。

淮南子修務篇『 寡人敢勿軾乎?

莊子徐无鬼篇『勿已 〕則隰朋可。 者·朋其可乎」?

易蒙六三『勿用取女

遯初六『勿用有攸往,

此二「勿用」 皆即「不宜」見一答」字係・

勿, 「非」也能够

詩靈臺篇『經始勿函』詞引·

「勿」「語助」 一世。 料調·傳

左傳僖十五年『史蘇是占勿從何益? ___ 詞見 引經 ・傳

墨子非樂上篇『惟勿撞擊將必不使老與遲者。 設此 飲孫 於

勿處, 猶 「無慮」 七按「都凡」即「大略」の廣雅日・『無慮・都凡・ Tr.

大戴禮會子立事篇『備則未爲備也「雖」也・而勿慮存焉。

古書虚字集釋 卷十 勿

| 逃児将義

九一

微

微」「無」也。

「微」「非」也。 詩式微篇『微君之故』無也」:

詩柏舟篇『微我無酒』我無酒』:

論語憲問篇「微管仲吾其被髮左衽矣」

新序襍事篇『哀公曰「否吾子就席微吾子無所聞之矣』荀子哀公篇「微」作「非」。.

「微」猶「豈」也。

公羊傳宣十二年「君之不令臣交易爲言是以使寡人得見君之玉面而微至乎此』爲「豈」茲訓「微公羊傳宣十二年「君之不令臣交易爲言是以使寡人得見君之玉面而微至乎此』爲「豈」茲訓「微

襲其意・即

禮記 檀弓篇『雖微晉而已天下其孰能當之』

國語晉語『雖傲秦國天下孰弗惠』 省去「而已」二字

楚語『雖微楚國諸侯莫不譽』「孰」也・

此三「雖微」皆即「則豈」詳「雖」字條·

一曼

つ 曼, 「無」也 雅· 唐

法言五百篇』行有之也病曼之也』無也J·

荀子非十二子篇『上功用大儉約而優差等』陳志:

曼」猶「不」也「無」則「不」也・

法言重黎篇『神怪茫茫若存若亡聖人曼云』「子太語怪力亂神」・

古靑虚字集釋 卷十 曼

僈

罔

罔, 無 也。 雅見 ·爾

罔」猶「不」也。

書盤庚篇『罔罪爾衆』汝」・見經傳釋詞引・書盤庚篇『罔罪爾衆』汝」・見經傳釋詞引・「今我不罪

詩氓篇『士也問極』也「正」也・

蓼莪篇『欲報之德昊天罔極』而昊天不中正·巴奔父母而去也·蓼莪篇『欲報之德昊天罔極』而昊天不中正·巴奔父母而去也·

罔, 」「毋」也「勿」也。

書多方篇『爾罔不克泉』 。

盤庚篇『今我既羞告爾于朕志也・若否罔有弗欽』也・言汝則勿有不敬也

書君奭篇『罔不率俾』從也」・

「罔」猶「得無」也。

楚解九章『欲高飛而遠舉今君鬥謂汝何之』補注·(見經傳釋詞引)· 。 ? 「之」·「往」也·說見洪與祖

曹多士篇『凡四方小大邦喪罔非有辭于罰』義與呂刑篇『芮民無辭于罰・乃經厥世』同:。 「問」語助詞・「非有辭于罰」・謂無辭于罰也

立政篇『自古商人亦越我周文王立政立事牧夫準人則克宅之克由繹之茲乃俾乂國爲「辮」: 确云「平治」· 則罔有立政用檢人「問」・「無」也·不訓于德「順」也·是罔顯在厥世」「問」語助問· 「治」也・「辮父」 則罔有立政用檢人「問」・「而」也· 不訓于德「順」也·是問顯在厥世」「問」語助問·

人及不順於律・故顯於厥世也・「在」・「於」也・言無有立政用小

曹傲子篇『殷問不小大』 門不」 猶言「不論」也。

未

古香 遗字集釋 卷十 未

九一五

「未」猶言「不曾」也。今日語讀朱」若「味」・

左傳隱元年『未嘗君之羹』

「未」猶「不」也^{則讀注,}

莊子人間世篇『故未終其天年』又『故不終其天年』複耳· 耽見經正子人間世篇『故未終其天年』又『故不終其天年』復耳· 耽見經 歴傳釋詞補・ ・ 變文以 避

未」猶「否」也。

未」「無」也。

戰國策秦策『而未能復戰也』「元」與「無 二同・

論語學而篇『未之有也』之有也同義· 。 與荷子正名篇

漢書賈誼傳『行義未過』釋詞補·

「未」循「 丁非 也。

漢書 ~ 帝紀『夫度田非益寡而計民未加益』耳‧說見經傳釋詞補‧

九 六

作『夷昧』是也・『吳夷末』・公羊傳

論語子張篇『人未有自致者也必也親喪乎』

易臨象傳『咸臨吉无不利未順命也』

經傳釋詞正記

經 傳釋詞之話義雖稱而失誤亦閒不免本書於注文中固已多匡之矣惟本書爲語詞所限尙有未之

及者十餘事故又特書於此以備學者之參酌爲妻學海識。

釋詞云『禮記祭統術孔悝之鼎銘曰「對揚以辟之勤大命施於烝奪鼎」以此也指上文而言也辟君也。

言對揚此君之動大命著之於烝彝鼎也**」字**條·

海按「以」當讀為「台」作「我」字解我也」· 不當訓「此」「以」為訓「何」之「台」·(詩采蘩篇)

本考「以」学條)故亦借「以」為訓「我」之「台」・「子以宋赟」「以」為「台」之借字也「何」也・說見

釋詞曰『金縢曰「予小子新命于三王惟永終是圖茲攸俟能念予一人」言茲用俟也』字條:::

按此文當以「惟永終」爲句「是圖茲攸」爲句「俟能念予一人」爲句「永終」「永久」

大能念天子也史記魯世家作『旦新受命三王維長終是圖茲道能念予一人』是其證也見說文: 也「攸」與「迪」同「道」也「是」「今」也之迪」、馬太「迪」作「攸」、「俟」[大]也言今圖茲道,

古書處字集釋 经傳稿制正數

釋 詞 日: **—**7 馬 王, 紻 本 大誥: 王若 日: 大浩 繇 爾多 邦。 鄭王 並同引之案「大誥道爾多邦」文義不順「猷」「於 本, 繇一作 猷。 漢 書盔 義 傳, E 莽 倣 大 日:

也。 大 大 諸 侯 **一蓋用** 」者大誥於爾多邦 爾雅 **繇道也** 之訓, 也。 سیا 字條解上 王

學 海 按王 一說未允段下 玉 一裁日: ___ 道 爲 繇, 教道 亦爲繇。 說甚通達「 誥猷 ___ 卽 誥 道。

導, 荀 子非 告 道, 十二子篇 ~ 遇 賤 而 少 同, 者, 則 修告導寬容之義 <u>__</u> 語, 韓 詩 外傳六 王莽始言之也「 作 則 修 告道 電裕之 義。 <u>__</u>

皆與

誥

道

是一

誥道

亦古人

成

不獨

誥猷

_-

亦

古

人

成

字 或作「告猶, 一詩小旻篇 ~ 我龜旣厭不我告猶』是也「猷」 與一 道 爲幽 部 **昼韻字故**「誥猷

奥 誥道 同 義大誥篇言「 酒誥篇言一 許教」耳小子』·

誥 飲 倒言之則日 飲告」 多士篇 飲告 爾多士」多方篇 **—**1 鮲 告爾 有方多士」又「 熘 告爾

四 國 多 方, <u>___</u> 皆是 也。 亦未必然・董僞孔傳之說解多迂・不可據以爲確證也此上三例・王引之據僞孔傳所解・謂皆當作「告猷」・ 鮲 告 亦 或 作 __ 羞 告, 盤 庚 篇:

耳。 **吋其数告之』・・** 多方篇・『我惟 告 尚書中無以「誥於」連言之文多方篇「誥吿爾多方」多士篇: 爾 于 朕 志, <u>___</u> 是也。 之散 三兵「差」通用 亦曰 鮲 告 者, 猶 「告爾 誥教 般多士』並 亦 日 敎

予大 與 大誥 化 誘 我 猷 爾 友 邦 多 邦 君, 文例 水る 同, 『酷教』及「数はな也・誘・進也 可證 猷 戦告」耳・ 不 當訓 並 __ 與 於; 大 ___ 大誥篇 誥 飲爾 日: 多 **—** 邦 肆予 句 告我 例 间、 友邦 亦 可 君, 證 <u>_</u> 叉 猷 EI: ـــــ 不 ---1 當 肆

攸, 訓 立 政 篇: 於 或作 也。 克由 羞。 鮲 釋 之, 二 康誥 爲 篇: __ 曲 敎 · 乃由裕民. 道 亦同 之 道, 猷, <u>_</u> **L**_ 由 屢 見於 道 L___ 同 也。 倘 猷, 二 書 釋, 中, 惟 猷裕 其字 敎 l ...-則 ___ 皆訓「 或 也「稗」之借字・「鮫」也・既詳。 孟子滕文篇・『序者射也』・「 作 道, 由, 言見・方 或作 言乃 迪, 教 道 或 作 民

道, 說閩 上通 対権日・「迪 言 能 教 道之也多方篇: 勸, 勉 -不克 ---也。言 終 不 H 勸 能 于帝之迪, 終 H 勉 于 帝之教 سيا 馬 本 道 ---迪 也。 酒 ___ 語 作 篇 <u></u> 攸。 **—** <u>_</u> 我 民 迪, 迪 不子, 攸, 皆 民 訓 讀

爲 乃 不 也。 唇作 勞 克」「肯」 之一 骨, 也。 羞 勉 ___ 也言 即下文「 我 黽 **今我** 勉 教 道 旣 羞 小 告爾 子 也。 盤 于 肸. 庚 篇 志 之一 **—**7 予 丕 羞, 克 羞 一語・說見前・一語・說見前 爾 用 懐 爾, 否, 與

熘 同 道」也言予乃 肯教 道 爾以安爾也「 攸」與 狱 同音 通用, 「猷」爲「私」、說見經傳釋調 之變體・「由」字條 故

得 假 攸 與 攸 通用攸廉隅。「攸」皆與大學『脩身』之「脩」同・「脩」從「攸」聲、婁霧碑・『曾祖父攸春秋…:不 故 亦 得

為 鳅 語図 ·『吾其爾朝夕脩我曰』·三「脩」字皆「獻」之借字爲「数道」之義·語楚語·「必交脩余·無余葉也」·周語·「瞽史数誨·耆艾脩之」·魯 脩 與一 羞 通 **涌,** 一周與禮

古者 遗字集釋 超 傳釋 調正 誤

29

說詳釋表選班 () 同 故又得假「羞」爲「猷」明乎展轉相假之理則「羞吿」之卽「猷吿」可無

疑; 而「猷告」之爲古人成語非「告猷」之誤倒亦可無疑矣。

釋詞曰『襄二十一年左傳引夏書曰「念茲在茲釋茲在茲名言茲在茲允出茲在茲」言用出茲在茲也』。

同。 大吉』)・荷子儒效篇・『出三日而五災至』・楊注云・『出・行也』・部伝・『粃・進也・……易曰・「粃升・大吉」』・易升初六作『尤升 學 海 名言 」 猶言 「談說」也,即談說之意,「尤出」猶言 「進行」 (「九」期「進」・字本作「靴」・說文本名言 」猶言 「談 就 所。」 " 說文於部「旞」下云・「九・進也」・ 按王 君訓「允」爲「用」於義未安「允出」二字平列爲義與上「名言」二字之平 列為義

释詞曰『詩鼓鐘曰「淑人君子懷允不忠」懷思也言思之用不忘也』字條・2.5元]

通用・言淑・ 學海 .按王君訓「允」爲「用」亦於義未安「允」當讀爲「 人君子懷道不忘也下文『淑人君子其德不 一回 心回 · 邪 術, 道」也古今人表作「仲術」・是「九」

並與「懷道不忠」之意義相類若如王君之說則「懷尤不忠」之「懷」字是懷何事物不可

得而知矣其可通乎?

釋 詞 日: _ 夷, 語助 也。 昭二十 四 年 左 傳曰「紂有 億 **兆夷人」宮有億兆** 人也。

學 海 按一 夷」、 為「餘」之借字昧」。公羊傳作「夷昧」。王說未允。

釋詞 曰: 詩 孫民日: 「我儀圖之」儀助語詞……書大誥曰「義爾邦君越爾多士尹氏御專綏予曰:

捻于恤不可不成乃事考圖功 」 | 義助語詞 』字條·

舉 海 按 儀 ___ 當訓 「度」『不度民神之義・不儀生物之則』・「儀」皆亦「魔」也・互文耳・の、説文・『儀・度也』・周語云・『儀之于民而度之子掌生』・又曰・ 旣言 儀

圖 者古人自有複語耳『予付度之』・ 義爾邦君」之「義」 當讀爲「儀」「望」 也。解作

牆」·高注曰·「儀·望也」·王説皆失之脊秋處方篇『射者儀毫而失。

釋詞曰「祈」猶「是」也禮記緇衣篇引君雅曰「 資冬祈寒」鄭注曰「祈之言是也齊西偏之語也」」

学体・

作 如 學 海 祈」字 那 按 寒。 王 君 校說 ·則與「 所見之禮記 記阮 ・元 是」聲不相近而不得以爲訓矣又按「祁寒」之「祁」 ---祁 作 ___ 與 - **新**寒, 是 聲 是據嘉靖本或閩監毛三本然此諸 相 近『祁獺明』・是其體・『提從是聲』,左傳宜二年・『提彌明』・公羊傳作 本皆 故 當訓「大」 「誤當從宋· 鄭 注 日 -祁之言是 日・『郝・大詩吉日篇毛傳 本 石經 击 本

古書虛字集釋 經傳釋調正誤

古善虚字集釋

也: 不當訓 鄭說 失之。

日: ___ 其 猶 將 n也易否: 九五 字條其

海

按

其

當讀

爲

恐

釋詞 **碁**, 一 「其亡其 一也言 恐亡恐亡也。 借字・「恐」也・言恐發有逸口也・其借「其」爲「荅」・曹盤庚篇・『其發有逸口』・華經平議謂「其」爲「荅」之

周與 、此文 繋餅 傳口了 是故君子安而不忘危存而不忘亡治而不忘亂是以身安而國家可保

其 亡其亡繋於苞桑」「 不忘危」 「不忘亡」「不忘亂」卽是「 恐亡恐亡」之意。

釋詞 曰: 大誥曰: 亦 惟十人迪 知 上帝 命, 言惟此 十人用: 知 Ŀ 帝命也· 君 奭 日: 亦 惟 純右秉德迪

天 威。 海 亦謂 按 ${f \Xi}$ 說 用 未 知 龙。 天 威 迪知」 也。 立 當是古人 政 日 成語, 迪 知 忱 恂 迪 于九 與 德之行, 道 古同 亦謂 音通. 用知 用, 誠信于九德之行 本「道」作「迪」・按「迪」「道」古音者與篇・「我道惟寧王德延」・馬 也身條,

知

温為雙撃字・・・・ 亦同義。 迪知」 卽 道知, 猶今人言「 知道 也「道」 達 也『夫成子・

前志」・ ·不道所謂也』·「遊」·「遙」也·「謂」·「以」也·章注曰·『道·邈也』·論衡感慮爲·『世好神怪 知之明日一達 」知識天德者」・是也・四之明日一達 」知識天德者」・是也・ 故古· X 謂

知

因道

猶同

之日 道 知, __ 个人謂知之日 知道 也。 迪 知上帝命」 奥 格 知天命 同義能格知天命」・

知」之「格」 即淮南子修務篇 誦詩書者期於通道略物』之「略」「 略知一亦 達 知 也。 誘高

×

詞 日: 建注 書堯典日 格知」之「格」不訓用則「迪知」之「 蠻夷 率服」「率」「用」也言爲政 如此, 迪」其不當訓「用」也審矣。 也。 字原・

蠻夷用服

孔傳・低 海 率 從。 按王 詩魯頌 率服」 君訓「 率 亦語 白: つ 爲一 至於海邦莫不率從」書君奭曰: 轉作「率俾」與「俾」爲雙聲・「 用, 於義 未安「率服」 平列 『海隅出日罔不率: 俾」亦「 為義率邁也鄉不率」·杜注· 服從也。 則 從」也一率服」「率俾」皆猶言 俾。 漢書董仲舒傳曰: 「見 現 現 現

語之故耳。

俾

字訓

從一述聞·五

而於

樹夷率服」之「

率

字則訓

用。

殆由

不知

率俾] 與「率服

海

內莫不率服」三文意義相同,

可爲證也王

一君於

罔不率俾」

之一

率」字訓「

循」同義・温」

ヘ

類書引古書多以意改說

古書其7 古 書 多 者之於 之有 大師之校勘 有 其 弗 來 乃復 戢, 面 丽 作 將 目, · 古言古義 , _ 義, 義難 悉卒 自 則自 語詞之文多與其原書不同者卽此故也不然我國文體變遷之公例由深而 何 而。 焚 本 古書 乃攻 也。 當多 「而一有「之」義「乃」有「以」義班王皇鮑諸人之皆爲以意改字而 稐 通, 一何 作「必」「而」「之」「以」者之爲文甚順然究 語 1111 不知 晏本 古言古義深與難 而虛字爲尤甚讀之者。 漢書武五子 姚 本國 實事 不能 論 語憲 策之失其 水是反 拔 問篇 傳贊 也。 <u>___</u> 多 舊 鮑 引, 通, **—** 也類書 本下 君子 何以反較今所存之原書多文從字順乎 據 不能盡解 將 類書 恥 **--**----作 其言 乃一 所 引古書之以意 引以訂正不誤之原書間者而言· 。此就關於語 一字作「 恆覺 必」孟子公孫丑篇『 而 過 其文不 其 以。 行。 心改字與 __ 皇侃 成義於是於稱 此 四 班王 |其實際則「 本, 例, ___ 雖 含我 而 作 皇鮑之改 左傳隱 引 作 其 將 ;時輒以 將 誰 _ 不亦謬乎此予之所以不 ___ 之。 淺果類書所引 也? 無 其 有一 四 以 <u>__</u> 意改 論衡 年: 非 _ — 姚 異; 必 今本左 乃清 本 類 夫 而 戰 刺 書 義, 國 孟 兵, 代 所引之 、猶火也 篇 者, 策 傳 諸 引, 乃 爲 其 寮策: 樸

敢肓從也此本書之所由 作也茲將類書引古書之以意改者略舉數例於左至於其詳則散見於本書之各。

條注語中茲不贅焉。

呂氏 春 秋制 樂篇: 『故成湯之時有穀生於庭昏而生比且其大拱』 [及]也‧御覽引一 其一作 而。

沅謂 作「而」者是氏春秋·按「其」有「而」義, 畢說未允說群本書「其」字條。

墨子貴義篇『今爲義也君子』御覽引「也」作「之」畢沅本墨子從御覽改「也」爲「之」孫氏.

墨子閒詁亦然按「也」有「之」義畢改孫因皆非說詳本書「也」 一 字 條。

三韓非子難三篇『夫六晉之時智氏最强滅范中行而從韓魏之兵、 以伐趙』御覽引「而從」作「又率」

氏韓 非子集解從御覽改「而從」爲「又率」按「而」有「 叉 義, ___ 從」有 ----率一義, 文王改未允。

說詳本書「而」字條。

Ŧ.

四、 晏子春秋襍篇『景公游於紀得金壺發其視之』御覽引「其」作「而」

五、 春秋問篇『昔三代之與也謀必度其義同・「居」也・事必因於民』 摹書治要引「其」作「於」。,「度」與「宅」

戒篇「 期而 遠者莫如年, 』羣書治要引「而」作「之」

七淮南子氾論篇了使鬼神能玄化則不待戶牖之行』御覽引「之」作「而」、

八荀子榮辱篇『傷人之言深於矛旣』藝文類聚引「之」作「以」、

此上五例讀書襖志皆謂類書所引者爲是按「而」有「之」義「其」有「而」義及「於」義「

之」有「而」義及「以」義王說皆未允說分見於本書「其」「而」「之」三條。

3

本書說解述要

是也其為 也 實字有本 也」。「焉」爲「語已詞」則借爲「矣」爲鳥」。女降 按 則 「乎」爲 有 所 轉引 義與 假借之義者如「 「語之餘」「乃」爲 引申及假借之義虛字亦然其爲本義者如「 申之則 爲 轉 詞; 爲一訓「 亦 用一則借 爲「人之臂亦」 曳詞之難」既文皆是也其為 爲一 吕, 「耳」爲「語終詞」則借爲「 通作「腋」・「亦」 母猴也・「鼠文『爲・ 矣」爲「 引 臂亦有所承, 也 中之義者. 語已詞」「兮」爲「語所稽, 爲一 決詞 引 如 申之則 ___ **乔**,「新通作 抑 則借爲「兮」「也・ 為承 爲 小上之詞皆 雖 交見 ・説

爲 邪 推拓之詞」則借爲「 爲 疑 問及威歎之詞 推」蜥易而大』・ 則借1 爲一 敷, 「將」爲「 邪郡也」・ 「而」及「武文『邪・褒 幾及之詞」 則借爲「傍」近也」・按今語謂「將晚」 然一之均爲 轉詞 則 俱 借 爲一

以見 皆 | 聲相轉之避也・| 也。 假 借 之義, 叉 有 以」又借爲「似」 爲 展 轉相 借 者如 猶 「仏」・(日之隸變作ム・如「台」「矣」 二字・本作「昌」「昊」・是其證)不當作「以」興「似」通用・骮見「似」字條・按「似」 在骮文作「侶」・「侶」之隸變當作 訓 者 則借 爲 以「轉・「由」之訓「以」・「猷」之訓「己」・, 武文『猶・獲屬」・按「猶」與「以」一聲之

「伯」・而誤謂「以」商「目」・於是途書「伯」為「似」矣・經典通用「以」為「目」者・則是假「以」為「目」・非「以」為「目」之變體也「似」・「仏」之人字移於右旁・則為「以」・是可知「以」即「伯」之變體・猶「散」與「殆」「秋」與「秌」之皆同字也・後人不知「以」・ 而一

古書戲字集釋 本書說解述要

烧此 信韻字也・則情 其 與 旃 均爲「指事之詞」 則皆借爲「之」字・「旃」訓族曲

而 「之」又借爲「者」皆是 也。

字義既有此三者之不同故本書說解之方法亦因之而異其屬於本義者無論矣至關於引申之義則聯以字義既有此三者之不同故本書說解之方法亦因之而異其屬於本義者無論矣至關於引申之義則聯以

意, 關於假借之義 **利通以聲**。

何 謂 聯 以 意? 如 — 無 訓「勿」爲禁止之詞卽是不可之意故「無」又訓「不可」 此爲 也。 無 爲

是反 話, 其意義 可 **互通君何尤」・「何尤」與「無過」同義・**,如周易言・「何咎」與「无咎」同義 義, 無。 此爲二也「故」 皆其例· 故「 · 孟子曾「畜 爲申事之詞, 無 訓 ---何, 何 亦 訓

皆同 **一** 奚 義故「 __. ___, 胡 是一 ــــا 均 與 以」二字皆訓「故」「 ___ 何 __ 同 故 亦皆訓「 茲」「此」「而」「 其 四字 · 皆 與 與 ___ 是一 是以 同義故 及一

是故」

E

何

言,

無。

亦

皆訓 故。 」此爲三也。 是 | 為「此」 又爲是非之「 是, 實由一 義引 申故 此一字 亦 為是 非之「

是。 然 ---، 焉 **___** ----斯 ۱. ... 而 其 _ -夫一「 將一 ----且一八字 皆訓 此, 故 亦皆 爲 是非之「是」

治, 此 爲 四 也。有 徂 訓 --7 義 往 雖 ___ 相 亦訓 反, Mi 亦 存, 由 於 爾均 雅見 相 引 申 干者故 夫 恆 訓一 有 此 字 亦訓「彼」「 兼 相 反之二義. 乃 如 ---訓 故 是一 訓 了 今, 亦訓「 亂 馬 訓

訓「其「「 兮一「 夫」「已」八字皆訓「 其 且」三字皆訓 其一 一」「敷 亦訓 」「邪」五字皆訓「也」亦皆訓「乎」之屬釋: 是, 一 殆 乎」亦皆訓「也」定文:養相反: 其說雖多昉於本書亦俱由取法前修獨 ---- 亦皆訓 也 ___ 訓 「必」調・意義相反・ 乎**,** 一 乎 亦訓「 也, 哉 **劃· 在先儒固當明言之矣至「是」見經傳** 爾 爾 訓一 耳 此 亦訓 然 「彼」「將」 」「之」「者」

類長之而然此爲五

也。

訓、雖, 訓「之」「也」亦訓「之」是也或據其雙聲字之義爲訓如「無」與「每」爲雙聲者「模」:

古音 何謂 復 移於 雖, 通 以撃日: 隆見 ・調 昼韻 與 也。 」雅・「無」亦訓「雖」是也或據其疊韻字之義爲訓,見解 或 ١__ 亦訓 以由 者 爲訓, 或以同音為訓如「有」訓「以」「以」 旣 (「有) 疉 亦 如一 稍而復轉於雙擊者為訓如「矣」與「之」為**疊**韻「 訓 是也或以聲韻爲訓如「 以上 **雖**, 一 奥一 是也或以聲近通用之字為訓如「畜」訓「有」是也或據其 於一爲雙聲, 其 其」訓「而」 與 亦訓「有」是也或以雙擊爲訓如「有」 以一 如「旣」 爲壓 「而」亦訓「 韻, <u>--</u>¬ 與「自」爲疊韻泰部 也 以 其, 與一 訓 是也。 於一 矣 或以由 爲 其 雙擎 同 「雙聲而 音字之 自 亦 訓 訓 毎 訓

凡此各法於本書之說解備則未備勿慮已存願讀者比物醜類以參之。

義爲訓如「若」與「如」古同音「如」訓「當」尋詢·「若」亦訓「當」是也。

1